

第 10 期事業計画策定基礎調査結果報告書

令和8年3月

青 梅 市

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1
II	「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」調査結果.....	2
問1	あなたのご家族や生活状況について.....	4
問2	からだを動かすことについて.....	18
問3	食べることについて.....	38
問4	毎日の生活について.....	62
問5	地域での活動について.....	98
問6	就労について.....	117
問7	たすけあいについて.....	121
問8	健康について.....	137
問9	認知症にかかる相談窓口の把握について.....	153
問10	介護サービスと住まい（暮らし）の意向について.....	157
問11	生きがいや充実感、週1回以上の活動状況について.....	164
問12	日常生活での不安・心配について.....	174
問13	認知症の対策について.....	180
問14	市が充実させるべき取り組みについて.....	217
問15	フレイルについて.....	223
問16	地域包括支援センターについて.....	233
問17	地域福祉コーディネーターについて.....	243
問18	敬老事業について.....	255
問19	高齢者温泉保養施設利用助成事業について.....	267
問20	自由記入欄.....	279

Ⅲ	生活機能評価等に関する分析.....	281
1	機能別リスク該当者割合の分析.....	281
	(1) 運動器の機能低下.....	281
	(2) 閉じこもり傾向.....	283
	(3) 転倒リスク.....	285
	(4) 低栄養の傾向.....	287
	(5) 口腔機能の低下.....	289
	(6) 認知機能.....	291
	(7) うつ傾向.....	293
	(8) I A D L (手段的自立度)	295
	(9) 知的能動性.....	297
	(10) 社会的役割.....	299
Ⅳ	「在宅介護実態調査」調査結果.....	301
	単純集計結果.....	301
	基本調査項目 (A 票)	301
	主な介護者様用の調査項目 (B 票)	313
	要介護認定データ.....	316
	クロス集計結果.....	321
	在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討.....	321
	仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討.....	347
	保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討.....	371
	将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討.....	386
	医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討.....	400
	サービス未利用の理由など.....	409
Ⅴ	「事業所調査」調査結果.....	426
1	基本調査.....	426
2	在宅生活改善調査.....	438
3	居所変更実態調査.....	440
4	介護人材実態調査.....	444

I 調査の概要

1 調査の目的

日常生活圏域別に、高齢者の生活実態および課題等を把握するため、日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査、介護サービス事業所調査等を実施し、令和8年度に策定する第10期青梅市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の基礎資料とする。

2 調査対象

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査：要介護1～5以外の高齢者

在宅介護実態調査：要支援1～要介護5の高齢者のうち、介護認定更新および区分変更対象者

介護サービス事業所調査：市内の介護サービス事業所および施設

3 調査期間

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査：令和7年10月28日～令和7年11月30日

在宅介護実態調査：令和7年10月28日～令和8年2月13日

介護サービス事業所調査：令和7年10月22日～令和7年11月21日

4 調査方法

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査：郵送配布・回収

在宅介護実態調査：自宅訪問により配布し、郵送により回収

介護サービス事業所調査：電子メール、電子申請システム（LOGO フォーム）

5 回収状況

調査票の種類	配布数	回収数	回収率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3,200件	2,678件	83.7%
在宅介護実態調査	786件	541件	68.8%
介護サービス事業所調査	150件	142件	94.7%

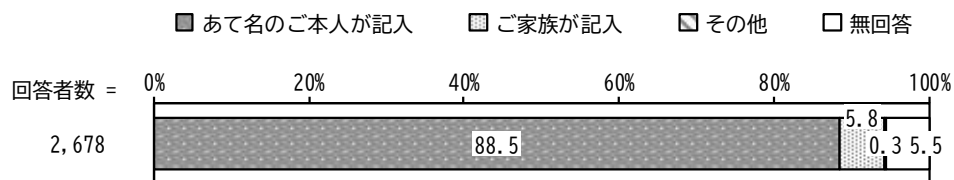
6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

Ⅱ 「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」調査結果

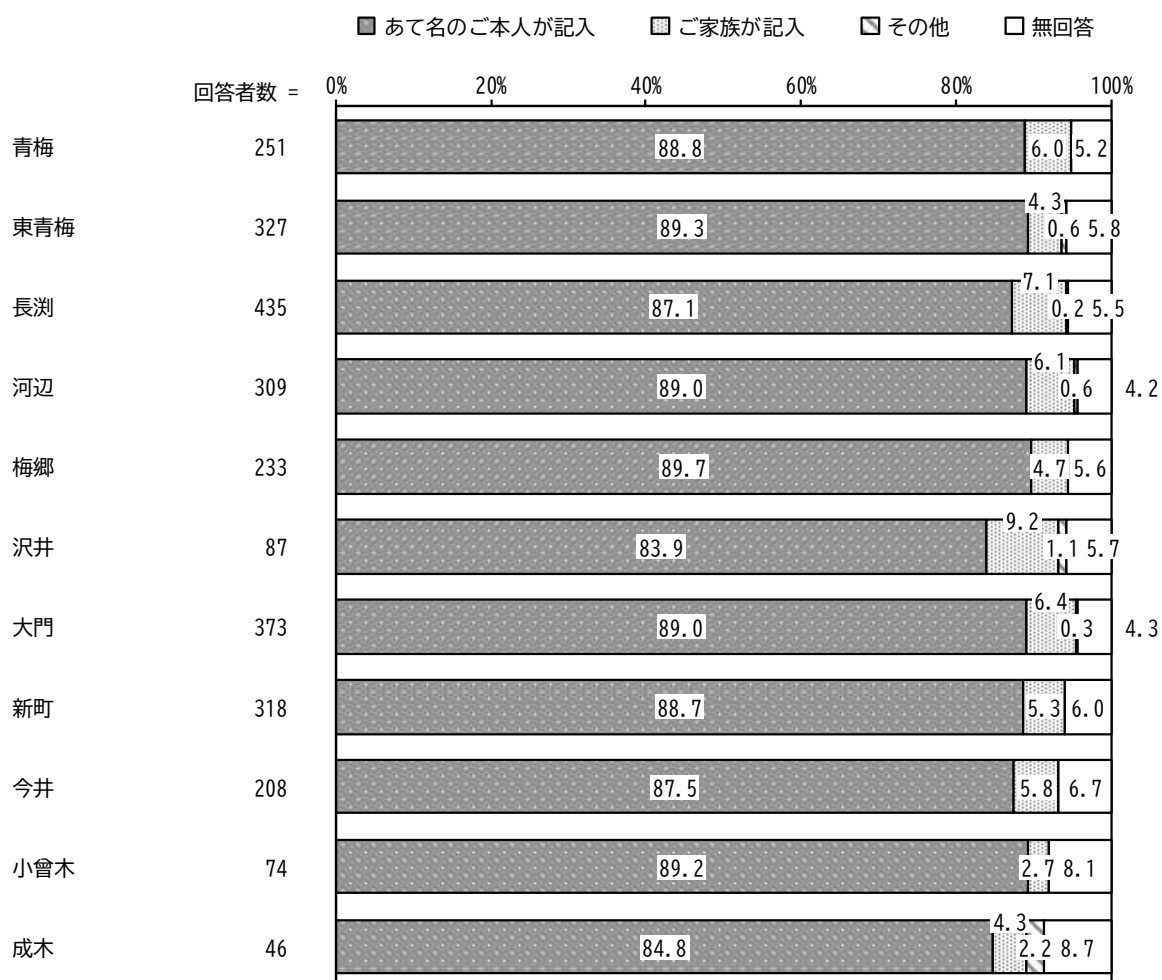
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

「あて名のご本人が記入」の割合が 88.5%、「ご家族が記入」の割合が 5.8%となっています。



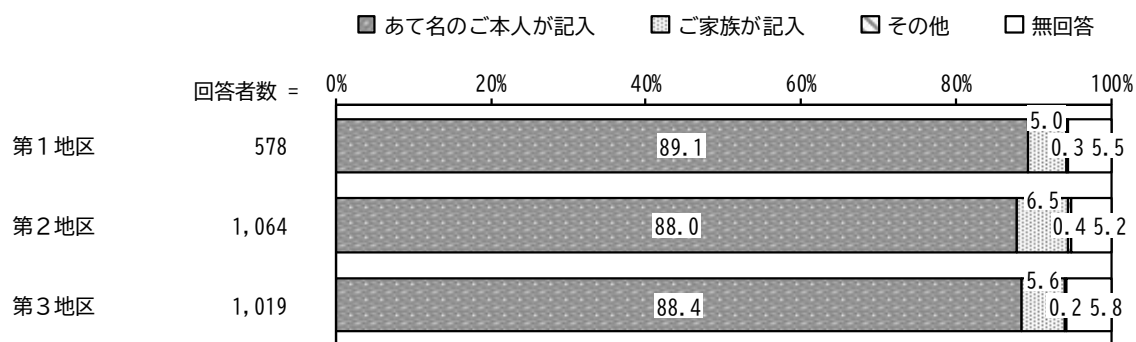
【地区別】

地区別にみると、大きな差はみられません。



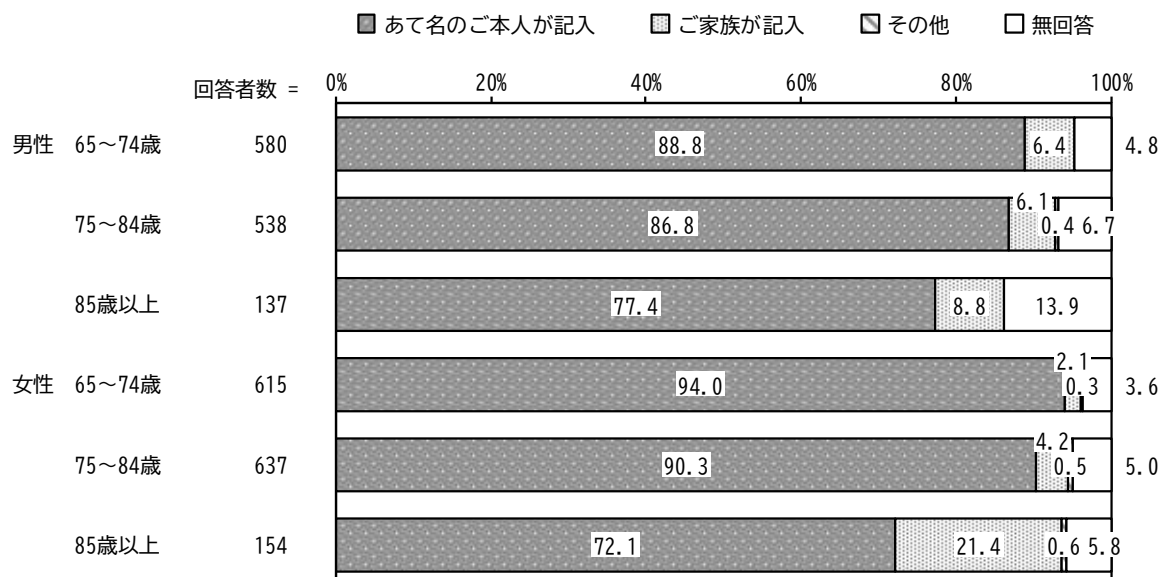
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

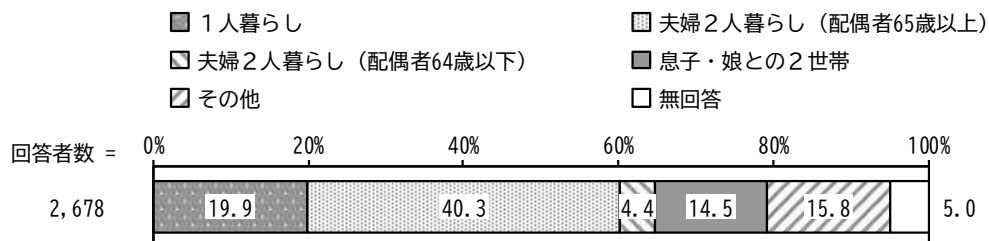
性・年齢別にみると、男女とも年齢が上がるほど「あて名のご本人が記入」の割合が下がりますが、85歳以上では、女性において「ご家族が記入」の割合がより高くなっています。



問1 あなたのご家族や生活状況について

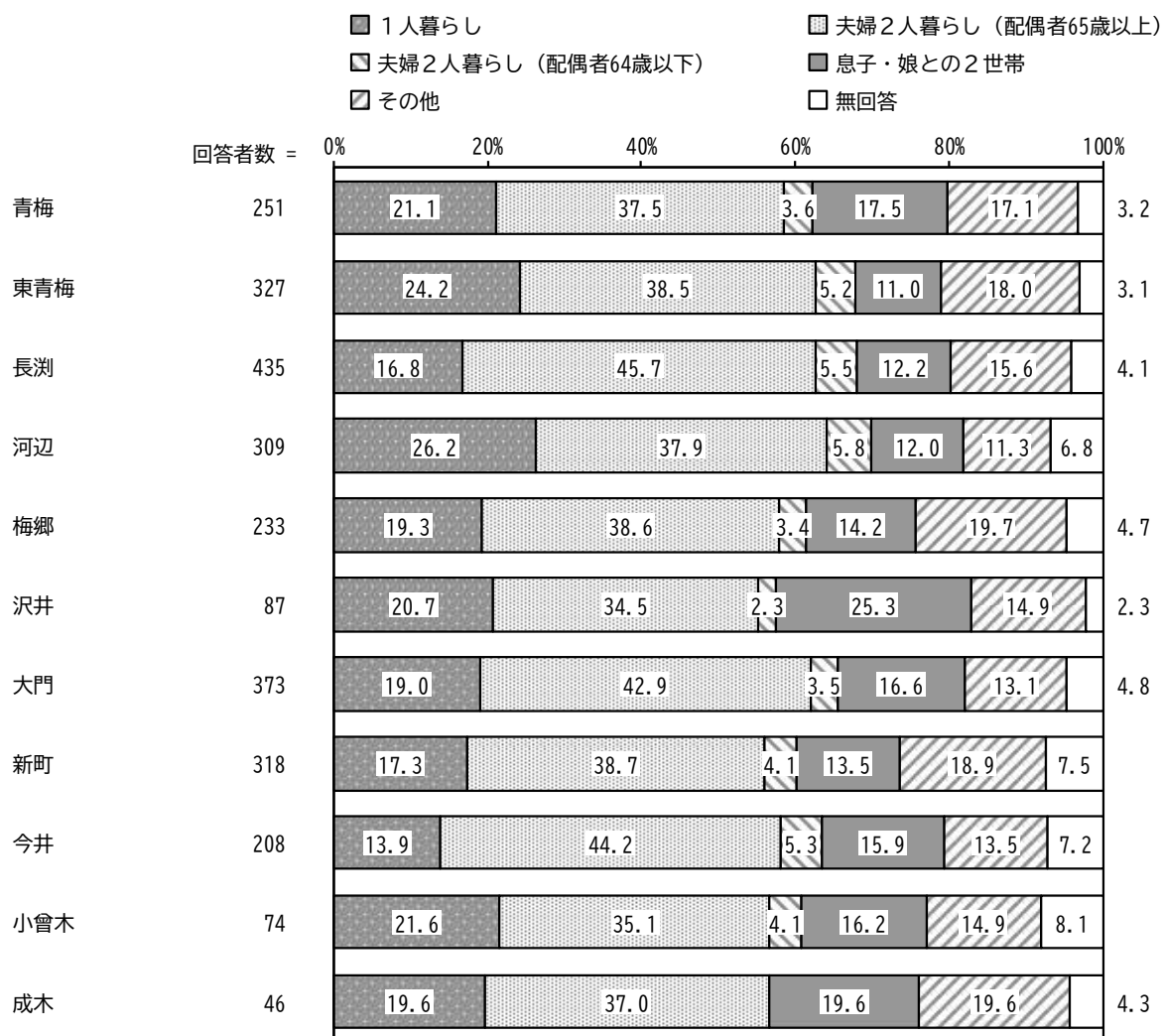
(1) 家族構成をお教えてください

「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」の割合が 40.3%と最も高く、次いで「1人暮らし」の割合が 19.9%、「息子・娘との2世帯」の割合が 14.5%となっています。



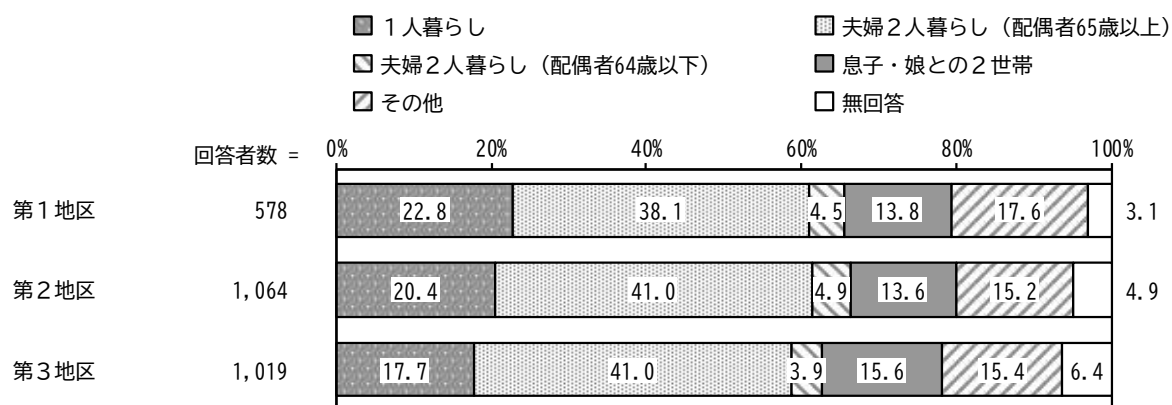
【地区別】

地区別にみると、河辺で「1人暮らし」、長湊で「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」、沢井で「息子・娘との2世帯」の割合が高くなっています。



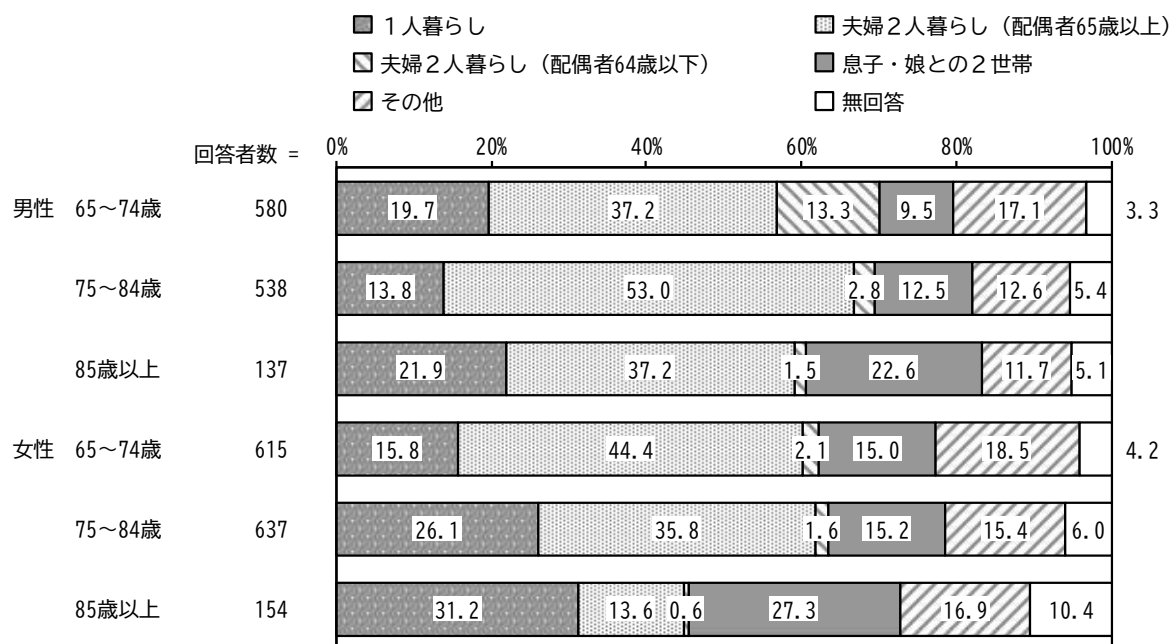
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



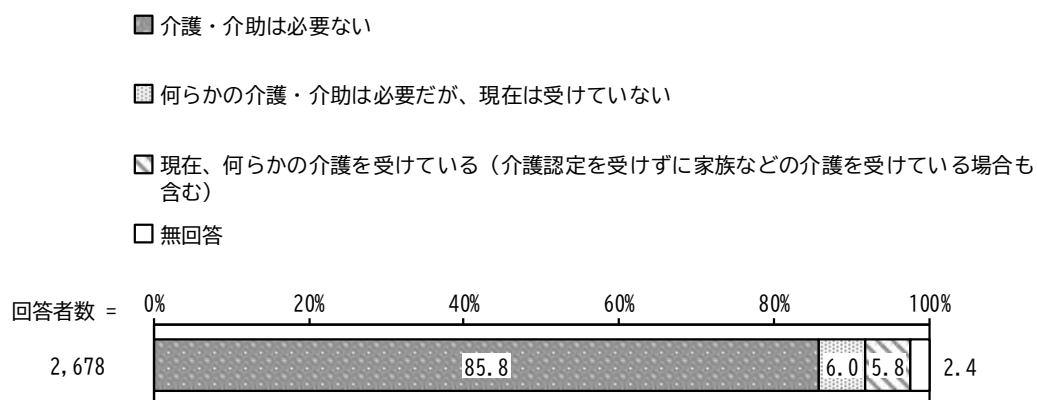
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「息子・娘との2世帯」の割合が高く、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」の割合が低く、女性では「1人暮らし」「息子・娘との2世帯」の割合が高く、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が低くなっています。



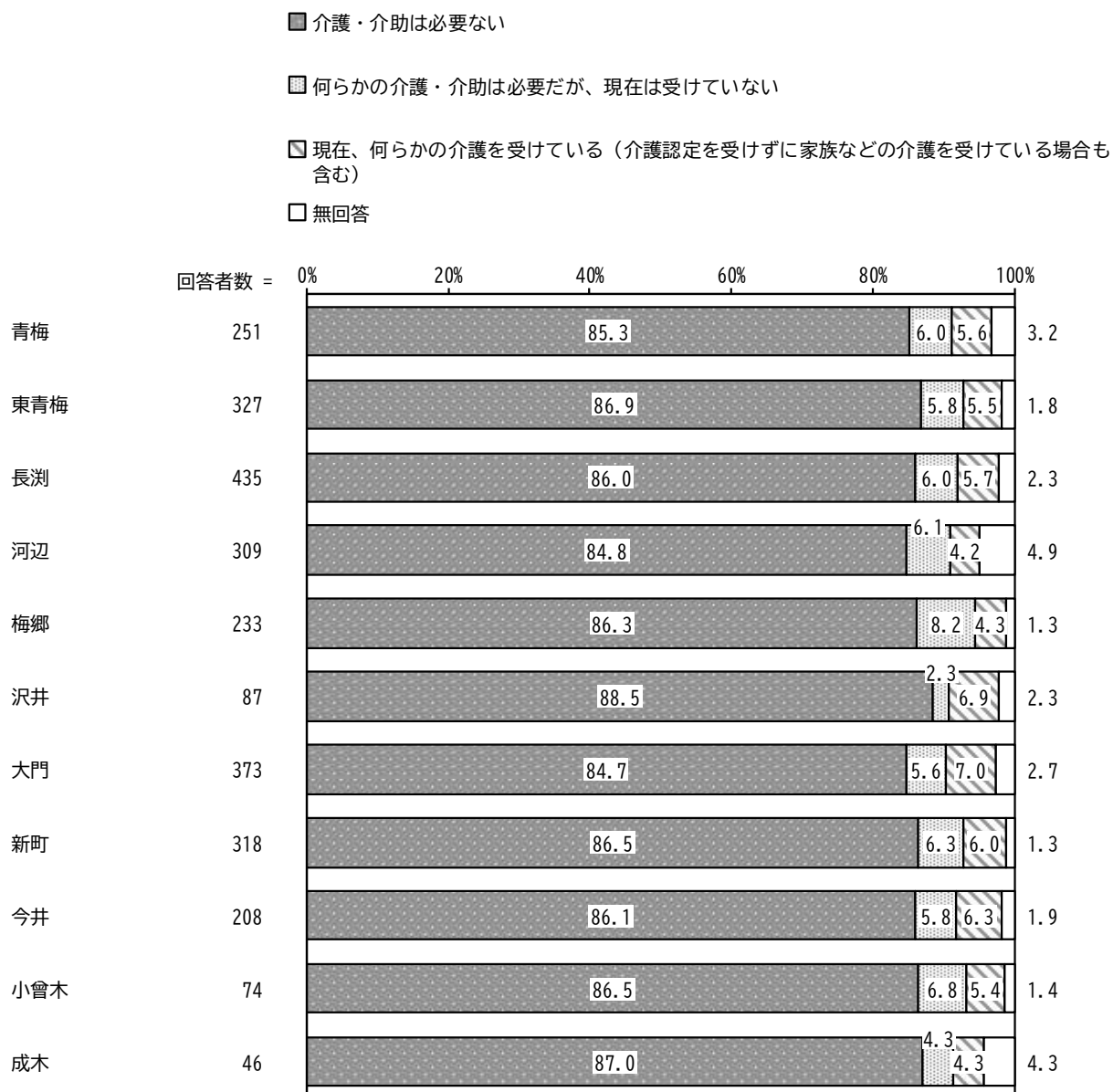
(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

「介護・介助は必要ない」の割合が85.8%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が6.0%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が5.8%となっています。



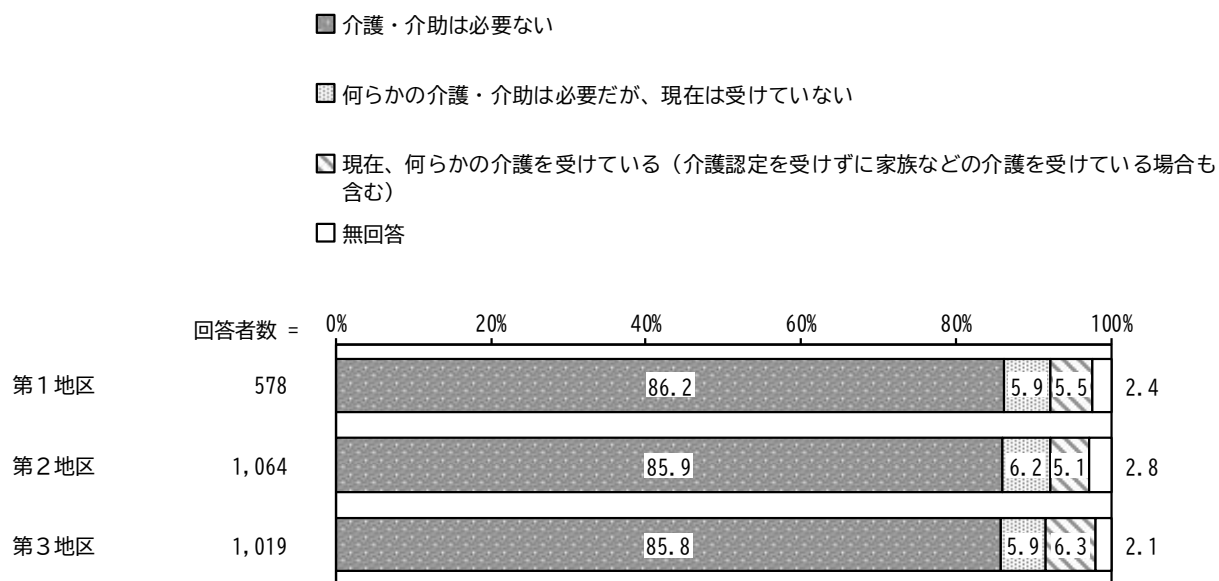
【地区別】

地区別にみると、大きな差はみられません。



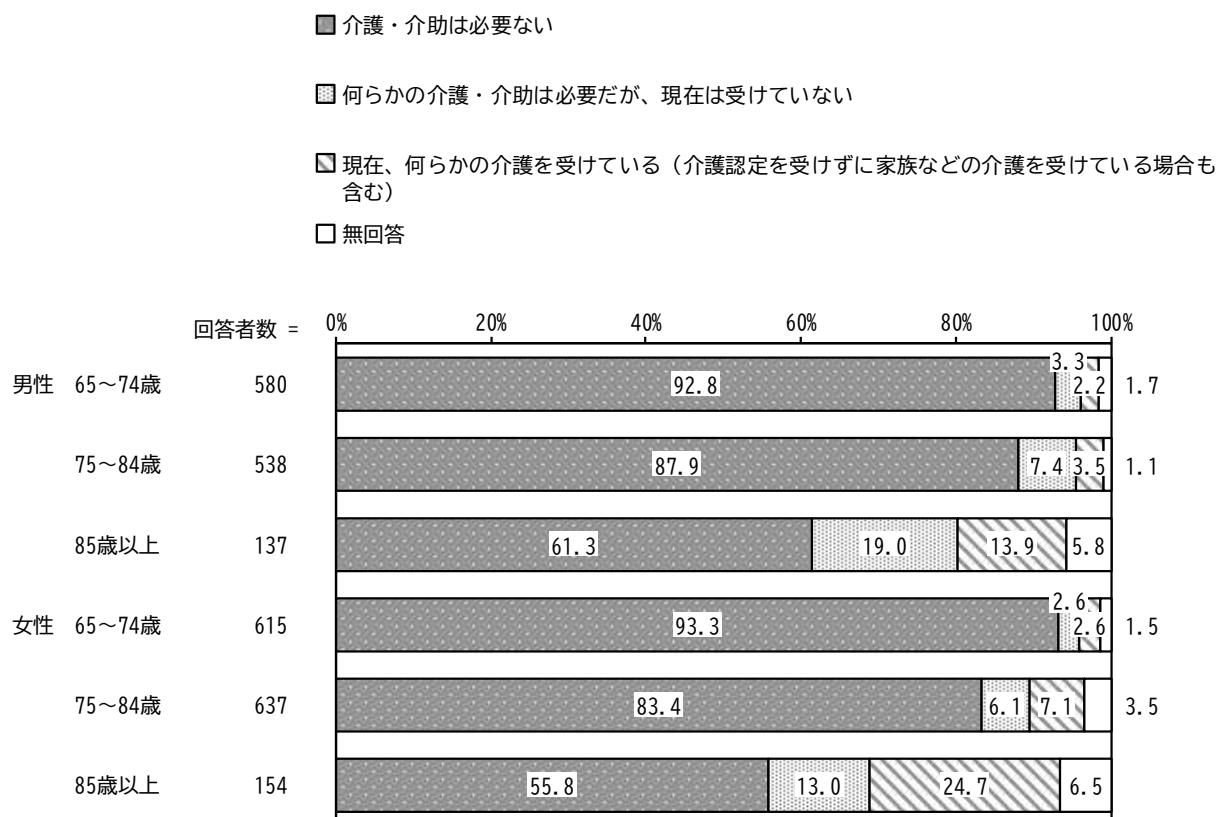
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が高く、「介護・介助は必要ない」の割合が低くなっています。

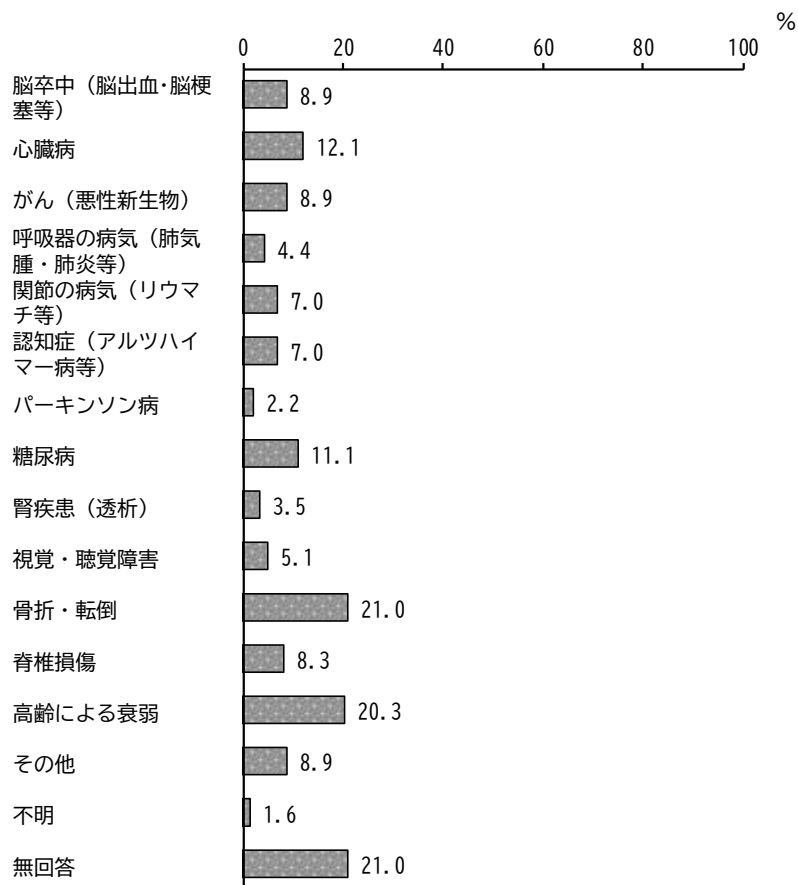


【(2) において「介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）

「骨折・転倒」の割合が 21.0%と最も高く、次いで「高齢による衰弱」の割合が 20.3%、「心臓病」の割合が 12.1%となっています。

回答者数 = 315



【地区別】

地区別にみると、新町で「糖尿病」、今井で「視覚・聴覚障害」、青梅で「骨折・転倒」「高齢による衰弱」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	脳卒中 (脳出血・脳 梗塞等)	心臓病	がん (悪性新生物)	呼吸器の病気 (肺炎等)	関節の病気 (リウマチ等)	認知症 (アルツハイ マー病等)	パーキンソン病	糖尿病
全 体	315	8.9	12.1	8.9	4.4	7.0	7.0	2.2	11.1
青梅	29	13.8	6.9	6.9	10.3	3.4	0.0	0.0	3.4
東青梅	37	10.8	16.2	10.8	0.0	16.2	10.8	0.0	5.4
長湊	51	3.9	7.8	3.9	2.0	3.9	7.8	2.0	7.8
河辺	32	18.8	9.4	6.3	6.3	6.3	12.5	3.1	15.6
梅郷	29	3.4	13.8	3.4	3.4	6.9	6.9	10.3	6.9
沢井	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	12.5
大門	47	4.3	17.0	12.8	6.4	6.4	12.8	0.0	14.9
新町	39	15.4	10.3	10.3	5.1	5.1	2.6	0.0	23.1
今井	25	8.0	20.0	16.0	8.0	8.0	0.0	4.0	12.0
小曾木	9	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1
成木	4	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

区分	腎疾患 (透析)	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
全 体	3.5	5.1	21.0	8.3	20.3	8.9	1.6	21.0
青梅	3.4	3.4	31.0	10.3	31.0	17.2	0.0	17.2
東青梅	0.0	5.4	18.9	13.5	16.2	10.8	0.0	13.5
長湊	3.9	7.8	21.6	3.9	19.6	5.9	3.9	27.5
河辺	6.3	3.1	6.3	3.1	25.0	9.4	0.0	28.1
梅郷	3.4	3.4	24.1	10.3	24.1	10.3	3.4	20.7
沢井	0.0	0.0	37.5	12.5	50.0	0.0	0.0	0.0
大門	0.0	4.3	23.4	12.8	19.1	6.4	2.1	19.1
新町	7.7	2.6	12.8	2.6	15.4	7.7	2.6	28.2
今井	4.0	16.0	20.0	4.0	8.0	12.0	0.0	16.0
小曾木	11.1	0.0	44.4	22.2	11.1	0.0	0.0	22.2
成木	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0

【圏域別】

圏域別にみると、第3地区で「糖尿病」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	脳卒中 (脳出血・脳 梗塞等)	心臓病	がん (悪性新生物)	呼吸器の病気 (肺炎等)	関節の病気 (リウマチ等)	認知症 (アルツハイ マー病等)	パーキンソン病	糖尿病
全 体	315	8.9	12.1	8.9	4.4	7.0	7.0	2.2	11.1
第1地区	66	12.1	12.1	9.1	4.5	10.6	6.1	0.0	4.5
第2地区	120	7.5	9.2	4.2	3.3	5.0	9.2	5.0	10.0
第3地区	124	8.9	15.3	12.1	5.6	6.5	5.6	0.8	16.1

区分	腎疾患 (透析)	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
全 体	3.5	5.1	21.0	8.3	20.3	8.9	1.6	21.0
第1地区	1.5	4.5	24.2	12.1	22.7	13.6	0.0	15.2
第2地区	4.2	5.0	19.2	5.8	24.2	7.5	2.5	24.2
第3地区	4.0	5.6	21.0	8.1	16.1	7.3	1.6	21.0

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「心臓病」の割合が高く、女性では年齢が下がるほど「関節の病気（リウマチ等）」の割合が高くなっています。また、女性 65～74 歳で「糖尿病」、女性 85 歳以上で「骨折・転倒」「高齢による衰弱」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	脳卒中 (脳出血・脳 梗塞等)	心臓病	がん (悪性新生物)	呼吸器の病気 (肺炎等)	関節の病気 (リウマ チ等)	認知症 (アルツハイ マー病等)	パーキンソン病	糖尿病
全 体	315	8.9	12.1	8.9	4.4	7.0	7.0	2.2	11.1
男性 65～74歳	32	15.6	6.3	6.3	3.1	0.0	9.4	0.0	15.6
75～84歳	59	16.9	16.9	22.0	11.9	5.1	11.9	5.1	8.5
85歳以上	45	6.7	17.8	0.0	2.2	4.4	2.2	0.0	11.1
女性 65～74歳	32	9.4	6.3	12.5	3.1	12.5	9.4	9.4	25.0
75～84歳	84	4.8	11.9	4.8	4.8	10.7	7.1	1.2	7.1
85歳以上	58	5.2	10.3	5.2	0.0	5.2	3.4	0.0	10.3

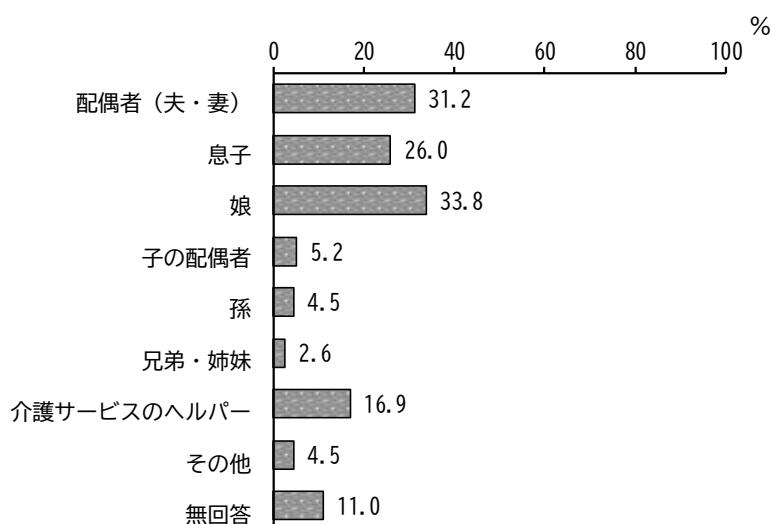
区分	腎疾患 (透析)	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
全 体	3.5	5.1	21.0	8.3	20.3	8.9	1.6	21.0
男性 65～74歳	6.3	15.6	12.5	9.4	12.5	18.8	3.1	25.0
75～84歳	8.5	3.4	15.3	8.5	18.6	3.4	1.7	16.9
85歳以上	4.4	4.4	13.3	11.1	24.4	8.9	2.2	24.4
女性 65～74歳	0.0	0.0	18.8	6.3	6.3	18.8	0.0	12.5
75～84歳	1.2	4.8	26.2	9.5	17.9	7.1	1.2	23.8
85歳以上	1.7	5.2	31.0	3.4	36.2	5.2	1.7	20.7

【(2) において「現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

②主にどなたの介護、介助を受けていますか（いくつでも）

「娘」の割合が 33.8%と最も高く、次いで「配偶者（夫・妻）」の割合が 31.2%、「息子」の割合が 26.0%となっています。

回答者数 = 154



【地区別】

地区別にみると、今井で「配偶者（夫・妻）」、大門で「息子」、梅郷で「子の配偶者」「介護サービスのヘルパー」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答
全 体	154	31.2	26.0	33.8	5.2	4.5	2.6	16.9	4.5	11.0
青梅	14	35.7	28.6	35.7	7.1	0.0	0.0	7.1	7.1	7.1
東青梅	18	38.9	38.9	38.9	0.0	11.1	0.0	22.2	0.0	5.6
長淵	25	32.0	24.0	32.0	8.0	4.0	8.0	20.0	4.0	16.0
河辺	13	23.1	7.7	23.1	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0	30.8
梅郷	10	30.0	20.0	30.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0
沢井	6	50.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0
大門	26	23.1	42.3	34.6	3.8	7.7	3.8	19.2	3.8	7.7
新町	19	21.1	21.1	42.1	0.0	10.5	0.0	0.0	10.5	21.1
今井	13	53.8	23.1	23.1	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7
小曾木	4	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0
成木	2	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0

【圏域別】

圏域別にみると、第1地区で「配偶者（夫・妻）」「息子」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答
全 体	154	31.2	26.0	33.8	5.2	4.5	2.6	16.9	4.5	11.0
第1地区	32	37.5	34.4	37.5	3.1	6.3	0.0	15.6	3.1	6.3
第2地区	54	31.5	16.7	27.8	9.3	1.9	5.6	20.4	3.7	14.8
第3地区	64	29.7	29.7	37.5	1.6	6.3	1.6	12.5	6.3	10.9

【性・年齢別】

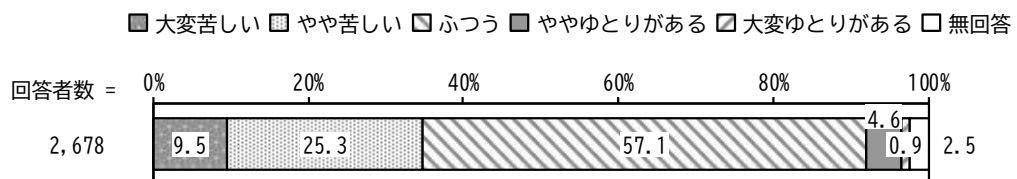
性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「息子」「娘」の割合が高く、女性では「息子」「娘」「孫」の割合が高く、「配偶者（夫・妻）」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	介護サ ービスの へ	その他	無回 答
全 体	154	31.2	26.0	33.8	5.2	4.5	2.6	16.9	4.5	11.0
男性 65～74歳	13	46.2	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	23.1	15.4	7.7
75～84歳	19	63.2	15.8	10.5	0.0	0.0	0.0	15.8	5.3	15.8
85歳以上	19	42.1	21.1	47.4	0.0	5.3	0.0	21.1	0.0	10.5
女性 65～74歳	16	37.5	25.0	25.0	6.3	0.0	0.0	0.0	12.5	18.8
75～84歳	45	24.4	28.9	35.6	2.2	2.2	4.4	13.3	0.0	17.8
85歳以上	38	13.2	39.5	52.6	10.5	13.2	5.3	21.1	5.3	0.0

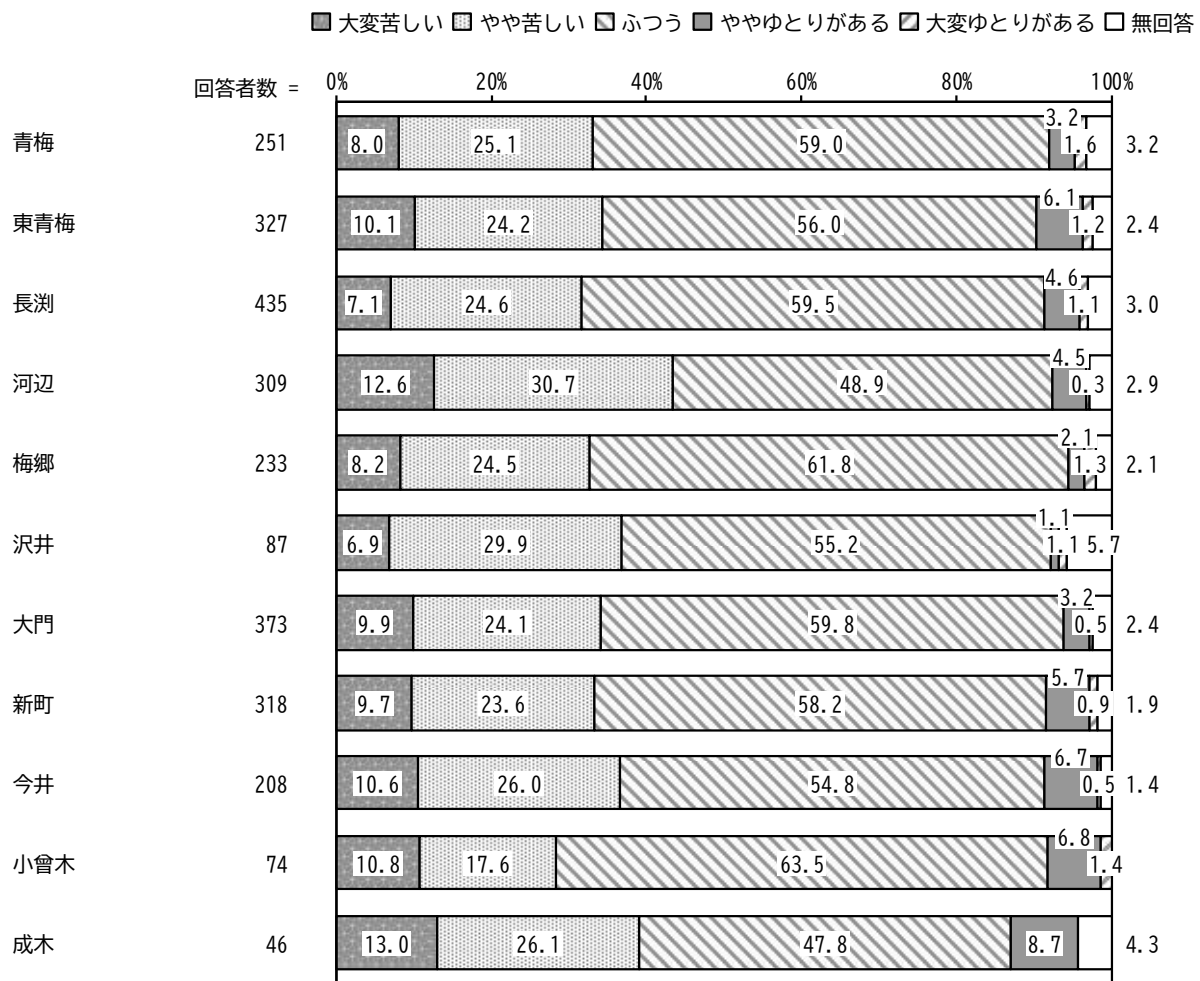
(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた“苦しい”の割合が34.8%、「ややゆとりがある」「大変ゆとりがある」を合わせた“ゆとりがある”の割合が5.5%となっています。



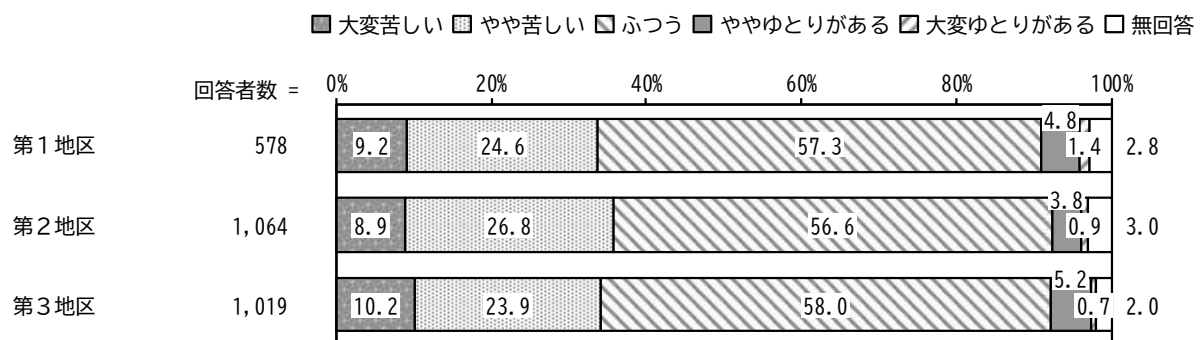
【地区別】

地区別にみると、河辺で“苦しい”の割合が高くなっています。



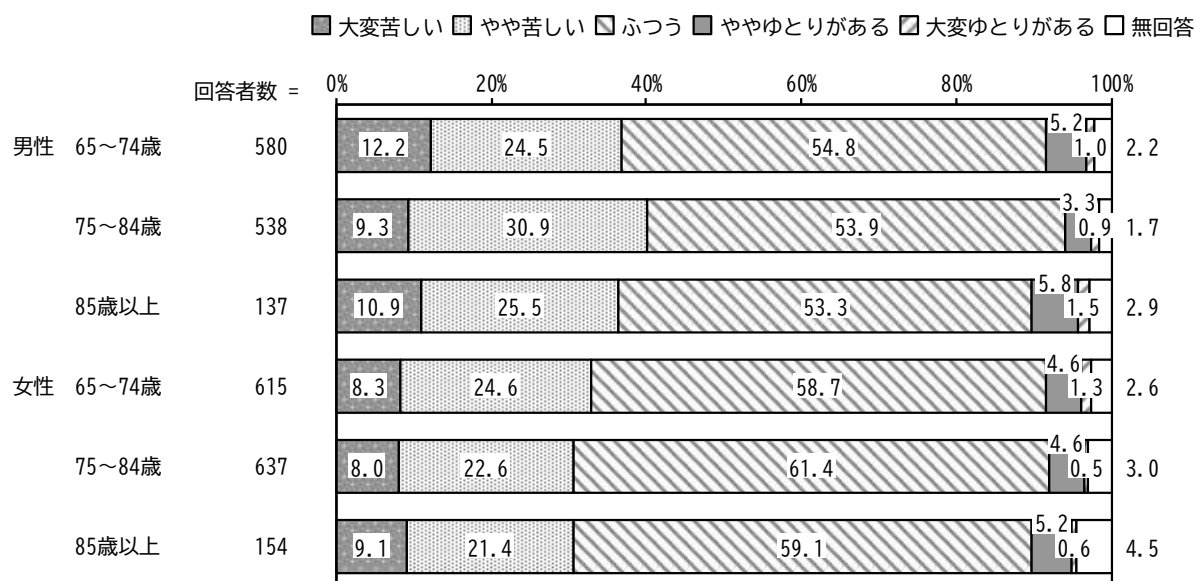
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



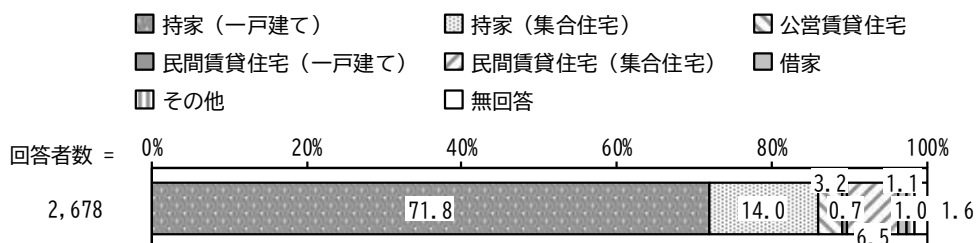
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性 75～84 歳で“苦しい”の割合が高くなっています。



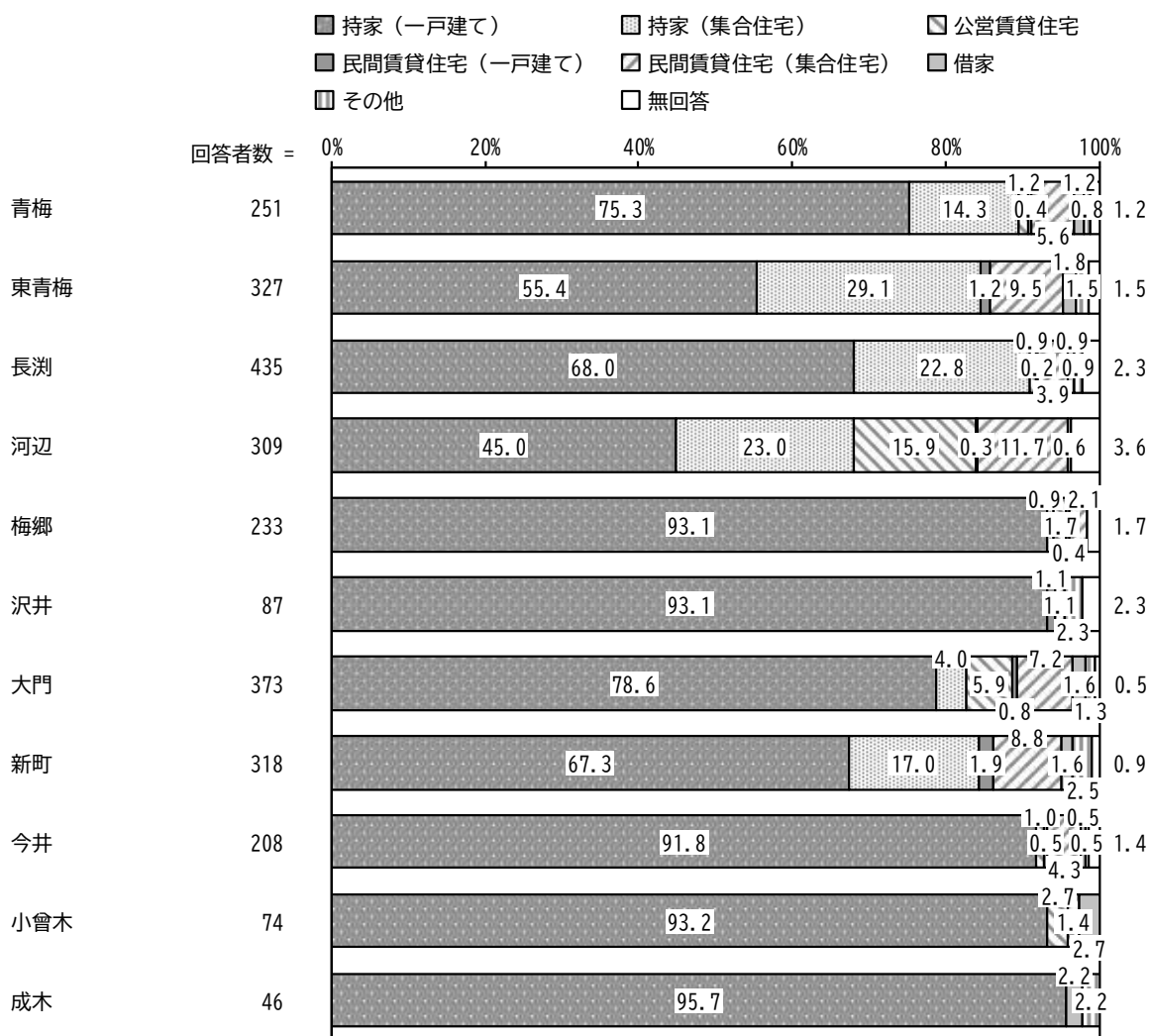
（４）お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

「持家（一戸建て）」の割合が 71.8%と最も高く、次いで「持家（集合住宅）」の割合が 14.0%となっています。



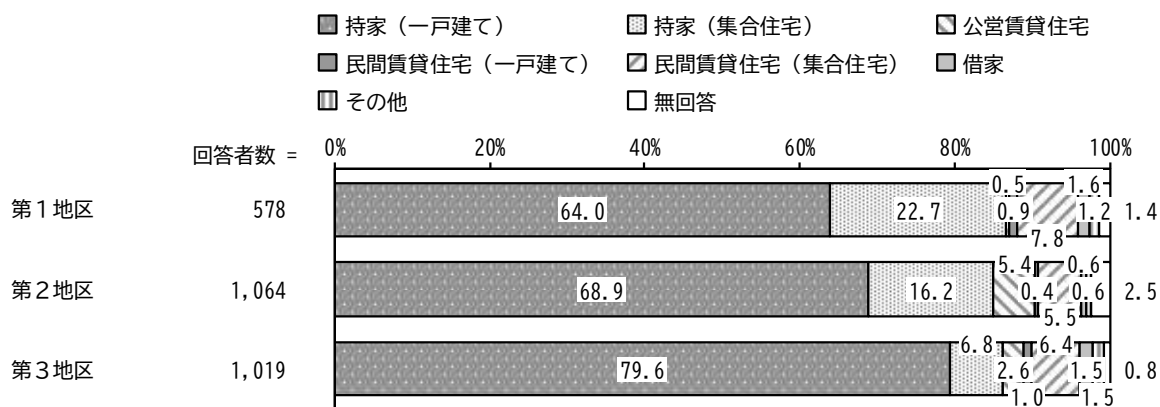
【地区別】

地区別にみると、梅郷、沢井、小曾木、成木で「持家（一戸建て）」、東青梅で「持家（集合住宅）」、河辺で「公営賃貸住宅」の割合が高くなっています。



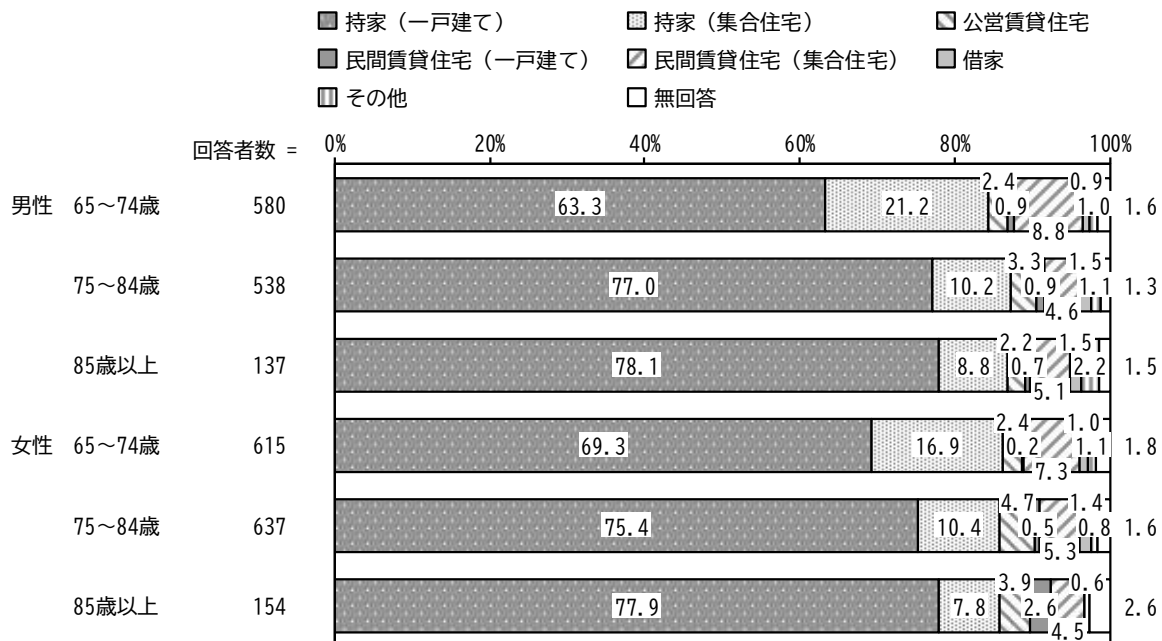
【圏域別】

圏域別にみると、第3地区で「持家（一戸建て）」、第1地区で「持家（集合住宅）」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

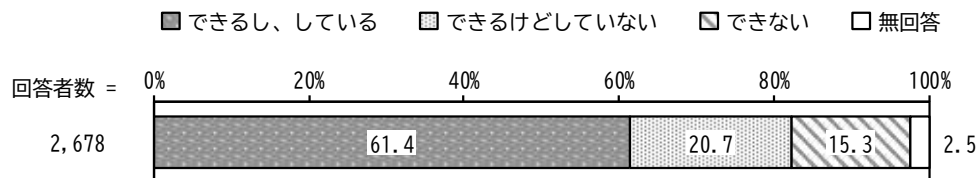
性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「持家（一戸建て）」の割合が高く、「持家（集合住宅）」の割合が低くなっています。



問2 からだを動かすことについて

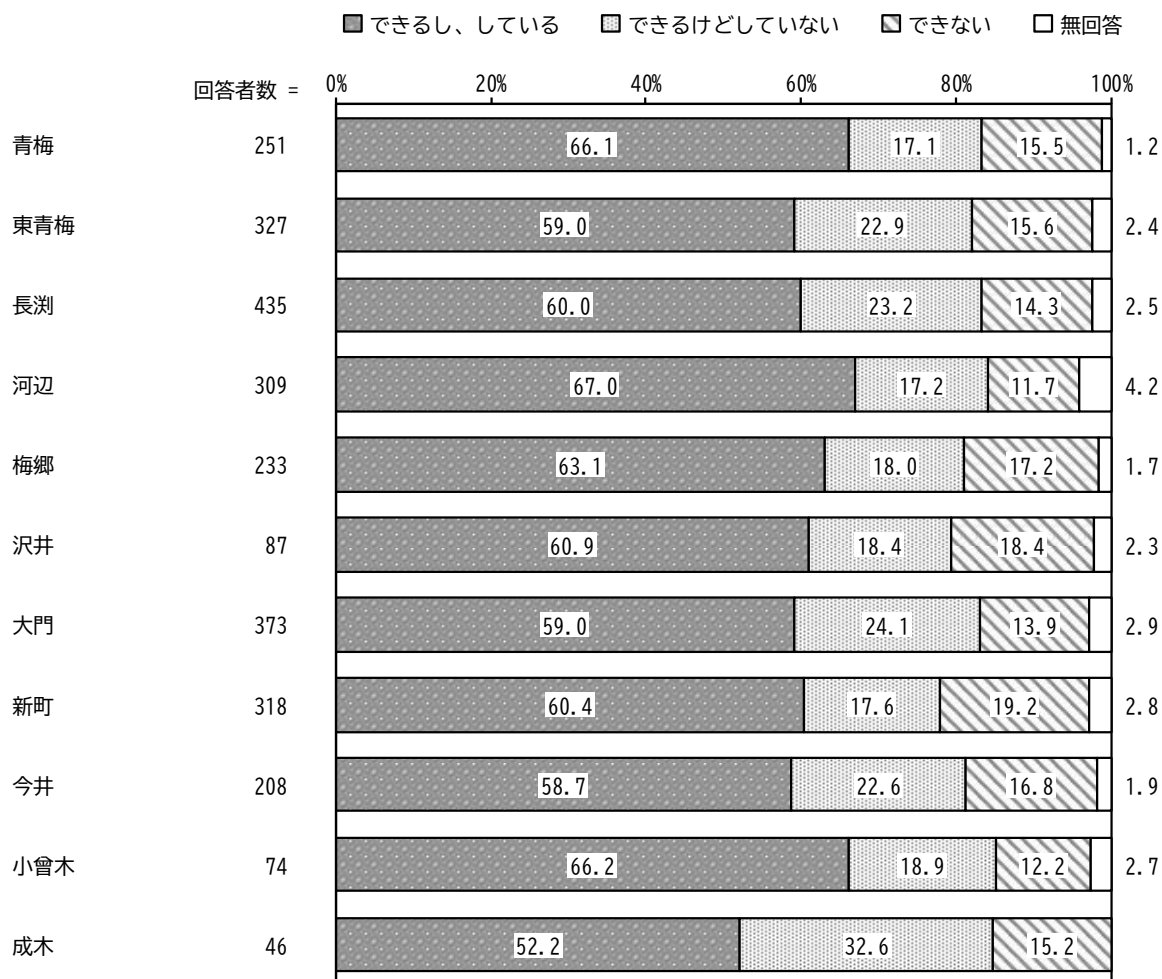
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

「できるし、している」の割合が61.4%、「できるけどしていない」の割合が20.7%、「できない」の割合が15.3%となっています。



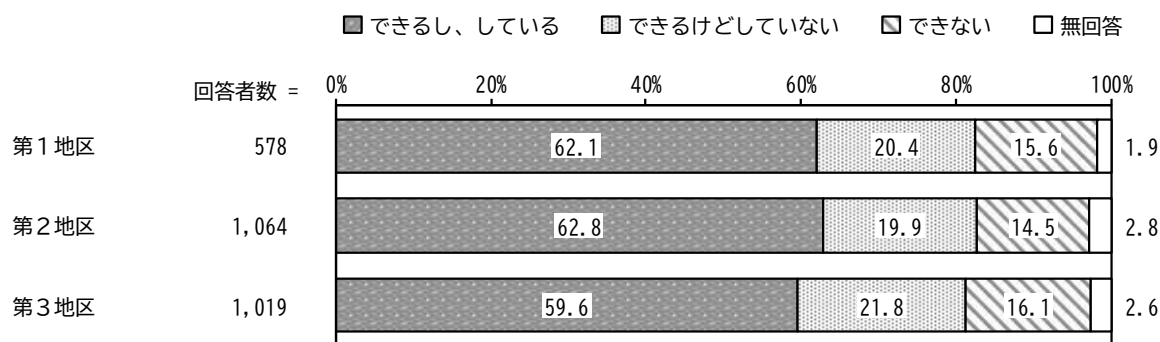
【地区別】

地区別にみると、河辺で「できるし、している」、成木で「できるけどしていない」の割合が高くなっています。



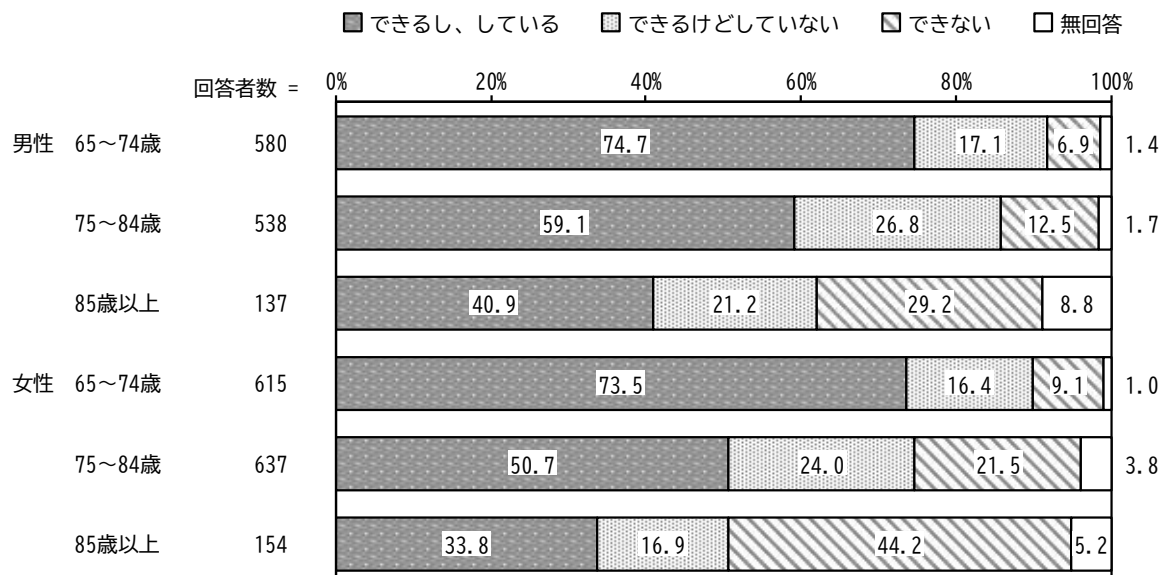
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



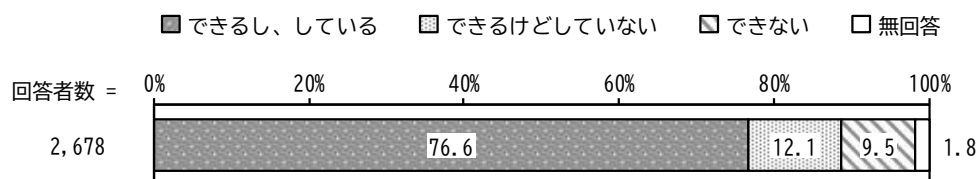
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「できない」の割合が高く、「できるし、している」の割合が低くなっています。



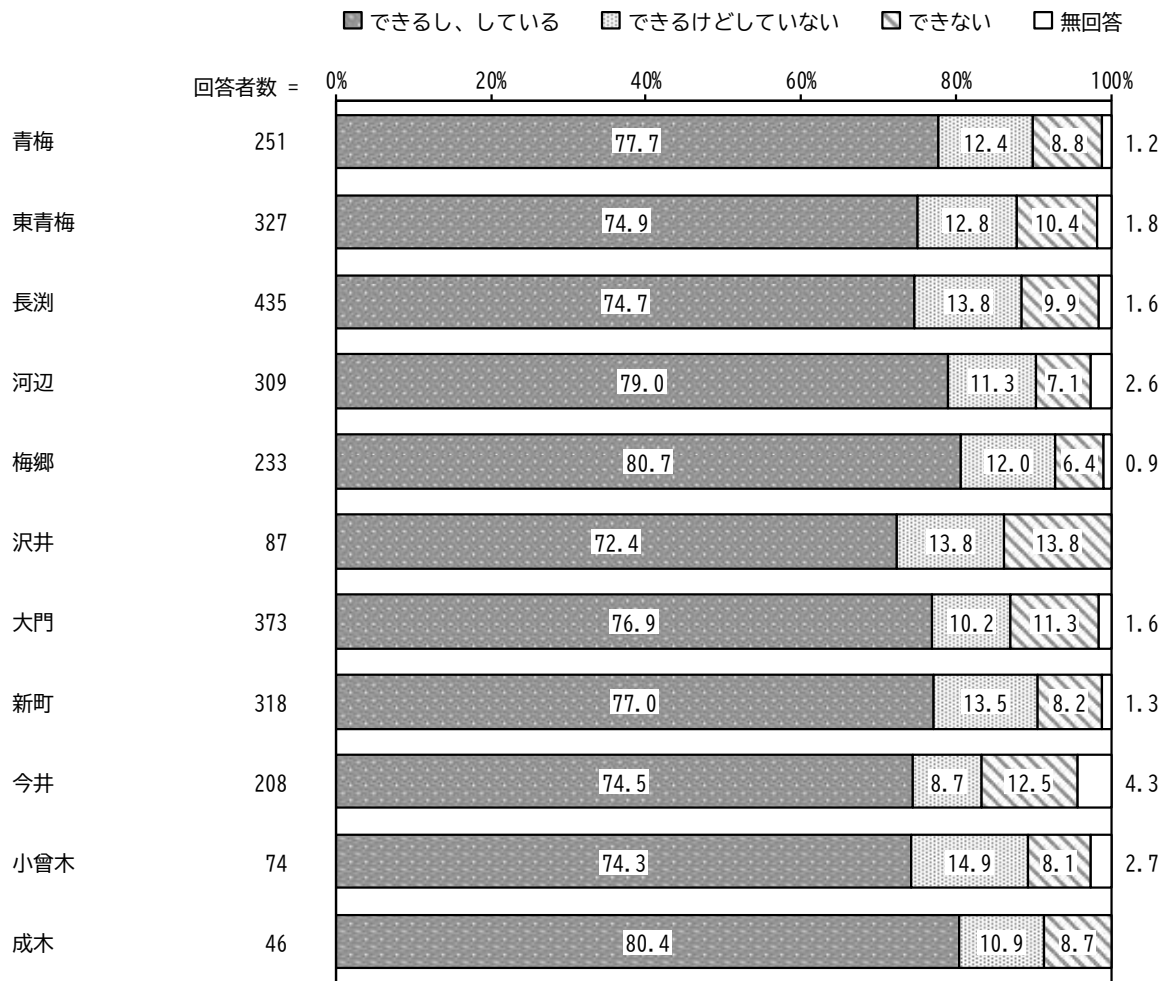
（２）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

「できるし、している」の割合が76.6%、「できるけどしていない」の割合が12.1%、「できない」の割合が9.5%となっています。



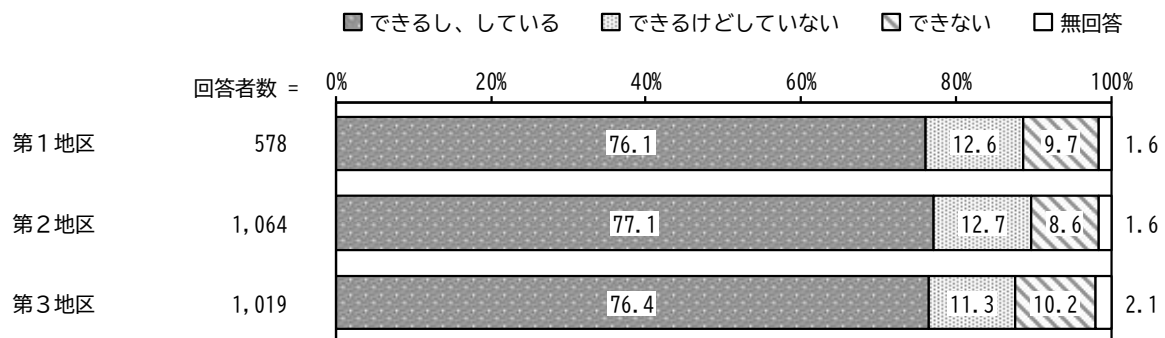
【地区別】

地区別にみると、大きな差はみられません。



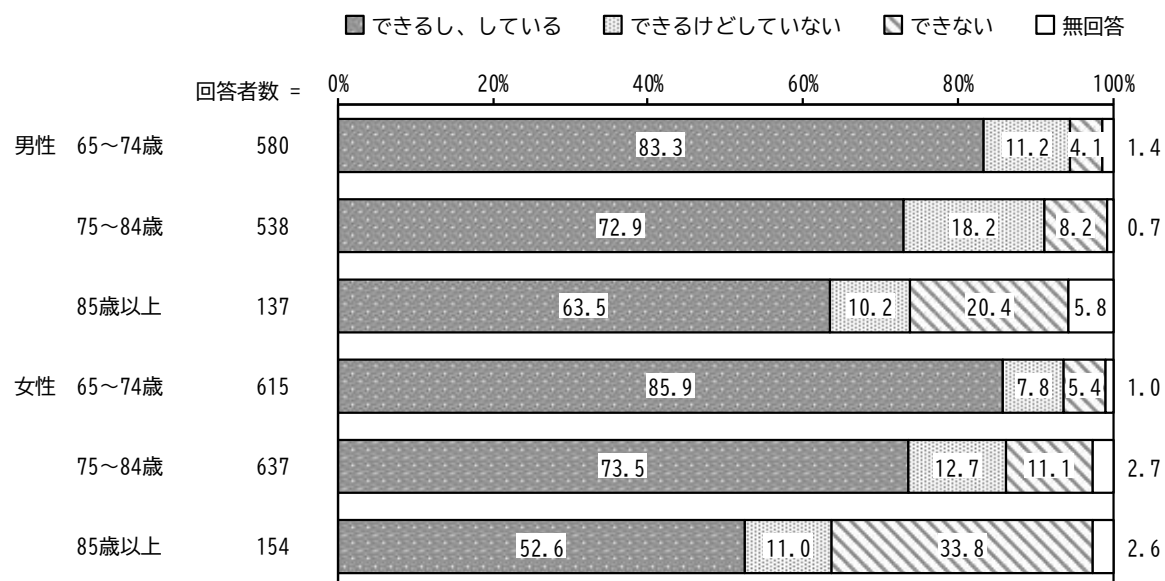
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



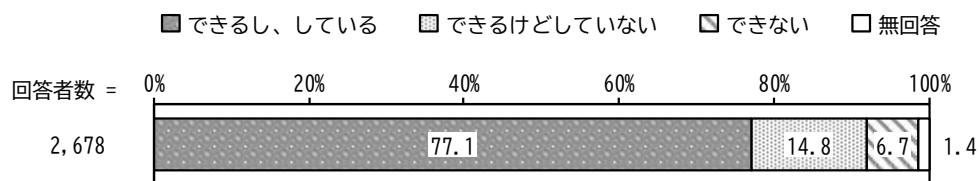
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「できない」の割合が高く、「できるし、している」の割合が低くなっています。



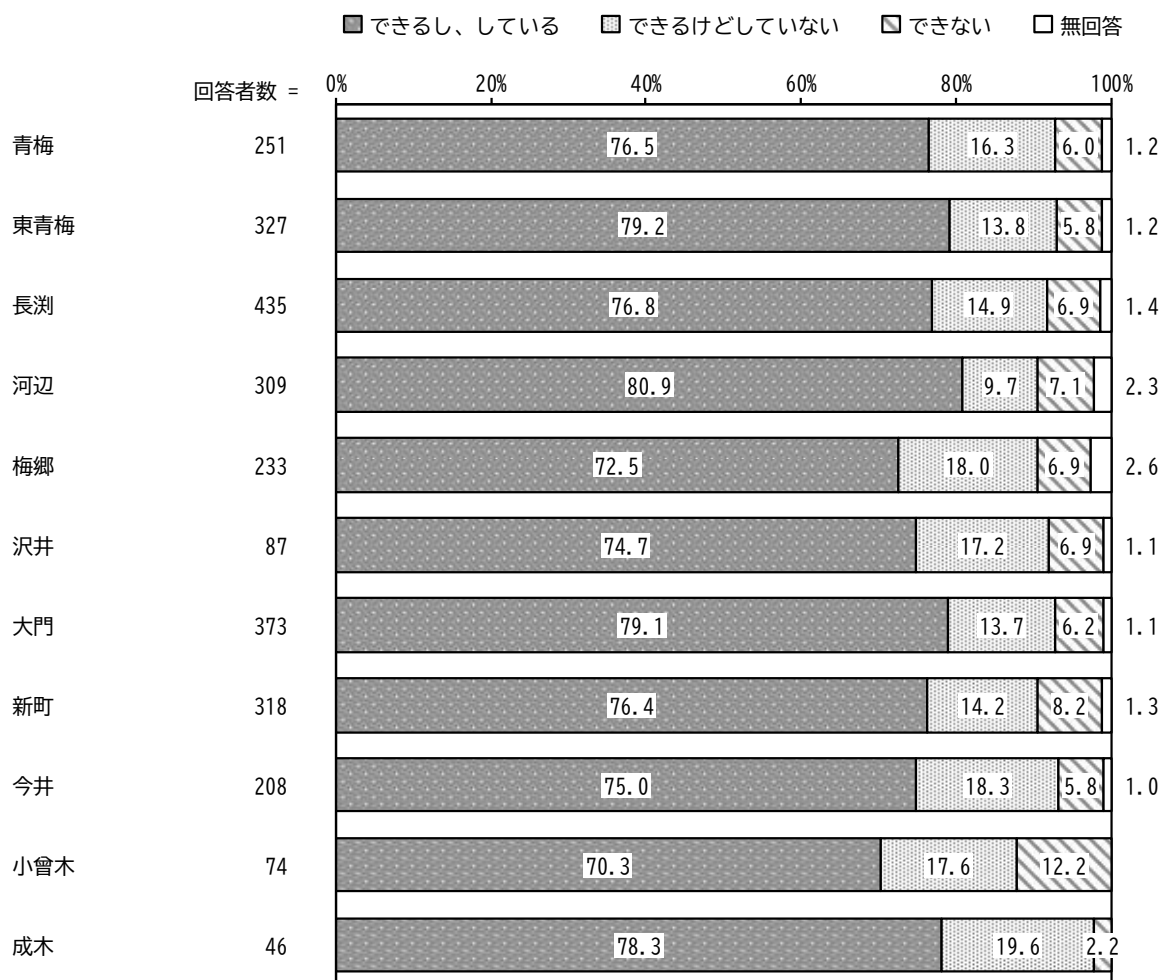
(3) 15分位続けて歩いていますか

「できるし、している」の割合が77.1%、「できるけどしていない」の割合が14.8%、「できない」の割合が6.7%となっています。



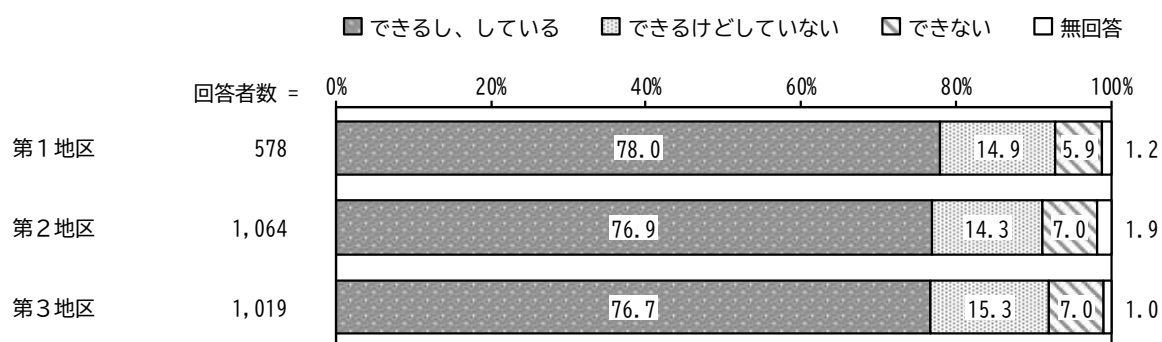
【地区別】

地区別にみると、小曾木で「できない」の割合が高く、小曾木で「できるし、している」、河辺で「できるけどしていない」の割合が低くなっています。



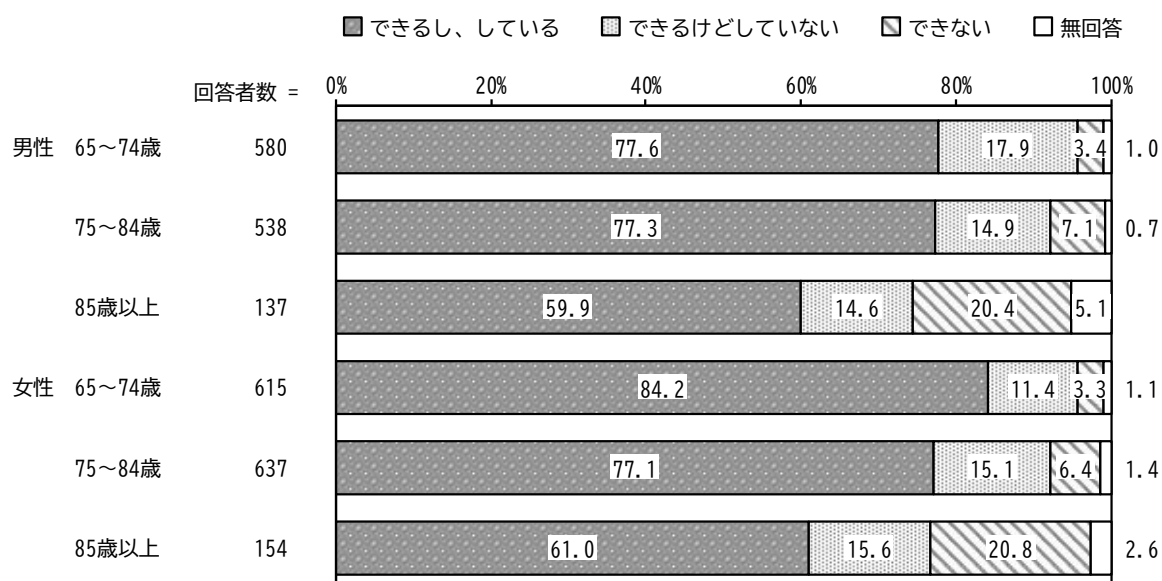
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



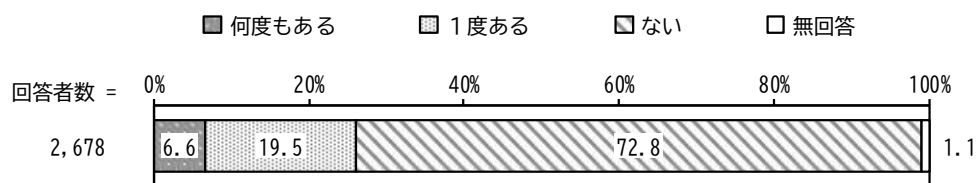
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「できるし、している」の割合が低く、男性では「できない」の割合が高く、女性では「できるけどしていない」「できない」の割合が高くなっています。



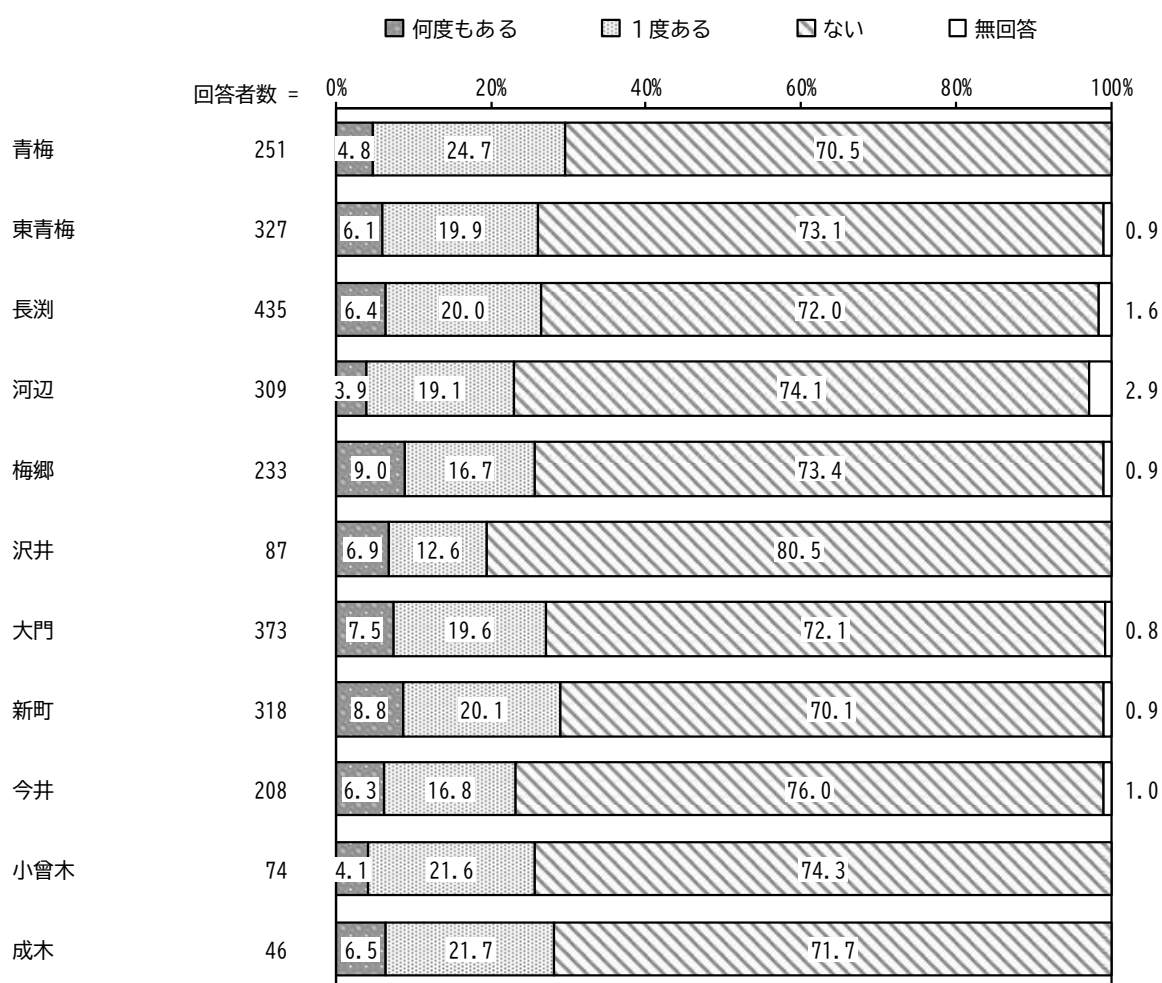
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

「何でもある」の割合が6.6%、「1度ある」の割合が19.5%、「ない」の割合が72.8%となっています。



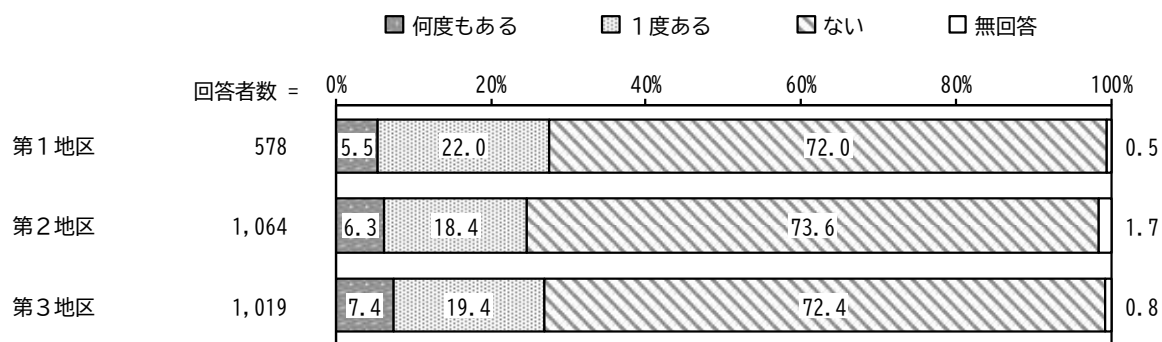
【地区別】

地区別にみると、青梅で「1度ある」、沢井で「ない」の割合が高くなっています。



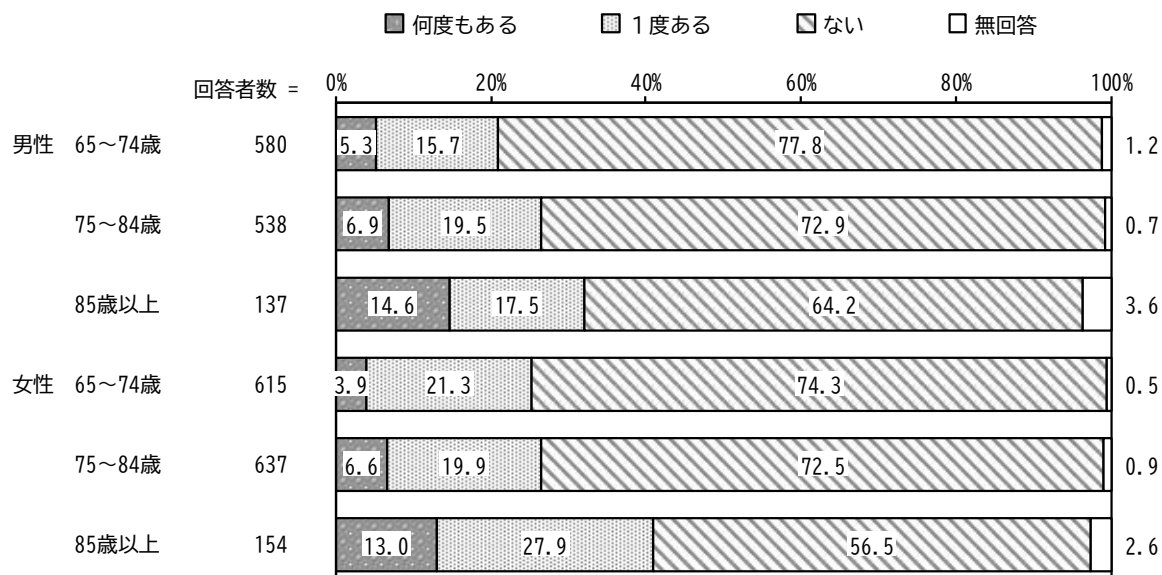
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



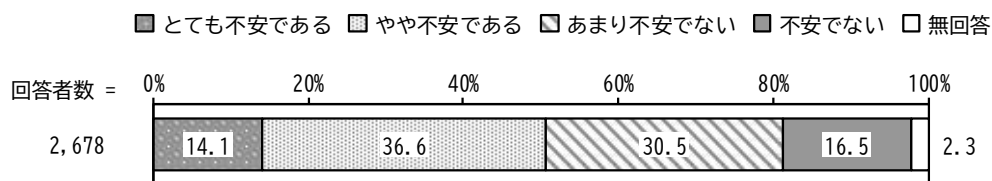
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「何でもある」の割合が高く、「ない」の割合が低くなっています。



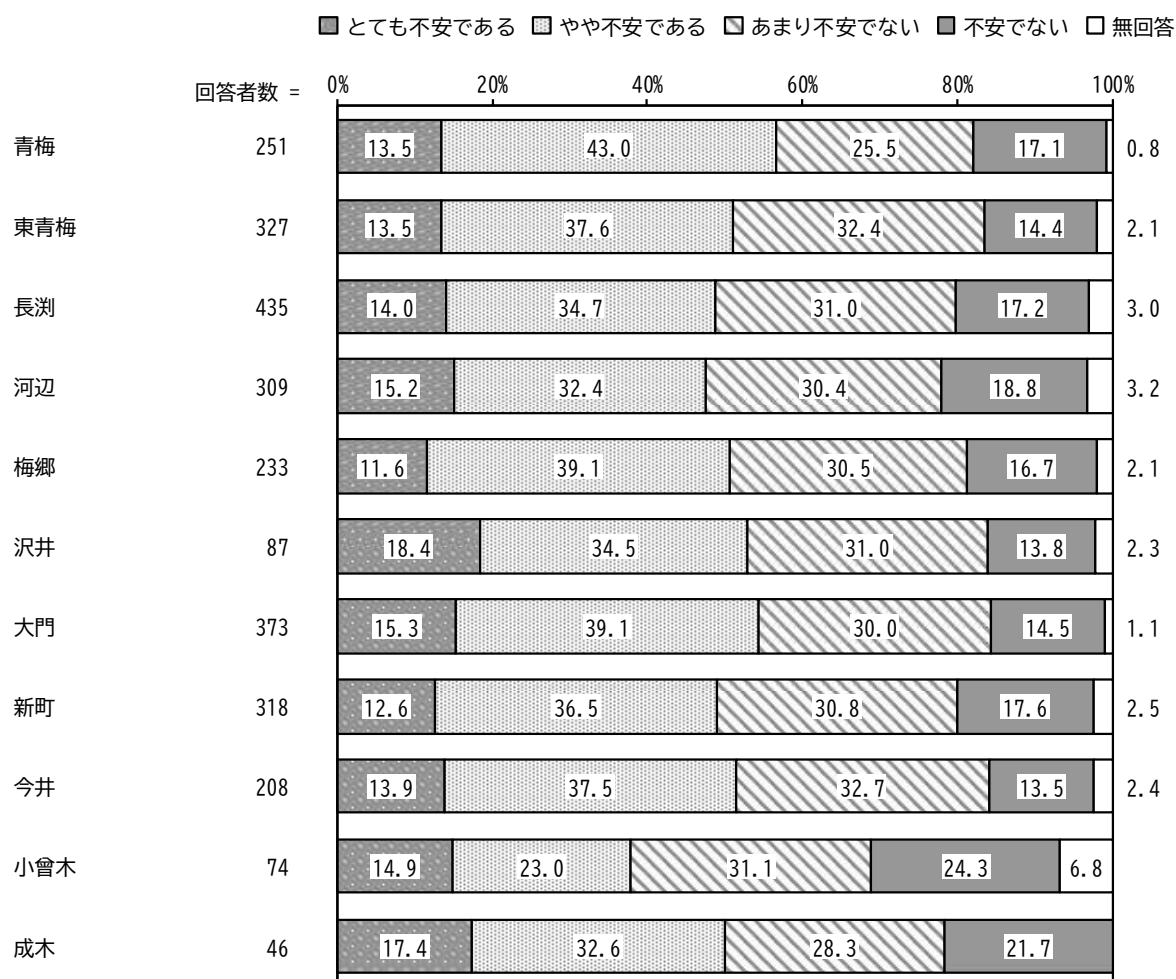
(5) 転倒に対する不安は大きいですか

「とても不安である」「やや不安である」を合わせた“不安である”の割合が50.7%、「あまり不安でない」「不安でない」を合わせた“不安でない”の割合が47.0%となっています。



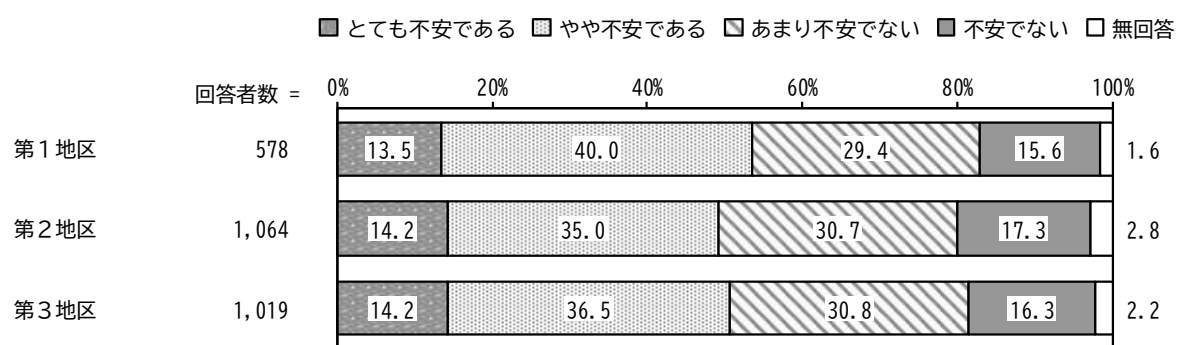
【地区別】

地区別にみると、小曾木で“不安である”の割合が低くなっています。



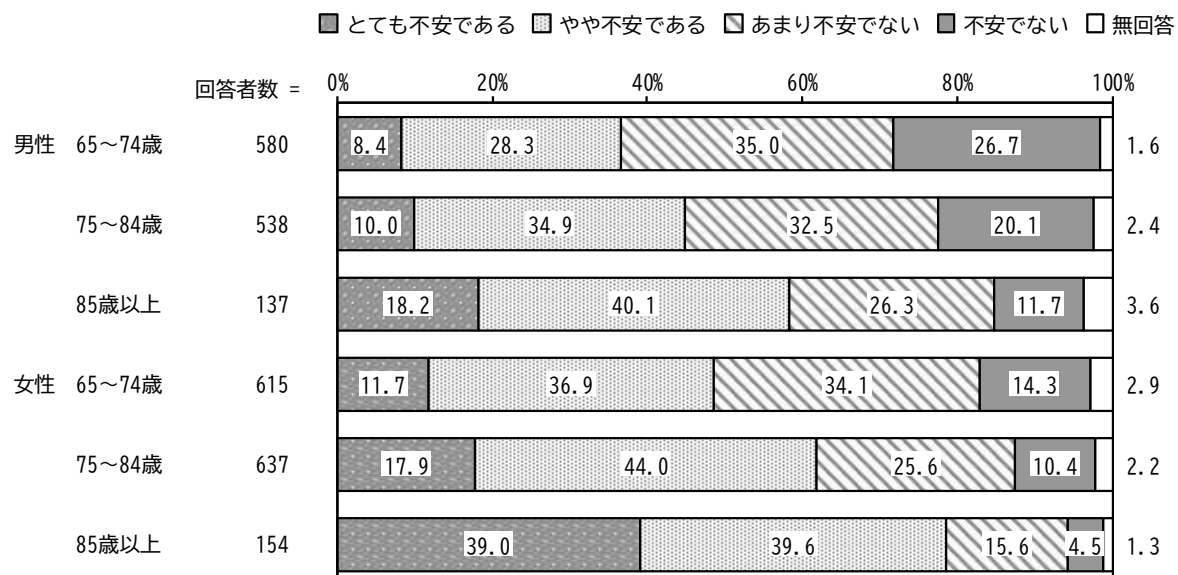
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



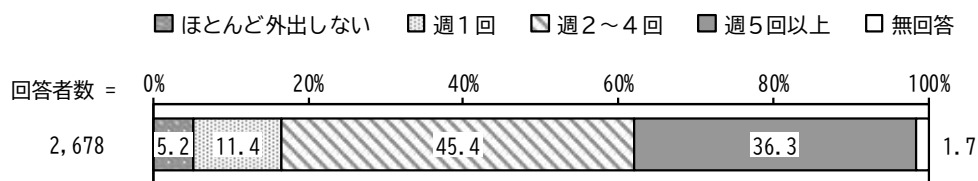
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど“不安である”の割合が高くなっています。また、女性85歳以上で「とても不安である」、男性65～74歳で「不安でない」の割合が高くなっています。



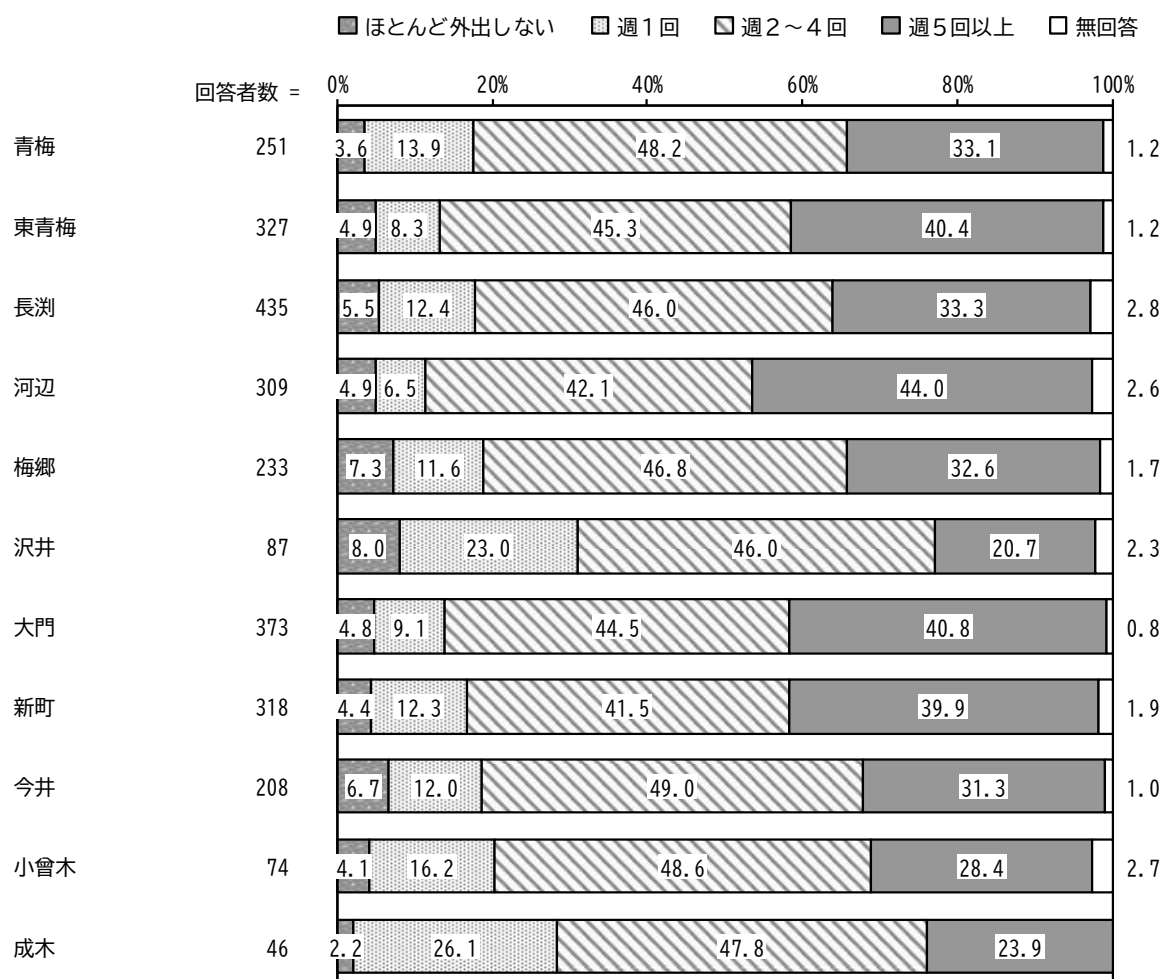
(6) 週に1回以上は外出していますか

「週2～4回」の割合が45.4%と最も高く、次いで「週5回以上」の割合が36.3%、「週1回」の割合が11.4%となっています。



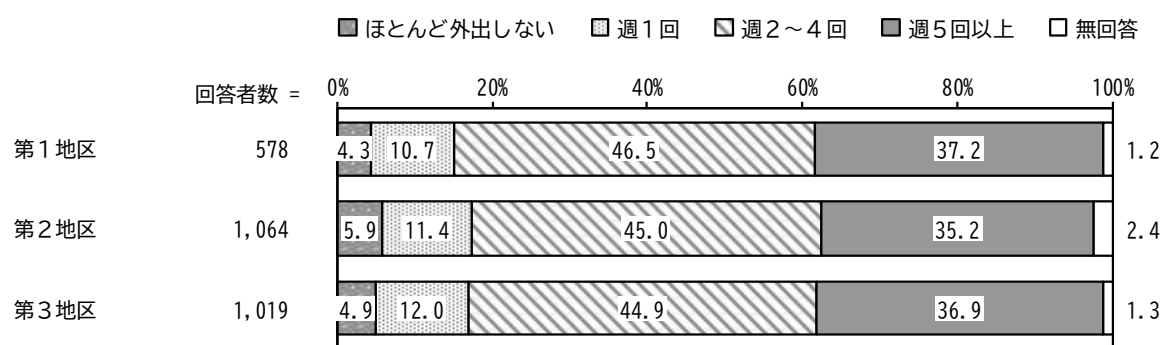
【地区別】

地区別にみると、成木で「週1回」の割合が高く、沢井で「週5回以上」の割合が低くなっています。



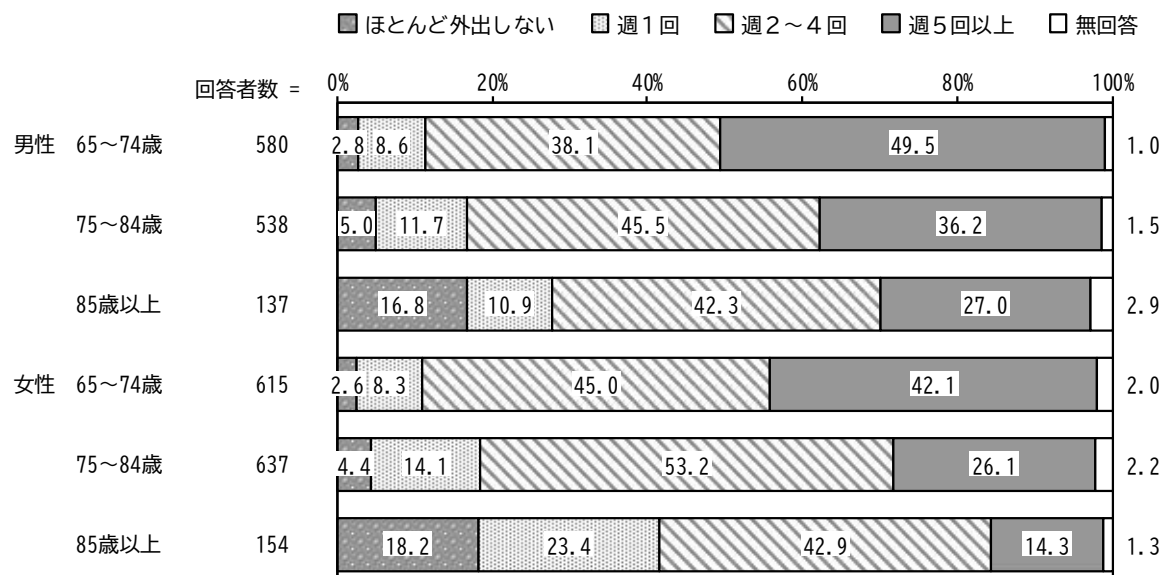
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



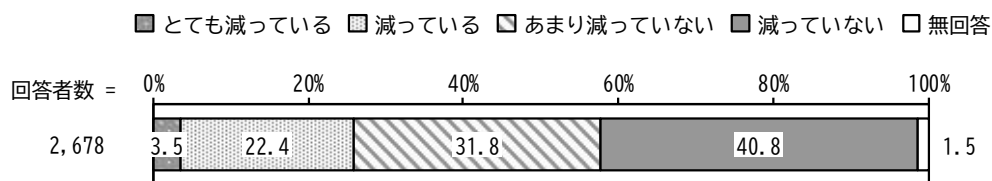
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「週5回以上」の割合が低く、男性では「ほとんど外出しない」の割合が高く、女性では「ほとんど外出しない」「週1回」の割合が高くなっています。



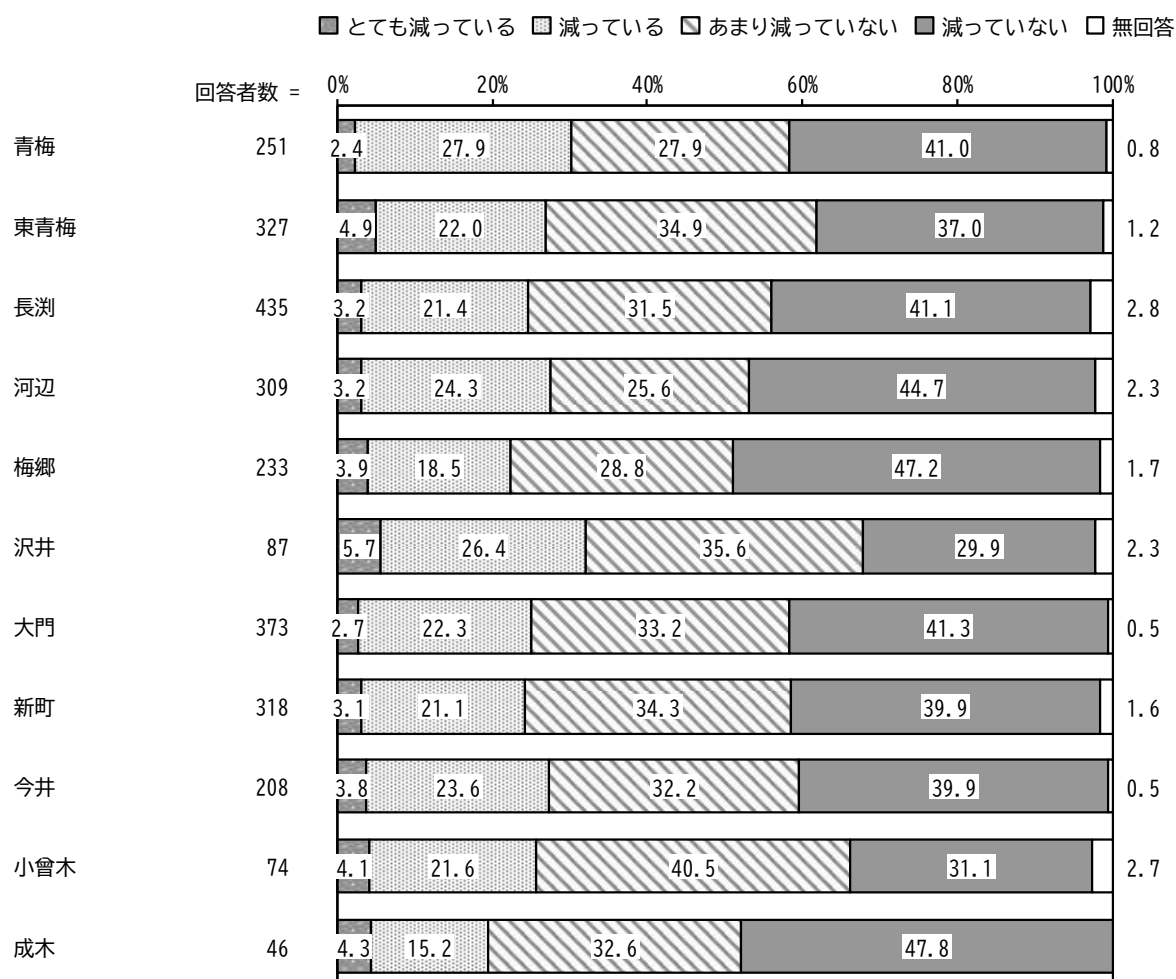
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

「とても減っている」「減っている」を合わせた“減っている”の割合が25.9%、「あまり減っていない」「減っていない」を合わせた“減っていない”の割合が72.6%となっています。



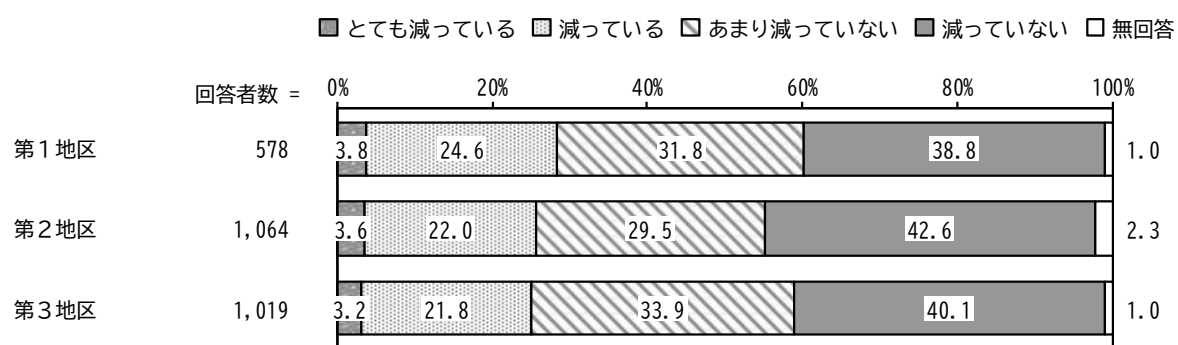
【地区別】

地区別にみると、沢井で“減っている”、成木で“減っていない”の割合が高くなっています。



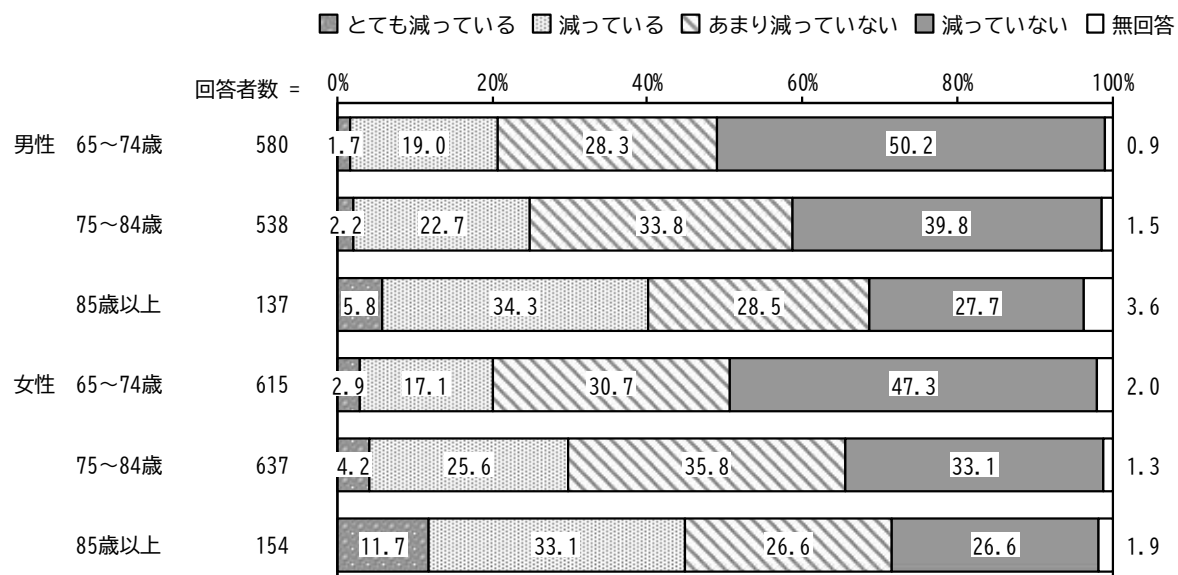
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



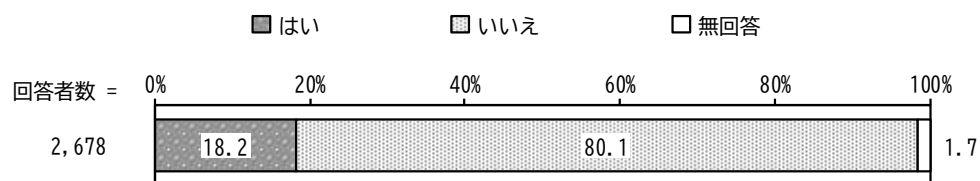
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど“減っている”の割合が高くなっています。また、女性85歳以上で「減っている」の割合が高く、「減っていない」の割合が低くなっています。



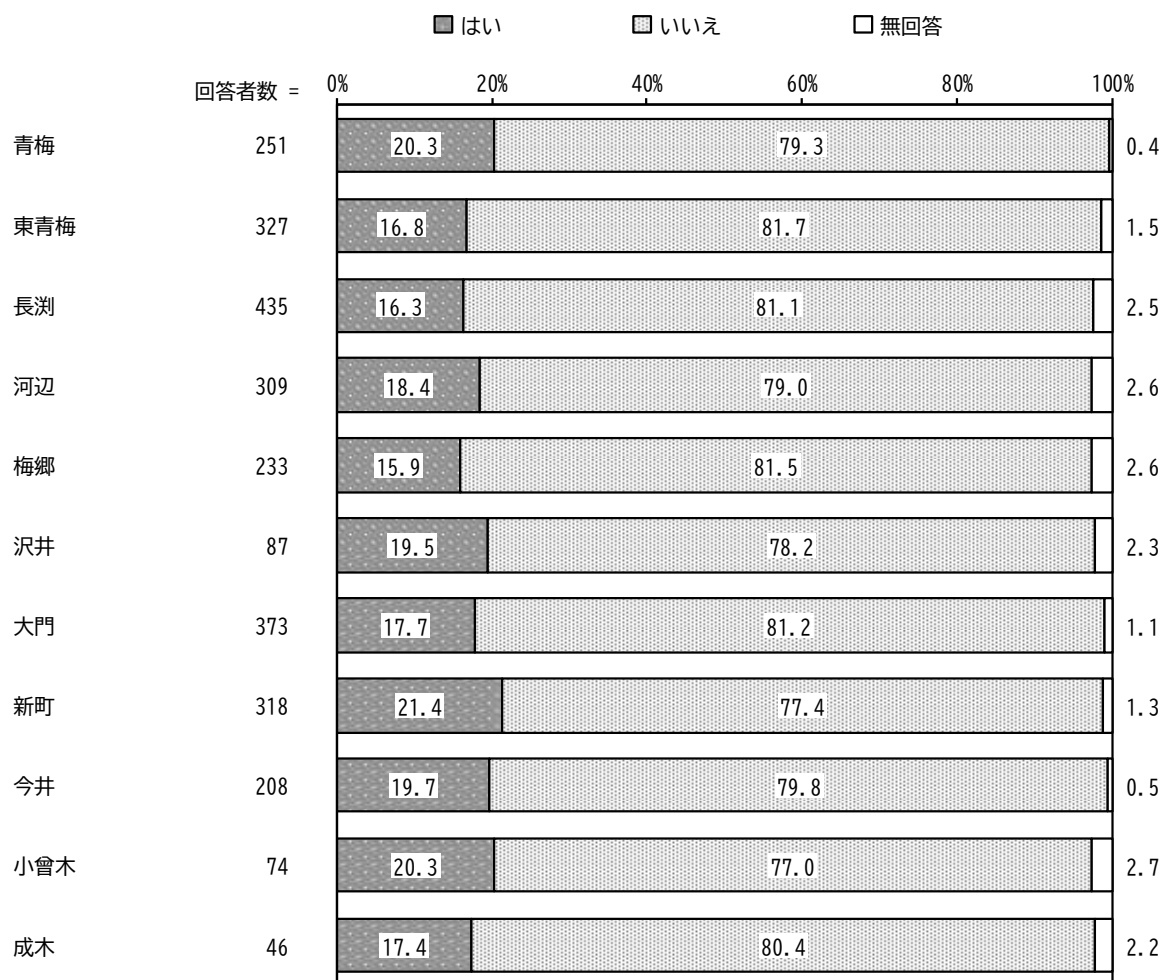
(8) 外出を控えていますか

「はい」の割合が18.2%、「いいえ」の割合が80.1%となっています。



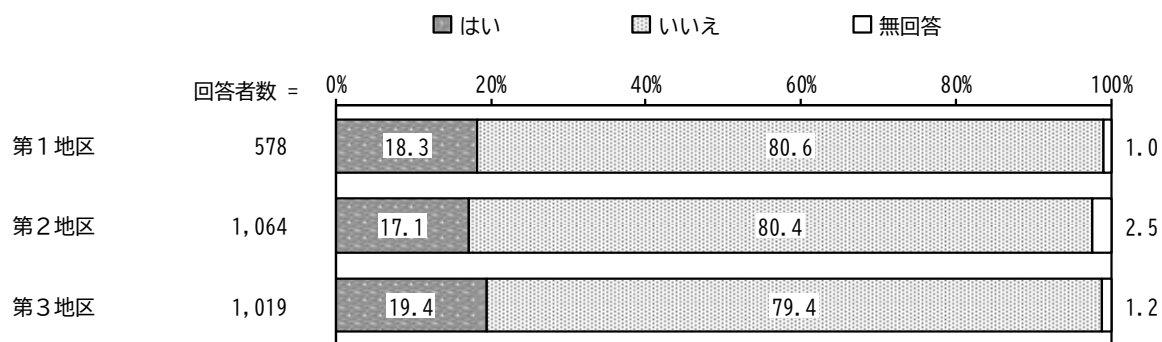
【地区別】

地区別にみると、大きな差はみられません。



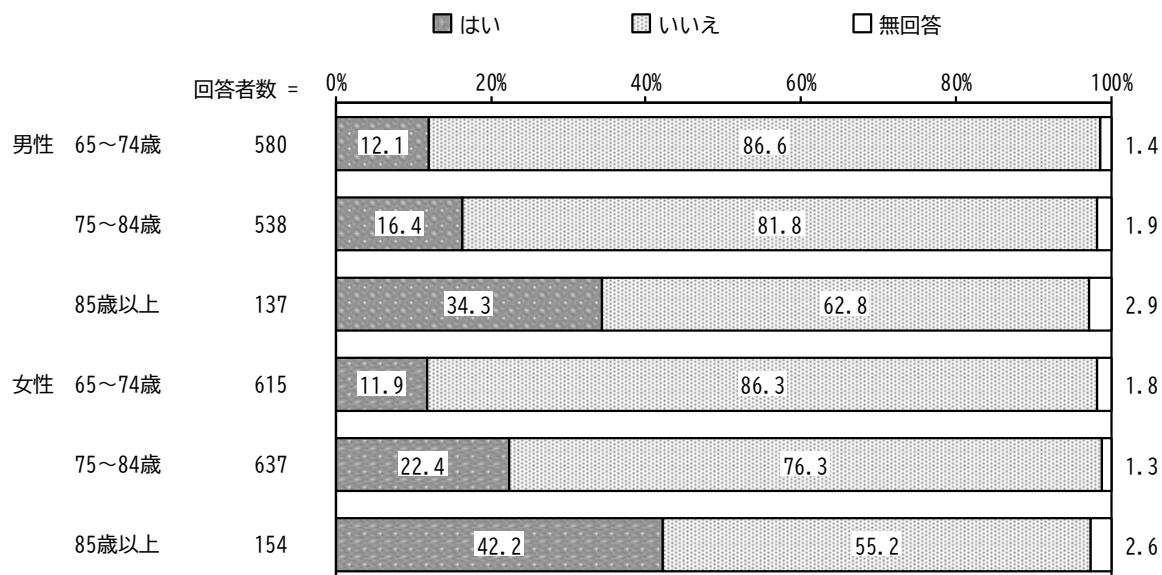
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。また、女性85歳以上で「いいえ」の割合が低くなっています。

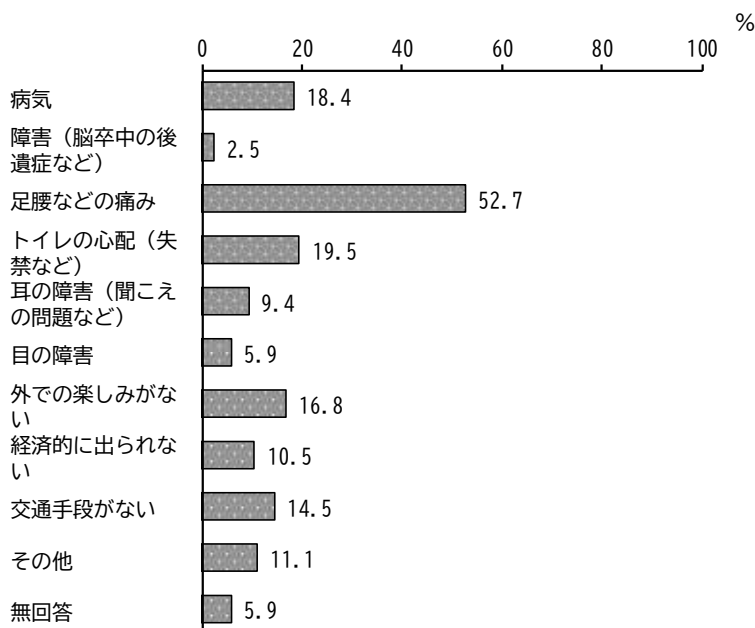


【(8)で「はい」(外出を控えている)の方のみ】

①外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)

「足腰などの痛み」の割合が52.7%と最も高く、次いで「トイレの心配(失禁など)」の割合が19.5%、「病気」の割合が18.4%となっています。

回答者数 = 488



【地区別】

地区別にみると、新町で「病気」、東青梅、沢井、大門で「足腰などの痛み」、沢井、小曾木で「トイレの心配(失禁など)」、青梅で「耳の障害(聞こえの問題など)」「目の障害」、沢井で「交通手段がない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	病気	障害(脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配(失禁など)	耳の障害(聞こえの問題など)	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
全 体	488	18.4	2.5	52.7	19.5	9.4	5.9	16.8	10.5	14.5	11.1	5.9
青梅	51	21.6	2.0	52.9	15.7	15.7	11.8	17.6	11.8	5.9	15.7	2.0
東青梅	55	12.7	0.0	61.8	18.2	12.7	7.3	14.5	12.7	14.5	7.3	7.3
長湊	71	18.3	2.8	56.3	18.3	14.1	4.2	19.7	8.5	22.5	5.6	5.6
河辺	57	17.5	7.0	50.9	14.0	5.3	3.5	21.1	14.0	17.5	14.0	5.3
梅郷	37	16.2	2.7	54.1	21.6	8.1	5.4	13.5	10.8	16.2	8.1	5.4
沢井	17	5.9	0.0	58.8	29.4	5.9	5.9	0.0	5.9	29.4	17.6	0.0
大門	66	18.2	0.0	59.1	25.8	7.6	7.6	15.2	4.5	12.1	12.1	4.5
新町	68	27.9	2.9	32.4	17.6	5.9	2.9	20.6	11.8	7.4	14.7	8.8
今井	41	17.1	2.4	51.2	14.6	7.3	9.8	19.5	9.8	19.5	9.8	9.8
小曾木	15	13.3	0.0	46.7	26.7	13.3	0.0	13.3	13.3	6.7	6.7	6.7
成木	8	12.5	12.5	87.5	37.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	12.5

【圏域別】

圏域別にみると、第2地区で「交通手段がない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	病気	障害(脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配(失禁など)	耳の障害(聞こえの問題など)	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
全 体	488	18.4	2.5	52.7	19.5	9.4	5.9	16.8	10.5	14.5	11.1	5.9
第1地区	106	17.0	0.9	57.5	17.0	14.2	9.4	16.0	12.3	10.4	11.3	4.7
第2地区	182	16.5	3.8	54.4	18.7	9.3	4.4	17.0	10.4	20.3	9.9	4.9
第3地区	198	20.7	2.0	48.5	21.2	7.1	5.6	17.2	9.1	11.1	12.1	7.6

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「足腰などの痛み」「耳の障害(聞こえの問題など)」「交通手段がない」の割合が高く、「病気」「外での楽しみがない」の割合が低く、女性では「足腰などの痛み」「耳の障害(聞こえの問題など)」の割合が高く、「病気」の割合が低くなっています。また、男性 65～74 歳で「経済的に出られない」の割合が高くなっています。

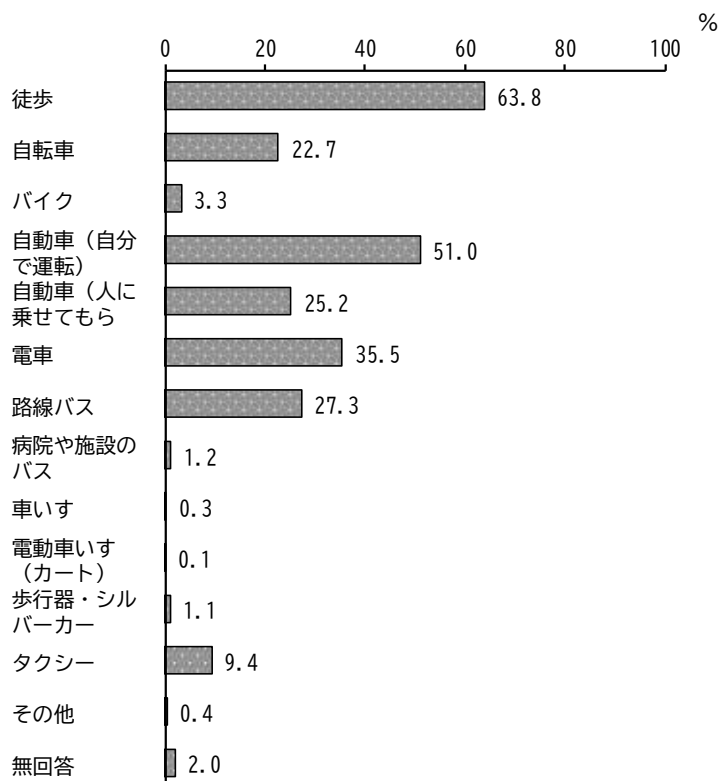
単位：％

区分	回答者数 (件)	病気	障害(脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配(失禁など)	耳の障害(聞こえの問題など)	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
全 体	488	18.4	2.5	52.7	19.5	9.4	5.9	16.8	10.5	14.5	11.1	5.9
男性 65～74歳	70	24.3	2.9	30.0	12.9	2.9	5.7	28.6	21.4	4.3	15.7	2.9
75～84歳	88	23.9	4.5	51.1	23.9	9.1	4.5	23.9	6.8	12.5	9.1	6.8
85歳以上	47	17.0	0.0	57.4	21.3	23.4	10.6	17.0	14.9	21.3	4.3	4.3
女性 65～74歳	73	23.3	1.4	45.2	19.2	4.1	1.4	15.1	17.8	8.2	20.5	4.1
75～84歳	143	16.8	2.8	53.1	18.9	6.3	7.7	9.1	5.6	18.9	9.8	9.1
85歳以上	65	3.1	1.5	83.1	20.0	20.0	6.2	13.8	1.5	20.0	6.2	4.6

(9) 外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）

「徒歩」の割合が63.8%と最も高く、次いで「自動車（自分で運転）」の割合が51.0%、「電車」の割合が35.5%となっています。

回答者数 = 2,678



【地区別】

地区別にみると、新町で「自転車」、小曾木、成木で「自動車（自分で運転）」、沢井で「自動車（人に乗せてもら）」、青梅で「電車」、梅郷で「路線バス」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもら）	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全 体	2,678	63.8	22.7	3.3	51.0	25.2	35.5	27.3	1.2	0.3	0.1	1.1	9.4	0.4	2.0
青梅	251	68.9	12.7	2.0	41.8	28.3	48.2	29.9	0.8	0.8	0.0	1.2	13.5	0.0	1.6
東青梅	327	73.4	27.8	3.7	43.7	23.9	43.7	21.4	1.5	0.3	0.0	1.8	9.2	0.0	1.2
長淵	435	61.6	21.8	4.4	52.2	26.9	35.9	29.4	1.4	0.2	0.5	0.9	11.3	0.2	2.5
河辺	309	72.2	32.0	3.9	42.7	19.1	35.3	14.6	1.3	0.6	0.0	0.6	10.4	1.3	3.2
梅郷	233	58.4	10.7	5.2	64.8	21.5	36.5	41.2	1.3	0.0	0.0	1.3	7.7	0.9	1.3
沢井	87	60.9	5.7	1.1	57.5	35.6	41.4	12.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	2.3
大門	373	64.3	29.8	2.7	51.5	25.7	30.3	34.3	1.1	0.3	0.0	0.5	10.7	0.3	1.3
新町	318	65.1	34.0	1.9	46.2	27.4	36.2	24.8	0.9	0.0	0.0	2.5	7.9	0.3	2.5
今井	208	52.4	16.3	1.4	62.5	24.5	26.4	30.3	1.4	0.5	0.0	1.0	5.8	0.0	1.4
小曾木	74	41.9	4.1	2.7	68.9	25.7	10.8	23.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.8	1.4	4.1
成木	46	32.6	4.3	13.0	71.7	23.9	8.7	23.9	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0

【圏域別】

圏域別にみると、第1地区で「徒歩」「電車」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運 転)	自動車(人に乗せて もらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動 車いす (カー ト)	歩 行器・シルバ ーカ	タクシ ー	その他	無回 答
全 体	2,678	63.8	22.7	3.3	51.0	25.2	35.5	27.3	1.2	0.3	0.1	1.1	9.4	0.4	2.0
第1地区	578	71.5	21.3	2.9	42.9	25.8	45.7	25.1	1.2	0.5	0.0	1.6	11.1	0.0	1.4
第2地区	1,064	63.9	21.1	4.1	52.6	24.2	36.3	26.3	1.2	0.3	0.2	0.8	9.5	0.7	2.4
第3地区	1,019	59.1	25.3	2.6	54.3	25.9	28.9	29.2	1.0	0.2	0.0	1.2	8.3	0.3	1.9

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が下がるほど、男性では「徒歩」「自動車（自分で運転）」「電車」の割合が高く、「自動車（人に乗せてもらう）」「タクシー」の割合が低く、女性では「徒歩」「自転車」「自動車（自分で運転）」「電車」の割合が高く、「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が低くなっています。

単位：％

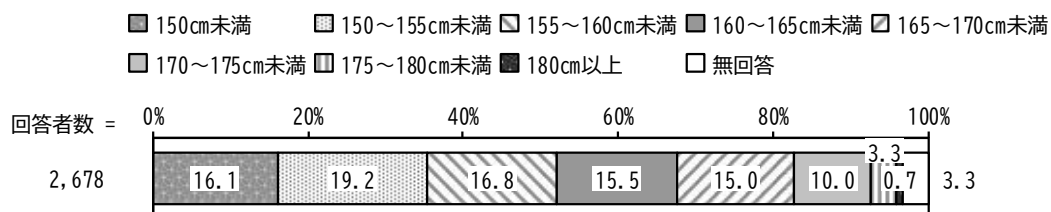
区分	回答者数 (件)	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運 転)	自動車(人に乗せて もらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動 車いす (カー ト)	歩 行器・シルバ ーカ	タクシ ー	その他	無回 答
全 体	2,678	63.8	22.7	3.3	51.0	25.2	35.5	27.3	1.2	0.3	0.1	1.1	9.4	0.4	2.0
男性 65～74歳	580	64.1	25.0	7.1	78.8	7.2	38.1	16.0	0.9	0.2	0.0	0.2	4.3	0.0	1.2
75～84歳	538	61.3	24.5	5.9	63.8	13.2	33.5	24.3	0.9	0.0	0.0	0.4	7.1	0.4	2.0
85歳以上	137	53.3	21.9	0.7	29.2	23.4	16.8	23.4	0.7	0.0	1.5	3.6	13.1	0.0	2.2
女性 65～74歳	615	67.6	24.4	1.0	54.8	31.4	42.0	28.6	0.8	0.3	0.0	0.7	7.3	0.8	2.0
75～84歳	637	66.7	21.4	1.3	27.9	39.9	35.2	36.9	1.7	0.0	0.0	1.1	15.5	0.2	1.7
85歳以上	154	51.3	7.8	0.0	3.9	50.6	25.3	36.4	1.9	3.2	0.0	7.1	16.2	1.3	5.8

問3 食べることについて

(1) 身長・体重

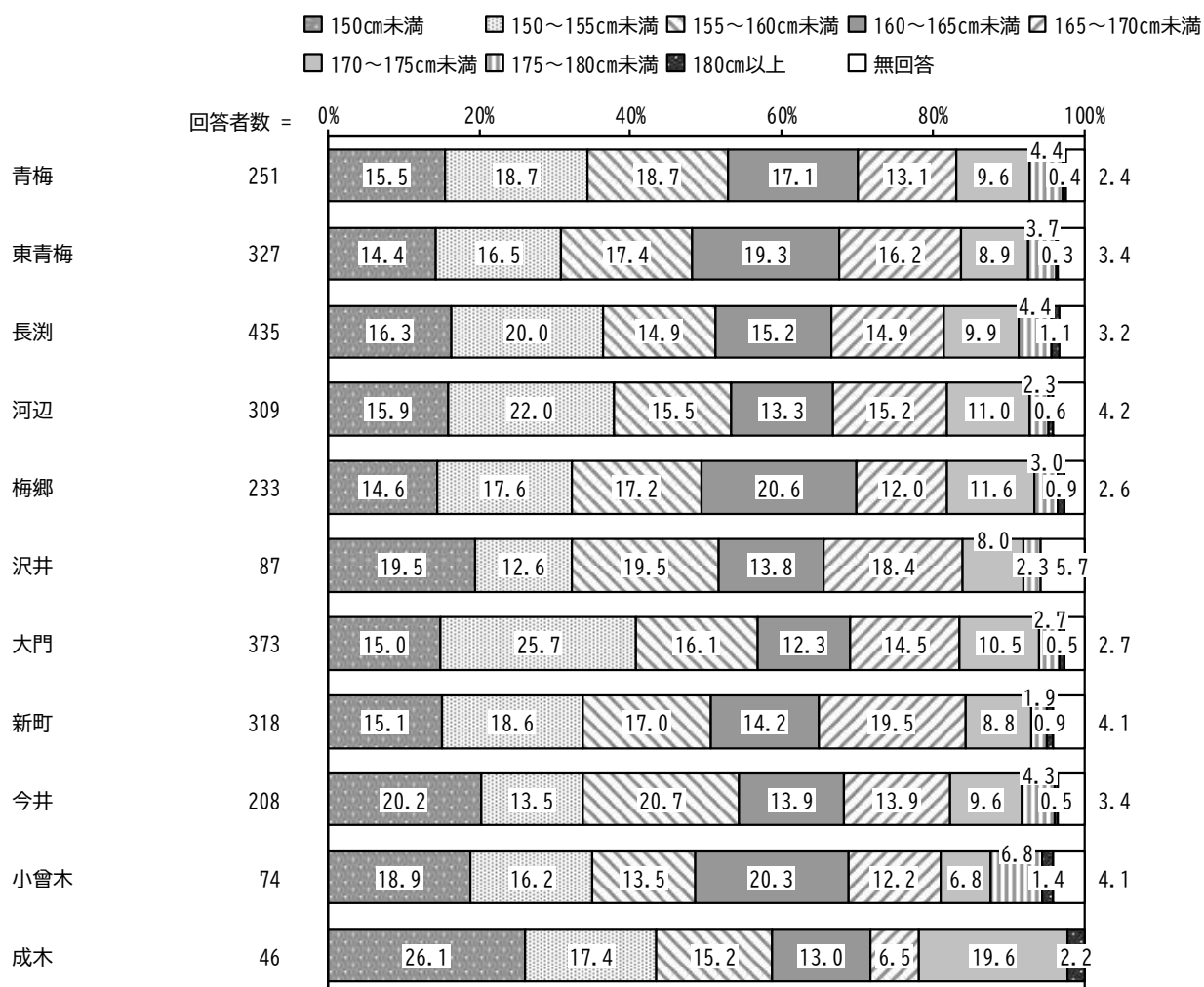
身長 (cm)

「150～155cm 未満」の割合が 19.2%と最も高く、次いで「155～160cm 未満」の割合が 16.8%、「150cm 未満」の割合が 16.1%となっています。



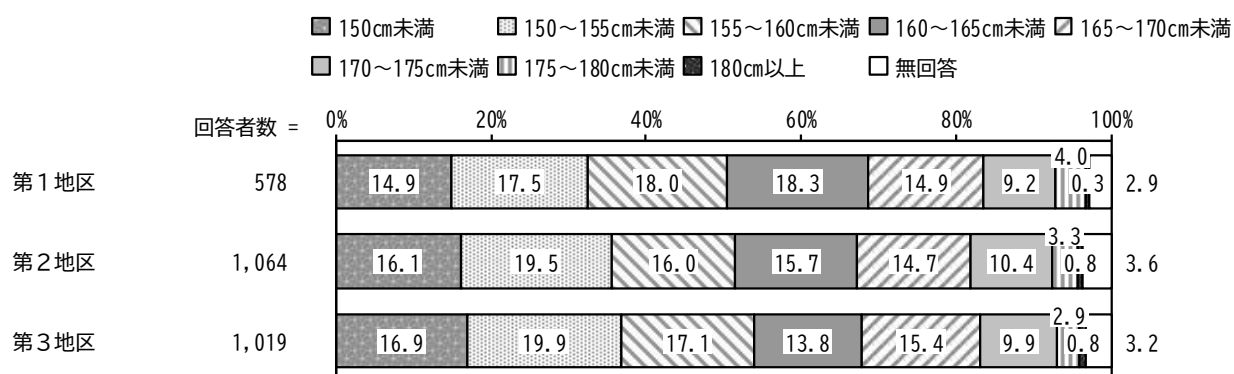
【地区別】

地区別にみると、成木で「150cm 未満」「170～175cm 未満」、大門で「150～155cm 未満」、梅郷で「160～165cm 未満」の割合が高くなっています。



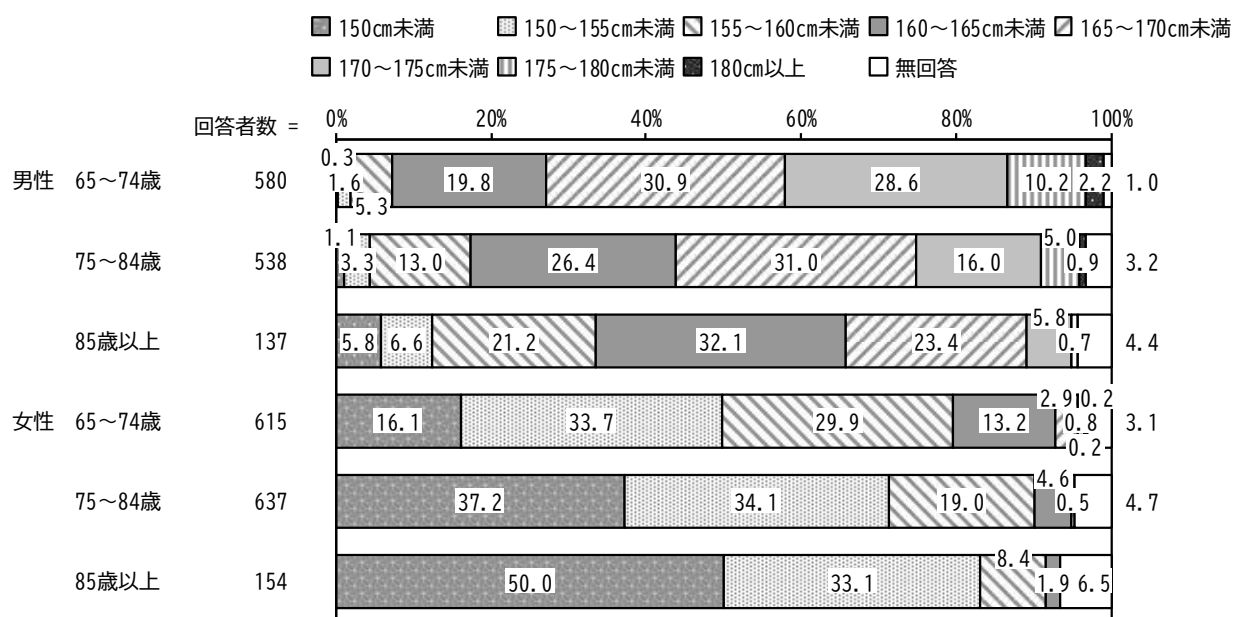
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



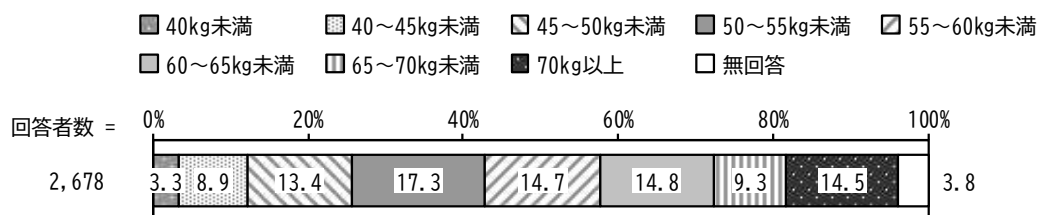
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が下がるほど「155～160cm 未満」「160～165cm 未満」の割合が高く、「150cm 未満」の割合が低くなっています。また、男性 65～74 歳、男性 75～84 歳で「165～170cm 未満」、男性 65～74 歳で「170～175cm 未満」の割合が高くなっています。



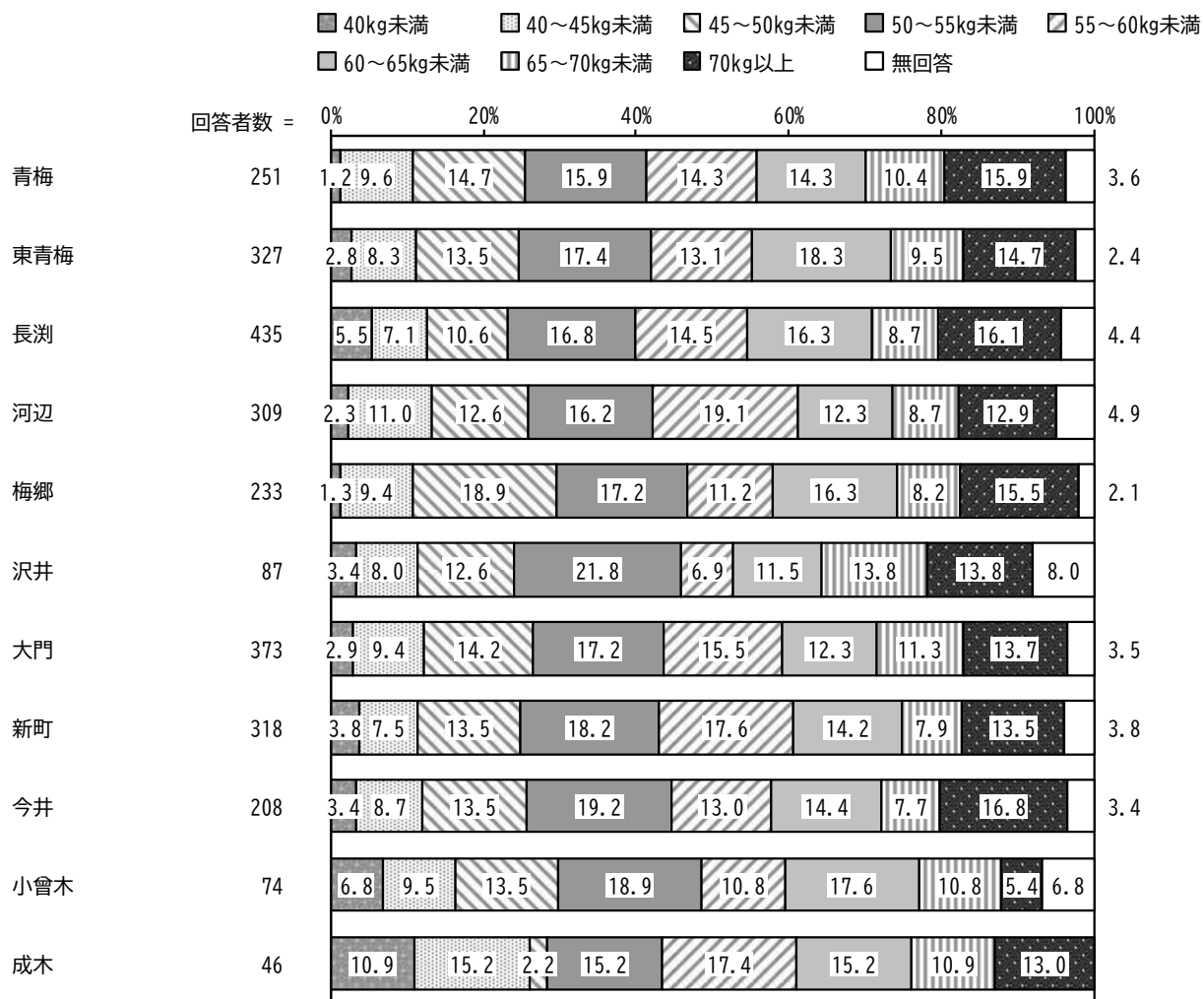
体重 (kg)

「50～55kg 未満」の割合が 17.3%と最も高く、次いで「60～65kg 未満」の割合が 14.8%、「55～60kg 未満」の割合が 14.7%となっています。



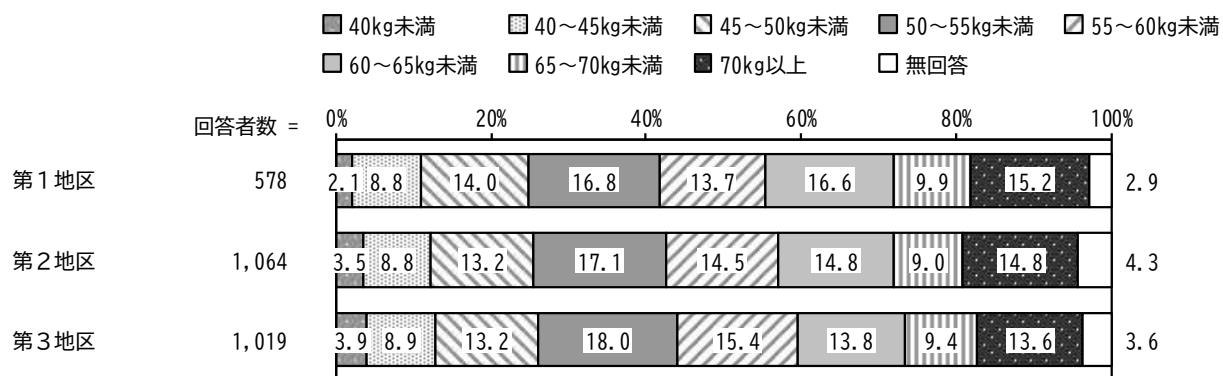
【地区別】

地区別にみると、成木で「40kg 未満」「40～45kg 未満」、梅郷で「45～50kg 未満」の割合が高く、沢井で「55～60kg 未満」、小曾木で「70kg 以上」の割合が低くなっています。



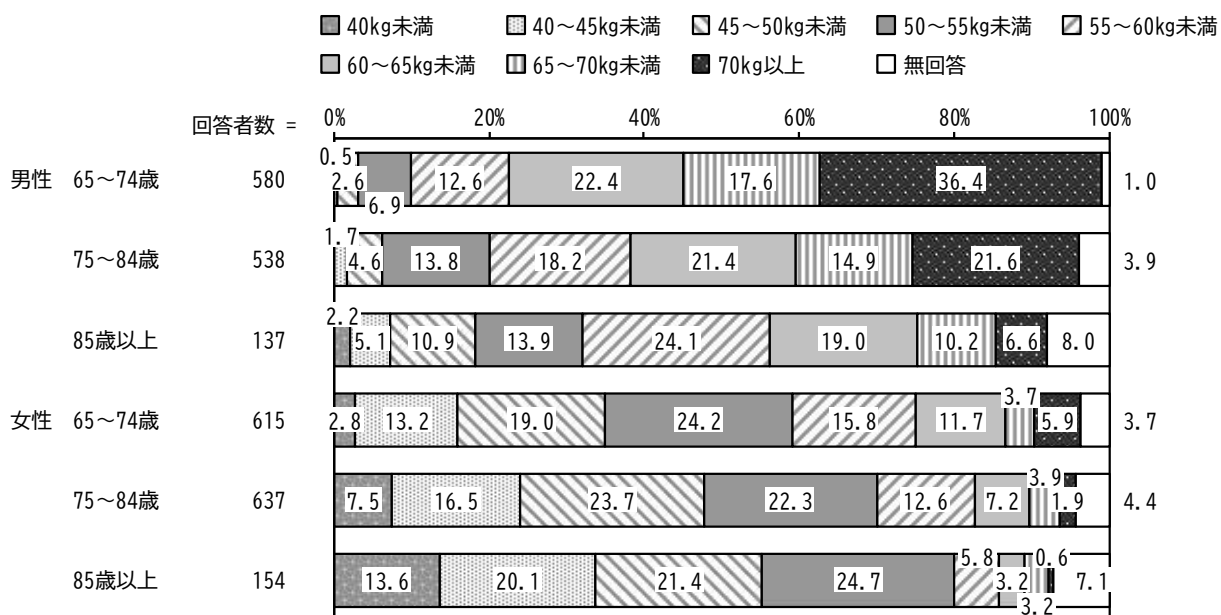
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



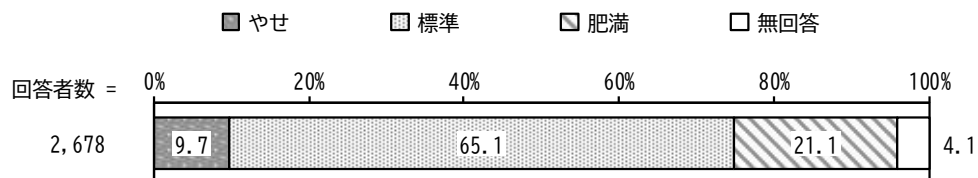
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が上がるほど「40kg未満」「40～45kg未満」の割合が高く、「55～60kg未満」「60～65kg未満」の割合が低くなっています。また、男性では65～74歳で「70kg以上」の割合が高く、「50～55kg未満」の割合が低くなっています。



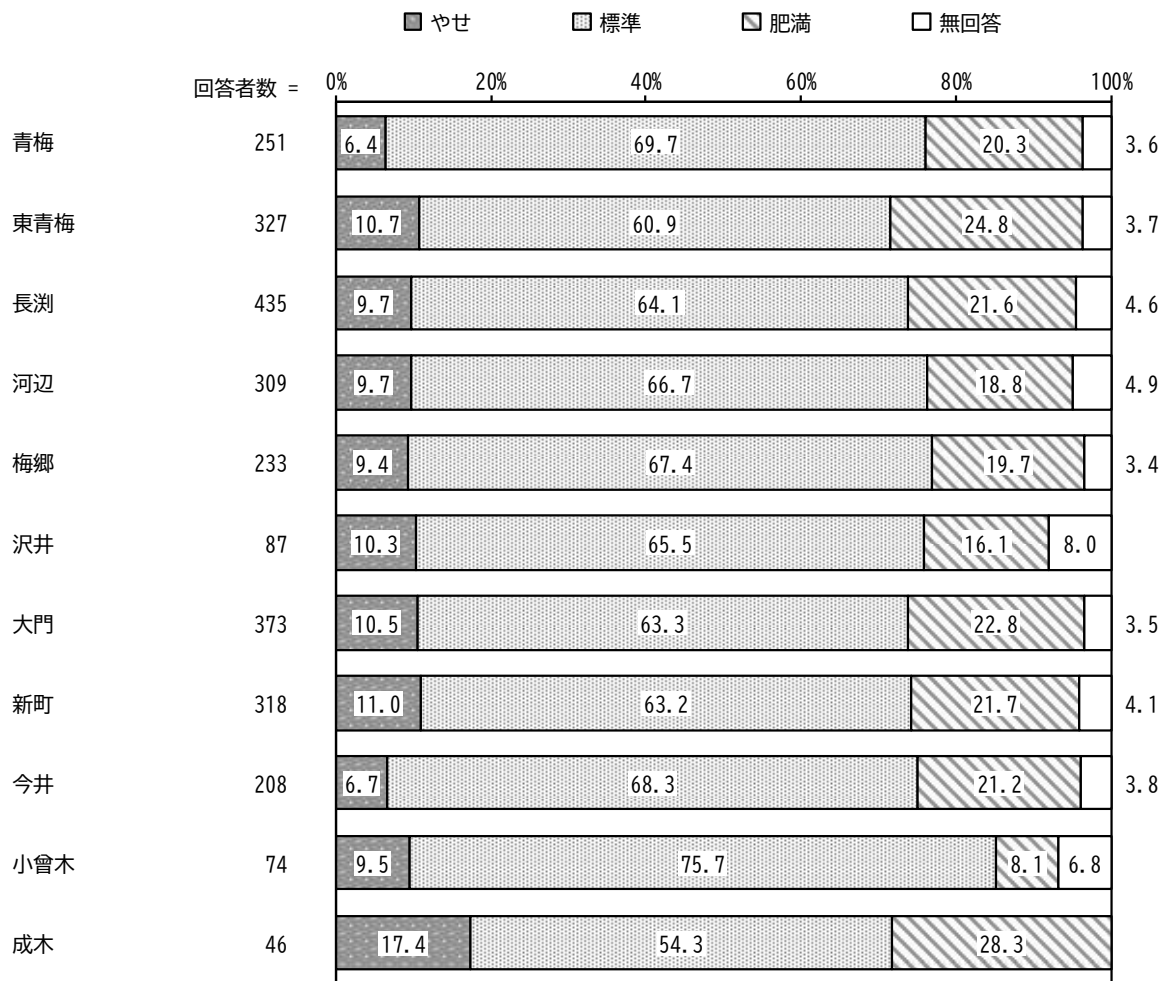
BMI

「やせ」の割合が9.7%、「標準」の割合が65.1%、「肥満」の割合が21.1%となっています。



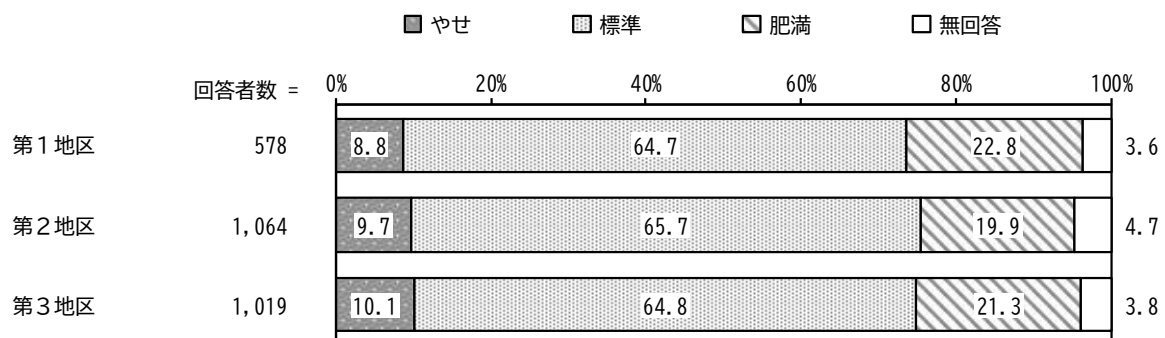
【地区別】

地区別にみると、小曾木で「標準」の割合が高く、「肥満」の割合が低くなっています。



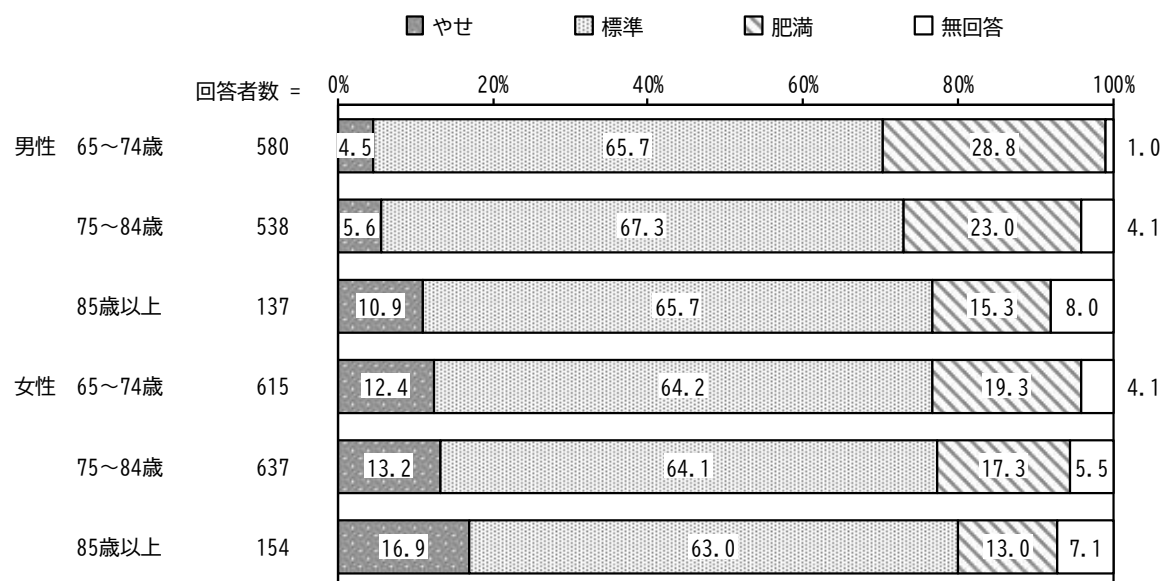
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



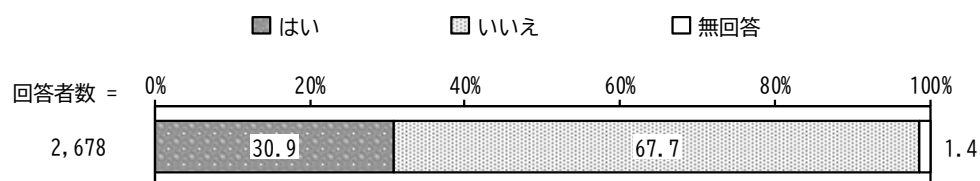
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「やせ」の割合が高く、「肥満」の割合が低くなっています。



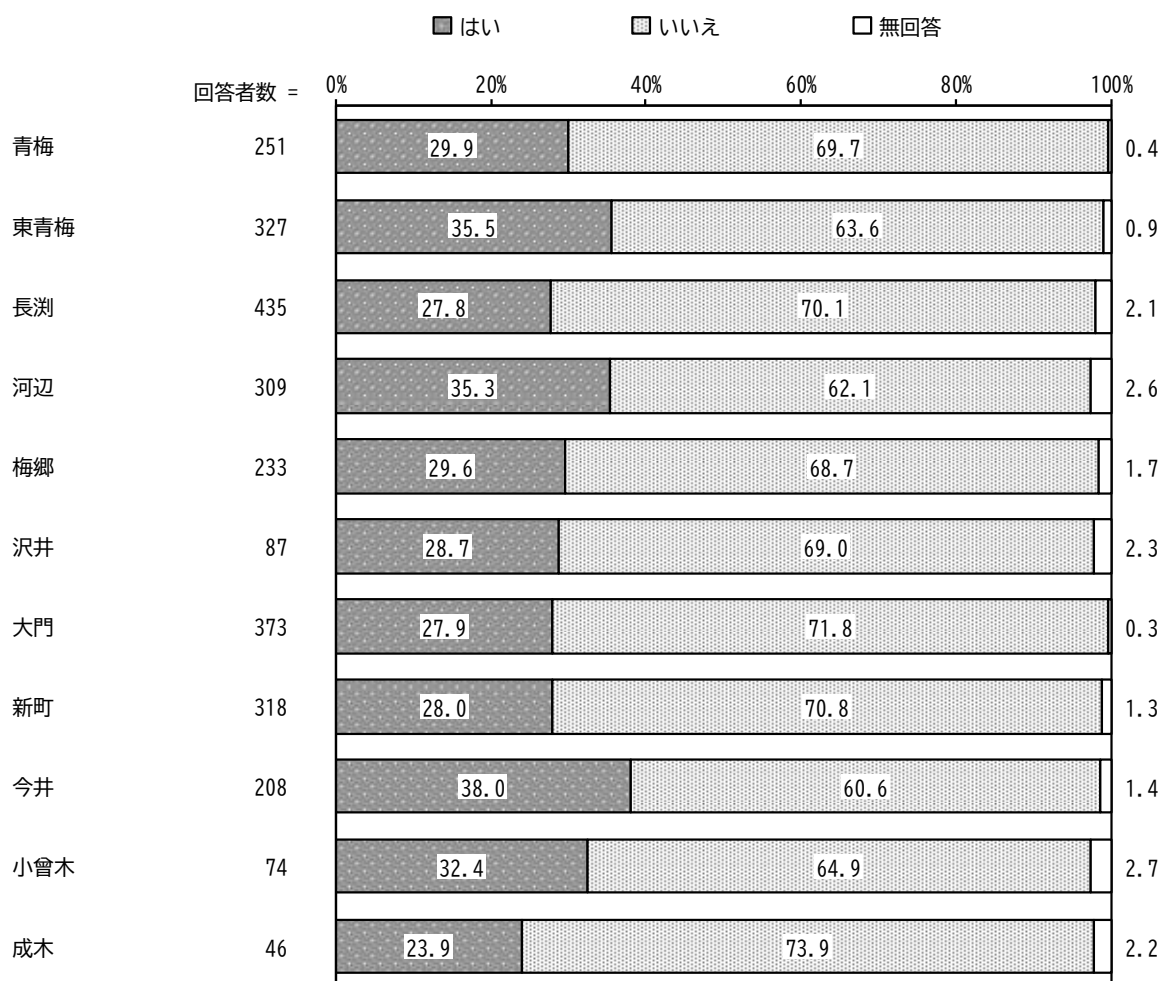
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

「はい」の割合が30.9%、「いいえ」の割合が67.7%となっています。



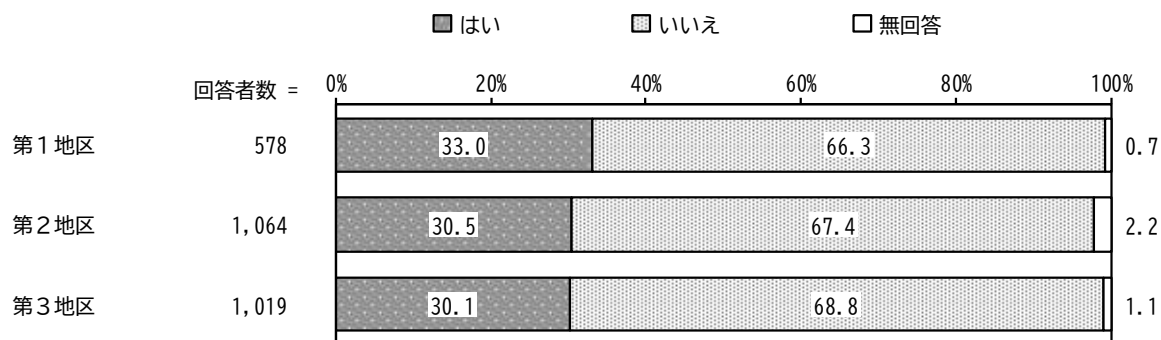
【地区別】

地区別にみると、今井で「はい」、成木で「いいえ」の割合が高くなっています。



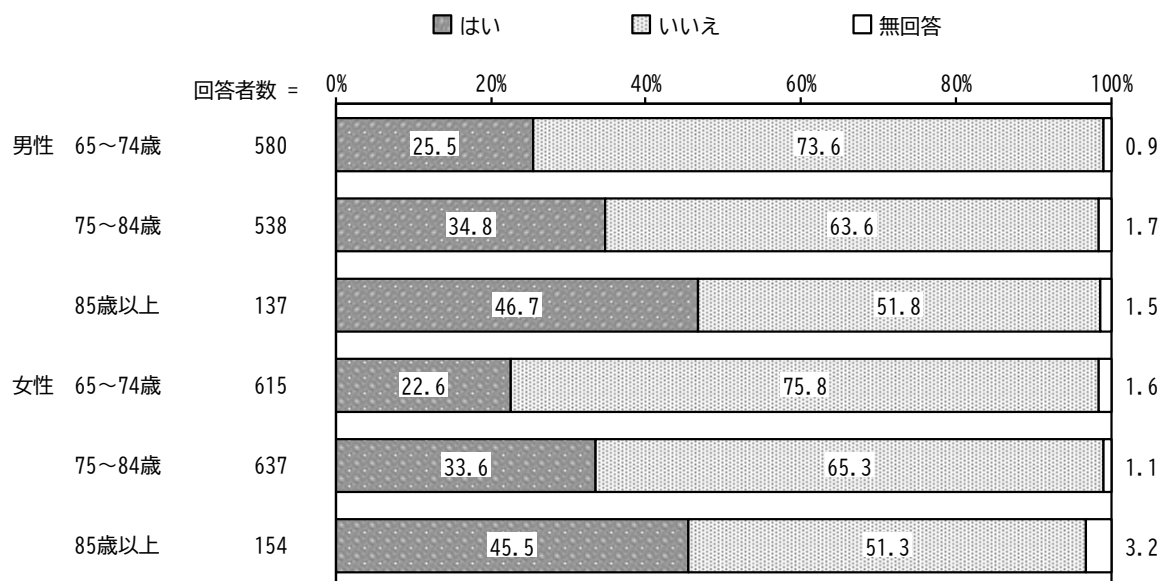
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



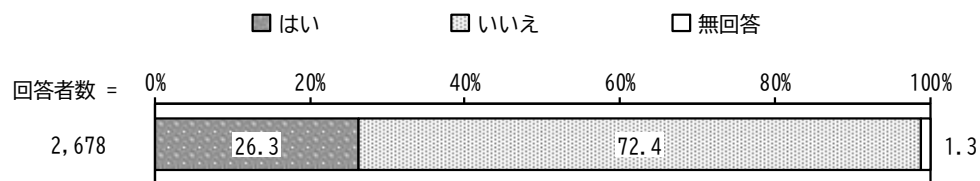
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。また、男性85歳以上、女性85歳以上で「いいえ」の割合が低くなっています。



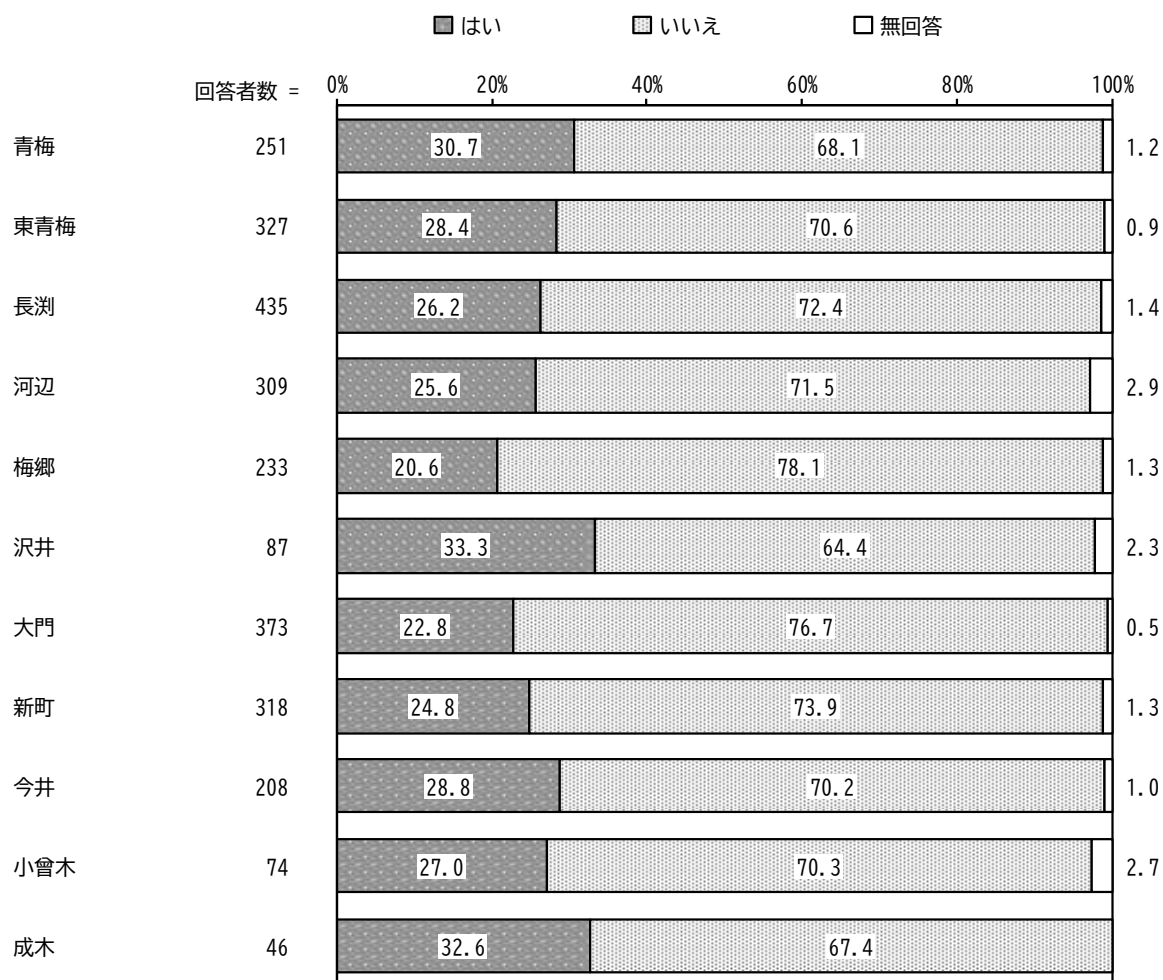
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか

「はい」の割合が26.3%、「いいえ」の割合が72.4%となっています。



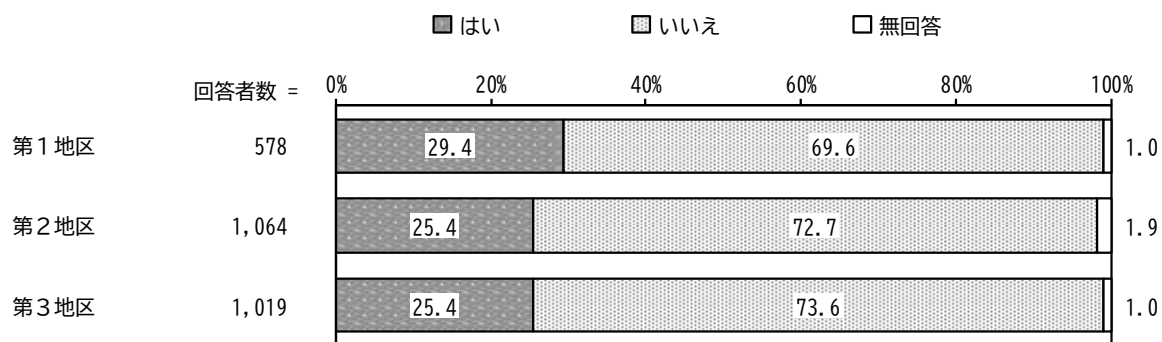
【地区別】

地区別にみると、沢井、成木で「はい」、梅郷で「いいえ」の割合が高くなっています。



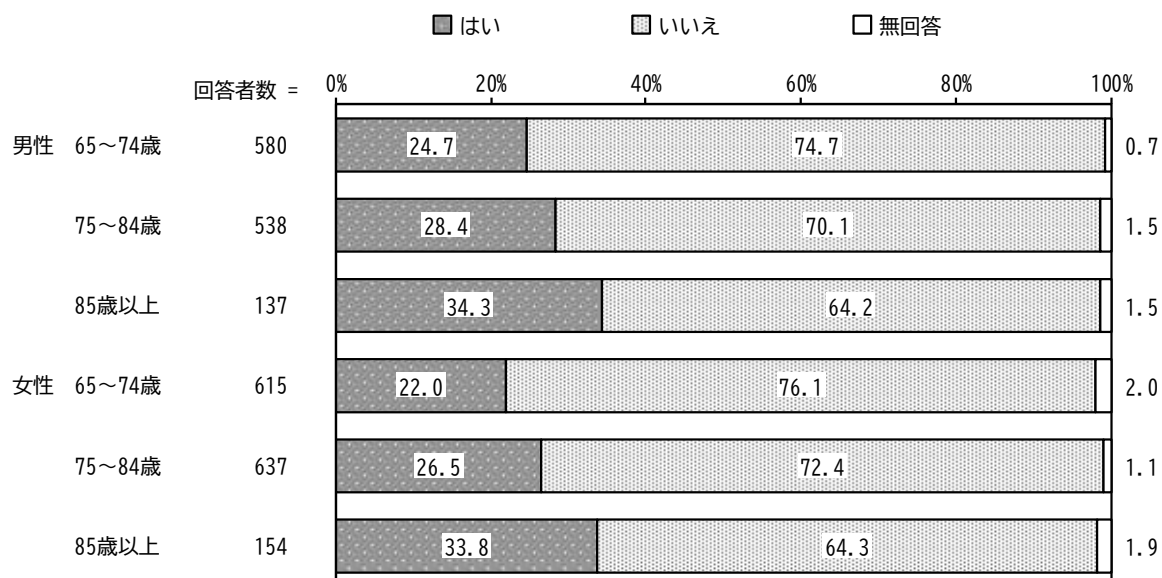
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



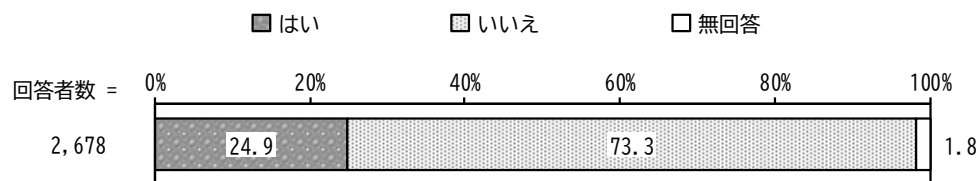
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。



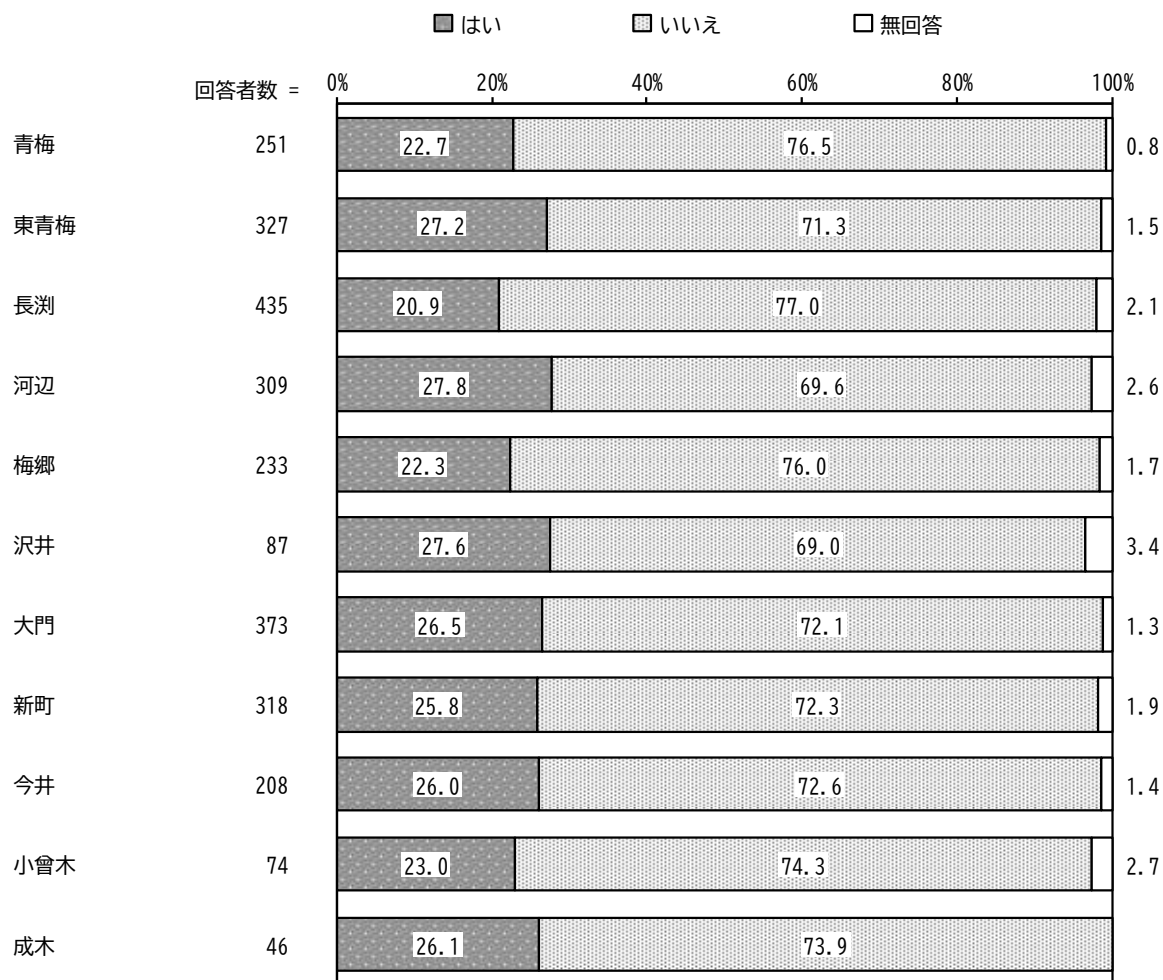
(4) 口の渇きが気になりますか

「はい」の割合が24.9%、「いいえ」の割合が73.3%となっています。



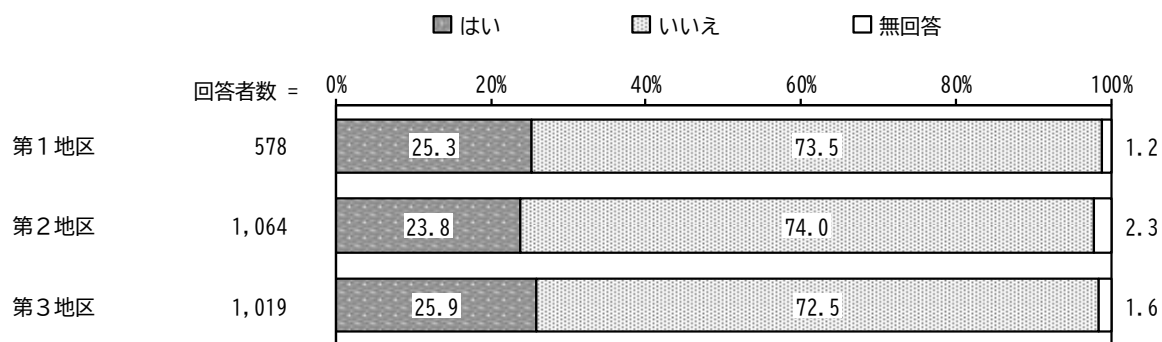
【地区別】

地区別にみると、大きな差はみられません。



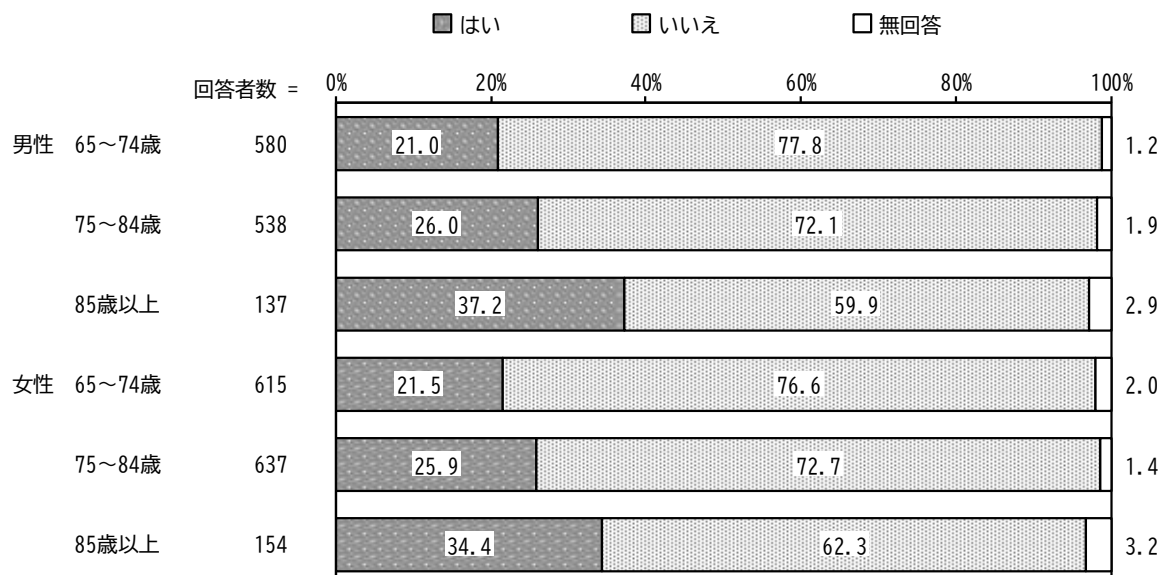
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



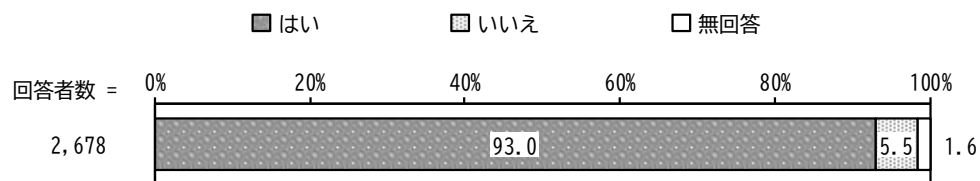
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。また、男性85歳以上、女性85歳以上で「いいえ」の割合が低くなっています。



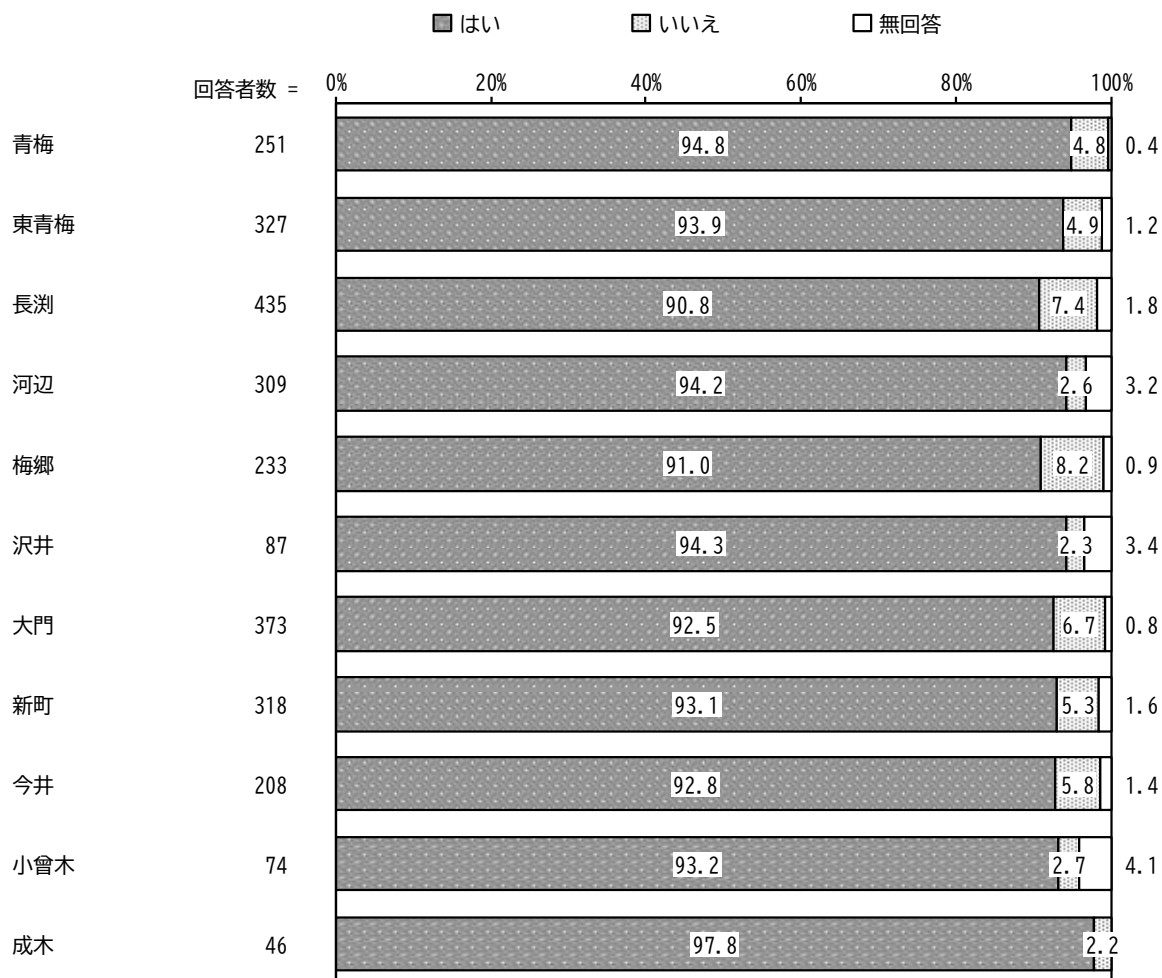
(5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

「はい」の割合が93.0%、「いいえ」の割合が5.5%となっています。



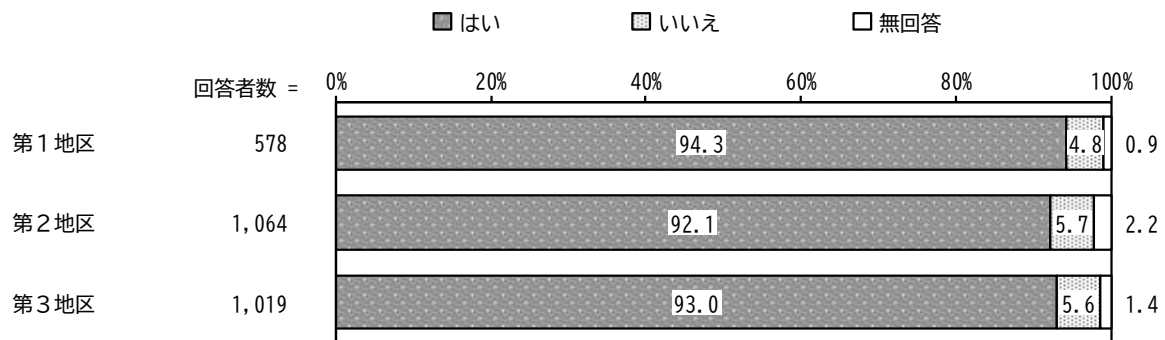
【地区別】

地区別にみると、大きな差はみられません。



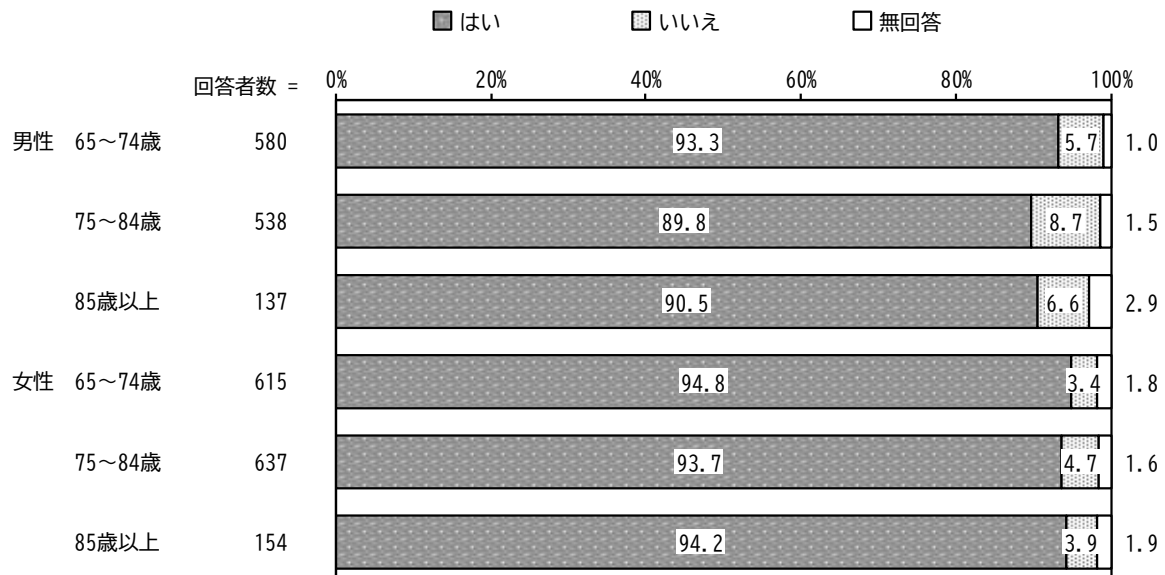
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



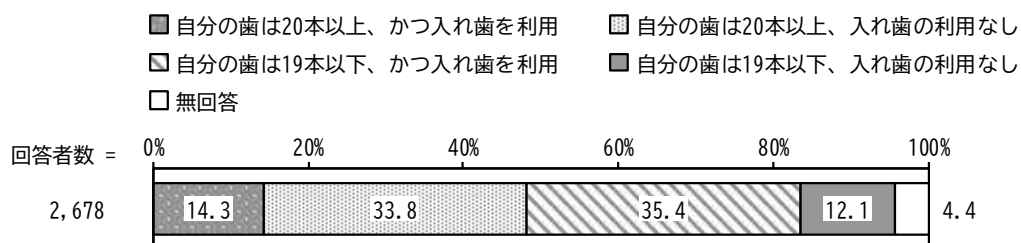
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、大きな差はみられません。



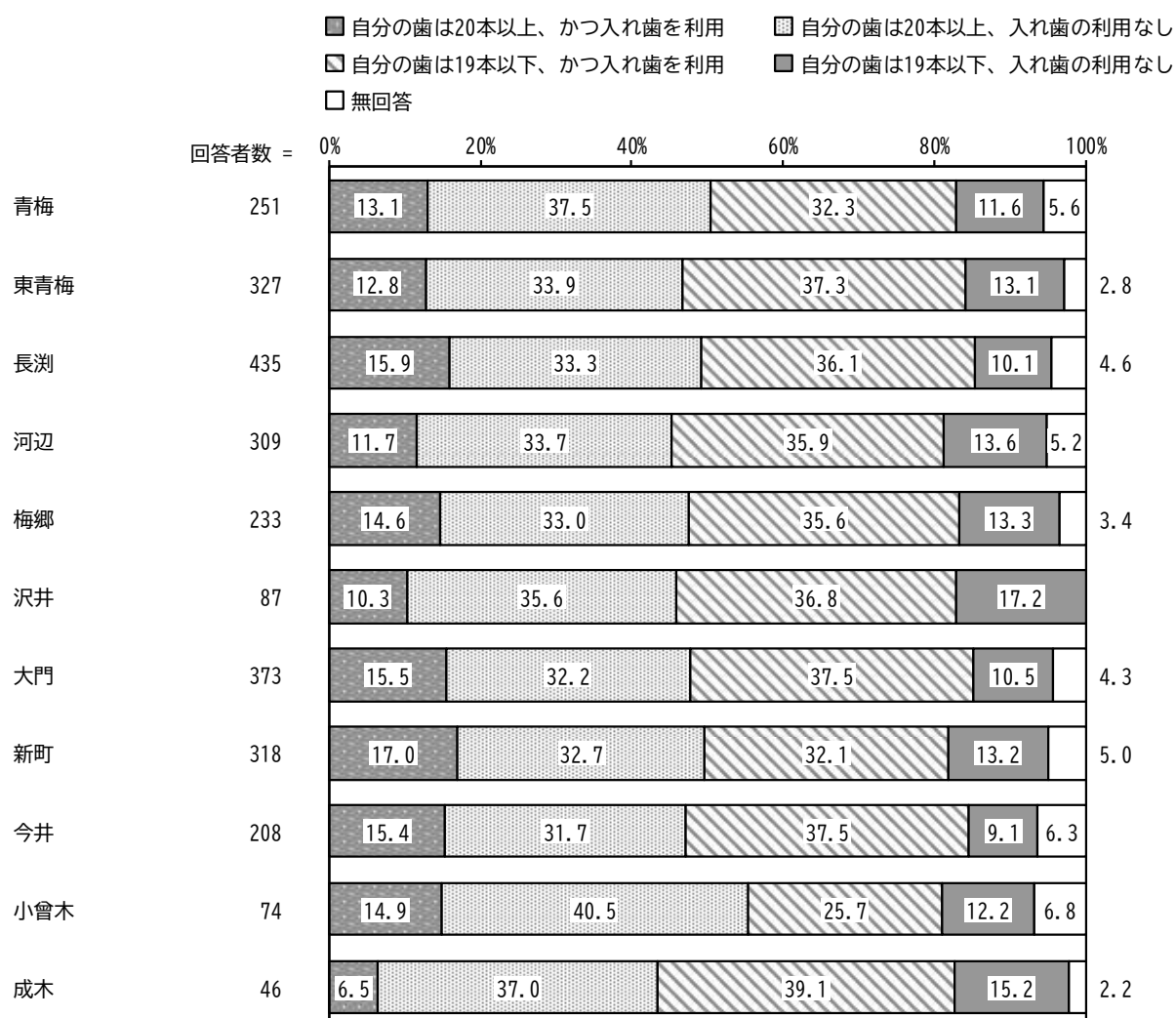
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）

「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が35.4%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が33.8%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が14.3%となっています。



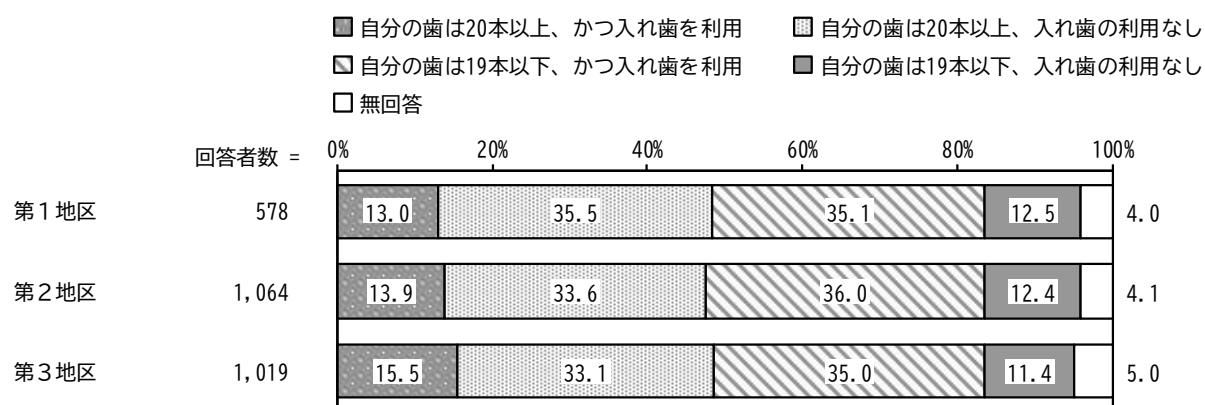
【地区別】

地区別にみると、小曾木で「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」、沢井で「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」の割合が高くなっています。



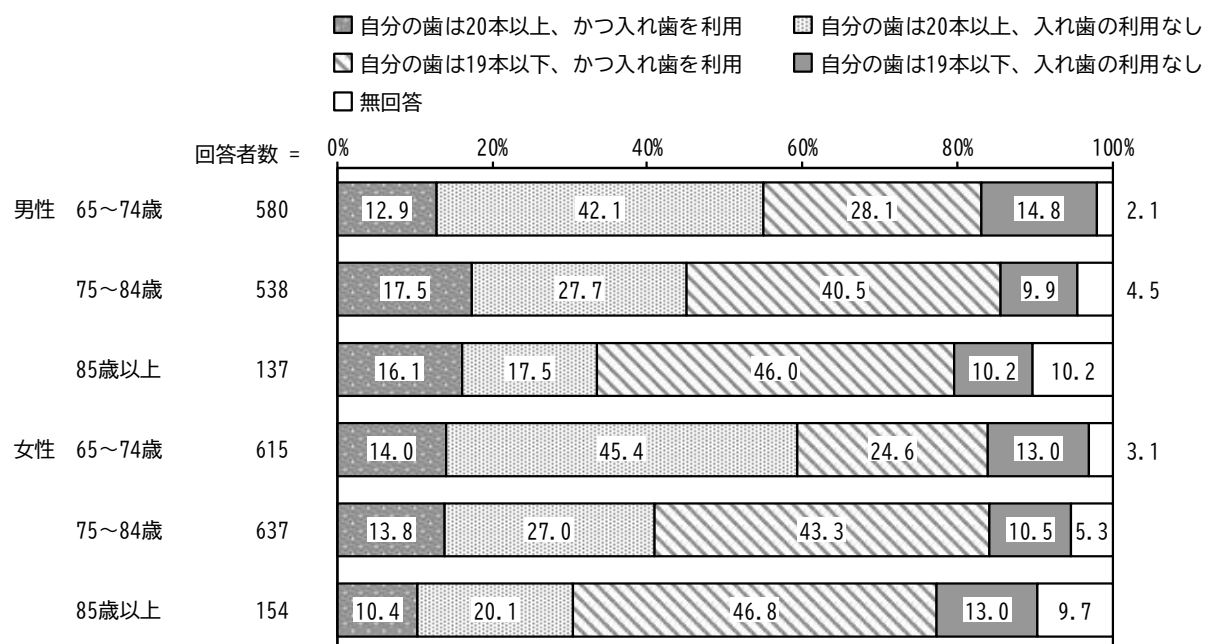
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



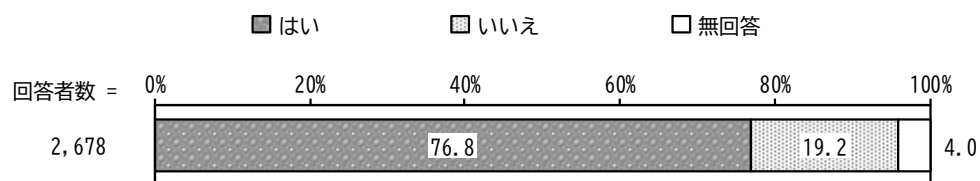
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が高く、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が低くなっています。



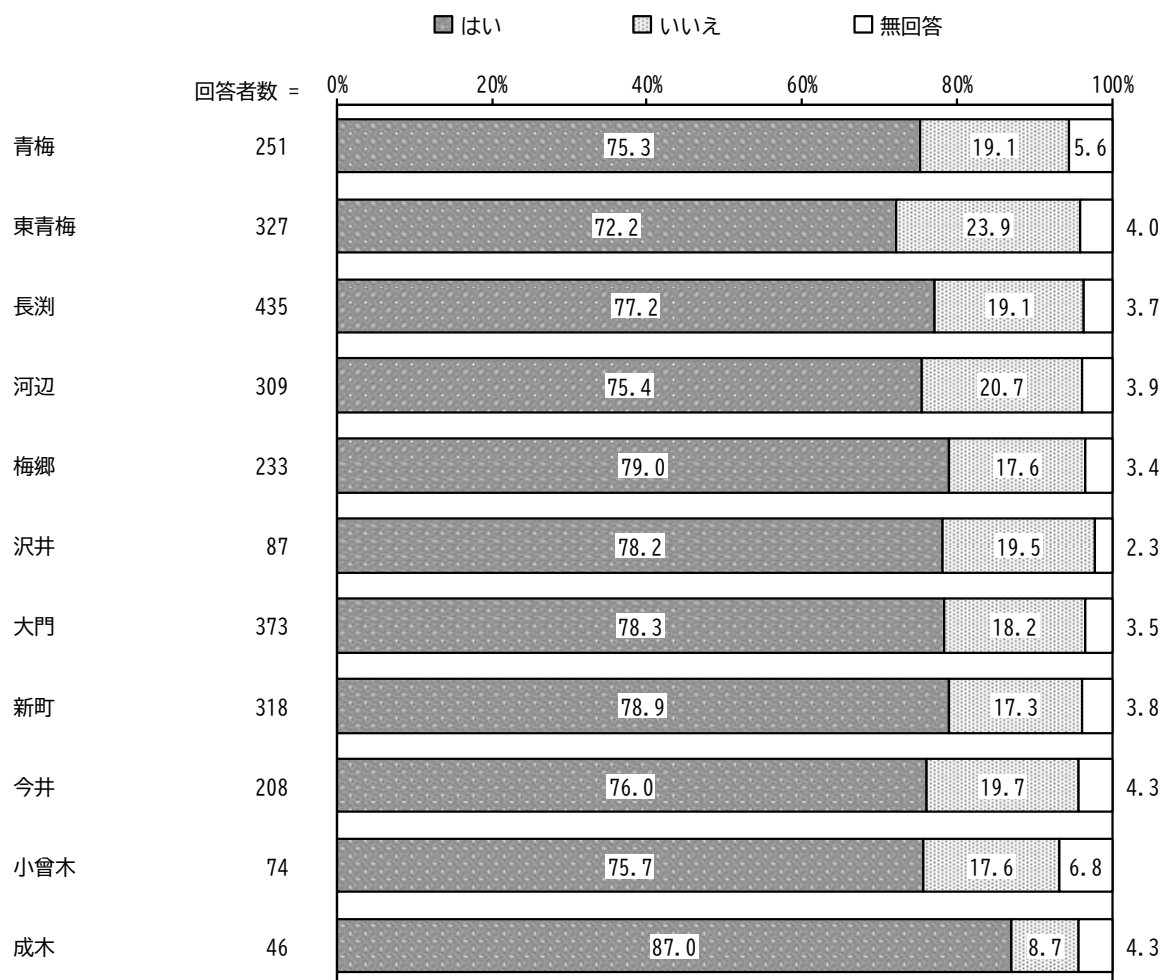
①噛み合わせは良いですか

「はい」の割合が76.8%、「いいえ」の割合が19.2%となっています。



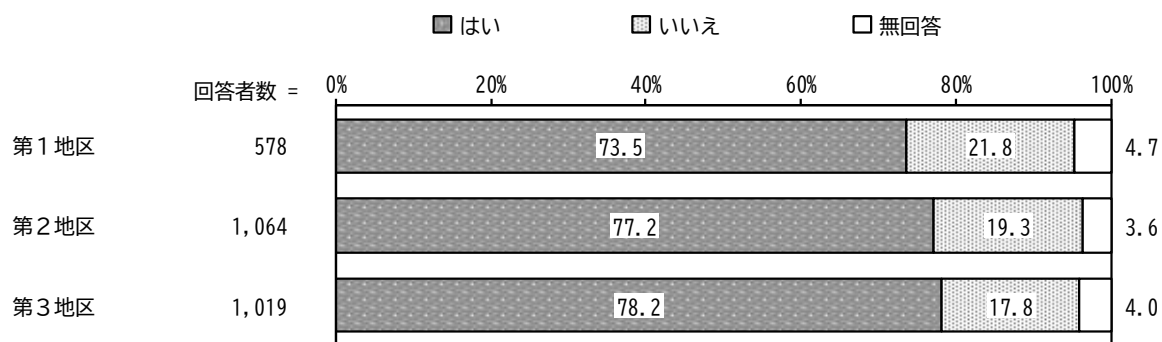
【地区別】

地区別にみると、成木で「はい」の割合が高くなっています。



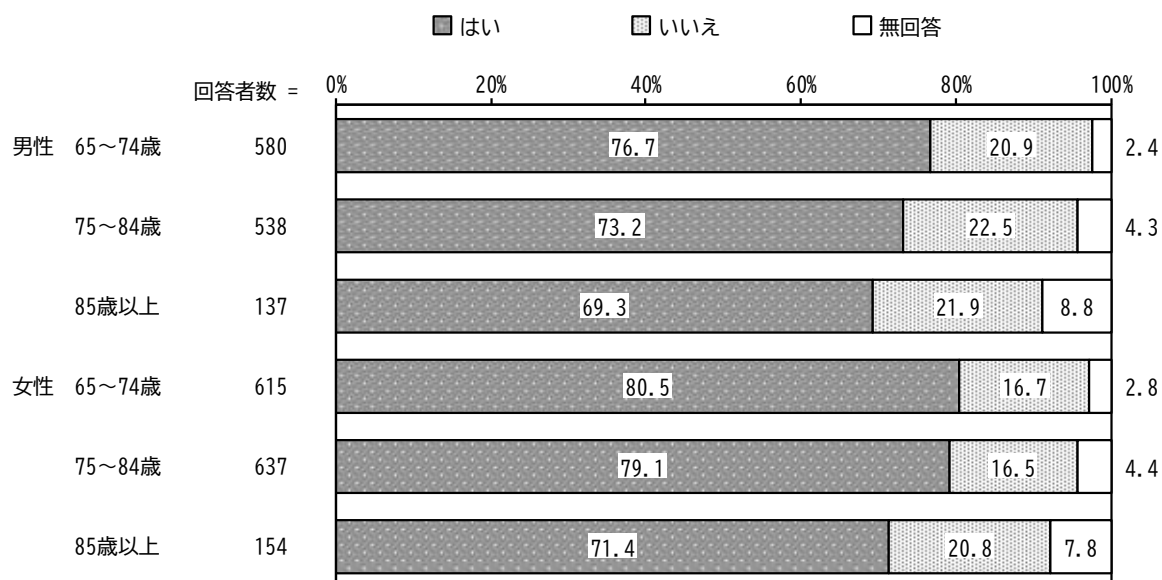
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

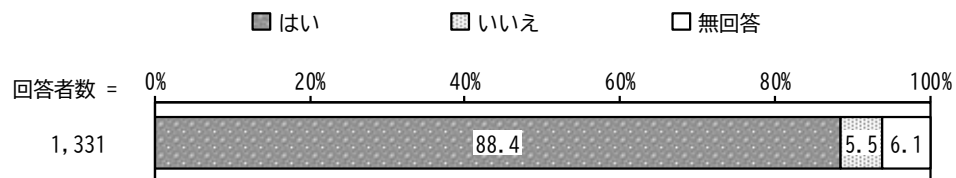
性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「はい」の割合が高くなっています。



② 【(6) で「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

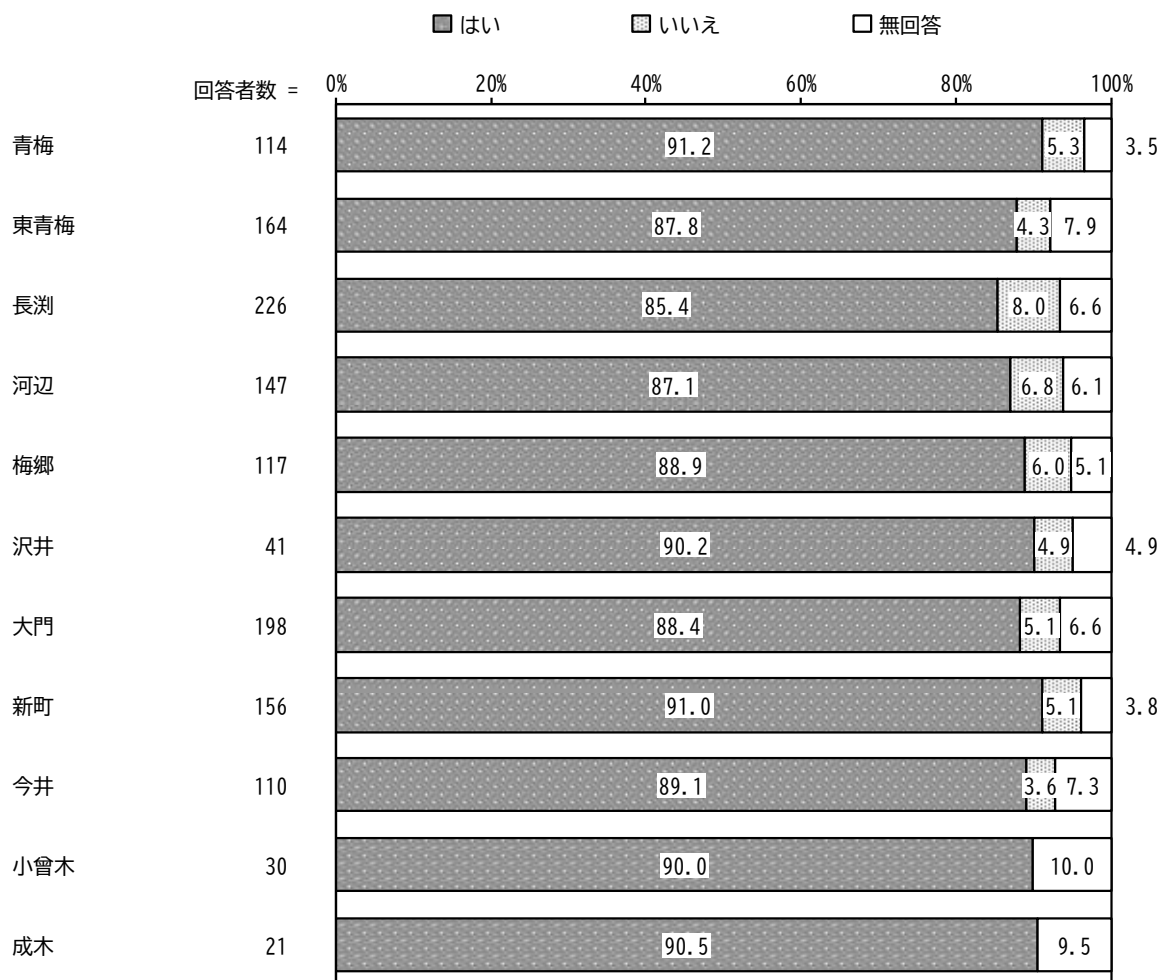
毎日入れ歯の手入れをしていますか

「はい」の割合が 88.4%、「いいえ」の割合が 5.5%となっています。



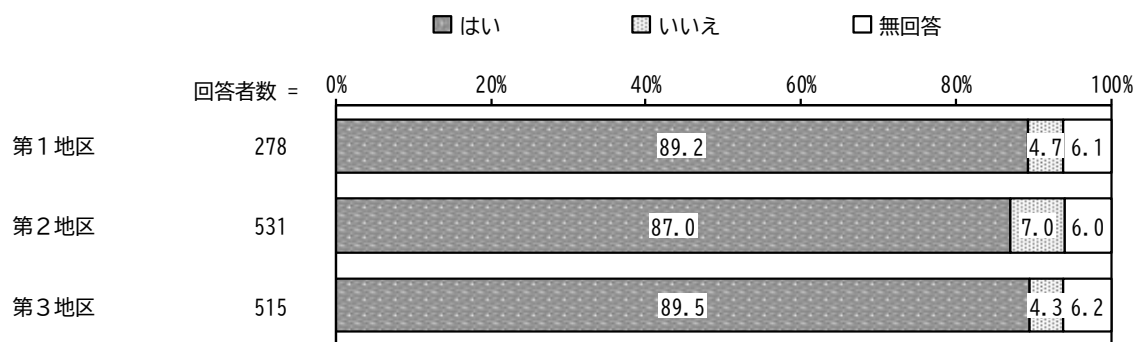
【地区別】

地区別にみると、大きな差はみられません。



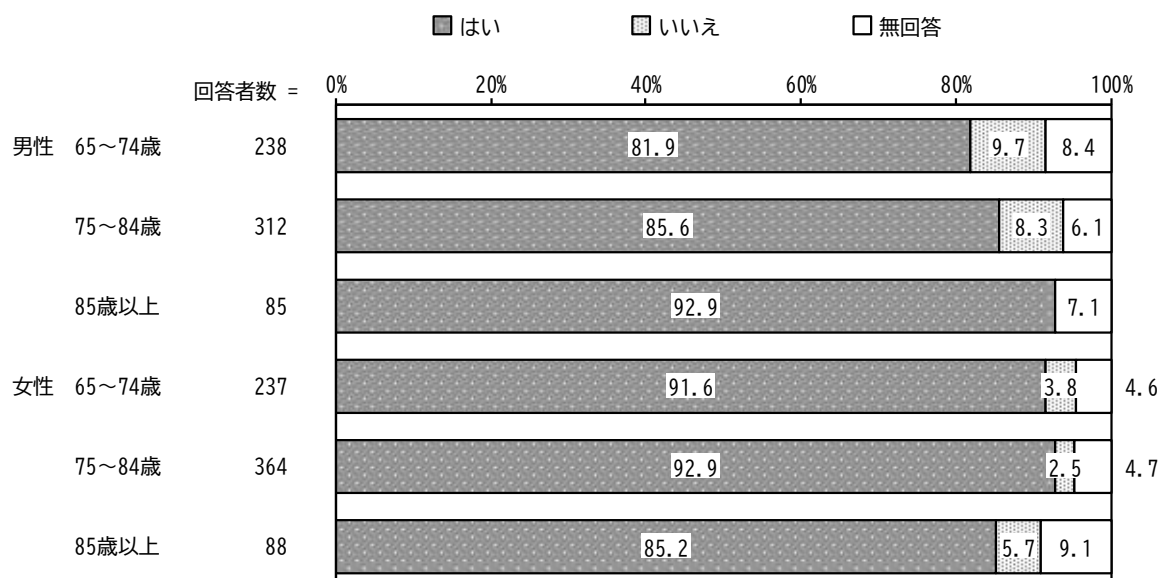
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



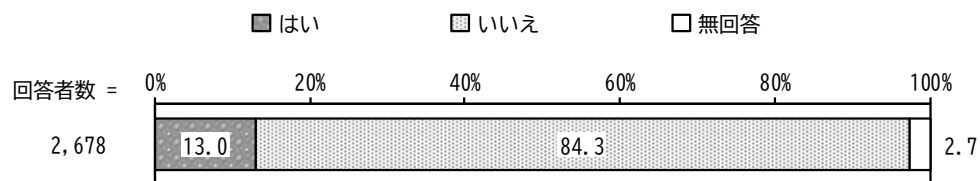
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。



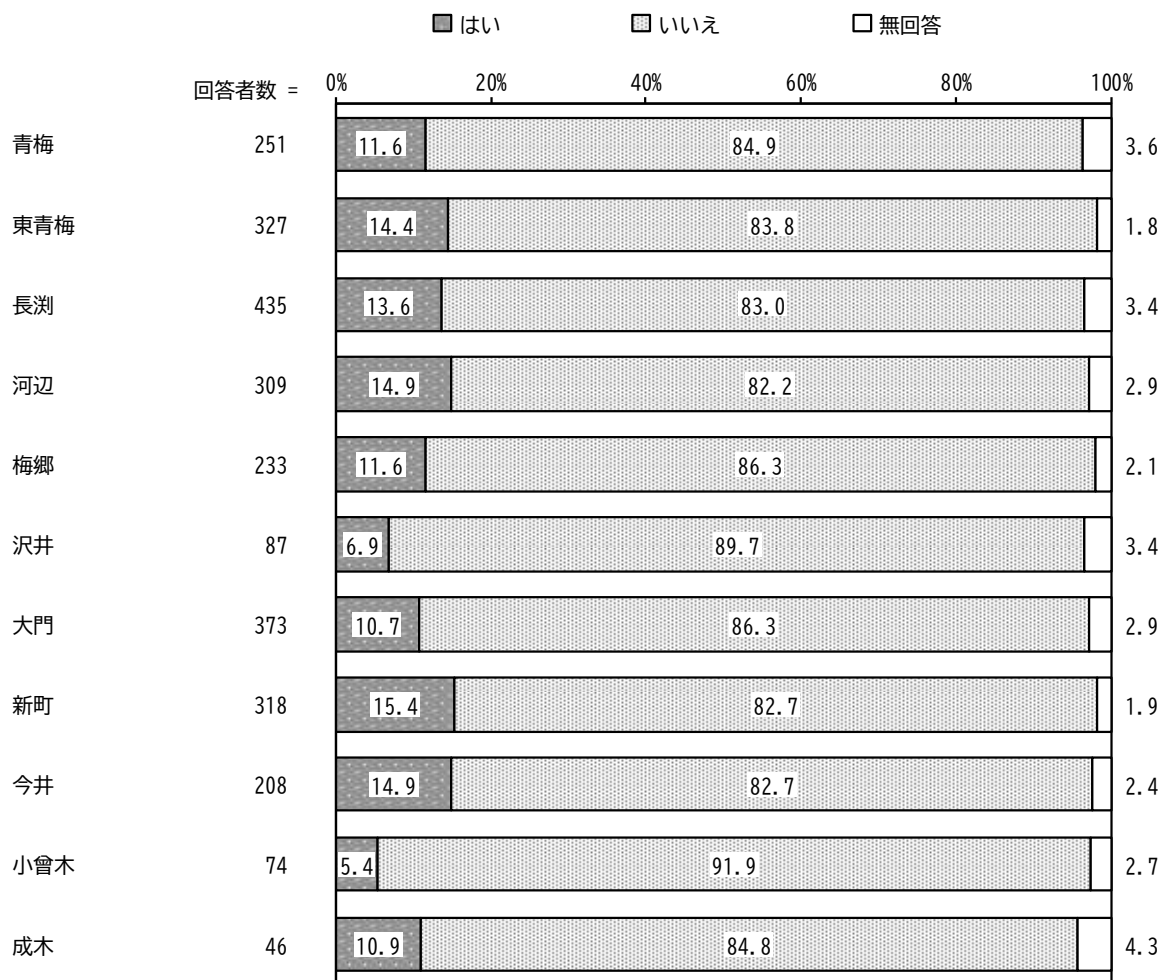
(7) 6か月間で2～3 kg以上の体重減少がありましたか

「はい」の割合が13.0%、「いいえ」の割合が84.3%となっています。



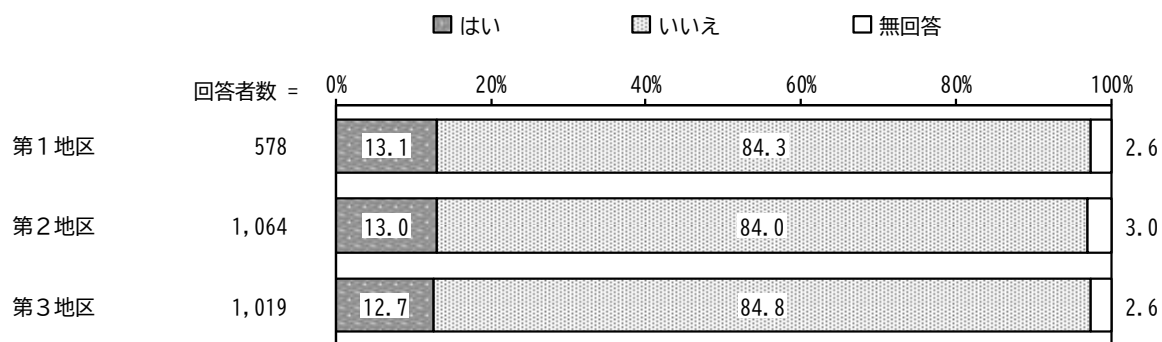
【地区別】

地区別にみると、沢井、小曾木で「いいえ」の割合が高くなっています。



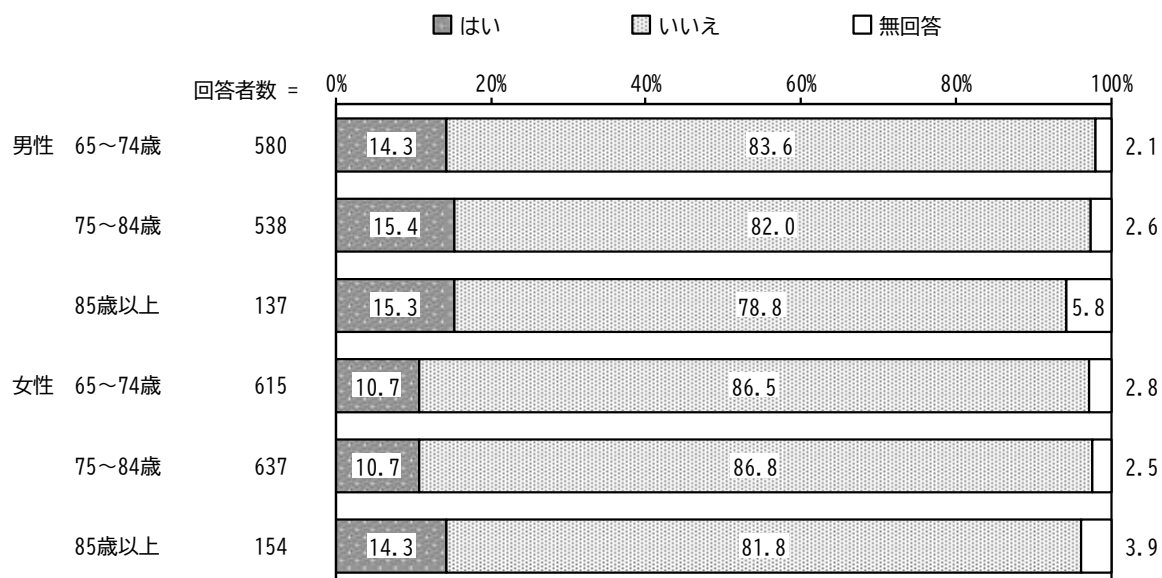
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



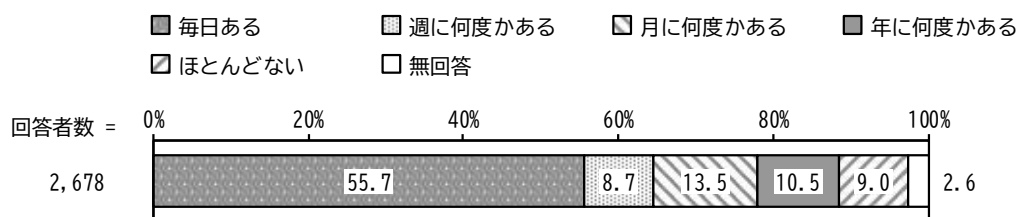
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「いいえ」の割合が高くなっています。



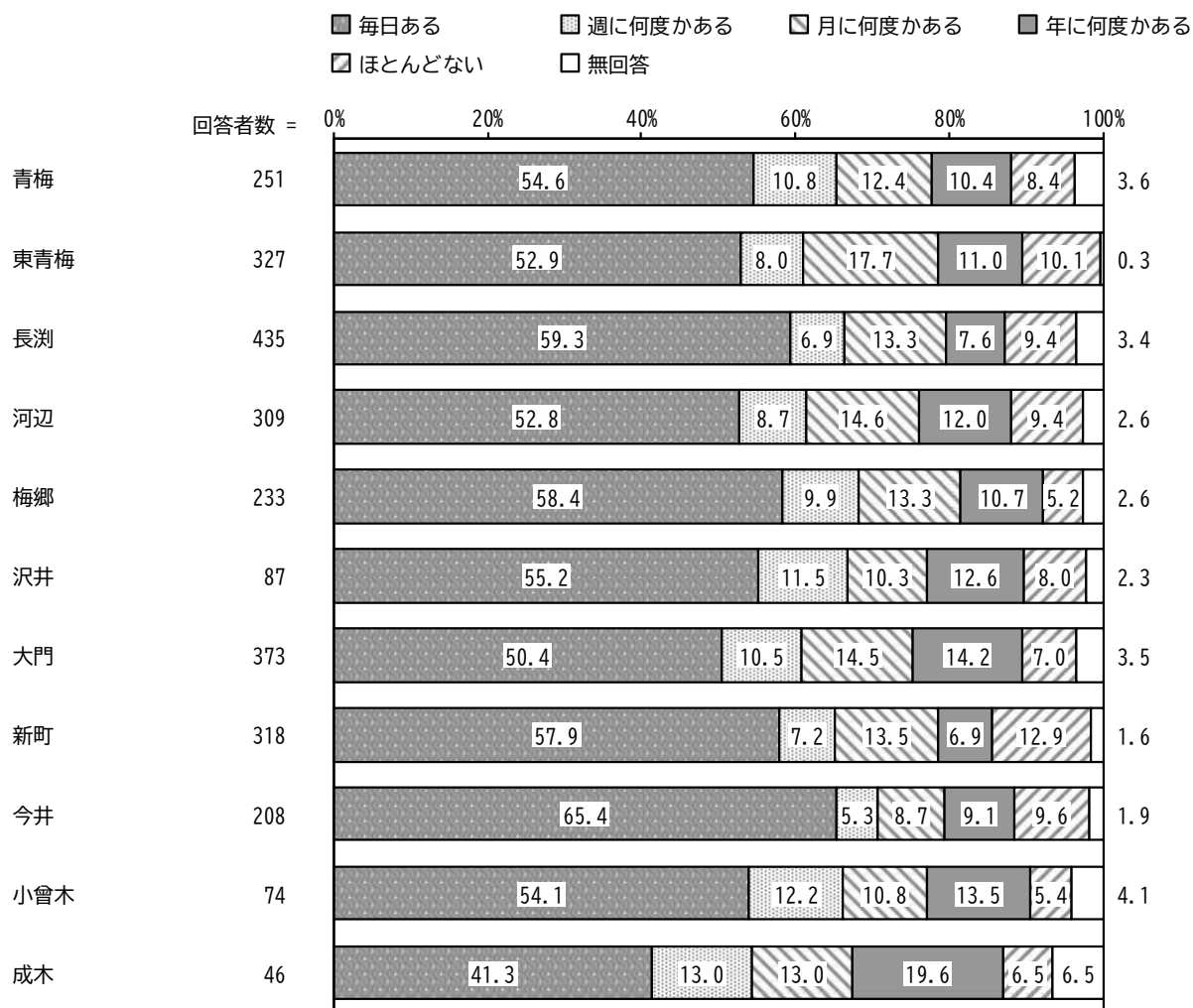
(8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか

「毎日ある」の割合が55.7%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が13.5%、「年に何度かある」の割合が10.5%となっています。



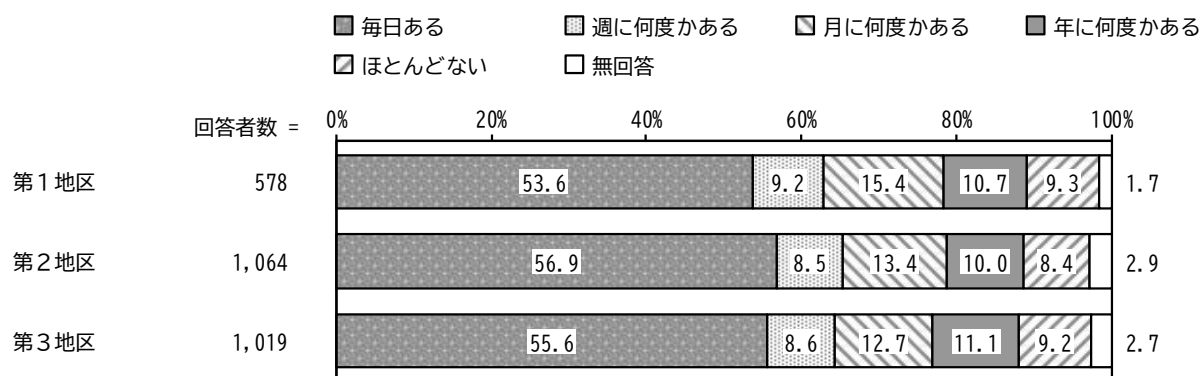
【地区別】

地区別にみると、今井で「毎日ある」、成木で「年に何度かある」の割合が高くなっています。



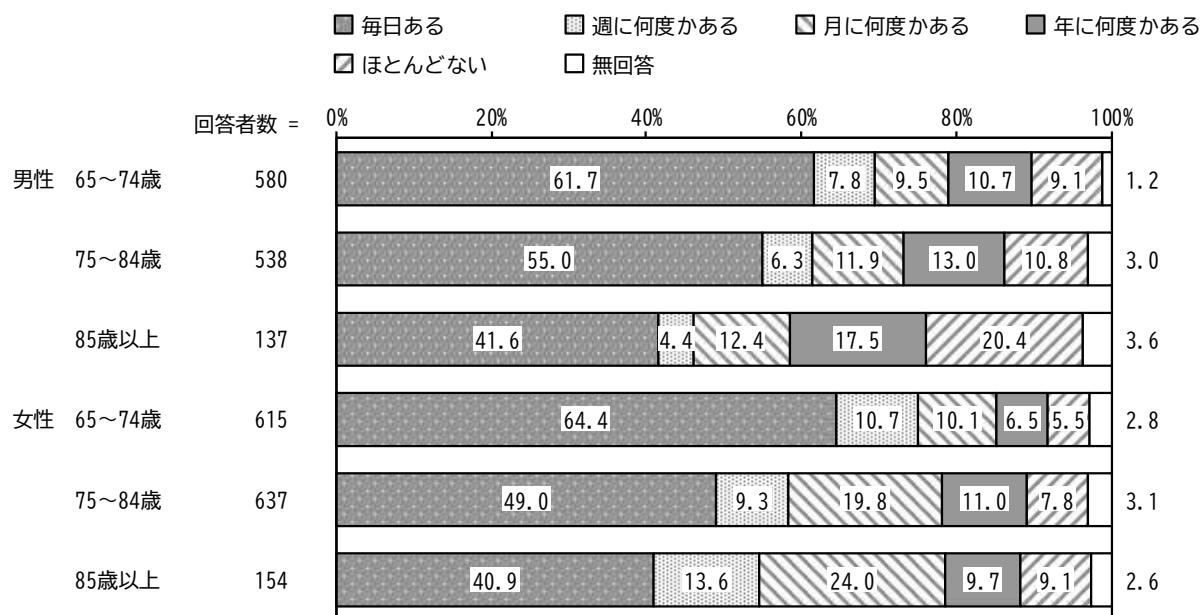
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

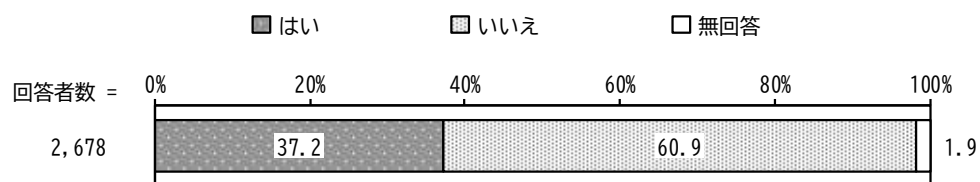
性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「毎日ある」の割合が低く、男性では「年に何度かある」「ほとんどない」の割合が高く、女性では「月に何度かある」の割合が高くなっています。



問4 毎日の生活について

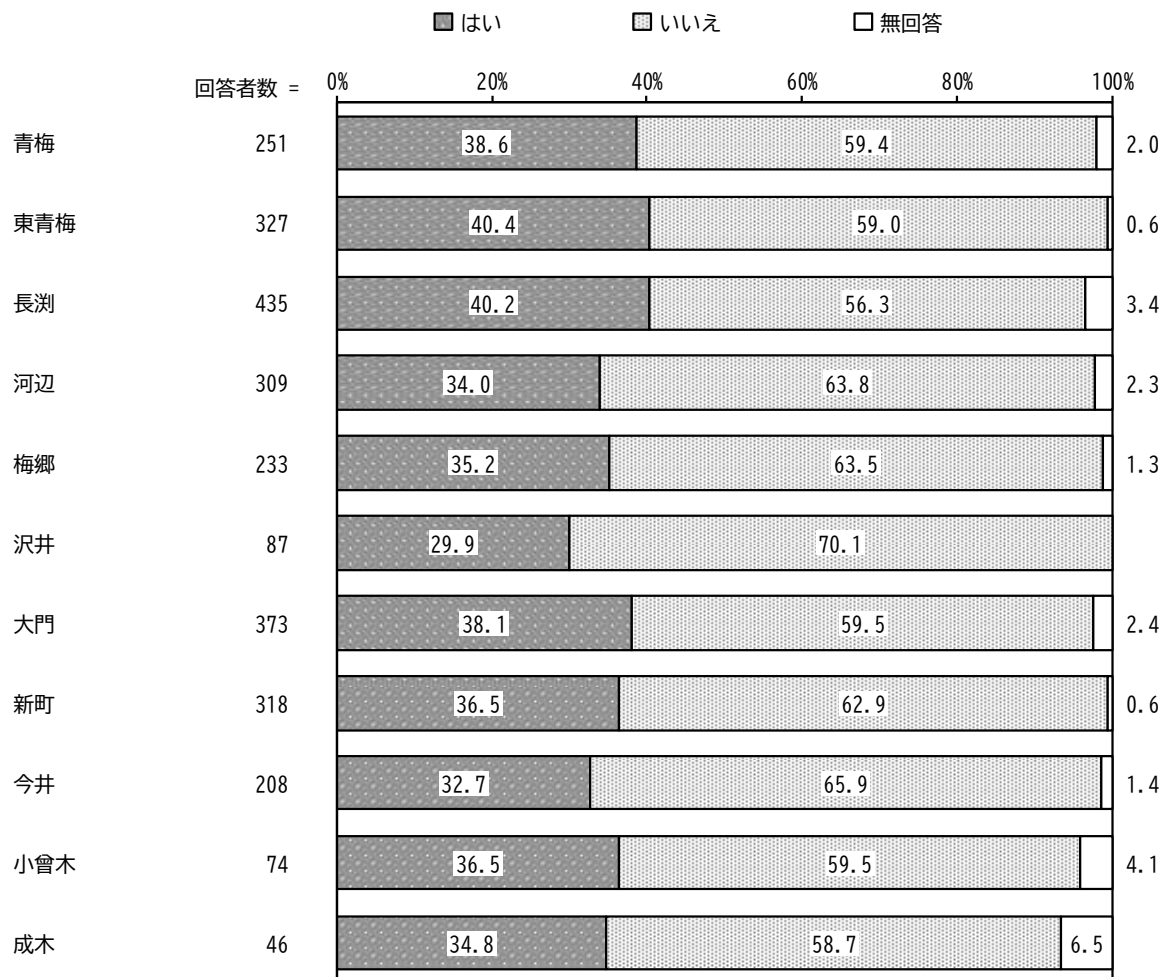
(1) 物忘れが多いと感じますか

「はい」の割合が37.2%、「いいえ」の割合が60.9%となっています。



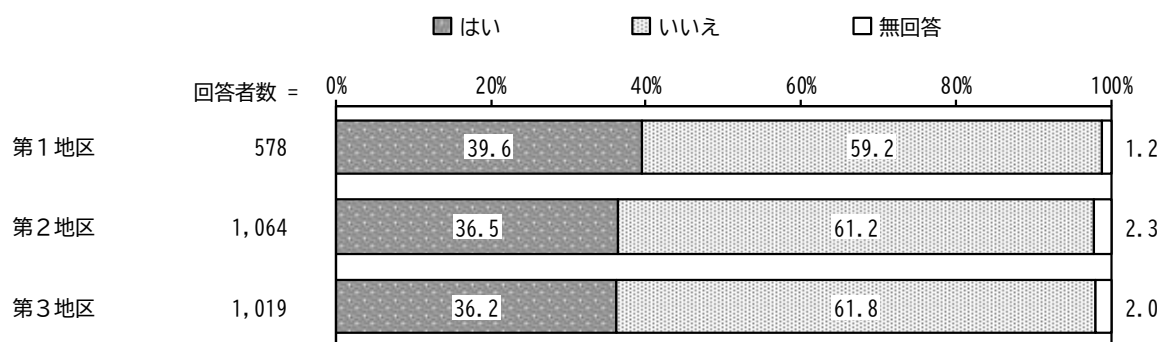
【地区別】

地区別にみると、沢井で「いいえ」の割合が高くなっています。



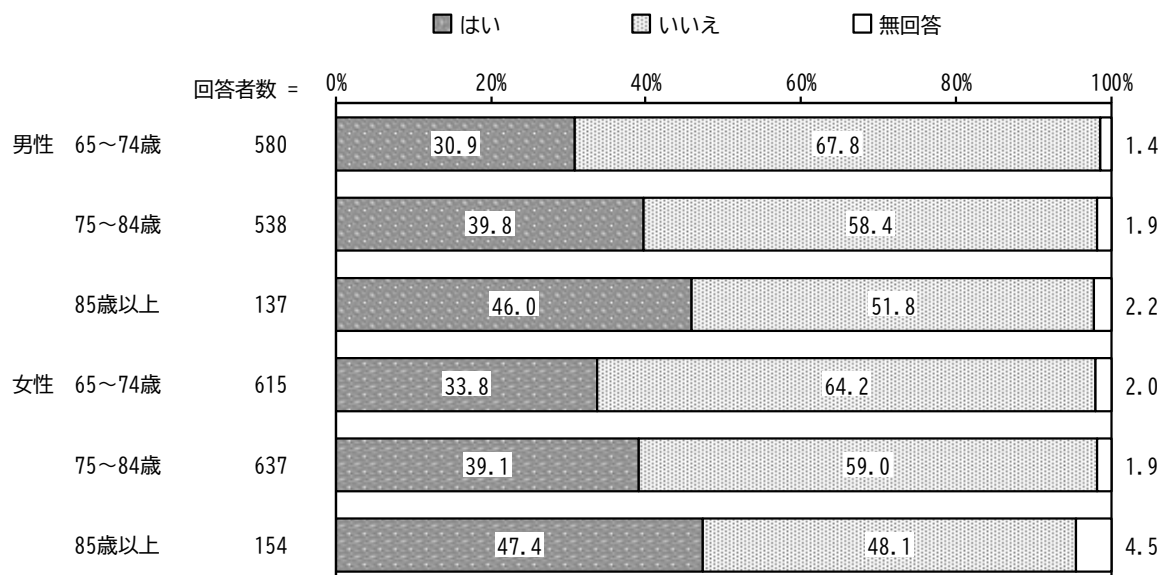
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



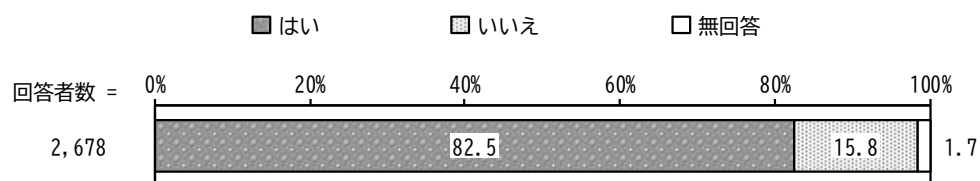
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。また、女性85歳以上で「いいえ」の割合が低くなっています。



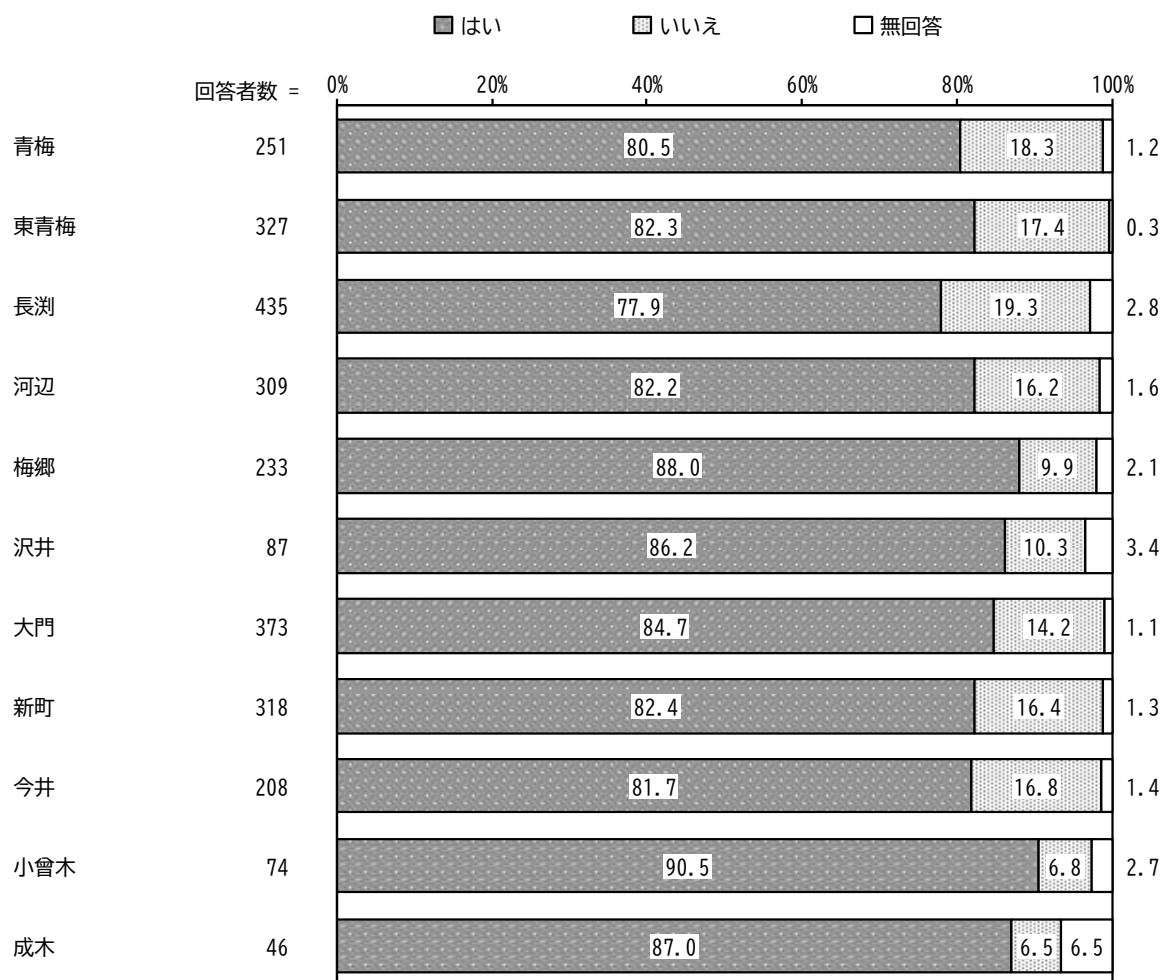
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

「はい」の割合が82.5%、「いいえ」の割合が15.8%となっています。



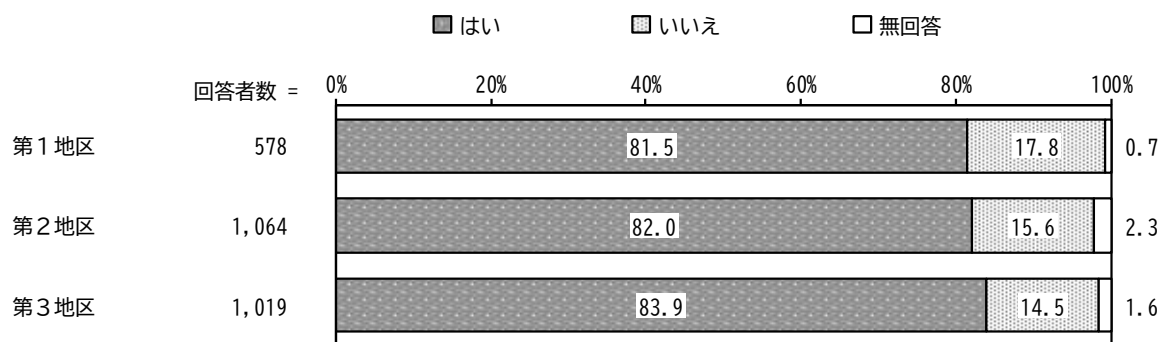
【地区別】

地区別にみると、梅郷、小曾木で「はい」の割合が高くなっています。



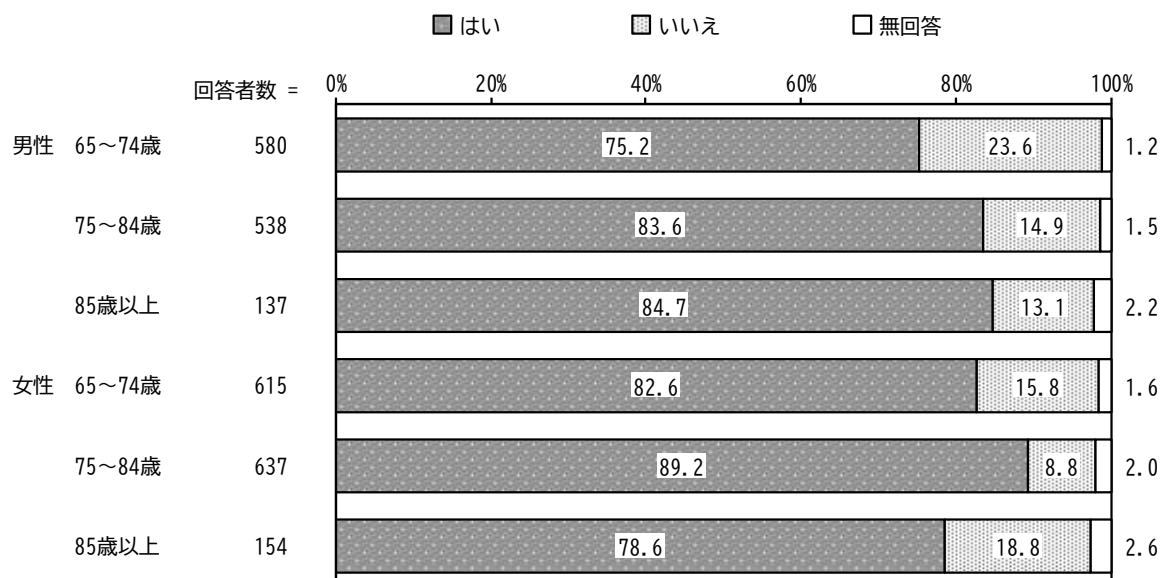
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



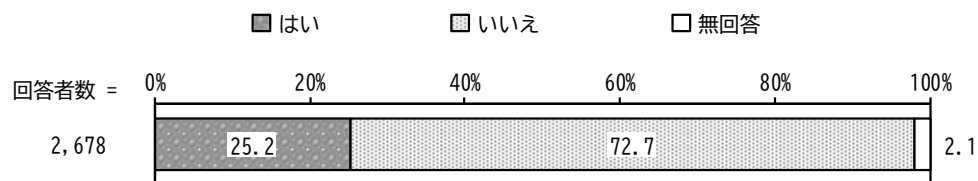
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。



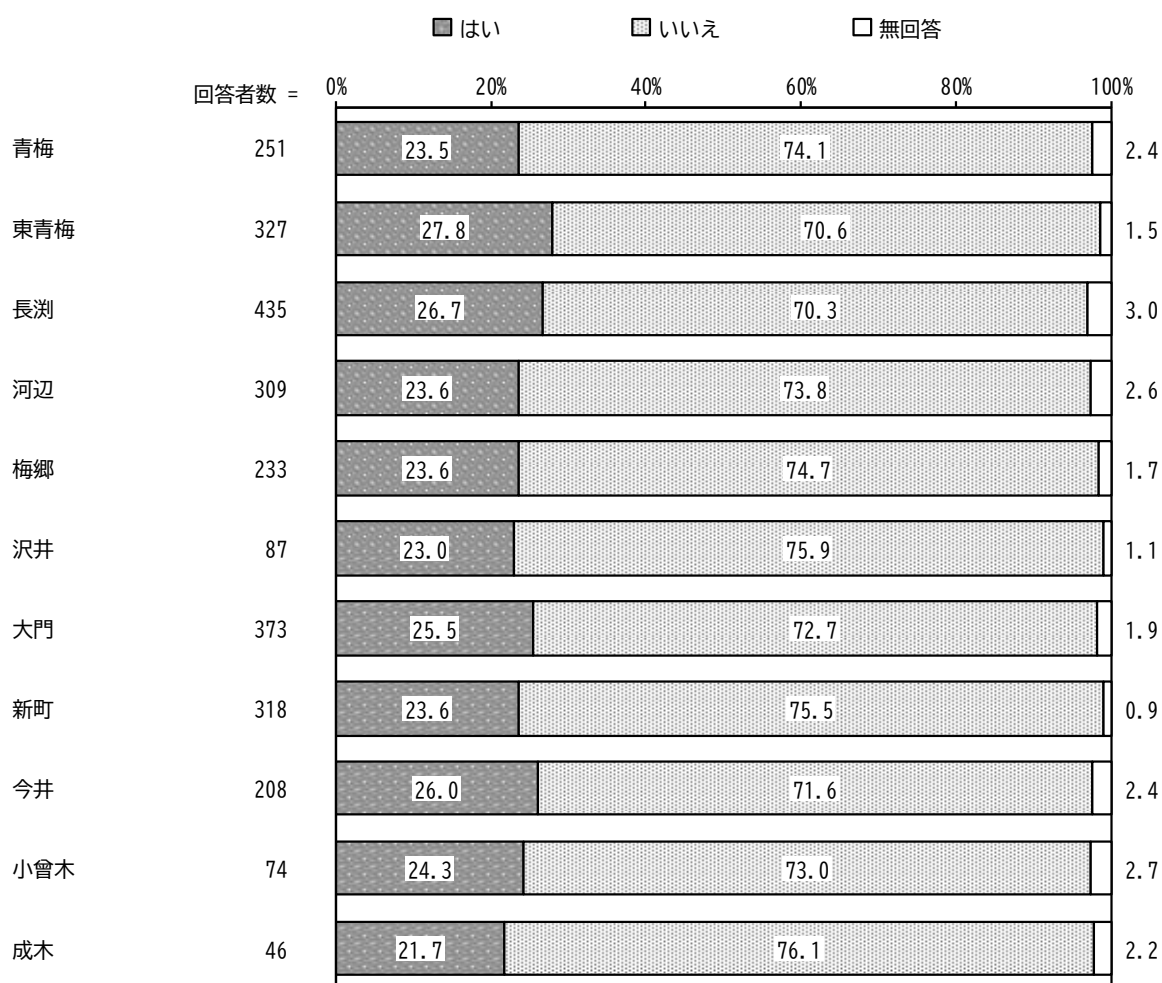
(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか

「はい」の割合が25.2%、「いいえ」の割合が72.7%となっています。



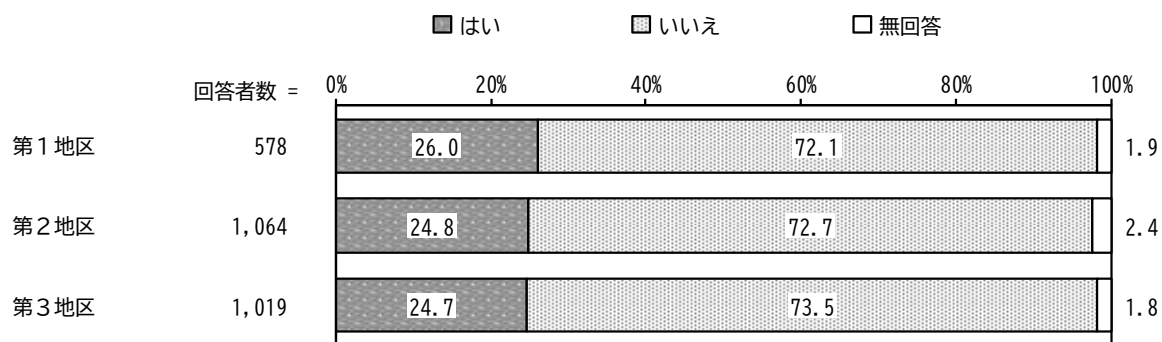
【地区別】

地区別にみると、大きな差はみられません。



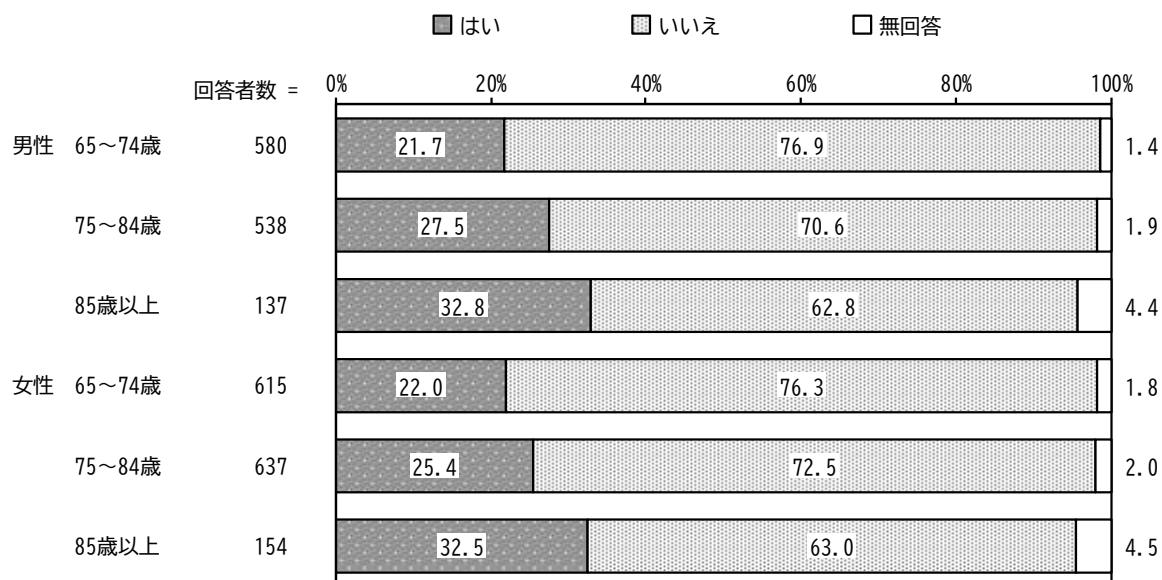
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



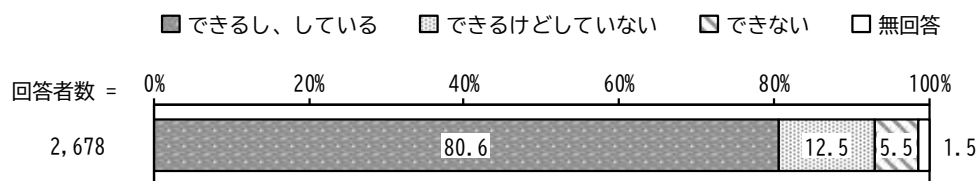
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。



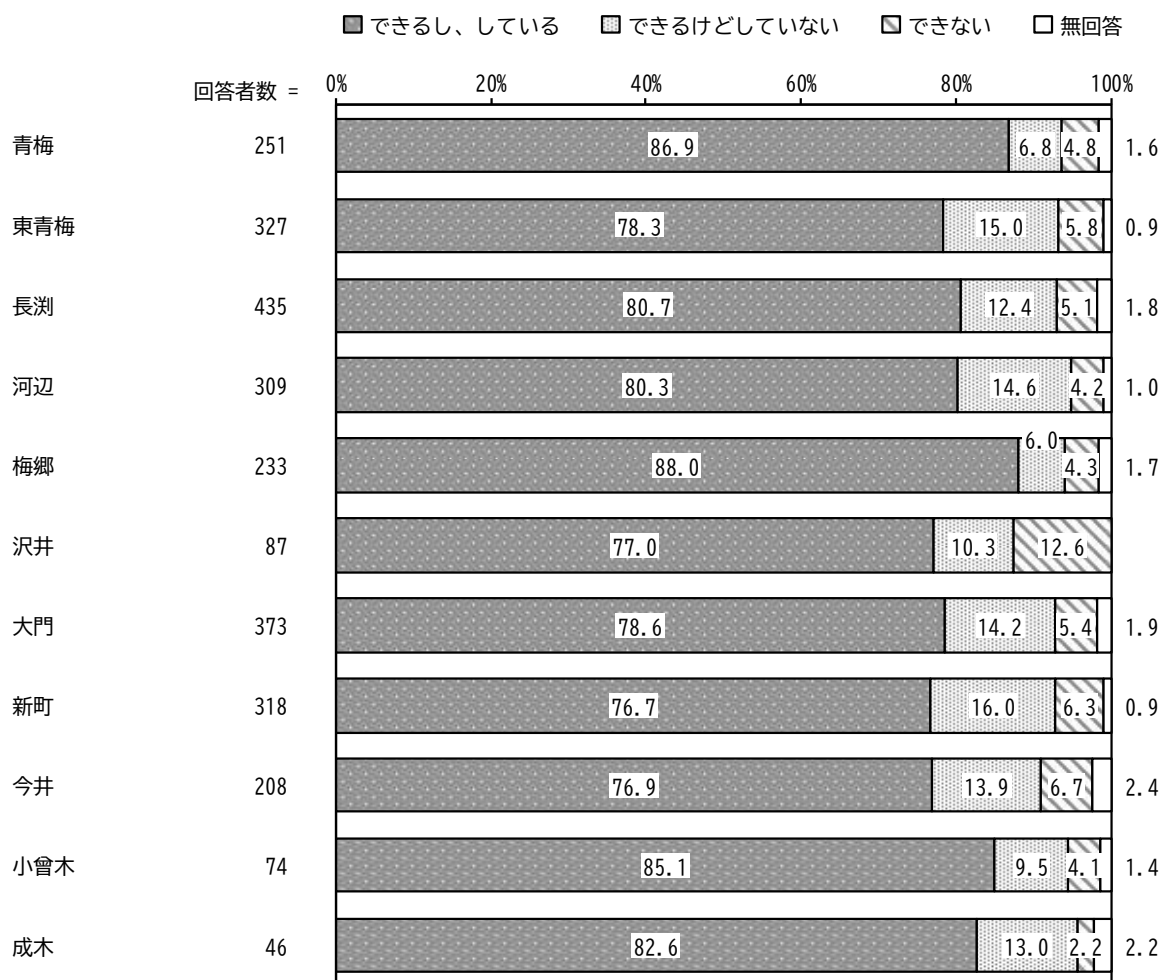
(4) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）

「できるし、している」の割合が80.6%、「できるけどしていない」の割合が12.5%、「できない」の割合が5.5%となっています。



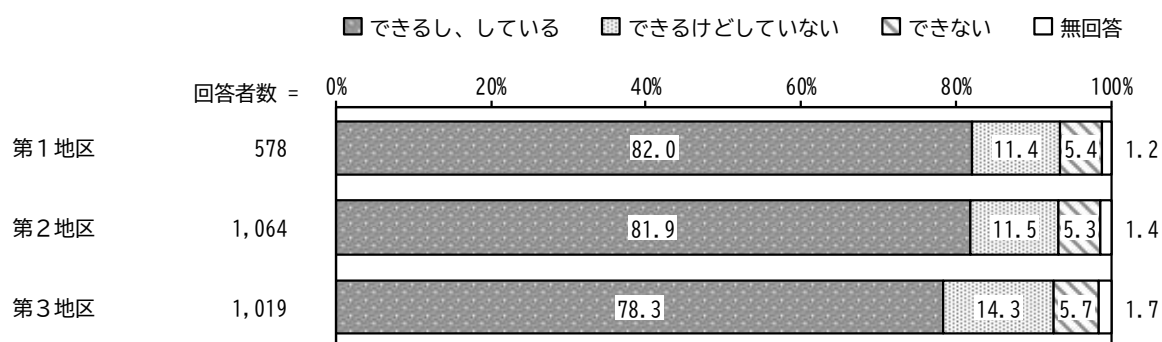
【地区別】

地区別にみると、青梅、梅郷で「できるし、している」、沢井で「できない」の割合が高くなっています。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



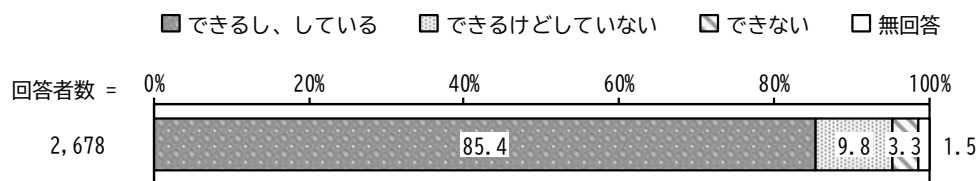
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「できるけどしていない」「できない」の割合が高く、「できるし、している」の割合が低くなっています。



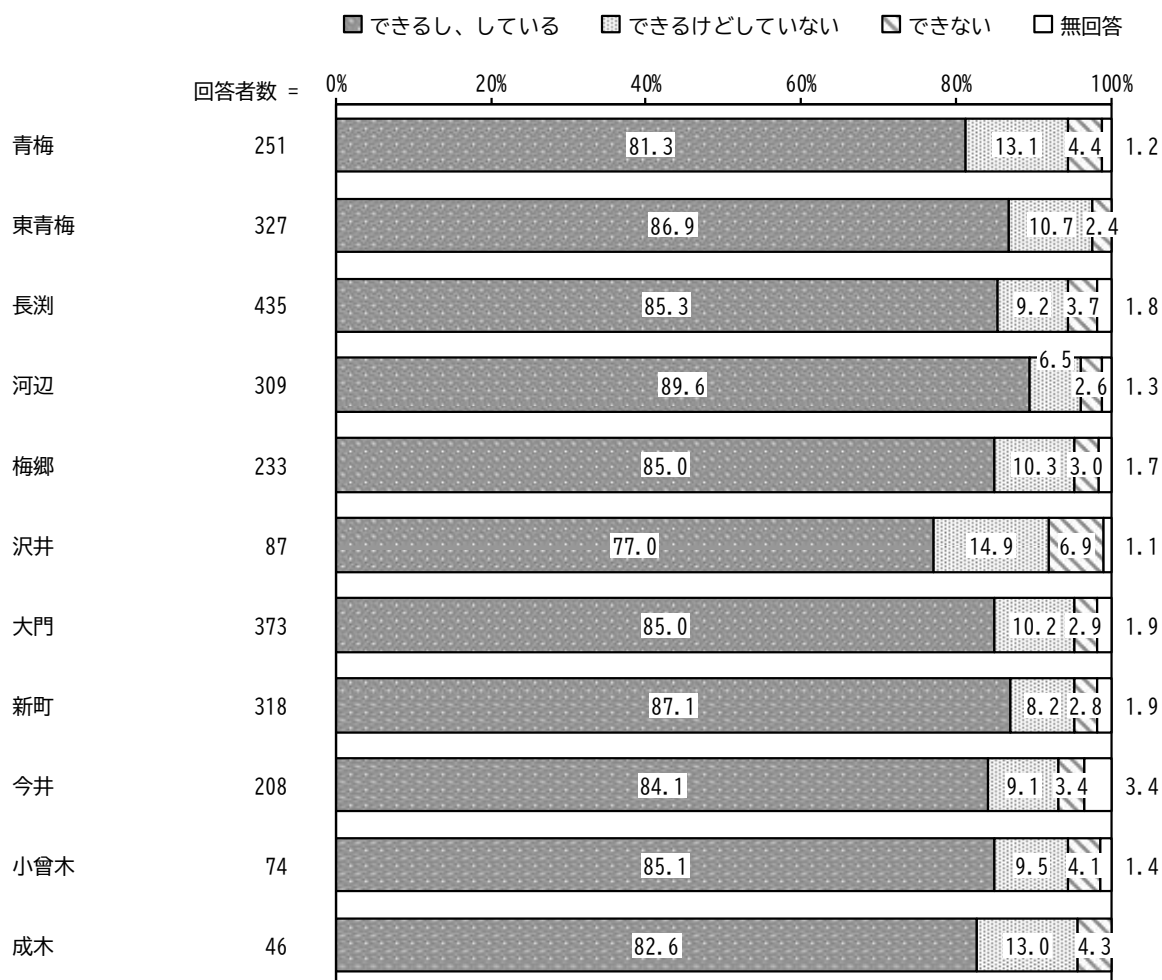
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

「できるし、している」の割合が85.4%、「できるけどしていない」の割合が9.8%、「できない」の割合が3.3%となっています。



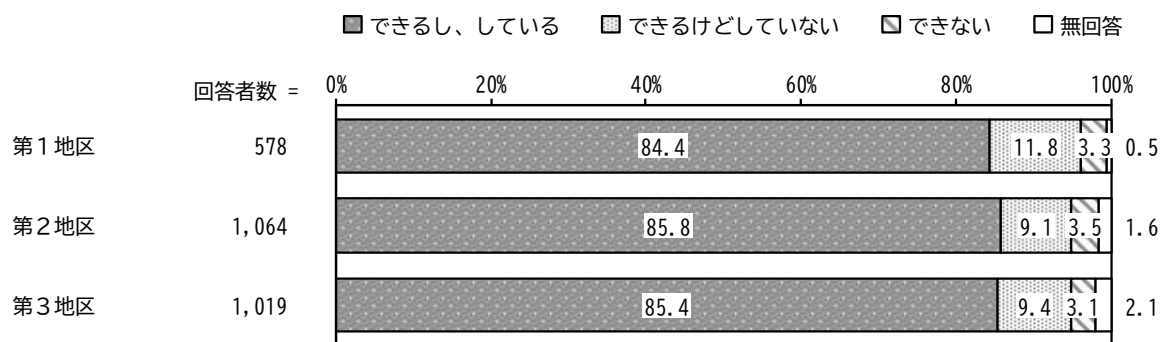
【地区別】

地区別にみると、沢井で「できるけどしていない」の割合が高く、「できるし、している」の割合が低くなっています。



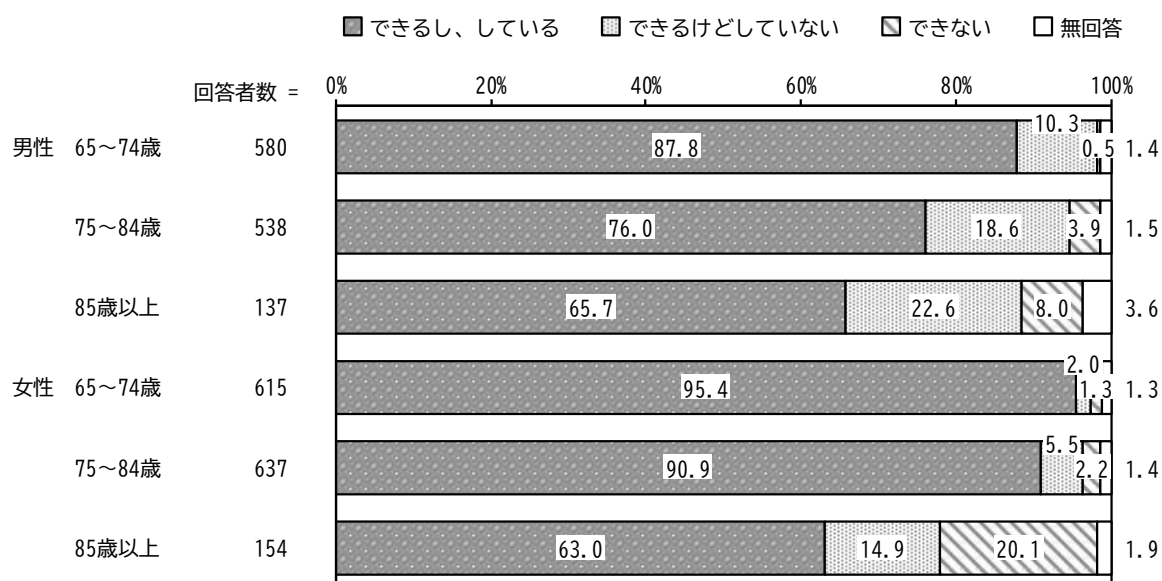
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



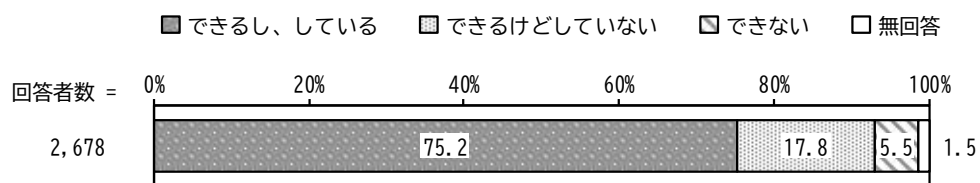
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「できるし、している」の割合が低く、男性では「できるけどしていない」の割合が高く、女性では「できるけどしていない」「できない」の割合が高くなっています。



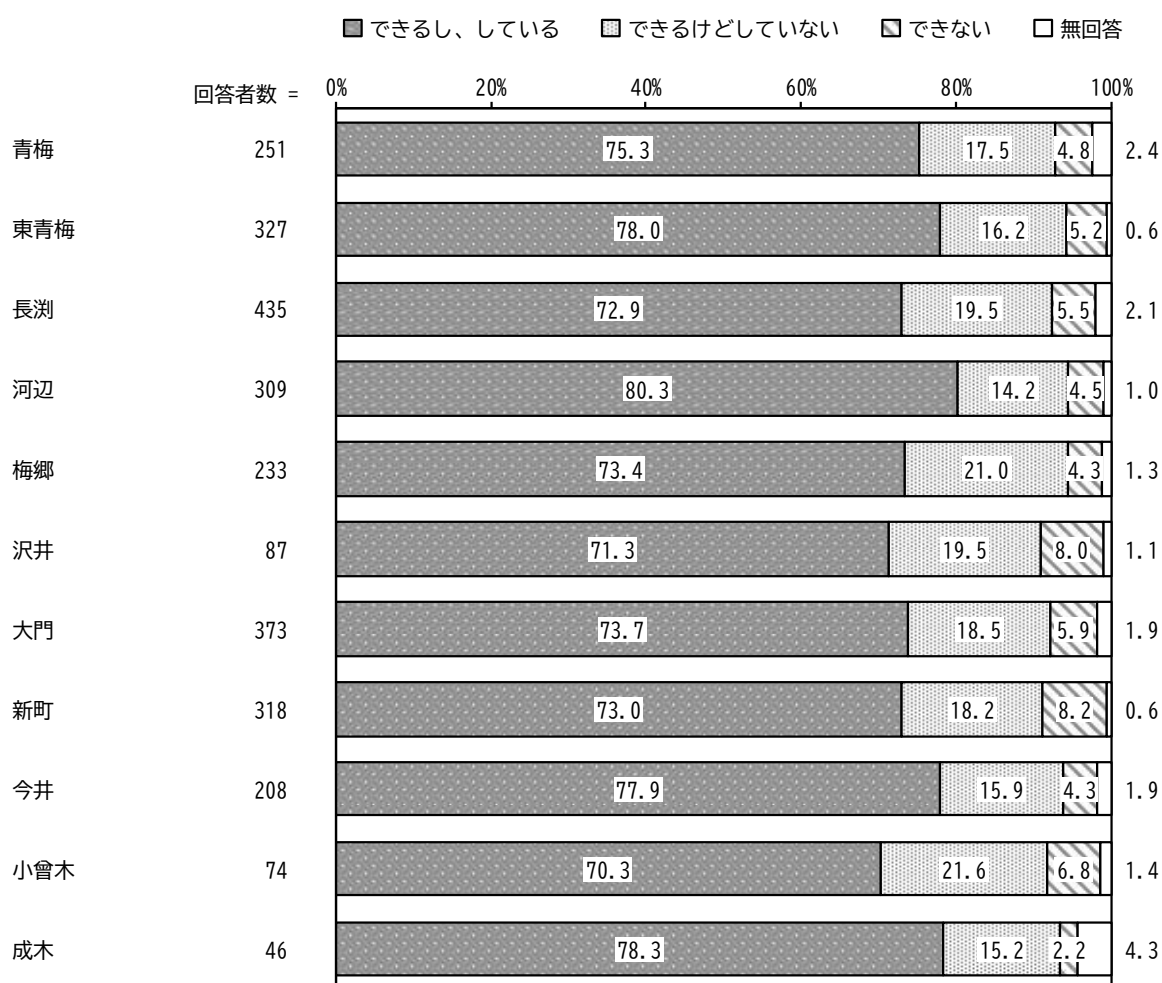
(6) 自分で食事の用意をしていますか

「できるし、している」の割合が75.2%、「できるけどしていない」の割合が17.8%、「できない」の割合が5.5%となっています。



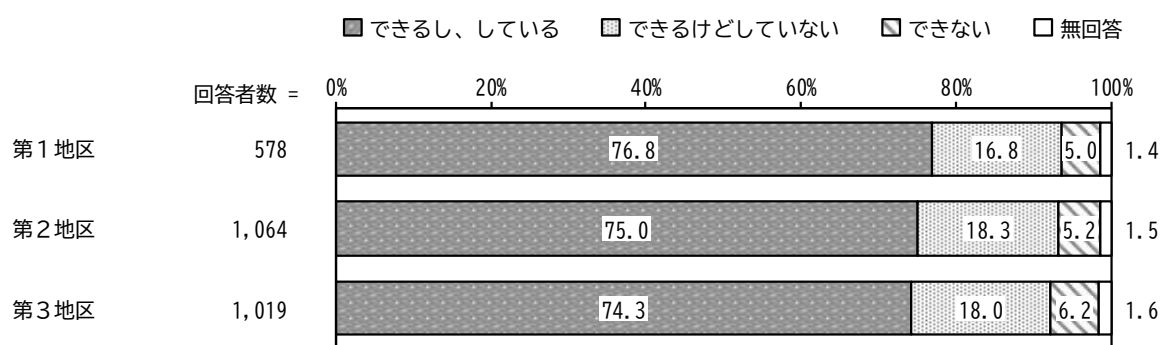
【地区別】

地区別にみると、河辺で「できるし、している」の割合が高くなっています。



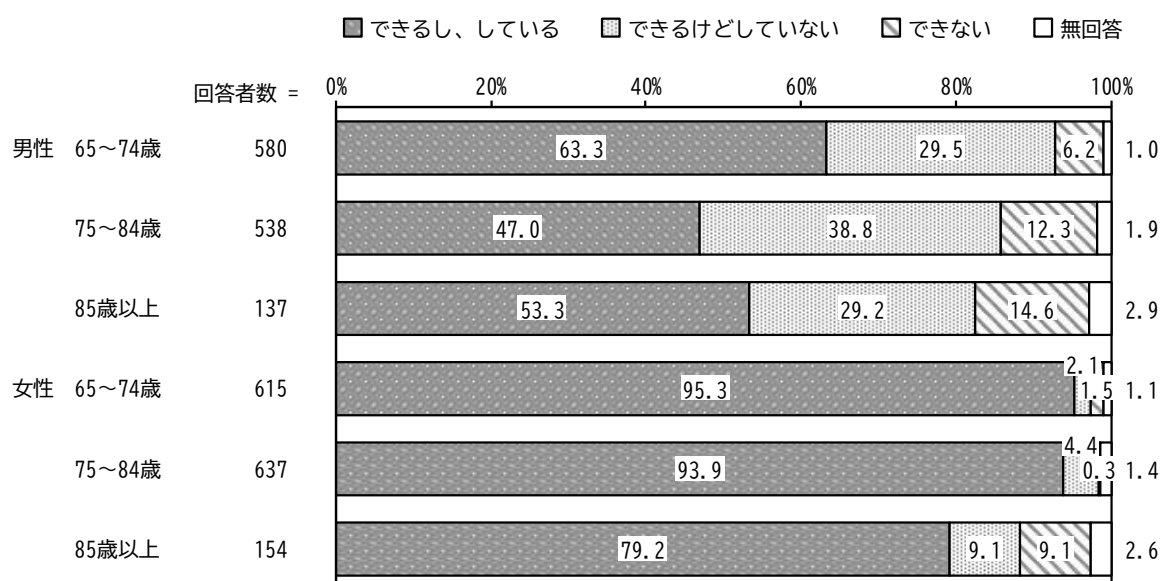
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



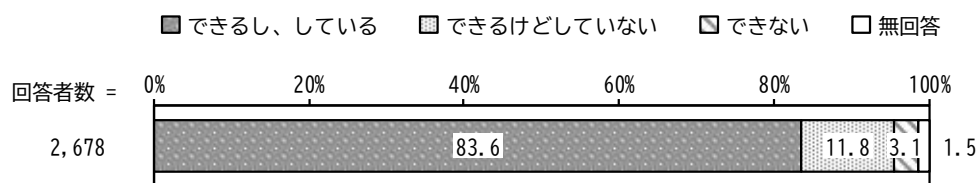
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「できない」の割合が高く、女性では年齢が下がるほど「できるし、している」の割合が高くなっています。また、男性75～84歳で「できるけどしていない」の割合が高くなっています。



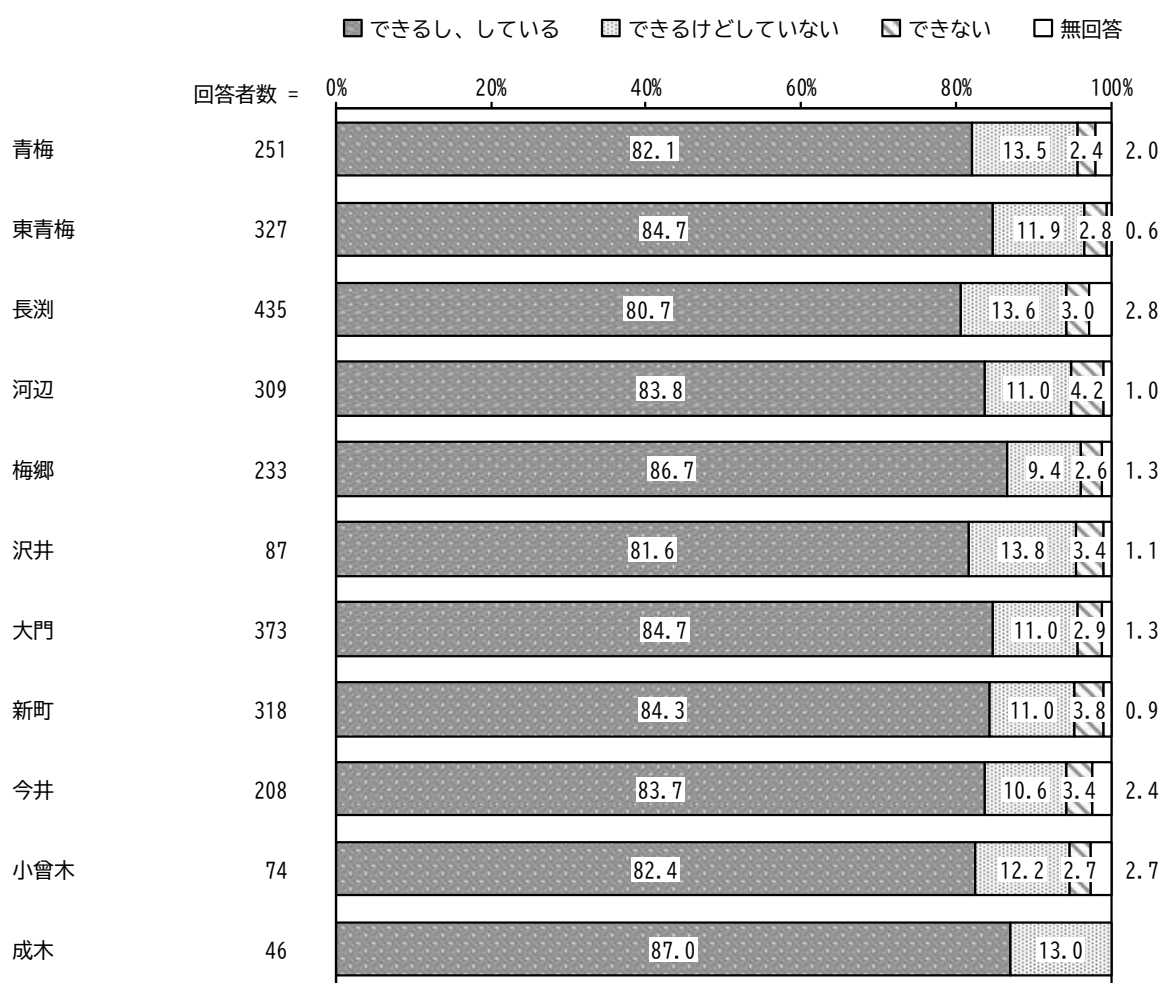
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか

「できるし、している」の割合が83.6%、「できるけどしていない」の割合が11.8%、「できない」の割合が3.1%となっています。



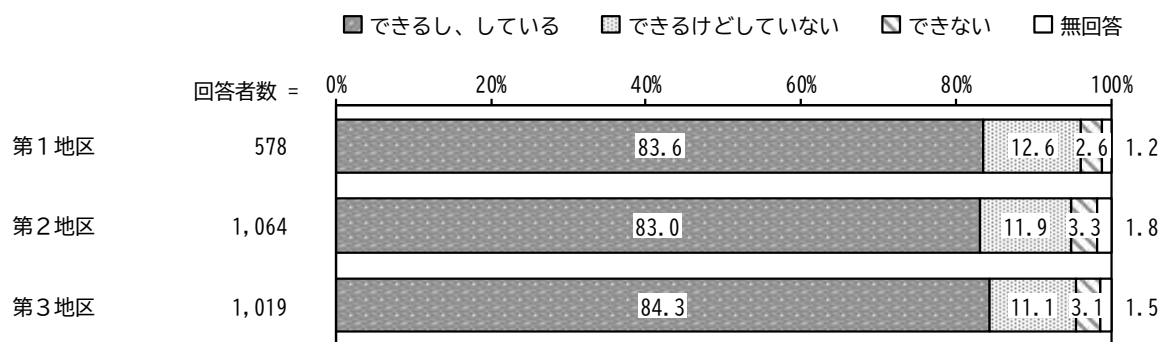
【地区別】

地区別にみると、大きな差はみられません。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



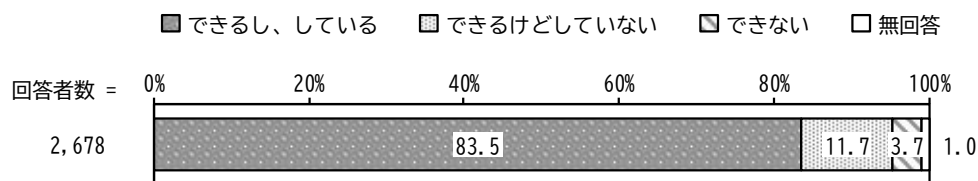
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が上がるほど「できるけどしていない」の割合が高く、「できるし、している」の割合が低くなっています。



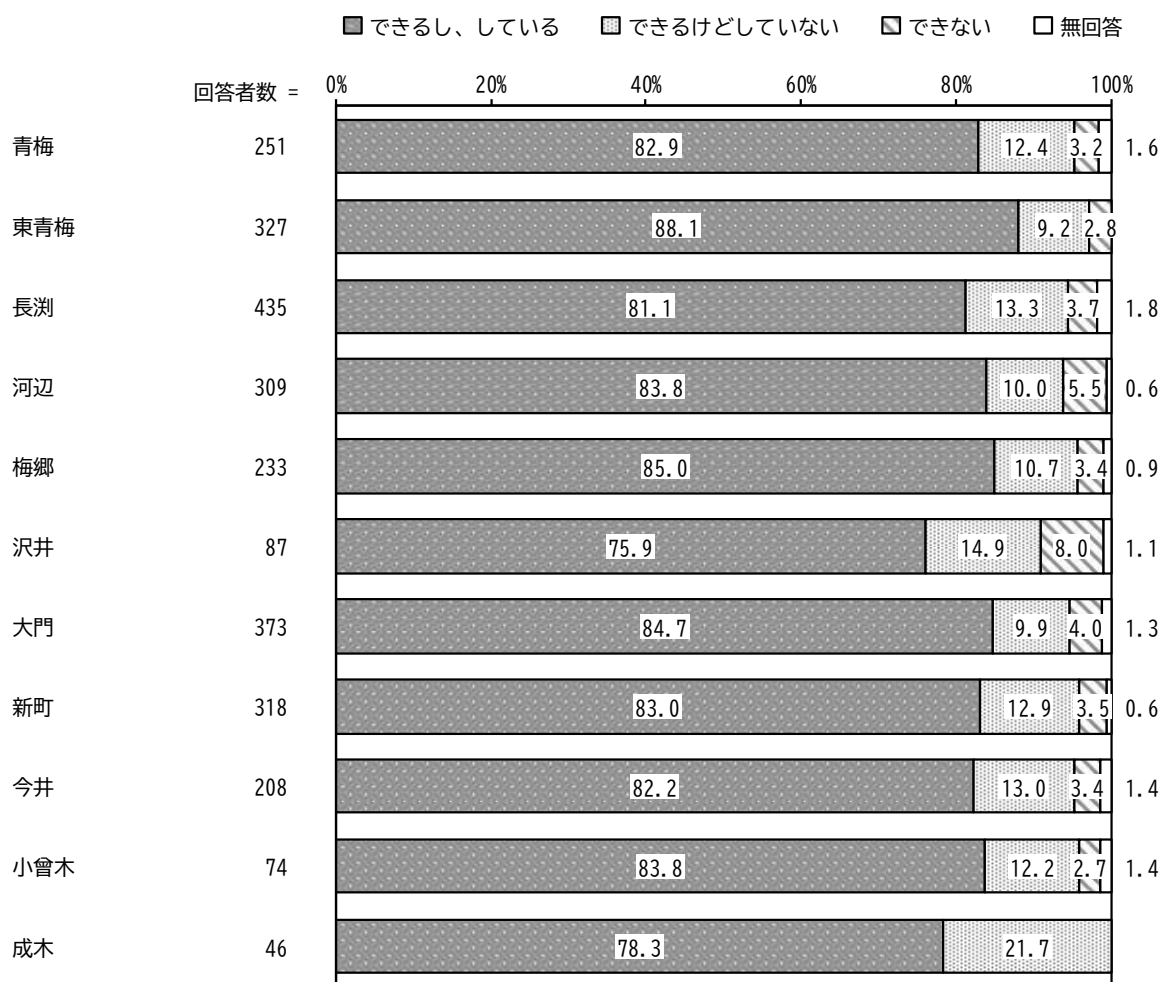
(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

「できるし、している」の割合が 83.5%、「できるけどしていない」の割合が 11.7%、「できない」の割合が 3.7%となっています。



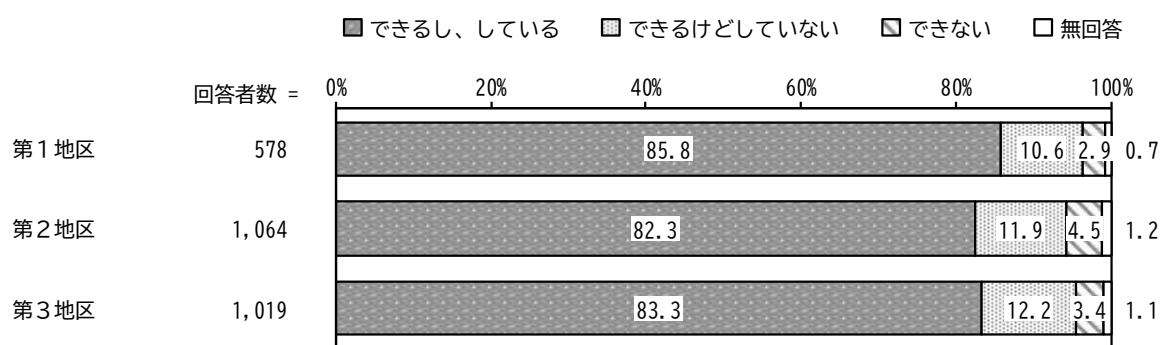
【地区別】

地区別にみると、成木で「できるけどしていない」の割合が高くなっています。



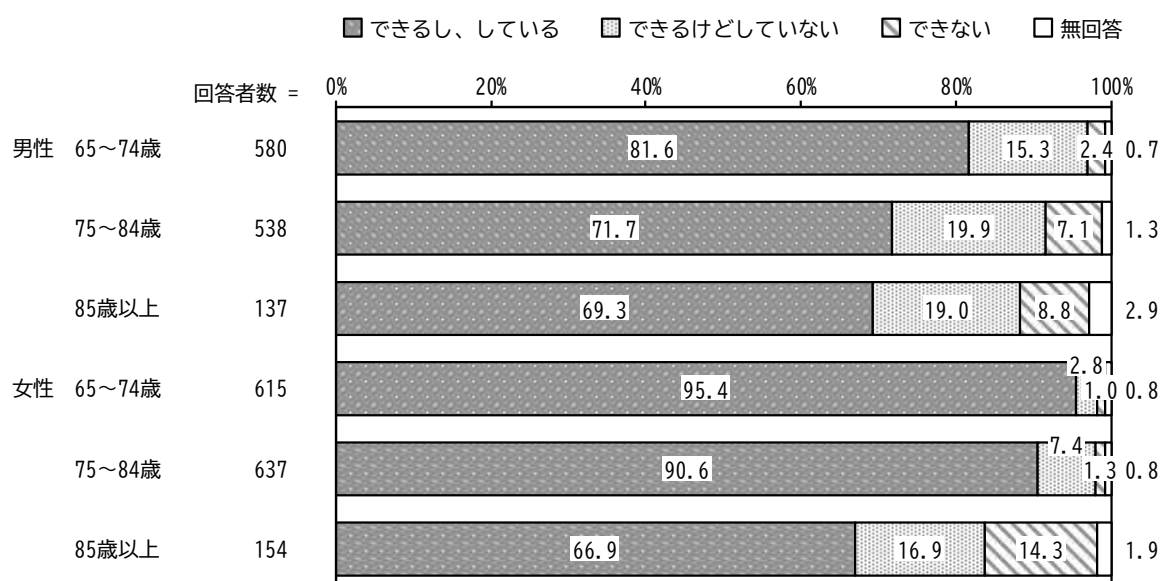
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



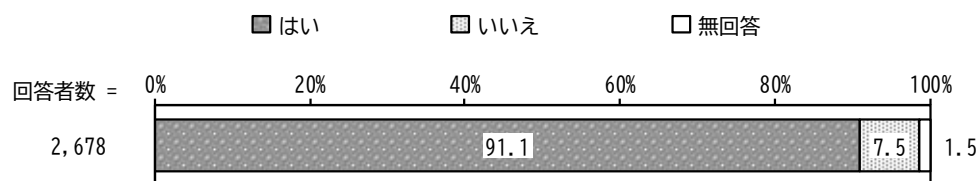
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「できるし、している」の割合が高く、女性では年齢が上がるほど「できるけどしていない」「できない」の割合が高く、「できるし、している」の割合が低くなっています。



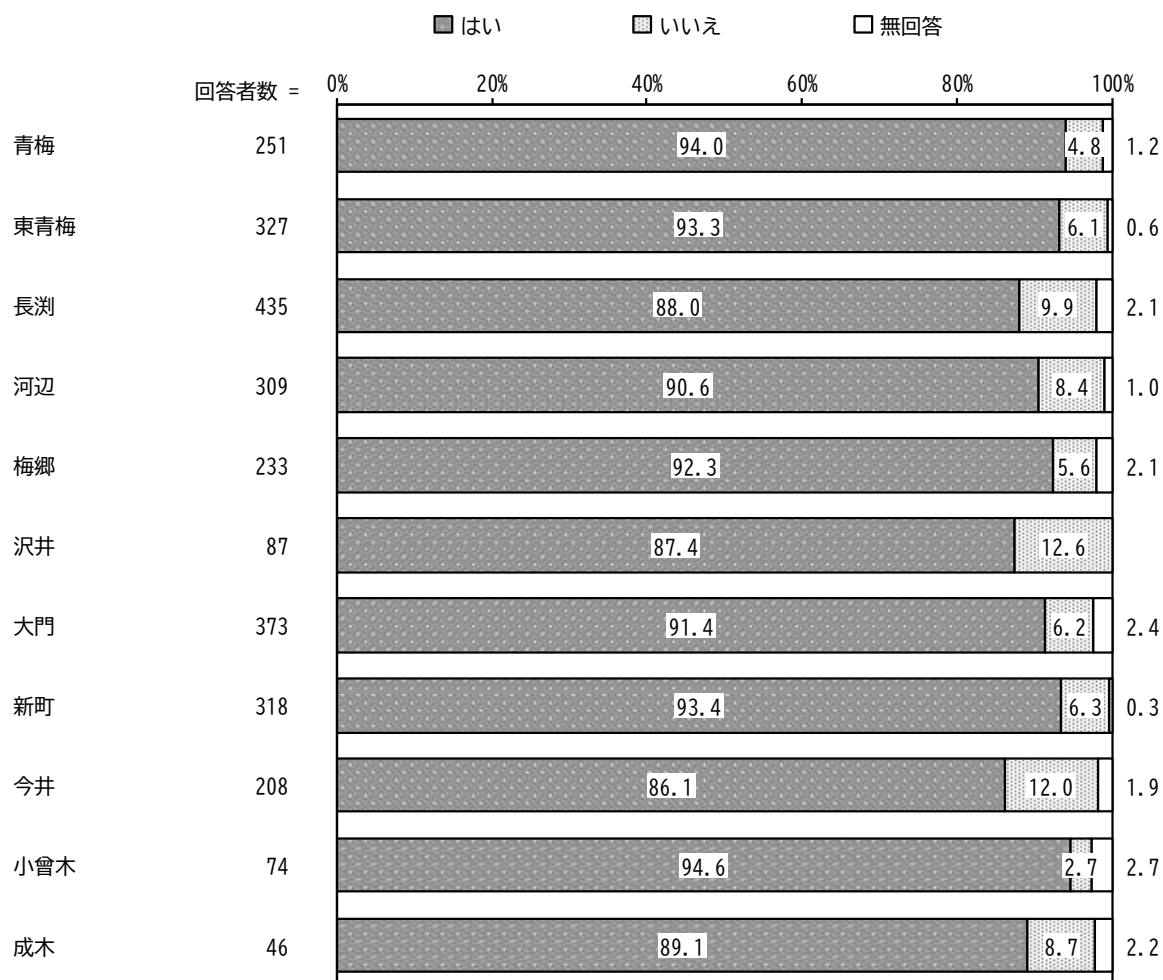
(9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか

「はい」の割合が91.1%、「いいえ」の割合が7.5%となっています。



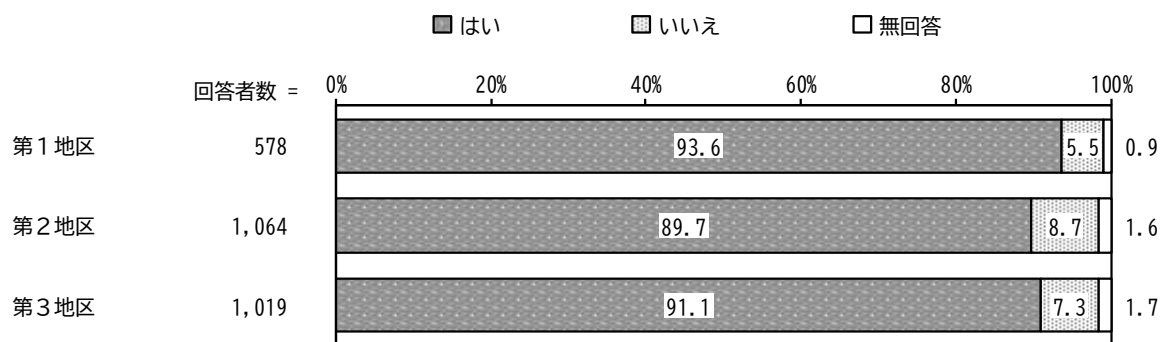
【地区別】

地区別にみると、沢井で「いいえ」の割合が高くなっています。



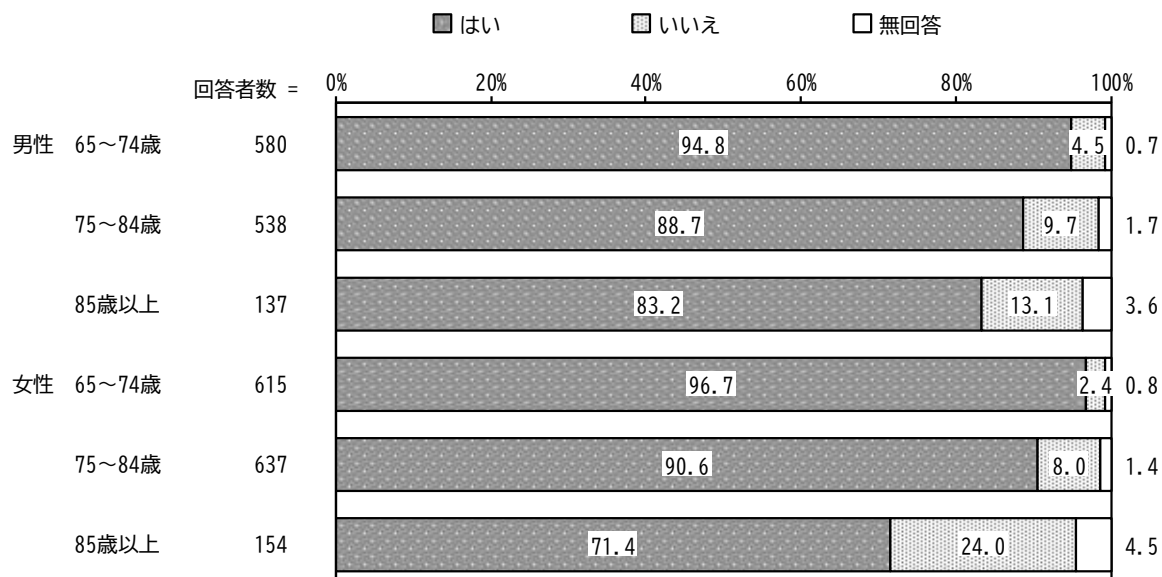
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



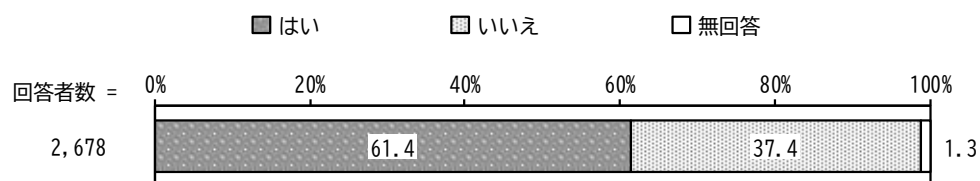
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「いいえ」の割合が高くなっています。また、男性85歳以上で「はい」の割合が低くなっています。



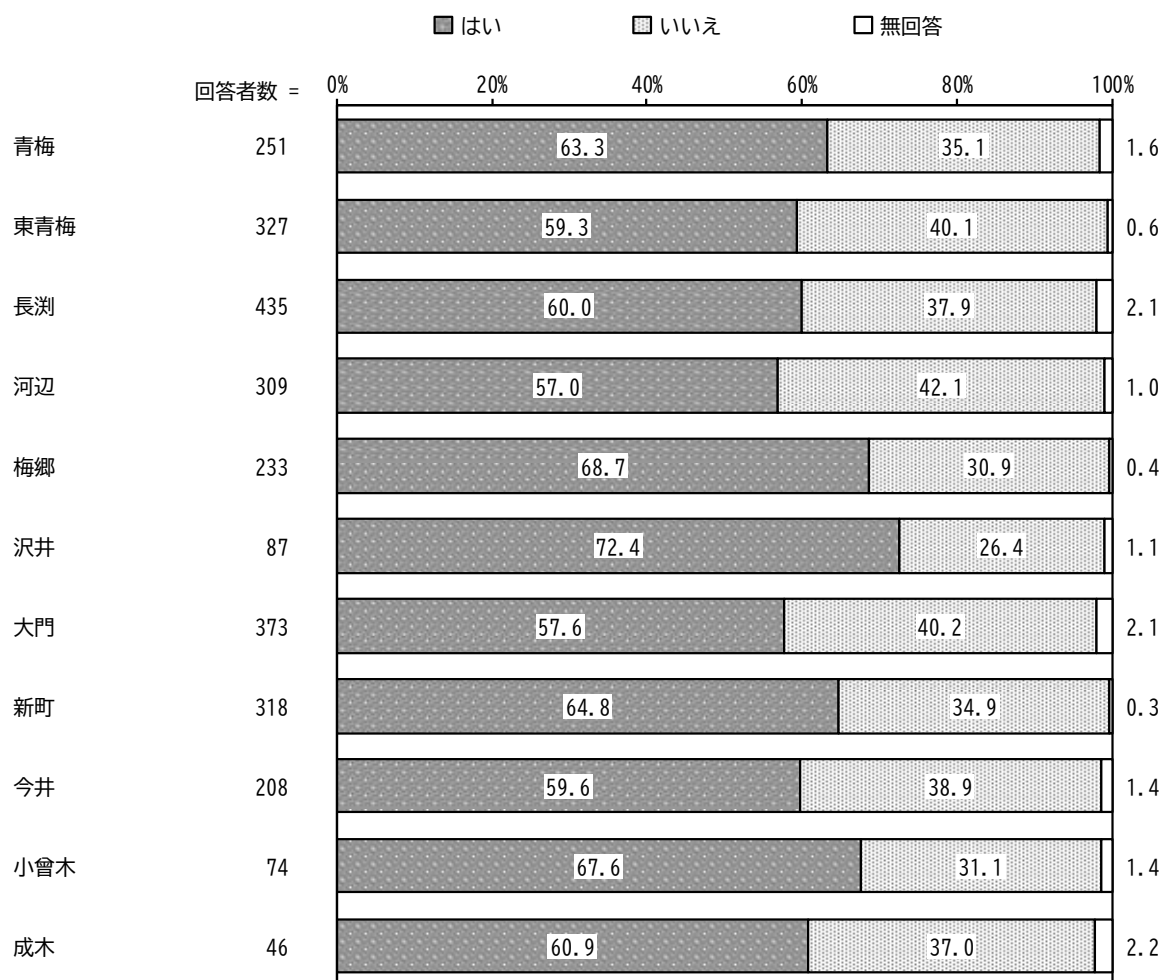
(10) 新聞を読んでいますか

「はい」の割合が61.4%、「いいえ」の割合が37.4%となっています。



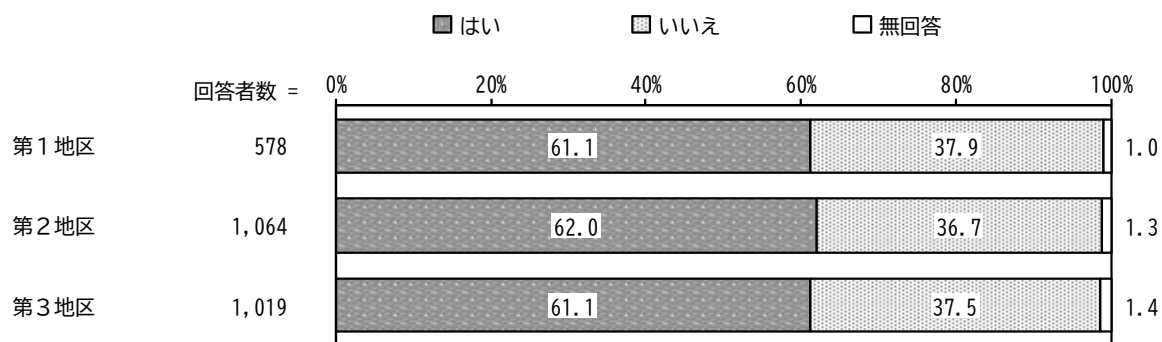
【地区別】

地区別にみると、沢井で「はい」の割合が高くなっています。



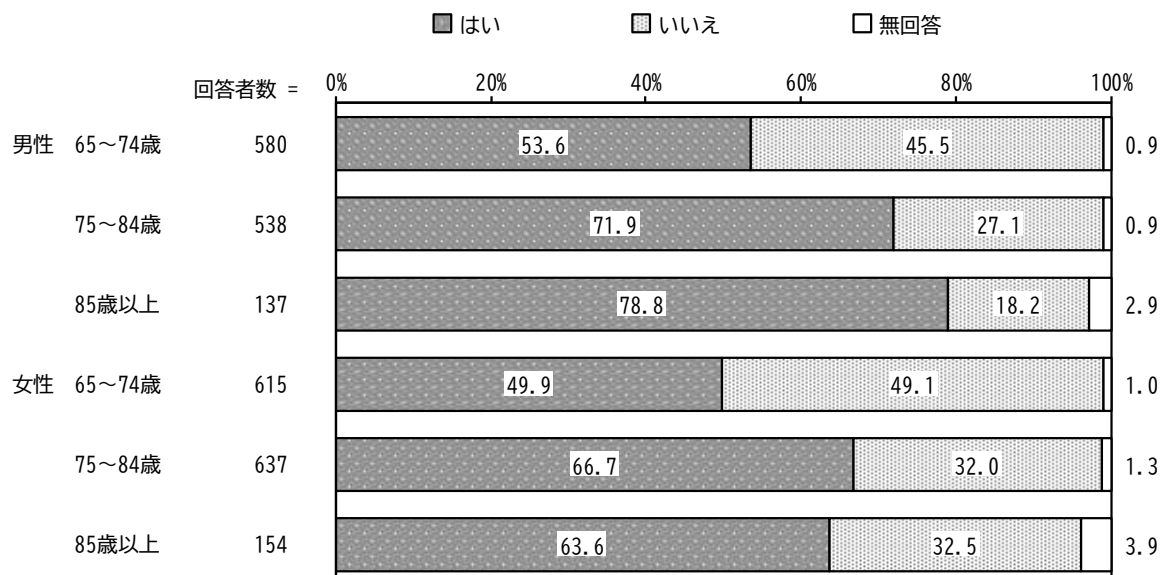
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



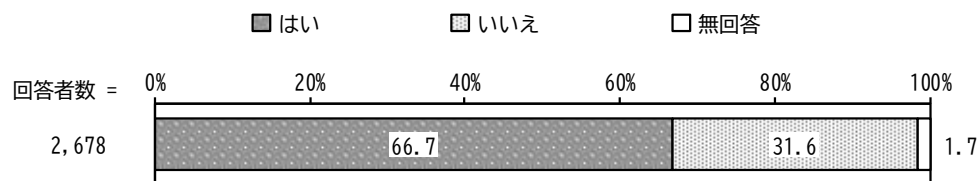
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。また、女性 65～74 歳で「いいえ」の割合が高くなっています。



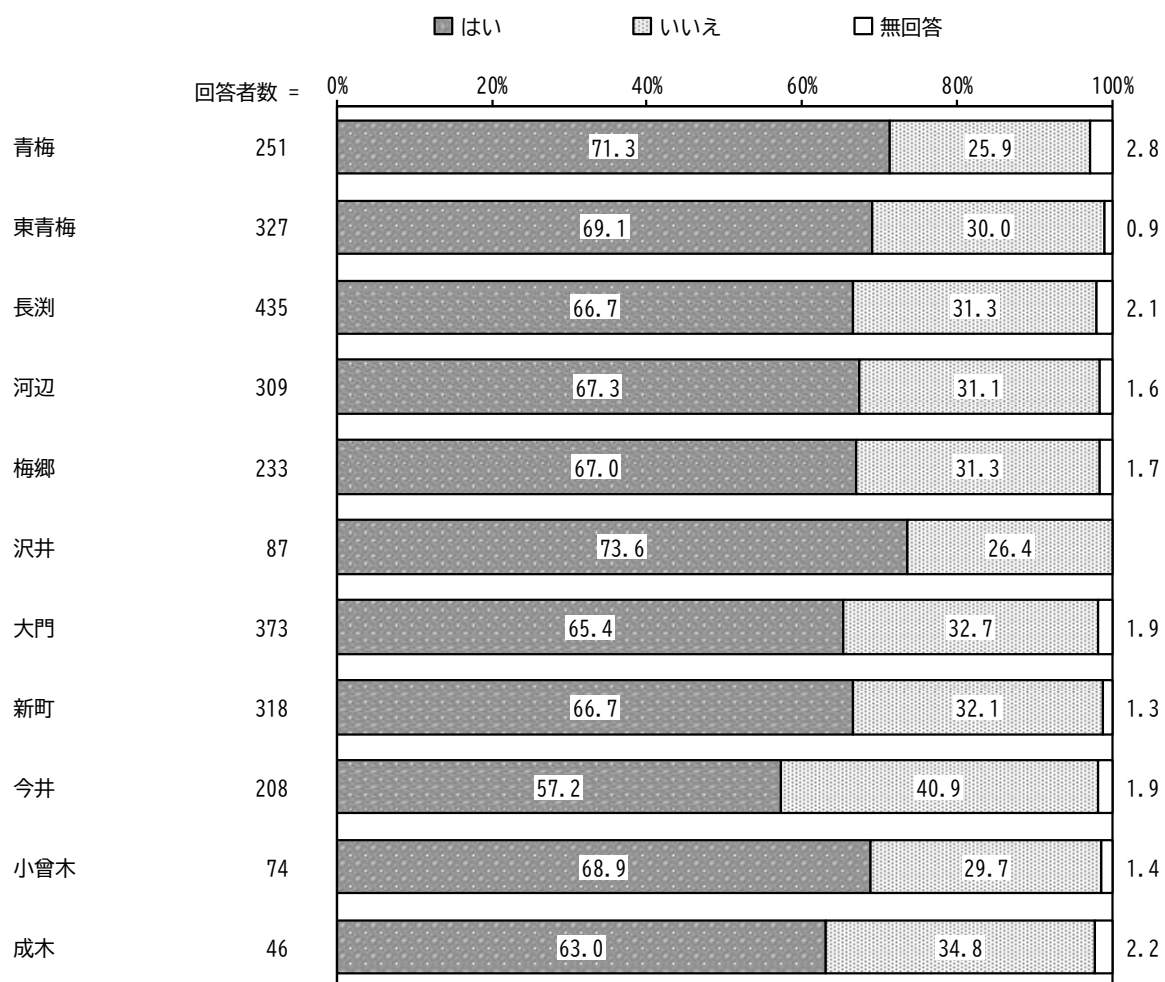
(11) 本や雑誌を読んでいますか

「はい」の割合が66.7%、「いいえ」の割合が31.6%となっています。



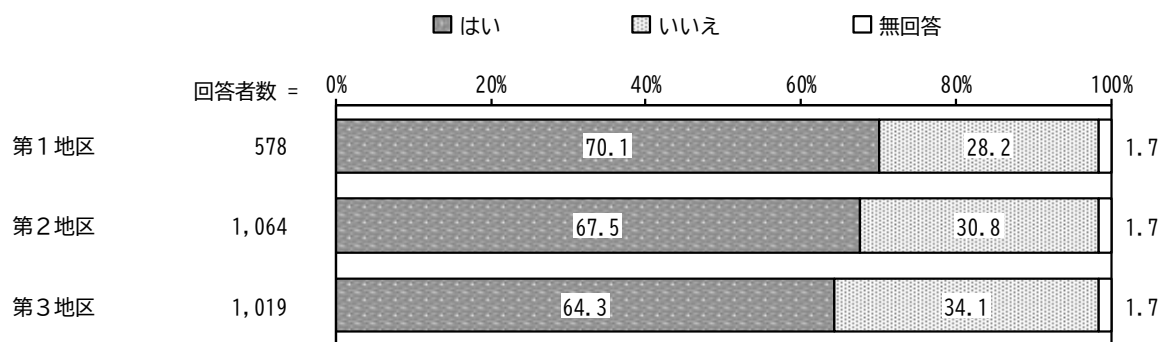
【地区別】

地区別にみると、沢井で「はい」、今井で「いいえ」の割合が高くなっています。



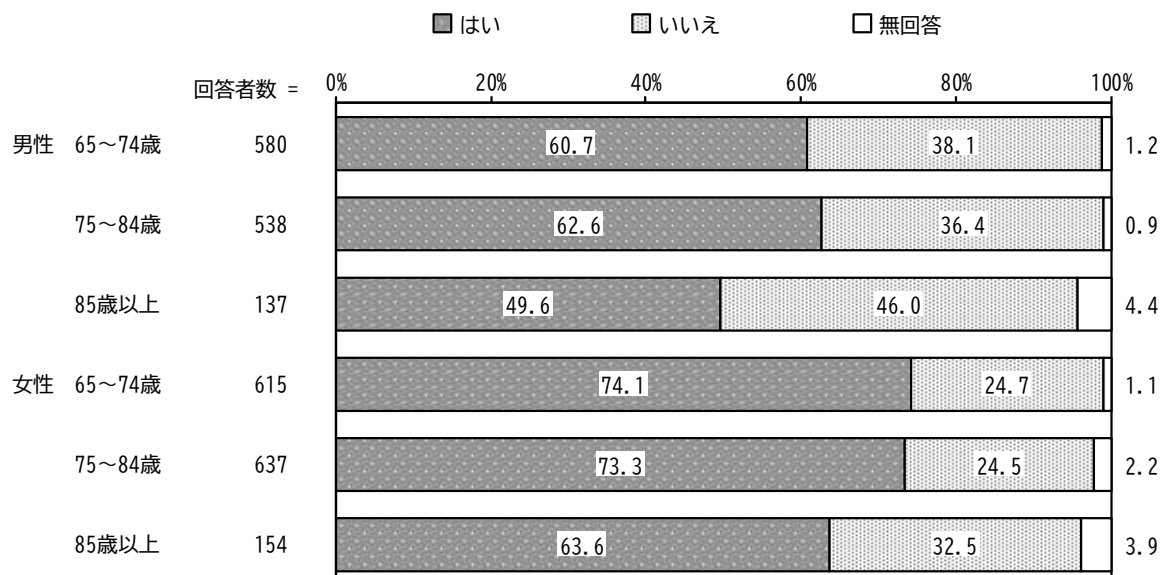
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



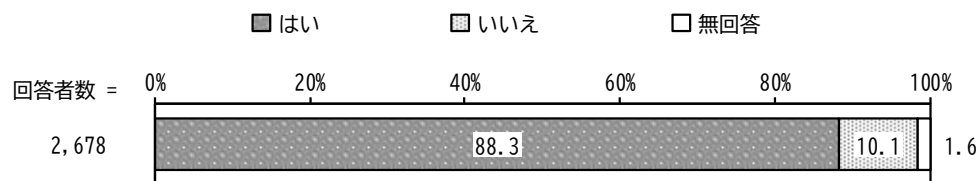
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が下がるほど「はい」の割合が高くなっています。また、男性 85 歳以上で「いいえ」の割合が高くなっています。



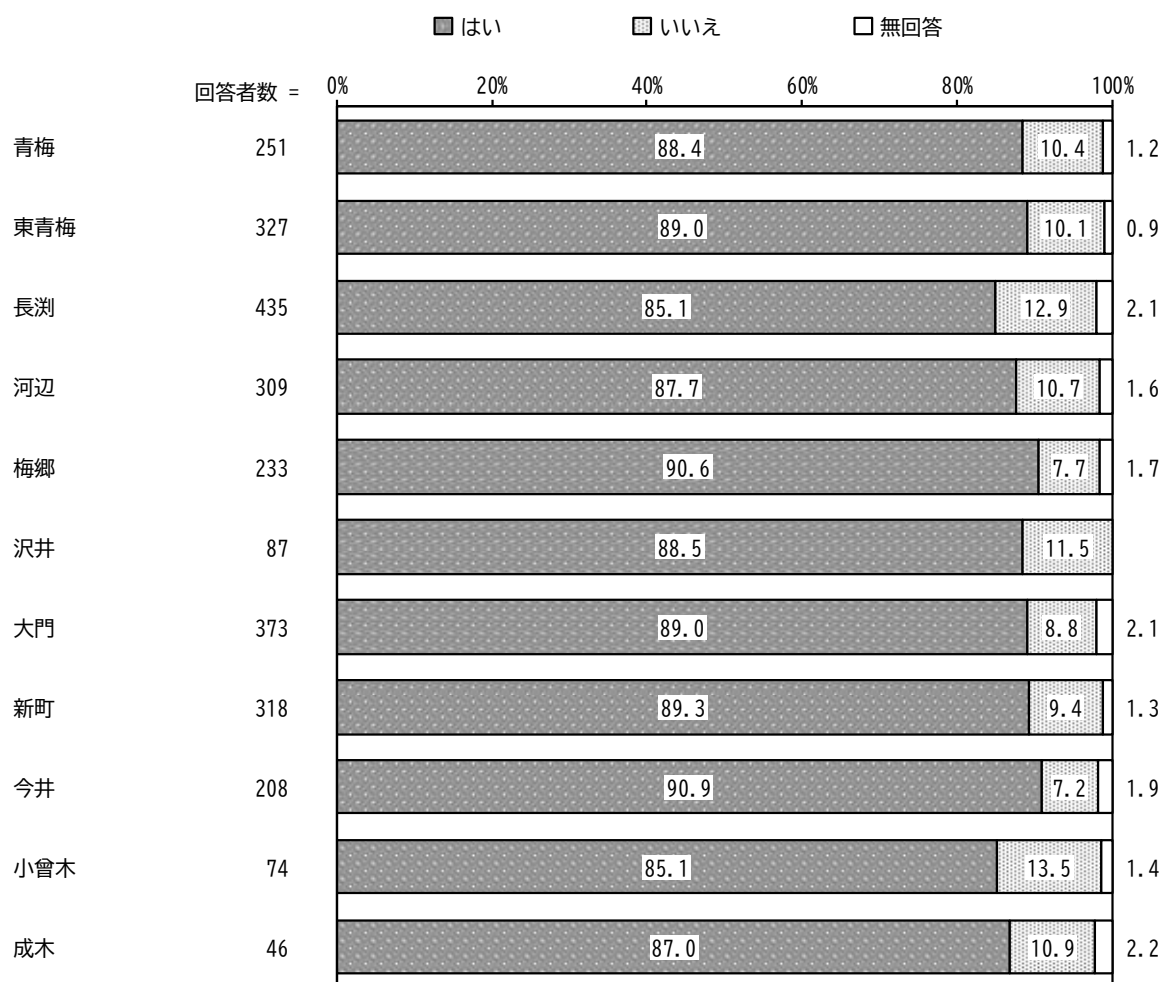
(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか

「はい」の割合が88.3%、「いいえ」の割合が10.1%となっています。



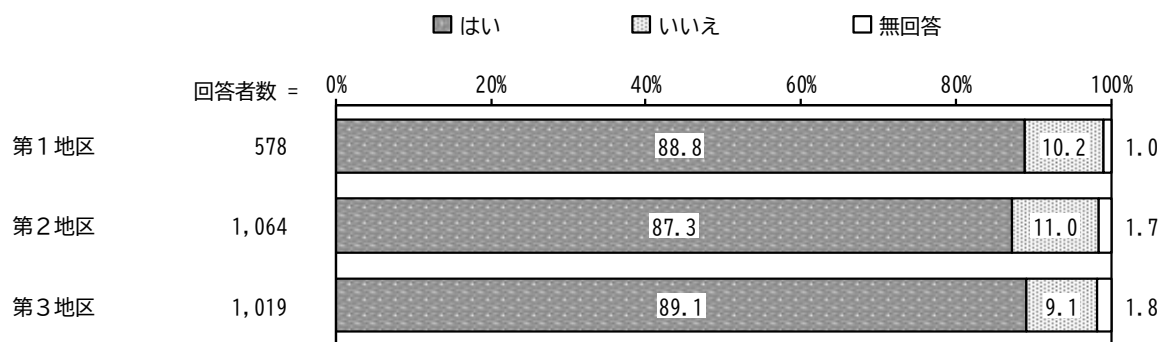
【地区別】

地区別にみると、大きな差はみられません。



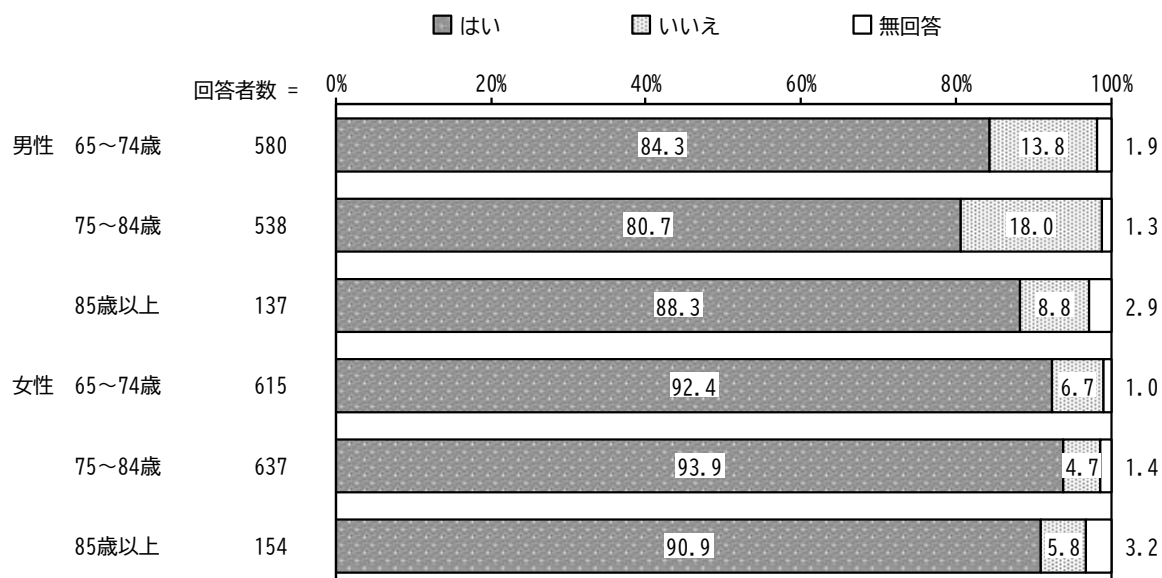
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



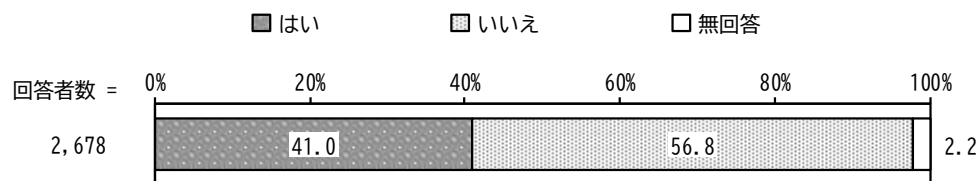
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性 75～84 歳で「はい」の割合が高くなっています。



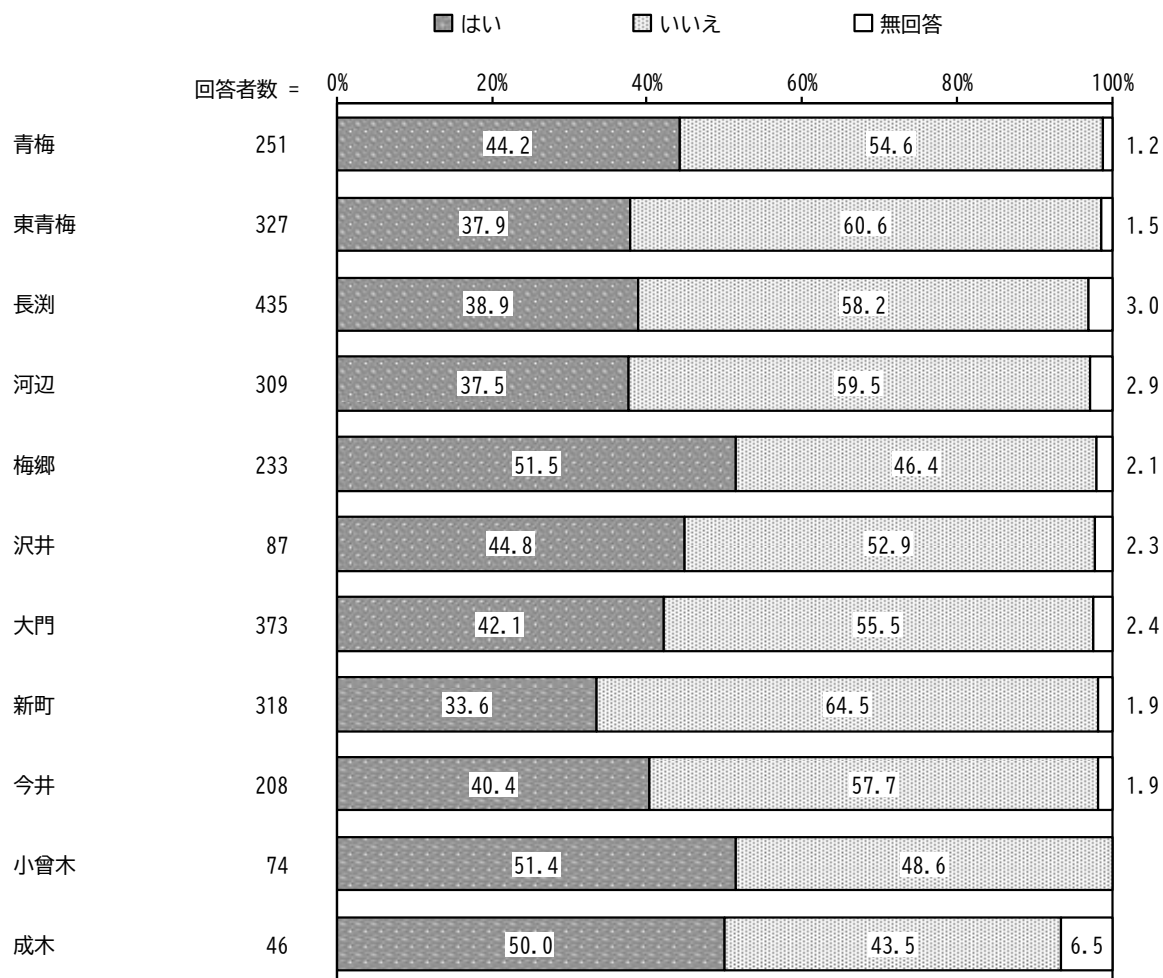
(13) 友人の家を訪ねていますか

「はい」の割合が41.0%、「いいえ」の割合が56.8%となっています。



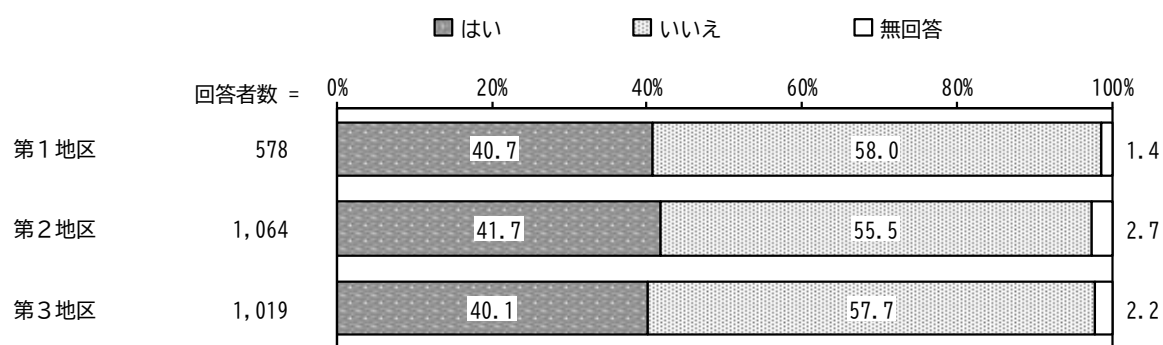
【地区別】

地区別にみると、梅郷、小曾木で「はい」の割合が高くなっています。



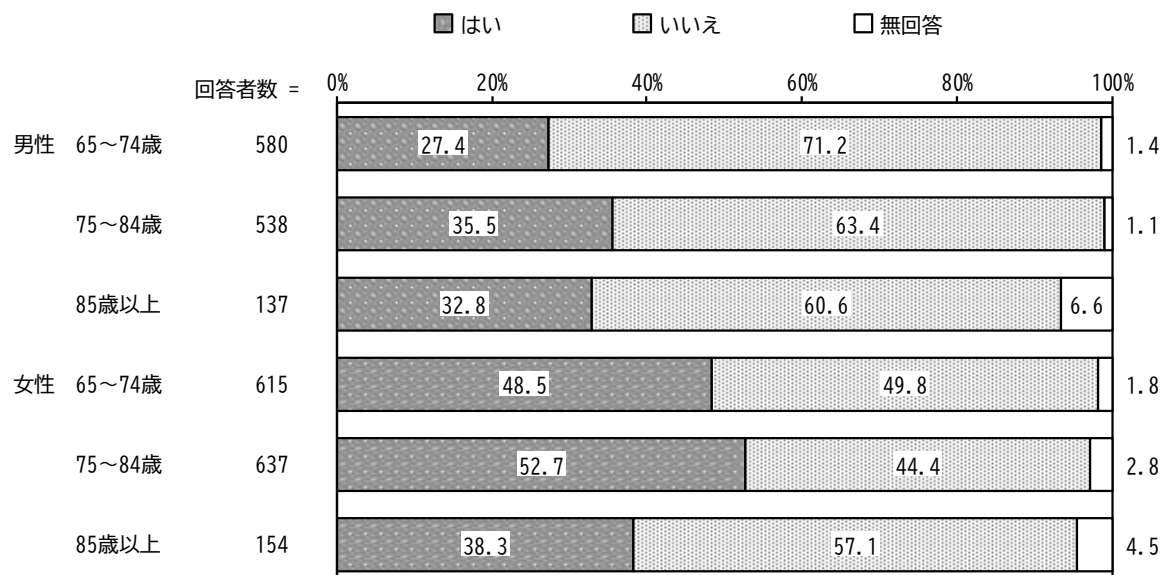
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



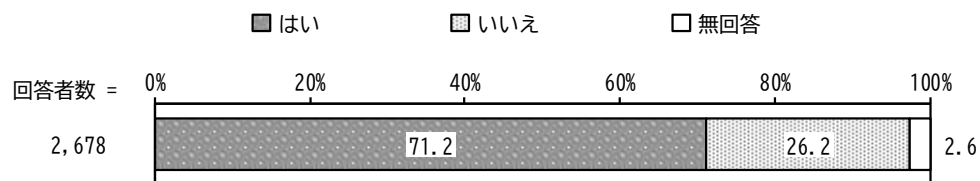
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「いいえ」の割合が高くなっています。また、女性75～84歳で「はい」の割合が高くなっています。



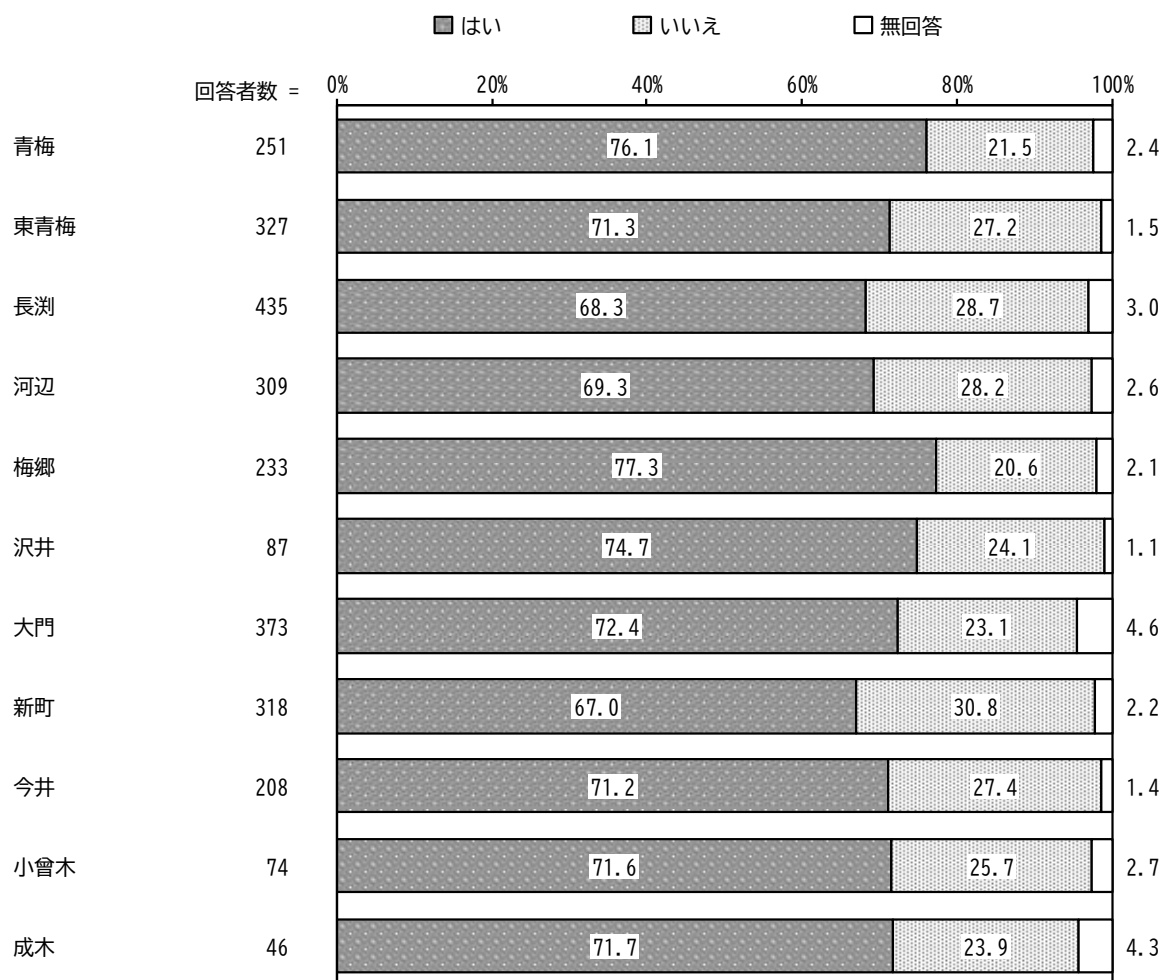
(14) 家族や友人の相談にのっていますか

「はい」の割合が71.2%、「いいえ」の割合が26.2%となっています。



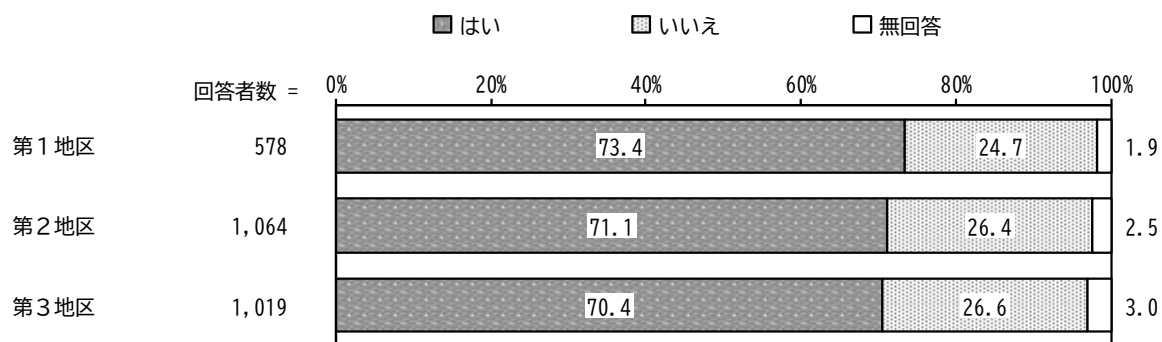
【地区別】

地区別にみると、梅郷で「はい」の割合が高くなっています。



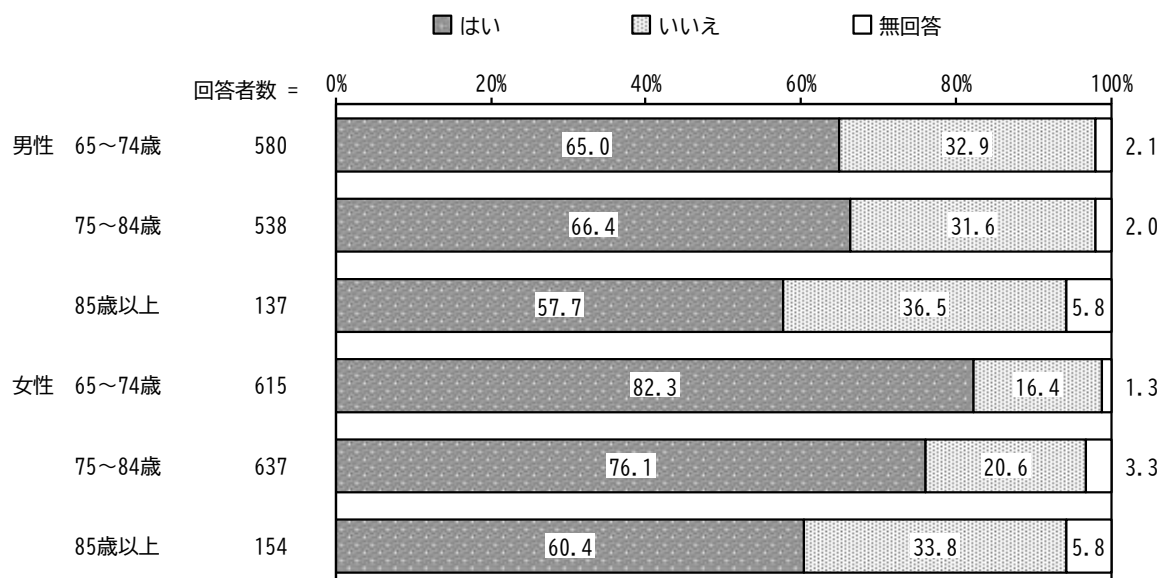
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



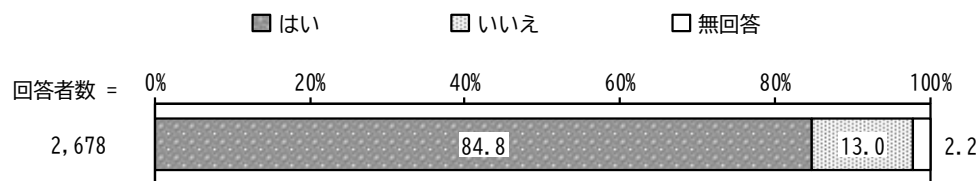
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が上がるほど「いいえ」の割合が高くなっています。



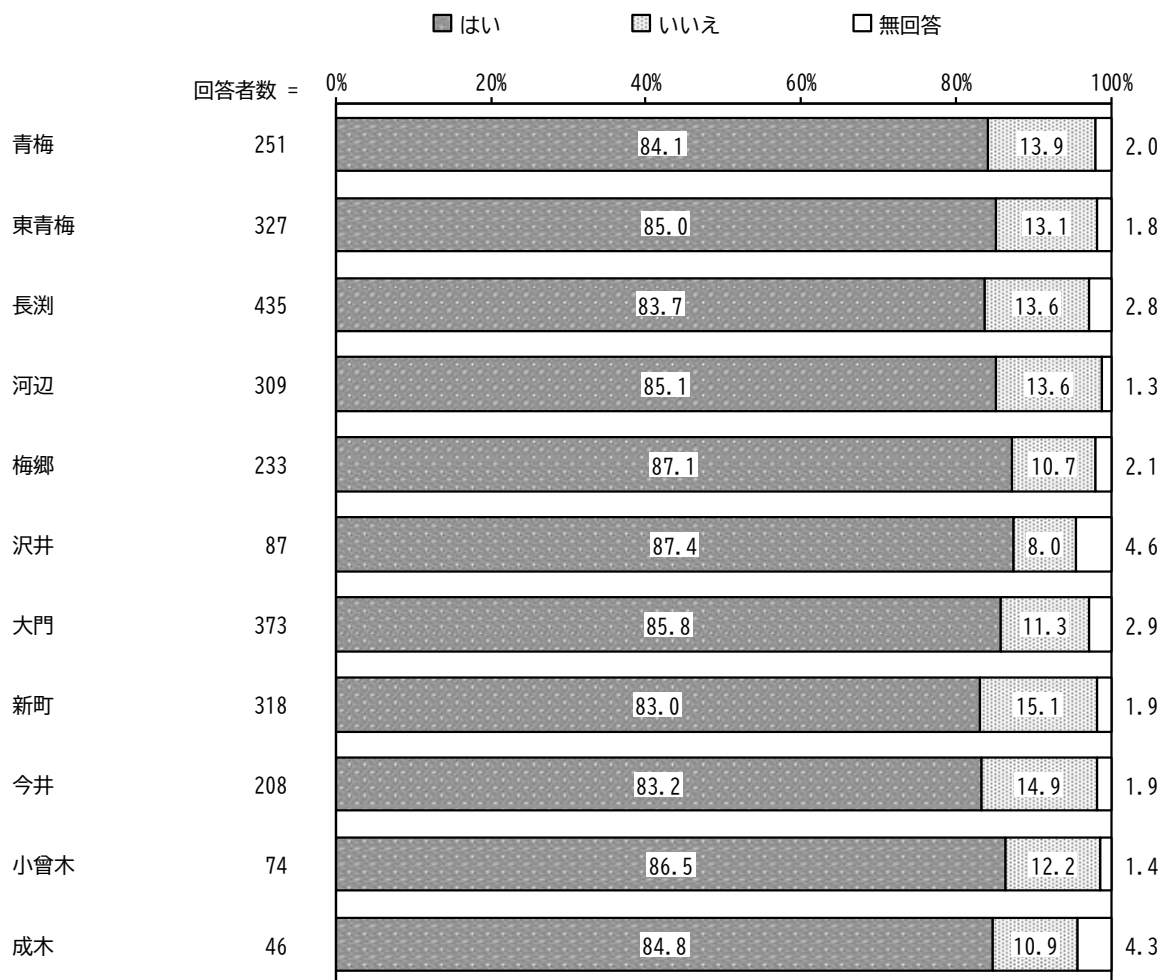
(15) 病人を見舞うことができますか

「はい」の割合が84.8%、「いいえ」の割合が13.0%となっています。



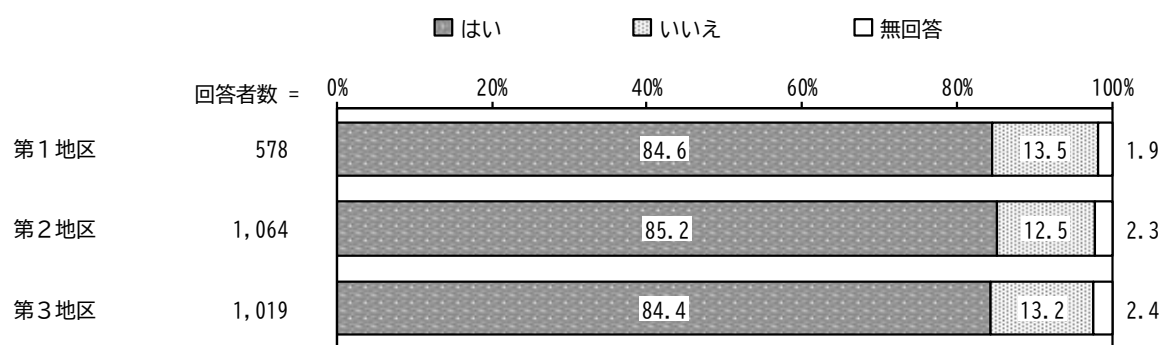
【地区別】

地区別にみると、沢井で「いいえ」の割合が低くなっています。



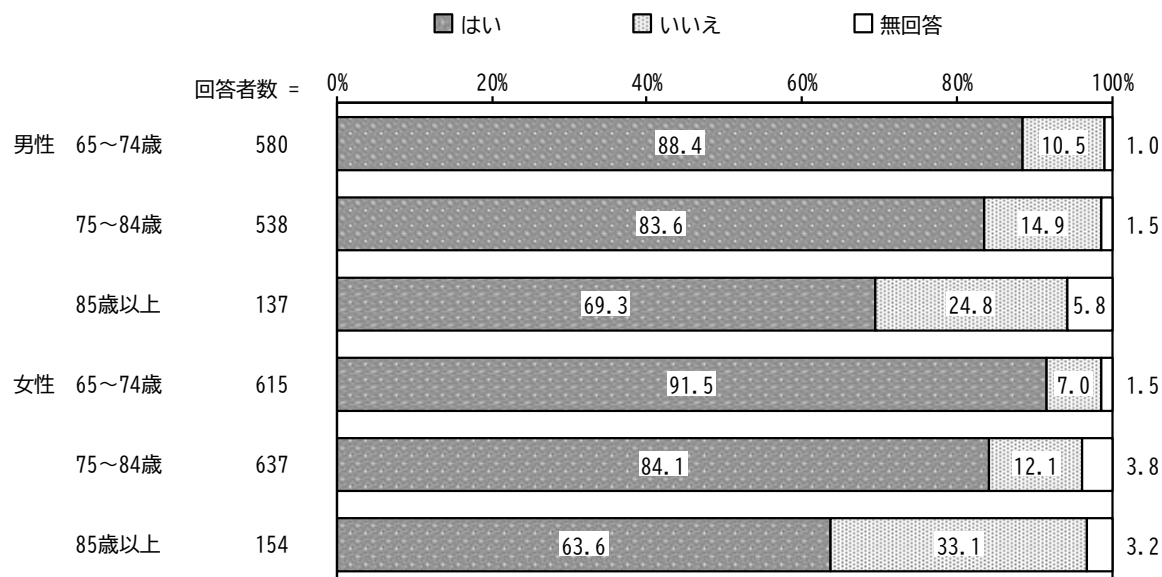
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



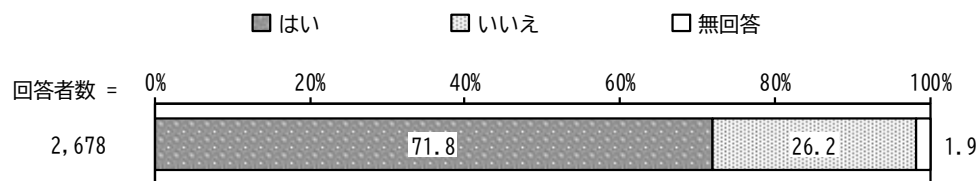
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「いいえ」の割合が高くなっています。また、女性85歳以上で「はい」の割合が低くなっています。



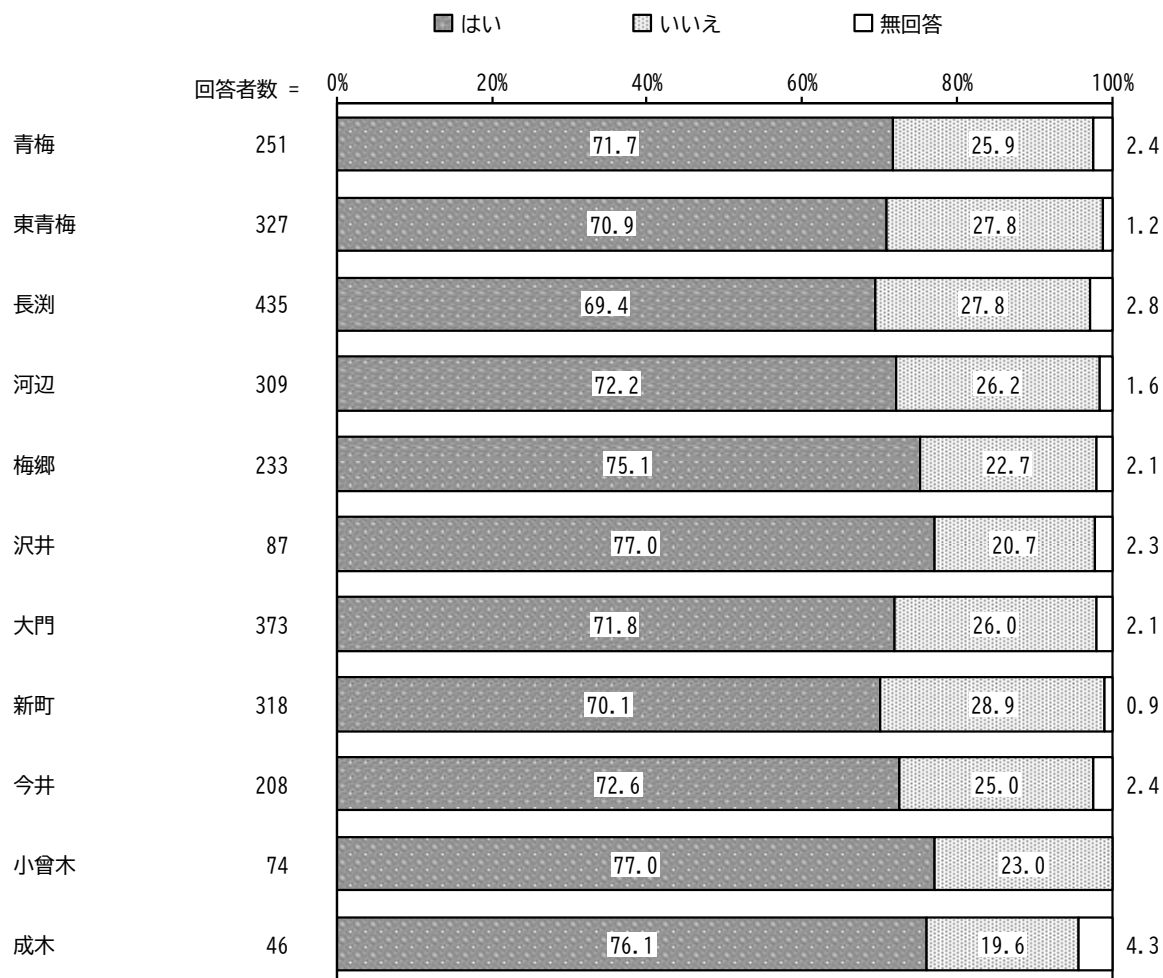
(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか

「はい」の割合が71.8%、「いいえ」の割合が26.2%となっています。



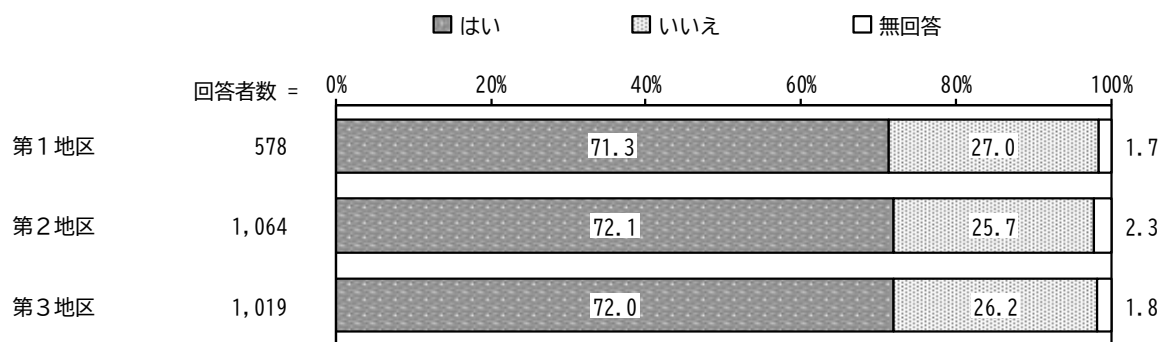
【地区別】

地区別にみると、沢井、小曾木で「はい」の割合が高くなっています。



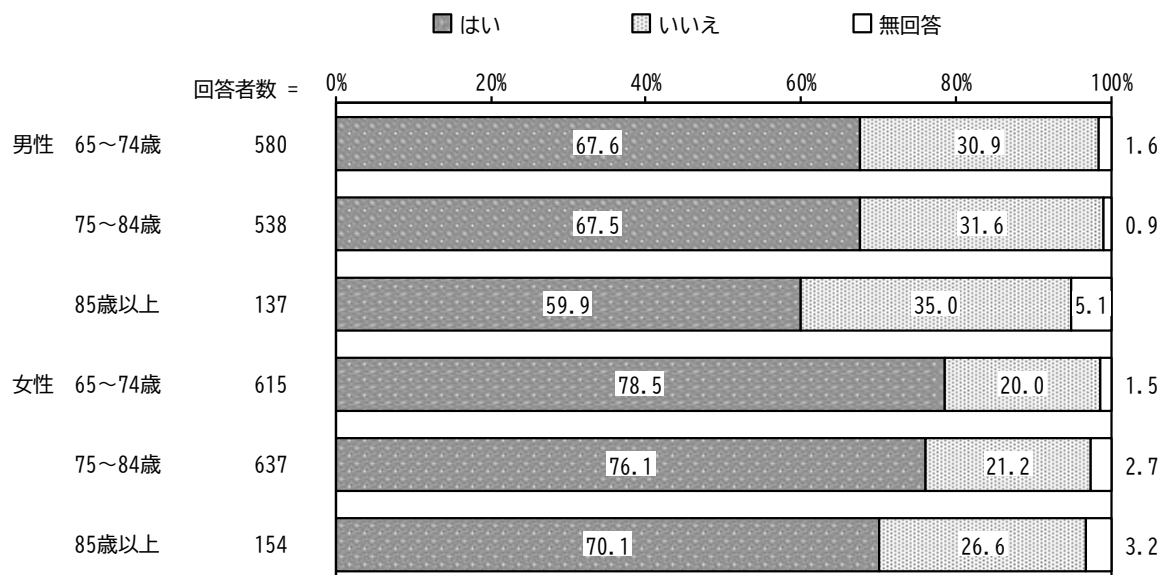
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



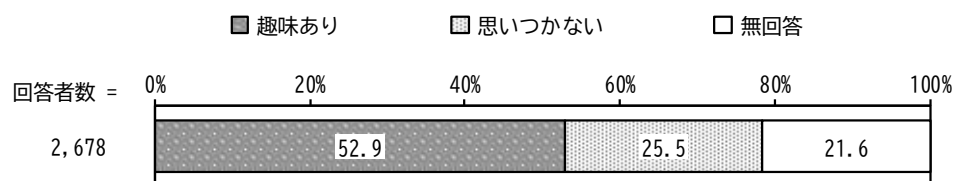
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「いいえ」の割合が高くなっています。また、男性85歳以上で「はい」の割合が低くなっています。



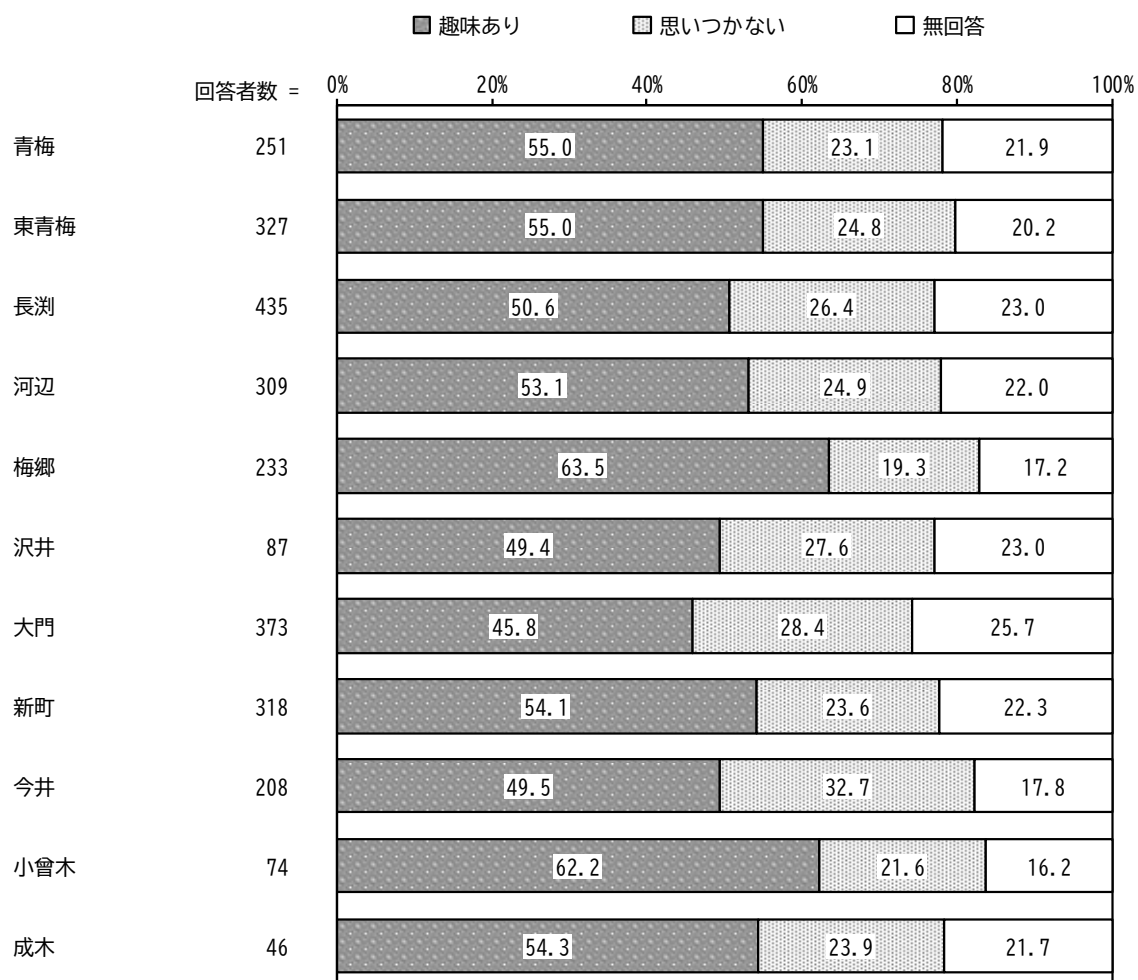
(17) 趣味はありますか

「趣味あり」の割合が52.9%、「思いつかない」の割合が25.5%となっています。



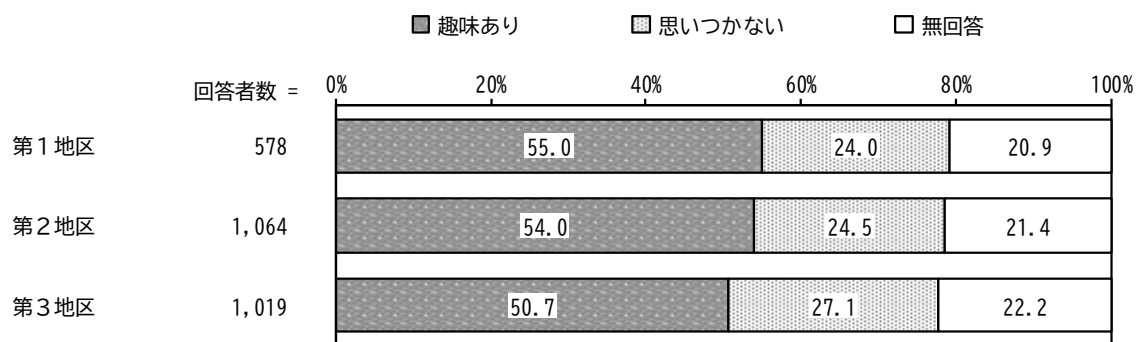
【地区別】

地区別にみると、梅郷で「趣味あり」の割合が高くなっています。



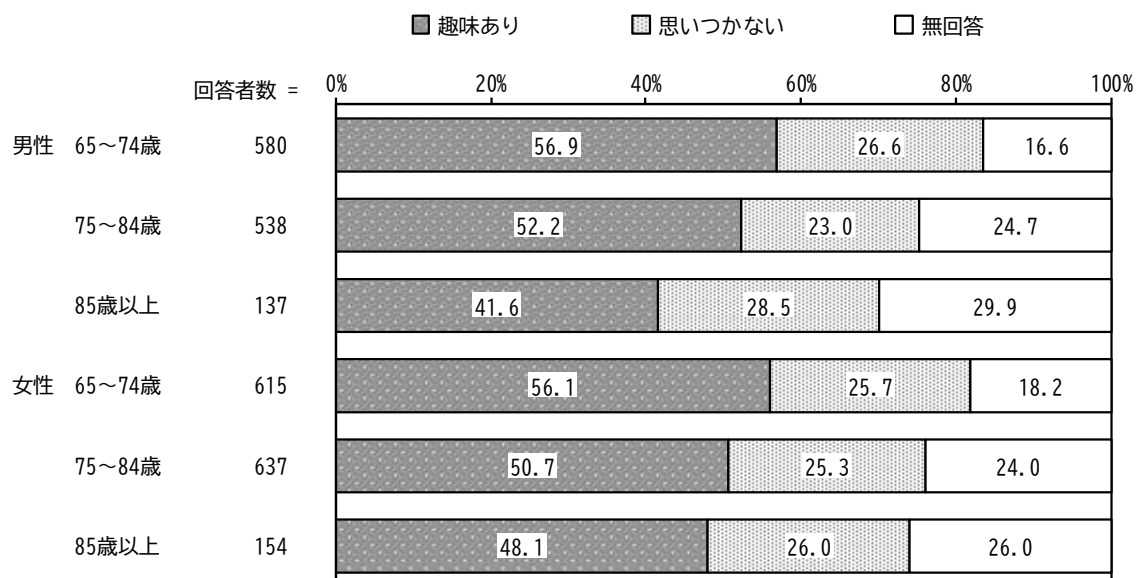
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



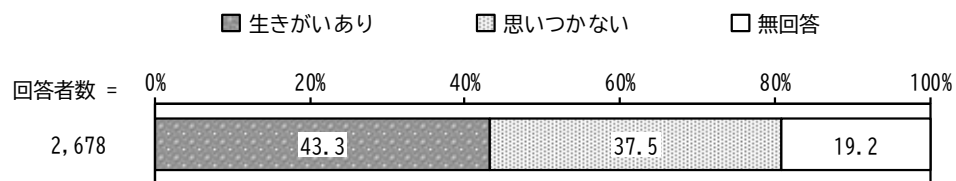
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「趣味あり」の割合が高くなっています。



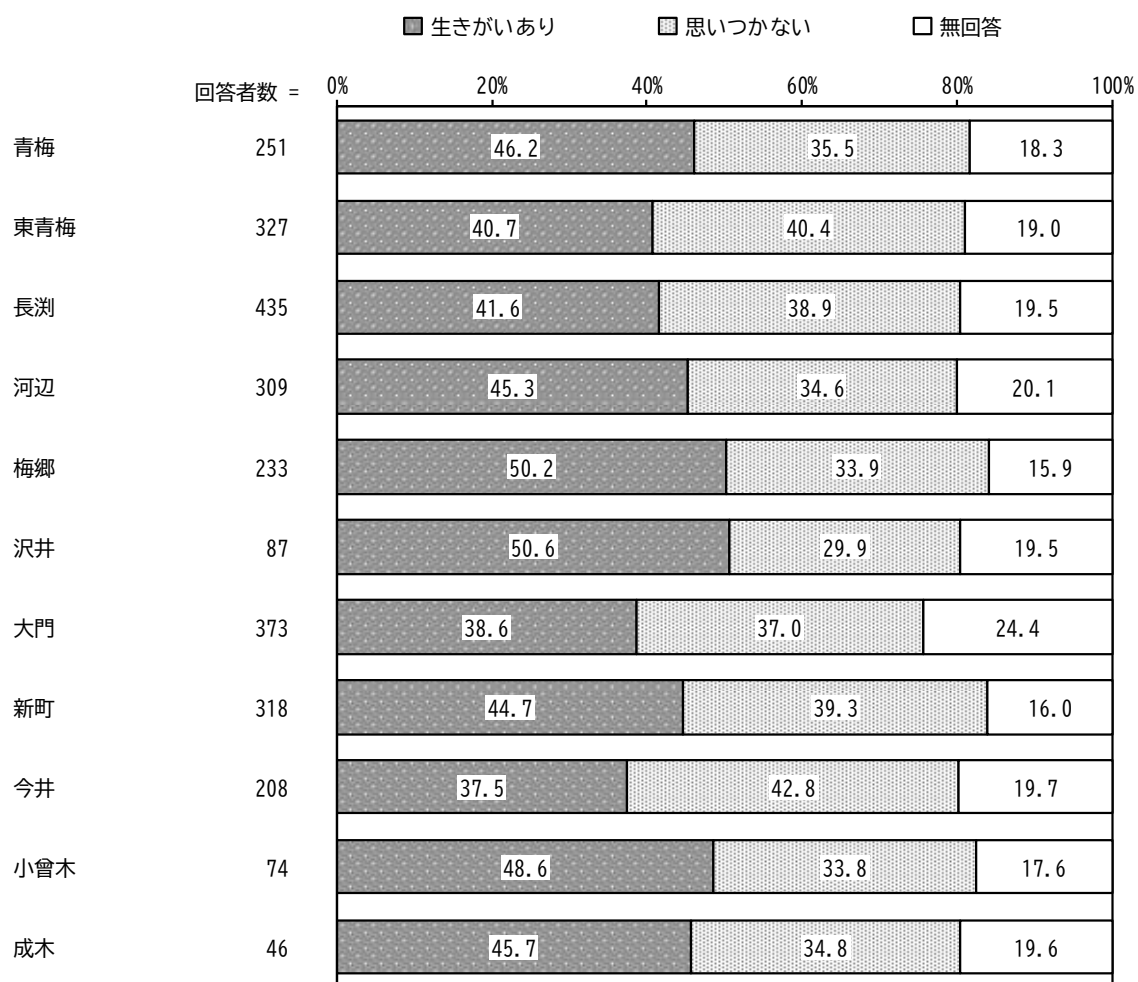
(18) 生きがいがありますか

「生きがいあり」の割合が43.3%、「思いつかない」の割合が37.5%となっています。



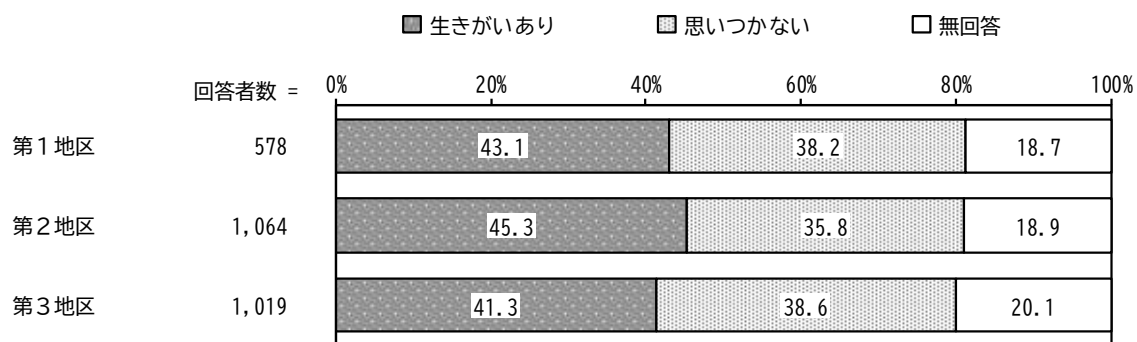
【地区別】

地区別にみると、梅郷、沢井、小曾木で「生きがいあり」、今井で「思いつかない」の割合が高くなっています。



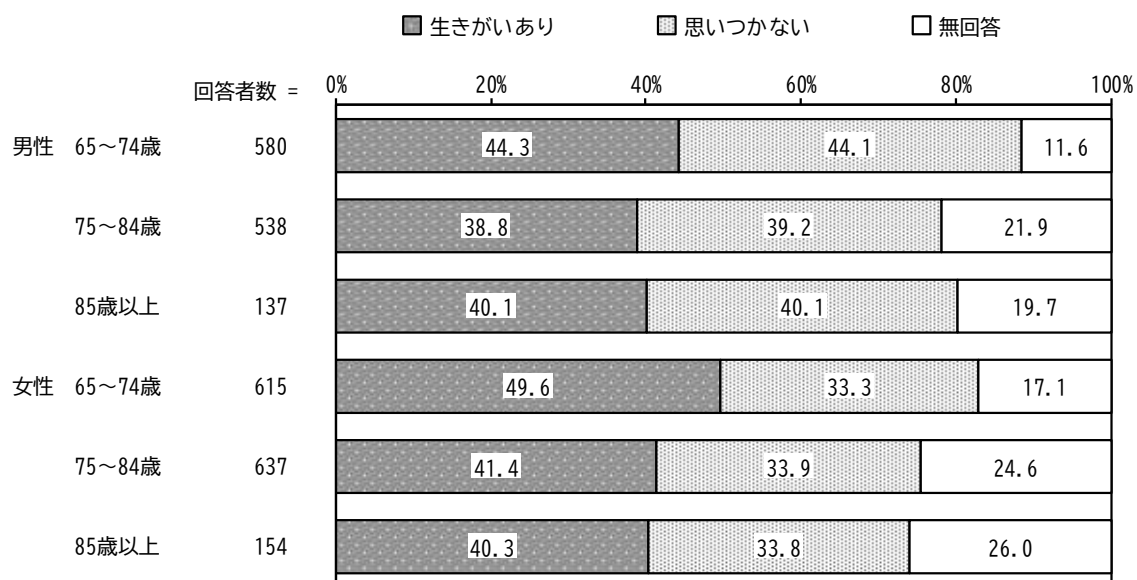
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が下がるほど「生きがいあり」の割合が高くなっています。

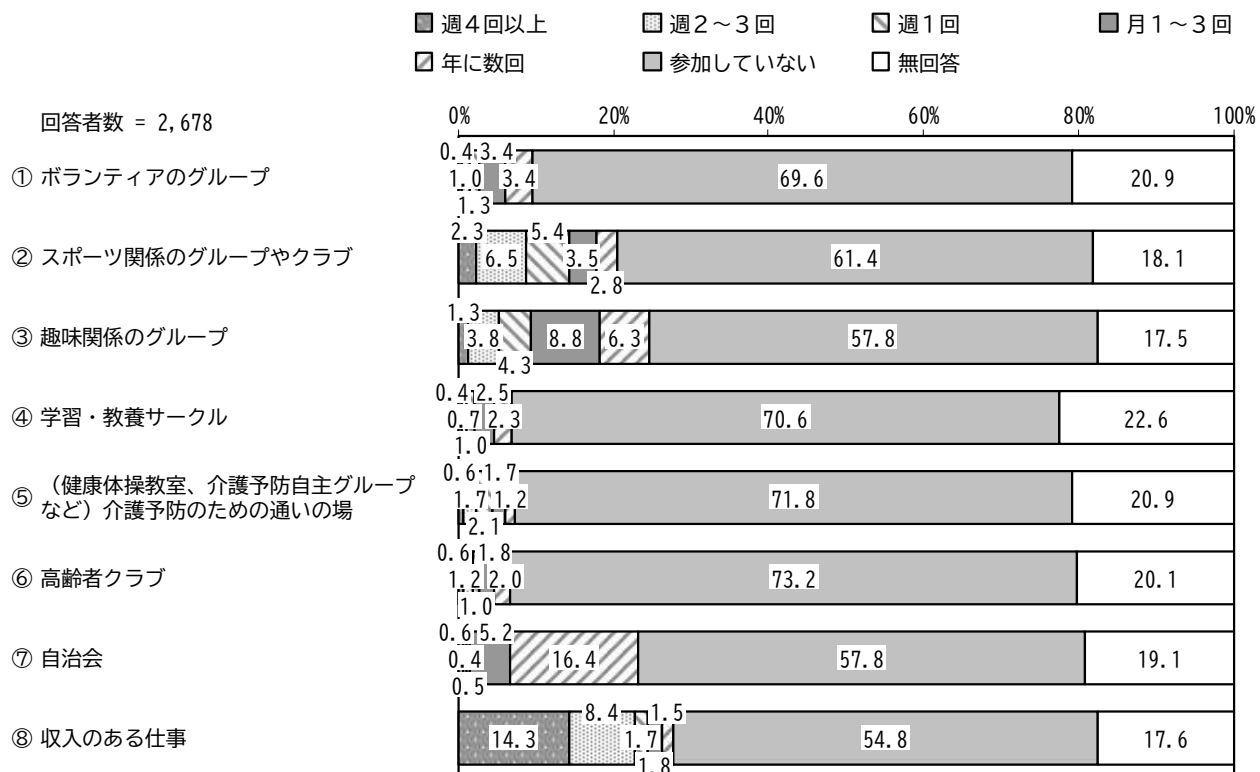


問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※①～⑧それぞれに回答してください

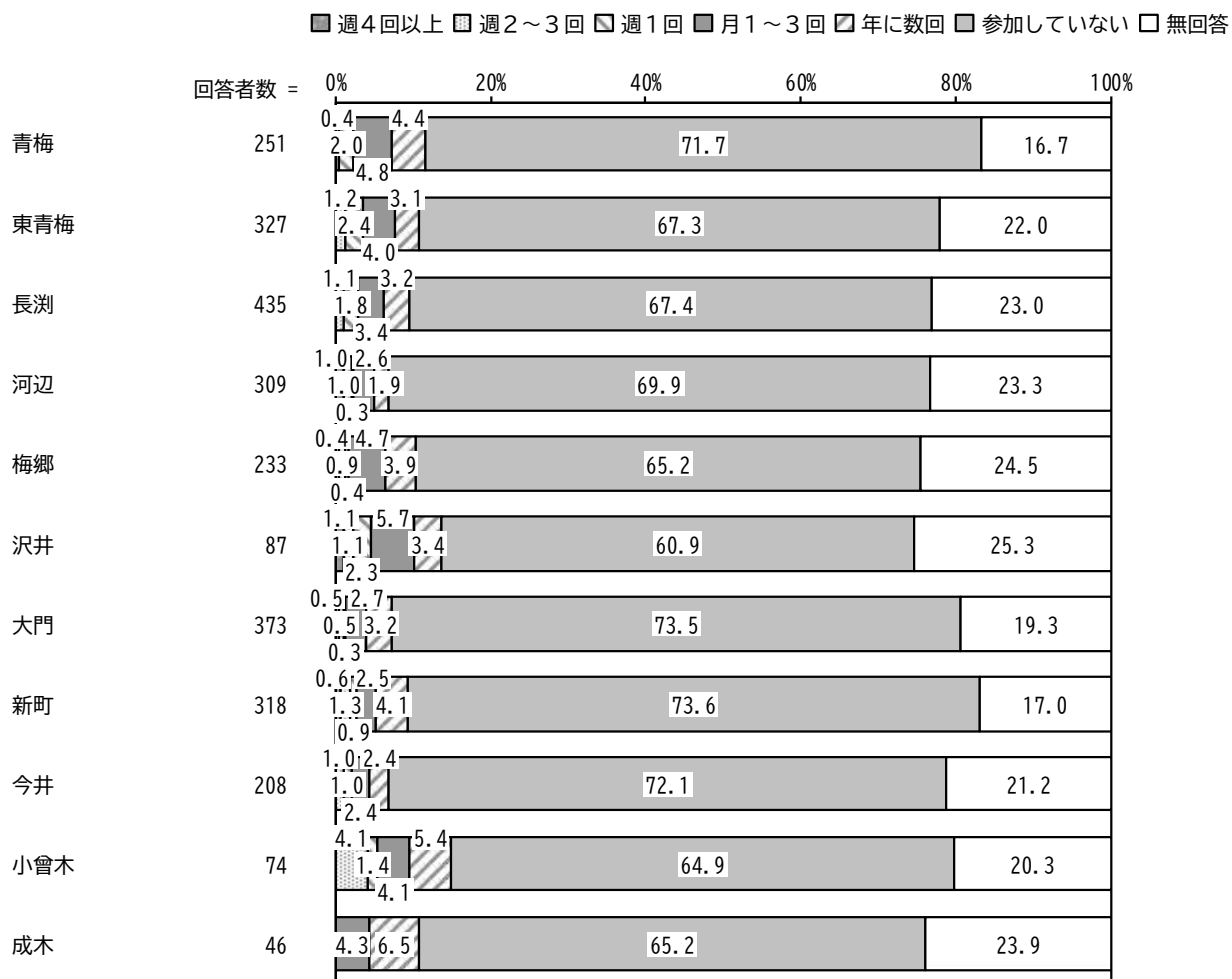
『⑧収入のある仕事』で「週4回以上」「週2～3回」が、『②スポーツ関係のグループやクラブ』で「週1回」が、『③趣味関係のグループ』で「月1～3回」が、『⑦自治会』で「年に数回」が、『⑥高齢者クラブ』で「参加していない」が高くなっています。



①ボランティアのグループ

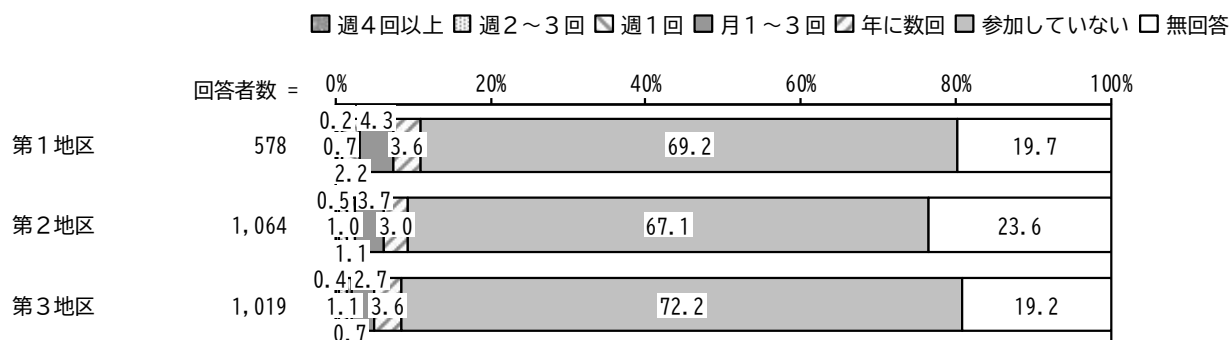
【地区別】

地区別にみると、沢井で「参加していない」の割合が低くなっています。



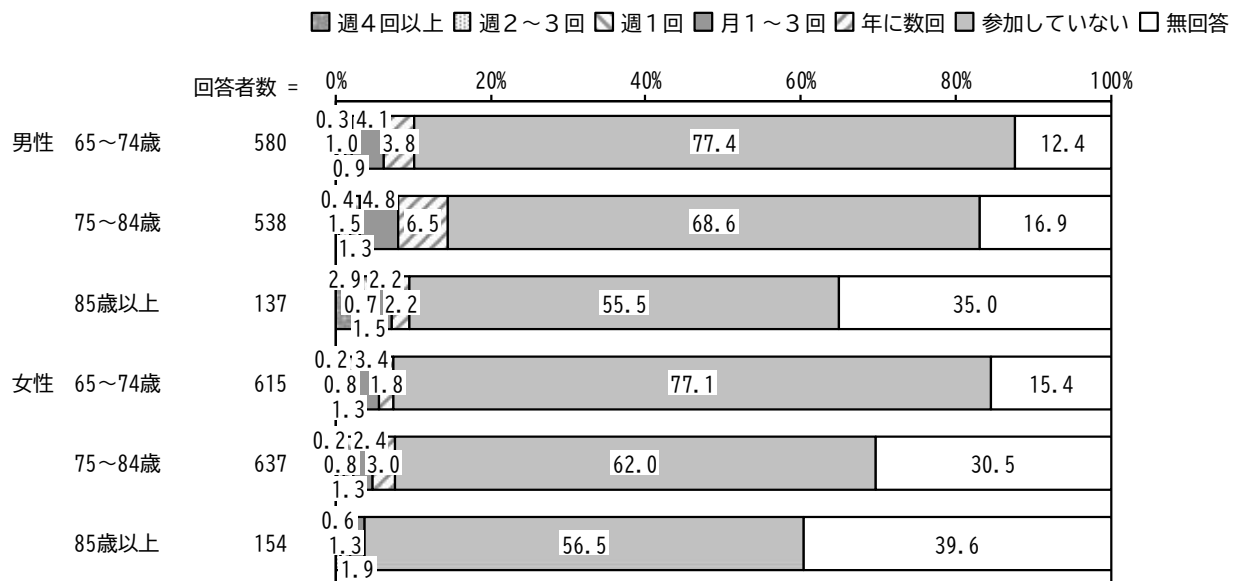
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

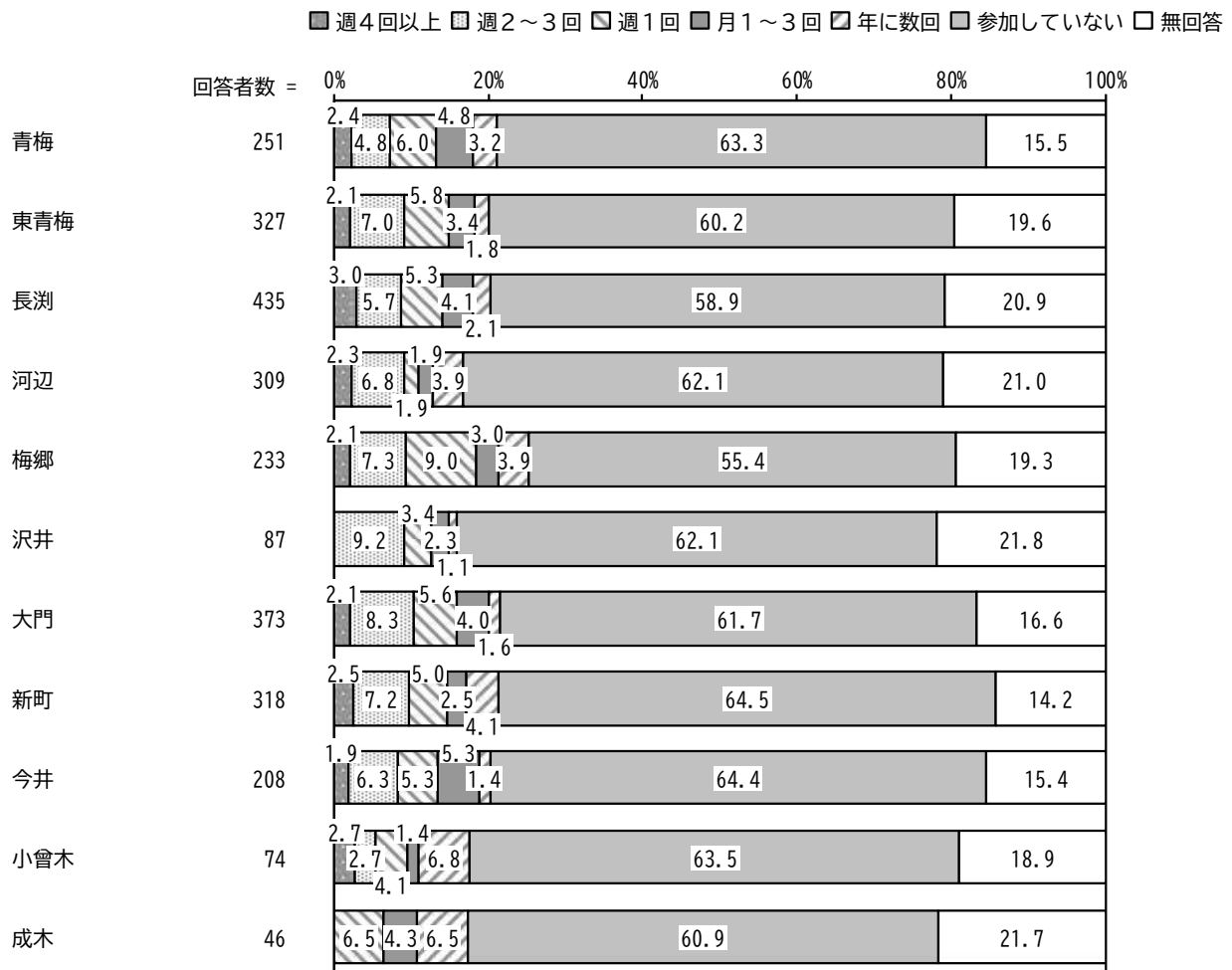
性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「参加していない」の割合が高くなっています。



②スポーツ関係のグループやクラブ

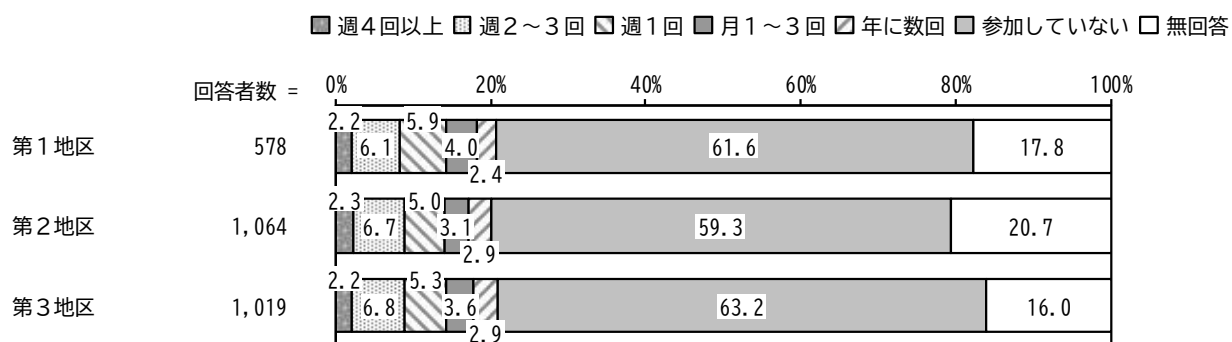
【地区別】

地区別にみると、成木で“週1回以上”、梅郷で「参加していない」の割合が低くなっています。



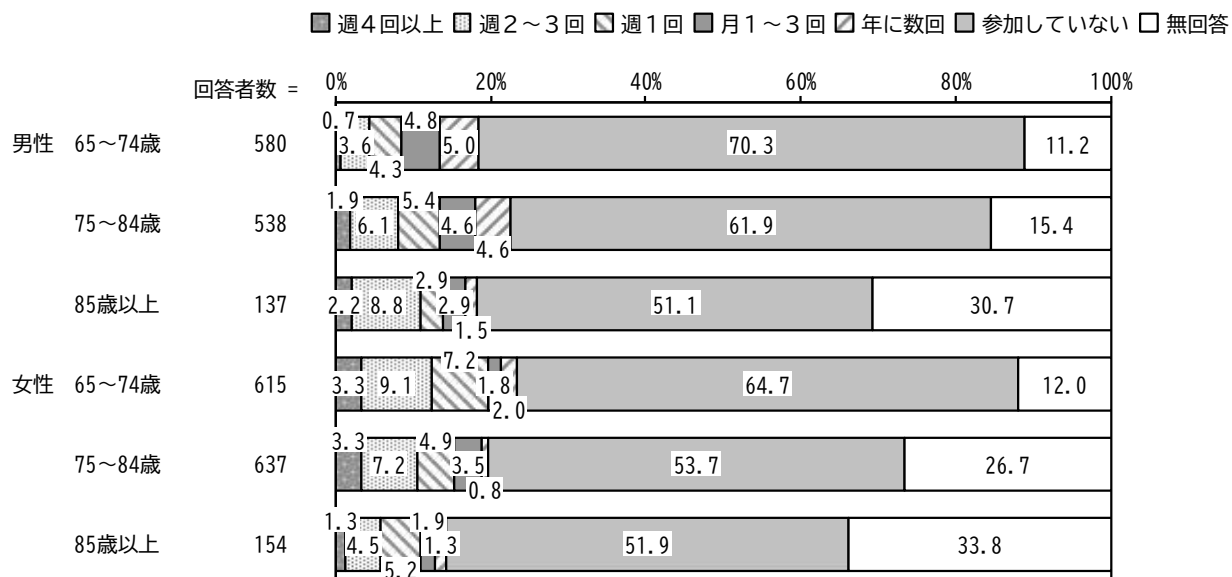
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

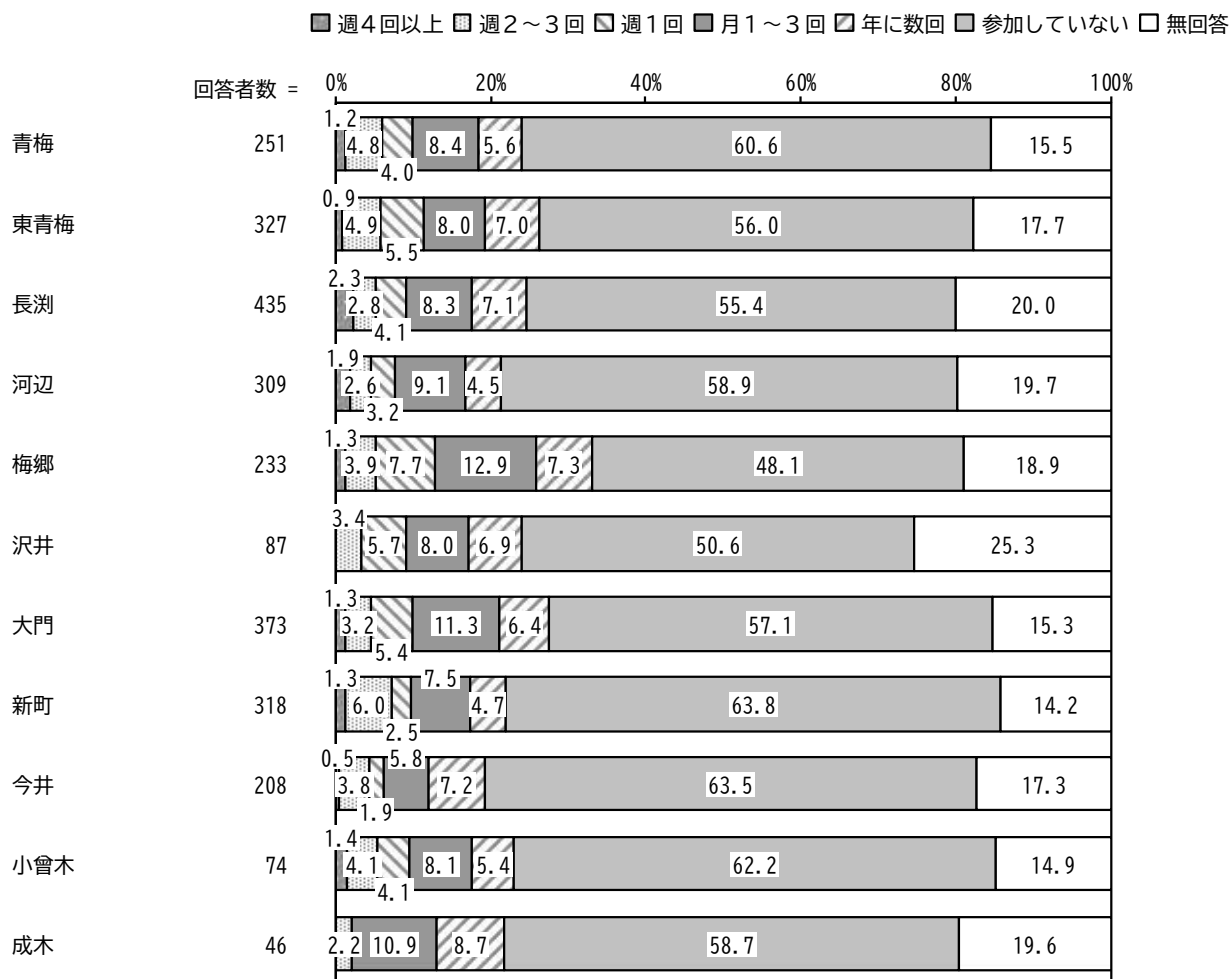
性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど“週1回以上”の割合が高く、女性では年齢が下がるほど“週1回以上”「参加していない」の割合が高くなっています。



③趣味関係のグループ

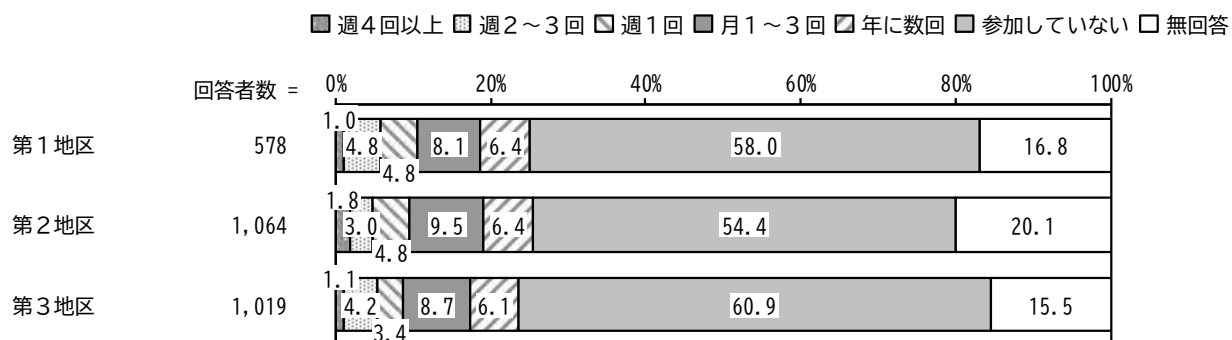
【地区別】

地区別にみると、新町、今井で「参加していない」の割合が高くなっています。



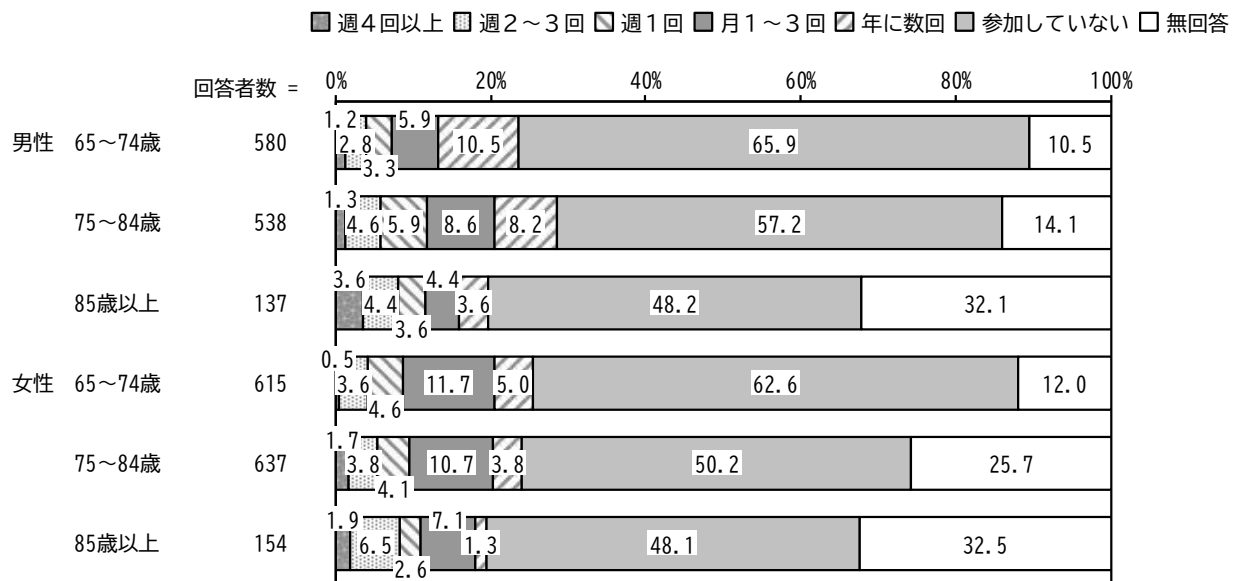
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

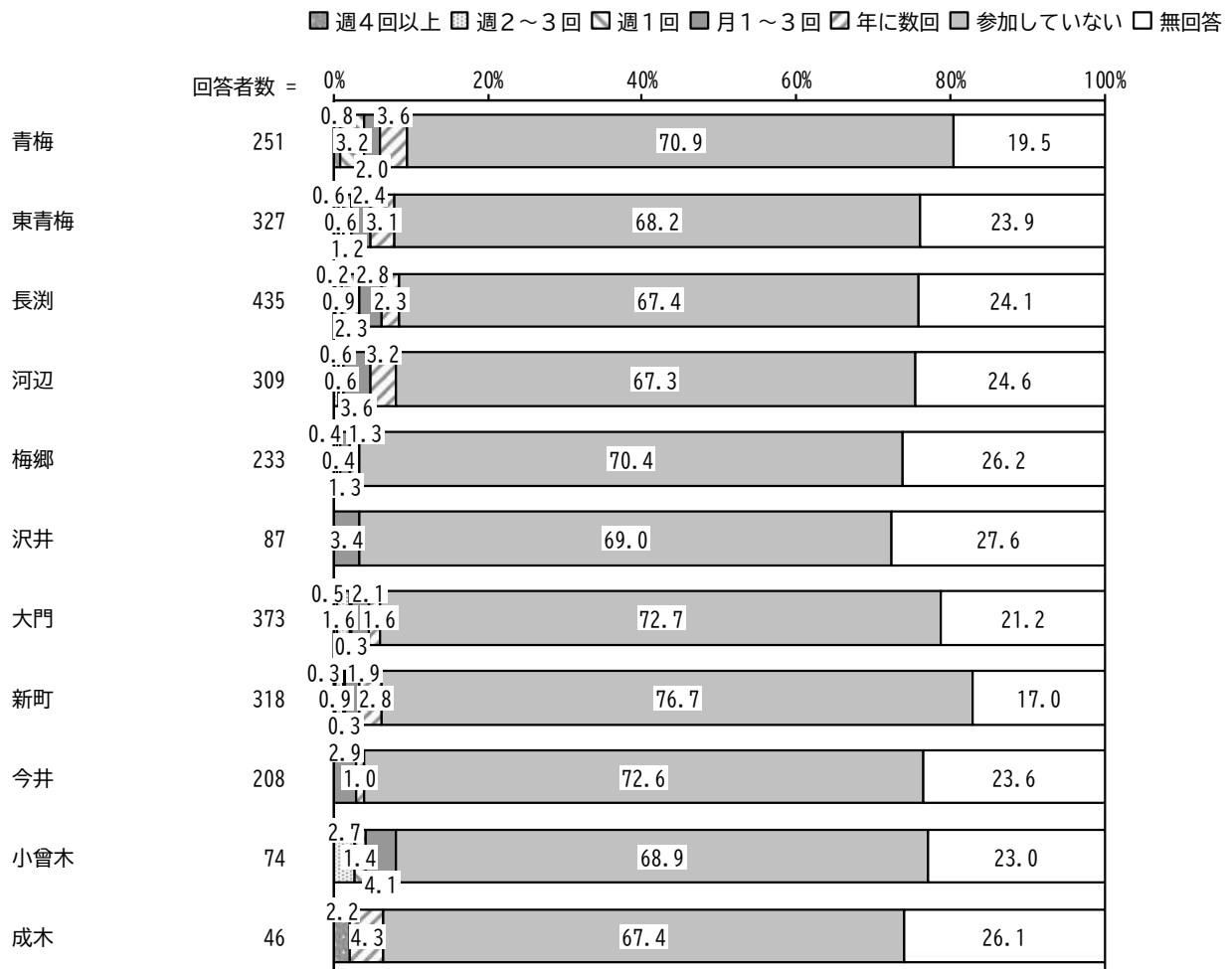
性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「参加していない」の割合が高くなっています。



④学習・教養サークル

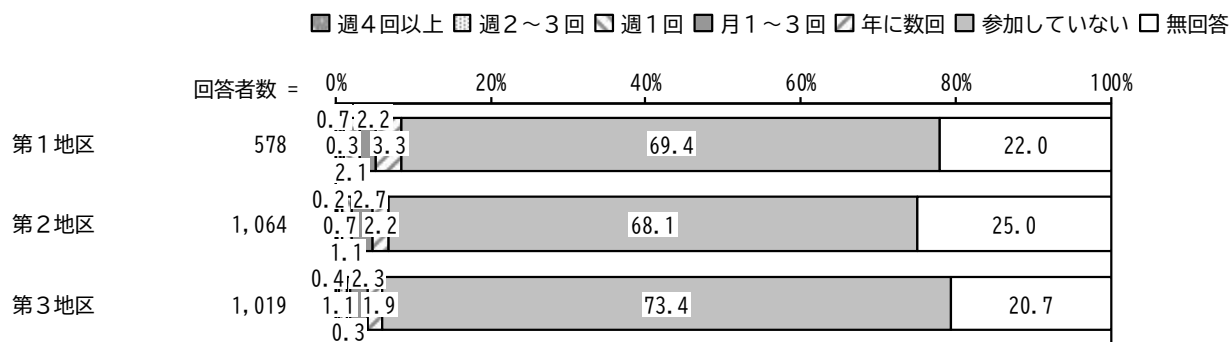
【地区別】

地区別にみると、新町で「参加していない」の割合が高くなっています。



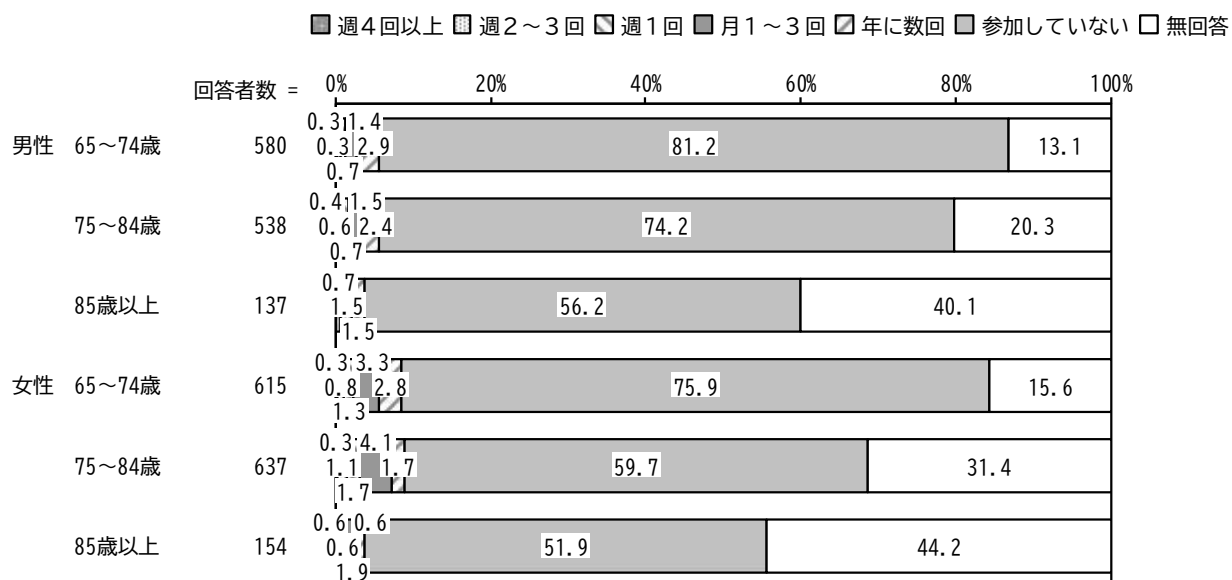
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

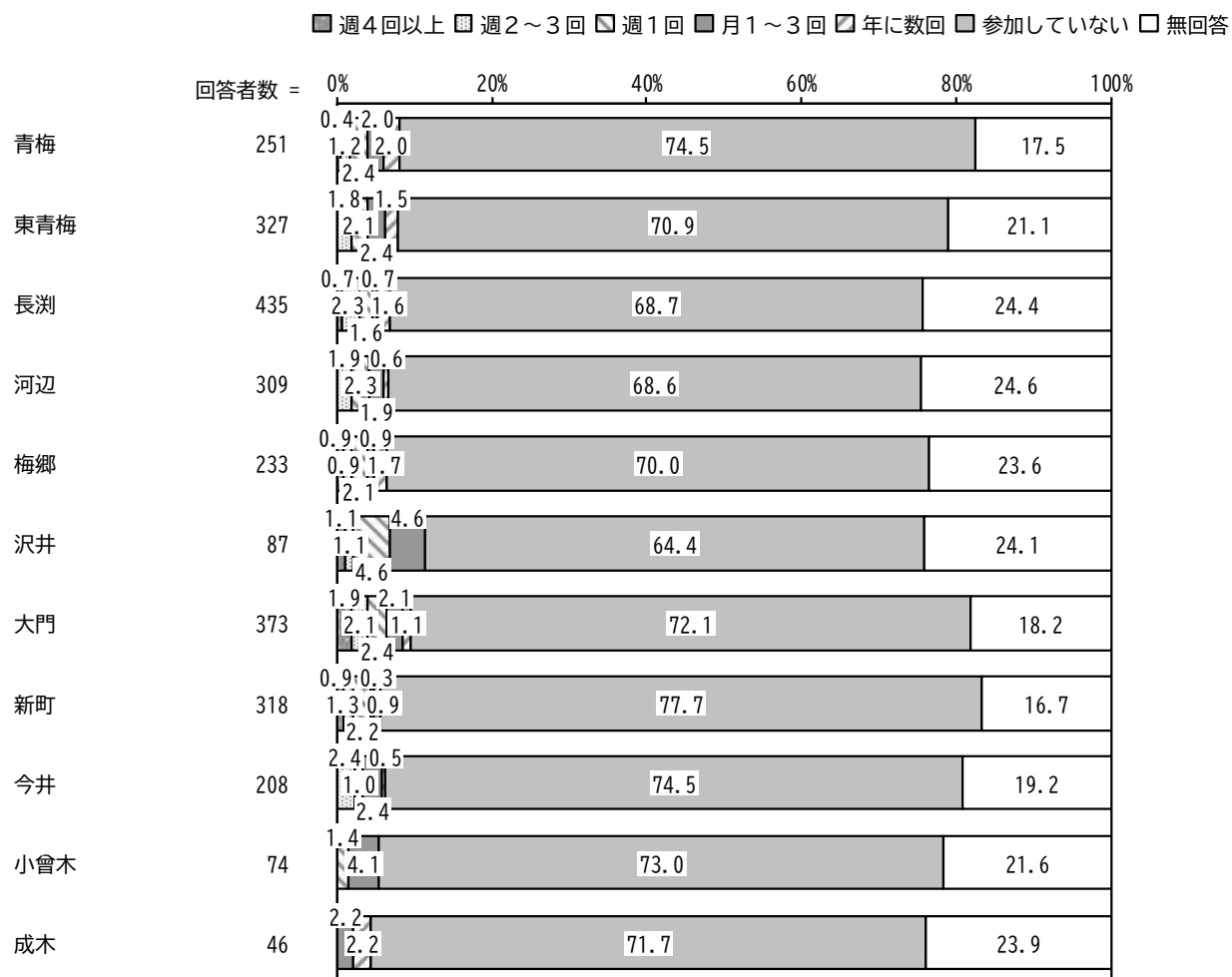
性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「参加していない」の割合が高くなっています。



⑤（健康体操教室、介護予防自主グループなど）介護予防のための通いの場

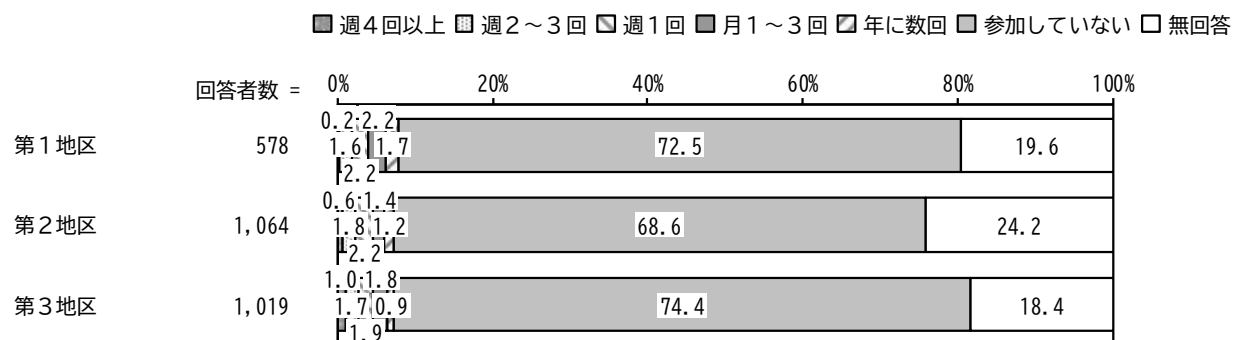
【地区別】

地区別にみると、新町で「参加していない」の割合が高くなっています。



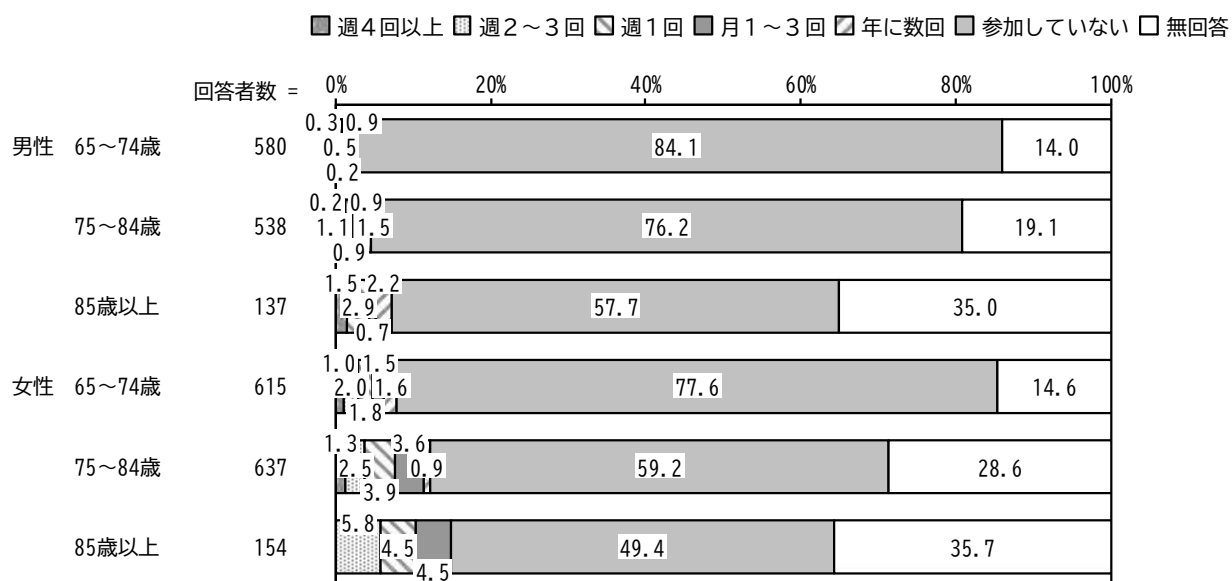
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

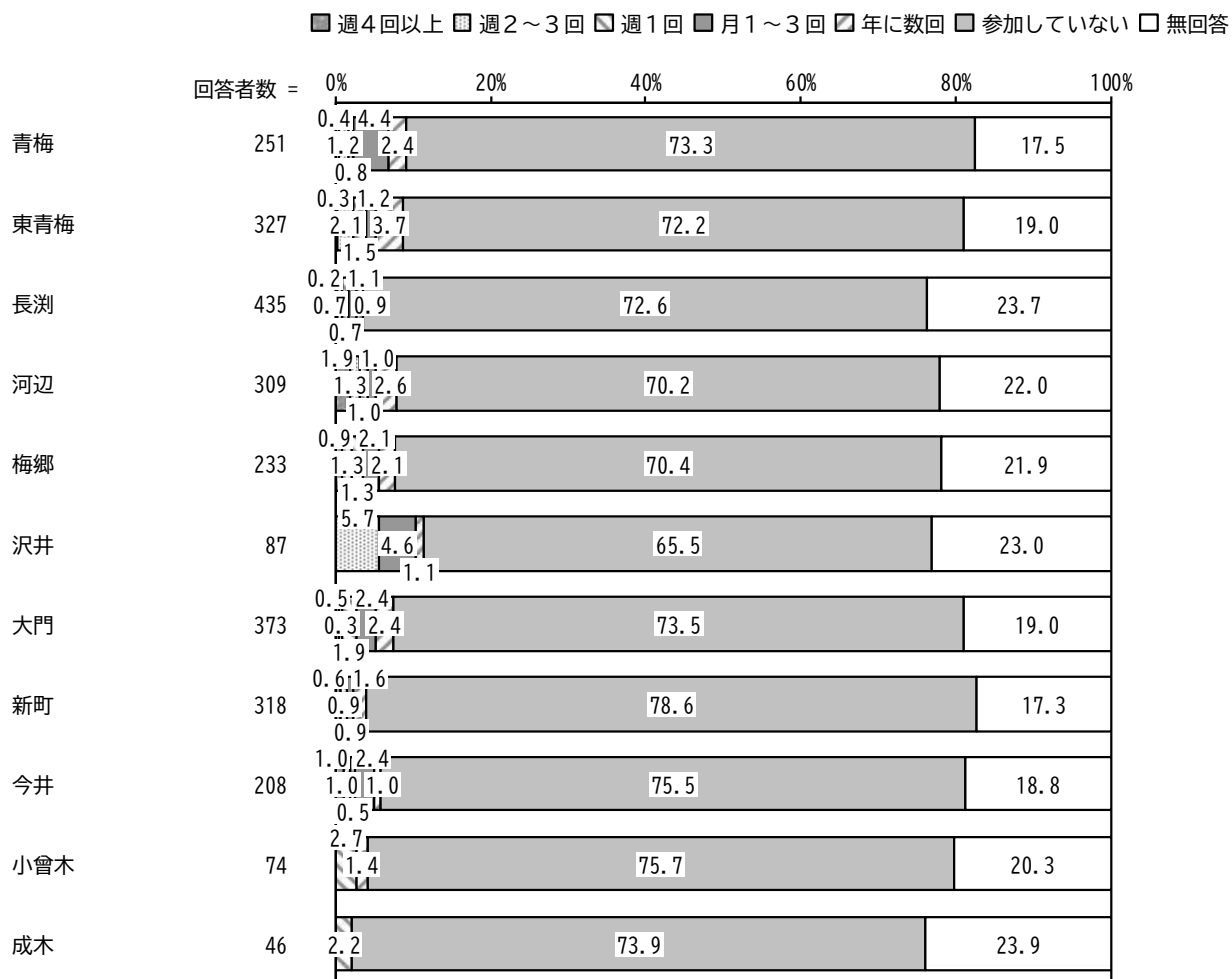
性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「参加していない」の割合が高く、女性では年齢が上がるほど“週1回以上”の割合が高くなっています。



⑥高齢者クラブ

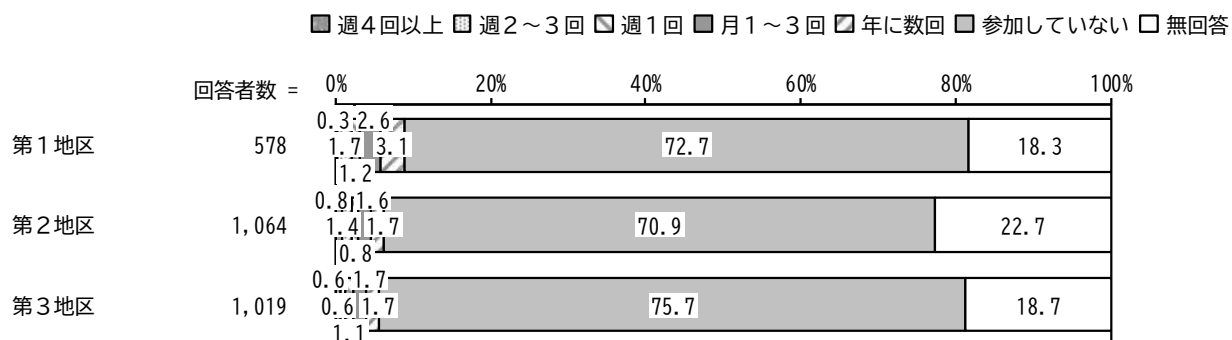
【地区別】

地区別にみると、新町で「参加していない」の割合が高くなっています。



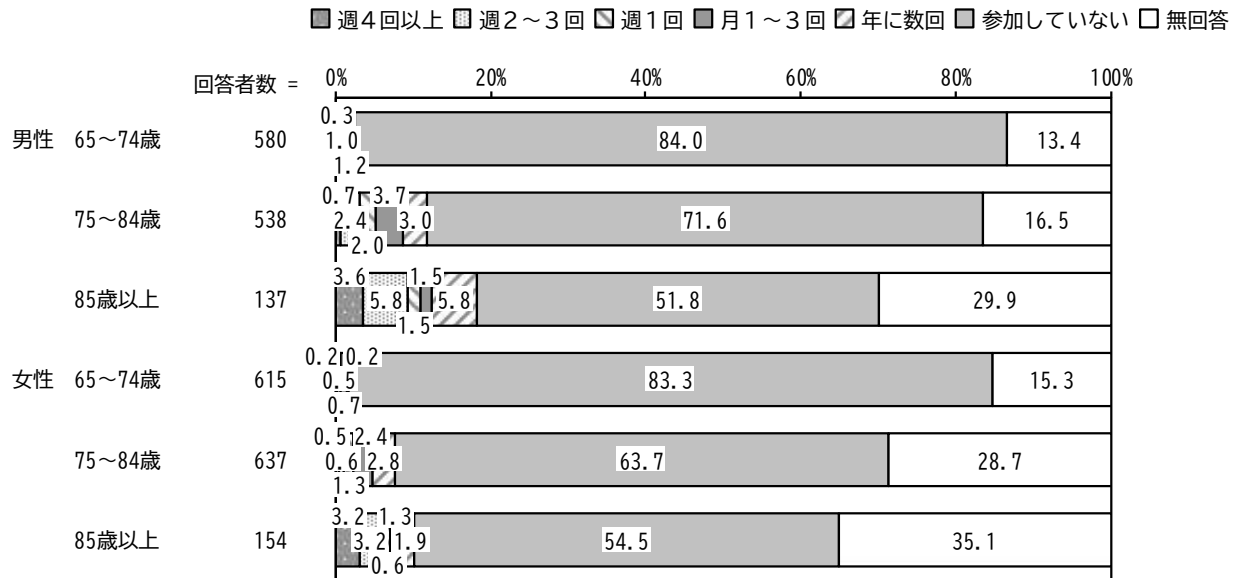
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

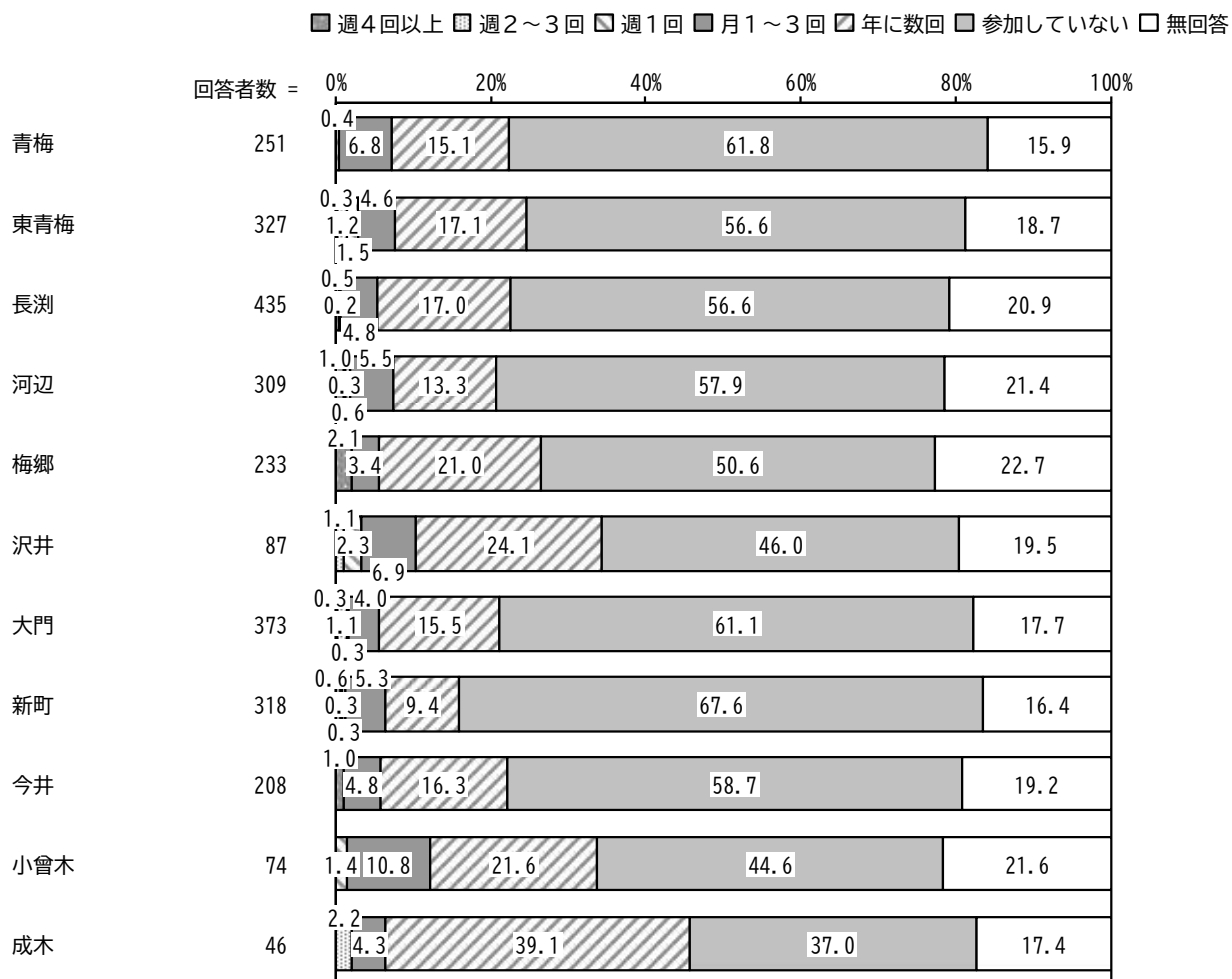
性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど“週1回以上”の割合が高くなっています。また、女性 65～74 歳で「参加していない」の割合が高くなっています。



⑦自治会

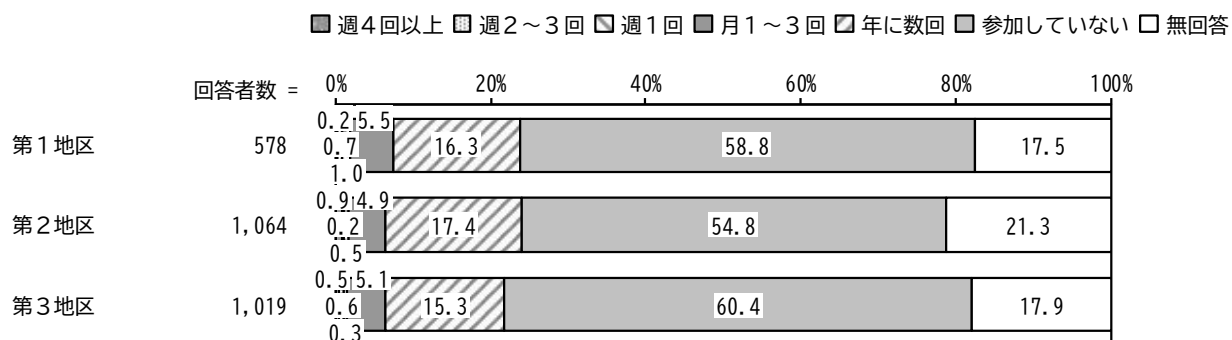
【地区別】

地区別にみると、成木で「参加していない」の割合が低くなっています。



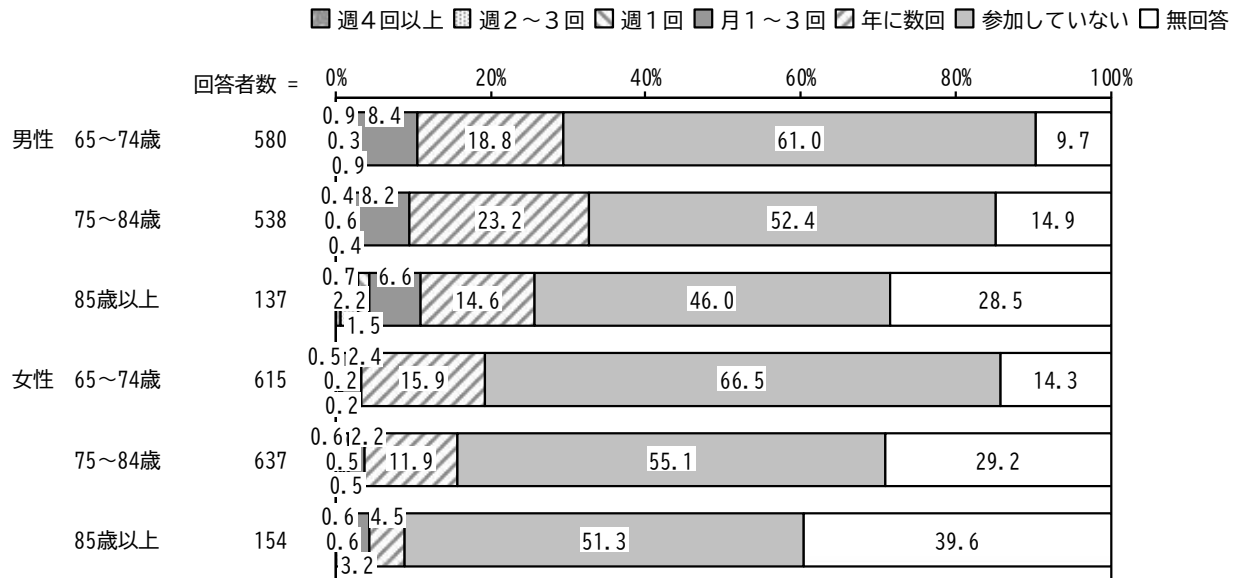
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

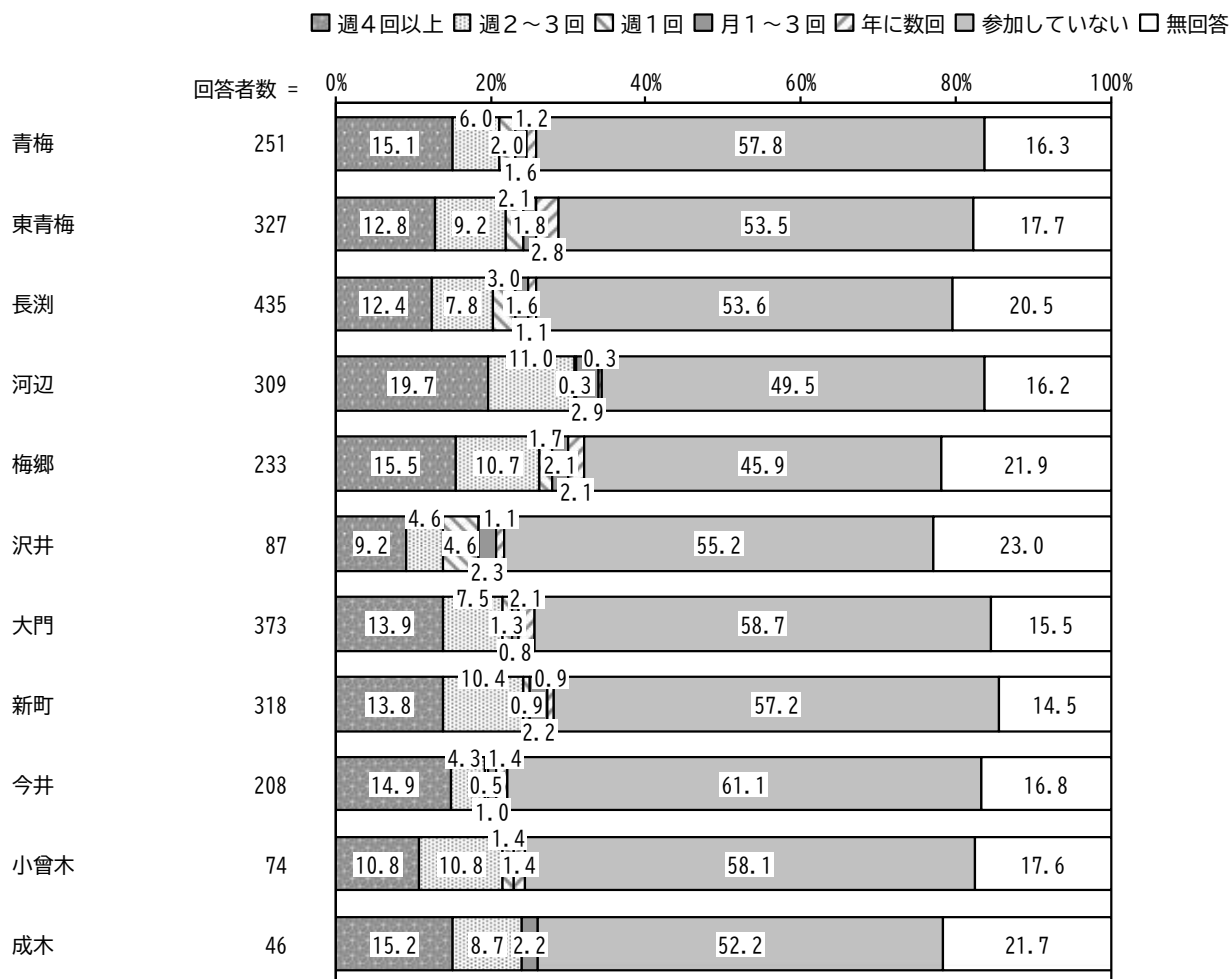
性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「参加していない」の割合が高くなっています。
また、男性 85 歳以上で「年に数回」の割合が低くなっています。



⑧収入のある仕事

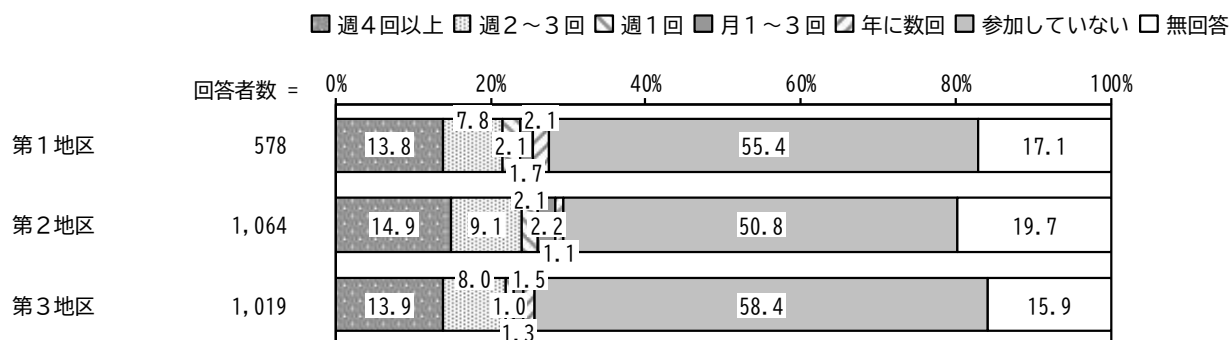
【地区別】

地区別にみると、河辺で“週1回以上”、今井で「参加していない」の割合が高くなっています。



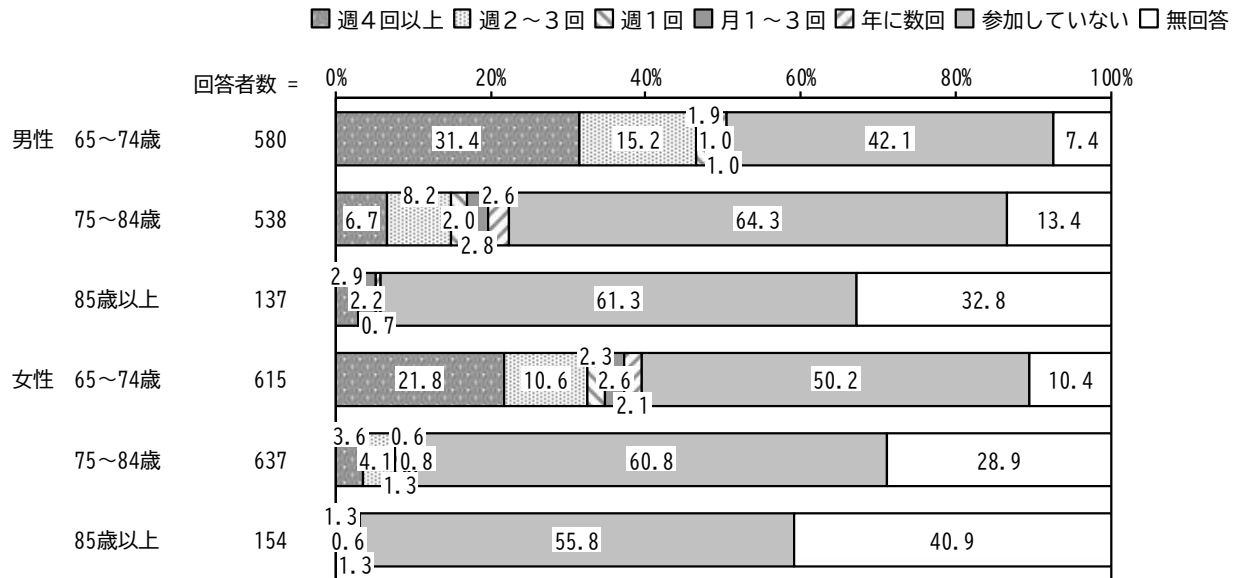
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



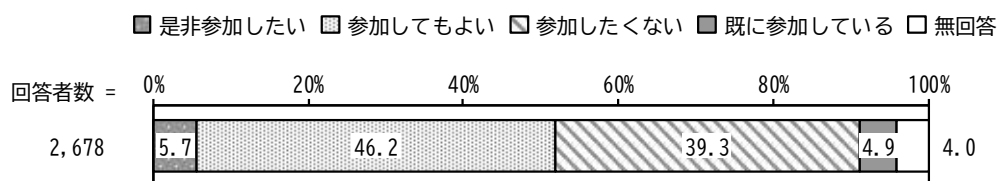
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど“週1回以上”の割合が高くなっています。また、男性 65～74 歳で「週4回以上」の割合が高く、「参加していない」の割合が低くなっています。



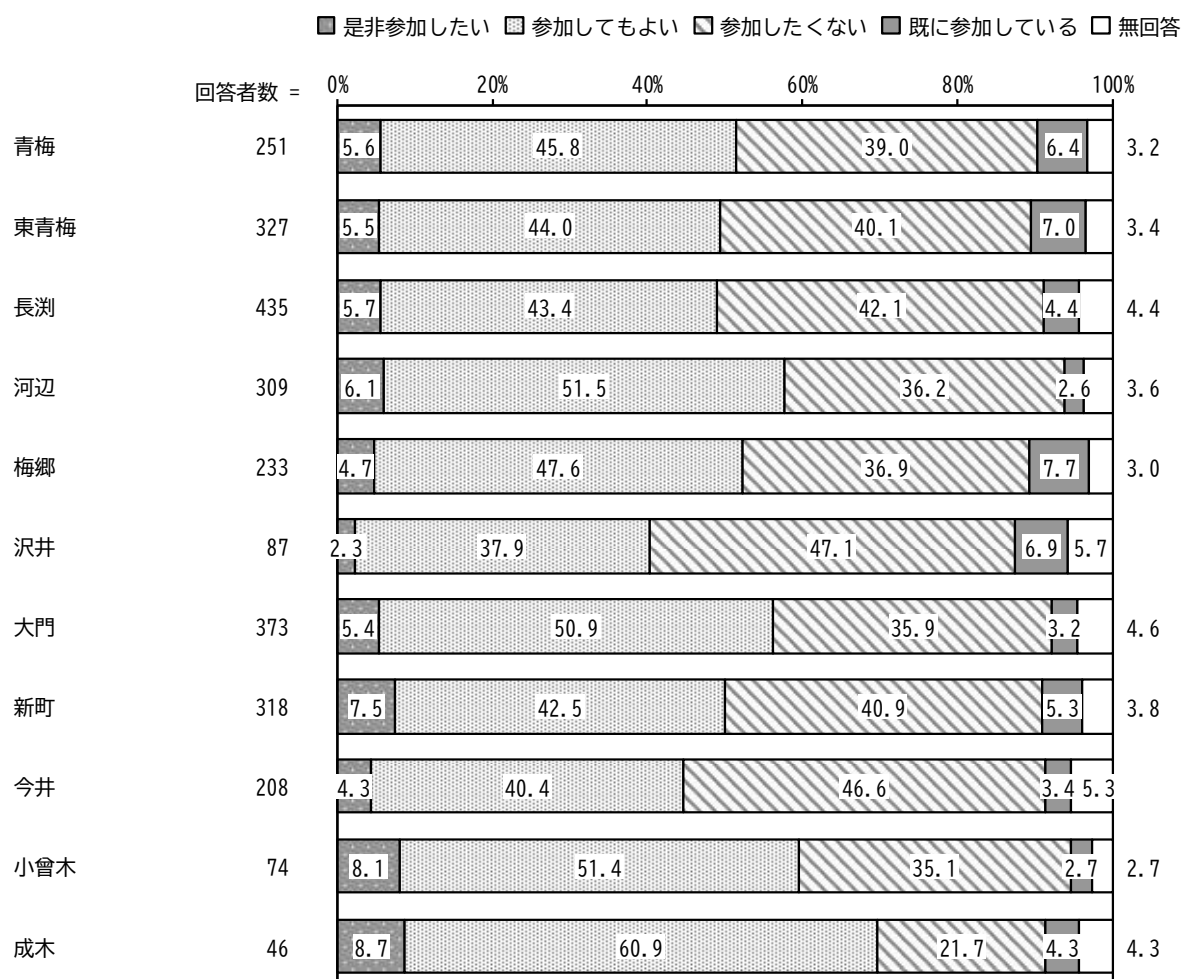
(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

「参加してもよい」の割合が46.2%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が39.3%となっています。



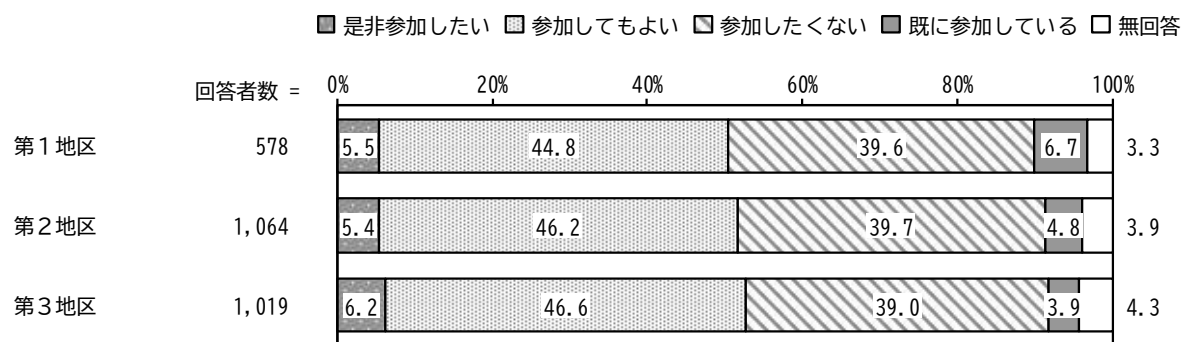
【地区別】

地区別にみると、成木で「参加してもよい」の割合が高く、「参加したくない」の割合が低くなっています。



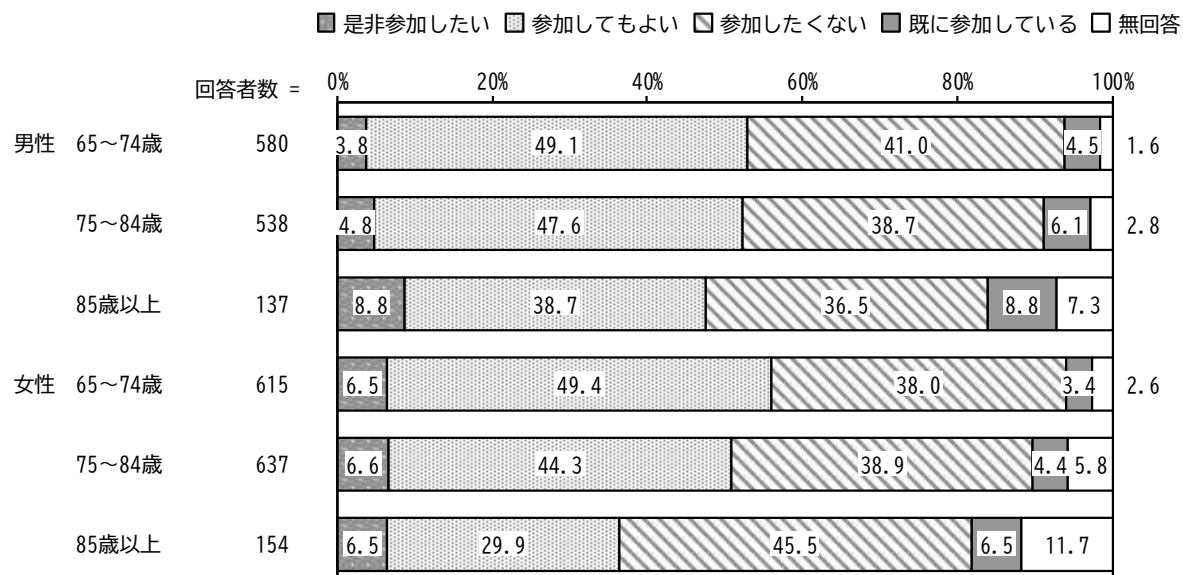
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



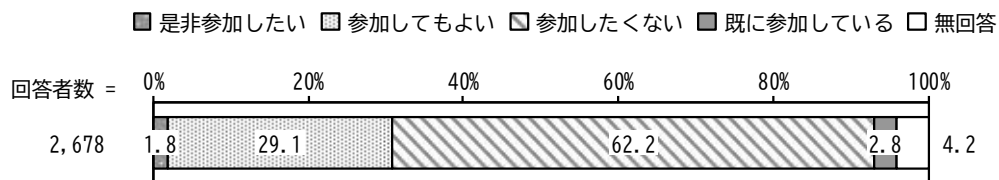
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が上がるほど「参加したくない」の割合が高く、「参加してもよい」の割合が低くなっています。



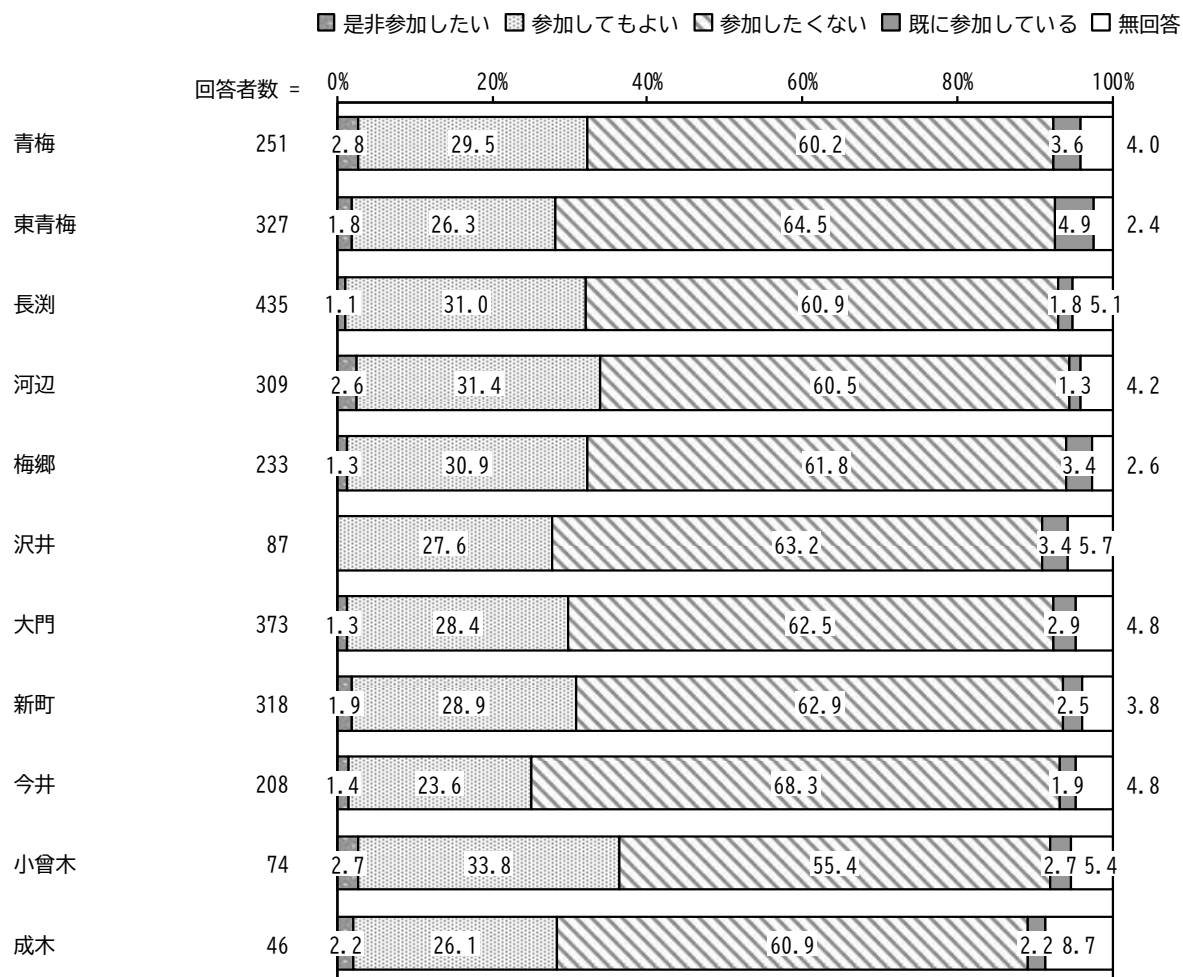
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

「参加したくない」の割合が 62.2%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が 29.1%となっています。



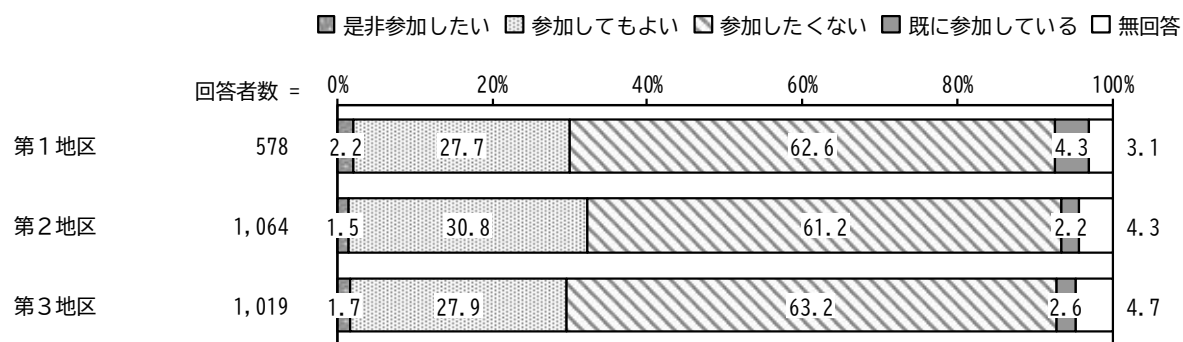
【地区別】

地区別にみると、今井で「参加したくない」の割合が高く、「参加してもよい」の割合が低くなっています。



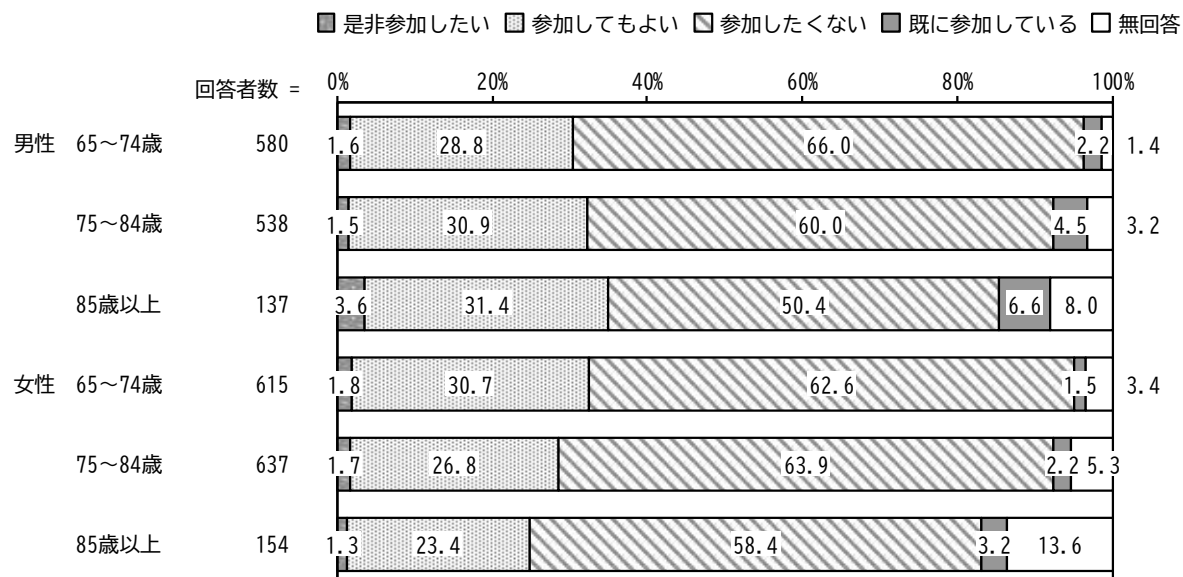
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が下がるほど、男性では「参加したくない」の割合が高く、女性では「参加してもよい」の割合が高くなっています。

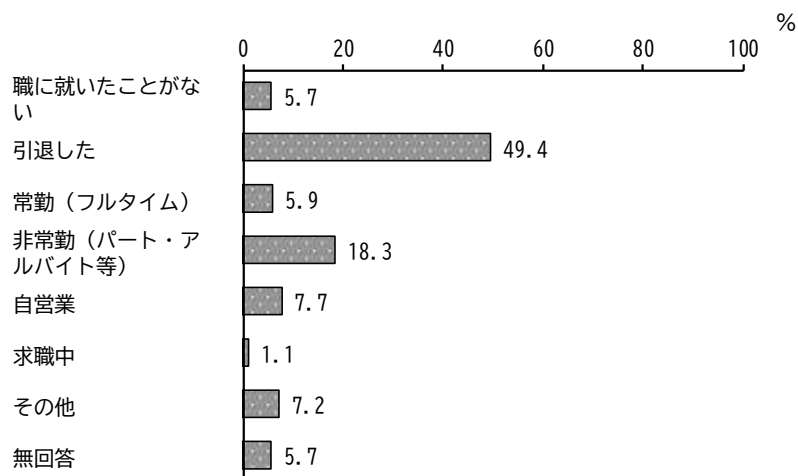


問6 就労について

(1) 現在のあなたの就労状態はどれですか（いくつでも）

「引退した」の割合が49.4%と最も高く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」の割合が18.3%となっています。

回答者数 = 2,678



【地区別】

地区別にみると、小曾木で「引退した」、河辺で「非常勤（パート・アルバイト等）」、沢井で「自営業」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	職に就いたことがない	引退した	常勤（フルタイム）	非常勤（パート・アルバイト等）	自営業	求職中	その他	無回答
全 体	2,678	5.7	49.4	5.9	18.3	7.7	1.1	7.2	5.7
青梅	251	8.8	51.8	8.0	13.1	8.8	0.4	5.6	4.4
東青梅	327	4.3	50.8	6.1	22.3	6.1	1.5	5.8	5.2
長瀨	435	5.3	49.7	5.7	16.8	8.7	1.4	7.4	5.5
河辺	309	6.1	45.3	6.5	24.9	6.1	1.0	6.5	4.5
梅郷	233	6.4	44.2	5.2	19.7	6.0	1.3	10.3	7.7
沢井	87	5.7	54.0	0.0	13.8	13.8	0.0	10.3	2.3
大門	373	4.8	47.7	5.6	18.2	7.5	1.6	8.0	7.5
新町	318	6.0	47.5	7.2	17.6	7.9	0.9	8.5	6.0
今井	208	5.3	52.4	7.2	13.0	9.1	1.4	5.8	6.3
小曾木	74	2.7	68.9	2.7	14.9	4.1	0.0	4.1	2.7
成木	46	4.3	54.3	0.0	21.7	8.7	0.0	2.2	8.7

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	職に就いたことが ない	引退した	常勤（フルタイム）	非常勤（パート・ア ルバイト等）	自営業	求職中	その他	無回答
全 体	2,678	5.7	49.4	5.9	18.3	7.7	1.1	7.2	5.7
第1地区	578	6.2	51.2	6.9	18.3	7.3	1.0	5.7	4.8
第2地区	1,064	5.8	47.6	5.4	19.5	7.8	1.1	8.0	5.5
第3地区	1,019	5.1	50.4	6.0	16.9	7.8	1.2	7.2	6.5

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「常勤（フルタイム）」「非常勤（パート・アルバイト等）」の割合が高く、「引退した」の割合が低く、女性では年齢が上がるほど「職に就いたことがない」の割合が高く、「非常勤（パート・アルバイト等）」の割合が低くなっています。

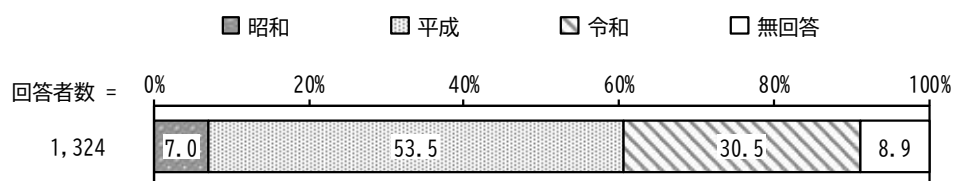
単位：％

区分	回答者数 (件)	職に就いたことが ない	引退した	常勤（フルタイム）	非常勤（パート・ア ルバイト等）	自営業	求職中	その他	無回答
全 体	2,678	5.7	49.4	5.9	18.3	7.7	1.1	7.2	5.7
男性 65～74歳	580	2.1	35.0	17.1	27.8	10.3	2.8	5.2	0.9
75～84歳	538	4.3	65.6	1.7	12.6	7.2	0.9	3.9	4.1
85歳以上	137	3.6	69.3	0.7	5.1	6.6	0.7	9.5	5.8
女性 65～74歳	615	4.2	43.6	6.3	28.5	6.7	1.0	7.6	3.9
75～84歳	637	8.8	52.6	1.6	11.3	6.9	0.3	9.7	9.6
85歳以上	154	18.2	40.3	0.0	1.9	7.1	0.0	11.7	20.8

【(1) において「引退した」の方のみ】

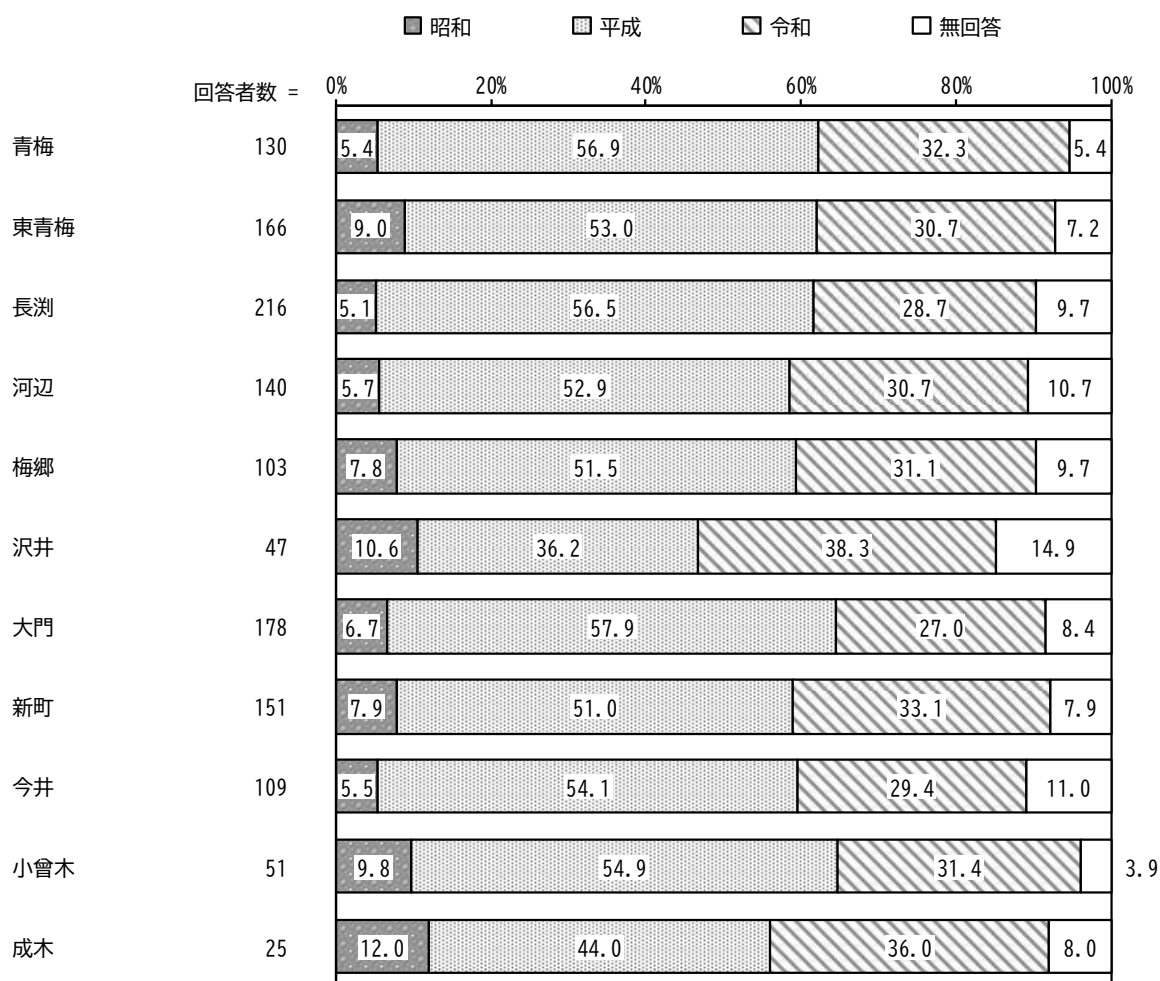
①あなたはいつ引退しましたか

「昭和」の割合が7.0%、「平成」の割合が53.5%、「令和」の割合が30.5%となっています。



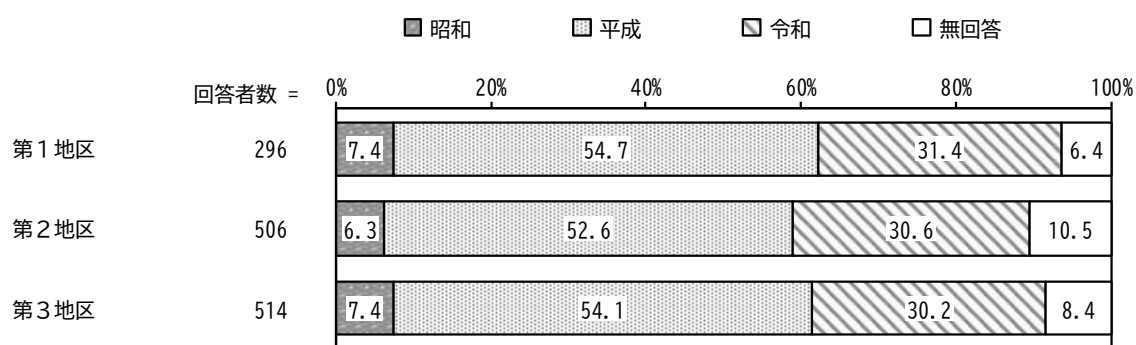
【地区別】

地区別にみると、成木で「昭和」、沢井、成木で「令和」の割合が高くなっています。



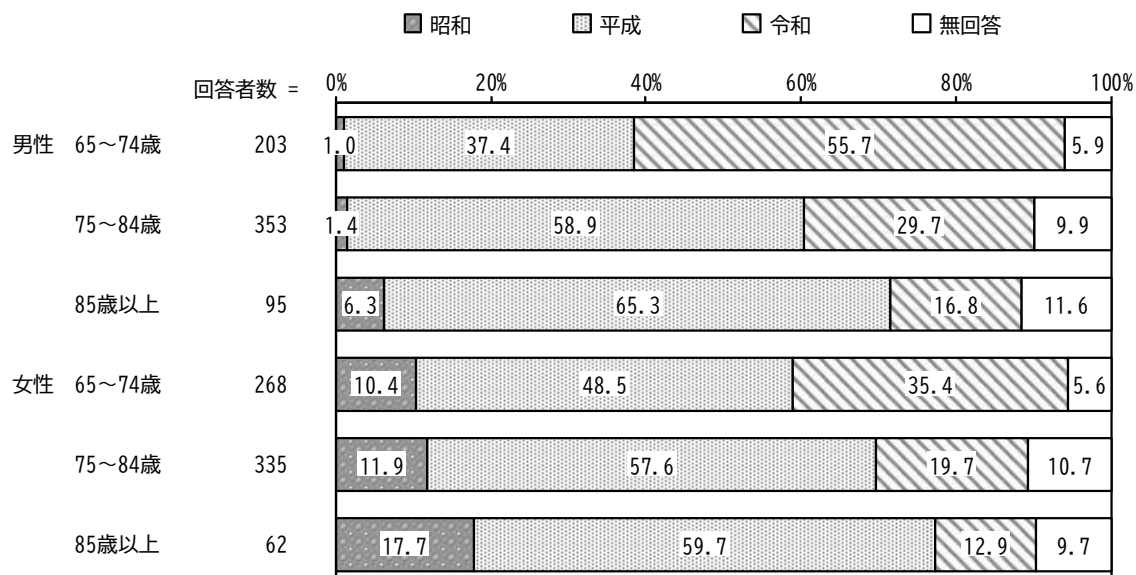
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が上がるほど「昭和」「平成」の割合が高く、「令和」の割合が低くなっています。

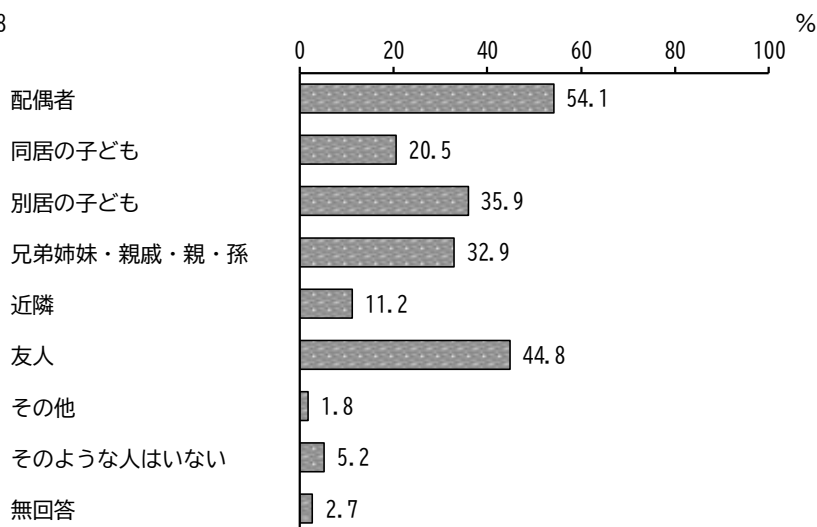


問7 たすけあいについて

(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が54.1%と最も高く、次いで「友人」の割合が44.8%、「別居の子ども」の割合が35.9%となっています。

回答者数 = 2,678



【地区別】

地区別にみると、長渕、今井で「配偶者」、成木で「同居の子ども」、沢井で「別居の子ども」、小曾木、成木で「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「近隣」、青梅、梅郷で「友人」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・ 親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全 体	2,678	54.1	20.5	35.9	32.9	11.2	44.8	1.8	5.2	2.7
青梅	251	53.4	23.9	38.6	33.1	9.6	53.8	1.2	4.4	3.6
東青梅	327	52.3	16.2	34.6	31.8	13.8	38.8	1.5	5.8	3.4
長渕	435	59.8	21.4	33.1	34.9	8.3	43.2	2.1	5.1	2.1
河辺	309	48.9	16.5	36.6	31.4	10.0	44.0	2.6	4.5	3.2
梅郷	233	54.1	18.5	42.5	37.3	14.2	53.6	1.7	3.4	1.3
沢井	87	52.9	25.3	49.4	31.0	12.6	42.5	1.1	3.4	1.1
大門	373	52.5	21.2	38.1	32.4	12.1	46.1	2.1	4.0	3.5
新町	318	54.4	24.2	31.4	32.1	9.1	41.5	1.6	6.0	2.5
今井	208	61.5	19.7	36.5	25.0	10.6	38.9	1.4	9.6	2.9
小曾木	74	54.1	21.6	23.0	39.2	18.9	44.6	0.0	6.8	0.0
成木	46	41.3	26.1	30.4	39.1	21.7	47.8	2.2	2.2	4.3

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	ない そのような人はい	無回答
全 体	2,678	54.1	20.5	35.9	32.9	11.2	44.8	1.8	5.2	2.7
第1地区	578	52.8	19.6	36.3	32.4	11.9	45.3	1.4	5.2	3.5
第2地区	1,064	54.8	19.6	37.5	34.1	10.4	45.7	2.1	4.4	2.2
第3地区	1,019	54.6	22.1	34.2	31.6	11.8	43.2	1.7	5.9	2.8

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「別居の子ども」の割合が高く、「友人」の割合が低く、女性では年齢が下がるほど「配偶者」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」の割合が高く、「同居の子ども」の割合が低くなっています。

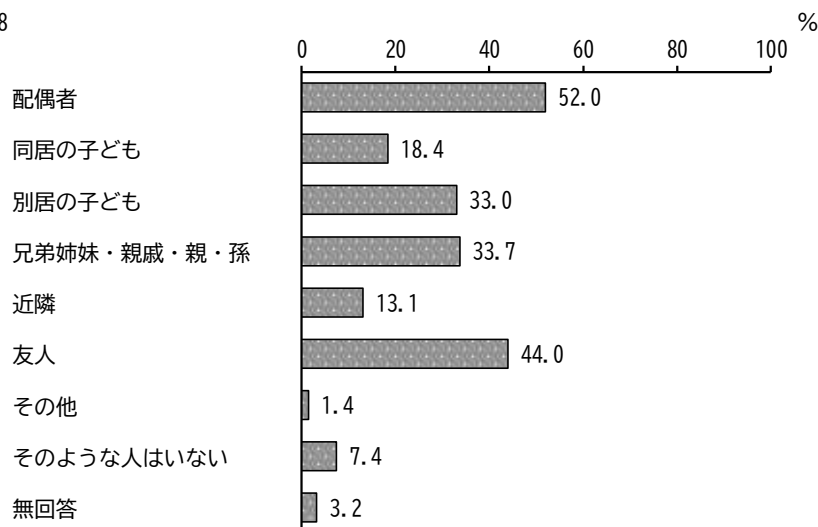
単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	ない そのような人はい	無回答
全 体	2,678	54.1	20.5	35.9	32.9	11.2	44.8	1.8	5.2	2.7
男性 65～74歳	580	66.0	13.8	22.1	22.4	4.5	35.0	2.2	8.1	1.7
75～84歳	538	69.1	13.8	30.3	23.6	9.1	29.2	2.4	7.2	2.0
85歳以上	137	50.4	24.1	30.7	13.1	6.6	14.6	0.0	10.9	7.3
女性 65～74歳	615	55.3	22.9	44.4	44.9	13.8	63.3	2.4	2.0	1.8
75～84歳	637	39.7	24.8	45.1	42.4	18.1	56.5	0.9	2.7	2.8
85歳以上	154	17.5	39.6	42.2	33.1	10.4	38.3	0.0	4.5	7.8

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が52.0%と最も高く、次いで「友人」の割合が44.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が33.7%となっています。

回答者数 = 2,678



【地区別】

地区別にみると、長渕、今井で「配偶者」、小曾木で「同居の子ども」、梅郷で「別居の子ども」、成木で「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「近隣」、青梅、梅郷で「友人」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・ 孫・親戚・	近隣	友人	その他	ない そのような人はい	無回答
全 体	2,678	52.0	18.4	33.0	33.7	13.1	44.0	1.4	7.4	3.2
青梅	251	51.8	20.3	35.5	33.5	13.5	51.0	0.4	5.2	2.8
東青梅	327	49.5	16.2	33.3	32.7	11.9	41.3	0.9	9.2	4.6
長渕	435	57.2	17.0	30.8	34.7	11.3	41.1	1.4	8.3	3.2
河辺	309	45.3	15.2	32.4	29.8	13.3	45.3	1.6	6.8	3.2
梅郷	233	52.8	21.5	39.9	38.6	15.0	52.8	1.3	4.3	2.1
沢井	87	50.6	19.5	34.5	28.7	18.4	42.5	2.3	8.0	1.1
大門	373	52.8	17.2	35.9	35.9	13.1	45.8	2.7	6.4	3.8
新町	318	50.6	21.7	29.6	34.9	9.7	38.7	1.3	9.1	3.5
今井	208	58.7	18.3	34.1	28.4	13.5	38.5	1.0	8.2	2.9
小曾木	74	54.1	24.3	24.3	32.4	18.9	41.9	1.4	8.1	2.7
成木	46	41.3	15.2	19.6	39.1	28.3	43.5	2.2	8.7	2.2

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	ない そのような人はい	無回答
全 体	2,678	52.0	18.4	33.0	33.7	13.1	44.0	1.4	7.4	3.2
第1地区	578	50.5	18.0	34.3	33.0	12.6	45.5	0.7	7.4	3.8
第2地区	1,064	52.3	17.7	33.6	33.6	13.3	45.0	1.5	7.0	2.8
第3地区	1,019	52.9	19.2	32.0	34.0	13.2	41.7	1.8	7.9	3.3

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「別居の子ども」の割合が高く、「友人」の割合が低く、女性では年齢が下がるほど「配偶者」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」の割合が高くなっています。また、女性 85 歳上で「同居の子ども」の割合が高くなっています。

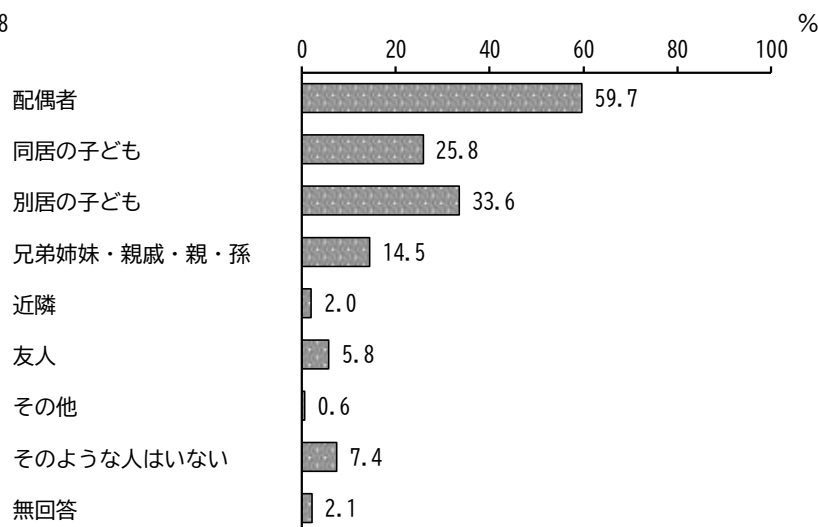
単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	ない そのような人はい	無回答
全 体	2,678	52.0	18.4	33.0	33.7	13.1	44.0	1.4	7.4	3.2
男性 65～74歳	580	64.7	15.2	24.7	24.0	6.4	34.7	2.1	9.8	1.9
75～84歳	538	69.5	14.1	28.3	22.7	10.0	28.6	1.1	8.6	1.9
85歳以上	137	48.9	21.2	29.2	23.4	7.3	14.6	0.7	14.6	8.8
女性 65～74歳	615	52.4	21.5	43.4	45.2	15.8	62.9	2.3	2.6	1.6
75～84歳	637	35.3	18.7	37.0	44.4	20.6	53.7	0.6	5.8	5.0
85歳以上	154	15.6	28.6	27.9	26.6	13.0	40.9	0.6	13.6	7.1

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が 59.7%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が 33.6%、「同居の子ども」の割合が 25.8%となっています。

回答者数 = 2,678



【地区別】

地区別にみると、今井で「配偶者」、沢井、成木で「同居の子ども」、沢井で「別居の子ども」、小曾木で「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・ 親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全 体	2,678	59.7	25.8	33.6	14.5	2.0	5.8	0.6	7.4	2.1
青梅	251	58.2	27.9	31.1	16.7	2.4	8.8	0.8	6.8	1.2
東青梅	327	58.7	20.5	32.4	15.6	2.8	5.2	0.3	10.7	2.1
長淵	435	63.9	24.6	30.8	14.5	1.4	6.2	0.0	8.0	2.5
河辺	309	53.4	21.4	38.2	11.7	1.0	5.5	0.6	7.8	2.3
梅郷	233	59.7	28.8	38.2	15.9	3.4	6.0	0.9	5.6	2.1
沢井	87	58.6	32.2	46.0	13.8	1.1	2.3	1.1	5.7	1.1
大門	373	59.2	26.5	35.4	13.9	1.9	4.8	0.8	5.4	2.4
新町	318	61.6	28.0	28.0	12.3	1.3	6.0	0.9	7.9	2.2
今井	208	66.8	26.4	34.1	12.0	2.9	4.8	0.0	7.7	2.4
小曾木	74	60.8	29.7	32.4	24.3	1.4	8.1	0.0	4.1	1.4
成木	46	50.0	32.6	30.4	19.6	4.3	4.3	2.2	6.5	2.2

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・孫 兄弟姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	ない そのような人はい	無回答
全 体	2,678	59.7	25.8	33.6	14.5	2.0	5.8	0.6	7.4	2.1
第1地区	578	58.5	23.7	31.8	16.1	2.6	6.7	0.5	9.0	1.7
第2地区	1,064	59.5	25.2	35.8	13.9	1.7	5.6	0.5	7.2	2.3
第3地区	1,019	61.2	27.5	32.4	14.0	2.0	5.4	0.7	6.6	2.3

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「同居の子ども」「別居の子ども」の割合が高く、女性では「同居の子ども」の割合が高く、「配偶者」の割合が低くなっています。

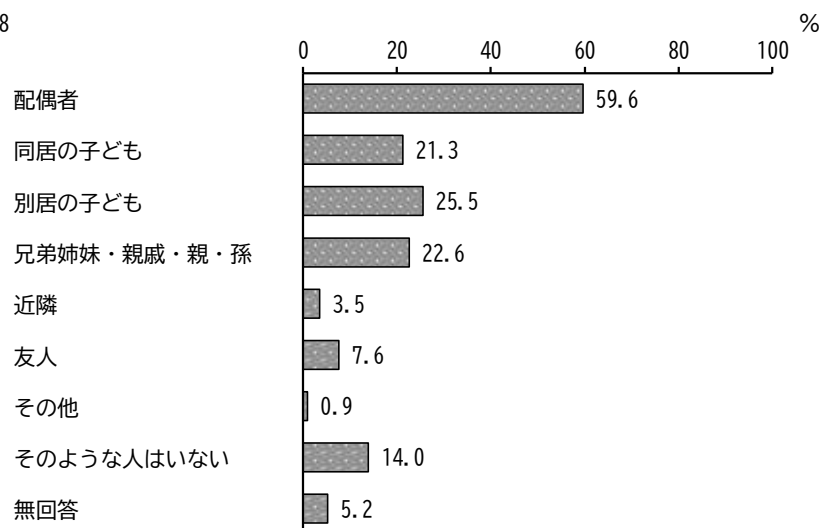
単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・孫 兄弟姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	ない そのような人はい	無回答
全 体	2,678	59.7	25.8	33.6	14.5	2.0	5.8	0.6	7.4	2.1
男性 65～74歳	580	72.2	16.4	18.1	9.7	0.2	2.6	0.2	12.8	1.2
75～84歳	538	75.7	19.9	27.3	10.8	1.5	2.6	0.7	8.4	1.3
85歳以上	137	54.0	30.7	39.4	10.2	0.7	2.2	0.0	6.6	5.1
女性 65～74歳	615	61.8	29.1	36.3	18.2	2.9	9.3	1.0	5.0	1.1
75～84歳	637	45.4	29.5	47.1	18.4	3.8	8.9	0.6	4.2	3.1
85歳以上	154	16.9	48.1	42.9	17.5	0.6	5.2	0.0	6.5	5.8

(4) 反対に、看病や世話をしあける人（いくつでも）

「配偶者」の割合が 59.6%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が 25.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が 22.6%となっています。

回答者数 = 2,678



【地区別】

地区別にみると、今井で「配偶者」、沢井で「別居の子ども」、成木で「近隣」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・ 親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全 体	2,678	59.6	21.3	25.5	22.6	3.5	7.6	0.9	14.0	5.2
青梅	251	59.0	22.7	22.3	24.7	4.4	10.8	1.6	12.0	4.0
東青梅	327	59.0	19.9	22.6	23.9	3.4	6.7	0.3	15.3	4.9
長湊	435	63.7	21.1	27.1	23.0	2.3	7.6	0.7	13.6	5.1
河辺	309	55.3	17.5	31.4	21.0	3.6	7.8	1.3	17.2	3.9
梅郷	233	58.8	23.6	26.2	25.8	4.7	7.3	0.4	12.4	6.4
沢井	87	59.8	20.7	36.8	20.7	4.6	3.4	1.1	11.5	4.6
大門	373	59.2	21.4	26.3	22.8	3.2	7.5	1.6	12.1	5.1
新町	318	58.5	24.5	21.7	19.8	2.5	6.9	0.6	16.4	5.7
今井	208	66.3	20.7	26.0	20.7	3.4	7.2	0.5	10.6	6.3
小曾木	74	59.5	21.6	20.3	25.7	6.8	9.5	0.0	12.2	8.1
成木	46	50.0	17.4	13.0	19.6	8.7	4.3	0.0	28.3	6.5

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	ない そのような人はい	無回答
全 体	2,678	59.6	21.3	25.5	22.6	3.5	7.6	0.9	14.0	5.2
第1地区	578	59.0	21.1	22.5	24.2	3.8	8.5	0.9	13.8	4.5
第2地区	1,064	59.9	20.6	28.9	22.8	3.4	7.2	0.8	14.2	5.0
第3地区	1,019	60.1	22.1	23.7	21.5	3.5	7.3	0.9	13.8	5.8

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が下がるほど、男性では「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が高く、女性では「配偶者」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が高くなっています。

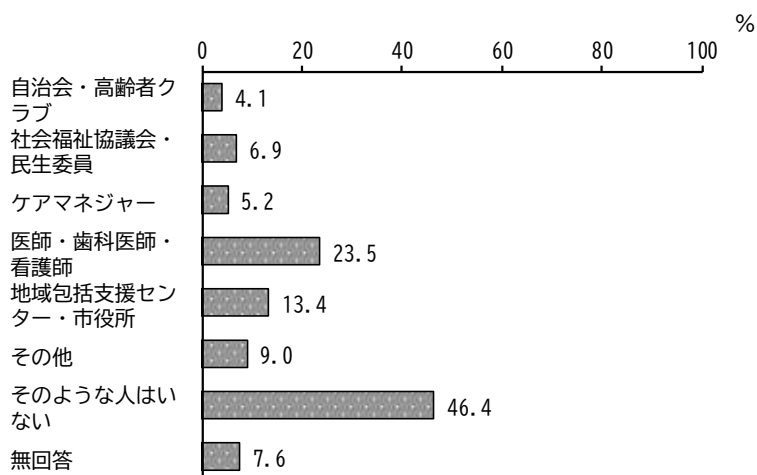
単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	ない そのような人はい	無回答
全 体	2,678	59.6	21.3	25.5	22.6	3.5	7.6	0.9	14.0	5.2
男性 65～74歳	580	69.5	17.8	19.7	17.9	1.4	4.3	1.0	16.9	1.6
75～84歳	538	70.6	16.5	18.8	17.1	2.6	3.7	0.0	14.3	4.1
85歳以上	137	48.9	19.0	15.3	10.2	0.0	3.6	0.7	24.8	10.9
女性 65～74歳	615	63.7	26.5	36.1	34.6	3.9	10.1	1.1	7.8	3.4
75～84歳	637	49.1	23.1	31.2	24.3	6.6	13.0	0.9	11.9	7.7
85歳以上	154	22.7	24.7	14.9	15.6	3.9	3.2	1.9	25.3	14.3

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）

「医師・歯科医師・看護師」の割合が23.5%と最も高く、次いで「地域包括支援センター・市役所」の割合が13.4%となっています。

回答者数 = 2,678



【地区別】

地区別にみると、小曾木で「自治会・高齢者クラブ」、沢井で「社会福祉協議会・民生委員」、青梅で「医師・歯科医師・看護師」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	自治会・高齢者クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	その他	そのような人はいない	無回答
全 体	2,678	4.1	6.9	5.2	23.5	13.4	9.0	46.4	7.6
青梅	251	2.8	8.8	6.0	35.1	10.4	10.0	37.1	5.6
東青梅	327	6.1	5.8	5.5	23.9	12.5	10.7	47.1	5.2
長瀬	435	4.4	6.9	5.7	20.0	12.0	9.7	51.0	7.4
河辺	309	3.6	5.5	5.2	23.0	9.4	10.4	46.3	9.7
梅郷	233	2.1	8.6	6.0	23.2	15.0	9.4	45.1	6.0
沢井	87	6.9	16.1	5.7	24.1	10.3	8.0	41.4	10.3
大門	373	4.6	5.9	5.4	23.9	17.4	7.2	45.6	9.4
新町	318	1.6	3.8	3.5	19.2	16.0	6.9	53.5	8.2
今井	208	3.4	8.2	3.8	19.7	16.8	6.7	47.6	6.3
小曾木	74	17.6	10.8	1.4	27.0	10.8	14.9	33.8	8.1
成木	46	2.2	10.9	6.5	28.3	15.2	4.3	37.0	15.2

【圏域別】

圏域別にみると、第1地区で「医師・歯科医師・看護師」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自治会・高齢者ク ラブ	社会福祉協議会・民 生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看 護師	地域包括支援セン ター・市役所	その他	そのよう な人は ない	無回 答
全 体	2,678	4.1	6.9	5.2	23.5	13.4	9.0	46.4	7.6
第1地区	578	4.7	7.1	5.7	28.7	11.6	10.4	42.7	5.4
第2地区	1,064	3.9	7.6	5.6	21.9	11.7	9.7	47.6	8.0
第3地区	1,019	4.2	6.3	4.2	22.0	16.3	7.5	47.2	8.5

【性・年齢別】

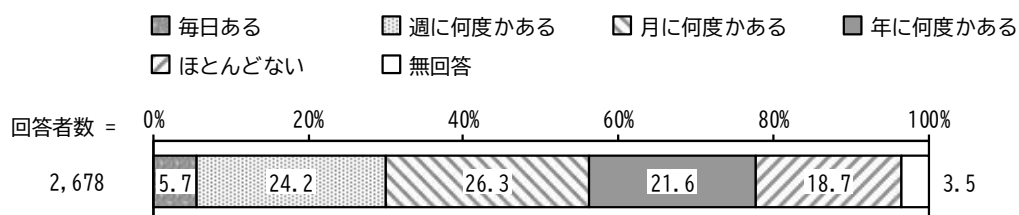
性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「社会福祉協議会・民生委員」の割合が高く、女性では「社会福祉協議会・民生委員」「ケアマネジャー」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自治会・高齢者ク ラブ	社会福祉協議会・民 生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看 護師	地域包括支援セン ター・市役所	その他	そのよう な人は ない	無回 答
全 体	2,678	4.1	6.9	5.2	23.5	13.4	9.0	46.4	7.6
男性 65～74歳	580	4.1	4.1	2.9	22.4	9.1	11.0	54.1	3.4
75～84歳	538	7.4	9.7	3.5	21.6	14.5	10.6	46.7	5.4
85歳以上	137	7.3	10.2	6.6	19.7	12.4	8.0	35.8	17.5
女性 65～74歳	615	1.5	3.6	4.1	25.5	13.5	7.6	51.7	5.0
75～84歳	637	3.1	9.1	7.4	24.6	16.3	8.5	38.3	12.2
85歳以上	154	5.2	10.4	12.3	23.4	14.9	3.9	37.7	13.6

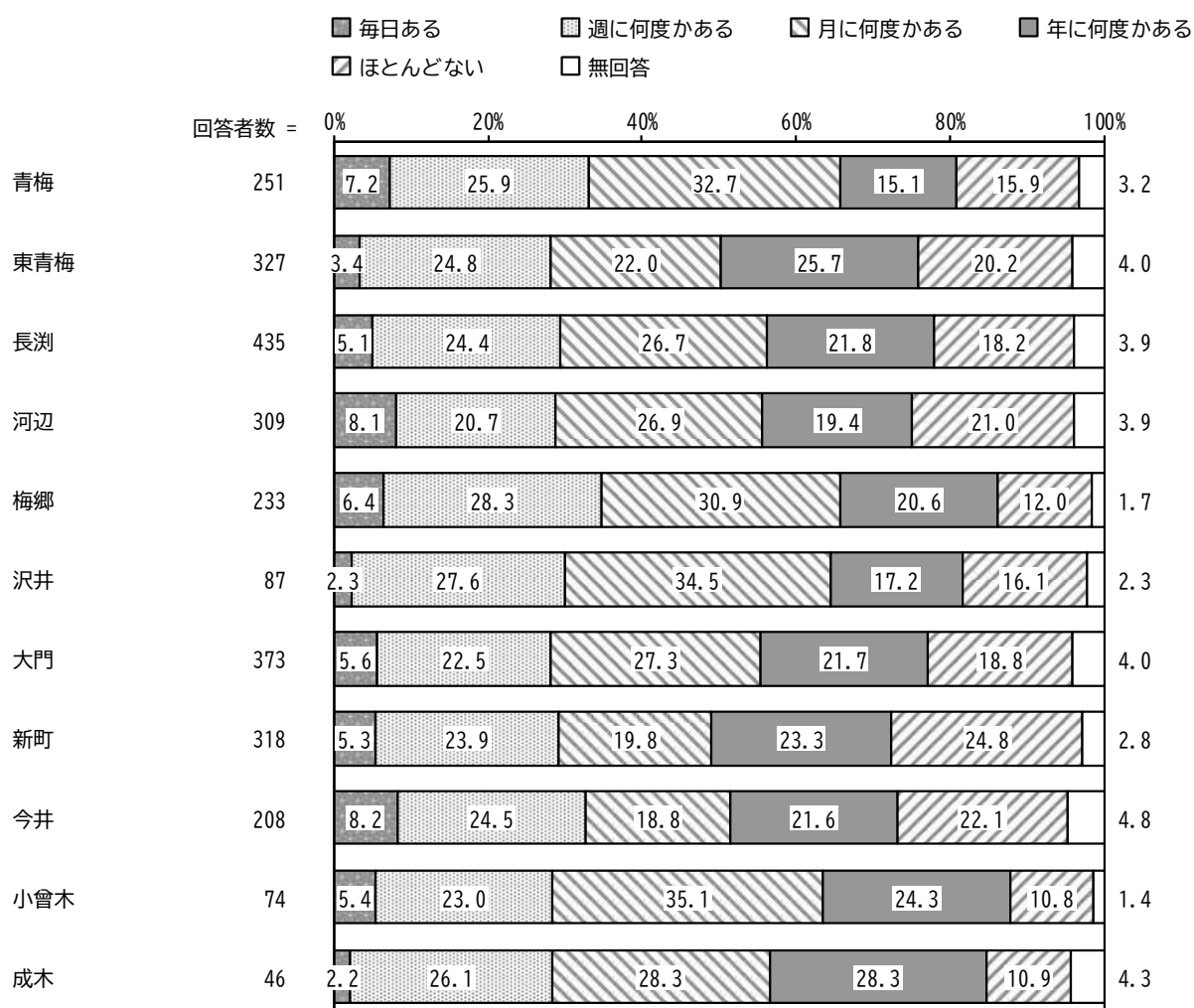
(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

「月に何度かある」の割合が26.3%と最も高く、次いで「週に何度かある」の割合が24.2%、「年に何度かある」の割合が21.6%となっています。



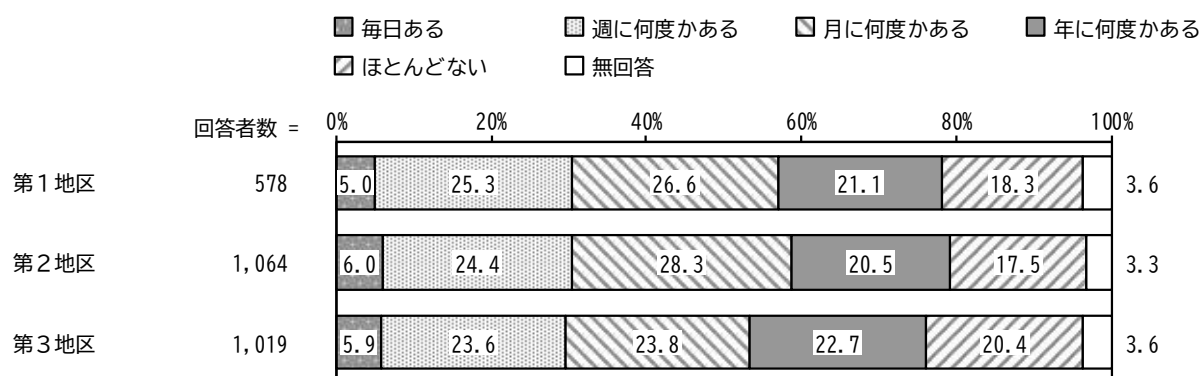
【地区別】

地区別にみると、青梅、沢井、小曾木で「月に何度かある」、成木で「年に何度かある」、新町で「ほとんどない」の割合が高くなっています。



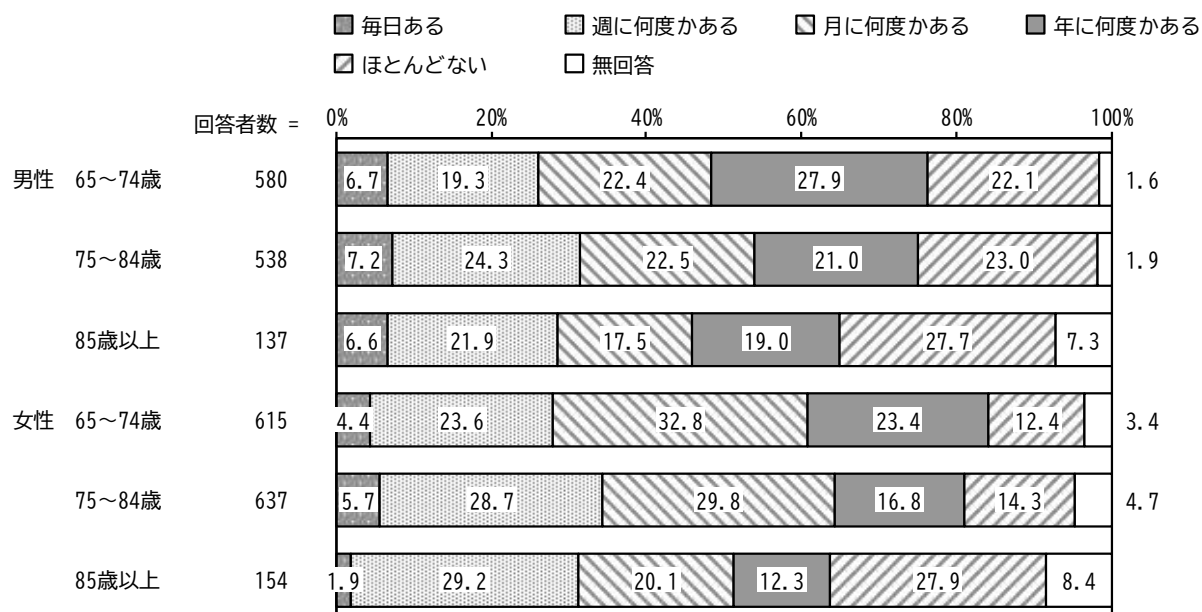
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



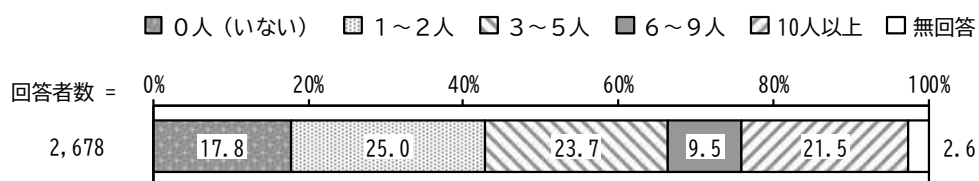
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「ほとんどない」の割合が高く、「年に何度かある」の割合が低く、女性では「週に何度かある」「ほとんどない」の割合が高く、「月に何度かある」「年に何度かある」の割合が低くなっています。



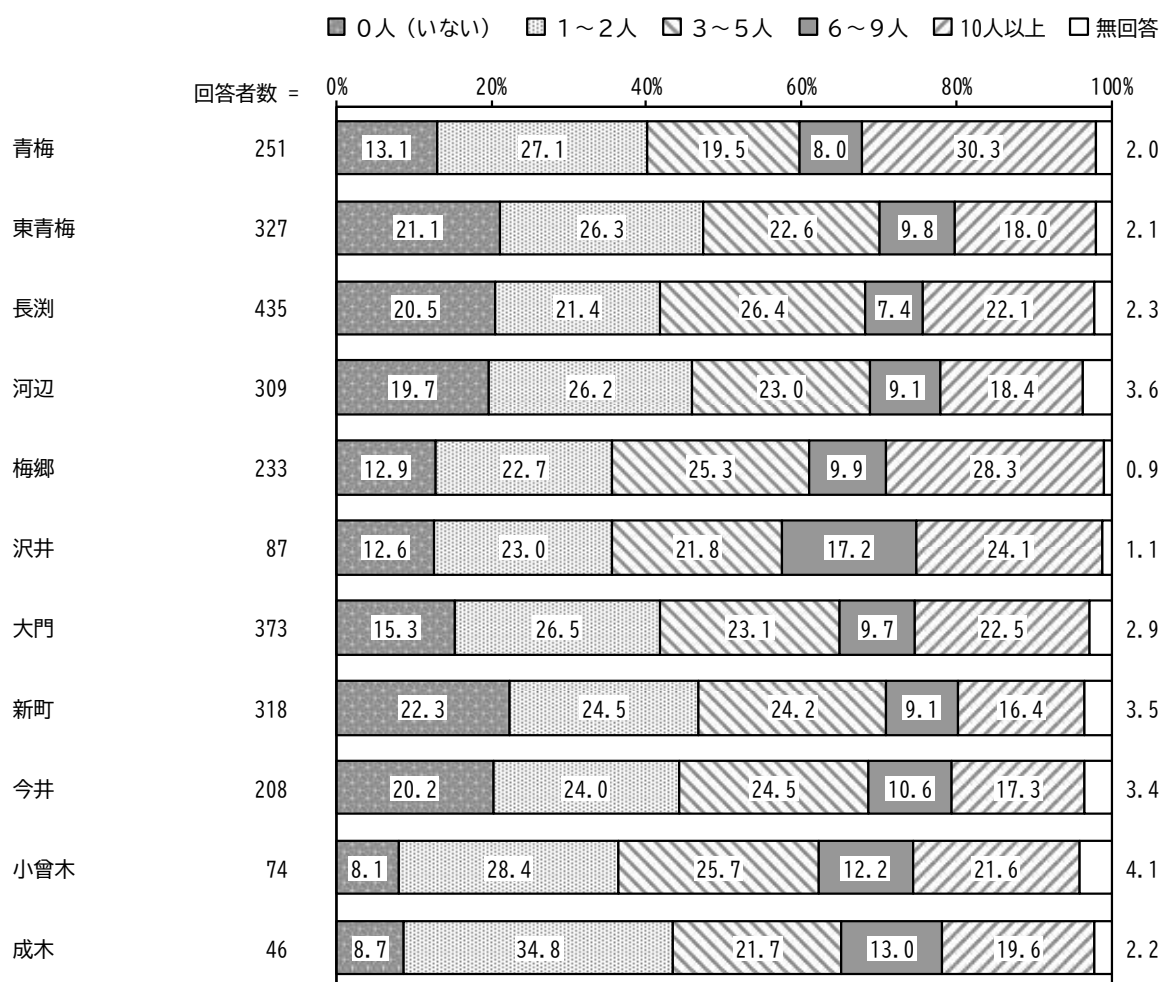
(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。

「1～2人」の割合が25.0%と最も高く、次いで「3～5人」の割合が23.7%、「10人以上」の割合が21.5%となっています。



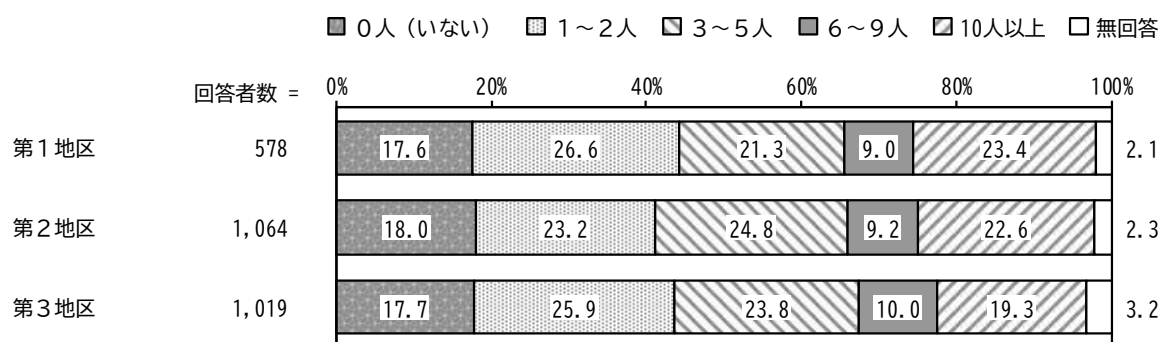
【地区別】

地区別にみると、成木で「1～2人」、沢井で「6～9人」、青梅、梅郷で「10人以上」の割合が高くなっています。



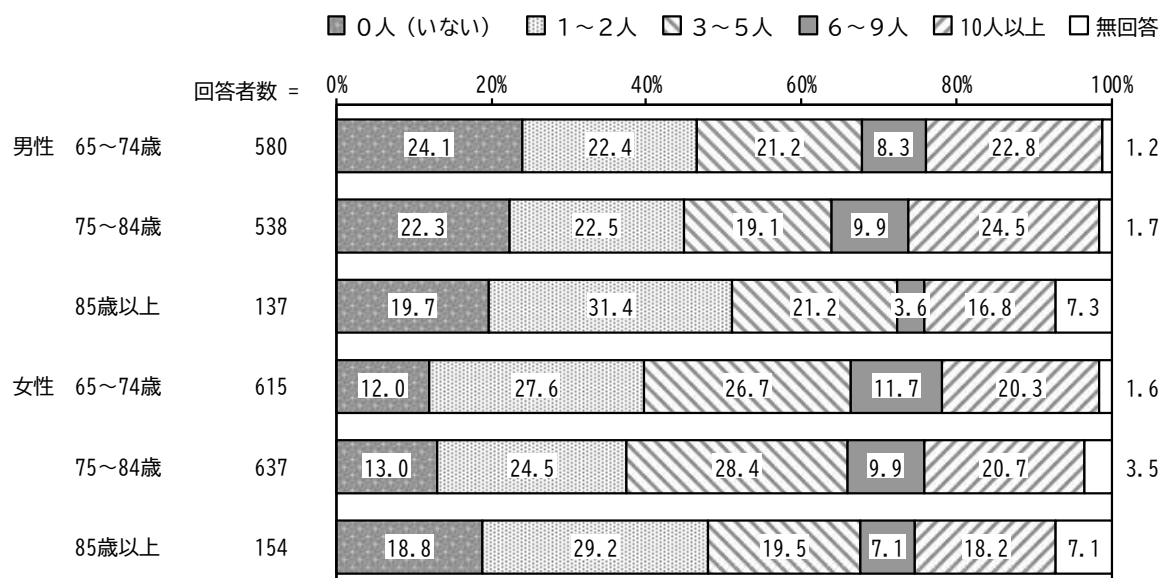
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

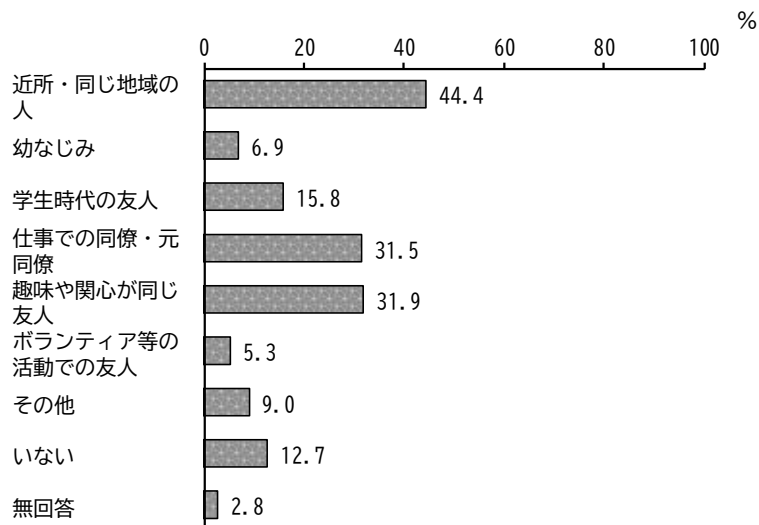
性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「1～2人」の割合が高く、「0人（いない）」の割合が低く、女性では「0人（いない）」の割合が高く、「6～9人」の割合が低くなっています。



(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

「近所・同じ地域の人」の割合が44.4%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」の割合が31.9%、「仕事での同僚・元同僚」の割合が31.5%となっています。

回答者数 = 2,678



【地区別】

地区別にみると、成木で「近所・同じ地域の人」、小曾木で「幼なじみ」、梅郷で「趣味や関心が同じ友人」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
全 体	2,678	44.4	6.9	15.8	31.5	31.9	5.3	9.0	12.7	2.8
青梅	251	45.0	8.0	15.9	33.5	32.3	5.2	10.4	10.0	2.4
東青梅	327	43.4	6.1	19.6	31.8	31.8	6.4	9.5	13.1	2.1
長瀬	435	44.8	6.9	14.9	31.5	31.3	5.7	8.3	15.4	3.0
河辺	309	37.9	6.8	13.9	35.0	26.2	4.9	10.0	14.6	2.9
梅郷	233	53.6	8.2	18.5	26.2	47.2	6.4	12.4	6.9	1.3
沢井	87	59.8	6.9	17.2	27.6	28.7	8.0	9.2	9.2	1.1
大門	373	46.6	5.9	14.5	34.6	33.0	3.8	7.0	11.5	2.9
新町	318	31.8	6.0	14.8	29.9	28.3	4.7	10.1	16.0	3.8
今井	208	45.2	6.3	14.9	30.8	29.8	2.9	5.3	15.9	3.8
小曾木	74	51.4	13.5	13.5	25.7	32.4	8.1	5.4	8.1	4.1
成木	46	63.0	8.7	17.4	30.4	23.9	8.7	10.9	4.3	2.2

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
全 体	2,678	44.4	6.9	15.8	31.5	31.9	5.3	9.0	12.7	2.8
第1地区	578	44.1	6.9	18.0	32.5	32.0	5.9	9.9	11.8	2.2
第2地区	1,064	46.0	7.1	15.6	31.0	33.1	5.8	9.8	12.8	2.4
第3地区	1,019	42.8	6.7	14.7	31.5	30.4	4.4	7.7	13.2	3.4

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「学生時代の友人」「仕事での同僚・元同僚」の割合が高く、男性では「近所・同じ地域の人」の割合が低くなっています。

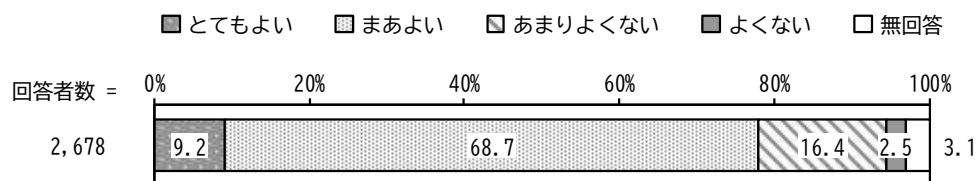
単位：％

区分	回答者数 (件)	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
全 体	2,678	44.4	6.9	15.8	31.5	31.9	5.3	9.0	12.7	2.8
男性 65～74歳	580	29.7	7.4	19.0	44.7	26.0	5.7	9.0	14.8	1.2
75～84歳	538	42.2	5.6	11.0	29.4	34.8	6.1	6.9	16.9	2.6
85歳以上	137	43.8	4.4	8.8	13.9	21.9	5.8	10.2	16.8	8.8
女性 65～74歳	615	42.3	8.1	23.3	41.1	31.9	5.2	10.6	8.8	1.6
75～84歳	637	59.8	7.8	13.5	21.7	37.0	4.9	9.4	8.9	3.1
85歳以上	154	51.9	3.2	6.5	7.8	30.5	2.6	7.1	18.2	7.1

問8 健康について

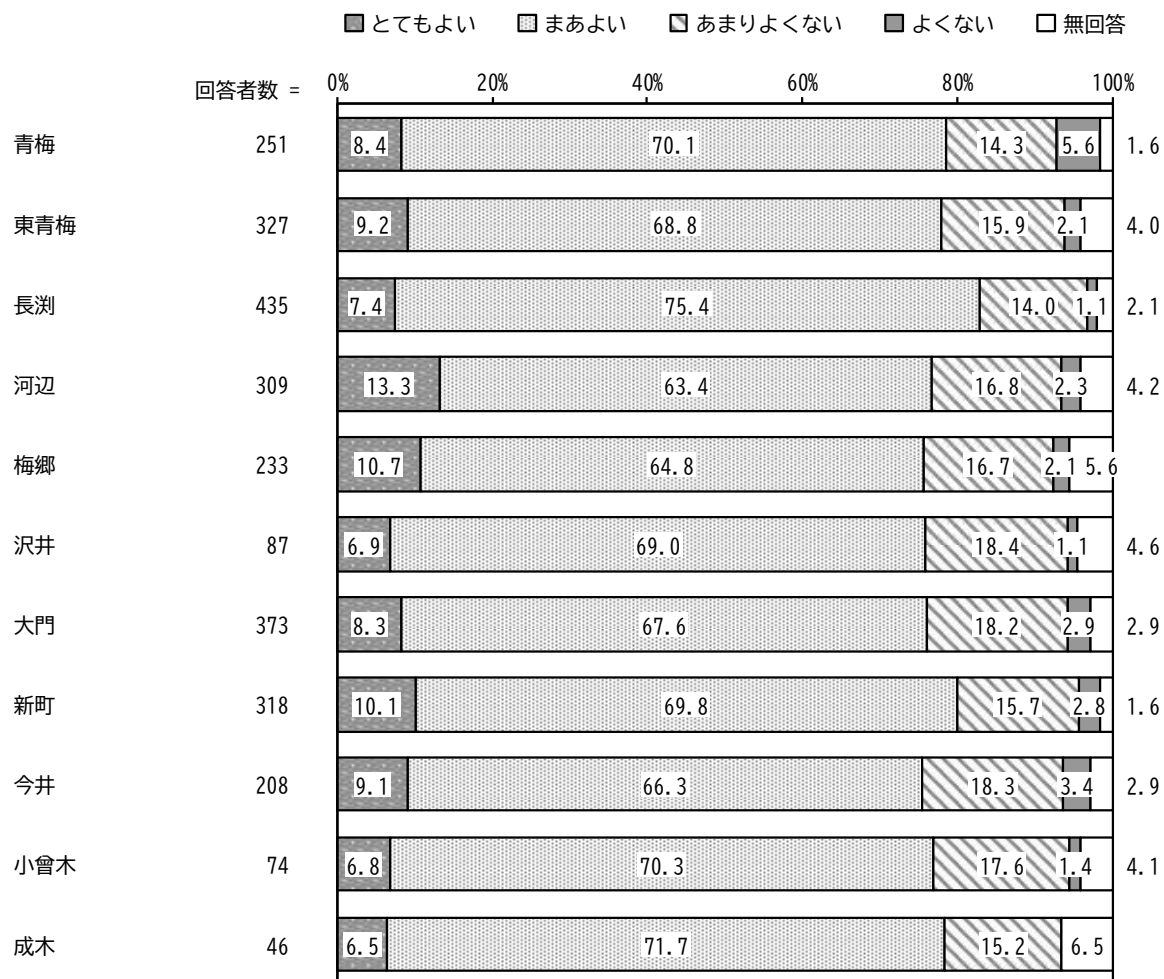
(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

「とてもよい」「まあよい」を合わせた“よい”の割合が77.9%、「あまりよくない」「よくない」を合わせた“よくない”の割合が18.9%となっています。



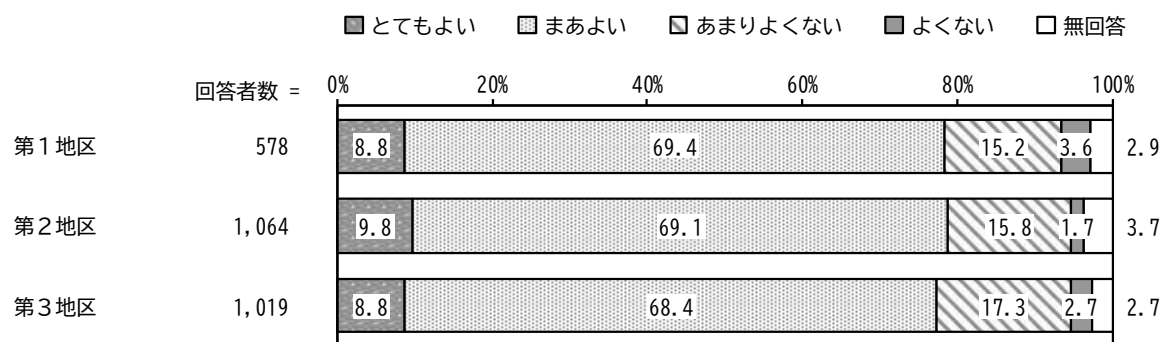
【地区別】

地区別にみると、長渕で「まあよい」の割合が高くなっています。



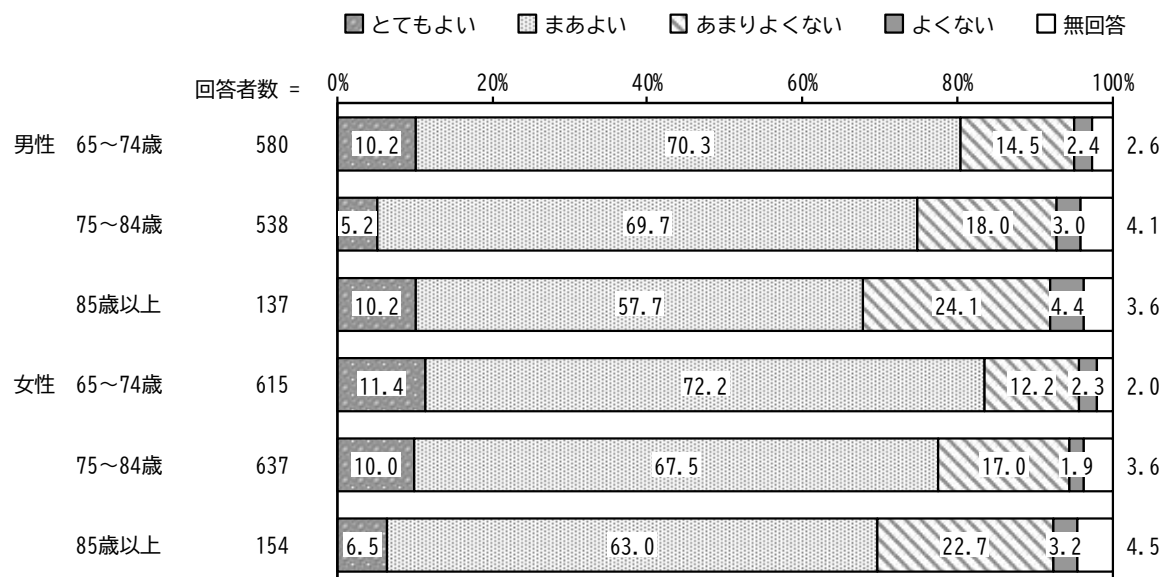
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



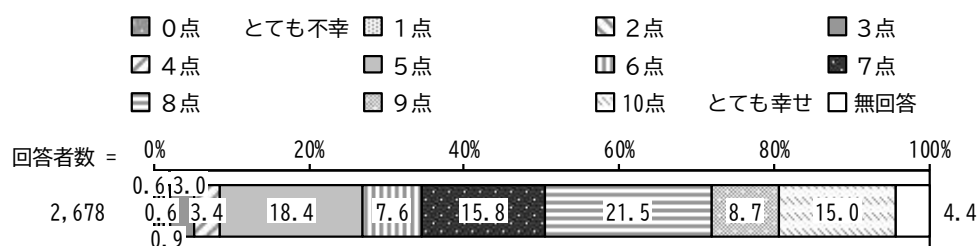
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど“よくない”の割合が高くなっています。また、男性85歳以上で「まあよい」の割合が低くなっています。



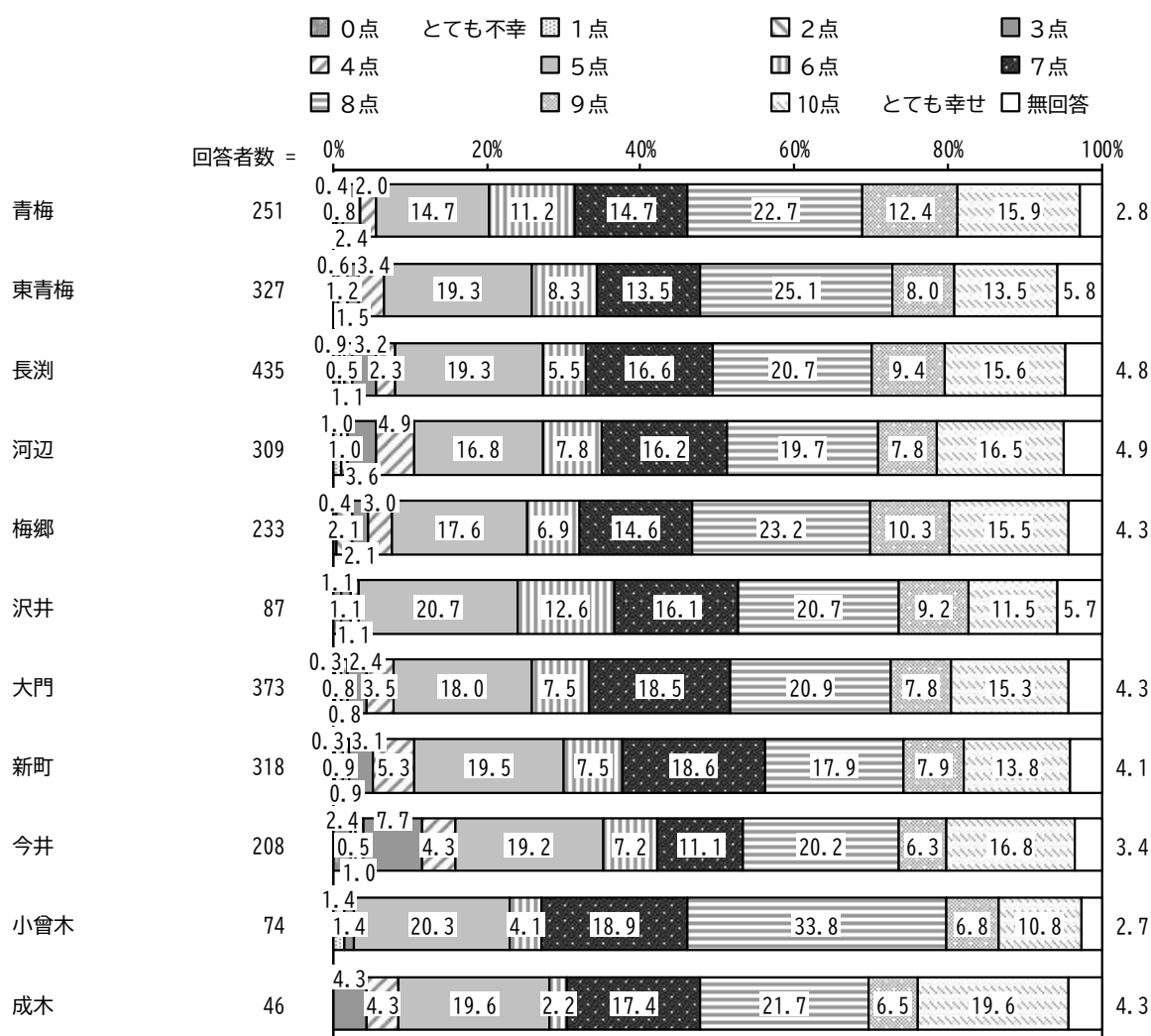
(2) あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

「8点」の割合が21.5%と最も高く、次いで「5点」の割合が18.4%、「7点」の割合が15.8%となっています。



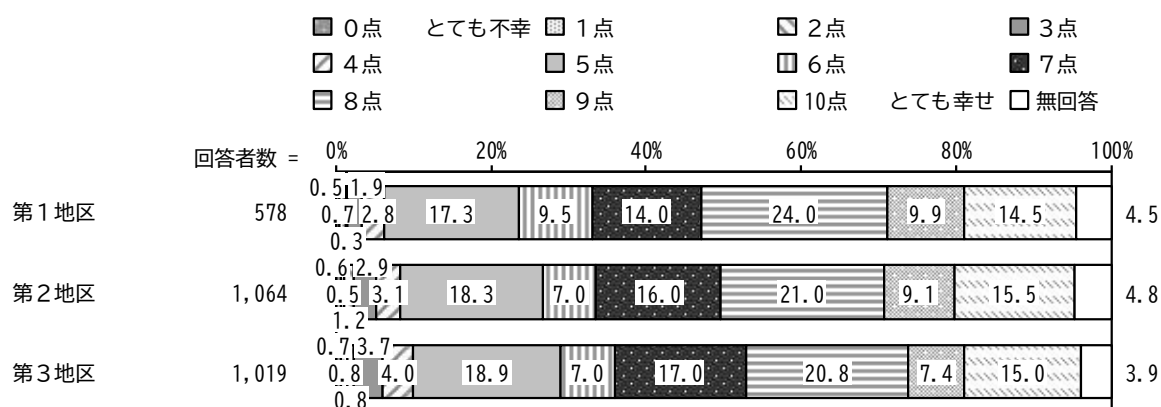
【地区別】

地区別にみると、沢井で「6点」、小曾木で「8点」の割合が高くなっています。



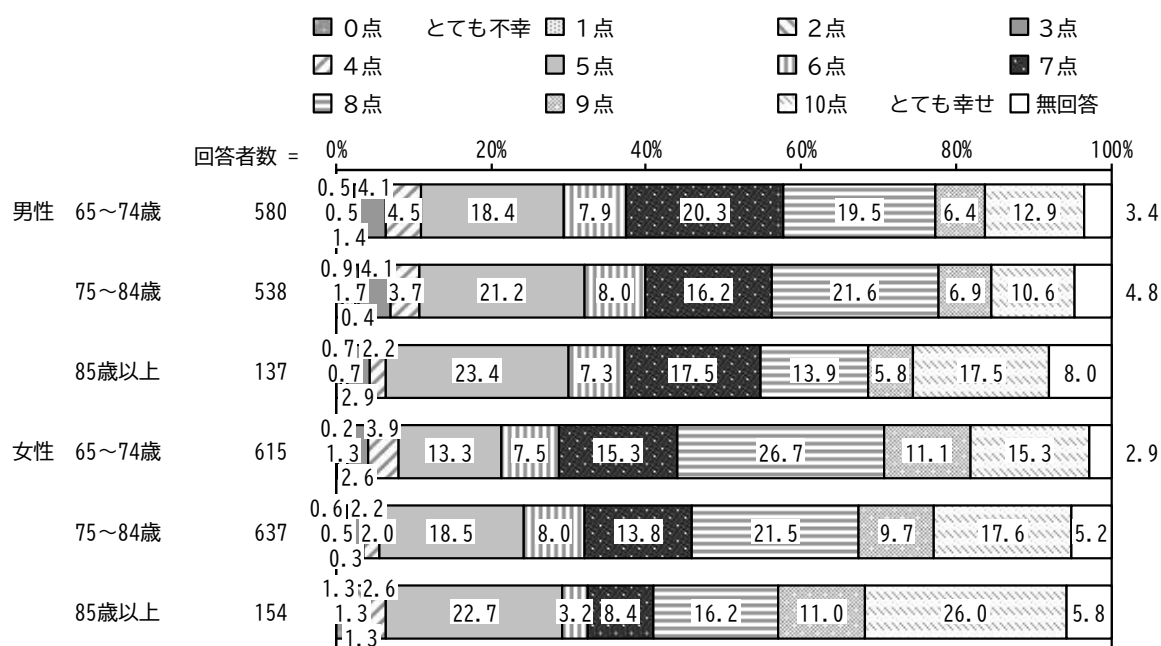
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



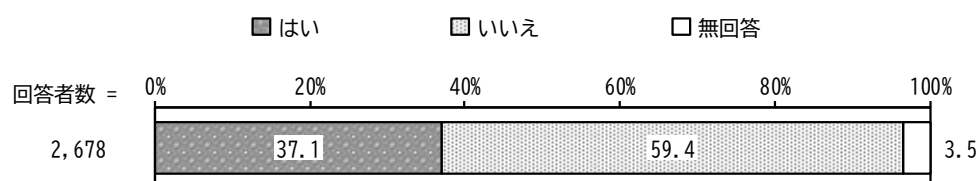
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「5点」の割合が高く、女性では「5点」「10点とても幸せ」の割合が高く、「7点」「8点」の割合が低くなっています。



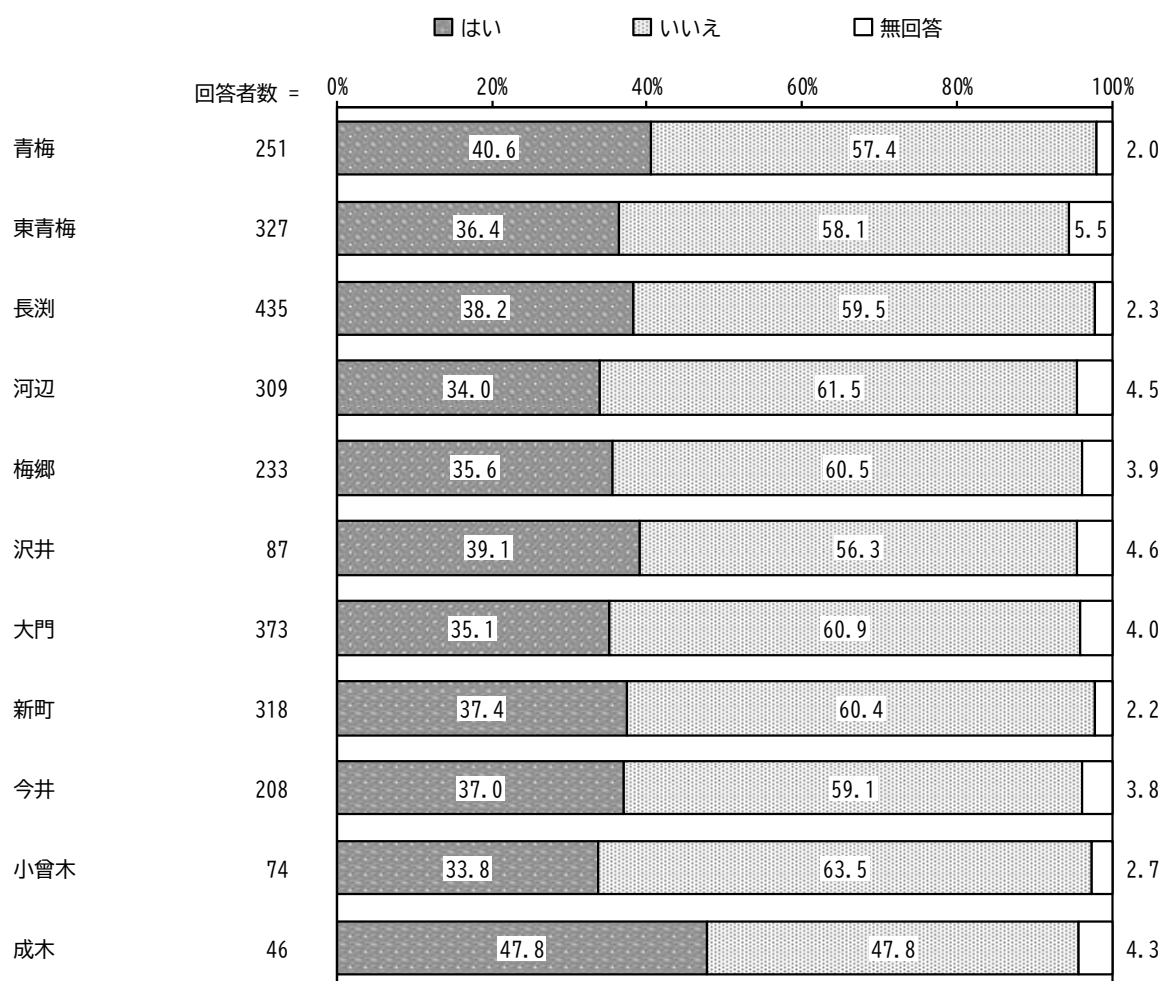
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

「はい」の割合が37.1%、「いいえ」の割合が59.4%となっています。



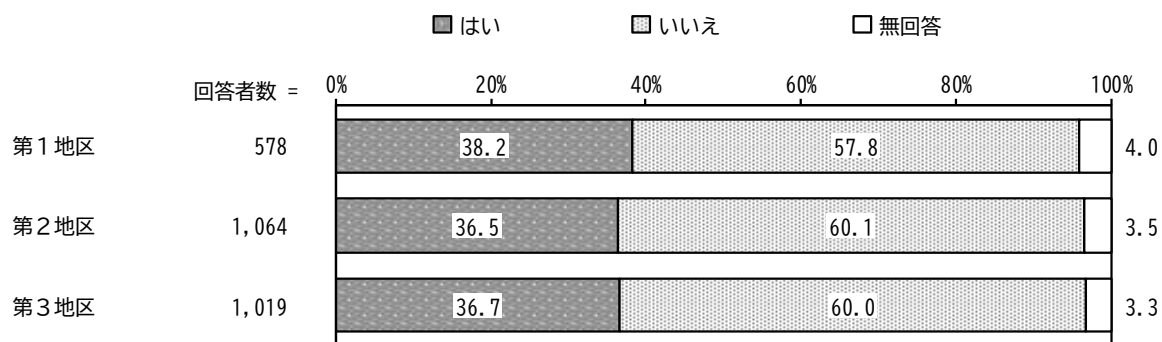
【地区別】

地区別にみると、成木で「はい」の割合が高くなっています。



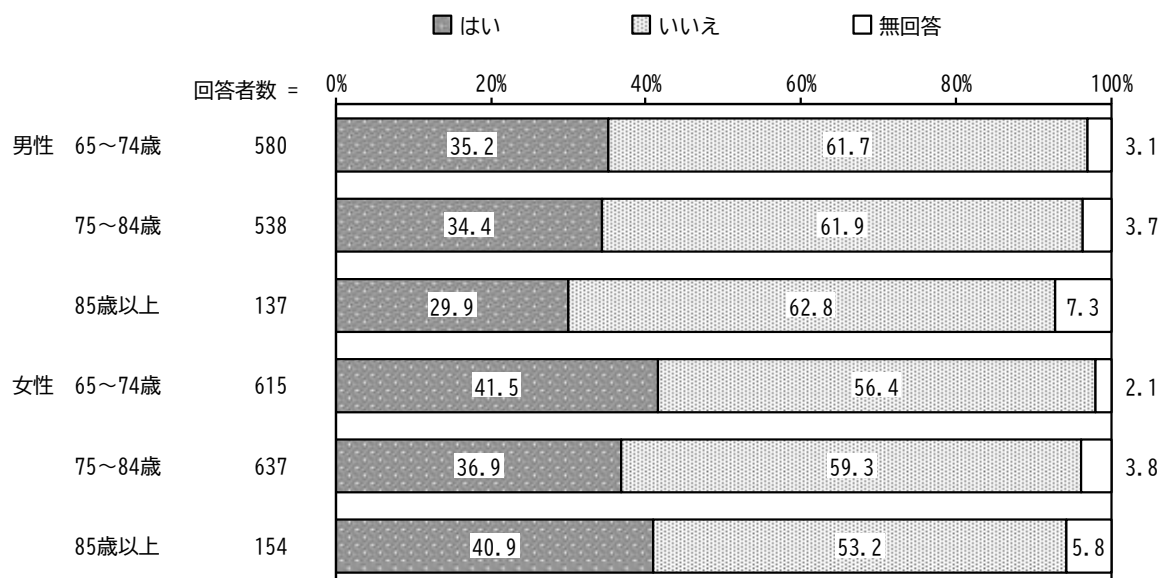
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



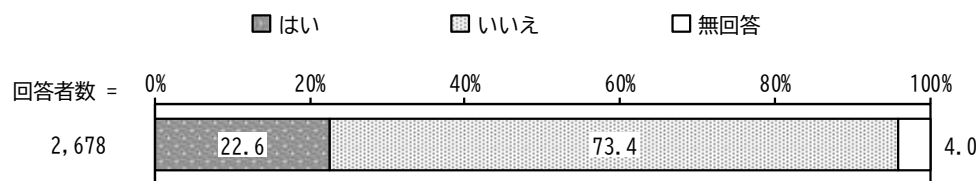
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「はい」の割合が高くなっています。



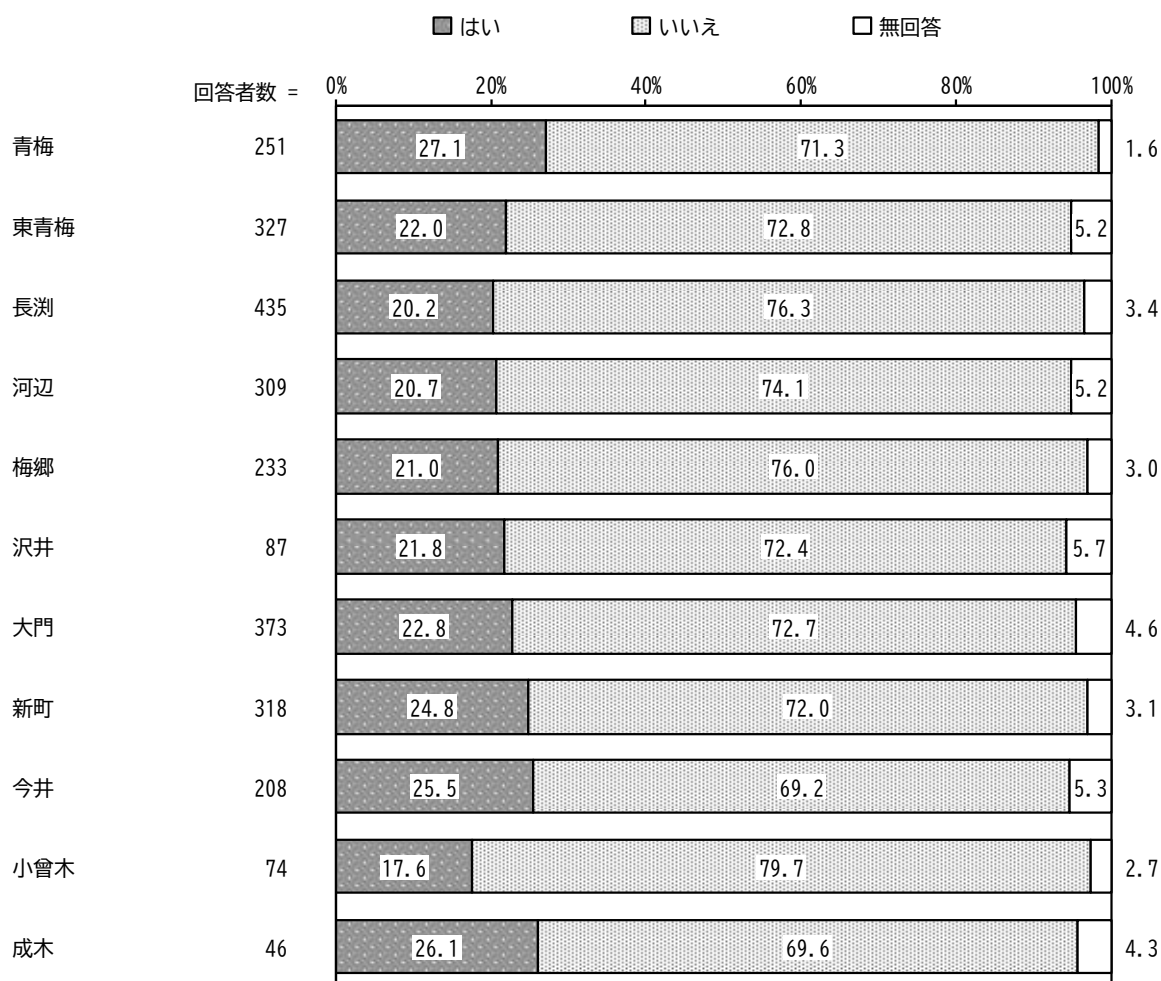
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

「はい」の割合が22.6%、「いいえ」の割合が73.4%となっています。



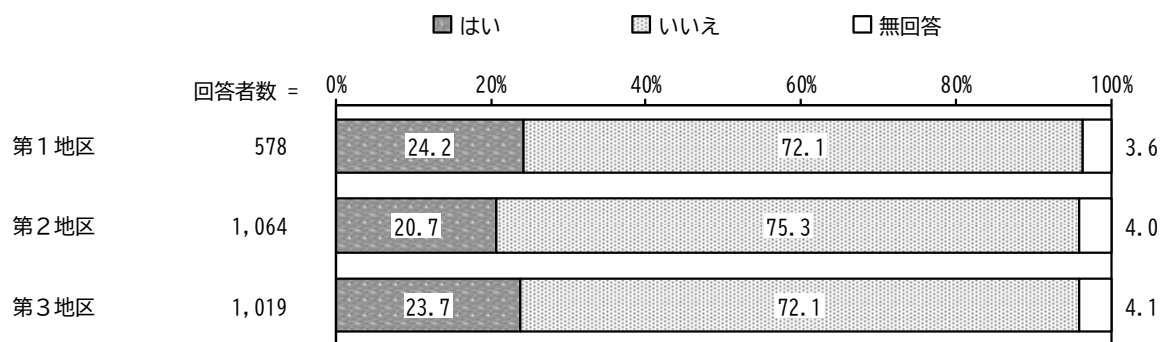
【地区別】

地区別にみると、小曾木で「いいえ」の割合が高くなっています。



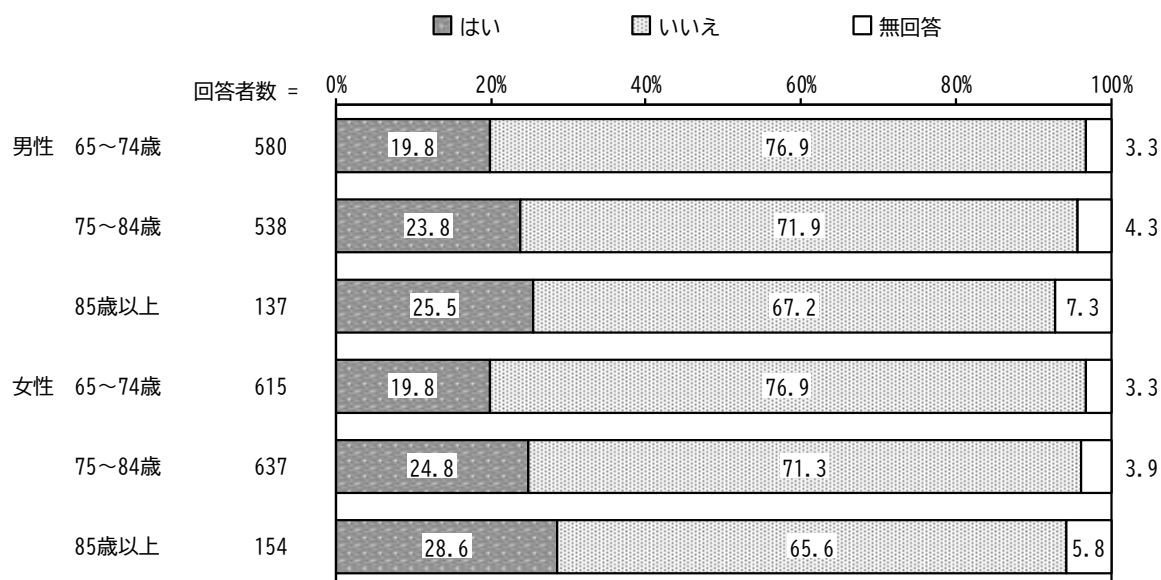
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



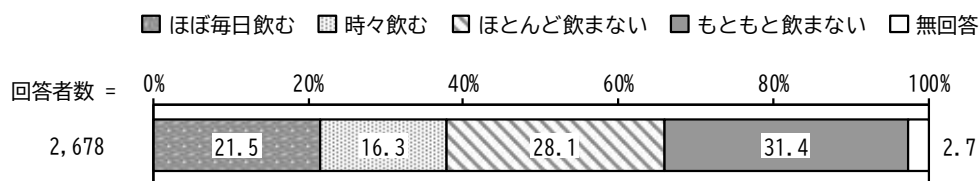
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。



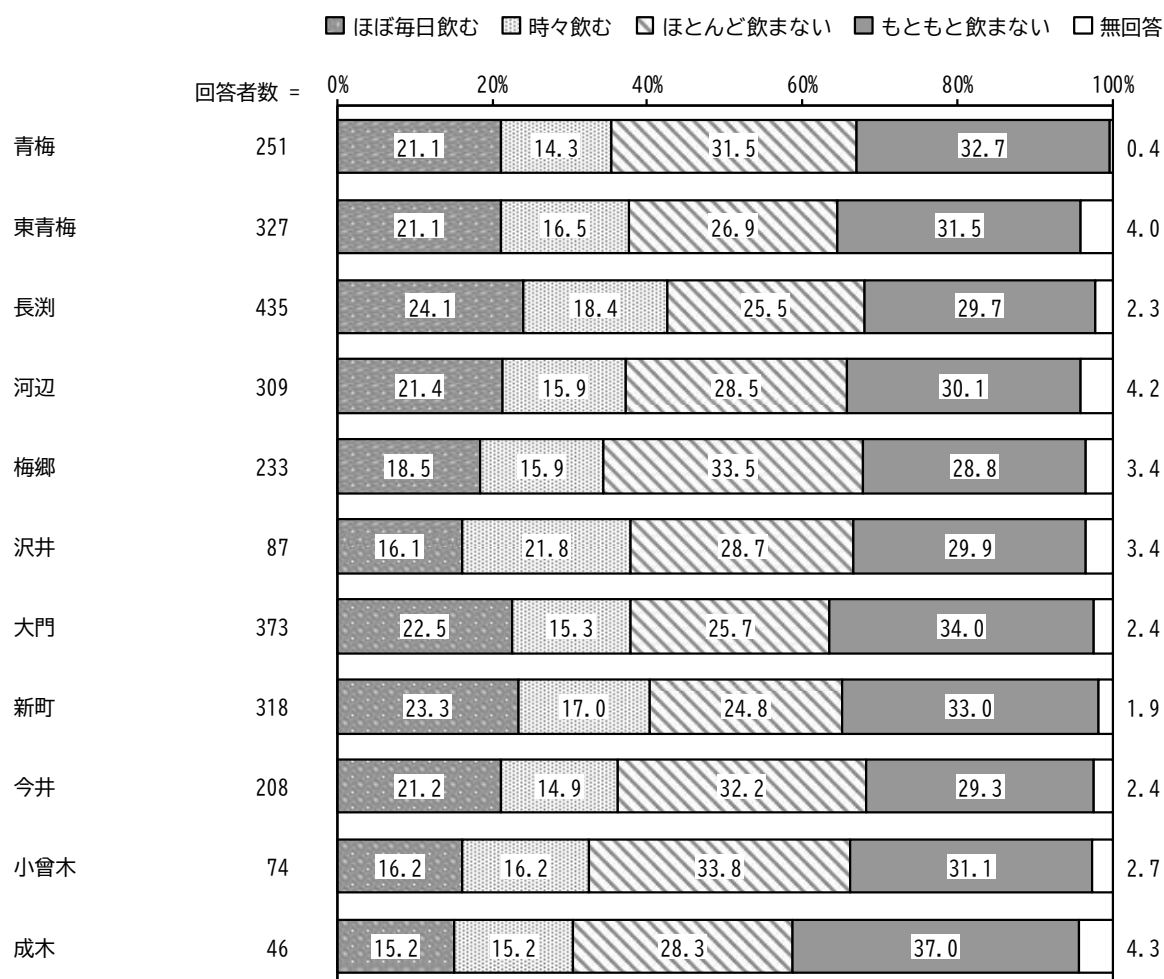
(5) お酒は飲みますか

「もともと飲まない」の割合が31.4%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」の割合が28.1%、「ほぼ毎日飲む」の割合が21.5%となっています。



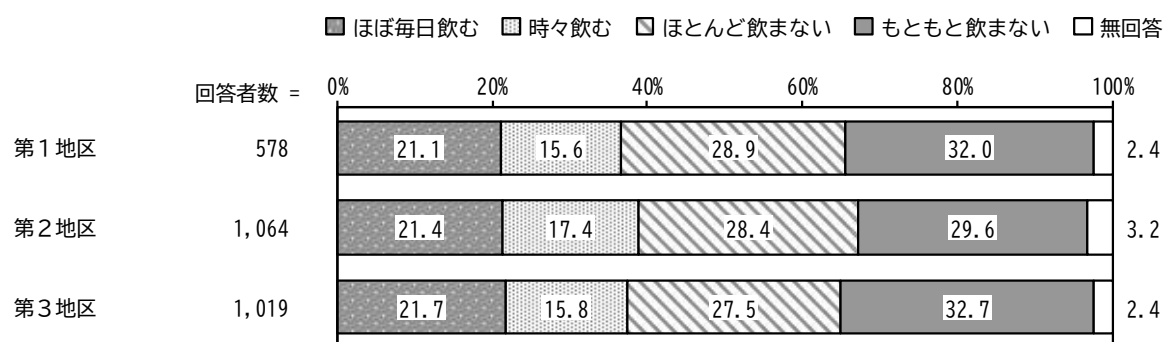
【地区別】

地区別にみると、沢井で「時々飲む」、梅郷、小曾木で「ほとんど飲まない」、成木で「もともと飲まない」の割合が高くなっています。



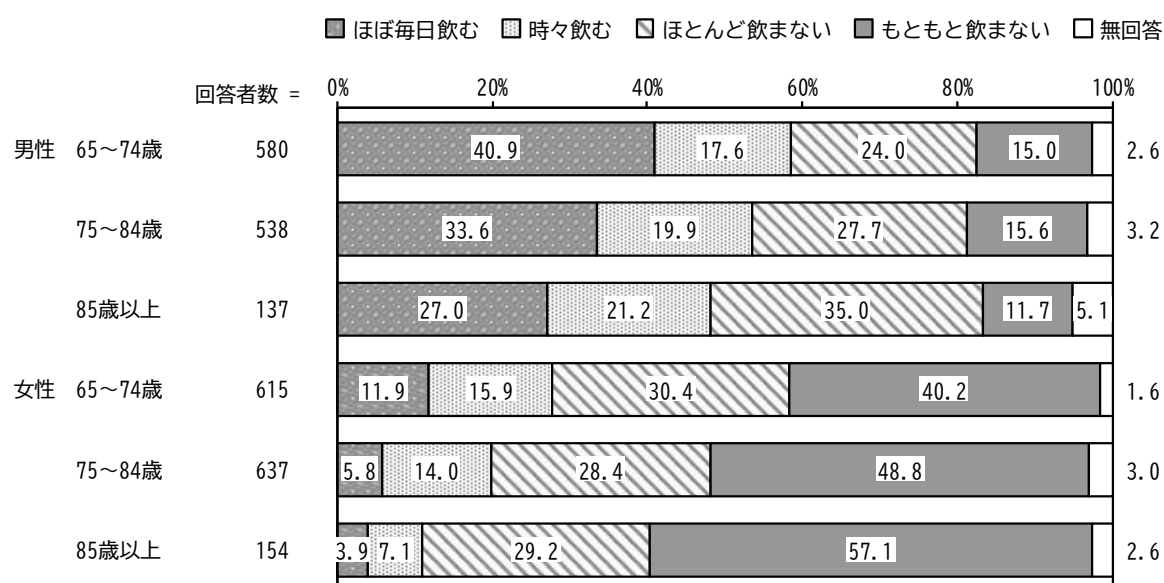
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



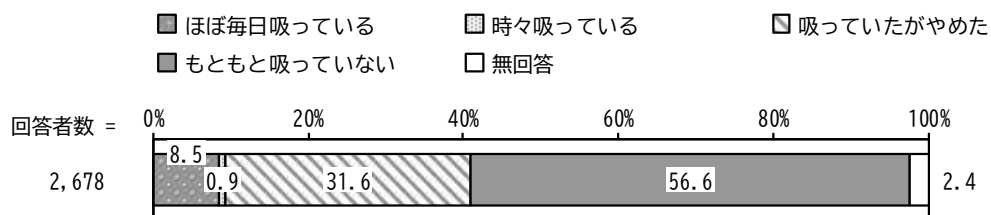
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「ほとんど飲まない」の割合が高く、「ほぼ毎日飲む」の割合が低く、女性では年齢が下がるほど「ほぼ毎日飲む」「時々飲む」の割合が高く、「もともと飲まない」の割合が低くなっています。



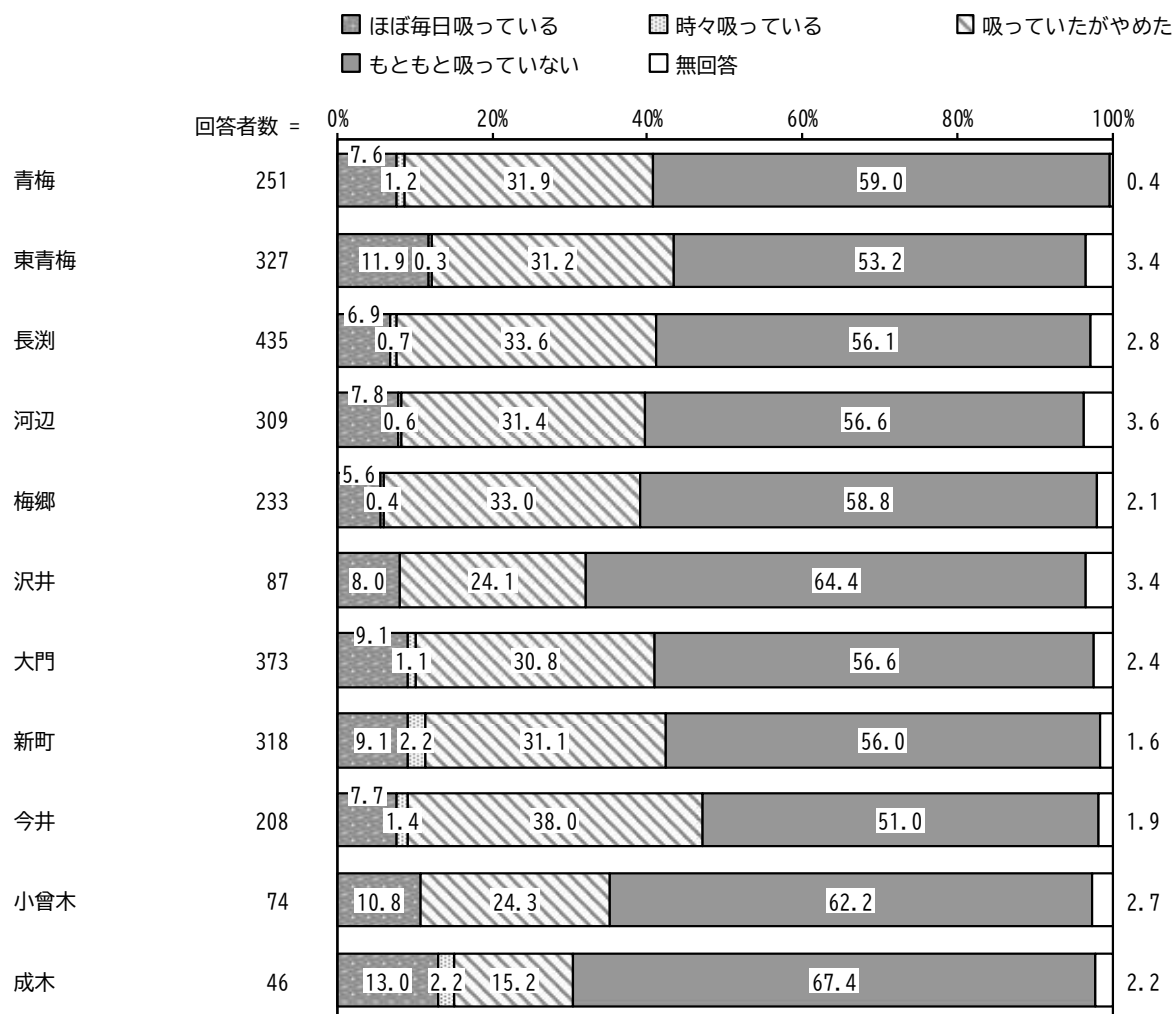
(6) タバコは吸っていますか

「もともと吸っていない」の割合が56.6%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が31.6%となっています。



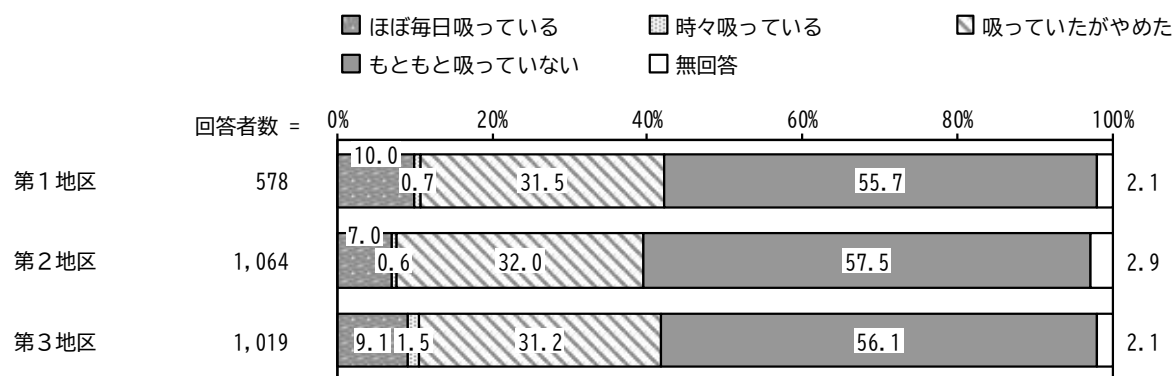
【地区別】

地区別にみると、成木で「もともと吸っていない」の割合が高く、「吸っていたがやめた」の割合が低くなっています。



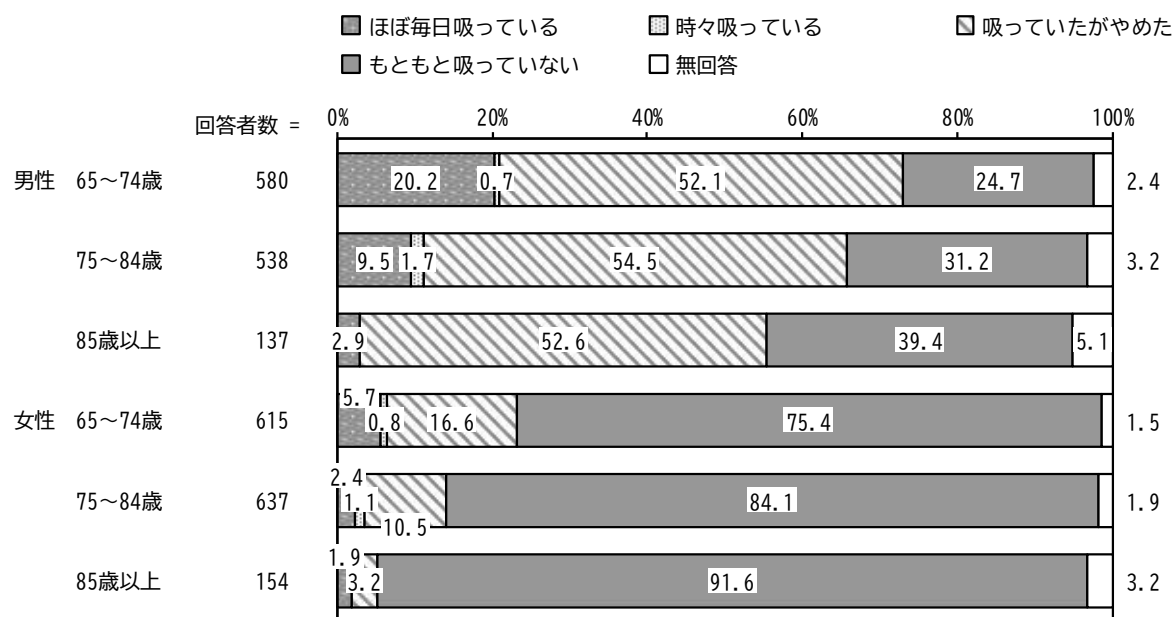
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

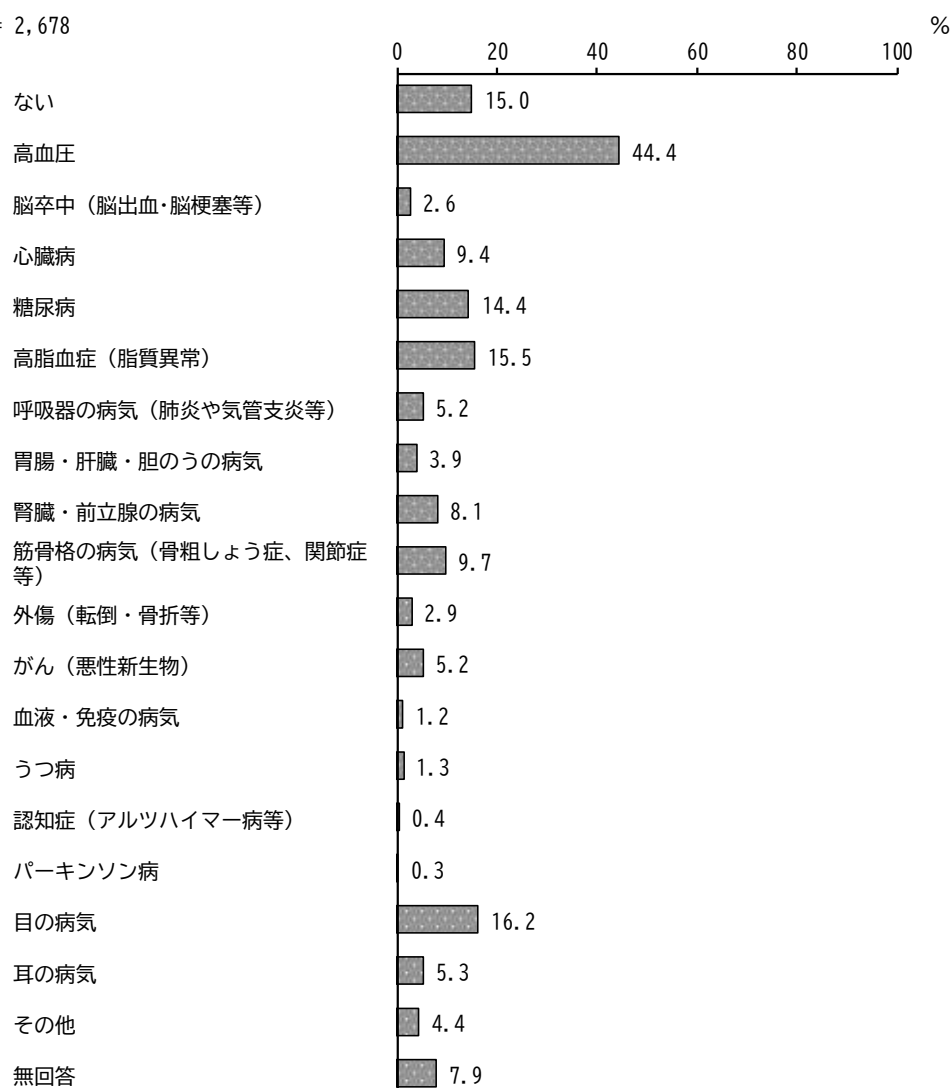
性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「もともと吸っていない」の割合が高く、男性では「ほぼ毎日吸っている」の割合が低く、女性では「吸っていたがやめた」の割合が低くなっています。



(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

「高血圧」の割合が 44.4%と最も高く、次いで「目の病気」の割合が 16.2%、「高脂血症 (脂質異常)」の割合が 15.5%となっています。

回答者数 = 2,678



【地区別】

地区別にみると、大門で「高血圧」、沢井、成木で「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳 梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異 常)	呼吸器の病気 (肺炎 や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のう の病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気(骨粗 しょう症、関節症 等)
全 体	2,678	15.0	44.4	2.6	9.4	14.4	15.5	5.2	3.9	8.1	9.7
青梅	251	12.7	37.1	5.6	13.5	16.3	15.5	5.6	5.2	6.4	10.0
東青梅	327	19.0	40.7	2.4	10.4	11.3	16.2	4.3	2.8	8.9	7.6
長湊	435	14.3	47.4	1.4	9.9	13.3	14.7	5.1	2.8	6.7	8.0
河辺	309	17.5	44.3	2.3	6.8	15.9	14.9	5.5	4.2	9.4	8.4
梅郷	233	13.7	46.4	3.9	9.9	12.9	18.5	3.9	3.4	9.4	11.2
沢井	87	11.5	44.8	3.4	6.9	16.1	16.1	8.0	3.4	9.2	14.9
大門	373	13.4	49.9	1.6	9.1	16.9	13.9	5.4	4.8	7.0	12.6
新町	318	17.3	43.4	1.9	7.2	16.0	14.8	4.7	4.4	8.5	10.7
今井	208	13.5	40.4	2.9	8.7	13.0	16.8	6.7	4.3	10.6	8.2
小曾木	74	13.5	44.6	1.4	12.2	13.5	16.2	5.4	2.7	5.4	6.8
成木	46	8.7	47.8	2.2	10.9	8.7	19.6	4.3	8.7	6.5	15.2

区分	外傷(転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイ マー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全 体	2.9	5.2	1.2	1.3	0.4	0.3	16.2	5.3	4.4	7.9
青梅	4.0	4.0	2.0	1.6	0.0	0.4	17.9	6.0	7.2	6.4
東青梅	1.5	4.3	0.9	0.9	0.9	0.0	16.5	3.4	5.2	10.1
長湊	3.2	5.1	0.7	1.1	0.9	0.0	16.8	6.0	5.3	6.9
河辺	1.3	6.5	1.3	0.6	1.3	0.0	11.7	4.9	1.9	9.1
梅郷	3.0	6.0	1.3	0.4	0.4	0.9	14.6	5.6	4.3	9.0
沢井	5.7	2.3	1.1	0.0	0.0	0.0	17.2	3.4	2.3	10.3
大門	3.2	6.7	0.8	1.9	0.0	1.1	14.5	6.4	3.5	5.1
新町	2.2	5.3	2.2	2.5	0.0	0.0	17.9	5.0	4.4	7.5
今井	4.8	3.8	1.0	1.0	0.0	0.5	20.7	5.8	3.4	11.5
小曾木	4.1	1.4	1.4	0.0	0.0	0.0	18.9	6.8	1.4	8.1
成木	0.0	6.5	0.0	2.2	0.0	0.0	17.4	6.5	4.3	4.3

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳 梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異 常)	呼吸器の病気 (肺炎 や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のう の病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気(骨粗 しょう症、関節症 等)
全 体	2,678	15.0	44.4	2.6	9.4	14.4	15.5	5.2	3.9	8.1	9.7
第1地区	578	16.3	39.1	3.8	11.8	13.5	15.9	4.8	3.8	7.8	8.7
第2地区	1,064	14.8	46.1	2.3	8.7	14.2	15.7	5.2	3.4	8.3	9.4
第3地区	1,019	14.4	45.4	2.0	8.7	15.2	15.2	5.4	4.6	8.0	10.8

区分	外傷(転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイ マー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全 体	2.9	5.2	1.2	1.3	0.4	0.3	16.2	5.3	4.4	7.9
第1地区	2.6	4.2	1.4	1.2	0.5	0.2	17.1	4.5	6.1	8.5
第2地区	2.8	5.5	1.0	0.8	0.8	0.2	14.8	5.4	3.9	8.3
第3地区	3.1	5.3	1.3	1.8	0.0	0.5	17.3	5.9	3.6	7.4

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が上がるほど「高血圧」「心臓病」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」の割合が高く、「高脂血症（脂質異常）」の割合が低くなっています。

単位：％

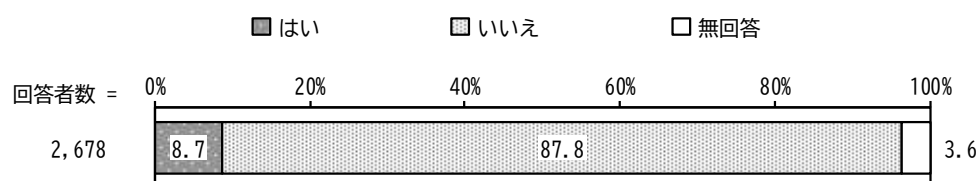
区分	回答者数 (件)	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳 梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異 常)	呼吸器の病気 (肺炎 や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆の うの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、 関節症等)
全 体	2,678	15.0	44.4	2.6	9.4	14.4	15.5	5.2	3.9	8.1	9.7
男性 65～74歳	580	17.9	44.5	1.4	7.1	15.9	14.0	6.4	3.3	10.9	3.6
75～84歳	538	9.9	52.2	4.6	15.2	17.7	10.0	5.2	3.0	17.8	5.2
85歳以上	137	10.2	50.4	5.8	17.5	16.8	8.0	5.8	5.1	24.8	6.6
女性 65～74歳	615	21.0	31.5	1.3	3.3	11.9	19.8	4.4	5.0	1.3	11.1
75～84歳	637	13.8	45.4	2.5	9.1	12.2	19.6	4.7	4.2	1.9	16.6
85歳以上	154	7.1	57.1	1.3	16.2	14.9	13.6	5.2	3.2	1.3	18.2

区分	外傷 (転倒・骨折等)	がん (悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイ マー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全 体	2.9	5.2	1.2	1.3	0.4	0.3	16.2	5.3	4.4	7.9
男性 65～74歳	0.9	4.5	1.6	1.0	0.2	0.0	12.9	3.8	6.9	7.6
75～84歳	2.0	8.4	0.9	0.7	1.1	0.7	17.8	5.6	2.8	6.9
85歳以上	4.4	4.4	1.5	0.0	0.7	0.0	21.2	13.9	3.6	8.8
女性 65～74歳	2.8	4.7	1.1	2.3	0.2	0.5	14.3	4.1	6.0	8.8
75～84歳	4.2	3.6	1.3	1.1	0.3	0.2	18.7	5.2	2.0	8.5
85歳以上	7.1	4.5	0.6	1.3	0.6	0.0	16.9	9.1	1.9	7.1

問9 認知症にかかる相談窓口の把握について

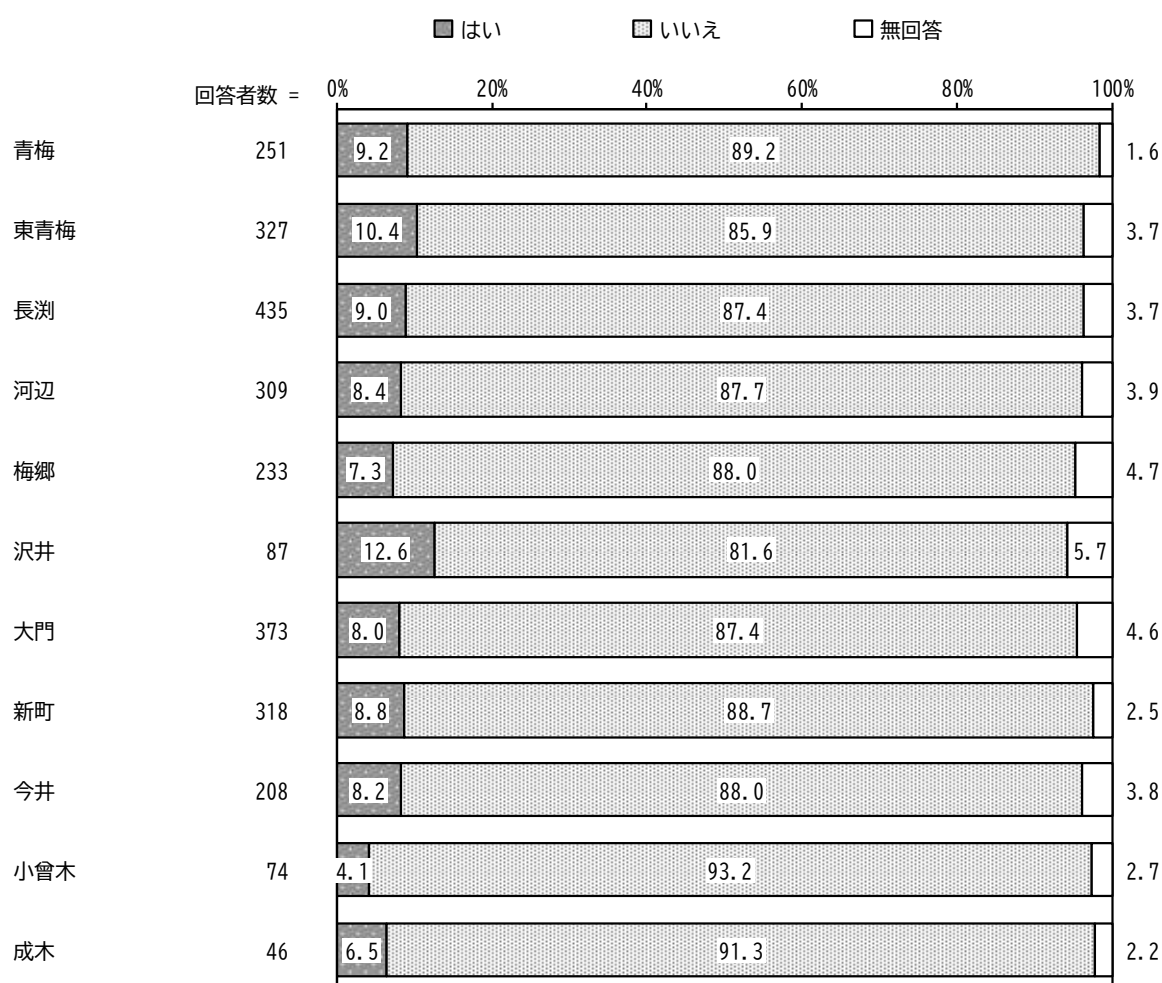
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人はいいますか

「はい」の割合が8.7%、「いいえ」の割合が87.8%となっています。



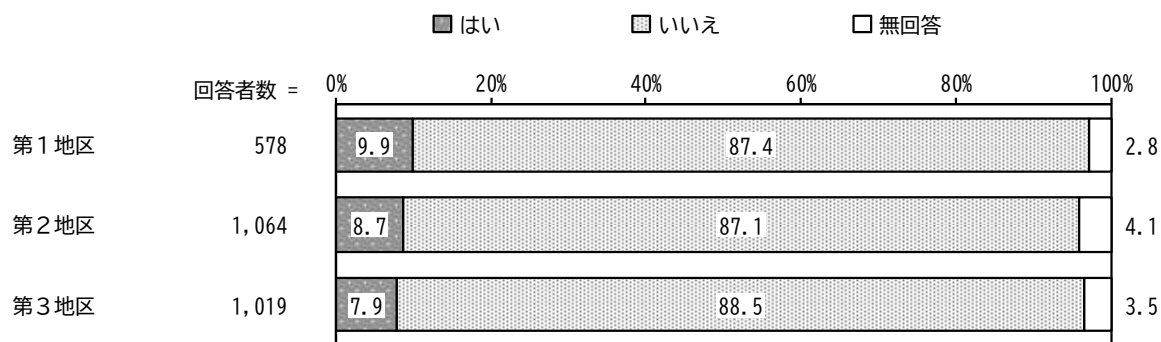
【地区別】

地区別にみると、小曾木で「いいえ」の割合が高くなっています。



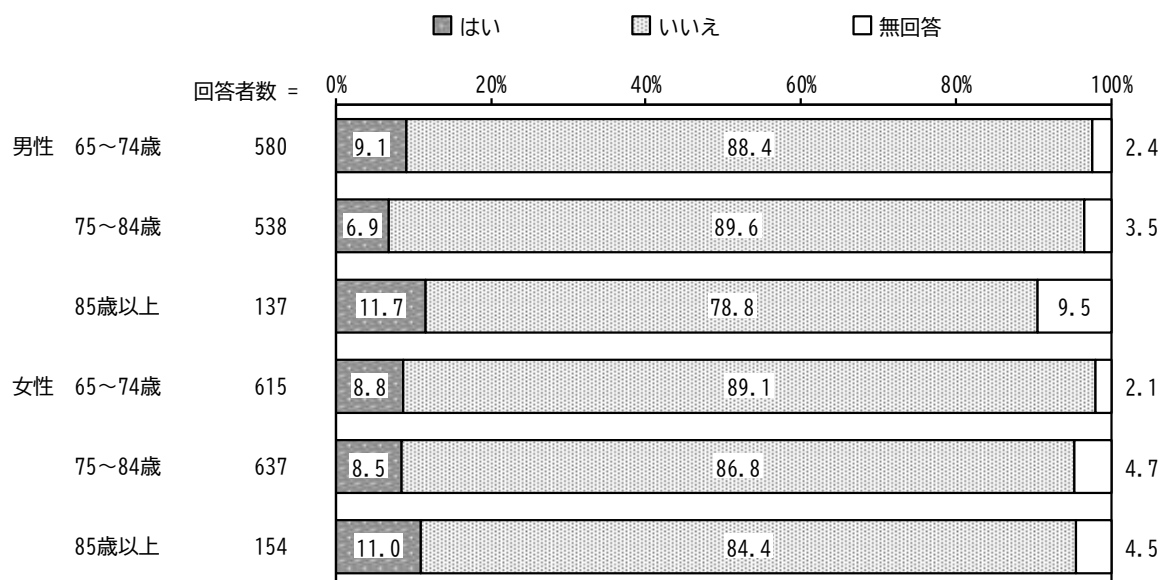
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



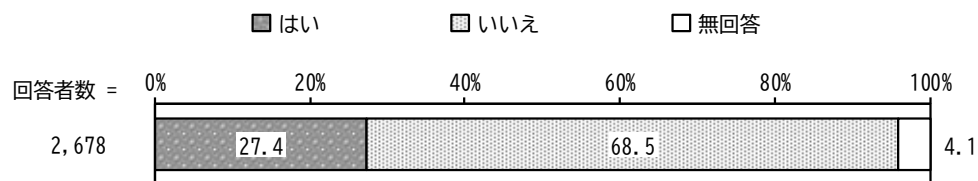
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が下がるほど「いいえ」の割合が高くなっています。



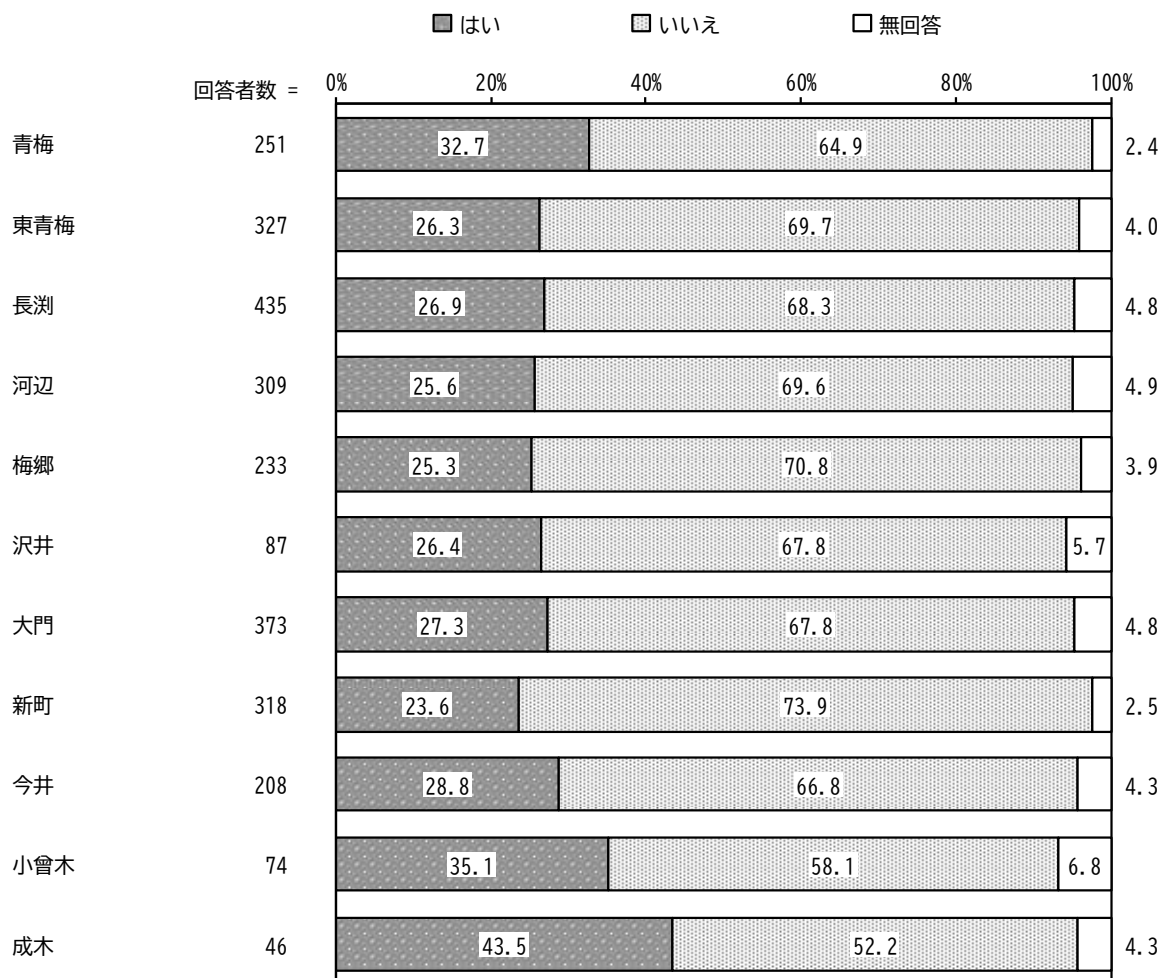
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

「はい」の割合が27.4%、「いいえ」の割合が68.5%となっています。



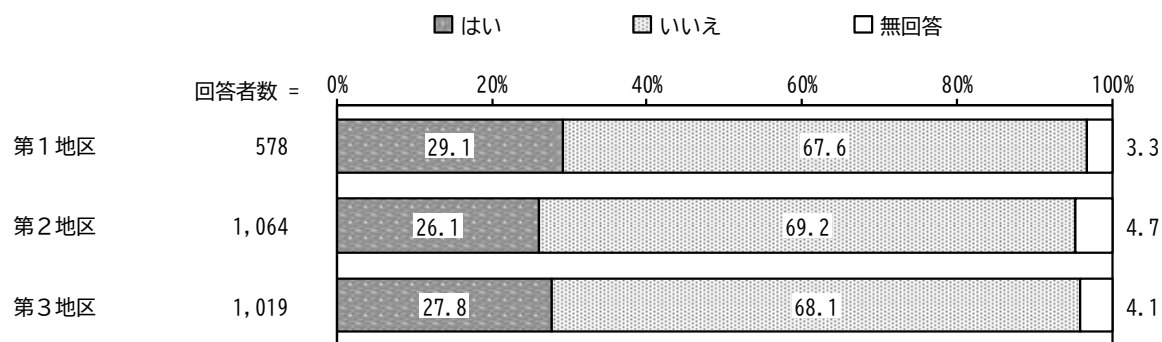
【地区別】

地区別にみると、成木で「はい」の割合が高くなっています。



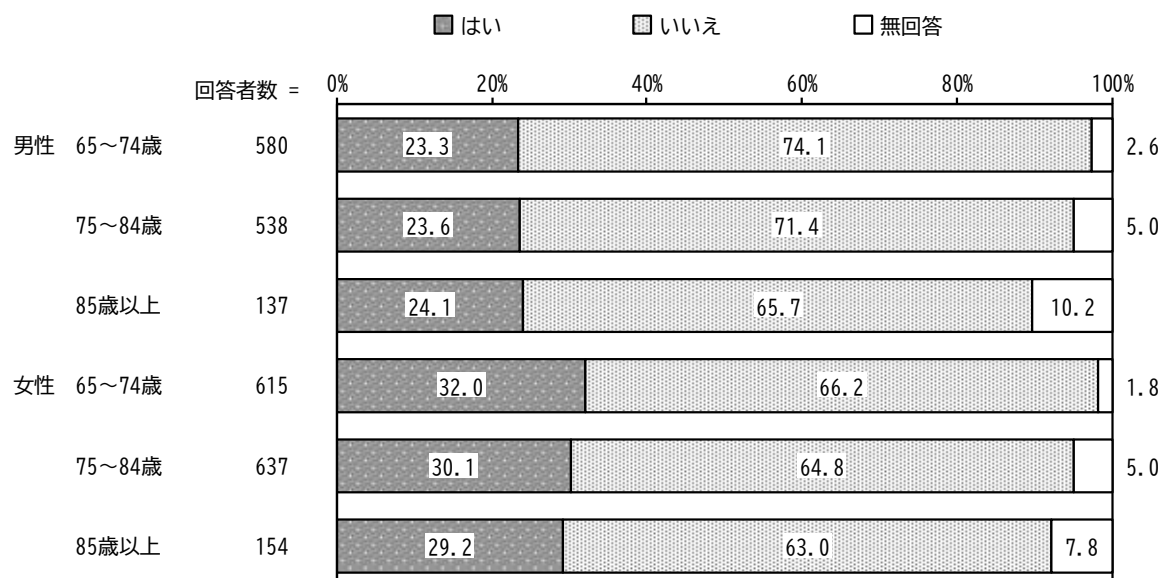
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

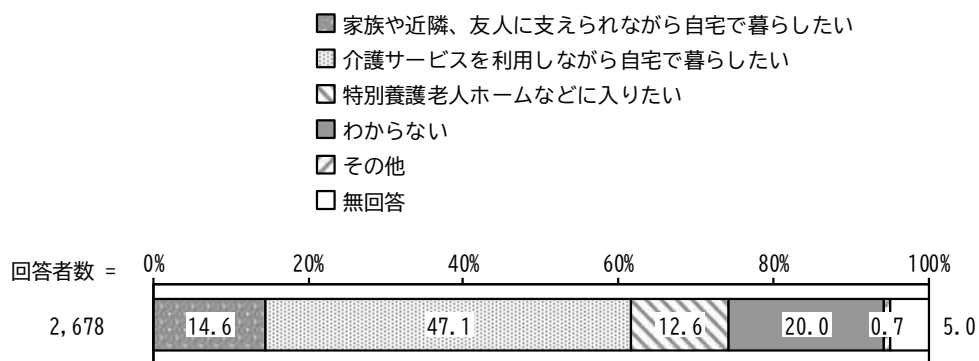
性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「いいえ」の割合が高くなっています。



問 10 介護サービスと住まい（暮らし）の意向について

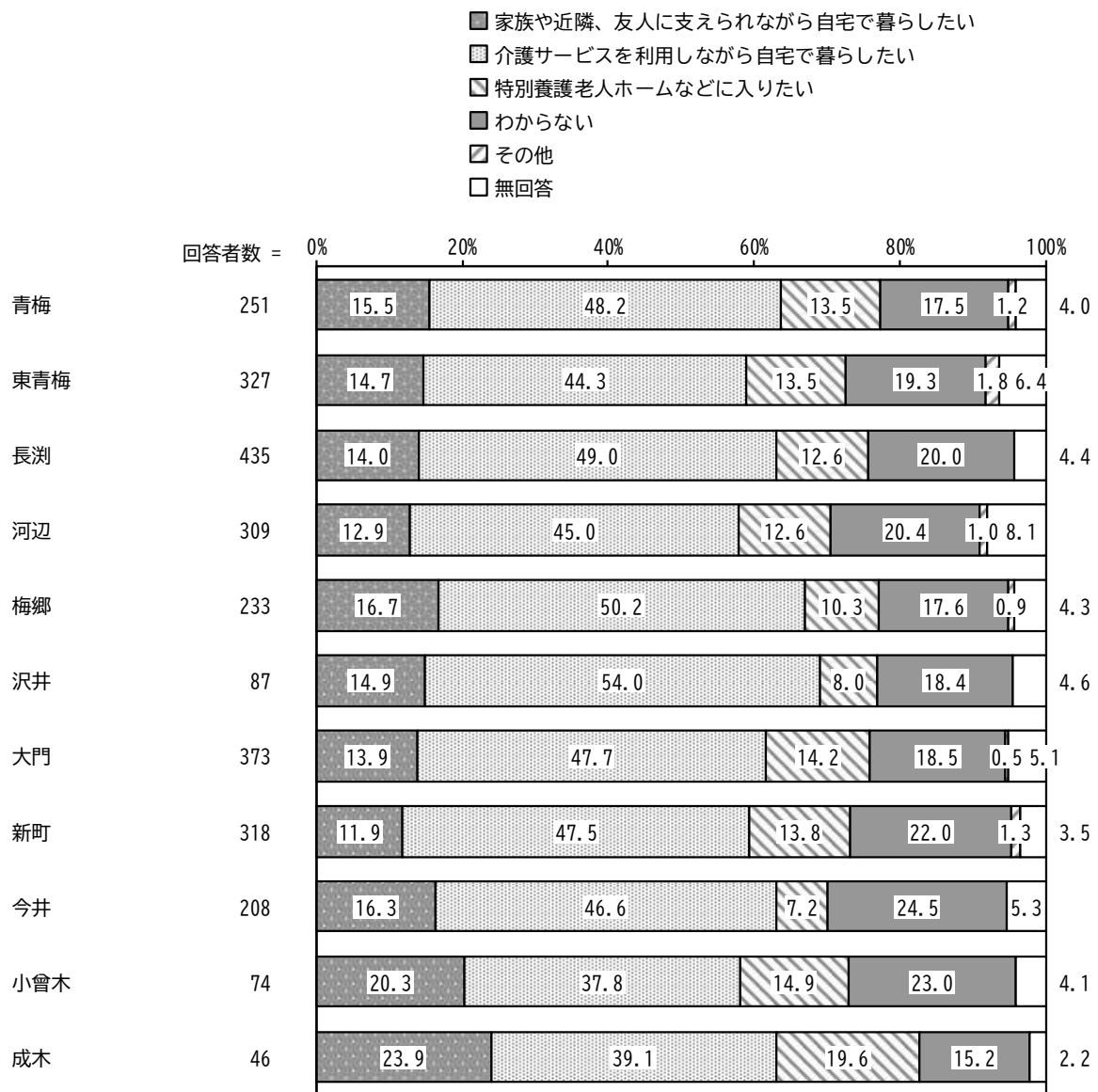
（１）ご自身が介護が必要になった場合の住まいについて、あなたはどのような希望をお持ちですか（○は１つ）

「家族や近隣、友人に支えられながら自宅で暮らしたい」の割合が 14.6%、「介護サービスを利用しながら自宅で暮らしたい」の割合が 47.1%、「特別養護老人ホームなどに入りたい」の割合が 12.6%となっています。



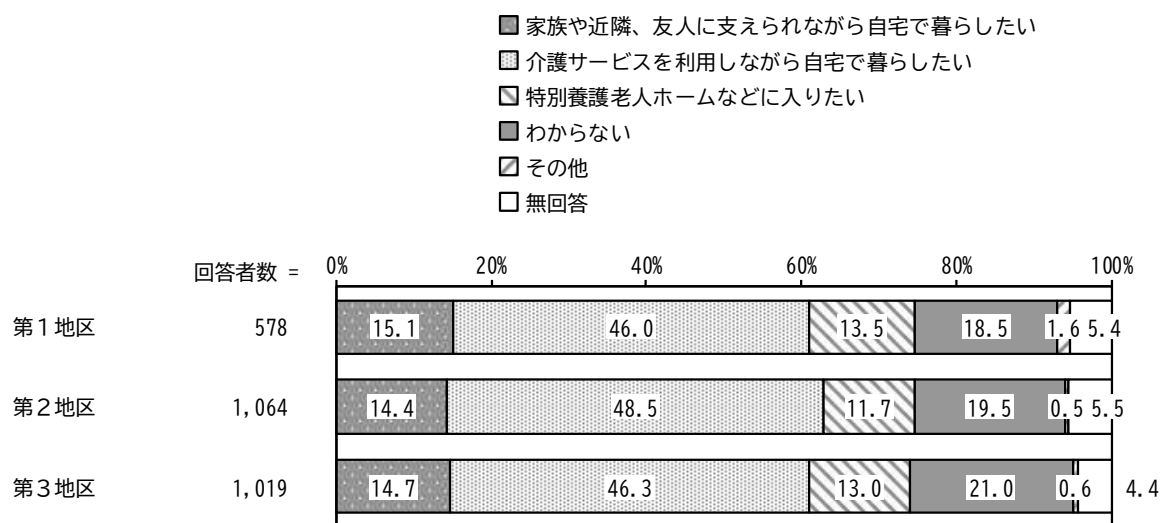
【地区別】

地区別にみると、成木で「家族や近隣、友人に支えられながら自宅で暮らしたい」「特別養護老人ホームなどに入りたい」、沢井で「介護サービスを利用しながら自宅で暮らしたい」の割合が高くなっています。



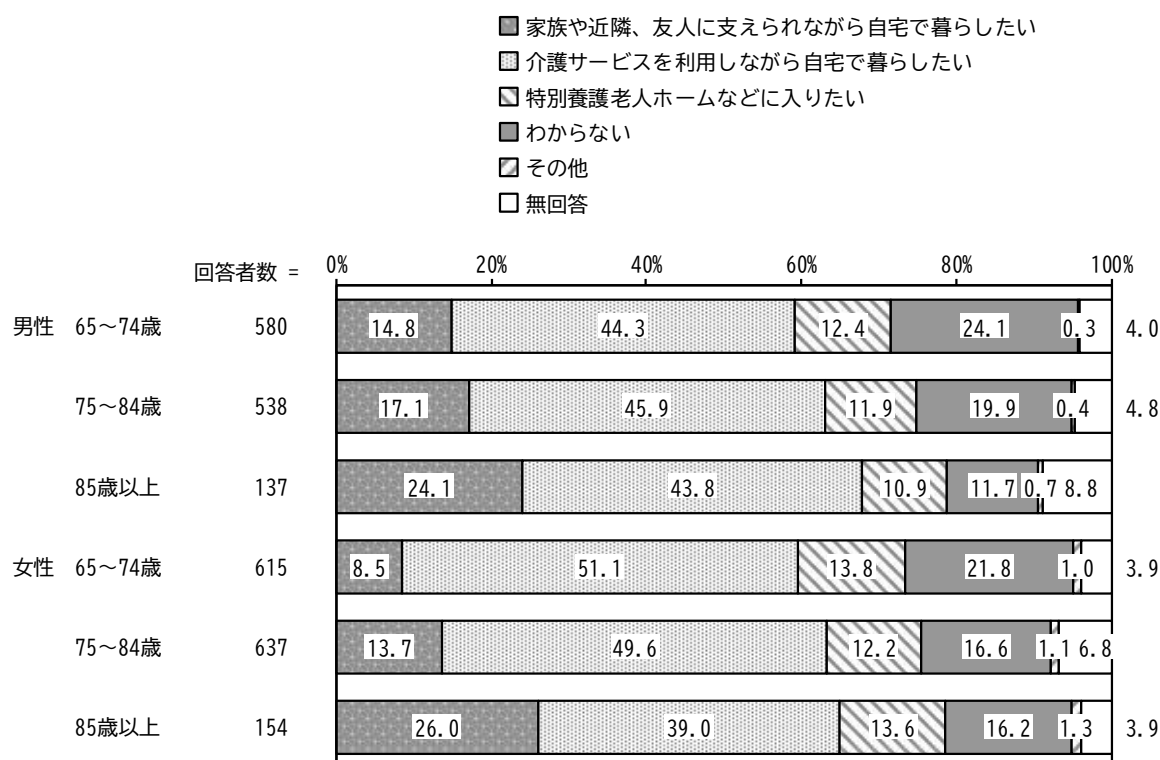
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

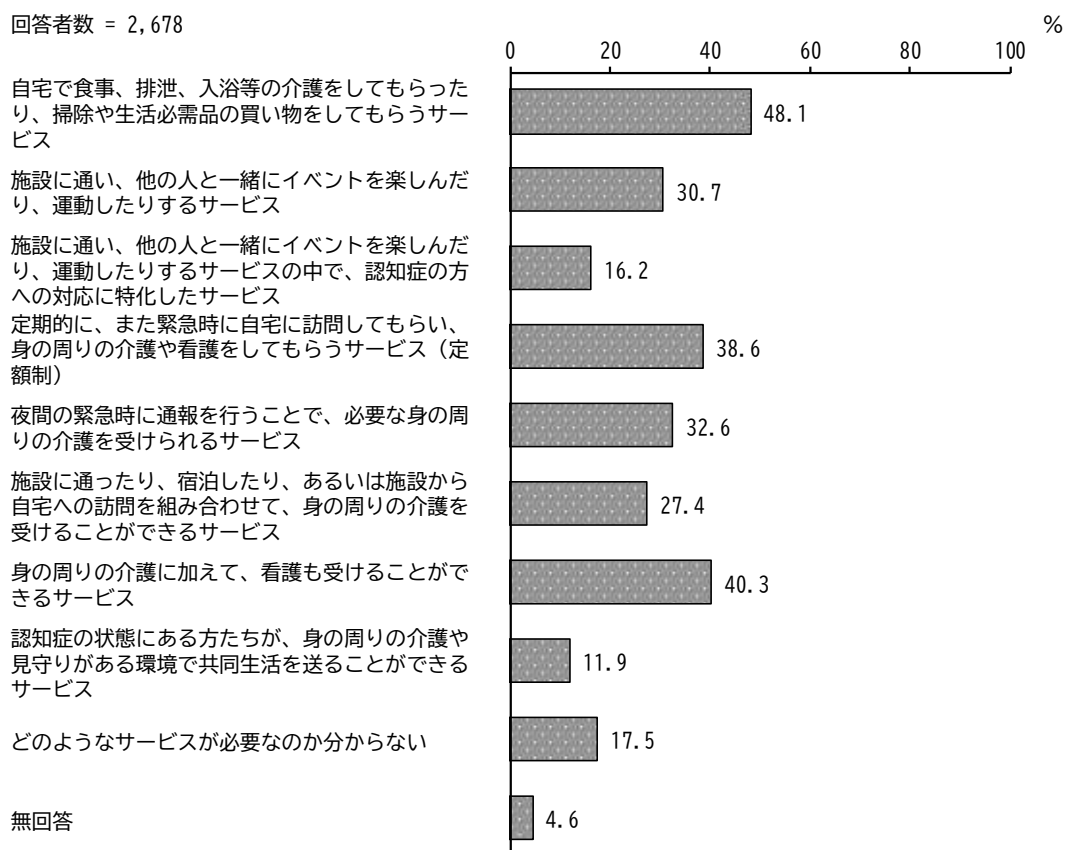
性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「家族や近隣、友人に支えられながら自宅で暮らしたい」の割合が高く、女性では「介護サービスを利用しながら自宅で暮らしたい」の割合が低くなっています。



(2) あなたは、介護を受けながら自宅で暮らしていくためには、どのような介護サービスが必要だと思いますか（あてはまるものすべてに○）

「自宅で食事、排泄、入浴等の介護をしてもらったり、掃除や生活必需品の買い物をしてもらうサービス」の割合が48.1%と最も高く、次いで「身の周りの介護に加えて、看護も受けることができるサービス」の割合が40.3%、「定期的に、また緊急時に自宅に訪問してもらい、身の周りの介護や看護をってもらうサービス（定額制）」の割合が38.6%となっています。

回答者数 = 2,678



【地区別】

地区別にみると、青梅、小曾木で「自宅で食事、排泄、入浴等の介護をしてもらったり、掃除や生活必需品の買い物をしてもらうサービス」「夜間の緊急時に通報を行うことで、必要な身の周りの介護を受けられるサービス」、成木で「施設に通い、他の人と一緒にイベントを楽しんだり、運動したりするサービス」の中で、認知症の方への対応に特化したサービス」「認知症の状態にある方たちが、身の周りの介護や見守りがある環境で共同生活を送ることができるサービス」、沢井で「定期的に、また緊急時に自宅に訪問してもらい、身の周りの介護や看護をってもらうサービス（定額制）」「施設に通ったり、宿泊したり、あるいは施設から自宅への訪問を組み合わせ、身の周りの介護を受けることができるサービス」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	自宅で食事、排泄、入浴等の介護をもらったり、掃除や生活必需品の買い物をもらうサービス	施設に通い、他の人と一緒にイベントを楽しんだり、運動したりするサービス	施設に通い、他の人と一緒にイベントを楽しんだり、運動したりするサービスの中で、認知症の方への対応に特化したサービス	定期的に、また緊急時に自宅に訪問してもらい、身の周りの介護や看護をもらうサービス（定額制）	夜間の緊急時に通報を行うことで、必要な身の周りの介護を受けられるサービス
全 体	2,678	48.1	30.7	16.2	38.6	32.6
青梅	251	55.4	27.5	15.5	41.8	37.8
東青梅	327	48.3	32.4	13.1	42.2	35.8
長渕	435	46.2	29.4	14.3	34.3	29.2
河辺	309	49.2	35.6	17.8	34.3	30.4
梅郷	233	51.1	29.6	19.3	36.9	32.2
沢井	87	49.4	35.6	17.2	44.8	34.5
大門	373	49.1	35.1	18.5	38.3	34.3
新町	318	40.6	27.0	16.0	39.9	29.9
今井	208	45.2	24.5	13.0	40.9	31.7
小曾木	74	54.1	29.7	20.3	41.9	37.8
成木	46	41.3	34.8	23.9	39.1	30.4

区分	施設に通ったり、宿泊したり、あるいは施設から自宅への訪問を組み合わせ、身の周りの介護を受けることができるサービス	身の周りの介護に加えて、看護も受けることができるサービス	認知症の状態にある方たちが、身の周りの介護や見守りがある環境で共同生活を送ることができるサービス	どのようなサービスが必要なのか分からない	無回答
全 体	27.4	40.3	11.9	17.5	4.6
青梅	27.9	44.2	12.7	17.5	3.2
東青梅	25.7	41.6	10.7	16.2	4.6
長渕	28.3	38.4	12.4	19.1	4.1
河辺	25.9	38.8	9.4	16.8	5.2
梅郷	28.8	39.9	13.3	18.9	5.2
沢井	34.5	36.8	9.2	14.9	4.6
大門	29.0	44.5	14.2	14.5	4.3
新町	24.5	41.2	9.4	17.3	4.7
今井	26.4	35.6	12.5	20.7	6.3
小曾木	25.7	35.1	9.5	21.6	1.4
成木	28.3	34.8	23.9	19.6	4.3

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数（件）	自宅で食事、排泄、入浴等の介護をもらったり、掃除や生活必需品の買い物をしてもらうサービス	施設に通い、他の人と一緒にイベントを楽しんだり、運動したりするサービス	施設に通い、他の人と一緒にイベントを楽しんだり、運動したりするサービスの中で、認知症の方への対応に特化したサービス	定期的に、また緊急時に自宅に訪問してもらい、身の周りの介護や看護をしてもらうサービス（定額制）	夜間の緊急時に通報を行うことで、必要な身の周りの介護を受けられるサービス
全 体	2,678	48.1	30.7	16.2	38.6	32.6
第1地区	578	51.4	30.3	14.2	42.0	36.7
第2地区	1,064	48.4	31.8	16.6	35.7	30.6
第3地区	1,019	45.6	30.0	17.0	39.6	32.5

区分	施設に通ったり、宿泊したり、あるいは施設から自宅への訪問を組み合わせて、身の周りの介護を受けることができるサービス	身の周りの介護に加えて、看護も受けることができるサービス	認知症の状態にある方たちが、身の周りの介護や見守りがある環境で共同生活を送ることができるサービス	どのようなサービスが必要なのか分からない	無回答
全 体	27.4	40.3	11.9	17.5	4.6
第1地区	26.6	42.7	11.6	16.8	4.0
第2地区	28.2	38.7	11.5	18.0	4.7
第3地区	26.8	40.5	12.5	17.4	4.6

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が下がるほど、男性では「定期的に、また緊急時に自宅に訪問してもらい、身の周りの介護や看護をしてもらうサービス（定額制）」の割合が高く、女性では「施設に通い、他の人と一緒にイベントを楽しんだり、運動したりするサービスの中で、認知症の方への対応に特化したサービス」「定期的に、また緊急時に自宅に訪問してもらい、身の周りの介護や看護をしてもらうサービス（定額制）」「施設に通ったり、宿泊したり、あるいは施設から自宅への訪問を組み合わせ、身の周りの介護を受けることができるサービス」「認知症の状態にある方たちが、身の周りの介護や見守りがある環境で共同生活を送ることができるサービス」の割合が高くなっています。

単位：％

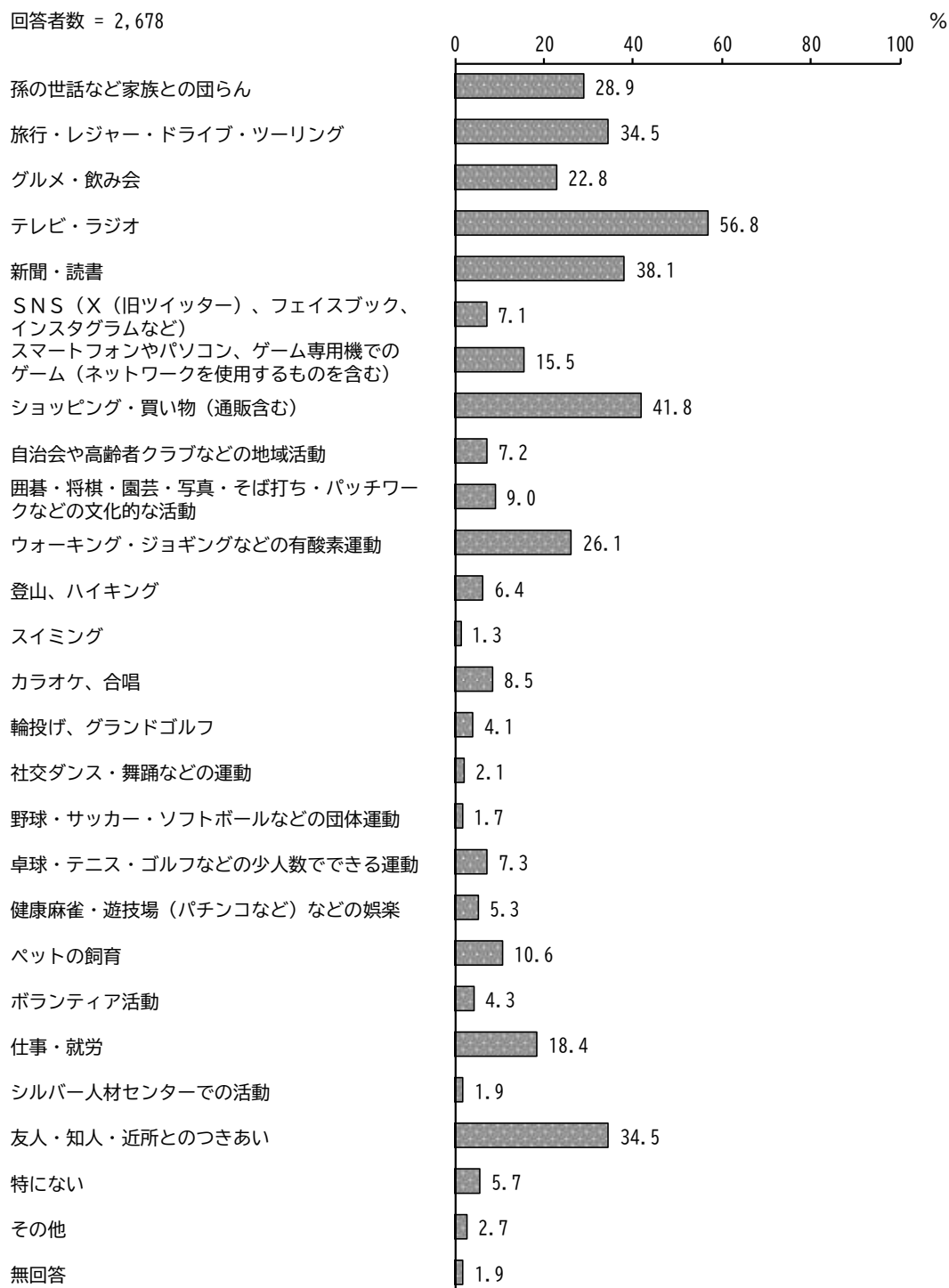
区分	回答者数（件）	自宅で食事、排泄、入浴等の介護をしてもらったり、掃除や生活必需品の買い物をしてもらうサービス	施設に通い、他の人と一緒にイベントを楽しんだり、運動したりするサービス	施設に通い、他の人と一緒にイベントを楽しんだり、運動したりするサービスの中で、認知症の方への対応に特化したサービス	定期的に、また緊急時に自宅に訪問してもらい、身の周りの介護や看護をしてもらうサービス（定額制）	夜間の緊急時に通報を行うことで、必要な身の周りの介護を受けられるサービス
全 体	2,678	48.1	30.7	16.2	38.6	32.6
男性 65～74歳	580	50.3	26.6	12.8	38.4	30.2
75～84歳	538	45.4	25.8	12.1	35.3	29.4
85歳以上	137	46.0	24.8	11.7	34.3	29.9
女性 65～74歳	615	53.3	40.5	26.0	43.7	40.0
75～84歳	637	42.9	30.6	15.2	38.0	31.2
85歳以上	154	50.0	31.2	13.0	36.4	32.5

区分	施設に通ったり、宿泊したり、あるいは施設から自宅への訪問を組み合わせ、身の周りの介護を受けることができるサービス	身の周りの介護に加えて、看護も受けることができるサービス	認知症の状態にある方たちが、身の周りの介護や見守りがある環境で共同生活を送ることができるサービス	どのようなサービスが必要なのか分からない	無回答
全 体	27.4	40.3	11.9	17.5	4.6
男性 65～74歳	23.3	37.1	10.5	21.9	2.9
75～84歳	22.5	34.0	9.5	22.1	2.8
85歳以上	26.3	38.0	6.6	10.2	8.8
女性 65～74歳	38.2	48.5	18.4	15.1	2.4
75～84歳	25.7	40.3	10.7	14.3	7.4
85歳以上	23.4	43.5	9.1	14.3	9.1

問 11 生きがいや充実感、週 1 回以上の活動状況について

(1) あなたは、現在、どのようなことに充実感や生きがいを感じていますか（あてはまるものすべてに○）

「テレビ・ラジオ」の割合が 56.8%と最も高く、次いで「ショッピング・買い物（通販含む）」の割合が 41.8%、「新聞・読書」の割合が 38.1%となっています。



【地区別】

地区別にみると、成木で「孫の世話など家族との団らん」「ショッピング・買い物（通販含む）」、沢井で「新聞・読書」、小曾木で「自治会や高齢者クラブなどの地域活動」「友人・知人・近所とのつきあい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	孫の世話など家族との 団らん	旅行・レジャー・ドライ ブ・ツーリング	グルメ・飲み会	テレビ・ラジオ	新聞・読書	SNS(X(旧ツイッタ ー)、フェイスブック、 インスタグラムなど)
全 体	2,678	28.9	34.5	22.8	56.8	38.1	7.1
青梅	251	29.9	34.7	23.9	55.0	43.0	6.4
東青梅	327	29.1	32.1	20.2	57.2	38.8	7.6
長淵	435	26.2	34.9	24.6	51.7	35.4	7.8
河辺	309	23.3	33.7	23.0	55.0	38.5	6.8
梅郷	233	27.9	34.3	24.0	57.1	35.6	6.9
沢井	87	39.1	32.2	16.1	55.2	48.3	6.9
大門	373	30.8	35.9	25.2	64.9	40.8	8.8
新町	318	31.1	38.1	19.5	56.9	37.4	6.9
今井	208	28.4	35.6	26.0	57.2	34.1	4.3
小曾木	74	31.1	28.4	20.3	55.4	29.7	1.4
成木	46	45.7	34.8	10.9	58.7	37.0	6.5

区分	スマートフォンやパソ コン、ゲーム専用機での ゲーム(ネットワークを 使用するものを含む)	ショッピング・買い物 (通販含む)	自治会や高齢者クラブ などの地域活動	囲碁・将棋・園芸・写真・ そば打ち・パッチワーク などの文化的な活動	ウォーキング・ジョギン グなどの有酸素運動	登山、ハイキング	スイミング
全 体	15.5	41.8	7.2	9.0	26.1	6.4	1.3
青梅	16.3	38.2	8.8	8.4	23.5	8.8	1.2
東青梅	14.1	38.8	8.3	11.6	25.7	5.8	1.5
長淵	15.2	41.4	5.3	7.8	23.7	6.0	2.3
河辺	18.1	44.7	7.8	7.8	26.9	5.8	0.6
梅郷	13.7	40.3	9.9	8.6	26.6	7.3	0.4
沢井	8.0	40.2	11.5	8.0	24.1	8.0	1.1
大門	16.9	47.2	7.0	11.3	30.6	4.3	1.1
新町	16.7	39.9	2.8	8.2	27.4	6.6	1.9
今井	15.4	41.3	6.3	9.1	24.0	8.2	1.0
小曾木	13.5	35.1	17.6	8.1	24.3	6.8	0.0
成木	10.9	54.3	2.2	8.7	21.7	4.3	2.2

単位：％

区分	カラオケ、合唱	輪投げ、グランドゴルフ	社交ダンス・舞踊などの運動	野球・サッカー・ソフトボールなどの団体運動	卓球・テニス・ゴルフなどの少人数でできる運動	健康麻雀・遊技場（パチンコなど）などの娯楽	ペットの飼育
全 体	8.5	4.1	2.1	1.7	7.3	5.3	10.6
青梅	9.6	4.4	2.4	1.2	7.2	4.4	11.2
東青梅	7.3	5.8	2.4	2.1	9.5	8.3	10.1
長淵	11.7	1.6	2.8	2.3	7.4	5.1	11.3
河辺	11.0	6.5	1.6	0.3	7.4	5.8	10.4
梅郷	8.6	3.4	3.4	1.3	8.2	7.7	15.5
沢井	5.7	8.0	2.3	1.1	2.3	1.1	10.3
大門	8.3	5.4	3.5	2.4	6.7	4.0	10.7
新町	5.3	2.5	0.3	1.3	9.7	5.7	7.9
今井	5.8	3.8	0.0	2.9	4.8	3.8	9.1
小曾木	6.8	2.7	0.0	1.4	5.4	0.0	13.5
成木	6.5	2.2	0.0	0.0	2.2	4.3	4.3

区分	ボランティア活動	仕事・就労	シルバー人材センターでの活動	友人・知人・近所とのつきあい	特にない	その他	無回答
全 体	4.3	18.4	1.9	34.5	5.7	2.7	1.9
青梅	4.0	19.9	1.6	33.5	3.6	3.2	1.6
東青梅	3.4	17.4	1.8	34.6	6.1	3.4	1.5
長淵	5.1	16.8	1.6	32.9	6.9	2.5	2.5
河辺	3.9	24.9	2.9	31.1	6.5	2.3	1.3
梅郷	3.4	16.7	2.1	39.1	5.2	3.9	3.0
沢井	5.7	14.9	2.3	35.6	5.7	2.3	2.3
大門	3.8	20.1	1.3	39.7	3.8	1.9	0.8
新町	5.3	18.2	1.9	27.0	6.6	4.1	2.8
今井	3.8	13.9	1.9	35.1	7.7	1.9	1.9
小曾木	8.1	14.9	4.1	45.9	6.8	0.0	1.4
成木	4.3	21.7	0.0	41.3	2.2	0.0	2.2

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	孫の世話など家族との 団らん	旅行・レジャー・ドライ ブ・ツーリング	グルメ・飲み会	テレビ・ラジオ	新聞・読書	SNS(X(旧ツイッタ ー)、フェイスブック、 インスタグラムなど)
全 体	2,678	28.9	34.5	22.8	56.8	38.1	7.1
第1地区	578	29.4	33.2	21.8	56.2	40.7	7.1
第2地区	1,064	26.8	34.2	23.3	54.1	37.4	7.2
第3地区	1,019	31.1	35.9	22.6	59.9	37.4	6.7

区分	スマートフォンやパソ コン、ゲーム専用機での ゲーム(ネットワークを 使用するものを含む)	ショッピング・買い物 (通販含む)	自治会や高齢者クラブ などの地域活動	囲碁・将棋・園芸・写真・ そば打ち・パッチワーク などの文化的な活動	ウォーキング・ジョギン グなどの有酸素運動	登山、ハイキング	スイミング
全 体	15.5	41.8	7.2	9.0	26.1	6.4	1.3
第1地区	15.1	38.6	8.5	10.2	24.7	7.1	1.4
第2地区	15.1	42.0	7.5	8.0	25.3	6.4	1.3
第3地区	16.0	43.2	6.1	9.5	27.4	6.0	1.3

区分	カラオケ、合唱	輪投げ、グラウンドゴルフ	社交ダンス・舞踊などの 運動	野球・サッカー・ソフト ボールなどの団体運動	卓球・テニス・ゴルフな どの少人数でできる運 動	健康麻雀・遊技場(パチ ンコなど)などの娯楽	ペットの飼育
全 体	8.5	4.1	2.1	1.7	7.3	5.3	10.6
第1地区	8.3	5.2	2.4	1.7	8.5	6.6	10.6
第2地区	10.3	3.9	2.5	1.4	7.1	5.5	11.8
第3地区	6.7	3.8	1.4	2.0	7.0	4.2	9.4

区分	ボランティア活動	仕事・就労	シルバー人材センタ ーでの活動	友人・知人・近所とのつ きあい	特にな い	その他	無回答
全 体	4.3	18.4	1.9	34.5	5.7	2.7	1.9
第1地区	3.6	18.5	1.7	34.1	5.0	3.3	1.6
第2地区	4.4	19.0	2.2	33.9	6.3	2.7	2.3
第3地区	4.6	18.0	1.8	35.3	5.6	2.4	1.8

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が下がるほど、男性では「孫の世話など家族との団らん」「旅行・レジャー・ドライブ・ツーリング」「グルメ・飲み会」「スマートフォンやパソコン、ゲーム専用機でのゲーム（ネットワークを使用するものを含む）」「卓球・テニス・ゴルフなどの少人数でできる運動」「仕事・就労」の割合が高く、「自治会や高齢者クラブなどの地域活動」「囲碁・将棋・園芸・写真・そば打ち・パッチワークなどの文化的な活動」「輪投げ、グランドゴルフ」の割合が低く、女性では「孫の世話など家族との団らん」「旅行・レジャー・ドライブ・ツーリング」「グルメ・飲み会」「スマートフォンやパソコン、ゲーム専用機でのゲーム（ネットワークを使用するものを含む）」「ショッピング・買い物（通販含む）」「ウォーキング・ジョギングなどの有酸素運動」「ペットの飼育」「仕事・就労」の割合が高く、「テレビ・ラジオ」「新聞・読書」「自治会や高齢者クラブなどの地域活動」「輪投げ、グランドゴルフ」の割合が低くなっています。また、女性 74～84 歳で「友人・知人・近所とのつきあい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	孫の世話など家族との 団らん	旅行・レジャー・ドライ ブ・ツーリング	グルメ・飲み会	テレビ・ラジオ	新聞・読書	SNS(X(旧ツイッタ ー)、フェイスブック、 インスタグラムなど)
全 体	2,678	28.9	34.5	22.8	56.8	38.1	7.1
男性 65～74歳	580	26.6	45.7	27.6	47.8	26.6	9.5
75～84歳	538	25.8	33.3	20.4	62.1	45.5	7.2
85歳以上	137	18.2	13.9	10.9	56.2	45.3	2.9
女性 65～74歳	615	40.0	42.1	28.9	55.1	33.0	9.8
75～84歳	637	28.4	27.8	18.7	60.0	43.5	3.8
85歳以上	154	17.5	14.9	14.3	66.2	47.4	2.6

区分	スマートフォンやパソ コン、ゲーム専用機での ゲーム(ネットワークを 使用するものを含む)	ショッピング・買い物 (通販含む)	自治会や高齢者クラブ などの地域活動	囲碁・将棋・園芸・写真・ そば打ち・パッチワーク などの文化的な活動	ウォーキング・ジョギン グなどの有酸素運動	登山、ハイキング	スイミング
全 体	15.5	41.8	7.2	9.0	26.1	6.4	1.3
男性 65～74歳	18.4	29.3	6.6	7.1	24.3	8.1	0.5
75～84歳	15.1	29.7	11.5	11.5	31.6	9.1	1.3
85歳以上	11.7	24.1	16.1	11.7	23.4	4.4	0.7
女性 65～74歳	19.8	54.3	2.1	9.1	27.2	6.0	2.3
75～84歳	11.9	52.9	6.3	7.8	25.4	4.6	1.6
85歳以上	5.8	49.4	10.4	10.4	12.3	1.3	0.0

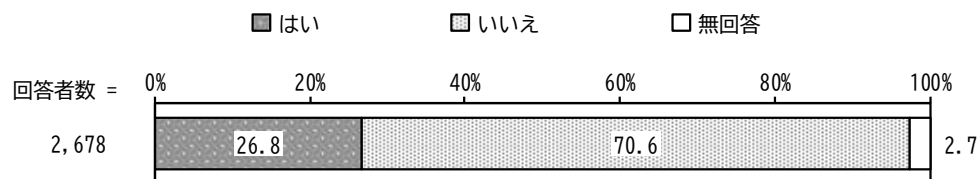
単位：％

区分	カラオケ、合唱	輪投げ、グランドゴルフ	社交ダンス・舞踊などの運動	野球・サッカー・ソフトボールなどの団体運動	卓球・テニス・ゴルフなどの少人数でできる運動	健康麻雀・遊技場（パチンコなど）などの娯楽	ペットの飼育
全 体	8.5	4.1	2.1	1.7	7.3	5.3	10.6
男性 65～74歳	7.2	0.5	0.5	2.8	12.8	7.4	10.5
75～84歳	9.3	5.8	1.1	3.7	10.2	8.4	10.6
85歳以上	10.9	14.6	2.2	1.5	7.3	5.8	2.2
女性 65～74歳	5.5	1.8	2.4	0.8	5.2	2.9	16.6
75～84歳	11.1	4.7	3.3	0.3	3.8	3.3	7.7
85歳以上	9.1	10.4	4.5	0.0	0.6	3.2	7.1

区分	ボランティア活動	仕事・就労	シルバー人材センターでの活動	友人・知人・近所とのつきあい	特にない	その他	無回答
全 体	4.3	18.4	1.9	34.5	5.7	2.7	1.9
男性 65～74歳	4.0	33.4	2.6	21.4	7.4	3.6	1.7
75～84歳	5.0	12.8	3.9	25.7	5.0	2.6	1.1
85歳以上	1.5	8.0	2.2	19.0	9.5	1.5	5.8
女性 65～74歳	4.9	26.3	0.7	44.1	3.7	3.4	1.1
75～84歳	4.7	7.8	1.1	46.0	5.0	1.7	2.5
85歳以上	1.9	3.9	0.6	42.9	9.7	1.9	2.6

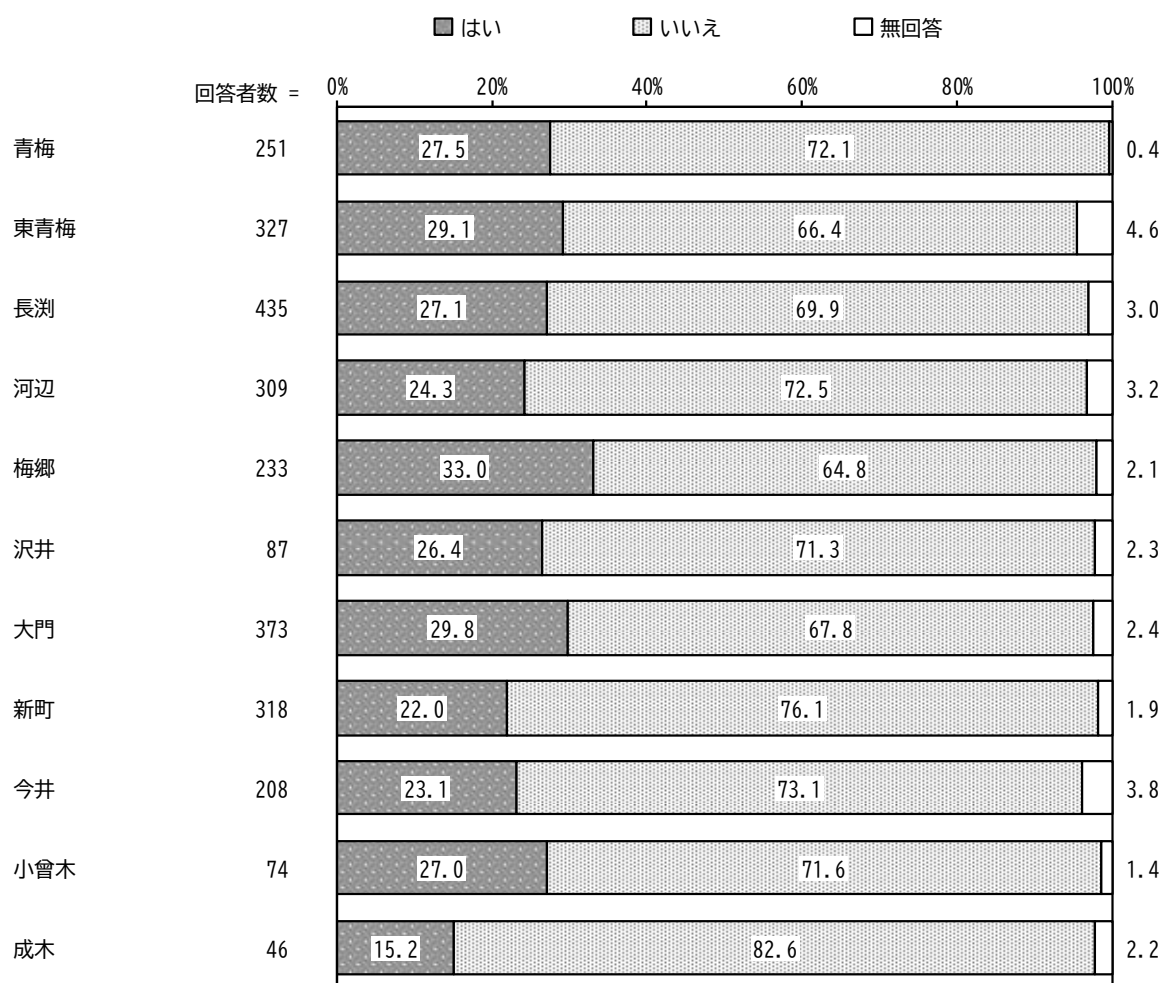
(2) あなたは、週に1回位で集まるような団体、サークル、クラブなど（高齢者だけが所属しているかどうかに関りません）に所属していますか

「はい」の割合が26.8%、「いいえ」の割合が70.6%となっています。



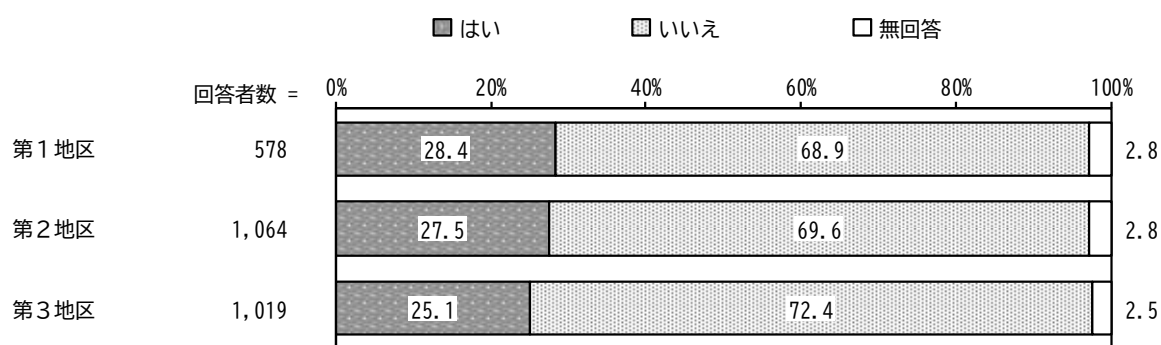
【地区別】

地区別にみると、成木で「いいえ」の割合が高くなっています。



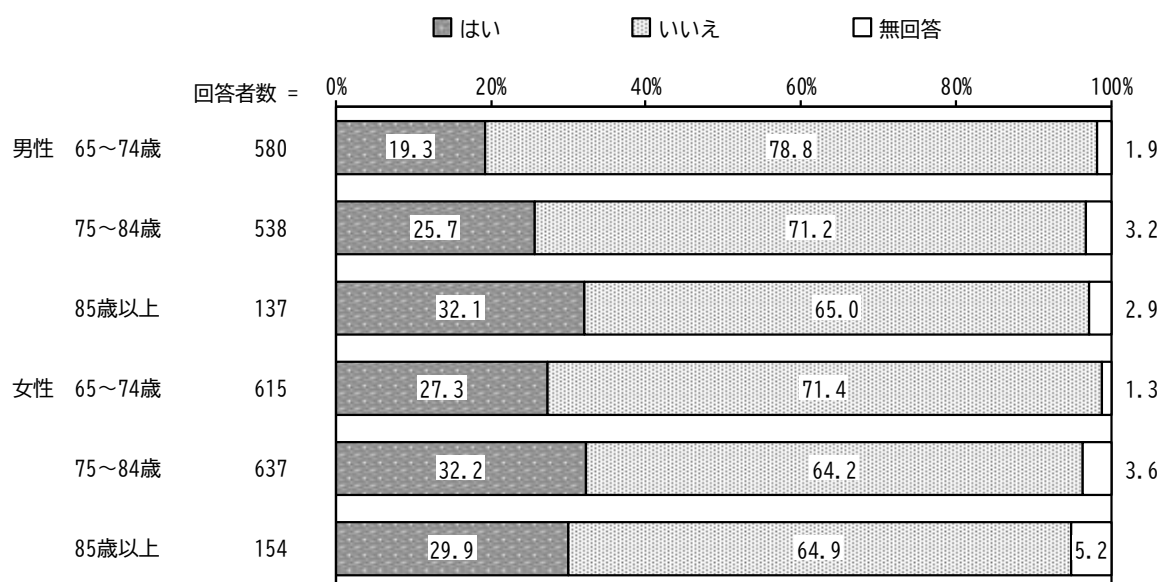
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。

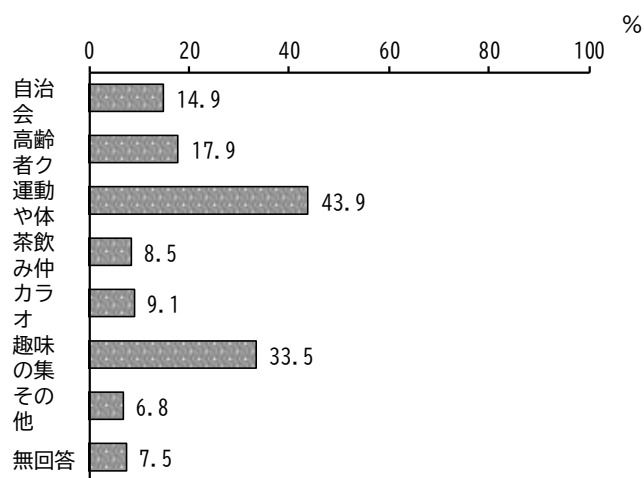


【(2) の設問で「はい」とお答えした方のみ】

①どんな団体、活動ですか（あてはまるものすべてに○）

「運動や体操の仲間」の割合が 43.9%と最も高く、次いで「趣味の集まり」の割合が 33.5%、「高齢者クラブ」の割合が 17.9%となっています。

回答者数 = 717



【地区別】

地区別にみると、小曾木で「自治会」、沢井で「高齢者クラブ」、新町で「運動や体操の仲間」、梅郷で「趣味の集まり」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	自治会	高齢者クラブ	運動や体操の仲間	茶飲み仲間	カラオケ、合唱グループ	趣味の集まり	その他	無回答
全 体	717	14.9	17.9	43.9	8.5	9.1	33.5	6.8	7.5
青梅	69	13.0	26.1	39.1	10.1	7.2	34.8	10.1	2.9
東青梅	95	20.0	20.0	37.9	7.4	5.3	31.6	8.4	6.3
長瀬	118	15.3	8.5	45.8	9.3	15.3	38.1	8.5	7.6
河辺	75	8.0	25.3	29.3	6.7	10.7	26.7	6.7	12.0
梅郷	77	6.5	18.2	45.5	3.9	16.9	45.5	7.8	3.9
沢井	23	30.4	34.8	39.1	0.0	0.0	21.7	4.3	4.3
大門	111	18.9	18.0	50.5	13.5	8.1	28.8	5.4	8.1
新町	70	10.0	8.6	60.0	5.7	5.7	35.7	4.3	5.7
今井	48	10.4	16.7	52.1	10.4	4.2	29.2	2.1	10.4
小曾木	20	40.0	25.0	25.0	15.0	5.0	25.0	10.0	15.0
成木	7	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0	28.6	0.0	42.9

【圏域別】

圏域別にみると、第3地区で「運動や体操の仲間」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自治会	高齢者クラブ	運動や体操の仲間	茶飲み仲間	カラオケ、合唱グループ	趣味の集まり	その他	無回答
全 体	717	14.9	17.9	43.9	8.5	9.1	33.5	6.8	7.5
第1地区	164	17.1	22.6	38.4	8.5	6.1	32.9	9.1	4.9
第2地区	293	12.3	17.4	41.0	6.5	13.3	35.8	7.5	7.5
第3地区	256	16.8	15.6	50.4	10.5	6.3	30.5	4.7	9.4

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「運動や体操の仲間」の割合が低く、男性では「高齢者クラブ」の割合が高く、女性では「自治会」「高齢者クラブ」「茶飲み仲間」「カラオケ、合唱グループ」の割合が高くなっています。

単位：％

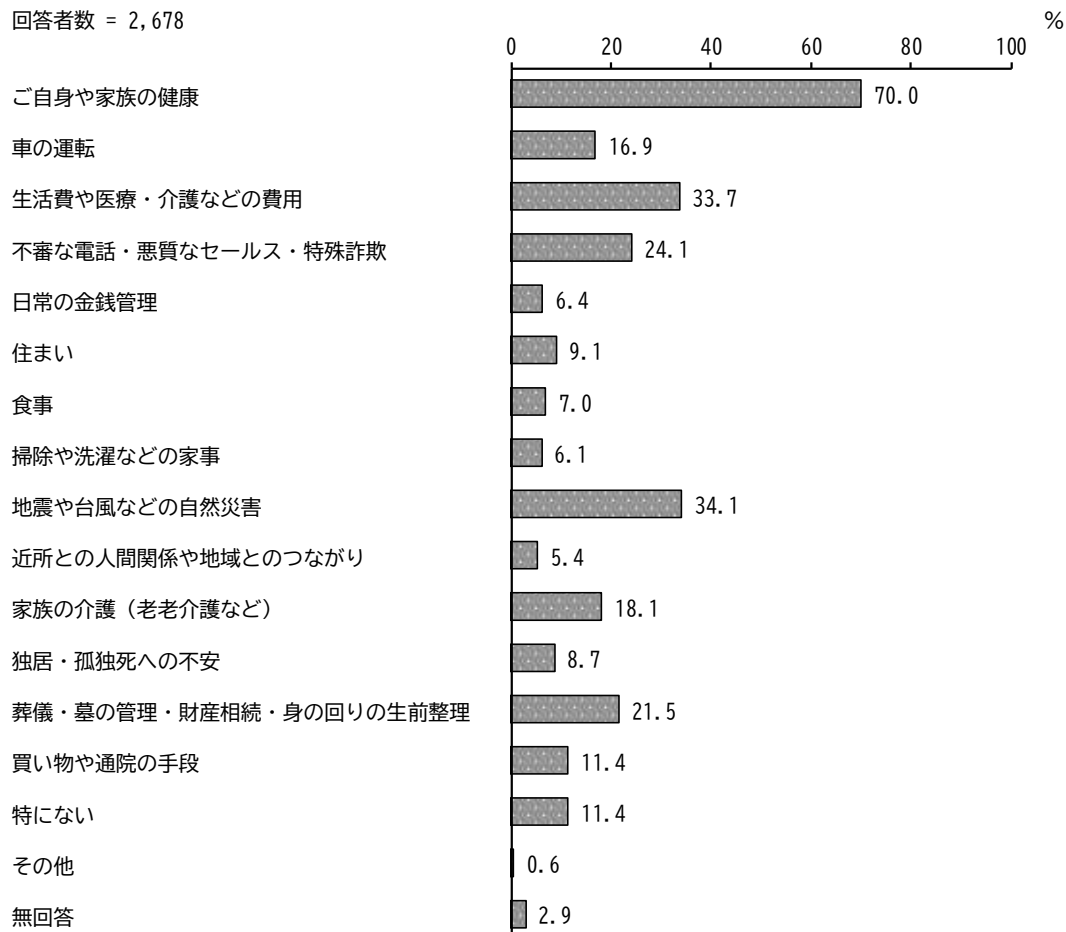
区分	回答者数 (件)	自治会	高齢者クラブ	運動や体操の仲間	茶飲み仲間	カラオケ、合唱グループ	趣味の集まり	その他	無回答
全 体	717	14.9	17.9	43.9	8.5	9.1	33.5	6.8	7.5
男性 65～74歳	112	25.0	6.3	35.7	2.7	4.5	30.4	9.8	7.1
75～84歳	138	23.9	26.1	34.1	4.3	9.4	38.4	8.7	10.9
85歳以上	44	27.3	52.3	15.9	6.8	6.8	31.8	4.5	6.8
女性 65～74歳	168	4.8	3.6	55.4	6.5	4.2	31.0	6.0	8.3
75～84歳	205	9.8	20.5	51.7	13.7	14.1	36.6	5.9	5.4
85歳以上	46	13.0	30.4	41.3	19.6	17.4	19.6	4.3	6.5

問 12 日常生活での不安・心配について

(1) あなたは、日常生活の中で不安を感じたり心配になったりすることがありますか（あてはまるものすべてに○）

「ご自身や家族の健康」の割合が 70.0%と最も高く、次いで「地震や台風などの自然災害」の割合が 34.1%、「生活費や医療・介護などの費用」の割合が 33.7%となっています。

回答者数 = 2,678



【地区別】

地区別にみると、大門で「ご自身や家族の健康」、成木で「車の運転」「日常の金銭管理」「近所との人間関係や地域とのつながり」「買い物や通院の手段」、沢井、成木で「生活費や医療・介護などの費用」、小曾木、成木で「不審な電話・悪質なセールス・特殊詐欺」、小曾木で「地震や台風などの自然災害」、今井で「家族の介護（老老介護など）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ご自身や家族の健康	車の運転	生活費や医療・介護などの費用	不審な電話・悪質なセールス・特殊詐欺	日常の金銭管理	住まい	食事	掃除や洗濯などの家事
全 体	2,678	70.0	16.9	33.7	24.1	6.4	9.1	7.0	6.1
青梅	251	72.1	15.5	35.5	27.1	6.4	12.7	7.6	6.0
東青梅	327	69.4	11.6	32.7	18.7	5.2	10.7	5.5	5.2
長湊	435	69.2	17.9	32.4	20.5	6.2	8.7	6.2	5.7
河辺	309	67.3	12.3	34.0	18.4	8.4	12.3	9.4	7.4
梅郷	233	68.7	24.9	31.3	28.3	7.3	6.4	4.7	4.7
沢井	87	73.6	16.1	39.1	24.1	5.7	6.9	6.9	3.4
大門	373	75.6	15.0	34.9	29.0	5.4	10.2	8.3	8.0
新町	318	69.5	15.1	34.6	23.3	6.3	6.3	7.2	6.3
今井	208	66.3	24.0	32.7	27.4	6.7	4.3	8.7	6.3
小曾木	74	66.2	20.3	25.7	32.4	1.4	8.1	2.7	1.4
成木	46	69.6	34.8	41.3	34.8	13.0	10.9	4.3	4.3

区分	地震や台風などの自然災害	近所との人間関係や地域とのつながり	家族の介護（老老介護など）	独居・孤独死への不安	葬儀・墓の管理・財産相続・身の回りの生前整理	買い物や通院の手段	特にない	その他	無回答
全 体	34.1	5.4	18.1	8.7	21.5	11.4	11.4	0.6	2.9
青梅	31.1	6.0	18.3	11.6	20.7	13.9	10.4	0.0	1.6
東青梅	26.6	5.8	16.8	9.2	21.1	8.6	11.0	0.3	4.6
長湊	32.4	4.4	18.9	7.8	21.1	12.6	13.3	0.9	3.9
河辺	26.9	5.5	18.1	8.7	21.4	8.7	13.3	1.6	2.9
梅郷	39.1	6.0	13.7	7.7	20.6	13.7	12.4	0.0	2.1
沢井	44.8	9.2	21.8	8.0	19.5	9.2	6.9	1.1	2.3
大門	41.3	4.0	20.6	9.4	22.8	12.1	9.7	0.5	3.2
新町	30.8	6.0	16.7	8.8	22.3	9.1	9.4	0.9	1.6
今井	38.5	4.8	23.6	8.7	22.1	13.5	12.0	0.5	2.9
小曾木	50.0	4.1	10.8	5.4	20.3	12.2	14.9	0.0	2.7
成木	43.5	10.9	15.2	4.3	26.1	19.6	8.7	0.0	2.2

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ご自身や家族の健康	車の運転	生活費や医療・介護などの費用	不審な電話・悪質なセールス・特殊詐欺	日常の金銭管理	住まい	食事	掃除や洗濯などの家事
全 体	2,678	70.0	16.9	33.7	24.1	6.4	9.1	7.0	6.1
第1地区	578	70.6	13.3	33.9	22.3	5.7	11.6	6.4	5.5
第2地区	1,064	68.9	17.7	33.2	21.9	7.0	9.1	6.9	5.8
第3地区	1,019	70.9	18.2	34.0	27.4	6.0	7.7	7.5	6.5

区分	地震や台風などの自然災害	近所との人間関係や地域とのつながり	家族の介護（老老介護など）	独居・孤独死への不安	葬儀・墓の管理・財産相続・身の回りの生前整理	買い物や通院の手段	特にない	その他	無回答
全 体	34.1	5.4	18.1	8.7	21.5	11.4	11.4	0.6	2.9
第1地区	28.5	5.9	17.5	10.2	20.9	10.9	10.7	0.2	3.3
第2地区	33.3	5.5	17.8	8.1	21.0	11.5	12.6	0.9	3.1
第3地区	38.2	5.1	19.0	8.5	22.5	11.8	10.4	0.6	2.6

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「不審な電話・悪質なセールス・特殊詐欺」「食事」「掃除や洗濯などの家事」「地震や台風などの自然災害」「家族の介護（老老介護など）」「独居・孤独死への不安」「買い物や通院の手段」の割合が高く、女性では「不審な電話・悪質なセールス・特殊詐欺」「食事」「掃除や洗濯などの家事」「独居・孤独死への不安」「買い物や通院の手段」の割合が高く、「ご自身や家族の健康」「車の運転」の割合が低くなっています。

単位：％

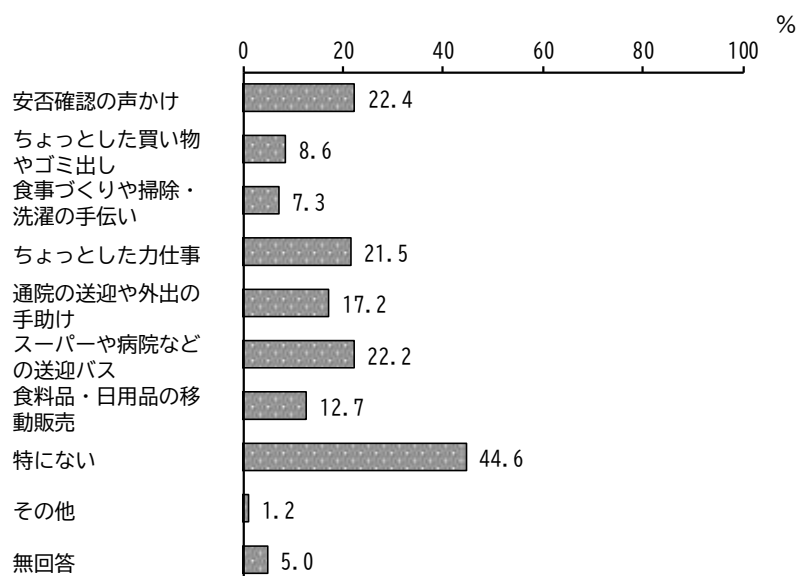
区分	回答者数 (件)	ご自身や家族の健康	車の運転	生活費や医療・介護などの費用	不審な電話・悪質なセールス・特殊詐欺	日常の金銭管理	住まい	食事	掃除や洗濯などの家事
全 体	2,678	70.0	16.9	33.7	24.1	6.4	9.1	7.0	6.1
男性 65～74歳	580	67.6	17.1	36.0	17.4	7.8	10.7	5.2	2.9
75～84歳	538	71.0	23.2	33.8	21.0	5.9	10.8	9.5	8.7
85歳以上	137	70.8	16.1	33.6	25.5	6.6	10.2	16.1	13.1
女性 65～74歳	615	72.8	20.8	36.9	26.2	6.0	9.3	4.1	3.9
75～84歳	637	69.1	11.5	29.0	27.2	5.5	6.6	6.4	5.3
85歳以上	154	67.5	1.9	29.9	37.7	7.1	5.8	11.0	13.0

区分	地震や台風などの自然災害	近所との人間関係や地域とのつながり	家族の介護（老老介護など）	独居・孤独死への不安	葬儀・墓の管理・財産相続・身の回りの生前整理	買い物や通院の手段	特にない	その他	無回答
全 体	34.1	5.4	18.1	8.7	21.5	11.4	11.4	0.6	2.9
男性 65～74歳	26.0	5.7	14.1	7.4	19.8	5.2	15.3	0.7	1.9
75～84歳	27.5	5.4	16.7	7.6	23.2	13.4	10.8	0.7	3.9
85歳以上	36.5	7.3	21.9	11.7	20.4	21.2	8.8	0.0	5.1
女性 65～74歳	41.6	5.0	20.2	7.3	22.3	8.9	9.4	0.5	1.8
75～84歳	37.2	5.3	20.7	10.5	21.2	14.6	10.7	0.9	3.3
85歳以上	42.9	4.5	16.9	13.0	21.4	16.9	11.0	0.0	4.5

（２）現在のお住まいで生活をしていく上で、地域でどのような手助けがあれば助かると思いますか（あてはまるものすべてに○）

「安否確認の声かけ」の割合が22.4%と最も高く、次いで「スーパーや病院などの送迎バス」の割合が22.2%、「ちょっとした力仕事」の割合が21.5%となっています。

回答者数 = 2,678



【地区別】

地区別にみると、東青梅で「ちょっとした力仕事」、大門、成木で「通院の送迎や外出の手助け」、成木で「スーパーや病院などの送迎バス」、沢井、小曾木、成木で「食料品・日用品の移動販売」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	安否確認の声かけ	ちょっとした買い物やゴミ出し	食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	ちょっとした力仕事	通院の送迎や外出の手助け	スーパーや病院などの送迎バス	食料品・日用品の移動販売	特にない	その他	無回答
全 体	2,678	22.4	8.6	7.3	21.5	17.2	22.2	12.7	44.6	1.2	5.0
青梅	251	23.1	10.4	8.4	24.3	18.3	28.7	16.3	39.4	0.4	4.4
東青梅	327	24.2	9.8	6.7	26.6	12.8	17.1	10.1	42.8	1.2	4.9
長湊	435	21.1	9.2	9.7	22.5	16.6	25.5	15.9	45.3	0.7	3.2
河辺	309	22.3	7.4	5.2	17.8	14.9	13.3	7.8	50.5	1.6	6.1
梅郷	233	20.6	5.6	6.0	20.2	20.2	24.0	15.5	44.6	1.7	6.4
沢井	87	20.7	3.4	3.4	17.2	13.8	17.2	21.8	44.8	0.0	4.6
大門	373	27.1	10.2	9.4	23.3	22.5	23.9	10.5	41.8	2.4	4.6
新町	318	20.1	7.2	5.3	18.2	14.8	16.0	7.2	49.7	0.9	6.6
今井	208	20.7	10.1	8.7	19.2	19.2	28.4	13.0	45.2	0.5	5.8
小曾木	74	20.3	8.1	5.4	24.3	16.2	32.4	20.3	35.1	2.7	4.1
成木	46	21.7	13.0	6.5	21.7	23.9	37.0	21.7	39.1	0.0	6.5

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	安否確認の 声かけ	物やゴミ出し ちよっとした買い	除・洗濯の手伝い 食事づくりや掃	ちよっとした力仕事	通院の送迎や外出 の手助け	スーパーや病院な どの送迎バス	食料品・日用品の移 動販売	特 に ない	そ の 他	無 回 答
全 体	2,678	22.4	8.6	7.3	21.5	17.2	22.2	12.7	44.6	1.2	5.0
第1地区	578	23.7	10.0	7.4	25.6	15.2	22.1	12.8	41.3	0.9	4.7
第2地区	1,064	21.3	7.4	7.0	20.2	16.6	21.0	13.9	46.6	1.1	4.9
第3地区	1,019	22.9	9.2	7.6	20.9	19.0	23.6	11.2	44.4	1.5	5.5

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「安否確認の声かけ」「ちよっとした買い物やゴミ出し」「食事づくりや掃除・洗濯の手伝い」「ちよっとした力仕事」「通院の送迎や外出の手助け」「スーパーや病院などの送迎バス」「食料品・日用品の移動販売」の割合が高く、女性では「スーパーや病院などの送迎バス」の割合が高くなっています。

単位：％

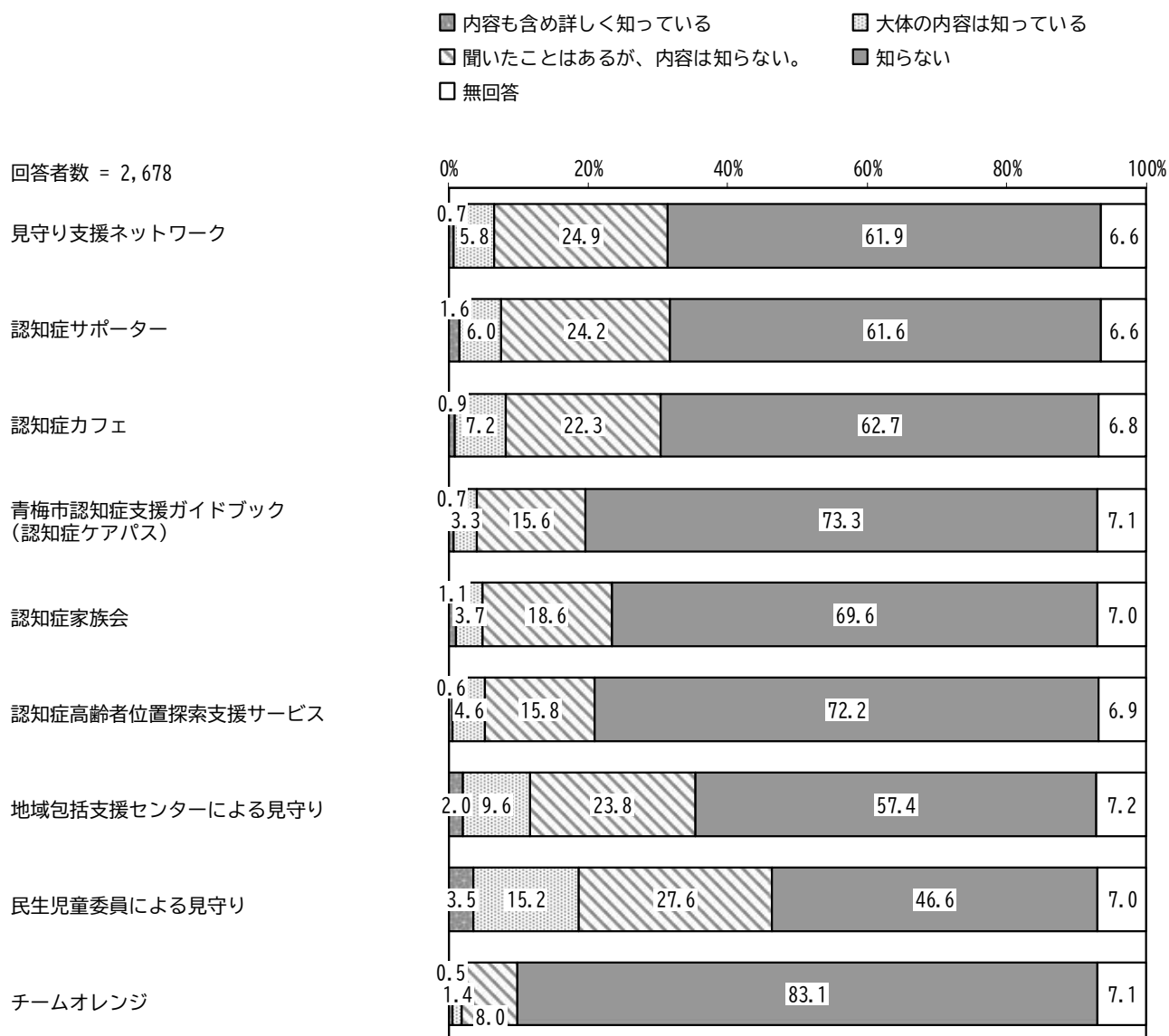
区分	回答者数 (件)	安否確認の 声かけ	物やゴミ出し ちよっとした買い	除・洗濯の手伝い 食事づくりや掃	ちよっとした力仕事	通院の送迎や外出 の手助け	スーパーや病院な どの送迎バス	食料品・日用品の移 動販売	特 に ない	そ の 他	無 回 答
全 体	2,678	22.4	8.6	7.3	21.5	17.2	22.2	12.7	44.6	1.2	5.0
男性 65～74歳	580	17.9	5.9	7.1	11.6	11.6	15.9	9.7	58.6	0.9	2.8
75～84歳	538	18.4	7.2	7.4	15.1	15.2	18.2	10.8	53.2	1.3	5.6
85歳以上	137	33.6	12.4	13.9	19.7	19.0	23.4	14.6	29.2	0.0	8.8
女性 65～74歳	615	23.6	9.6	5.9	27.6	20.5	24.7	14.0	42.4	2.0	4.4
75～84歳	637	25.3	9.7	7.2	29.2	18.7	26.7	14.3	33.8	0.9	6.4
85歳以上	154	27.3	13.0	8.4	29.2	25.3	30.5	16.2	29.2	1.3	5.8

問 13 認知症の対策について

(1) 現在、市では、次の事業を行っています。以下について該当するものを選んでください。

※①－⑨それぞれに回答してください

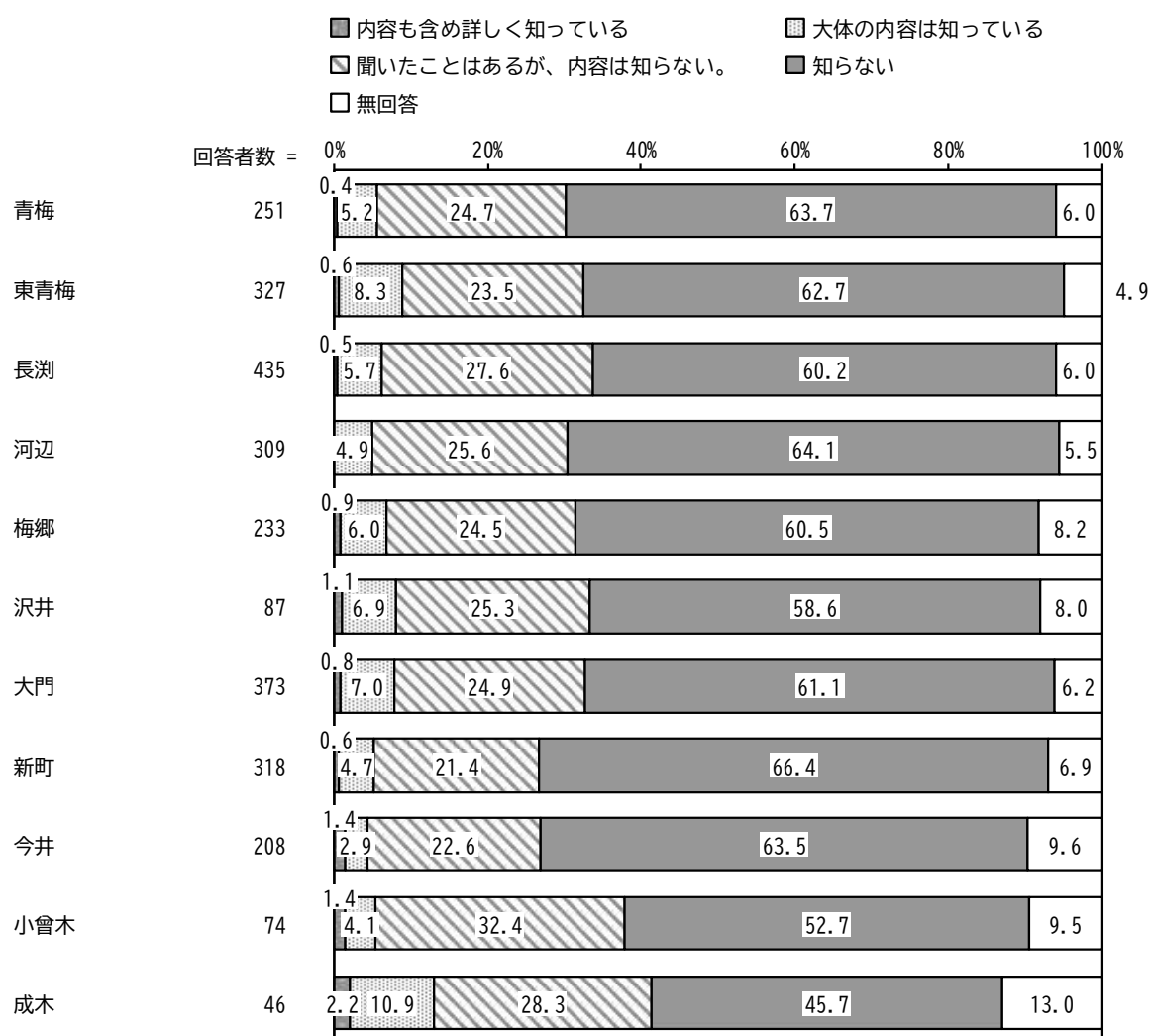
『⑧民生児童委員による見守り』で「内容も含め詳しく知っている」「大体的内容は知っている」「聞いたことはあるが、内容は知らない。」が、『⑨チームオレンジ』で「知らない」が高くなっています。



①見守り支援ネットワーク

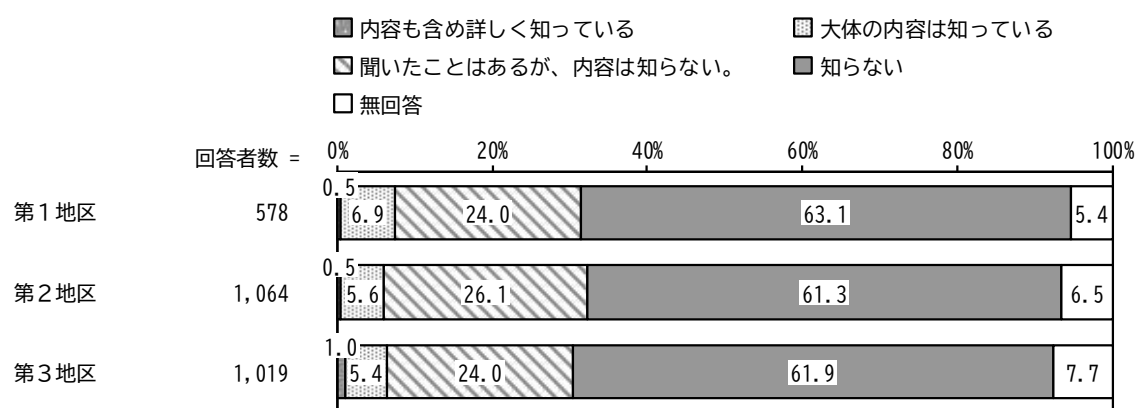
【地区別】

地区別にみると、成木で「大体的内容は知っている」、小曾木で「聞いたことはあるが、内容は知らない。」の割合が高くなっています。



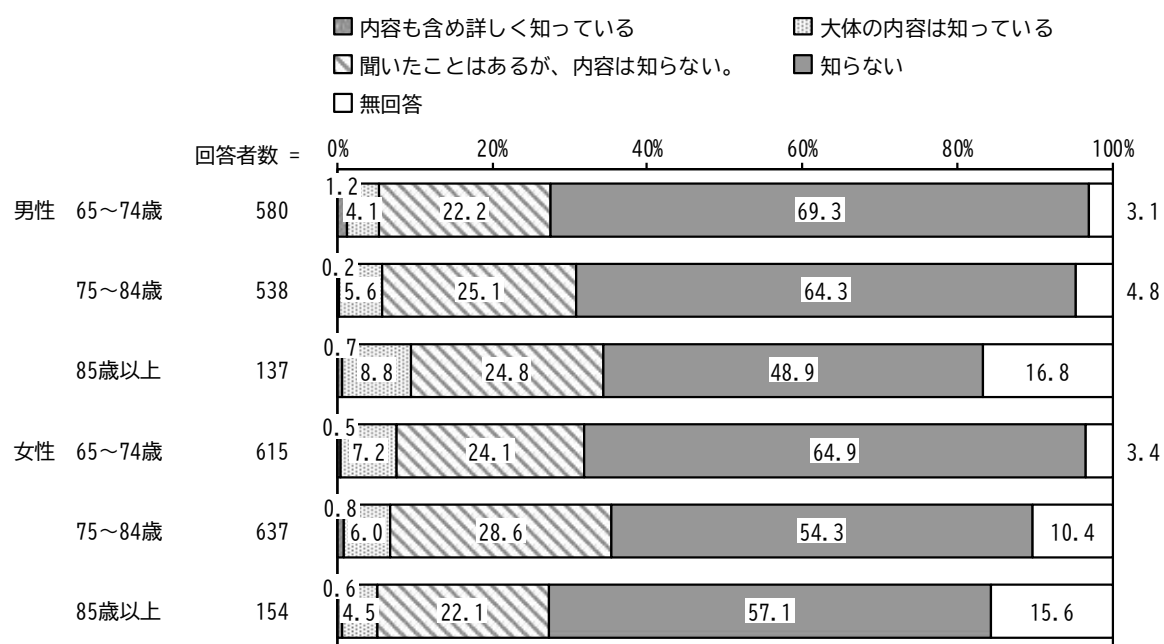
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

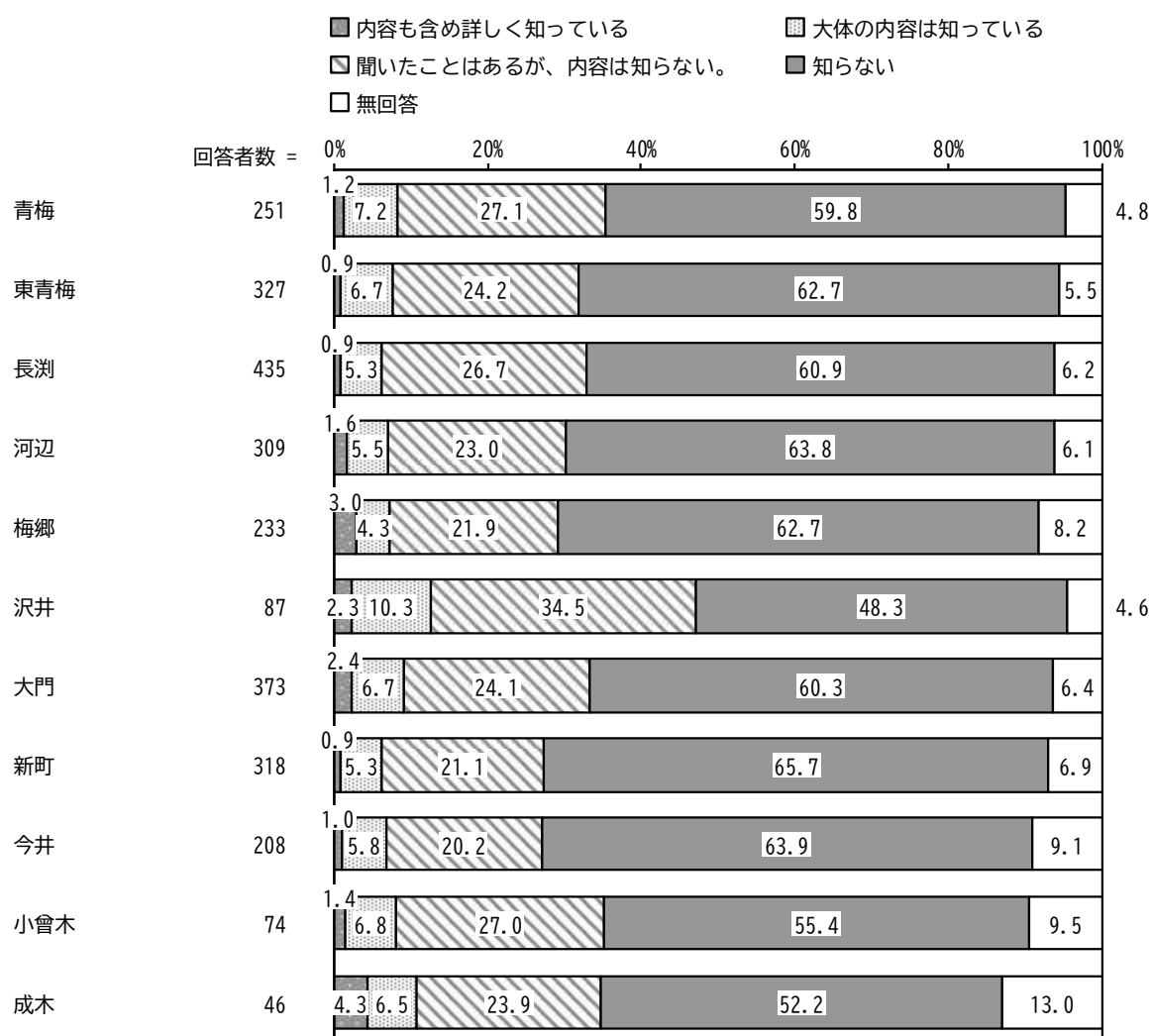
性・年齢別にみると、男性 65～74 歳で「知らない」の割合が高くなっています。



②認知症サポーター

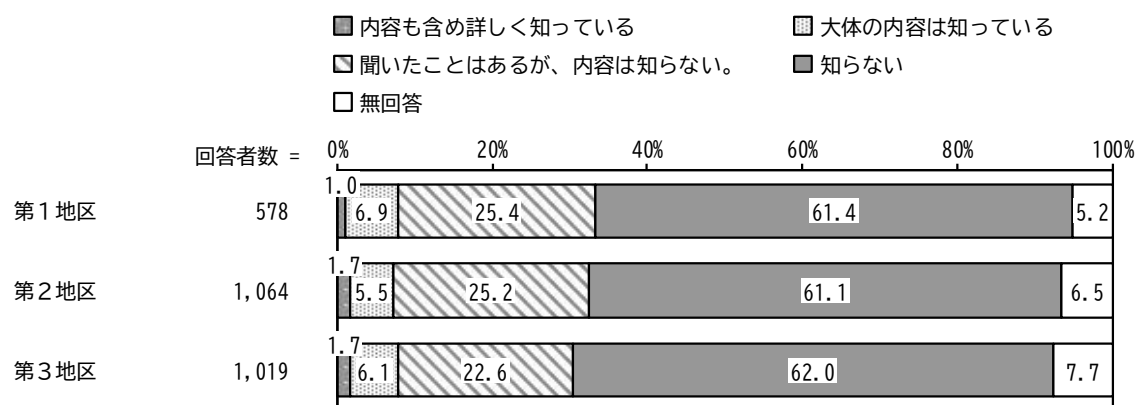
【地区別】

地区別にみると、沢井で「聞いたことはあるが、内容は知らない。」の割合が高く、「知らない」の割合が低くなっています。



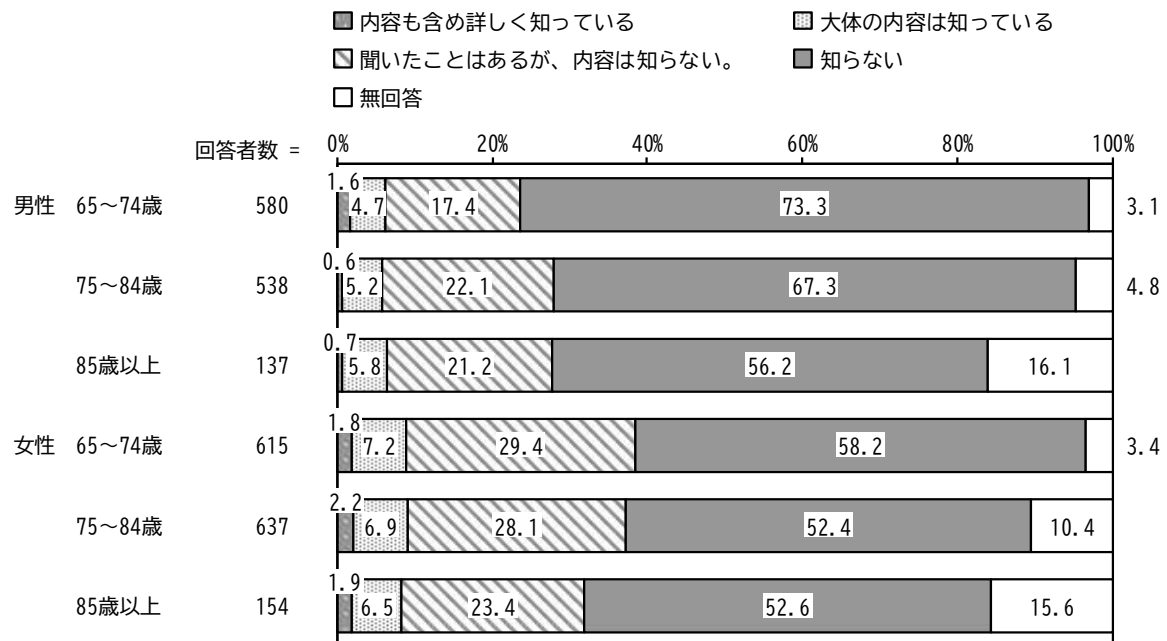
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

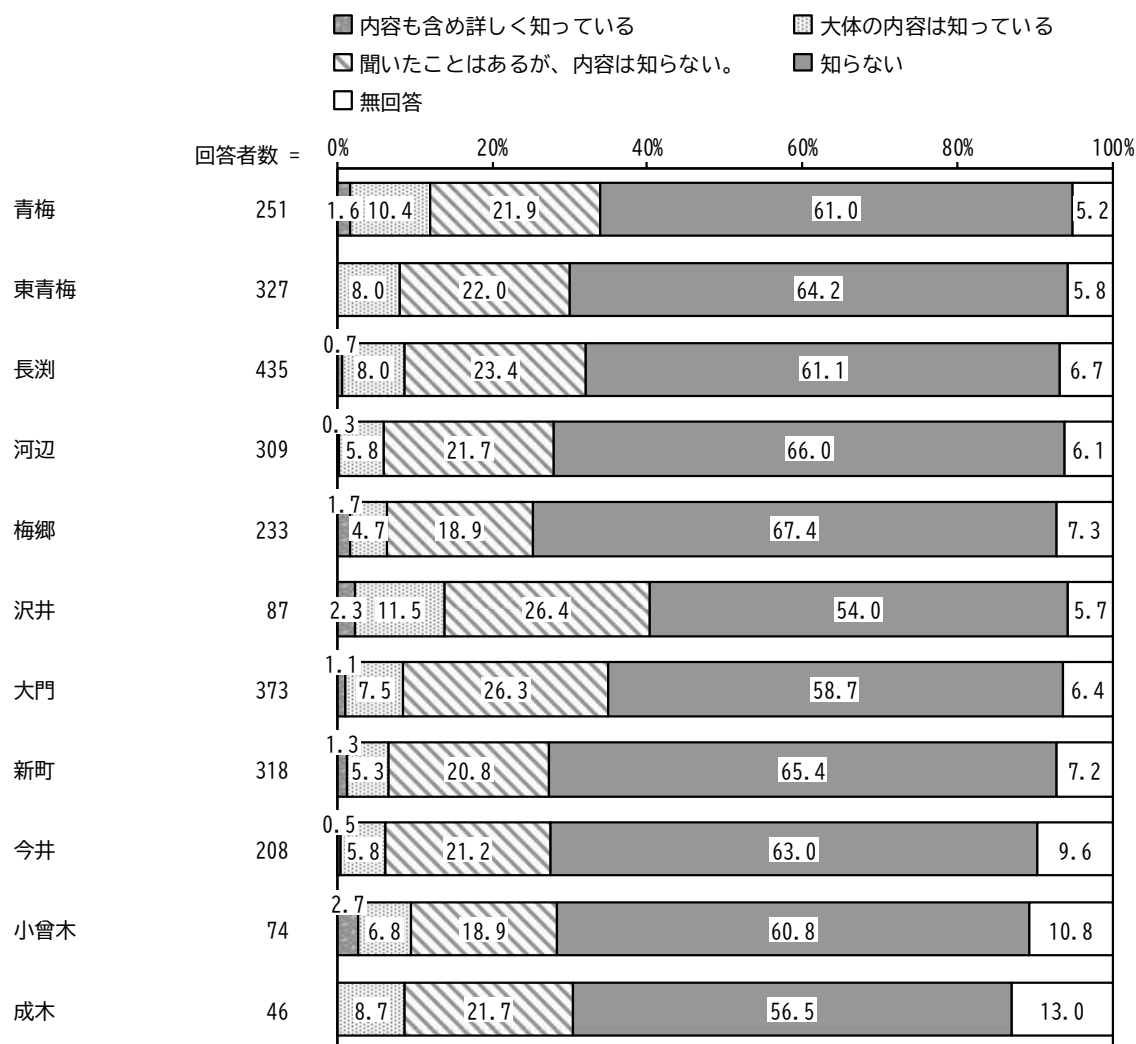
性・年齢別にみると、年齢が下がるほど、男性では「知らない」の割合が高く、女性では「聞いたことはあるが、内容は知らない。」の割合が高くなっています。



③認知症カフェ

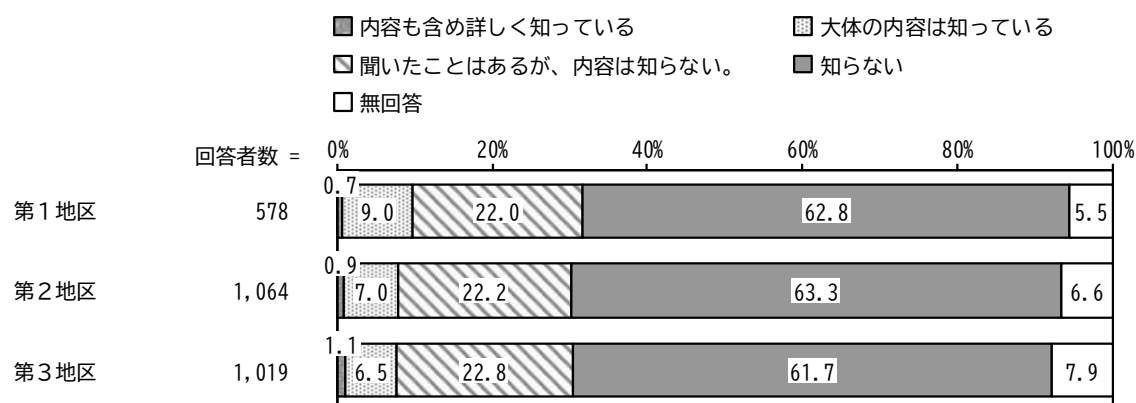
【地区別】

地区別に見ると、沢井、成木で「知らない」の割合が低くなっています。



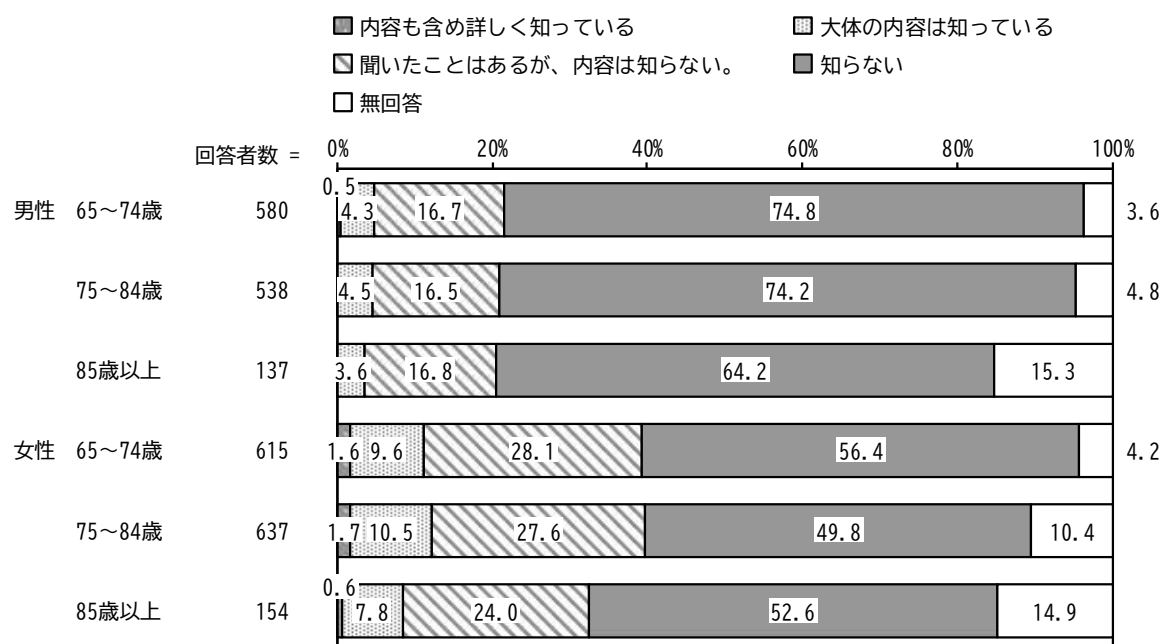
【圏域別】

圏域別に見ると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

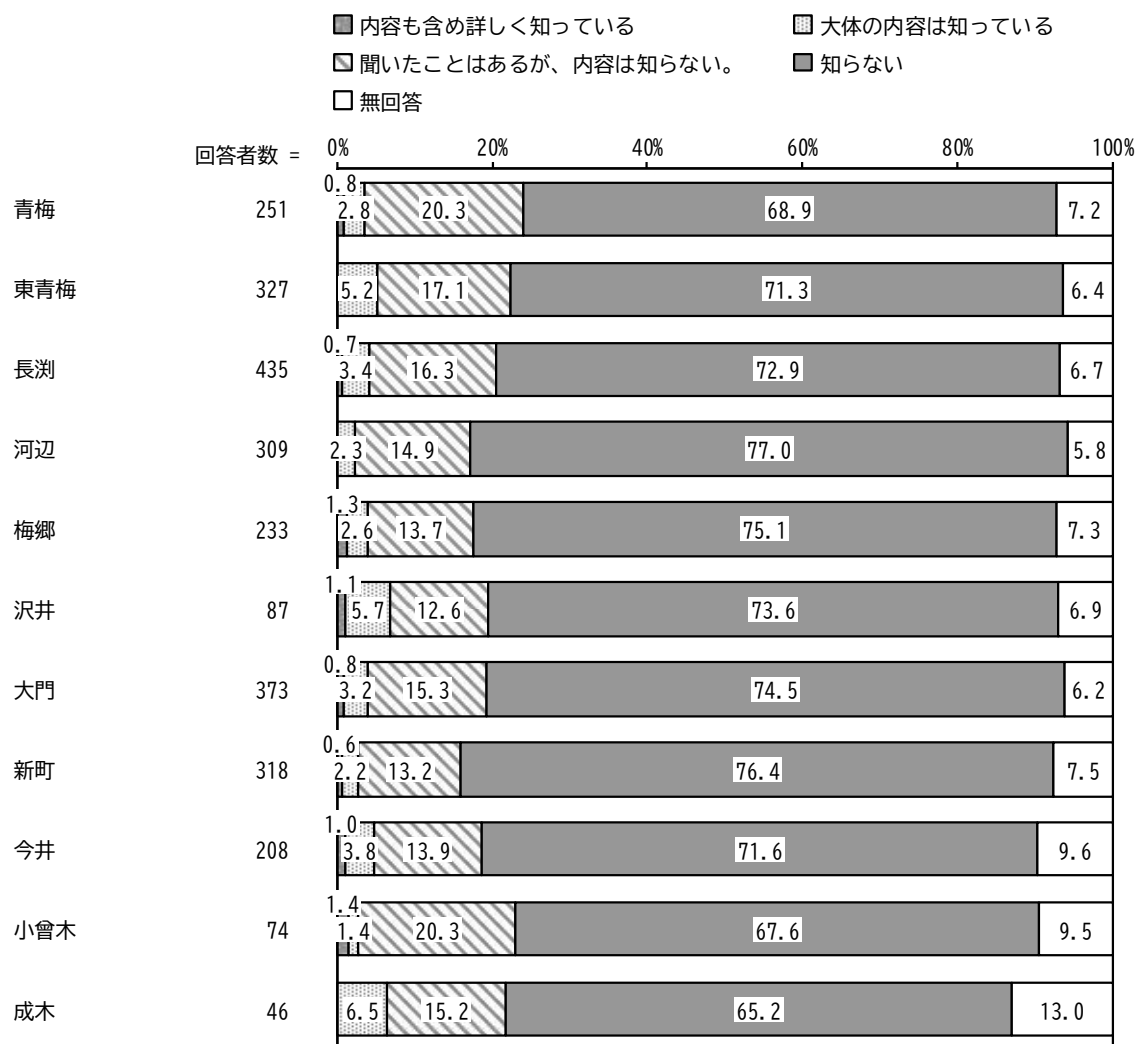
性・年齢別にみると、年齢が下がるほど、男性では「知らない」の割合が高く、女性では「聞いたことはあるが、内容は知らない。」の割合が高くなっています。



④「青梅市認知症支援ガイドブック」（認知症ケアパス）

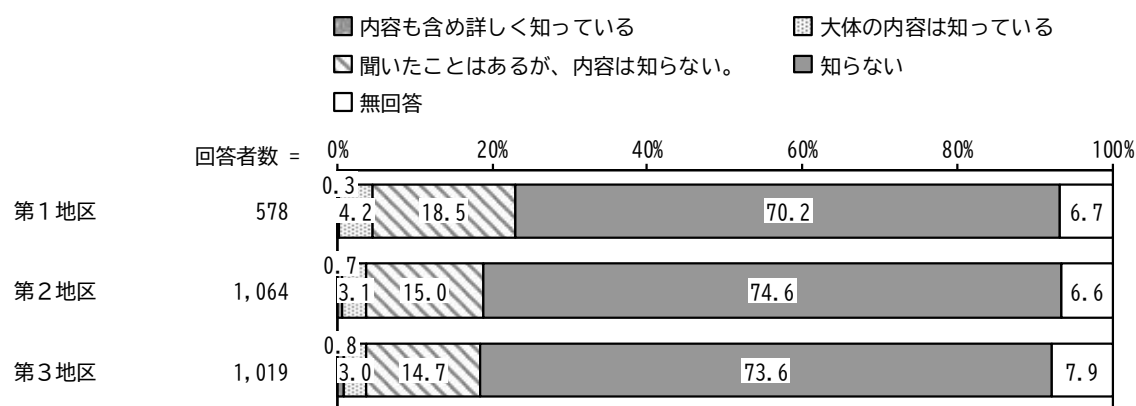
【地区別】

地区別にみると、小曾木、成木で「知らない」の割合が低くなっています。



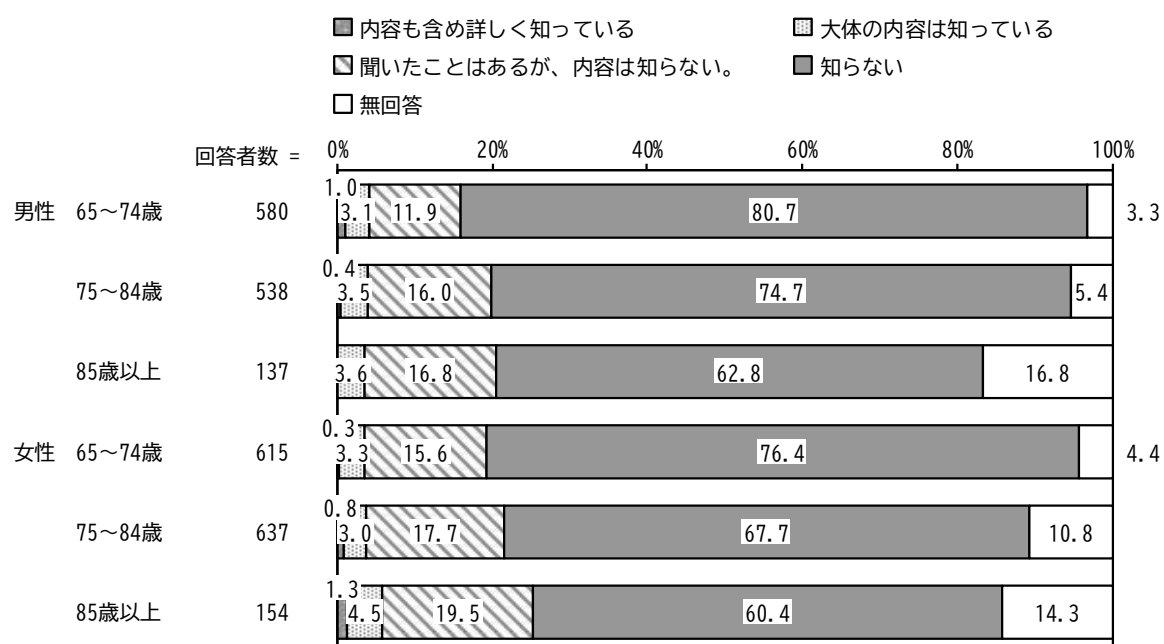
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

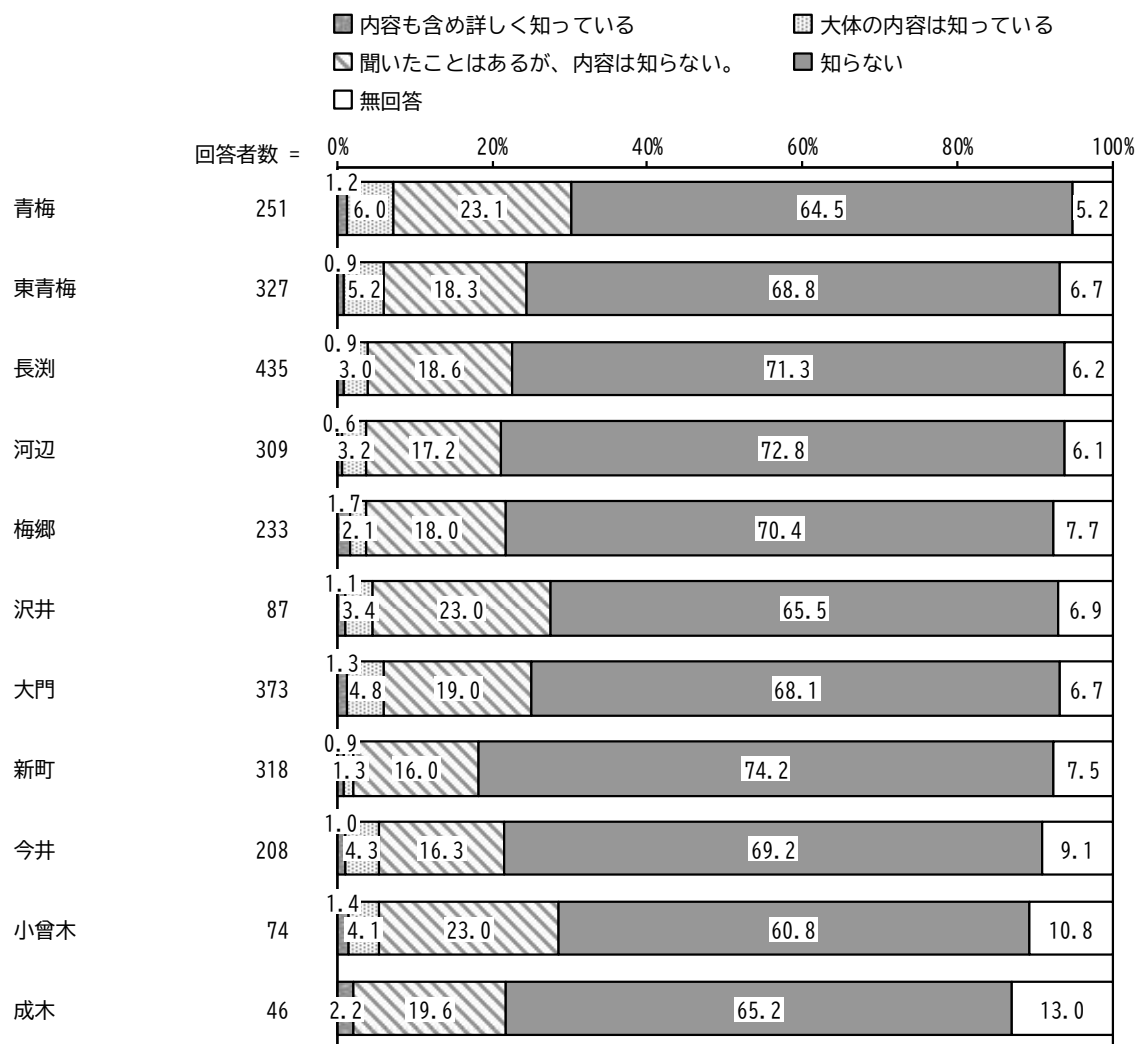
性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「聞いたことはあるが、内容は知らない。」の割合が高く、「知らない」の割合が低く、女性では年齢が下がるほど「知らない」の割合が高くなっています。



⑤認知症家族会

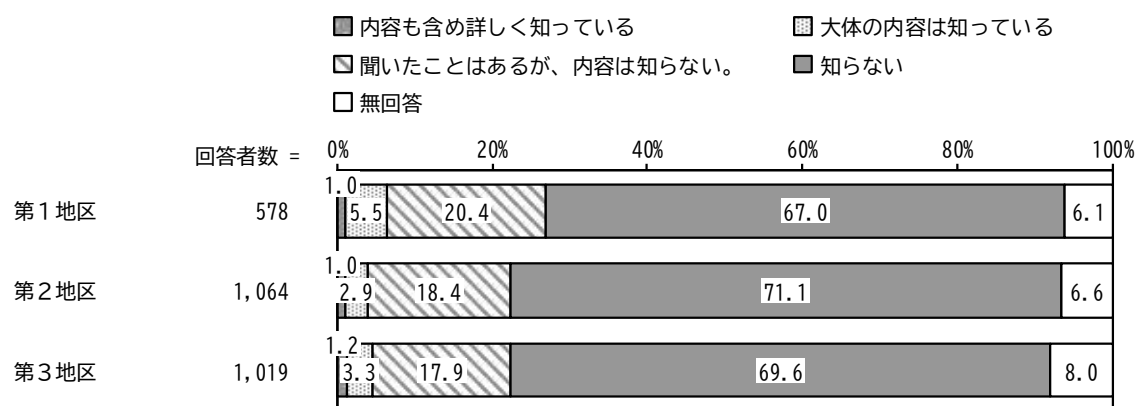
【地区別】

地区別にみると、小曾木で「知らない」の割合が低くなっています。



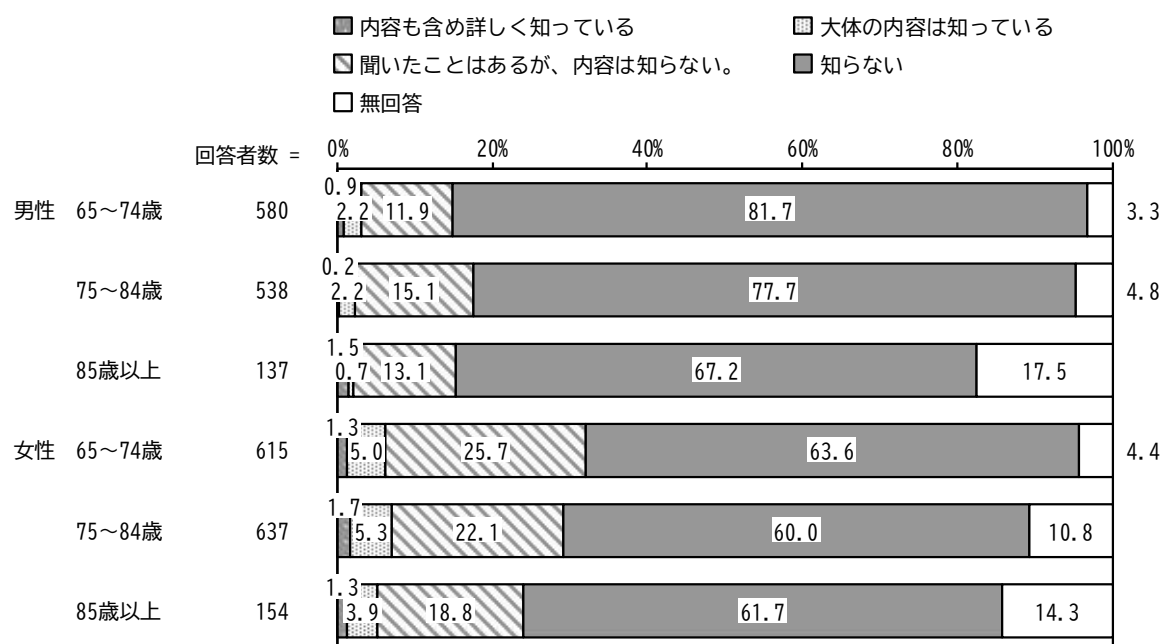
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

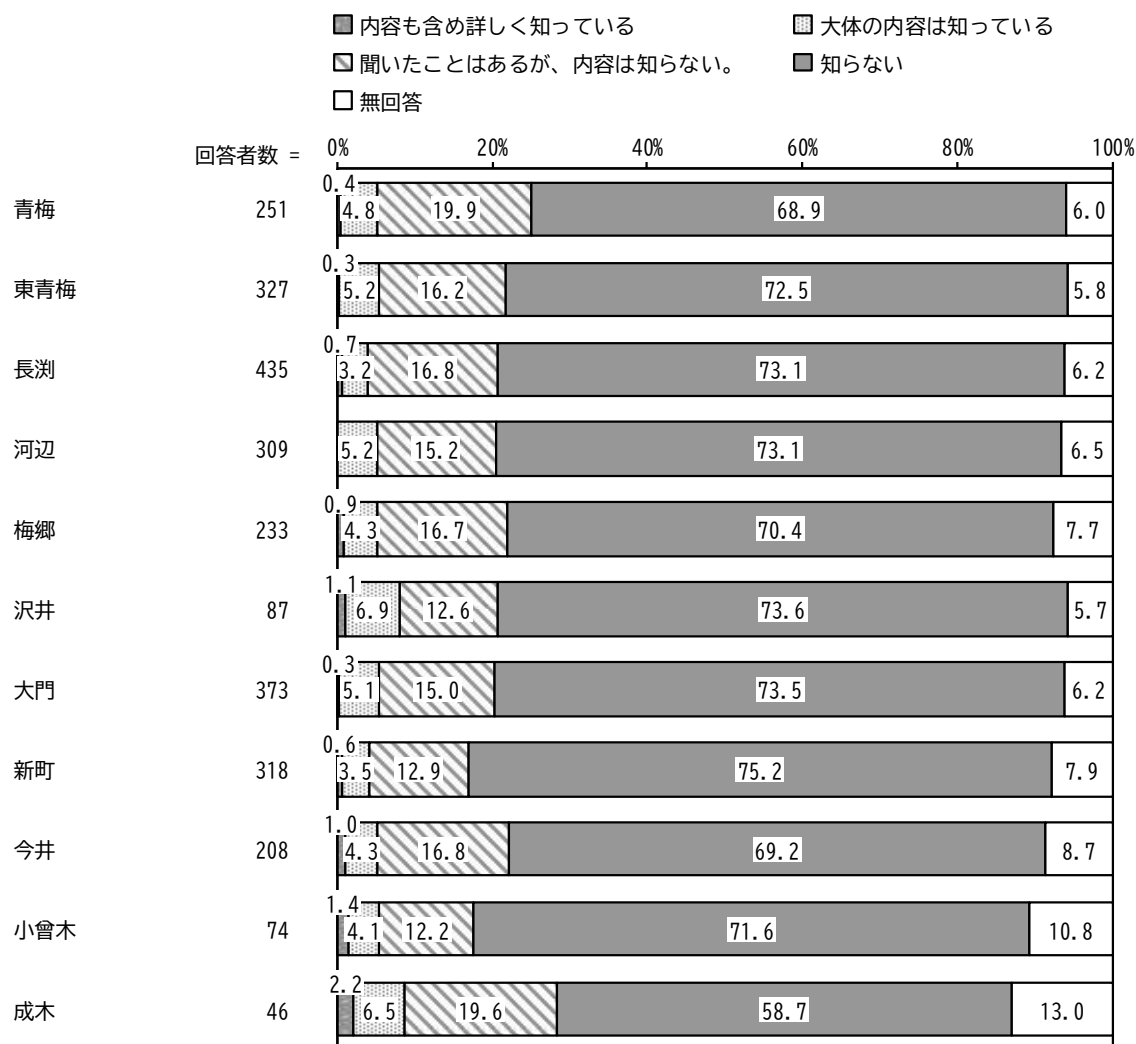
性・年齢別にみると、年齢が下がるほど、男性では「知らない」の割合が高く、女性では「聞いたことはあるが、内容は知らない。」の割合が高くなっています。



⑥認知症高齢者位置探索支援サービス

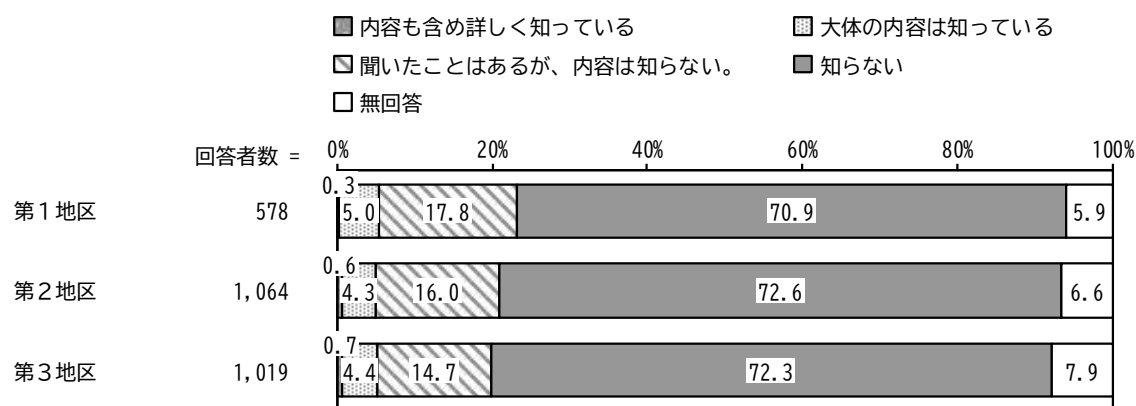
【地区別】

地区別にみると、成木で「知らない」の割合が低くなっています。



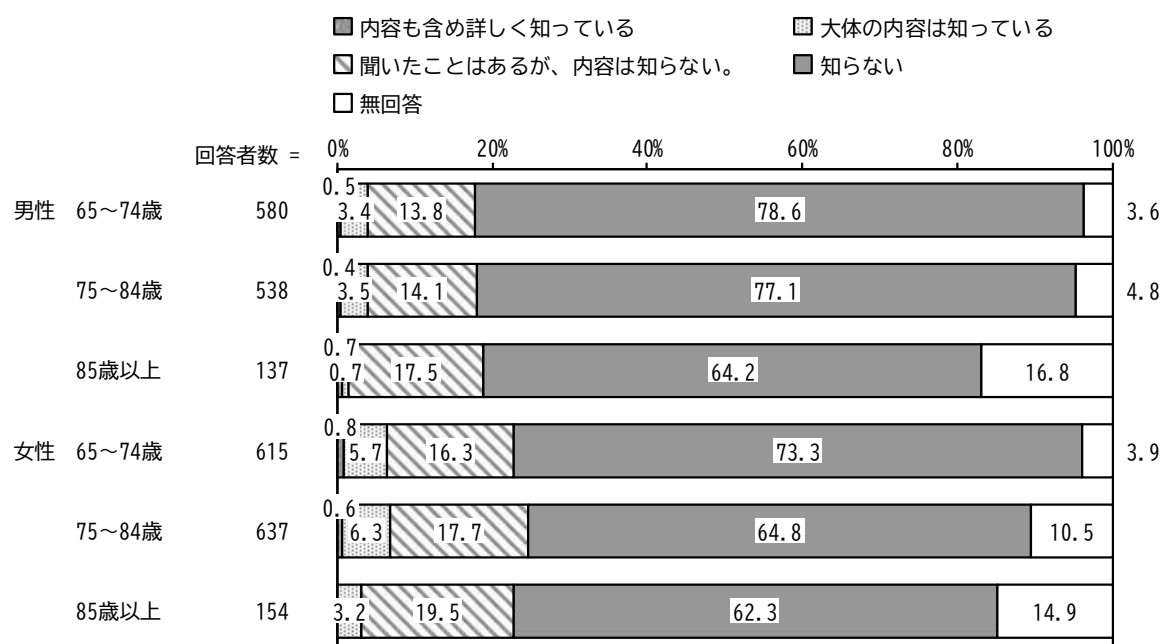
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

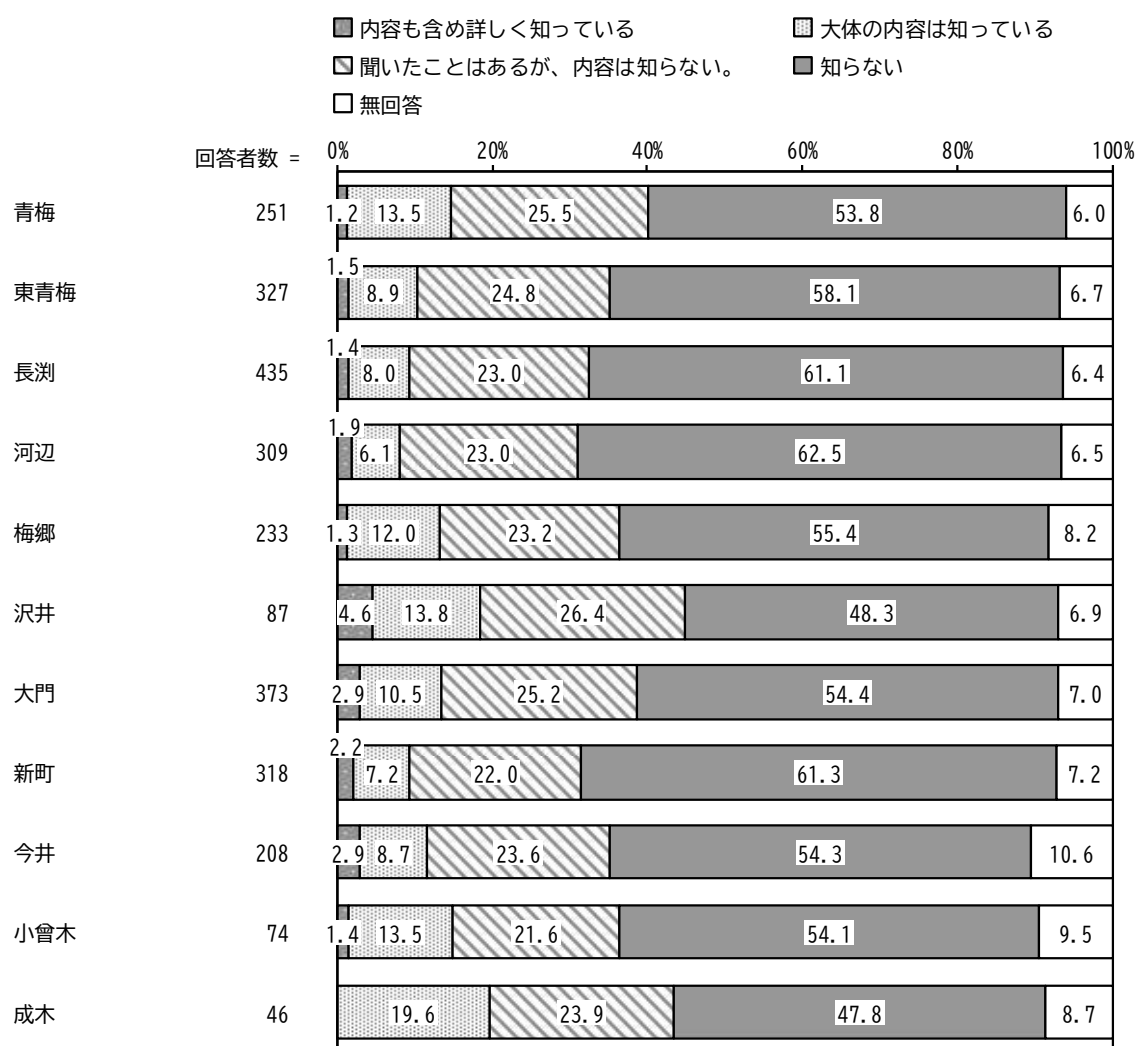
性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「知らない」の割合が高くなっています。



⑦地域包括支援センターによる見守り

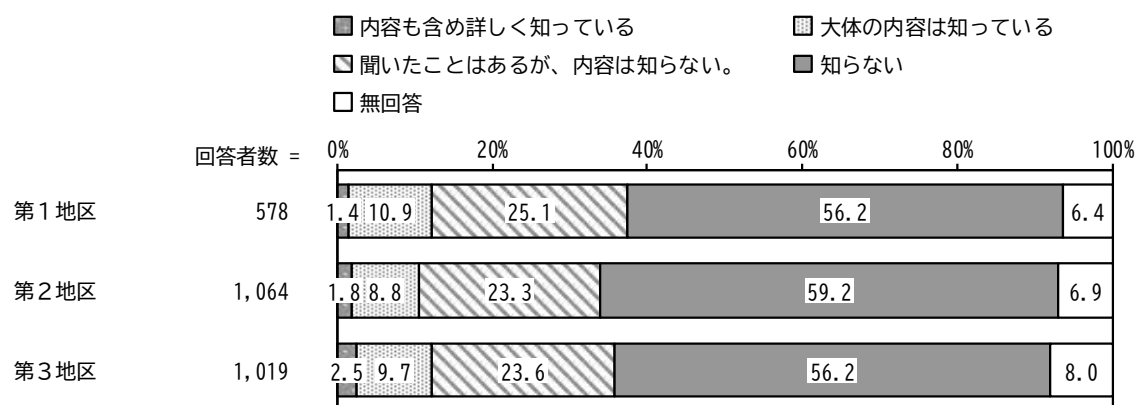
【地区別】

地区別にみると、成木で「大体の内容は知っている」、河辺で「知らない」の割合が高くなっています。



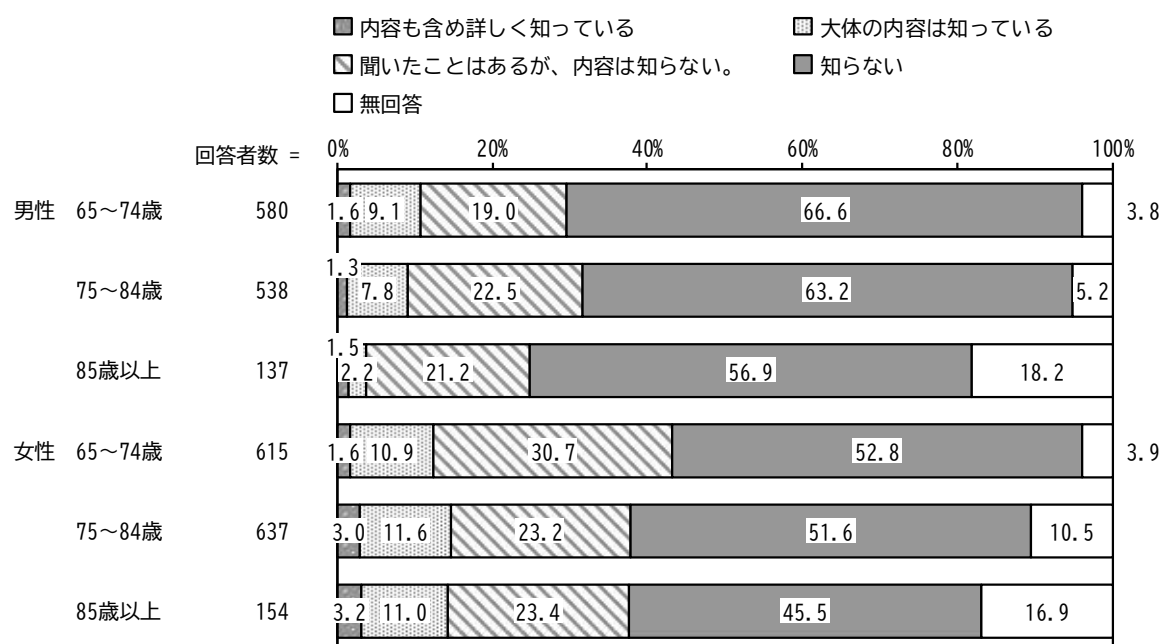
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

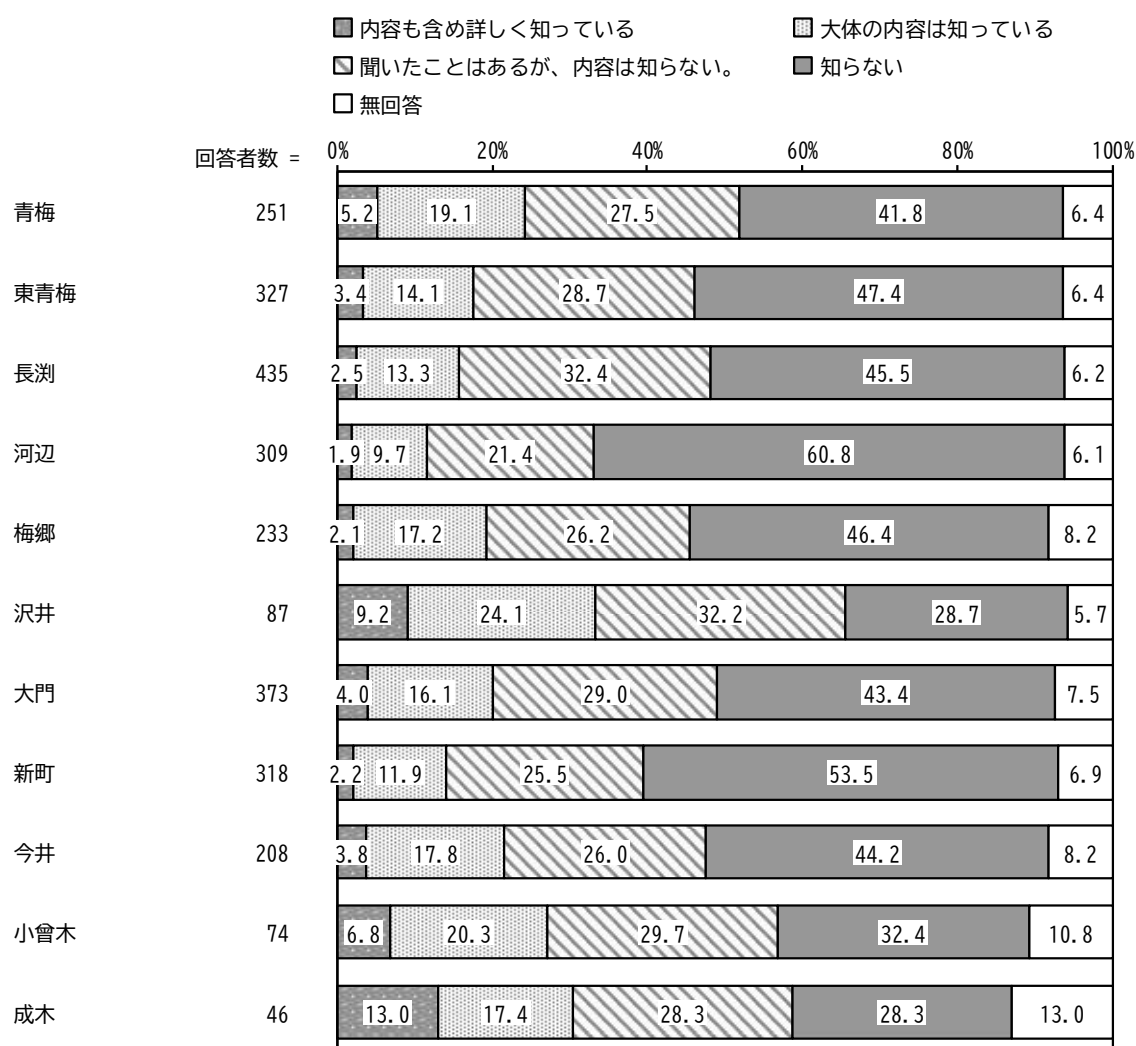
性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「知らない」の割合が高くなっています。



⑧民生児童委員による見守り

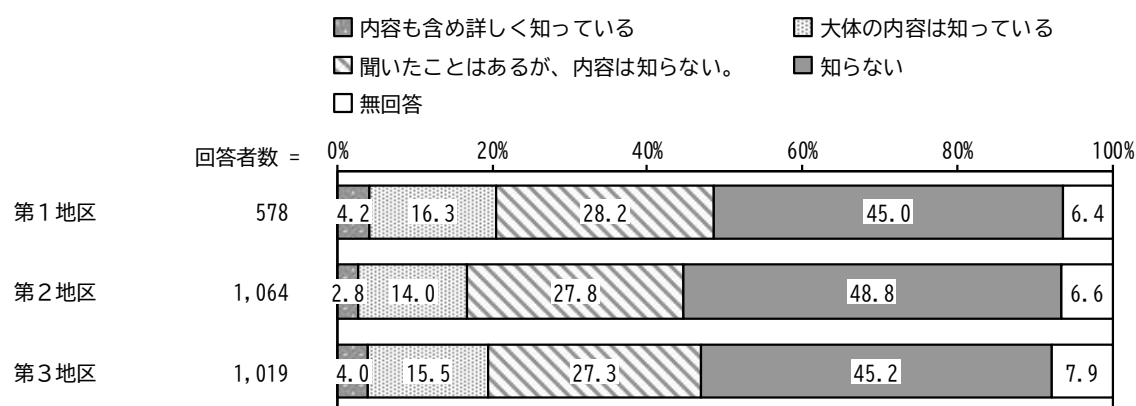
【地区別】

地区別にみると、成木で「内容も含め詳しく知っている」、沢井で「大体の内容は知っている」、河辺で「知らない」の割合が高くなっています。



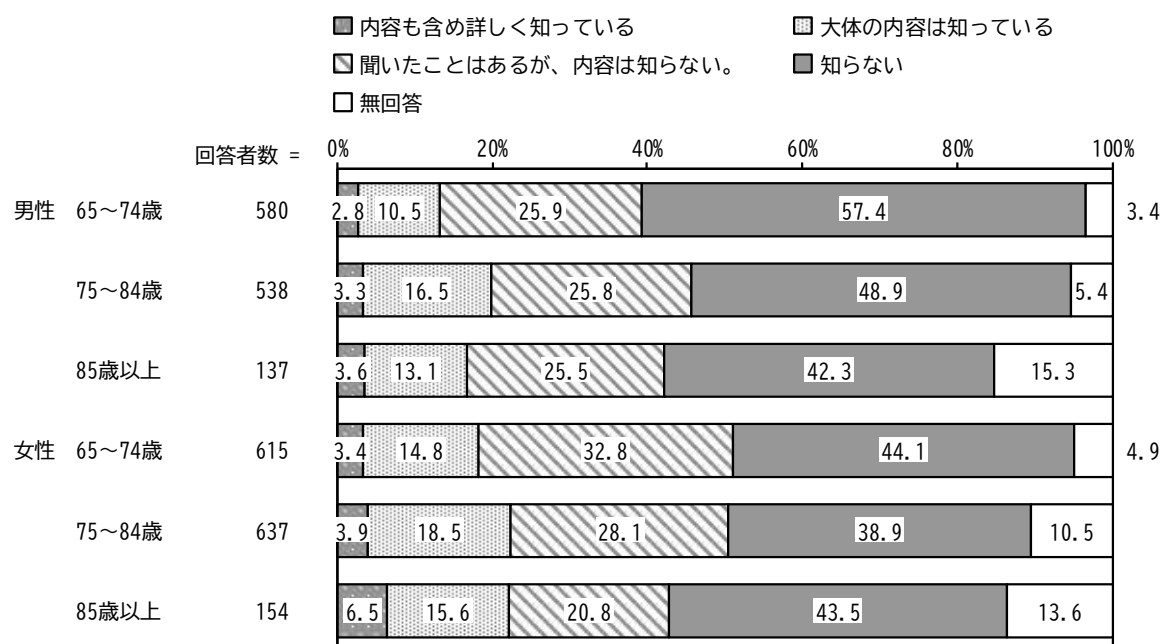
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

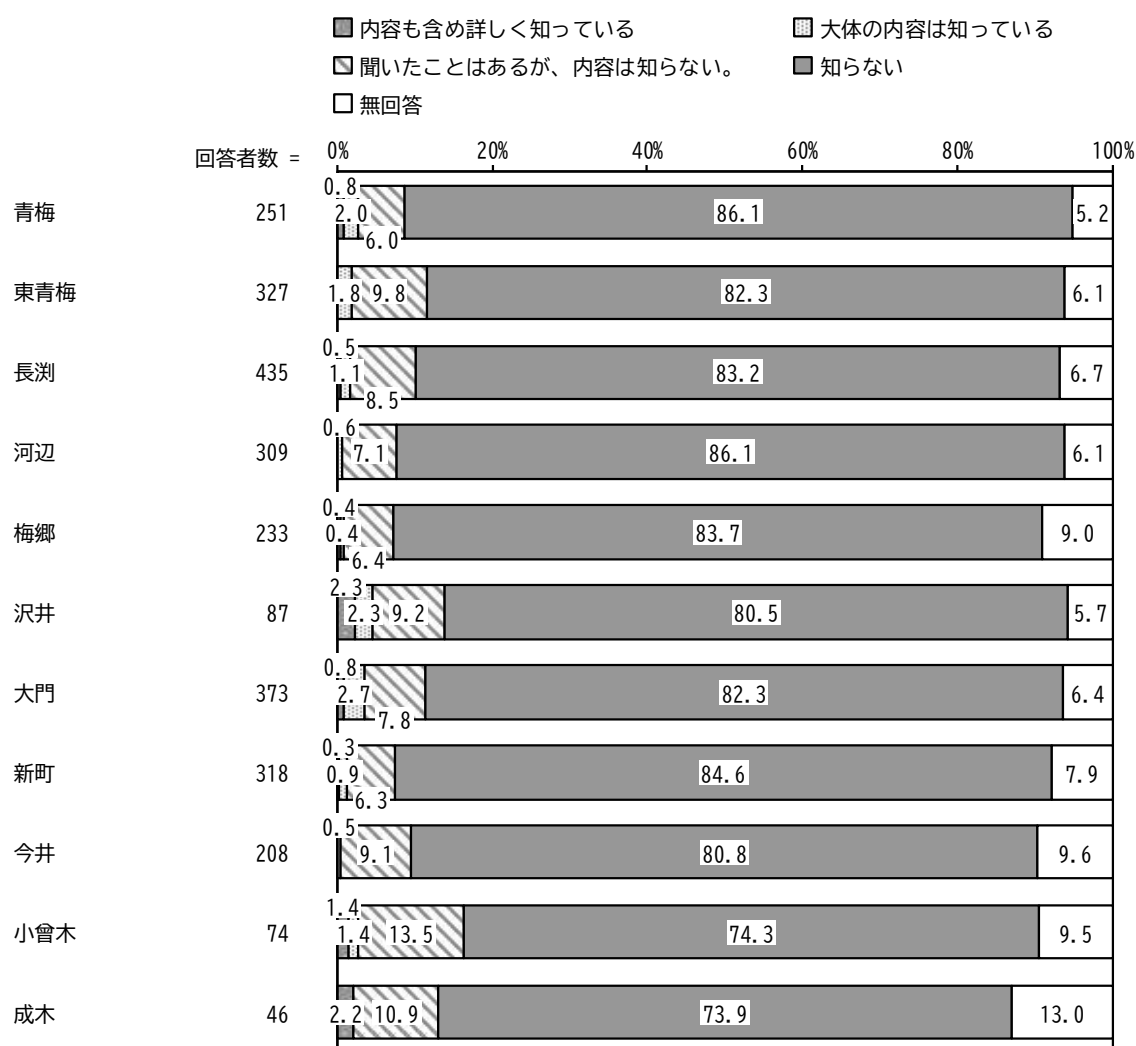
性・年齢別にみると、年齢が下がるほど、男性では「知らない」の割合が高く、女性では「聞いたことはあるが、内容は知らない。」の割合が高くなっています。



⑨チームオレンジ

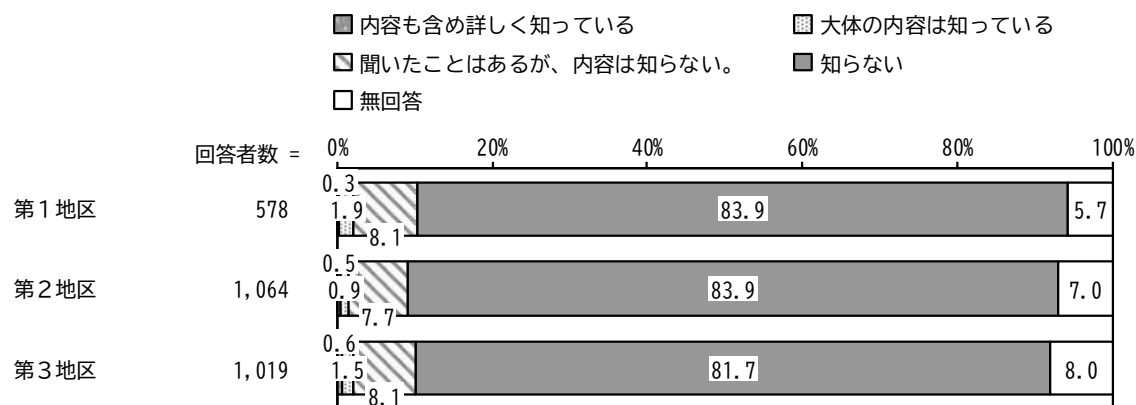
【地区別】

地区別にみると、小曾木で「聞いたことはあるが、内容は知らない。」の割合が高く、小曾木、成木で「知らない」の割合が低くなっています。



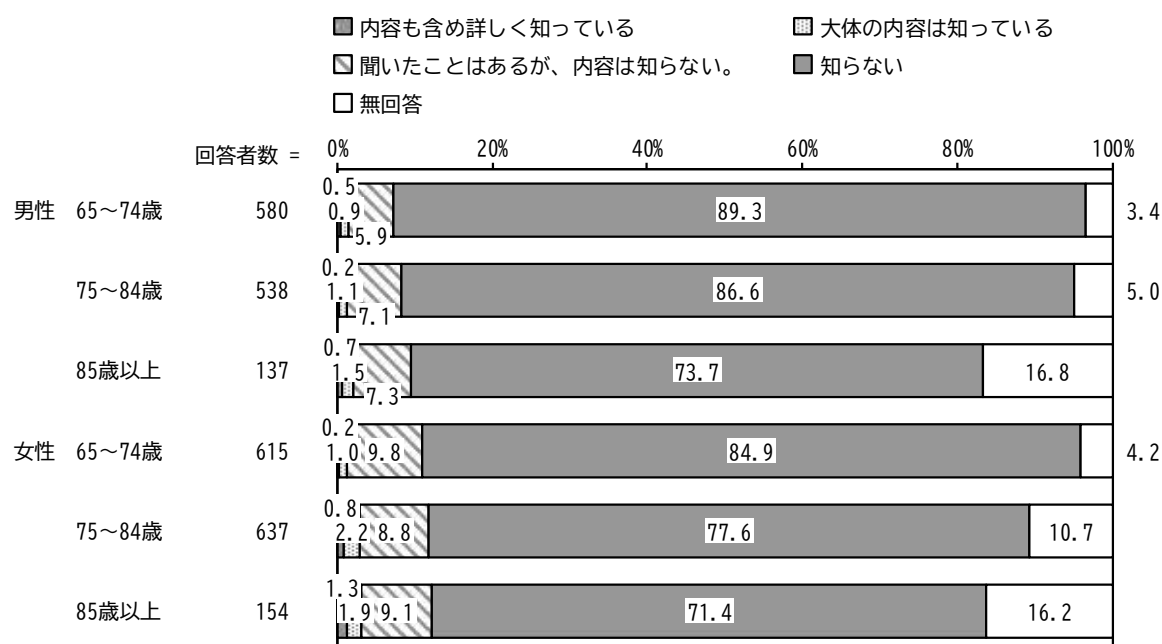
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



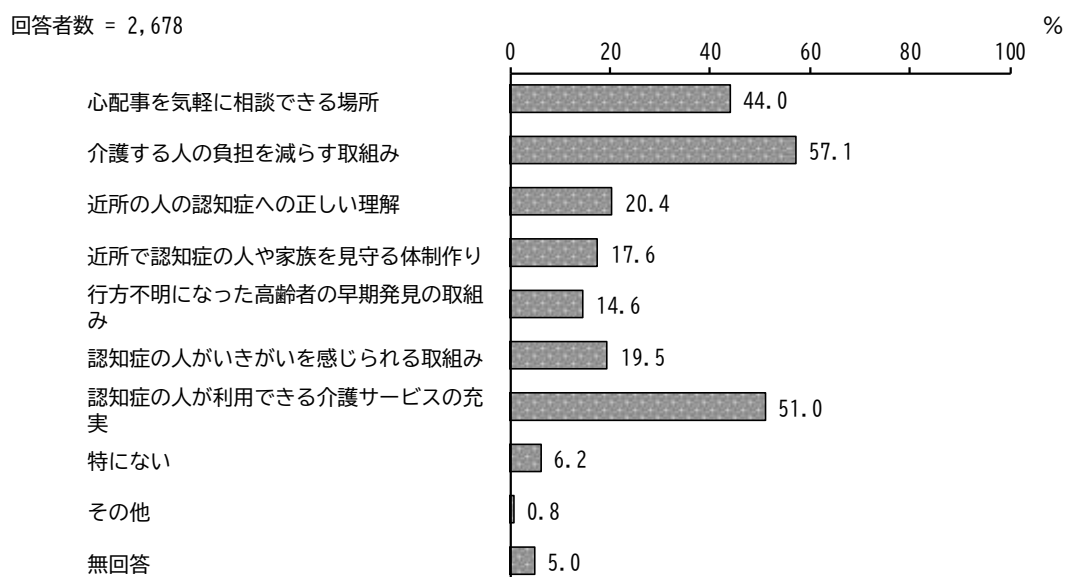
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「知らない」の割合が高くなっています。



(2) 認知症の人が、安心して在宅で暮らせるために必要なものは何だと思われますか (〇は3つまで)

「介護する人の負担を減らす取組み」の割合が57.1%と最も高く、次いで「認知症の人が利用できる介護サービスの充実」の割合が51.0%、「心配事を気軽に相談できる場所」の割合が44.0%となっています。



【地区別】

地区別にみると、沢井で「介護する人の負担を減らす取組み」、沢井、小曾木で「近所の人の認知症への正しい理解」、小曾木で「近所で認知症の人や家族を見守る体制作り」、沢井、成木で「認知症の人がいきがいを感じられる取組み」、成木で「認知症の人が利用できる介護サービスの充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	心配事を気軽に 談できる場所	介護する人の負担 を減らす取組み	近所の人の認知症 への正しい理解	近所で認知症の人 や家族を見守る体 制作り	行方不明になった 高齢者の早期発見 の取組み	認知症の人がいき がいを感じられる 取組み	認知症の人が利用 できる介護サービ スの充実	特 に ない	そ の 他	無 回 答
全 体	2,678	44.0	57.1	20.4	17.6	14.6	19.5	51.0	6.2	0.8	5.0
青梅	251	37.5	57.0	19.9	18.3	16.3	17.9	49.8	5.6	0.8	6.0
東青梅	327	47.4	59.9	19.3	18.7	16.8	18.0	52.6	4.9	0.9	3.4
長淵	435	43.0	55.2	18.6	18.9	14.3	17.7	52.2	6.9	0.5	6.4
河辺	309	41.4	55.3	22.0	15.9	12.9	23.6	50.2	7.1	0.6	4.9
梅郷	233	45.5	60.1	21.0	19.3	11.2	18.5	54.5	5.2	0.9	4.7
沢井	87	41.4	62.1	27.6	16.1	12.6	28.7	51.7	5.7	0.0	4.6
大門	373	46.6	56.0	18.5	18.2	15.5	20.1	53.9	6.2	0.8	4.8
新町	318	45.9	58.5	19.2	14.2	14.8	15.4	48.4	5.3	1.6	6.0
今井	208	45.2	54.3	24.0	13.5	15.4	23.1	45.2	8.2	1.0	4.8
小曾木	74	41.9	54.1	25.7	31.1	10.8	17.6	44.6	8.1	0.0	2.7
成木	46	47.8	58.7	17.4	17.4	15.2	26.1	56.5	4.3	0.0	4.3

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	心配事を気軽に 談できる場所	介護する人の負担 を減らす取組み	近所の人の認知症 への正しい理解	近所で認知症の人 や家族を見守る体 制作り	行方不明になった 高齢者の早期発見 の取組み	認知症の人がいき がいを感じられる 取組み	認知症の人が利用 できる介護サービ スの充実	特 に ない	そ の 他	無 回 答
全 体	2,678	44.0	57.1	20.4	17.6	14.6	19.5	51.0	6.2	0.8	5.0
第1地区	578	43.1	58.7	19.6	18.5	16.6	18.0	51.4	5.2	0.9	4.5
第2地区	1,064	43.0	56.9	20.9	17.9	13.1	20.5	52.1	6.5	0.6	5.5
第3地区	1,019	45.8	56.4	20.3	16.9	14.9	19.3	49.9	6.4	1.0	5.0

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「介護する人の負担を減らす取組み」「認知症の人が利用できる介護サービスの充実」の割合が高く、男性では「心配事を気軽に相談できる場所」の割合が低くなっています。

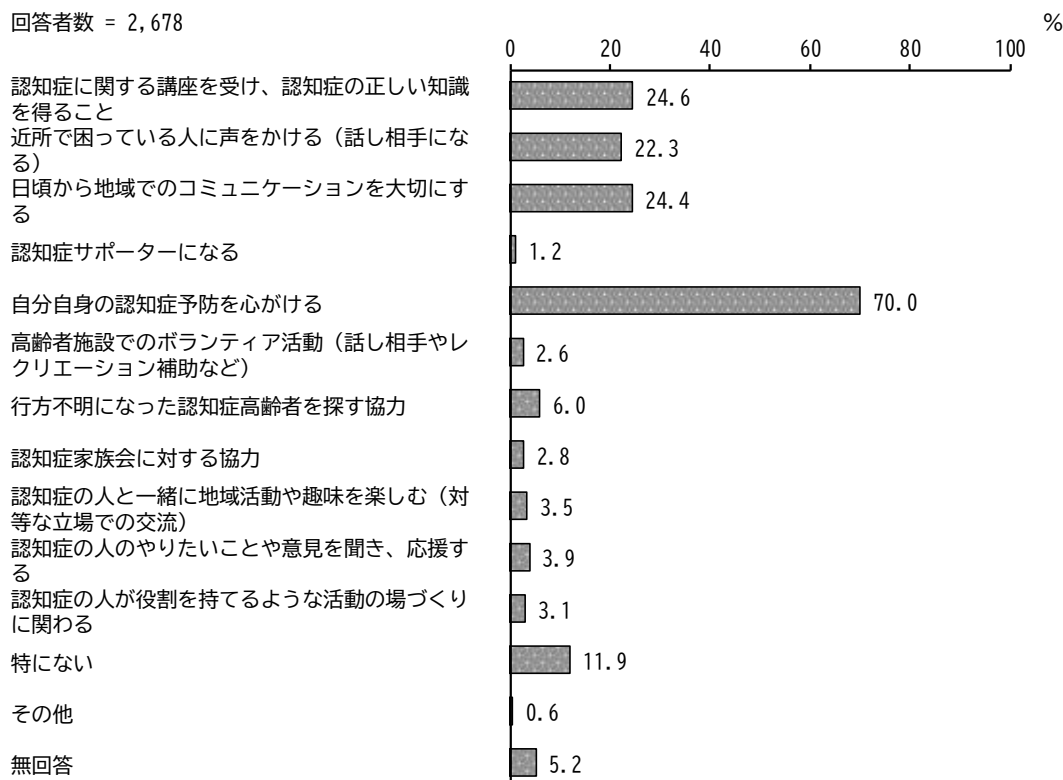
単位：％

区分	回答者数 (件)	心配事を気軽に 相談できる場所	介護する人の負担 を減らす取組み	近所の人の認知症 への正しい理解	近所で認知症の人 や家族を見守る体 制作り	行方不明になった 高齢者の早期発見 の取組み	認知症の人がいき なりを感じられる 取組み	認知症の人が利用 できる介護サービ スの充実	特にな	その他	無回答
全 体	2,678	44.0	57.1	20.4	17.6	14.6	19.5	51.0	6.2	0.8	5.0
男性 65～74歳	580	40.3	59.3	16.4	16.9	14.8	17.4	52.4	8.3	1.6	2.1
75～84歳	538	43.3	50.0	19.0	20.1	16.4	19.0	45.4	9.9	0.7	5.2
85歳以上	137	45.3	43.8	19.0	14.6	16.8	18.2	40.1	7.3	0.0	12.4
女性 65～74歳	615	46.5	68.8	22.4	18.2	12.7	20.5	60.7	2.1	0.5	2.1
75～84歳	637	45.5	54.9	23.2	16.8	13.7	19.6	48.8	4.7	0.6	7.8
85歳以上	154	44.2	47.4	21.4	15.6	16.2	26.0	46.8	6.5	0.6	9.7

(3) 地域においてあなたができることは何ですか (〇は3つまで)

「自分自身の認知症予防を心がける」の割合が70.0%と最も高く、次いで「認知症に関する講座を受け、認知症の正しい知識を得ること」の割合が24.6%、「日頃から地域でのコミュニケーションを大切にする」の割合が24.4%となっています。

回答者数 = 2,678



【地区別】

地区別にみると、河辺で「認知症に関する講座を受け、認知症の正しい知識を得ること」、成木で「近所で困っている人に声をかける（話し相手になる）」、沢井、成木で「日頃から地域でのコミュニケーションを大切にする」、今井で「行方不明になった認知症高齢者を探す協力」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	認知症に関する講座を受け、認知症の正しい知識を得ること	近所で困っている人に声をかける（話し相手になる）	日頃から地域でのコミュニケーションを大切にする	認知症サポーターになる	自分自身の認知症予防を心がける	高齢者施設でのボランティア活動（話し相手やレクリエーション補助など）	行方不明になった認知症高齢者を探す協力
全 体	2,678	24.6	22.3	24.4	1.2	70.0	2.6	6.0
青梅	251	17.9	24.7	25.5	1.2	67.7	2.0	6.4
東青梅	327	27.5	17.4	24.5	1.5	72.5	2.8	7.0
長淵	435	26.2	22.3	24.1	0.9	68.0	3.7	3.7
河辺	309	30.7	19.7	18.8	1.9	69.9	1.3	5.5
梅郷	233	23.2	24.5	28.3	1.3	70.0	1.3	7.7
沢井	87	12.6	33.3	32.2	2.3	66.7	5.7	4.6
大門	373	25.5	22.5	25.5	1.3	70.2	3.5	4.8
新町	318	23.9	16.7	26.4	0.3	70.8	2.2	5.0
今井	208	23.6	23.1	19.7	0.5	73.1	1.0	11.1
小曾木	74	21.6	35.1	23.0	1.4	68.9	4.1	8.1
成木	46	21.7	45.7	30.4	0.0	69.6	2.2	8.7

区分	認知症家族会に対する協力	認知症の人と一緒に地域活動や趣味を楽しむ（対等な立場での交流）	認知症の人のやりたいことや意見を聞き、応援する	認知症の人が役割を持てるような活動の場づくりに関わる	特にない	その他	無回答
全 体	2.8	3.5	3.9	3.1	11.9	0.6	5.2
青梅	4.0	4.0	3.6	3.2	13.1	0.0	5.6
東青梅	2.8	4.0	4.3	3.4	9.2	1.8	3.7
長淵	3.2	2.3	4.1	3.7	14.3	1.1	5.3
河辺	2.3	5.2	2.6	5.2	13.3	0.6	4.9
梅郷	2.1	4.3	2.1	1.7	10.3	0.4	6.9
沢井	2.3	5.7	3.4	2.3	14.9	0.0	6.9
大門	3.5	2.7	4.8	2.4	11.3	0.3	5.9
新町	1.6	2.8	4.1	2.5	11.6	0.3	5.0
今井	2.4	2.9	4.8	2.9	13.0	0.5	4.3
小曾木	6.8	5.4	5.4	5.4	9.5	0.0	4.1
成木	0.0	2.2	6.5	0.0	6.5	0.0	4.3

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数（件）	認知症に関する講座を受け、認知症の正しい知識を得ること	近所で困っている人に声をかける（話し相手になる）	日頃から地域でのコミュニケーションを大切にしている	認知症サポーターになる	自分自身の認知症予防を心がける	高齢者施設でのボランティア活動（話し相手やレクリエーション補助など）	行方不明になった認知症高齢者を探す協力
全 体	2,678	24.6	22.3	24.4	1.2	70.0	2.6	6.0
第1地区	578	23.4	20.6	24.9	1.4	70.4	2.4	6.7
第2地区	1,064	25.8	22.9	24.2	1.4	68.9	2.6	5.2
第3地区	1,019	24.1	22.8	24.6	0.8	70.9	2.6	6.6

区分	認知症家族会に対する協力	認知症の人と一緒に地域活動や趣味を楽しむ（対等な立場での交流）	認知症の人のやりたいことや意見を聞き、応援する	認知症の人が役割を持てるような活動の場づくりに関わる	特にない	その他	無回答
全 体	2.8	3.5	3.9	3.1	11.9	0.6	5.2
第1地区	3.3	4.0	4.0	3.3	10.9	1.0	4.5
第2地区	2.6	3.9	3.2	3.6	13.2	0.8	5.6
第3地区	2.7	2.9	4.7	2.6	11.4	0.3	5.1

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が下がるほど、男性では「認知症に関する講座を受け、認知症の正しい知識を得ること」の割合が高く、女性では「認知症に関する講座を受け、認知症の正しい知識を得ること」「日頃から地域でのコミュニケーションを大切にする」「自分自身の認知症予防を心がける」の割合が高くなっています。

単位：％

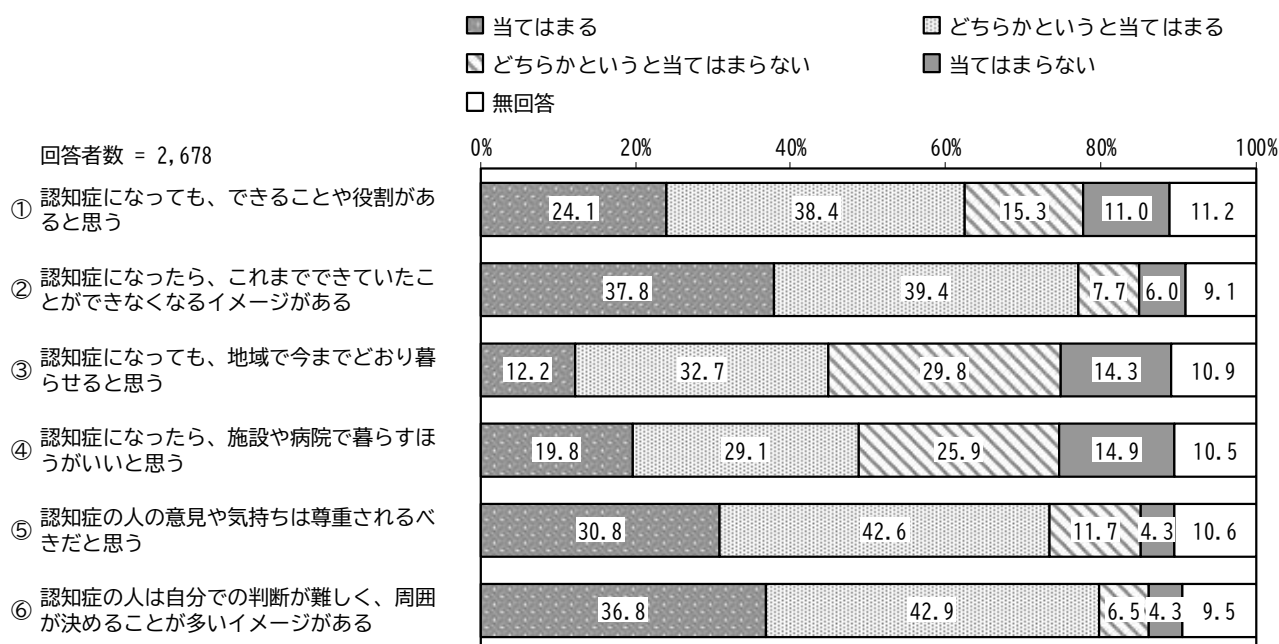
区分	回答者数 (件)	認知症に関する講座を受け、認知症の正しい知識を得ること	近所で困っている人に声をかける (話し相手になる)	日頃から地域でのコミュニケーションを大切にする	認知症サポーターになる	自分自身の認知症予防を心がける	高齢者施設でのボランティア活動(話し相手やレクリエーション補助など)	行方不明になった認知症高齢者を探す協力
全 体	2,678	24.6	22.3	24.4	1.2	70.0	2.6	6.0
男性 65～74歳	580	25.3	18.4	23.4	1.0	65.0	1.9	9.8
75～84歳	538	21.7	18.6	24.5	1.1	69.5	2.2	8.7
85歳以上	137	18.2	19.0	19.7	2.2	58.4	1.5	5.8
女性 65～74歳	615	28.1	24.9	26.5	1.0	74.8	5.0	5.2
75～84歳	637	24.6	27.3	25.4	1.1	72.8	1.4	2.0
85歳以上	154	23.4	22.7	20.8	1.9	69.5	1.9	2.6

区分	認知症家族会に対する協力	認知症の人と一緒に地域活動や趣味を楽しむ(対等な立場での交流)	認知症の人のやりたいことや意見を聞き、応援する	認知症の人が役割を持てるような活動の場づくりに関わる	特 に な い	そ の 他	無 回 答
全 体	2.8	3.5	3.9	3.1	11.9	0.6	5.2
男性 65～74歳	1.9	2.6	3.4	2.6	18.1	0.5	1.6
75～84歳	1.7	2.6	3.7	3.2	14.1	0.6	5.2
85歳以上	4.4	1.5	3.6	1.5	13.1	0.0	15.3
女性 65～74歳	4.1	4.7	4.1	4.6	8.0	0.5	2.8
75～84歳	3.6	3.6	4.4	2.8	7.8	1.3	7.8
85歳以上	0.6	7.1	4.5	2.6	13.6	0.0	8.4

(4) 認知症に対する考え方について、あなたのイメージに該当するものを選んでください。

※①－⑥それぞれに回答してください

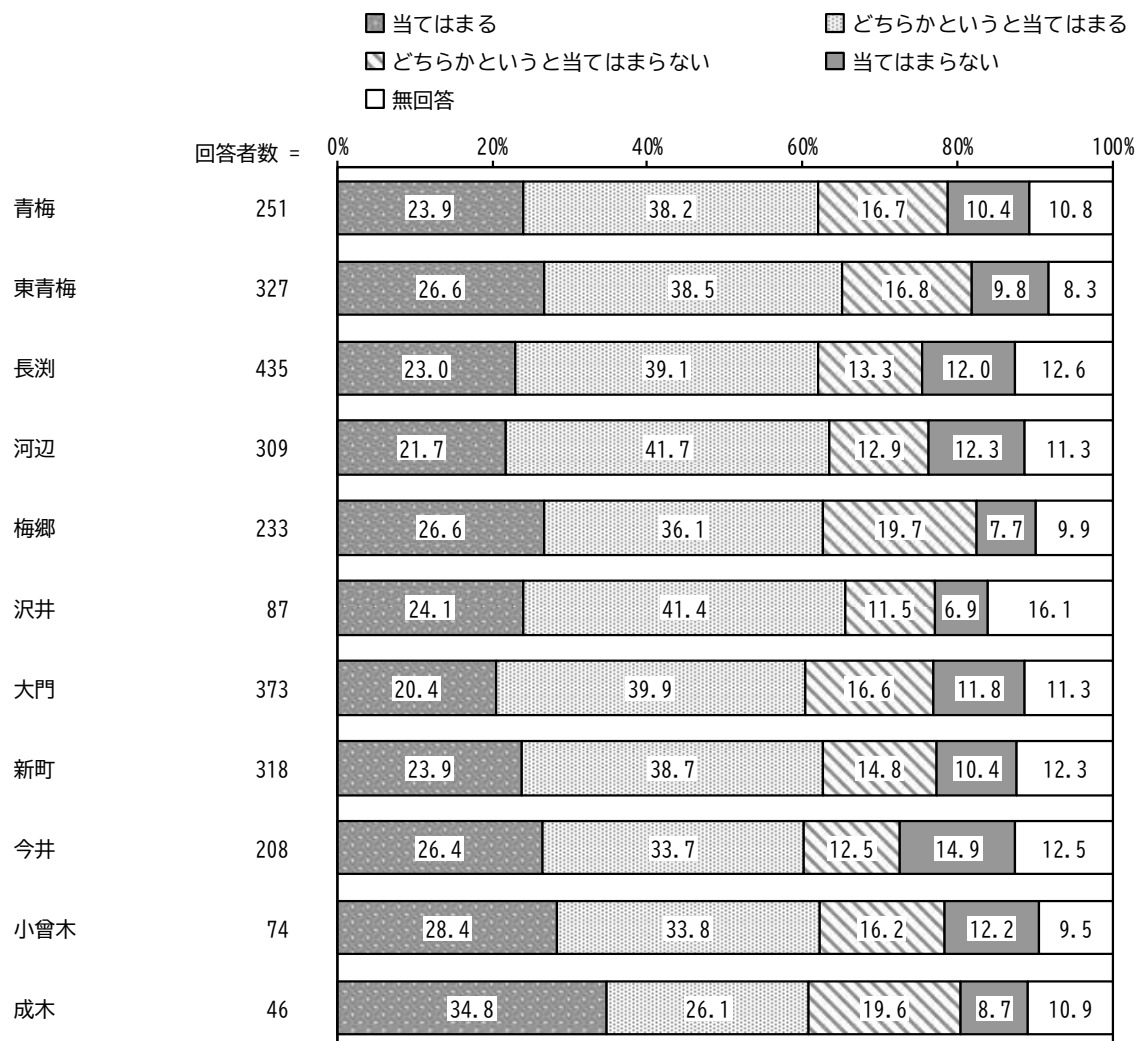
『②認知症になったら、これまでできていたことができなくなるイメージがある』で「当てはまる」が、『⑥認知症の人は自分での判断が難しく、周囲が決めることが多いイメージがある』で「どちらか」というと当てはまる」が、『③認知症になっても、地域で今までどおり暮らせると思う』で「どちらか」というと当てはまらない」が、『④認知症になったら、施設や病院で暮らすほうがいいと思う』で「当てはまらない」が高くなっています。



①認知症になっても、できることや役割があると思う

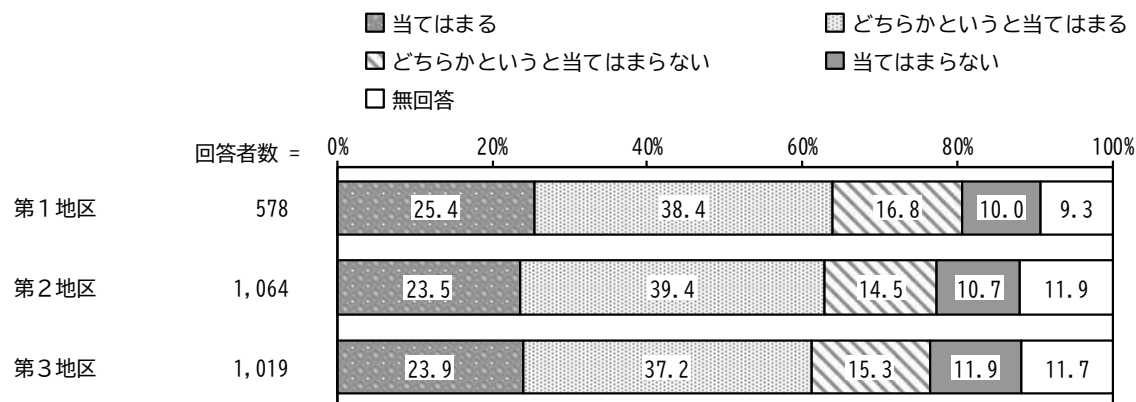
【地区別】

地区別にみると、沢井で“当てはまらない”の割合が低くなっています。



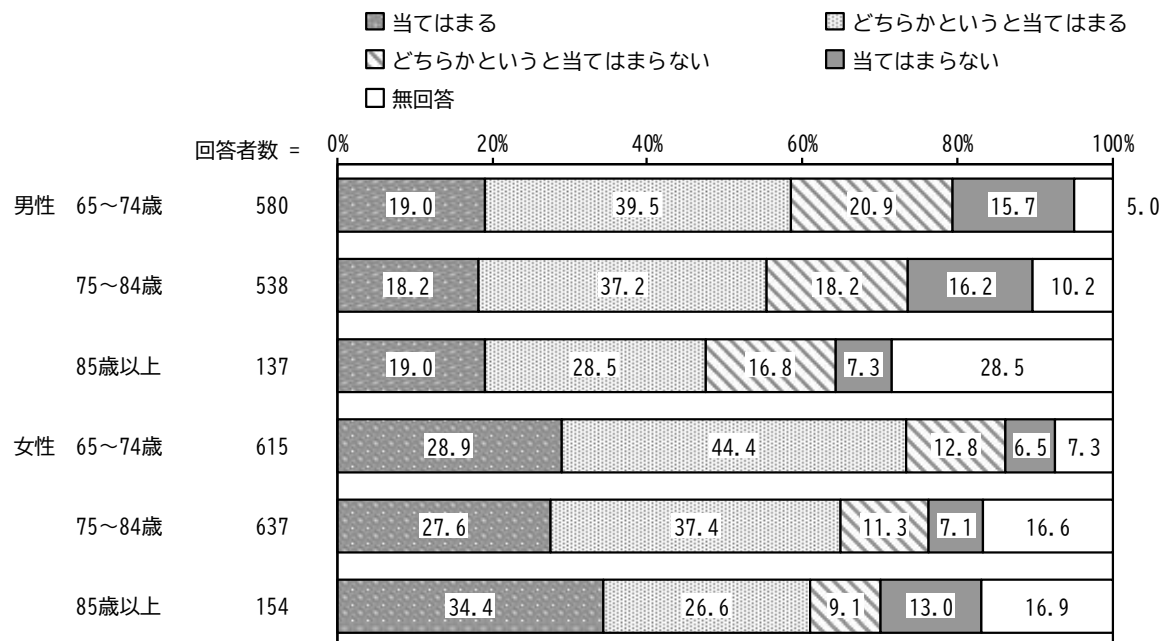
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

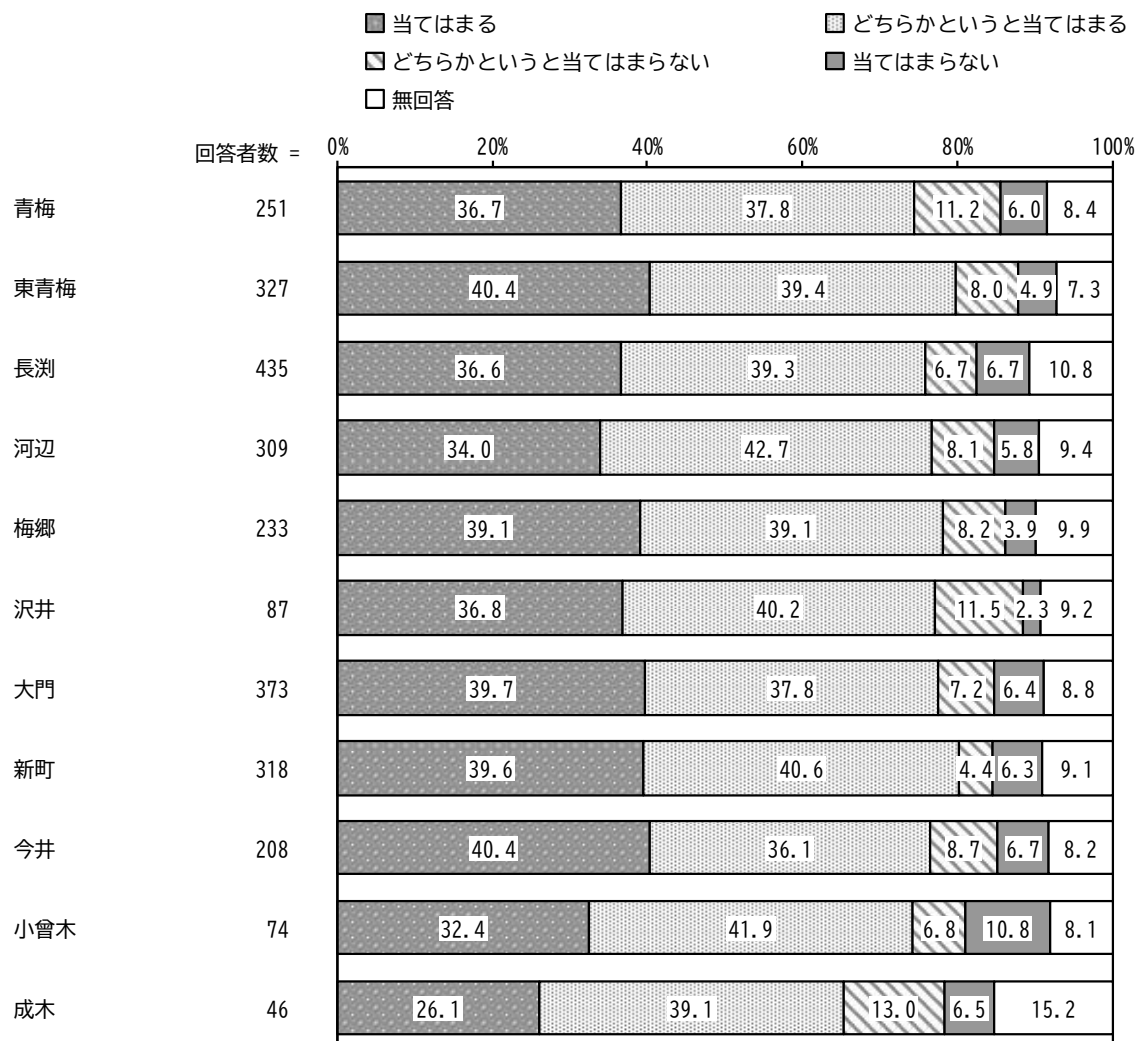
性・年齢別にみると、年齢が下がるほど、男性では“当てはまる”“当てはまらない”の割合が高く、女性では“当てはまる”の割合が高くなっています。また、85歳以上で「当てはまる」の割合が高く、「どちらかという当てはまる」の割合が低くなっています。



②認知症になったら、これまでできていたことができなくなるイメージがある

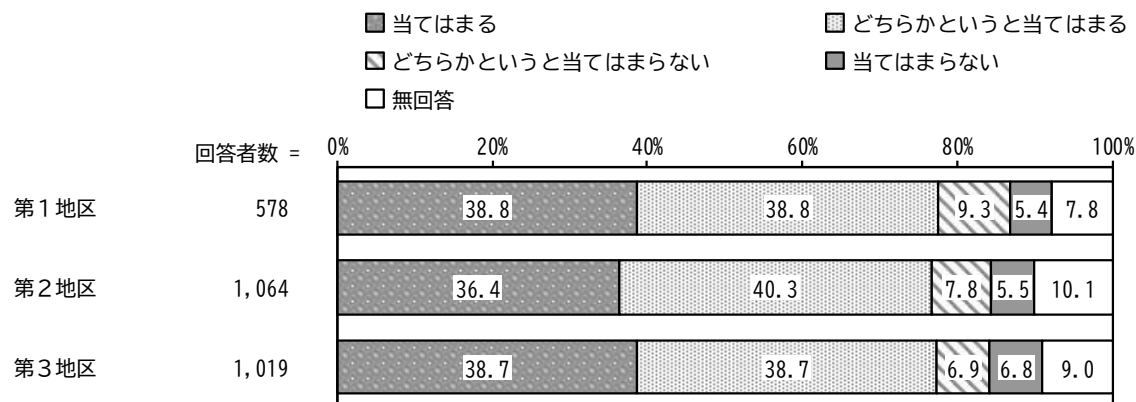
【地区別】

地区別にみると、成木で“当てはまる”の割合が低くなっています。



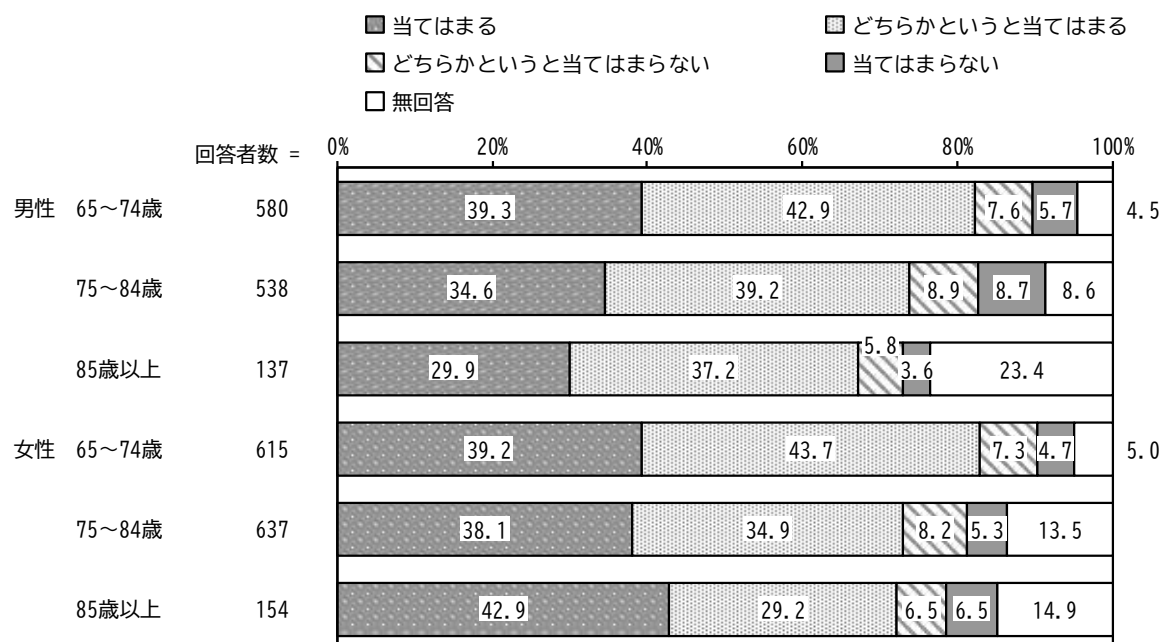
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

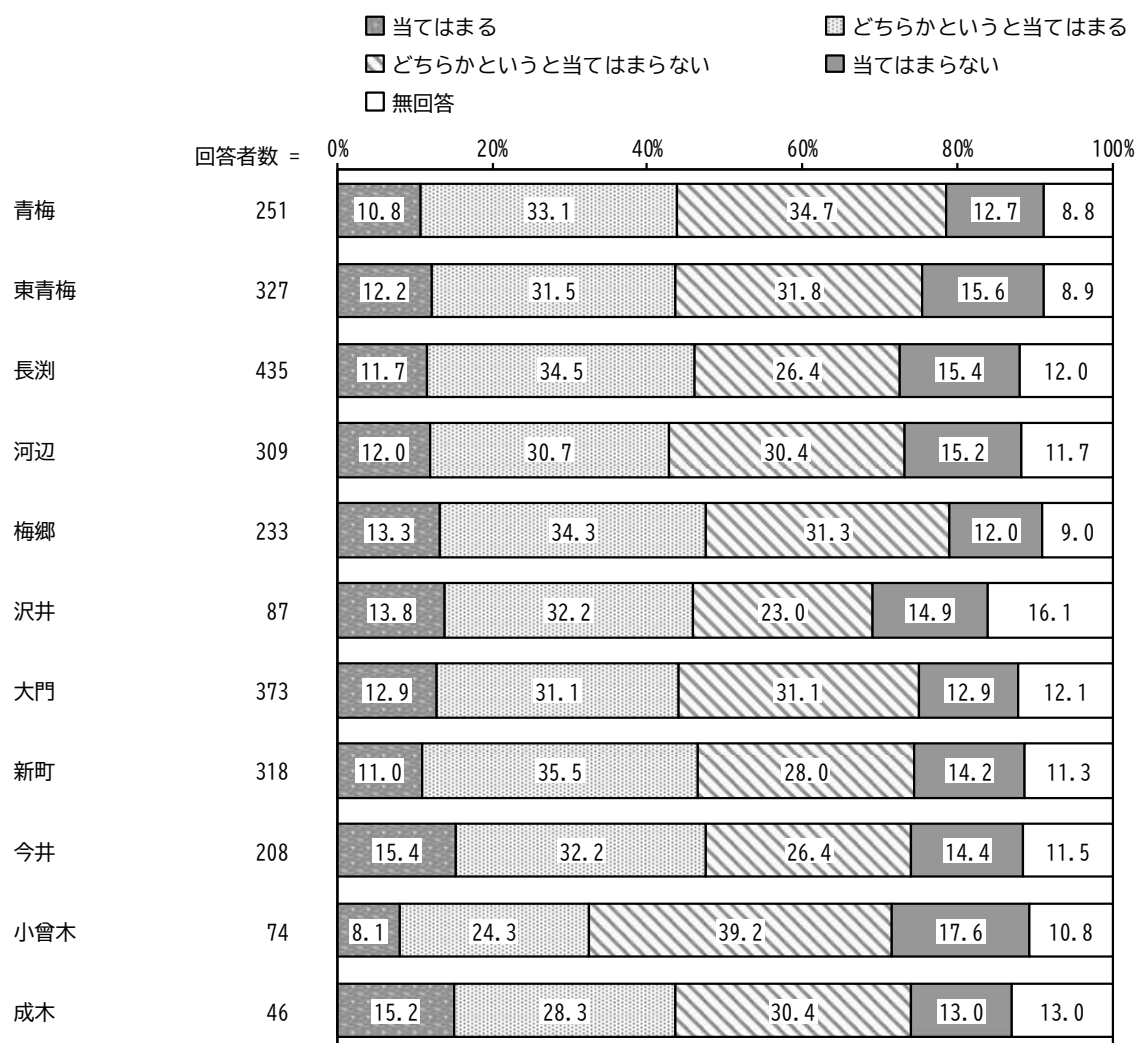
性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど“当てはまる”の割合が高くなっています。また、85歳以上で「どちらかという当てはまる」の割合が低くなっています。



③認知症になっても、地域で今までどおり暮らせると思う

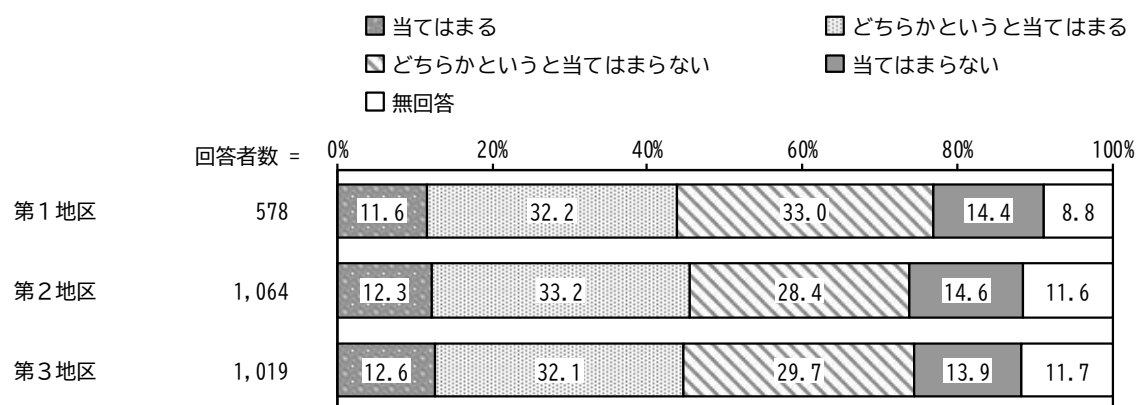
【地区別】

地区別にみると、小曾木で“当てはまらない”の割合が高くなっています。



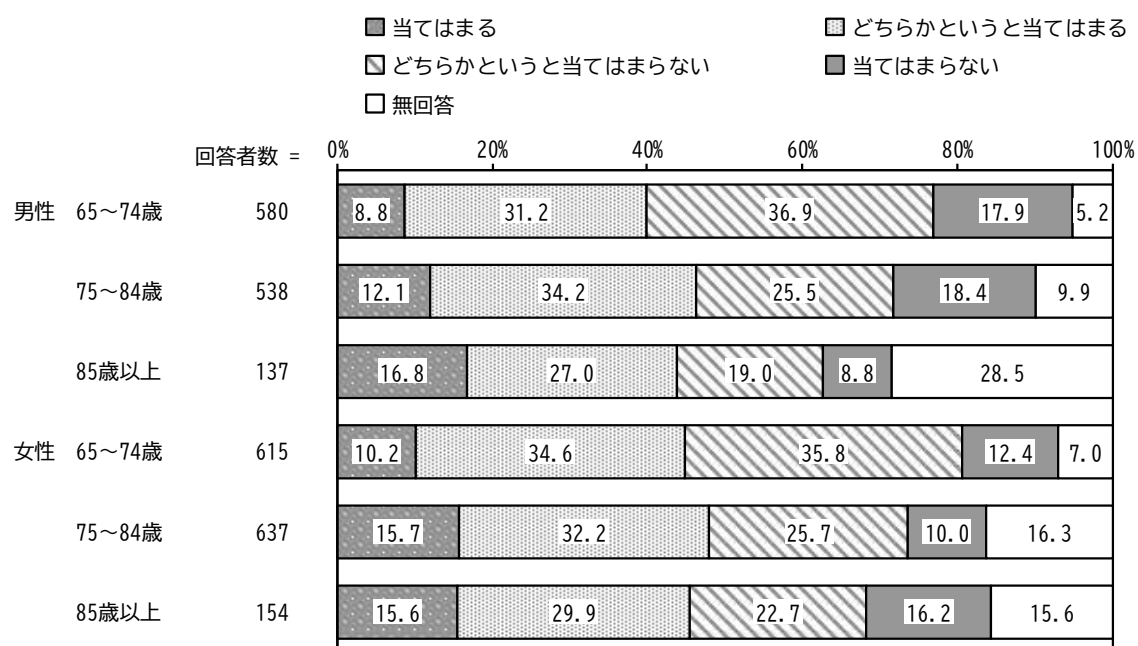
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

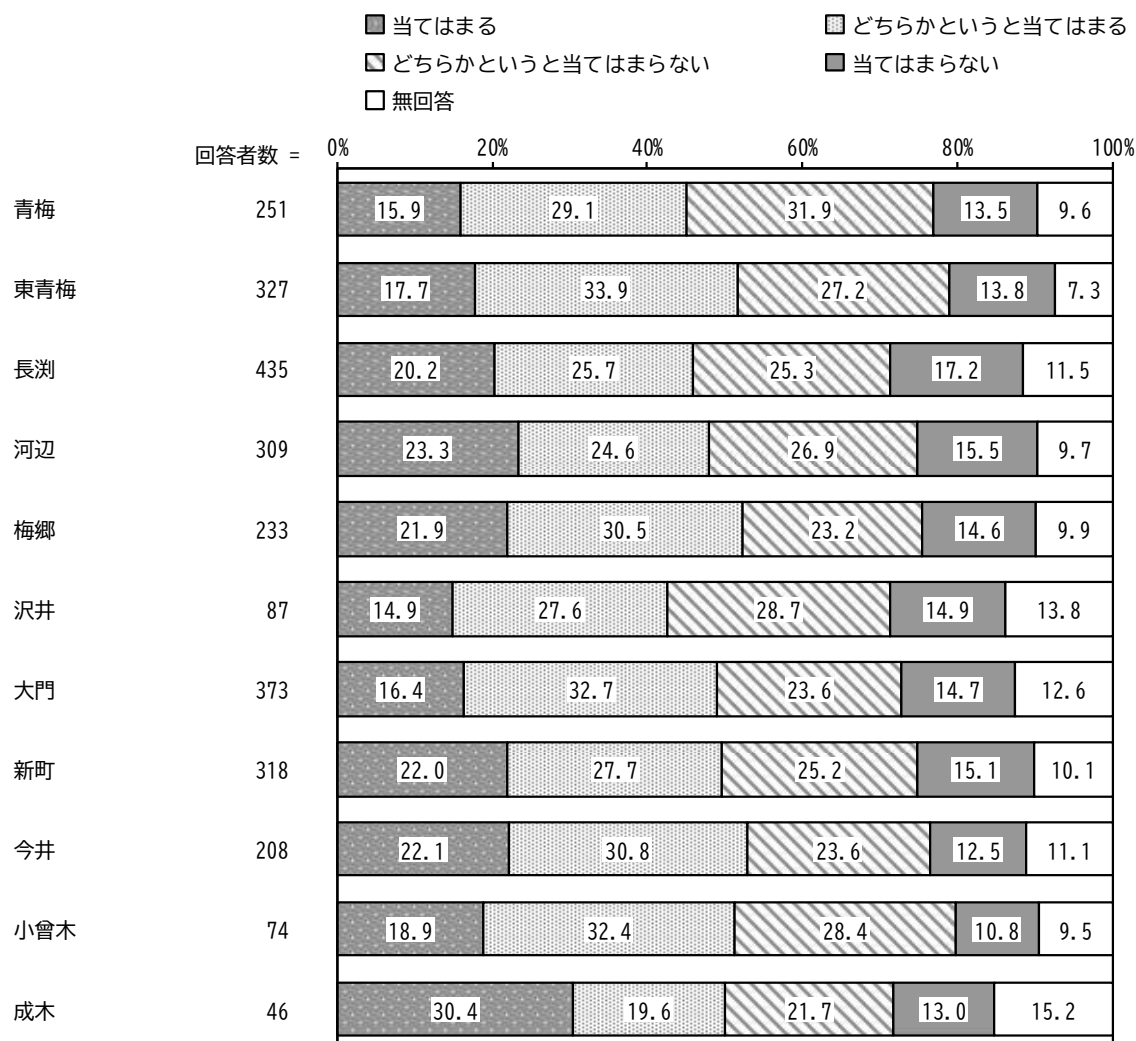
性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど“当てはまらない”の割合が高くなっています。



④認知症になったら、施設や病院で暮らすほうがいいと思う

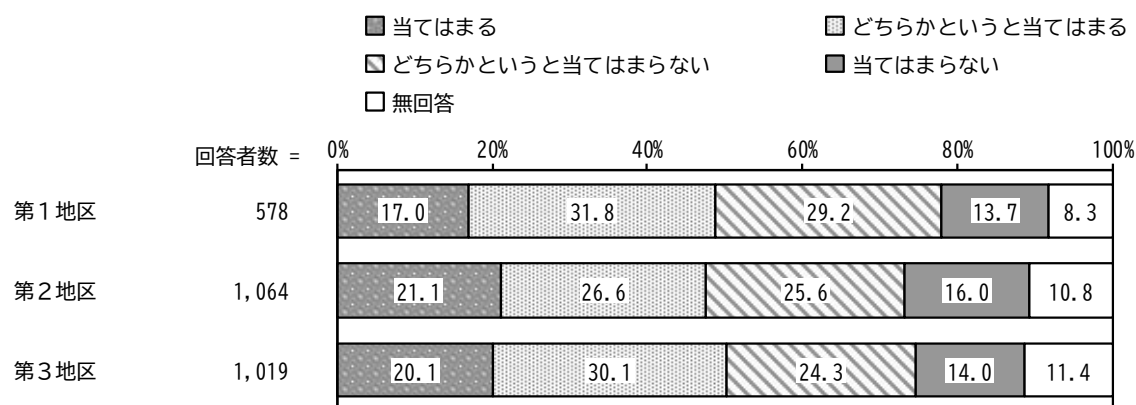
【地区別】

地区別にみると、沢井で“当てはまる”、成木で“当てはまらない”の割合が低くなっています。



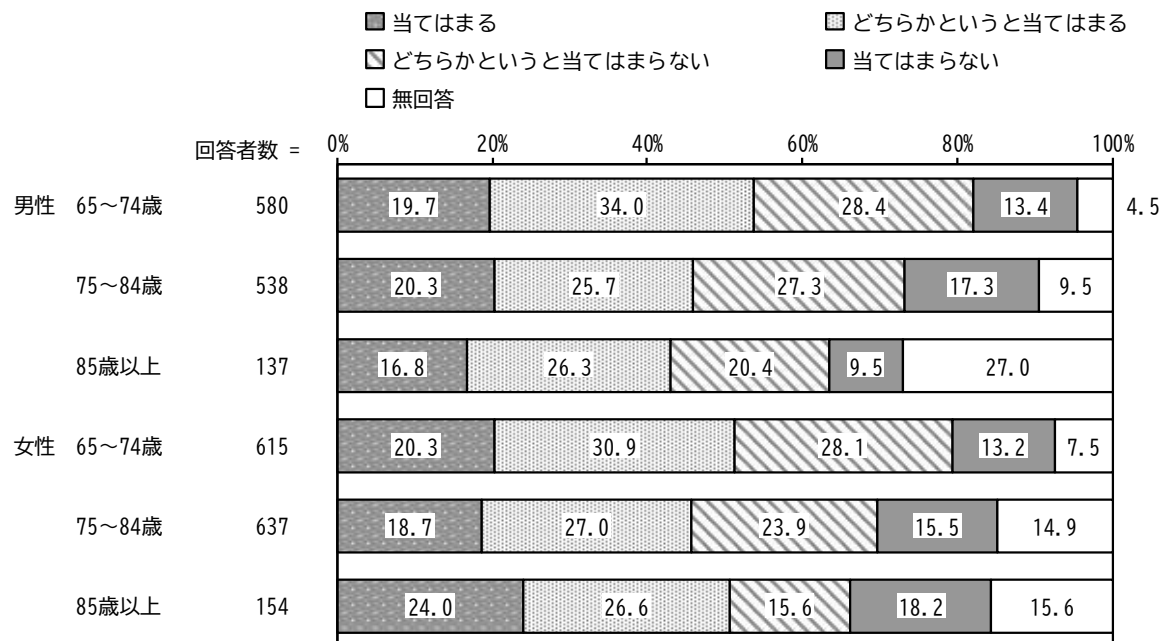
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

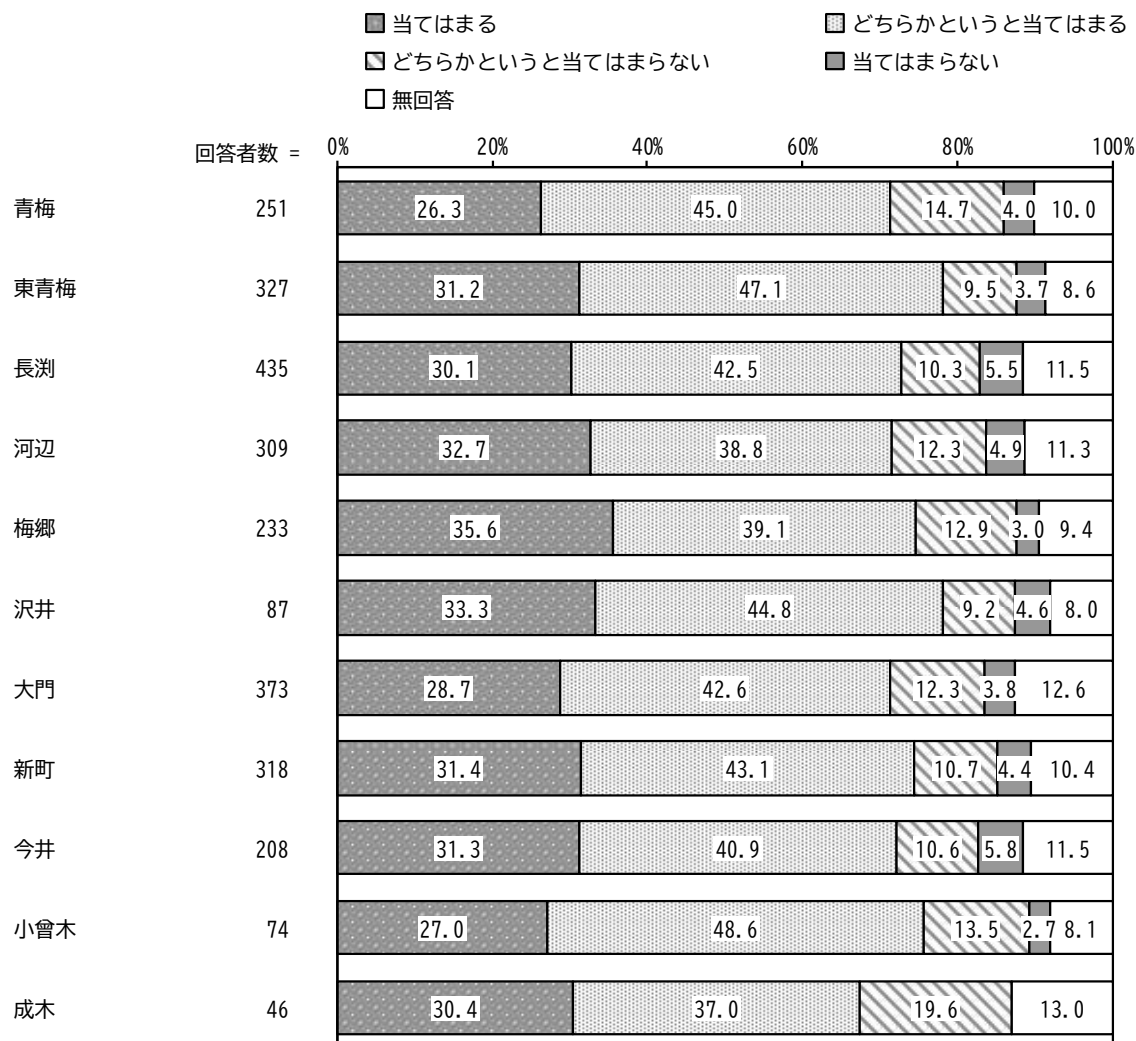
性・年齢別にみると、年齢が下がるほど、男性では“当てはまる”の割合が高く、女性では“当てはまらない”の割合が高くなっています。また、85歳以上で「どちらかという当てはまらない」の割合が低くなっています。



⑤認知症の人の意見や気持ちは尊重されるべきだと思う

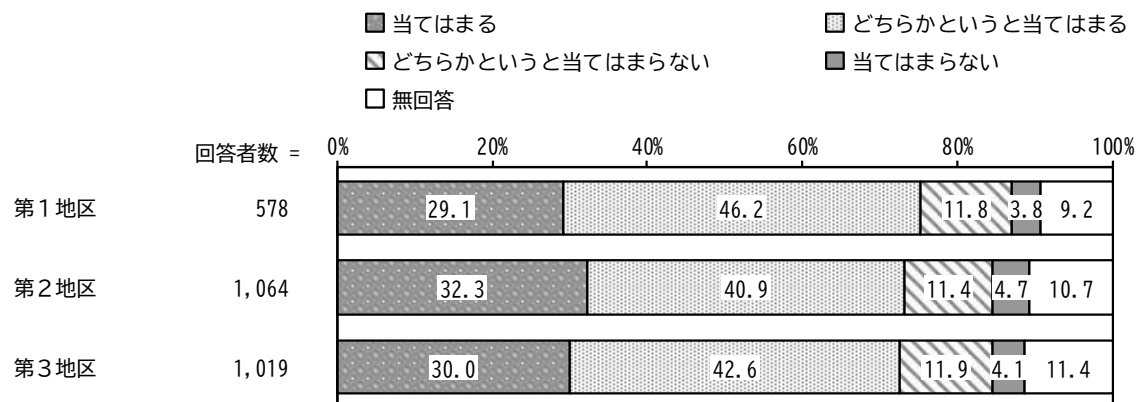
【地区別】

地区別にみると、成木で“当てはまる”の割合が低くなっています。



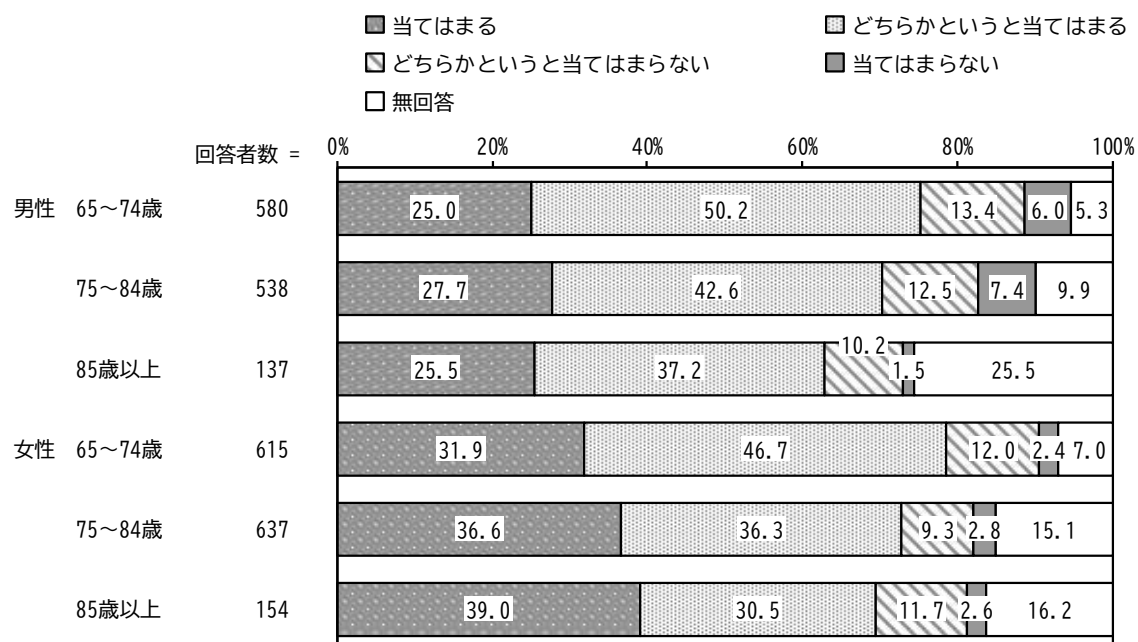
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

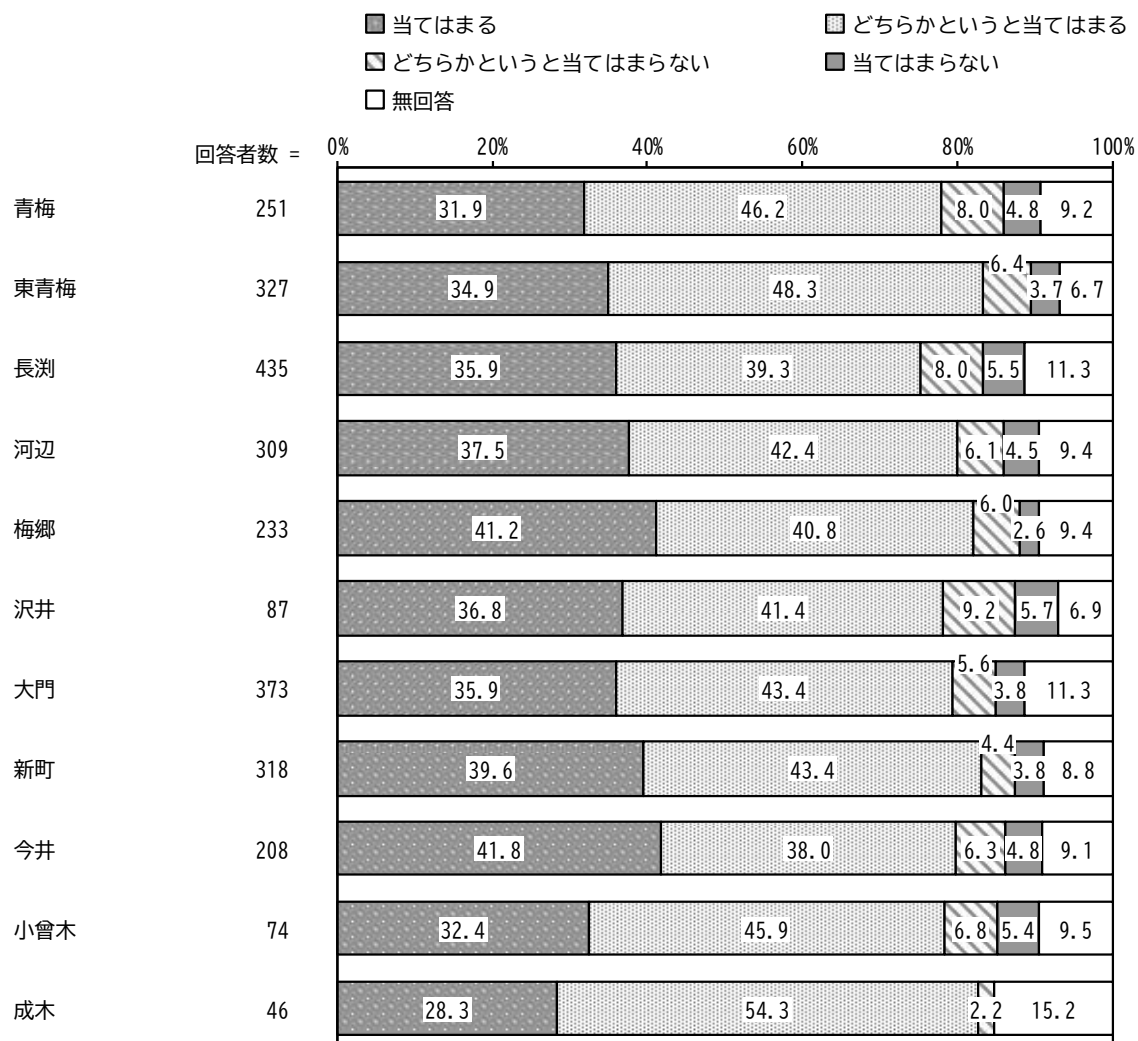
性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど“当てはまる”の割合が高くなっています。また、女性 85 歳以上で「どちらかという当てはまる」の割合が低くなっています。



⑥認知症の人は自分での判断が難しく、周囲が決めることが多いイメージがある

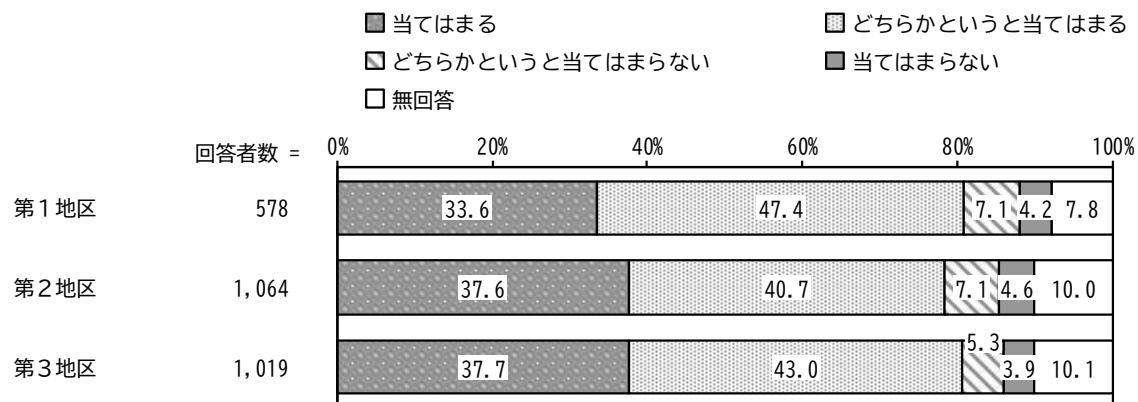
【地区別】

地区別にみると、成木で“当てはまらない”の割合が低くなっています。



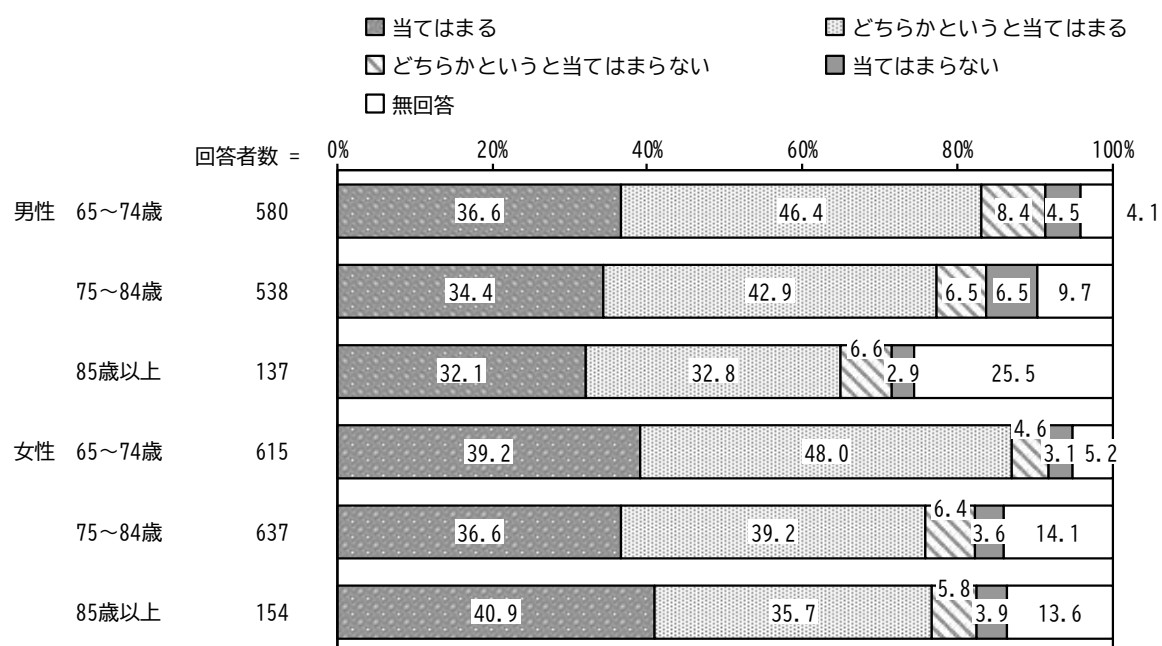
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど“当てはまる”の割合が高くなっています。

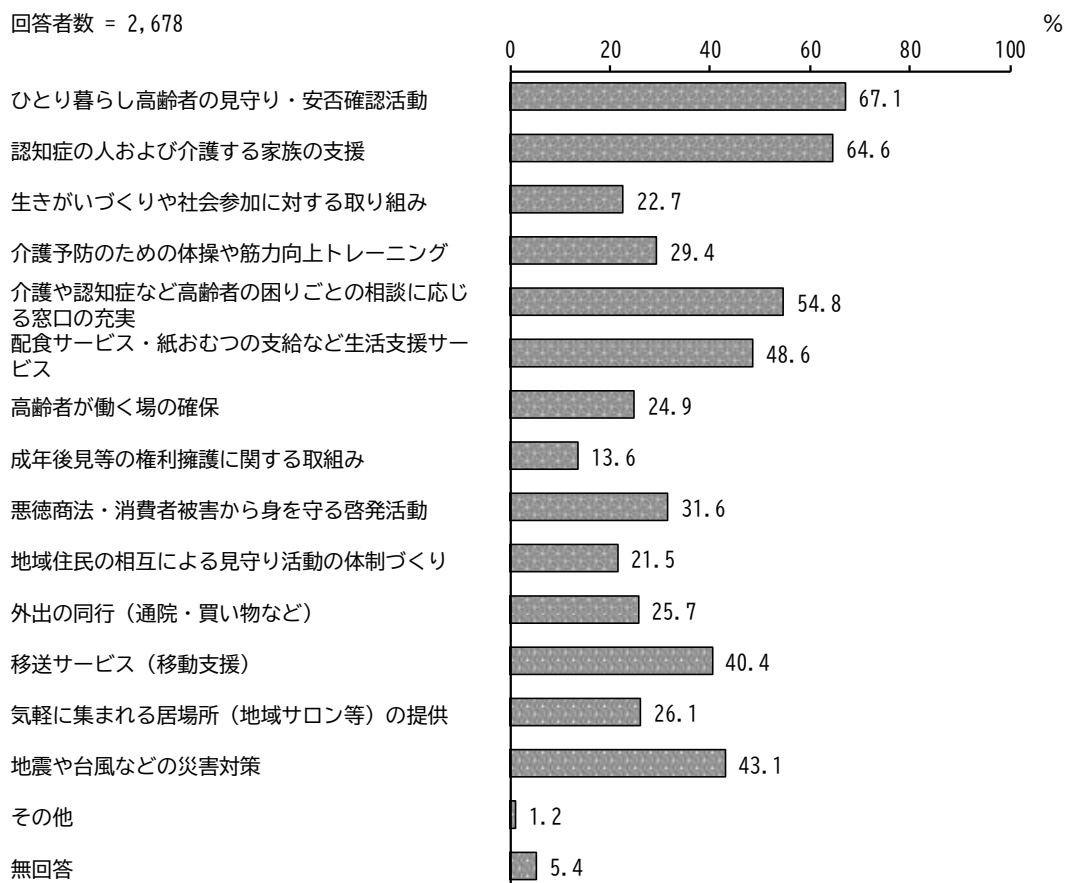


問 14 市が充実させるべき取り組みについて

(1) 市が充実させるべきと思う高齢者施策は次のうちどれですか（あてはまるものすべてに○）

「ひとり暮らし高齢者の見守り・安否確認活動」の割合が 67.1%と最も高く、次いで「認知症の人および介護する家族の支援」の割合が 64.6%、「介護や認知症など高齢者の困りごとの相談に応じる窓口の充実」の割合が 54.8%となっています。

回答者数 = 2,678



【地区別】

地区別にみると、沢井で「認知症の人および介護する家族の支援」、小曾木で「介護や認知症など高齢者の困りごとの相談に応じる窓口の充実」、小曾木、成木で「配食サービス・紙おむつの支給など生活支援サービス」、成木で「悪徳商法・消費者被害から身を守る啓発活動」「外出の同行（通院・買い物など）」「移送サービス（移動支援）」、梅郷、沢井、小曾木で「地震や台風などの災害対策」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ひとり暮らし高齢者の 見守り・安否確認活動	認知症の人および介護 する家族の支援	生きがいづくりや社会 参加に対する取り組み	介護予防のための体操 や筋力向上トレーニング	介護や認知症など高齢 者の困りごとの相談に 応じる窓口の充実	配食サービス・紙おむ つの支給など生活支援 サービス	高齢者が働く場の確保	成年後見等の権利擁護 に関する取組み
全 体	2,678	67.1	64.6	22.7	29.4	54.8	48.6	24.9	13.6
青梅	251	64.5	65.7	21.5	28.7	53.0	47.8	21.5	10.0
東青梅	327	66.4	63.3	24.2	30.0	53.5	45.9	24.8	15.6
長渕	435	66.0	64.6	21.4	29.2	53.6	51.7	23.4	15.6
河辺	309	71.5	62.1	24.3	31.1	51.8	48.9	29.4	12.9
梅郷	233	67.4	64.8	23.2	29.2	59.2	46.8	26.6	14.2
沢井	87	65.5	74.7	23.0	20.7	51.7	52.9	23.0	17.2
大門	373	70.0	67.8	24.9	34.3	57.6	49.3	26.3	13.1
新町	318	66.7	61.3	18.6	27.7	54.4	43.1	28.0	10.4
今井	208	63.5	63.9	24.5	28.8	53.4	51.4	20.7	12.5
小曾木	74	64.9	62.2	17.6	18.9	62.2	54.1	21.6	16.2
成木	46	71.7	69.6	21.7	26.1	58.7	54.3	19.6	17.4

区分	悪徳商法・消費者被害 から身を守る啓発活動	地域住民の相互による 見守り活動の体制づく り	外出の同行（通院・買 い物など）	移送サービス（移動支 援）	気軽に集まれる居場所 （地域サロン等）の提 供	地震や台風などの災害 対策	その他	無回答
全 体	31.6	21.5	25.7	40.4	26.1	43.1	1.2	5.4
青梅	33.9	22.3	25.9	41.8	25.5	43.4	0.4	7.2
東青梅	29.7	21.1	24.5	40.7	28.1	41.9	1.8	5.5
長渕	35.4	20.9	27.1	42.8	29.2	41.8	1.8	5.7
河辺	27.5	22.7	24.6	37.5	29.4	37.5	1.3	3.2
梅郷	33.0	23.6	27.5	38.6	28.3	49.4	0.9	5.6
沢井	27.6	24.1	17.2	42.5	17.2	49.4	1.1	5.7
大門	32.2	22.5	28.2	42.9	27.9	46.4	1.1	7.0
新町	27.7	17.3	22.0	34.3	21.1	37.1	0.6	4.7
今井	32.2	22.6	27.9	41.3	21.2	47.1	1.0	4.3
小曾木	36.5	17.6	18.9	40.5	18.9	48.6	0.0	4.1
成木	37.0	26.1	37.0	50.0	23.9	45.7	2.2	4.3

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ひとり暮らし高齢者の 見守り・安否確認活動	認知症の人および介護 する家族の支援	生きがいづくりや社会 参加に対する取り組み	介護予防のための体操 や筋力向上トレーニング	介護や認知症など高齢 者の困りごとの相談に 応じる窓口の充実	配食サービス・紙おむ つの支給など生活支援 サービス	高齢者が働く場の確保	成年後見等の権利擁護 に関する取組み
全 体	2,678	67.1	64.6	22.7	29.4	54.8	48.6	24.9	13.6
第1地区	578	65.6	64.4	23.0	29.4	53.3	46.7	23.4	13.1
第2地区	1,064	67.9	64.8	22.7	29.0	54.1	49.9	25.8	14.7
第3地区	1,019	67.3	64.7	22.2	29.6	56.1	48.4	25.0	12.6

区分	悪徳商法・消費者被害 から身を守る啓発活動	地域住民の相互による 見守り活動の体制づく り	外出の同行（通院・買い 物など）	移送サービス（移動支 援）	気軽に集まれる居場所 （地域サロン等）の提 供	地震や台風などの災害 対策	その他	無回答
全 体	31.6	21.5	25.7	40.4	26.1	43.1	1.2	5.4
第1地区	31.5	21.6	25.1	41.2	27.0	42.6	1.2	6.2
第2地区	32.0	22.3	25.7	40.3	28.1	42.9	1.4	5.0
第3地区	31.3	20.7	25.9	40.0	23.6	43.8	0.9	5.4

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「悪徳商法・消費者被害から身を守る啓発活動」「地域住民の相互による見守り活動の体制づくり」の割合が高く、「認知症の人および介護する家族の支援」「高齢者が働く場の確保」の割合が低く、女性では年齢が下がるほど「認知症の人および介護する家族の支援」「生きがいつくりや社会参加に対する取り組み」「介護予防のための体操や筋力向上トレーニング」「介護や認知症など高齢者の困りごとの相談に応じる窓口の充実」「配食サービス・紙おむつの支給など生活支援サービス」「移送サービス（移動支援）」「気軽に集まれる居場所（地域サロン等）の提供」の割合が高く、「地域住民の相互による見守り活動の体制づくり」の割合が低くなっています。

単位：％

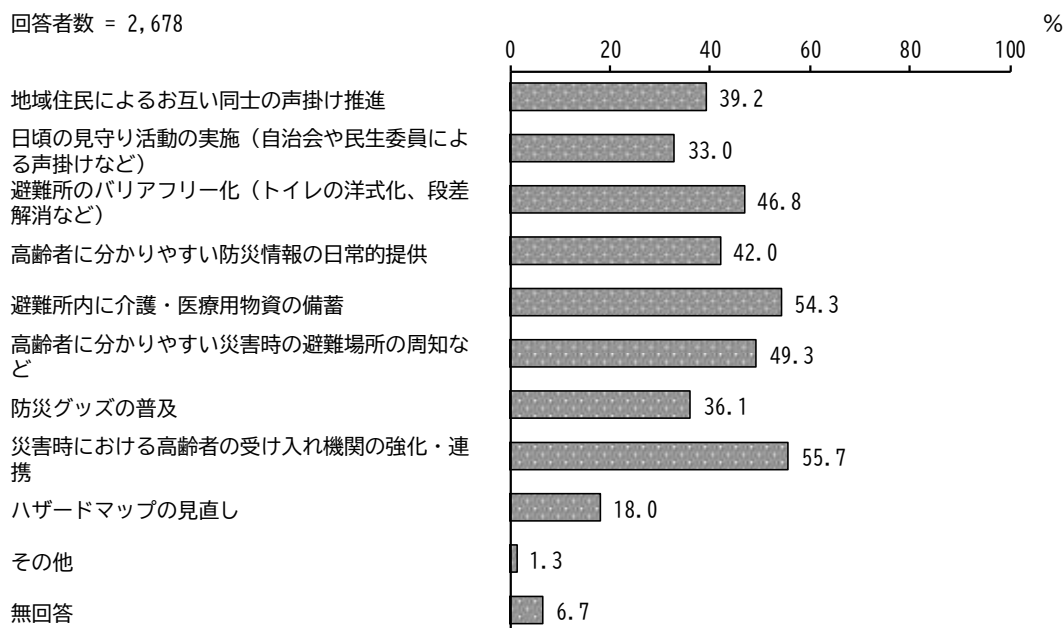
区分	回答者数（件）	ひとり暮らし高齢者の見守り・安否確認活動	認知症の人および介護する家族の支援	生きがいつくりや社会参加に対する取り組み	介護予防のための体操や筋力向上トレーニング	介護や認知症など高齢者の困りごとの相談に応じる窓口の充実	配食サービス・紙おむつの支給など生活支援サービス	高齢者が働く場の確保	成年後見等の権利擁護に関する取組み
全 体	2,678	67.1	64.6	22.7	29.4	54.8	48.6	24.9	13.6
男性 65～74歳	580	65.3	64.7	22.8	24.8	51.6	42.2	35.2	15.3
75～84歳	538	69.7	64.1	24.3	28.1	55.4	47.6	23.2	13.9
85歳以上	137	62.8	57.7	24.8	21.2	52.6	43.1	18.2	13.1
女性 65～74歳	615	68.8	70.6	23.4	35.4	57.7	54.3	31.5	14.8
75～84歳	637	65.9	62.2	20.6	30.5	54.9	51.2	14.8	10.8
85歳以上	154	67.5	59.1	18.8	29.2	53.2	48.1	14.9	11.7

区分	悪徳商法・消費者被害から身を守る啓発活動	地域住民の相互による見守り活動の体制づくり	外出の同行（通院・買い物など）	移送サービス（移動支援）	気軽に集まれる居場所（地域サロン等）の提供	地震や台風などの災害対策	その他	無回答
全 体	31.6	21.5	25.7	40.4	26.1	43.1	1.2	5.4
男性 65～74歳	30.5	22.1	21.7	36.9	23.6	40.5	2.1	3.8
75～84歳	34.0	23.6	20.8	40.7	24.0	42.6	1.1	6.1
85歳以上	36.5	27.7	24.1	32.1	19.7	35.8	1.5	8.0
女性 65～74歳	30.9	17.2	29.8	46.2	29.1	43.6	0.3	3.9
75～84歳	29.2	21.8	28.3	41.8	29.0	46.3	1.1	6.3
85歳以上	35.7	22.7	31.2	31.2	24.7	46.8	1.3	9.1

(2) 市が行うべき災害対策は次のうちどれですか（あてはまるものすべてに○）

「災害時における高齢者の受け入れ機関の強化・連携」の割合が 55.7%と最も高く、次いで「避難所内に介護・医療用物資の備蓄」の割合が 54.3%、「高齢者に分かりやすい災害時の避難場所の周知など」の割合が 49.3%となっています。

回答者数 = 2,678



【地区別】

地区別にみると、大門、成木で「地域住民によるお互い同士の声掛け推進」、成木で「日頃の見守り活動の実施（自治会や民生委員による声掛けなど）」「災害時における高齢者の受け入れ機関の強化・連携」、青梅で「防災グッズの普及」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	地域住民によるお互い同士の声掛け推進	日頃の見守り活動の実施（自治会や民生委員による声掛けなど）	避難所のバリアフリー化（トイレの洋式化、段差解消など）	高齢者に分かりやすい防災情報の日常的提供	避難所内に介護・医療用物資の備蓄	高齢者に分かりやすい災害時の避難場所の周知など	防災グッズの普及	災害時における高齢者の受け入れ機関の強化・連携	ハザードマップの見直し	その他	無回答
全 体	2,678	39.2	33.0	46.8	42.0	54.3	49.3	36.1	55.7	18.0	1.3	6.7
青梅	251	40.6	35.5	50.6	42.6	53.8	44.2	43.0	56.6	16.3	0.4	6.8
東青梅	327	39.1	29.4	43.7	39.8	54.7	54.1	33.0	54.4	14.1	1.5	6.1
長湊	435	42.5	36.1	46.7	44.4	55.2	48.0	34.9	54.7	20.5	2.3	6.9
河辺	309	34.0	31.1	44.3	42.1	54.0	48.9	38.2	53.4	17.2	1.0	5.5
梅郷	233	40.8	33.5	48.9	45.1	53.2	51.1	38.2	55.4	21.5	1.7	6.0
沢井	87	41.4	41.4	47.1	33.3	58.6	37.9	28.7	59.8	13.8	0.0	8.0
大門	373	44.8	33.0	48.0	45.0	57.4	51.2	37.5	57.4	18.2	0.5	8.0
新町	318	28.9	26.7	48.7	41.5	50.9	51.9	34.6	54.1	17.3	0.9	7.5
今井	208	39.9	30.3	47.1	39.4	56.7	49.0	34.6	59.6	19.2	1.0	7.2
小曾木	74	37.8	39.2	33.8	44.6	50.0	48.6	31.1	56.8	18.9	4.1	2.7
成木	46	47.8	56.5	45.7	30.4	41.3	52.2	26.1	60.9	19.6	2.2	4.3

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	地域住民によるお互い同士の声 掛け推進	日頃の見守り活動の実施(自治会 や民生委員による声掛けなど)	避難所のバリアフリー化(トイレ の洋式化、段差解消など)	高齢者に分かりやすい防災情報 の日常的提供	避難所内に介護・医療用物資の備 蓄	高齢者に分かりやすい災害時の 避難場所の周知など	防災グッズの普及	災害時における高齢者の受け入 れ機関の強化・連携	ハザードマップの見直し	その他	無回答
全 体	2,678	39.2	33.0	46.8	42.0	54.3	49.3	36.1	55.7	18.0	1.3	6.7
第1地区	578	39.8	32.0	46.7	41.0	54.3	49.8	37.4	55.4	15.1	1.0	6.4
第2地区	1,064	39.6	34.5	46.5	43.0	54.7	48.1	36.1	54.9	19.2	1.6	6.4
第3地区	1,019	38.5	32.0	46.9	42.1	54.0	50.8	35.0	56.9	18.3	1.1	7.2

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「避難所内に介護・医療用物資の備蓄」「防災グッズの普及」「災害時における高齢者の受け入れ機関の強化・連携」の割合が高く、「高齢者に分かりやすい防災情報の日常的提供」「高齢者に分かりやすい災害時の避難場所の周知など」の割合が低く、女性では年齢が上がるほど「地域住民によるお互い同士の声掛け推進」「日頃の見守り活動の実施(自治会や民生委員による声掛けなど)」の割合が高くなっています。

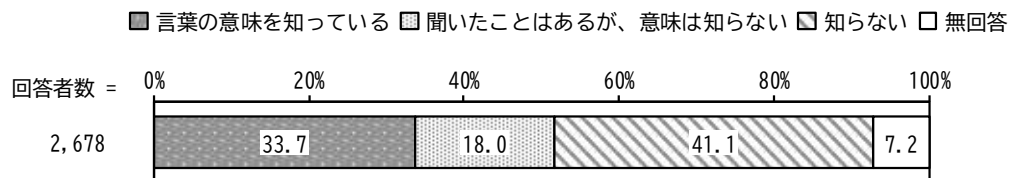
単位：％

区分	回答者数 (件)	地域住民によるお互い同士の声 掛け推進	日頃の見守り活動の実施(自治会 や民生委員による声掛けなど)	避難所のバリアフリー化(トイレ の洋式化、段差解消など)	高齢者に分かりやすい防災情報 の日常的提供	避難所内に介護・医療用物資の備 蓄	高齢者に分かりやすい災害時の 避難場所の周知など	防災グッズの普及	災害時における高齢者の受け入 れ機関の強化・連携	ハザードマップの見直し	その他	無回答
全 体	2,678	39.2	33.0	46.8	42.0	54.3	49.3	36.1	55.7	18.0	1.3	6.7
男性 65～74歳	580	31.7	27.8	43.8	38.8	53.8	43.6	38.4	56.4	19.0	2.6	4.3
75～84歳	538	40.7	39.4	44.6	40.3	51.3	47.8	31.6	53.9	19.0	1.3	8.0
85歳以上	137	38.7	38.0	38.0	45.3	39.4	50.4	29.2	46.7	18.2	1.5	13.1
女性 65～74歳	615	37.6	29.9	50.9	44.9	58.5	52.7	42.4	58.9	17.6	0.5	4.7
75～84歳	637	43.6	33.9	48.5	42.9	56.5	50.7	32.7	54.5	16.3	0.8	7.4
85歳以上	154	50.6	34.4	48.7	45.5	54.5	59.7	35.7	61.0	18.2	1.3	10.4

問 15 フレイルについて

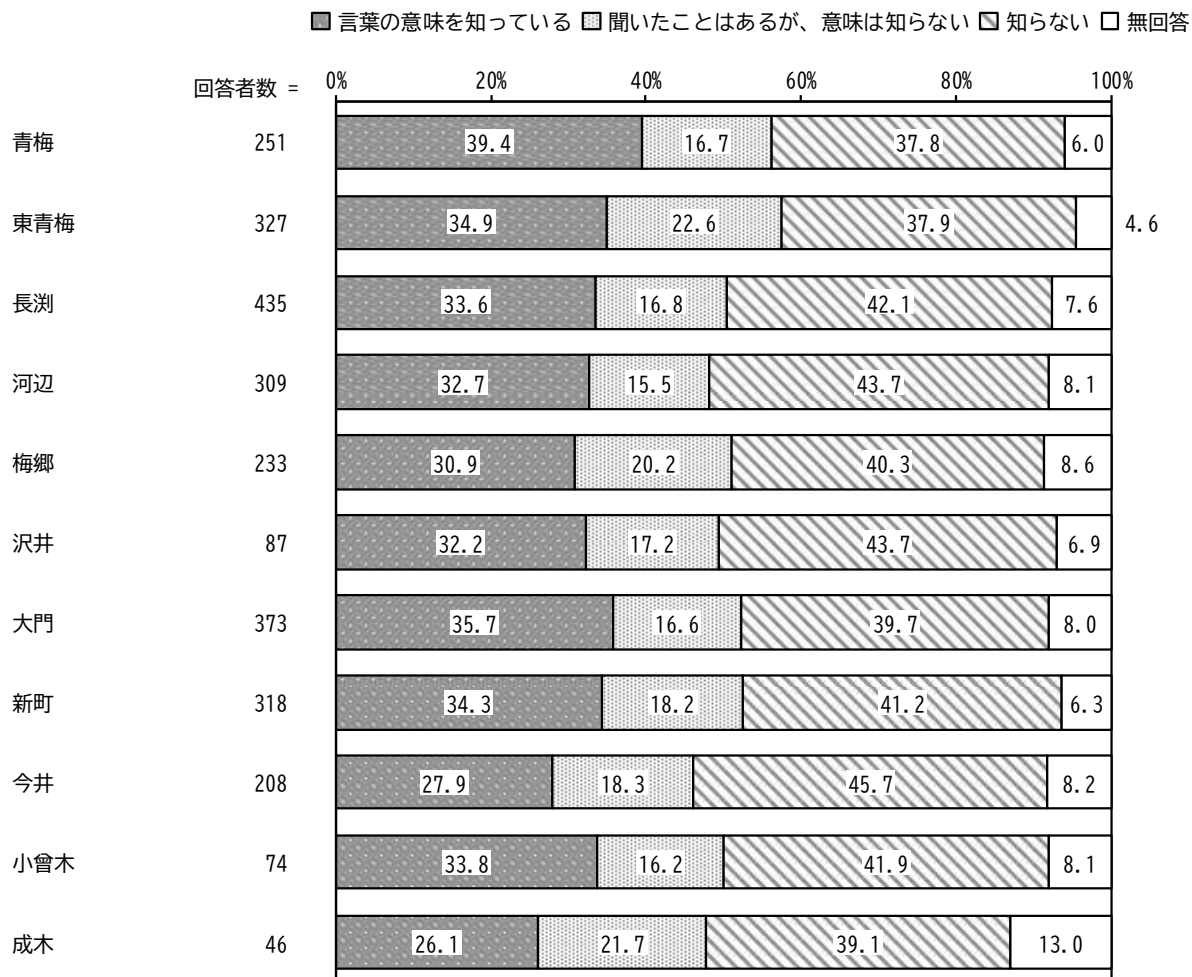
(1)「フレイル」という言葉を知っていますか

「言葉の意味を知っている」の割合が 33.7%、「聞いたことはあるが、意味は知らない」の割合が 18.0%、「知らない」の割合が 41.1%となっています。



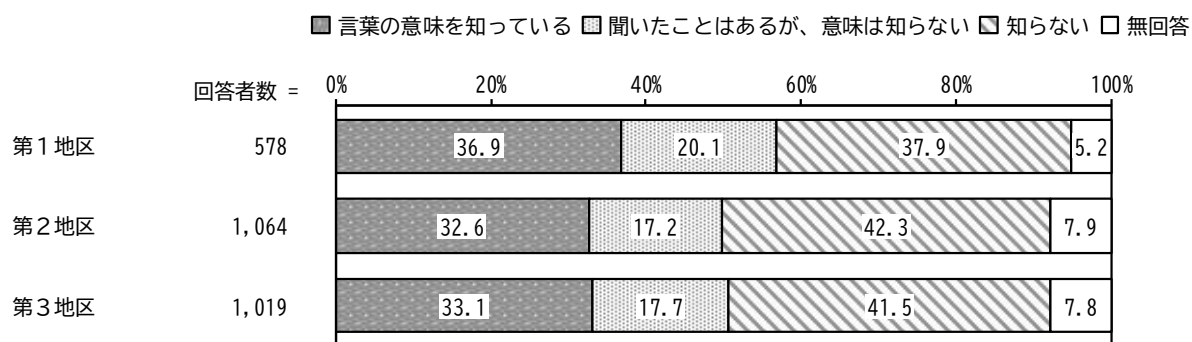
【地区別】

地区別にみると、青梅で「言葉の意味を知っている」の割合が高くなっています。



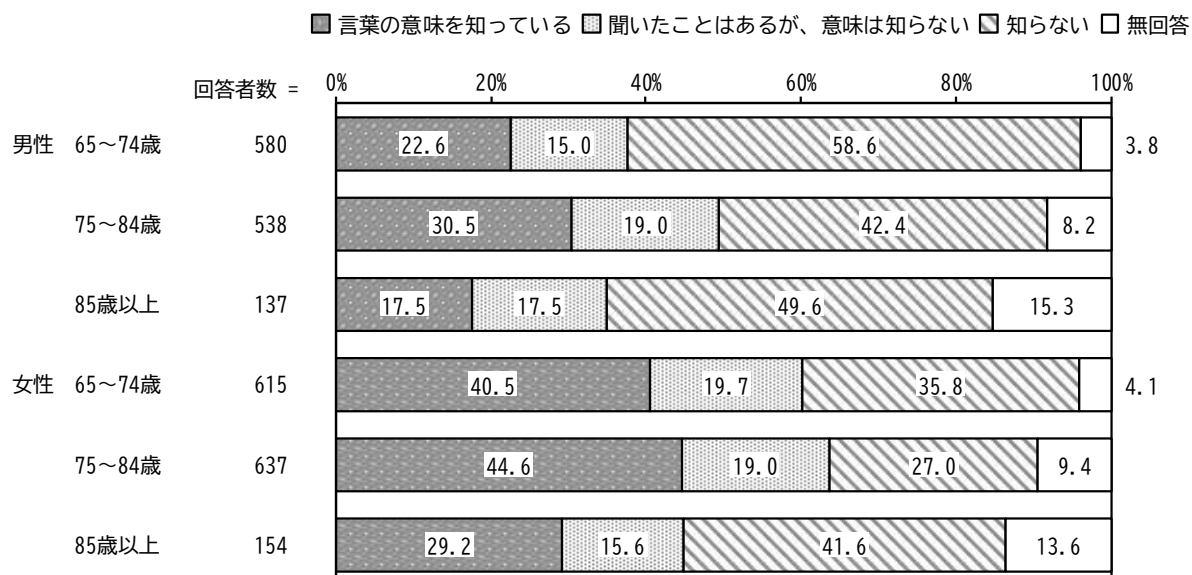
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

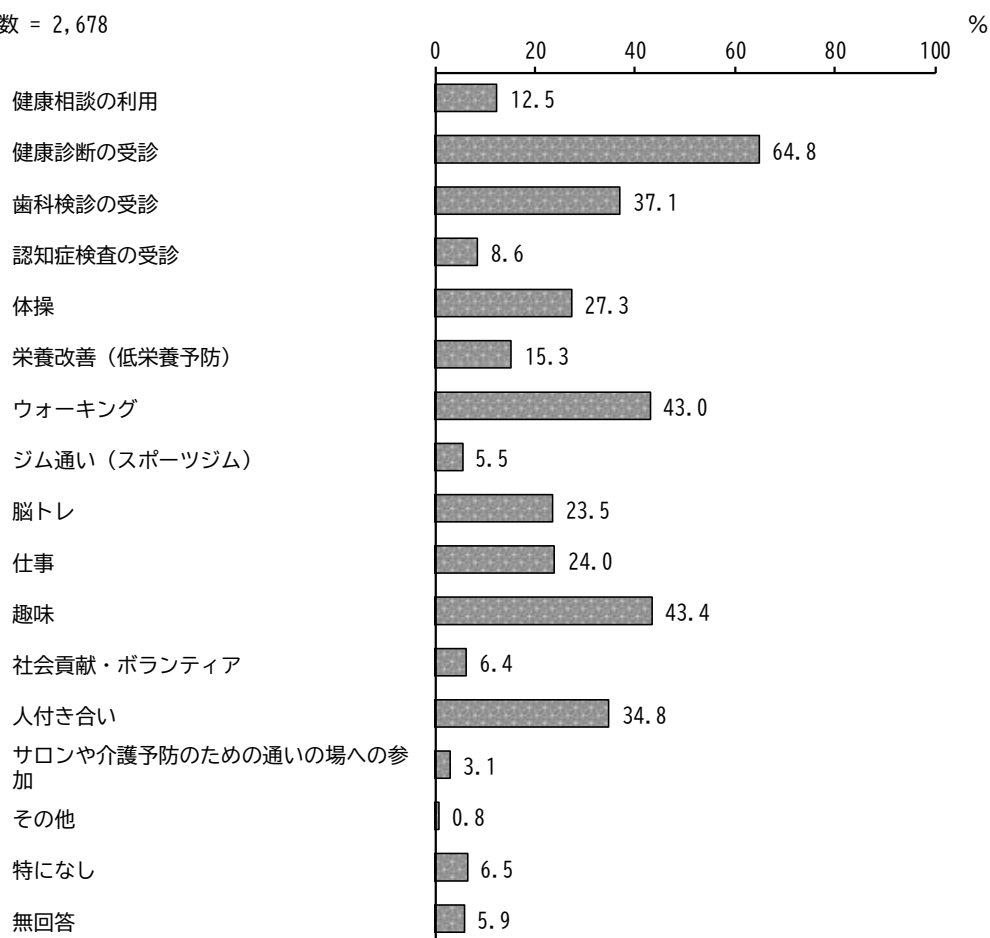
性・年齢別にみると、女性では年齢が下がるほど「聞いたことはあるが、意味は知らない」の割合が高くなっています。また、男性 65～74 歳で「知らない」の割合が高くなっています。



(2) あなたは、フレイルや介護状態にならないために自身で取り組んでいることはありますか（あてはまるものすべてに○）

「健康診断の受診」の割合が64.8%と最も高く、次いで「趣味」の割合が43.4%、「ウォーキング」の割合が43.0%となっています。

回答者数 = 2,678



【地区別】

地区別にみると、青梅で「健康診断の受診」「体操」、東青梅で「歯科検診の受診」、河辺で「仕事」、梅郷で「趣味」、小曾木で「人付き合い」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	健康相談の利用	健康診断の受診	歯科検診の受診	認知症検査の受診	体操	栄養改善 (低栄養予 防)	ウォーキング	ジム通い (スポーツ ジム)
全 体	2,678	12.5	64.8	37.1	8.6	27.3	15.3	43.0	5.5
青梅	251	14.3	73.3	37.8	8.0	32.7	17.1	47.4	6.0
東青梅	327	10.7	67.6	42.8	8.3	29.4	15.0	41.6	6.1
長湊	435	12.4	63.9	34.7	9.7	24.4	14.7	40.2	7.4
河辺	309	15.2	61.8	34.6	9.1	23.6	15.5	45.0	7.1
梅郷	233	14.2	66.5	38.6	10.3	28.8	12.4	40.8	3.9
沢井	87	11.5	70.1	36.8	10.3	20.7	11.5	35.6	3.4
大門	373	12.3	64.1	33.5	7.0	28.2	19.0	47.2	7.2
新町	318	10.1	61.0	39.0	8.2	30.8	15.4	47.8	3.5
今井	208	12.5	58.2	39.9	8.2	26.4	13.5	39.9	2.4
小曾木	74	14.9	68.9	40.5	10.8	25.7	17.6	29.7	1.4
成木	46	8.7	60.9	30.4	6.5	17.4	8.7	32.6	4.3

区分	脳トレ	仕事	趣味	社会貢献・ボランティア	人付き合い	サロンのための通いの場への参加	その他	特になし	無回答
全 体	23.5	24.0	43.4	6.4	34.8	3.1	0.8	6.5	5.9
青梅	25.1	23.1	45.4	7.6	38.2	3.6	0.8	4.0	4.4
東青梅	20.2	24.5	45.6	6.4	34.6	4.0	1.8	6.7	4.0
長湊	24.1	22.5	46.4	8.0	38.4	3.0	0.7	7.8	6.2
河辺	26.9	31.7	43.4	5.2	32.7	2.9	0.0	6.8	6.5
梅郷	24.9	24.9	48.9	8.2	33.5	1.3	1.3	5.2	4.7
沢井	16.1	16.1	43.7	5.7	34.5	5.7	1.1	6.9	6.9
大門	26.0	25.7	41.0	5.1	35.9	4.3	0.3	7.0	5.4
新町	21.1	22.6	42.8	4.4	28.3	2.5	1.3	6.9	6.6
今井	20.7	18.3	32.2	4.8	34.1	1.9	0.0	5.8	9.1
小曾木	25.7	20.3	45.9	10.8	40.5	2.7	1.4	5.4	6.8
成木	19.6	21.7	34.8	8.7	32.6	4.3	0.0	10.9	8.7

【圏域別】

圏域別にみると、第1地区で「健康診断の受診」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	健康相談の利用	健康診断の受診	歯科検診の受診	認知症検査の受診	体操	栄養改善 (低栄養予 防)	ウォーキング	ジム通い(スポーツ ジム)
全 体	2,678	12.5	64.8	37.1	8.6	27.3	15.3	43.0	5.5
第1地区	578	12.3	70.1	40.7	8.1	30.8	15.9	44.1	6.1
第2地区	1,064	13.5	64.4	35.7	9.7	24.8	14.2	41.4	6.2
第3地区	1,019	11.7	62.1	36.9	7.9	28.0	16.2	44.0	4.5

区分	脳トレ	仕事	趣味	社会貢献・ボランティア	人付き合い	サロンや介護予防のための通いの場への参加	その他	特になし	無回答
全 体	23.5	24.0	43.4	6.4	34.8	3.1	0.8	6.5	5.9
第1地区	22.3	23.9	45.5	6.9	36.2	3.8	1.4	5.5	4.2
第2地区	24.4	25.2	45.9	7.0	35.3	2.8	0.7	6.9	6.0
第3地区	23.1	22.7	39.8	5.4	33.4	3.1	0.6	6.8	6.8

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「健康相談の利用」「認知症検査の受診」「脳トレ」の割合が高く、「仕事」の割合が低く、女性では年齢が下がるほど「健康診断の受診」「歯科検診の受診」「ウォーキング」「仕事」「趣味」の割合が高く、「健康相談の利用」「栄養改善（低栄養予防）」の割合が低くなっています。

単位：％

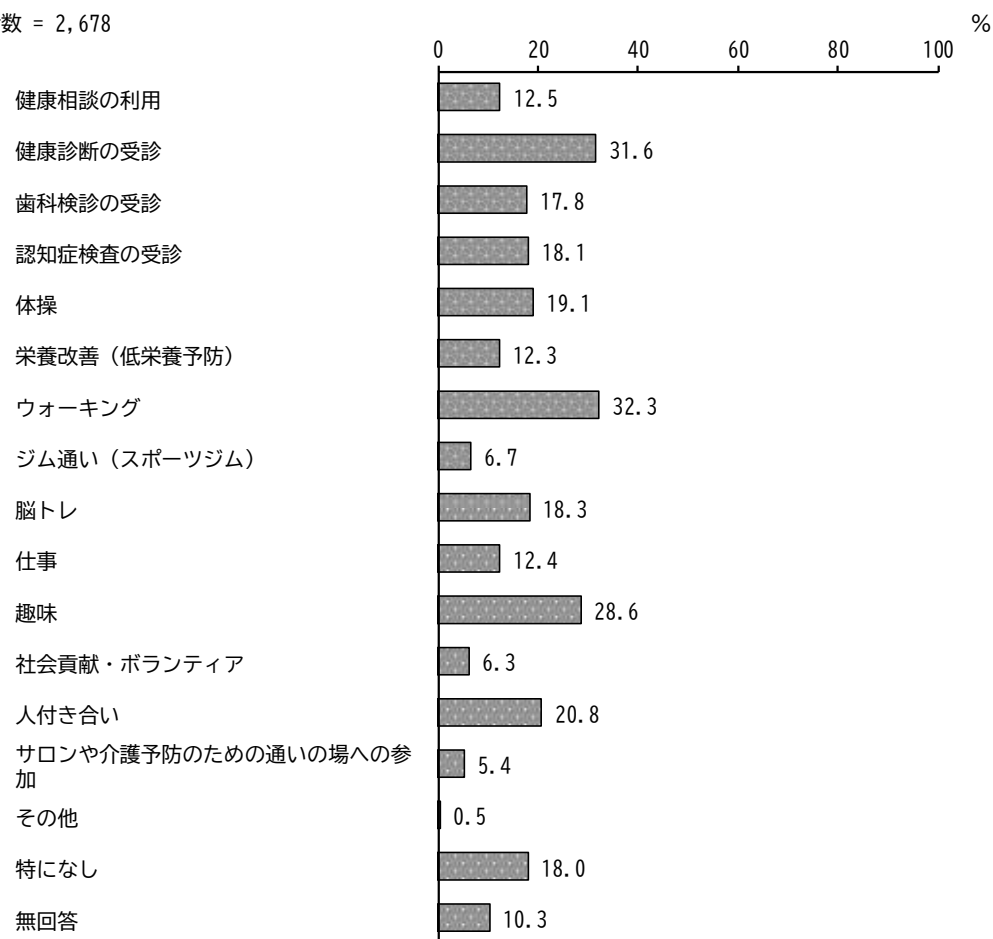
区分	回答者数 (件)	健康相談の利用	健康診断の受診	歯科検診の受診	認知症検査の受診	体操	栄養改善 (低栄養予 防)	ウォーキング	ジム通い (スポーツ)
全 体	2,678	12.5	64.8	37.1	8.6	27.3	15.3	43.0	5.5
男性 65～74歳	580	10.5	62.8	30.9	5.2	18.1	10.2	42.6	5.0
75～84歳	538	12.6	66.2	37.5	12.1	22.7	12.6	50.2	3.5
85歳以上	137	22.6	62.8	35.0	19.7	19.7	11.7	35.8	2.9
女性 65～74歳	615	11.4	66.3	42.8	6.3	34.0	17.9	44.9	8.9
75～84歳	637	11.9	65.0	38.8	8.9	34.2	18.2	40.8	5.3
85歳以上	154	18.2	61.7	33.8	7.8	29.9	25.3	26.6	3.9

区分	脳トレ	仕事	趣味	社会貢献・ボラン ティア	人付き合い	サロンや介護予 防のための通 いの場の参加	その他	特になし	無回答
全 体	23.5	24.0	43.4	6.4	34.8	3.1	0.8	6.5	5.9
男性 65～74歳	12.9	44.8	46.0	7.9	23.4	1.6	0.7	9.3	3.8
75～84歳	21.6	20.3	48.5	6.7	31.0	2.2	0.9	6.9	6.3
85歳以上	21.9	5.8	29.9	5.1	23.4	2.9	0.0	8.8	13.1
女性 65～74歳	27.5	30.4	44.2	7.2	41.0	3.9	0.8	5.4	3.3
75～84歳	30.1	10.2	42.2	5.0	44.3	4.6	0.8	4.2	7.8
85歳以上	27.3	5.2	30.5	3.2	36.4	3.9	1.3	7.1	8.4

(3) 今後、もっと取り組みたいことはありますか（あてはまるものすべてに○）

「ウォーキング」の割合が 32.3%と最も高く、次いで「健康診断の受診」の割合が 31.6%、「趣味」の割合が 28.6%となっています。

回答者数 = 2,678



【地区別】

地区別にみると、成木で「歯科検診の受診」「栄養改善（低栄養予防）」「サロンや介護予防のための通いの場への参加」、新町で「体操」、青梅で「ウォーキング」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	健康相談の利用	健康診断の受診	歯科検診の受診	認知症検査の受診	体操	栄養改善 (低栄養 防)	ウォーキング	ジム通い (スポーツ ジム)
全 体	2,678	12.5	31.6	17.8	18.1	19.1	12.3	32.3	6.7
青梅	251	15.5	35.1	18.3	18.3	19.5	14.7	39.8	5.6
東青梅	327	9.5	34.3	19.3	18.3	19.9	13.1	32.1	6.7
長湊	435	13.3	32.0	18.6	19.3	17.2	11.7	28.0	6.9
河辺	309	14.2	31.4	16.8	22.0	16.2	14.2	31.7	7.8
梅郷	233	12.9	31.8	20.6	15.9	20.2	12.9	33.0	6.0
沢井	87	12.6	32.2	17.2	17.2	16.1	12.6	26.4	2.3
大門	373	13.7	32.7	16.9	16.1	21.2	12.3	33.5	7.8
新町	318	10.4	30.8	17.3	18.6	24.5	9.4	35.5	8.2
今井	208	12.5	23.6	14.9	17.8	15.4	9.6	28.8	4.3
小曾木	74	5.4	31.1	14.9	14.9	18.9	12.2	32.4	5.4
成木	46	15.2	21.7	23.9	15.2	15.2	17.4	30.4	4.3

区分	脳トレ	仕事	趣味	社会貢献・ボランティア	人付き合い	サロンのための通いの場への参加	その他	特になし	無回答
全 体	18.3	12.4	28.6	6.3	20.8	5.4	0.5	18.0	10.3
青梅	23.1	11.2	26.3	6.4	24.3	6.4	0.4	17.1	7.2
東青梅	19.6	14.1	32.4	8.0	22.0	6.4	1.2	17.4	6.4
長湊	16.1	9.4	28.5	5.1	20.0	4.6	0.5	23.4	9.0
河辺	18.4	16.2	25.9	6.5	19.4	5.8	0.3	16.2	12.6
梅郷	16.7	12.4	33.0	5.6	21.5	3.0	0.4	14.6	12.4
沢井	16.1	8.0	21.8	2.3	17.2	3.4	0.0	24.1	16.1
大門	19.6	14.7	31.6	7.2	24.7	6.7	0.5	16.1	9.9
新町	16.7	12.6	28.9	6.9	21.1	6.6	0.3	16.0	10.1
今井	20.2	9.1	20.2	5.3	13.5	2.4	0.0	17.3	13.5
小曾木	10.8	13.5	29.7	9.5	18.9	4.1	1.4	20.3	9.5
成木	21.7	10.9	30.4	4.3	19.6	10.9	0.0	17.4	17.4

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	健康相談の利用	健康診断の受診	歯科検診の受診	認知症検査の受診	体操	栄養改善 (低栄養予 防)	ウォーキング	ジム通い(スポーツ ジム)
全 体	2,678	12.5	31.6	17.8	18.1	19.1	12.3	32.3	6.7
第1地区	578	12.1	34.6	18.9	18.3	19.7	13.8	35.5	6.2
第2地区	1,064	13.4	31.8	18.4	19.2	17.5	12.8	30.1	6.6
第3地区	1,019	11.9	29.6	16.8	17.1	20.6	11.1	33.0	6.9

区分	脳トレ	仕事	趣味	社会貢献・ボランティア	人付き合い	サロンや介護予防のための通いの場への参加	その他	特になし	無回答
全 体	18.3	12.4	28.6	6.3	20.8	5.4	0.5	18.0	10.3
第1地区	21.1	12.8	29.8	7.3	23.0	6.4	0.9	17.3	6.7
第2地区	16.9	11.9	28.2	5.4	19.9	4.5	0.4	19.5	11.4
第3地区	18.3	12.7	28.3	6.8	20.6	5.8	0.4	16.7	11.0

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「健康相談の利用」の割合が低く、男性では「仕事」「趣味」の割合が高く、女性では「体操」「ウォーキング」「仕事」「趣味」の割合が高くなっています。

単位：％

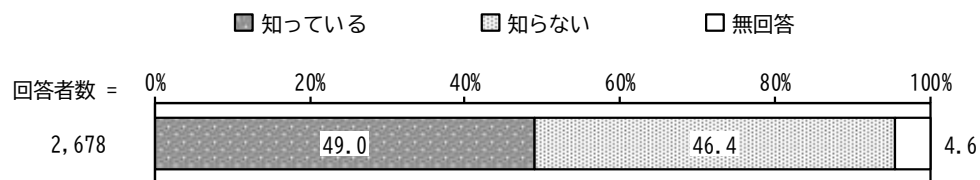
区分	回答者数 (件)	健康相談の利用	健康診断の受診	歯科検診の受診	認知症検査の受診	体操	栄養改善 (低栄養予 防)	ウォーキング	ジム通い(スポーツ)
全 体	2,678	12.5	31.6	17.8	18.1	19.1	12.3	32.3	6.7
男性 65～74歳	580	9.5	29.5	13.4	14.0	14.7	9.1	32.8	7.8
75～84歳	538	13.9	37.4	19.7	22.3	17.1	11.2	35.9	5.2
85歳以上	137	16.1	33.6	15.3	16.1	10.9	11.7	21.9	5.8
女性 65～74歳	615	11.1	30.2	19.8	17.6	25.9	14.0	34.8	9.4
75～84歳	637	13.3	29.8	18.8	19.5	20.6	14.4	30.5	5.2
85歳以上	154	18.8	29.9	18.8	18.8	18.2	14.3	26.0	2.6

区分	脳トレ	仕事	趣味	社会貢献・ボランティア	人付き合い	サロンや介護予防のための通いの場への参加	その他	特になし	無回答
全 体	18.3	12.4	28.6	6.3	20.8	5.4	0.5	18.0	10.3
男性 65～74歳	13.3	23.1	34.3	6.9	17.8	2.9	0.7	19.8	5.3
75～84歳	16.5	11.2	32.3	6.5	20.3	3.2	0.6	17.8	9.9
85歳以上	12.4	3.6	19.0	5.1	16.1	4.4	0.0	16.8	21.9
女性 65～74歳	23.3	15.6	27.3	8.6	23.4	6.2	0.5	18.7	7.3
75～84歳	20.7	5.0	26.4	4.7	23.1	8.6	0.3	15.4	13.5
85歳以上	19.5	1.9	16.2	1.9	19.5	7.1	0.6	19.5	17.5

問 16 地域包括支援センターについて

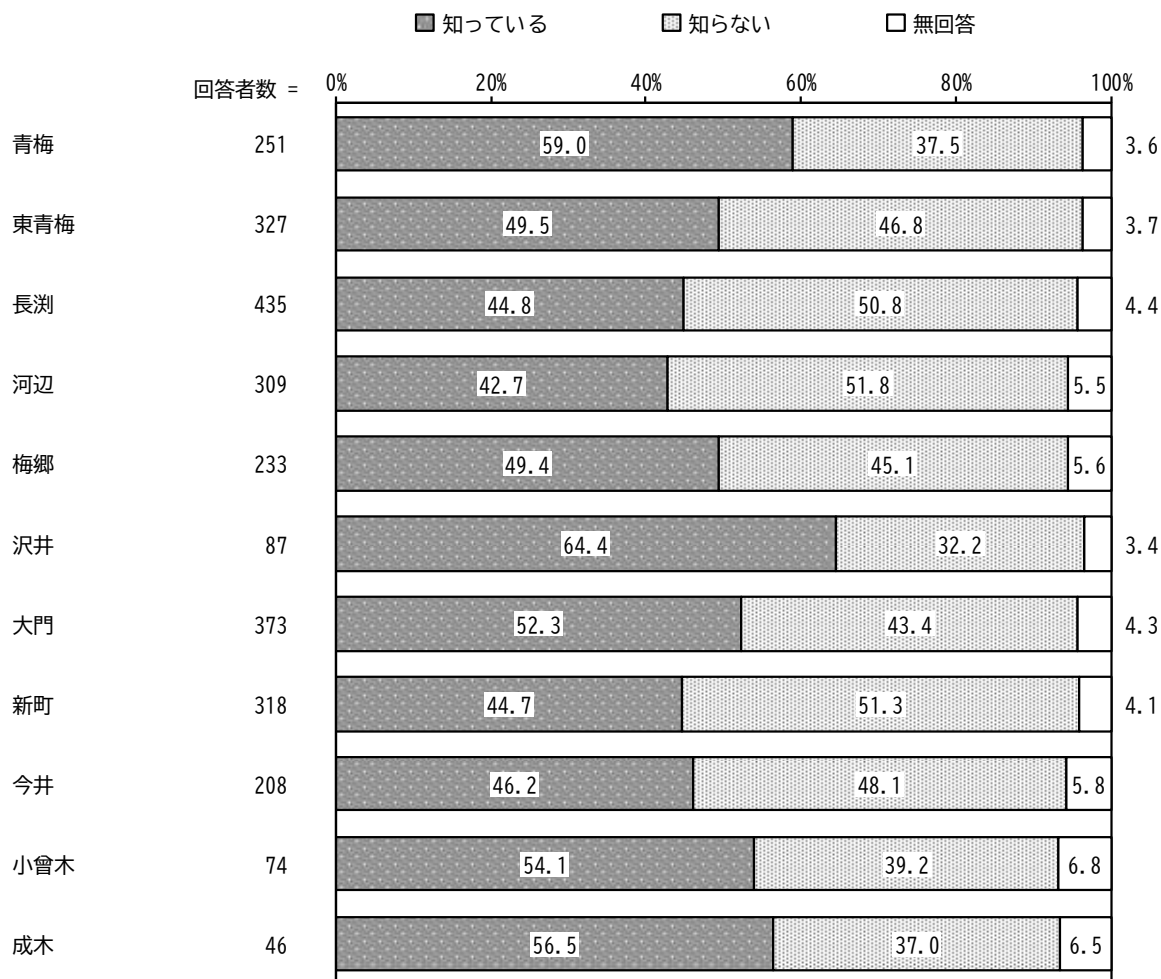
(1) 市では高齢者の総合相談窓口として、市内に地域包括支援センターを設置しています。
地域包括支援センターを知っていますか

「知っている」の割合が49.0%、「知らない」の割合が46.4%となっています。



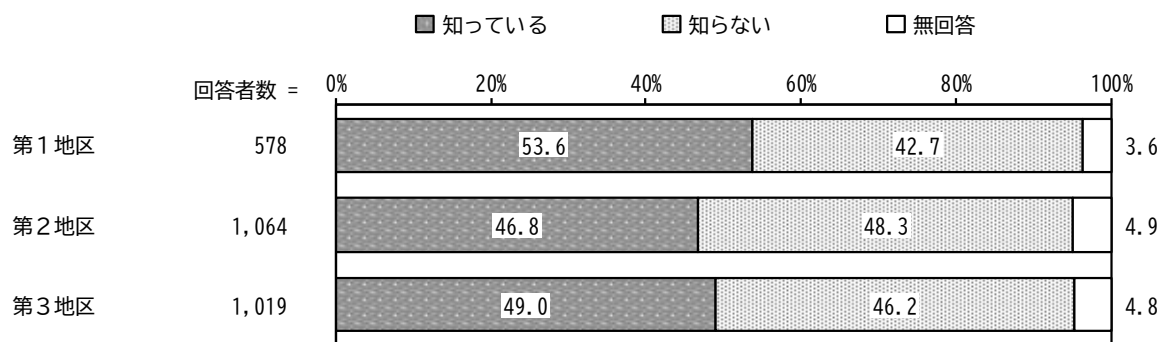
【地区別】

地区別にみると、沢井で「知っている」の割合が高くなっています。



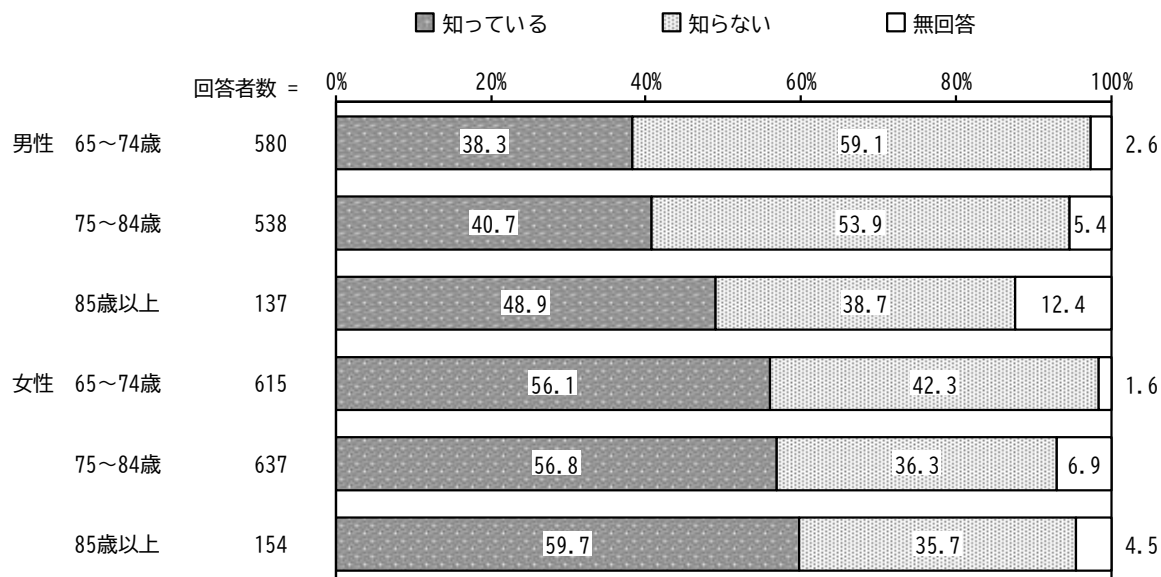
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「知っている」の割合が高く、女性では年齢が下がるほど「知らない」の割合が高くなっています。

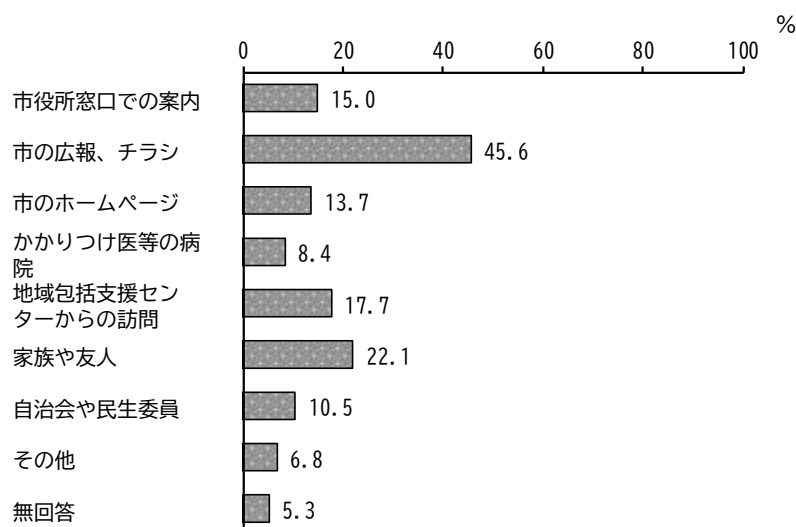


【(1) において「知っている」を選んだ方のみ】

①地域包括支援センターを知ったきっかけは何ですか（いくつでも）

「市の広報、チラシ」の割合が 45.6%と最も高く、次いで「家族や友人」の割合が 22.1%、「地域包括支援センターからの訪問」の割合が 17.7%となっています。

回答者数 = 1,313



【地区別】

地区別にみると、東青梅で「市役所窓口での案内」、河辺、沢井で「市の広報、チラシ」、長湊で「市のホームページ」、今井、成木で「地域包括支援センターからの訪問」、沢井、小曾木で「家族や友人」、沢井、成木で「自治会や民生委員」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	市役所窓口での案内	市の広報、 チラシ	市のホームページ	かかりつけ医等の 病院	地域包括支援セン ターからの訪問	家族や友人	自治会や民生委員	その他	無回答
全 体	1,313	15.0	45.6	13.7	8.4	17.7	22.1	10.5	6.8	5.3
青梅	148	16.9	45.3	10.1	8.1	8.8	21.6	8.1	9.5	8.8
東青梅	162	25.3	40.7	9.9	13.0	13.6	21.0	10.5	6.2	4.9
長湊	195	12.3	44.1	20.5	8.2	12.3	22.1	9.7	8.7	9.2
河辺	132	15.9	54.5	14.4	4.5	17.4	15.2	7.6	6.8	2.3
梅郷	115	13.0	45.2	12.2	5.2	7.8	24.3	10.4	11.3	6.1
沢井	56	7.1	51.8	7.1	8.9	14.3	28.6	19.6	3.6	3.6
大門	195	15.4	45.6	13.8	11.8	25.6	25.6	12.3	4.6	3.1
新町	142	11.3	44.4	14.8	7.7	26.8	18.3	12.0	5.6	4.9
今井	96	13.5	45.8	15.6	5.2	32.3	19.8	7.3	2.1	5.2
小曾木	40	7.5	50.0	12.5	10.0	17.5	30.0	10.0	5.0	0.0
成木	26	19.2	38.5	15.4	3.8	30.8	23.1	19.2	7.7	0.0

【圏域別】

圏域別にみると、第1地区で「市役所窓口での案内」、第3地区で「地域包括支援センターからの訪問」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	内 市役所窓口での案内	市の広報、チラシ	市のホームページ	かかりつけ医等の病院	地域包括支援センターからの訪問	家族や友人	自治会や民生委員	その他	無回答
全 体	1,313	15.0	45.6	13.7	8.4	17.7	22.1	10.5	6.8	5.3
第1地区	310	21.3	42.9	10.0	10.6	11.3	21.3	9.4	7.7	6.8
第2地区	498	12.9	48.0	15.5	6.6	12.9	21.5	10.4	8.2	6.0
第3地区	499	13.4	45.3	14.4	8.8	26.9	22.6	11.4	4.6	3.6

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「市役所窓口での案内」「市の広報、チラシ」「地域包括支援センターからの訪問」「自治会や民生委員」の割合が高く、「家族や友人」の割合が低く、女性では「かかりつけ医等の病院」の割合が高くなっています。

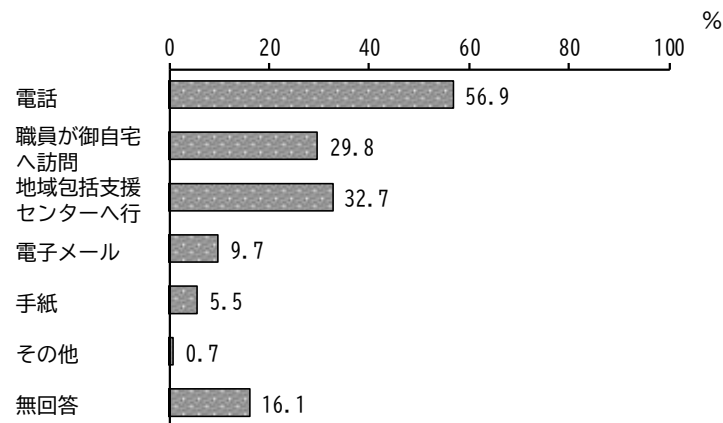
単位：％

区分	回答者数 (件)	内 市役所窓口での案内	市の広報、チラシ	市のホームページ	かかりつけ医等の病院	地域包括支援センターからの訪問	家族や友人	自治会や民生委員	その他	無回答
全 体	1,313	15.0	45.6	13.7	8.4	17.7	22.1	10.5	6.8	5.3
男性 65～74歳	222	13.5	41.4	17.6	6.3	10.8	21.6	9.0	11.7	6.8
75～84歳	219	15.1	54.8	21.0	5.5	18.7	16.4	13.2	3.7	3.2
85歳以上	67	22.4	55.2	14.9	13.4	23.9	14.9	16.4	1.5	3.0
女性 65～74歳	345	16.2	42.0	11.6	7.2	9.6	26.7	6.1	9.9	6.4
75～84歳	362	13.3	44.8	9.4	8.6	26.2	21.5	12.7	4.4	5.0
85歳以上	92	16.3	45.7	12.0	20.7	26.1	23.9	12.0	3.3	5.4

(2) 地域包括支援センターに相談する場合、どのような方法を希望しますか（いくつでも）

「電話」の割合が 56.9%と最も高く、次いで「地域包括支援センターへ行く」の割合が 32.7%、「職員が御自宅へ訪問」の割合が 29.8%となっています。

回答者数 = 2,678



【地区別】

地区別にみると、沢井で「電話」、成木で「職員が御自宅へ訪問」、青梅で「地域包括支援センターへ行く」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	電話	職員が 御自宅へ 訪問	地域包括 支援セン ターへ行 く	電子メ ール	手紙	その他	無回 答
全 体	2,678	56.9	29.8	32.7	9.7	5.5	0.7	16.1
青梅	251	51.4	28.7	47.0	11.2	4.8	0.8	15.1
東青梅	327	57.2	26.9	42.8	10.4	6.1	0.6	13.8
長湊	435	55.6	27.8	32.4	12.2	7.1	0.7	17.0
河辺	309	57.6	25.2	33.7	12.0	4.2	0.0	16.8
梅郷	233	60.9	29.6	31.3	8.6	6.4	0.4	15.9
沢井	87	65.5	41.4	25.3	3.4	2.3	1.1	14.9
大門	373	57.6	37.3	31.4	6.4	5.4	0.5	15.5
新町	318	57.2	24.8	27.7	12.3	5.7	0.9	13.8
今井	208	57.7	32.7	20.7	7.2	4.8	1.4	20.2
小曾木	74	58.1	29.7	25.7	2.7	4.1	0.0	23.0
成木	46	50.0	45.7	10.9	8.7	4.3	0.0	19.6

【圏域別】

圏域別にみると、第1地区で「地域包括支援センターへ行く」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	電話	職員が御自宅へ訪問	地域包括支援センターへ行く	電子メール	手紙	その他	無回答
全 体	2,678	56.9	29.8	32.7	9.7	5.5	0.7	16.1
第1地区	578	54.7	27.7	44.6	10.7	5.5	0.7	14.4
第2地区	1,064	58.2	28.6	32.0	10.6	5.7	0.5	16.5
第3地区	1,019	57.2	32.3	26.7	8.2	5.2	0.8	16.7

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「地域包括支援センターへ行く」「電子メール」の割合が高く、「職員が御自宅へ訪問」の割合が低く、女性では年齢が上がるほど「職員が御自宅へ訪問」の割合が高く、「地域包括支援センターへ行く」の割合が低くなっています。

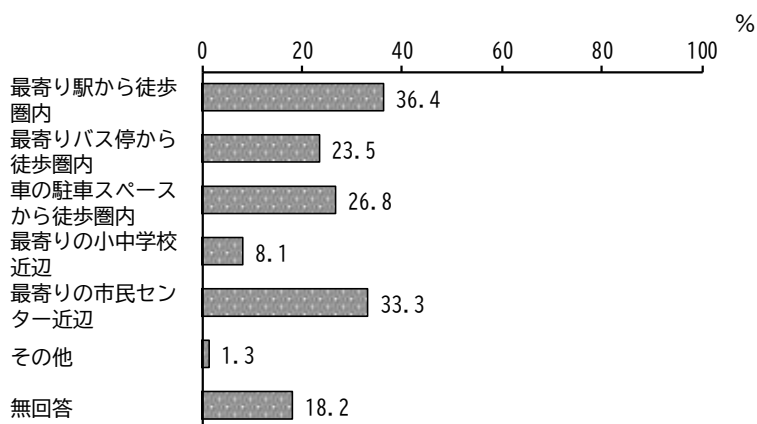
単位：％

区分	回答者数 (件)	電話	職員が御自宅へ訪問	地域包括支援センターへ行く	電子メール	手紙	その他	無回答
全 体	2,678	56.9	29.8	32.7	9.7	5.5	0.7	16.1
男性 65～74歳	580	50.9	26.4	37.2	19.8	6.6	0.7	15.3
75～84歳	538	53.2	27.5	30.7	10.2	5.4	0.7	18.4
85歳以上	137	48.9	36.5	21.2	4.4	5.8	1.5	26.3
女性 65～74歳	615	63.3	29.3	41.8	9.9	5.5	0.3	12.2
75～84歳	637	60.6	31.2	27.2	3.0	4.9	0.8	16.2
85歳以上	154	61.7	40.9	19.5	1.9	3.9	0.0	17.5

(3) 地域包括支援センターへ行く場合、どのような場所であれば行きやすいですか (いくつかでも)

「最寄り駅から徒歩圏内」の割合が 36.4%と最も高く、次いで「最寄りの市民センター近辺」の割合が 33.3%、「車の駐車スペースから徒歩圏内」の割合が 26.8%となっています。

回答者数 = 2,678



【地区別】

地区別にみると、青梅、河辺で「最寄り駅から徒歩圏内」、梅郷、成木で「最寄りバス停から徒歩圏内」、沢井で「車の駐車スペースから徒歩圏内」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	最寄り駅から徒歩圏内	最寄りバス停から徒歩圏内	車の駐車スペースから徒歩圏内	最寄りの小中学校近辺	最寄りの市民センター近辺	その他	無回答
全 体	2,678	36.4	23.5	26.8	8.1	33.3	1.3	18.2
青梅	251	53.4	26.3	27.1	1.6	14.3	1.6	16.7
東青梅	327	44.6	20.8	20.5	6.4	30.9	1.8	15.0
長湊	435	32.6	27.1	26.2	9.7	33.3	0.9	19.8
河辺	309	52.8	9.7	21.4	9.7	40.5	1.3	15.9
梅郷	233	30.9	37.3	34.8	4.7	35.2	1.3	16.7
沢井	87	46.0	6.9	39.1	6.9	36.8	0.0	13.8
大門	373	31.6	31.4	26.5	11.5	34.3	0.8	19.3
新町	318	31.4	16.4	28.6	9.7	37.4	2.2	17.9
今井	208	16.3	24.0	27.9	10.1	38.0	1.4	24.5
小曾木	74	13.5	23.0	35.1	5.4	32.4	0.0	25.7
成木	46	19.6	34.8	30.4	4.3	39.1	2.2	19.6

【圏域別】

圏域別にみると、第1地区で「最寄り駅から徒歩圏内」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	最寄り駅から徒歩 圏内	最寄りバス停から 徒歩圏内	車の駐車スペース から徒歩圏内	最寄りの小中学校 近辺	最寄りの市民セン ター近辺	その他	無回答
全 体	2,678	36.4	23.5	26.8	8.1	33.3	1.3	18.2
第1地区	578	48.4	23.2	23.4	4.3	23.7	1.7	15.7
第2地区	1,064	39.2	22.7	27.7	8.4	36.1	1.0	17.5
第3地区	1,019	26.6	24.7	28.3	9.9	36.1	1.4	20.4

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が下がるほど、男性では「最寄り駅から徒歩圏内」「車の駐車スペースから徒歩圏内」「最寄りの市民センター近辺」の割合が高く、女性では「最寄り駅から徒歩圏内」「最寄りの小中学校近辺」「最寄りの市民センター近辺」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	最寄り駅から徒歩 圏内	最寄りバス停から 徒歩圏内	車の駐車スペース から徒歩圏内	最寄りの小中学校 近辺	最寄りの市民セン ター近辺	その他	無回答
全 体	2,678	36.4	23.5	26.8	8.1	33.3	1.3	18.2
男性 65～74歳	580	34.3	16.6	40.3	5.7	35.5	1.4	14.3
75～84歳	538	33.3	22.5	29.9	8.9	29.7	1.1	20.4
85歳以上	137	25.5	18.2	18.2	6.6	27.0	0.7	38.0
女性 65～74歳	615	46.7	25.4	26.8	10.4	37.4	1.0	11.4
75～84歳	637	34.5	29.5	15.4	8.3	33.9	1.7	20.7
85歳以上	154	31.2	26.6	22.7	5.2	26.0	1.9	24.7

(4) ご意見がありましたらお書きください(自由記入)

【認知不足・周知（PR）に関する意見】

- 地域包括支援センターがあるという事、名前は知っているという程度で何をしているのか、内容がわからない。何の相談が出来るのでしょうか。
- 広報で催し物ばかり書かないで、市の施設や支援の内容を各月ごとに説明した物やパンフレットを配布してほしい。
- 過去の相談の種類や内容と、処理がどうであったかを個人情報に関わらない範囲で公開し、意見をまとめてほしい。
- **【移動支援・交通アクセスへの要望】**
- 包括支援センターへ自力で行けない人達の相談事を聴く(訊く)事を検討して頂きたいです。
- 都バス、西東京バスの他に、市営の小型バスを運営して頂きたい。(例、羽村(はむろこ))コミュニティバスの新設。
- 都内大田区から移住して1年半過ぎましたが住居が駅から遠いため、地域包括支援センターがもう少し近くにあったらいいと思います。

【将来への不安・生活上の困りごと】

- 買物ができなくなったり、車の運転ができなくなった時に、信用できる人がいない。
- 今は自分の事を自分でできるが、これから先、どうなるかは不安である。歩いて行ける近くのセンター位の距離で気軽に行ける相談窓口でもあれば頼りたいかと思う。
- 心臓の手術(自工弁への取替)してから心臓に負担がかからない範囲しか出きないため行動はんが狭くなりなやみの種。

【支援センターや行政への不満・改善要望】

- 支援センターは官僚的で、困っている人の立場で動かない。時間がかかる。
- 実際に地域包括支援センターに電話したが、職員が退職して手がたりないとかで相手にされなかった。
- 介護認定に疑問があります、手術から2年がたち、お風呂介護イスにすわりシャワーのみ、トイレ、手すり必要、ねかえりバットさくを利用、痛み有り、しかし認知証でない為要支援です。外出も一人では出来ずほとんど介護状態です。
- 介護のコーディネーターと理解しておりますが地域現況現状把握ができていないと思いました担当の方は一方通行ではなく自身の目耳等で現場や環境を確認してほしいと思う。

【支援センターや行政への評価・感謝】

- 8月に妻を無くし落ち込んでおりましたが、手続きに訪れた時の市役所職員の対応は優しく、わかりやすく、市民として守られていると強く感じました。
- 同居していた義両親が病んでしまった時、”家族会”でもものすごく力付けていただいたことでのりこえることができました。
- 4年以上前だが包括支援センターに電話→ケアマネージャーを紹介→デイサービスを紹介 現在デイサービスに通っている全てに親切に対応してもらっている。
- 毎月電話で状態を聞いてくれます三月に1度訪問してくれます。
- **【制度やサービスへの新たな提案・要望】**

- 1日も早く後見人制度をつくって下さい。
- 高齢者向けの食料支援とかあれば良いと思う。賞味期限切れのビスケットとかでも、生活に困っている高齢者には助かる。
- 高齢者が元気で、活動することで、医療費等がおさえられると思う。①市内で、活動している高齢者を含む、サークル等取材して、広く市民に知らせてほしい。②どうすればおもしろそうなサークルを見つけられるのか知りたい。③客席や音響が、ちゃんとしているゆったりしたホールが備えられている施設がほしい。
- 私達夫婦は聴覚障害者です。その際に手話通訳が必要です。対応をよろしくお願いします。

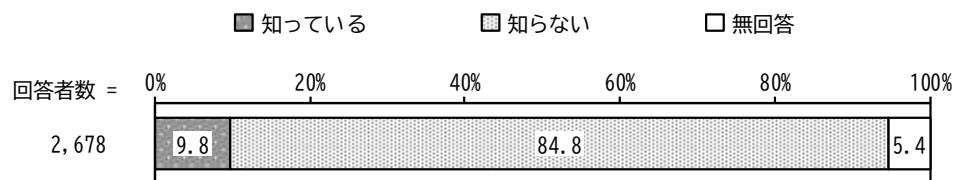
【現在の生活状況・自身のスタンス】

- 転居したりばかりなので、このアンケートも0からのスタートとなります前に住んでいた所では利用していた事も、まだ青梅でははじめられていません。少しずつ参加したいです。

問 17 地域福祉コーディネーターについて

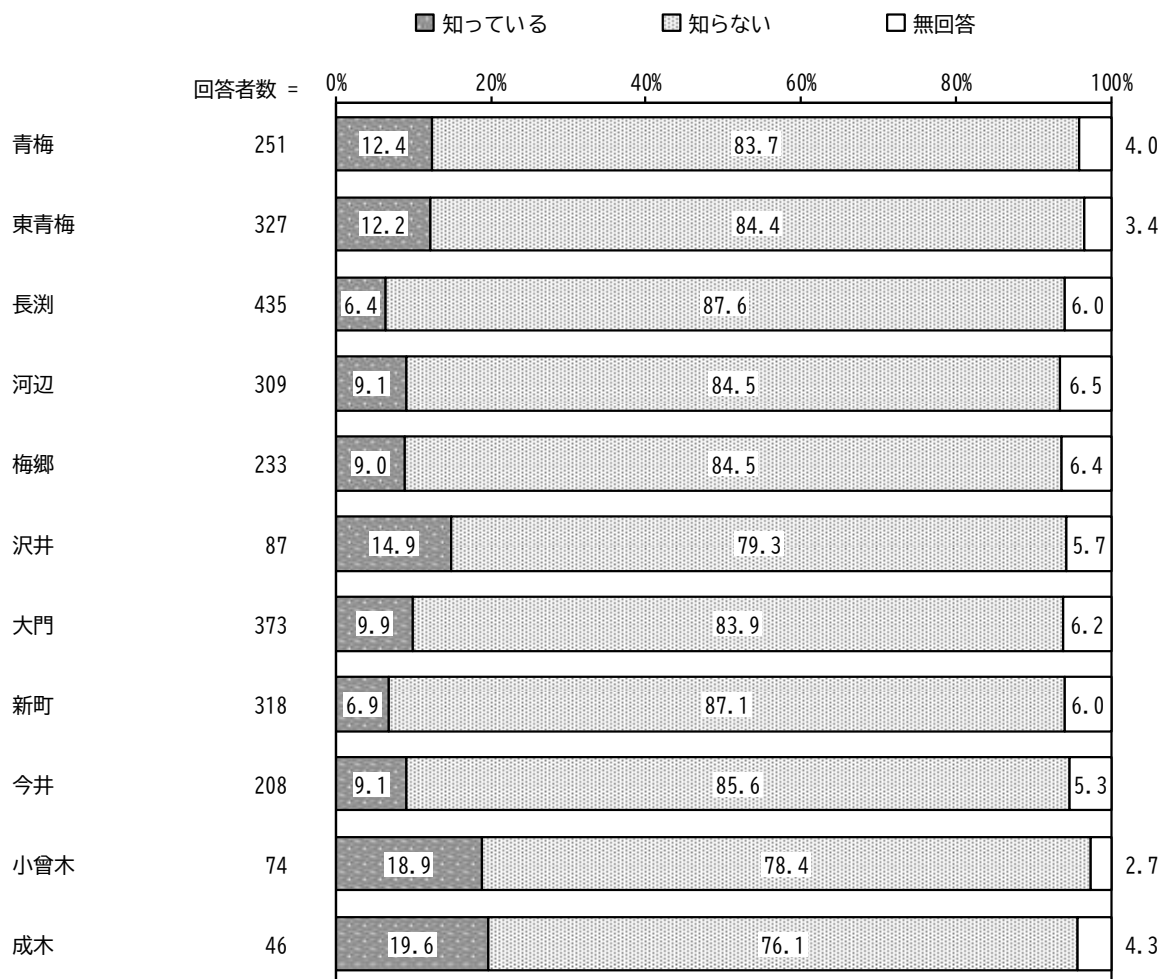
(1) どこに相談したらよいか分からない個人や地域のお困りごとの解決に向けて支援する「地域福祉コーディネーター」の存在を知っていますか

「知っている」の割合が9.8%、「知らない」の割合が84.8%となっています。



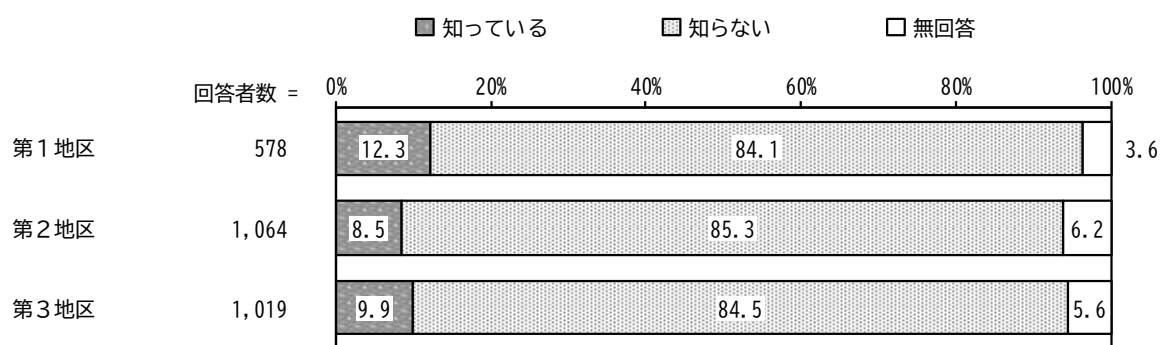
【地区別】

地区別にみると、小曾木、成木で「知っている」の割合が高くなっています。



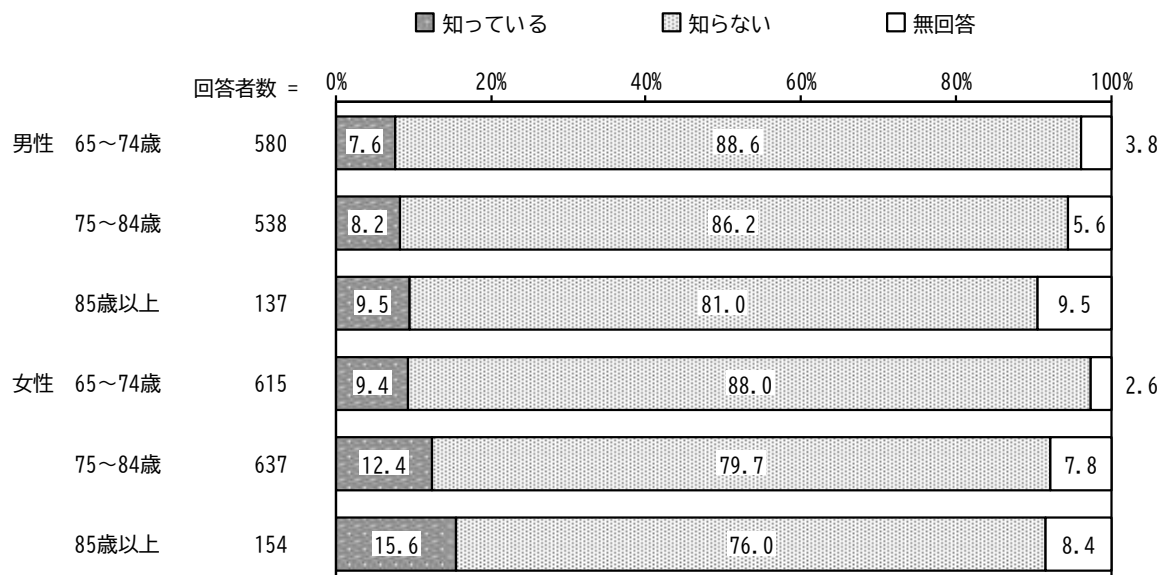
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「知らない」の割合が高く、女性では年齢が上がるほど「知っている」の割合が高くなっています。

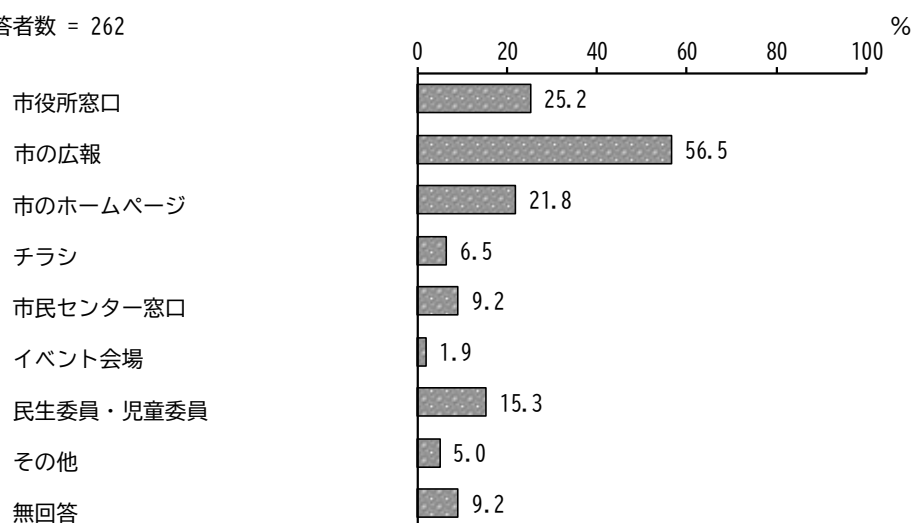


【(1) において「知っている」を選んだ方のみ】

①地域福祉コーディネーターを知ったきっかけは何ですか（いくつでも）

「市の広報」の割合が 56.5%と最も高く、次いで「市役所窓口」の割合が 25.2%、「市のホームページ」の割合が 21.8%となっています。

回答者数 = 262



【地区別】

地区別にみると、長渕、沢井で「市役所窓口」、大門で「市の広報」、大門、新町で「市のホームページ」、沢井、大門、今井で「チラシ」、梅郷で「市民センター窓口」、東青梅で「民生委員・児童委員」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	市役所窓口	市の広報	市のホームページ	チラシ	市民センター窓口	イベント会場	民生委員・児童委員	その他	無回答
全 体	262	25.2	56.5	21.8	6.5	9.2	1.9	15.3	5.0	9.2
青梅	31	22.6	48.4	19.4	0.0	6.5	0.0	19.4	9.7	6.5
東青梅	40	30.0	50.0	15.0	5.0	7.5	2.5	25.0	7.5	7.5
長渕	28	32.1	53.6	28.6	7.1	10.7	0.0	17.9	7.1	10.7
河辺	28	21.4	50.0	17.9	3.6	7.1	0.0	7.1	10.7	14.3
梅郷	21	28.6	52.4	19.0	4.8	14.3	0.0	9.5	0.0	4.8
沢井	13	30.8	46.2	15.4	15.4	7.7	0.0	15.4	0.0	15.4
大門	37	29.7	86.5	29.7	16.2	13.5	5.4	10.8	0.0	0.0
新町	22	18.2	54.5	31.8	0.0	4.5	4.5	9.1	4.5	18.2
今井	19	15.8	63.2	21.1	15.8	10.5	5.3	5.3	0.0	15.8
小曾木	14	14.3	64.3	21.4	0.0	0.0	0.0	21.4	0.0	14.3
成木	9	22.2	22.2	11.1	0.0	22.2	0.0	33.3	11.1	0.0

【圏域別】

圏域別にみると、第3地区で「市の広報」、第1地区で「民生委員・児童委員」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	市役所窓口	市の広報	市のホームページ	チラシ	市民センター窓口	イベント会場	民生委員・児童委員	その他	無回答
全 体	262	25.2	56.5	21.8	6.5	9.2	1.9	15.3	5.0	9.2
第1地区	71	26.8	49.3	16.9	2.8	7.0	1.4	22.5	8.5	7.0
第2地区	90	27.8	51.1	21.1	6.7	10.0	0.0	12.2	5.6	11.1
第3地区	101	21.8	66.3	25.7	8.9	9.9	4.0	12.9	2.0	8.9

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「市役所窓口」「市民センター窓口」「民生委員・児童委員」の割合が高く、女性では「市の広報」の割合が高くなっています。

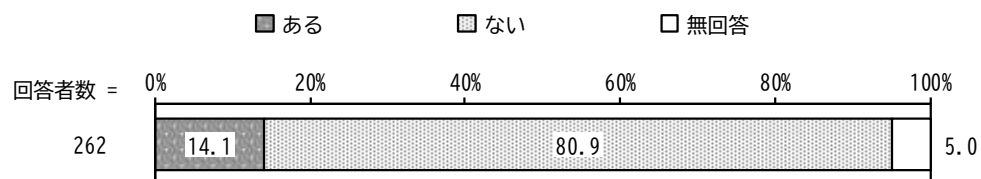
単位：％

区分	回答者数 (件)	市役所窓口	市の広報	市のホームページ	チラシ	市民センター窓口	イベント会場	民生委員・児童委員	その他	無回答
全 体	262	25.2	56.5	21.8	6.5	9.2	1.9	15.3	5.0	9.2
男性 65～74歳	44	18.2	59.1	38.6	9.1	6.8	0.0	11.4	9.1	11.4
75～84歳	44	22.7	63.6	20.5	6.8	11.4	0.0	15.9	2.3	4.5
85歳以上	13	46.2	53.8	46.2	7.7	23.1	0.0	30.8	0.0	0.0
女性 65～74歳	58	25.9	50.0	19.0	6.9	10.3	3.4	12.1	8.6	10.3
75～84歳	79	24.1	55.7	11.4	6.3	6.3	2.5	19.0	2.5	11.4
85歳以上	24	33.3	58.3	20.8	0.0	8.3	4.2	8.3	4.2	8.3

【(1) において「知っている」を選んだ方のみ】

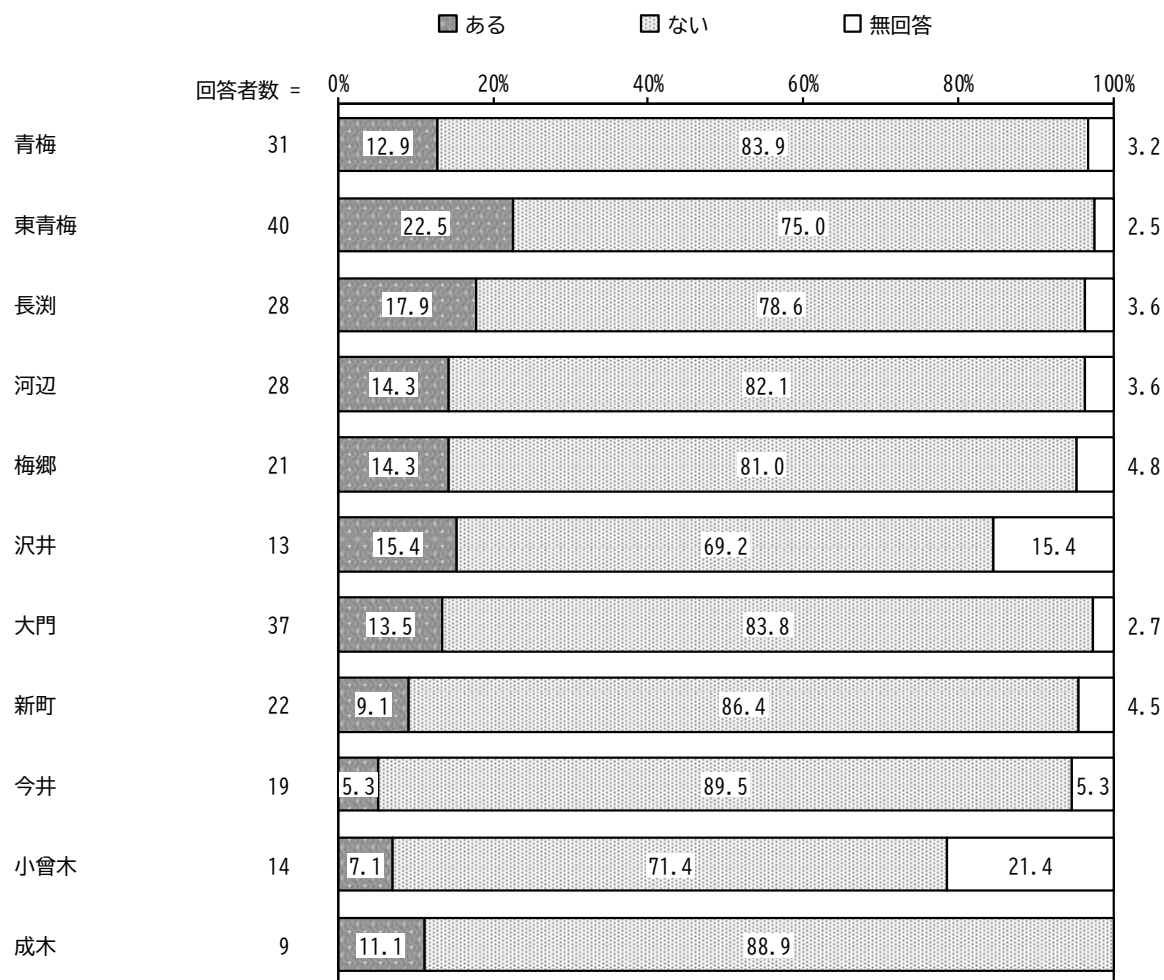
②地域福祉コーディネーターに相談したことはありますか

「ある」の割合が14.1%、「ない」の割合が80.9%となっています。



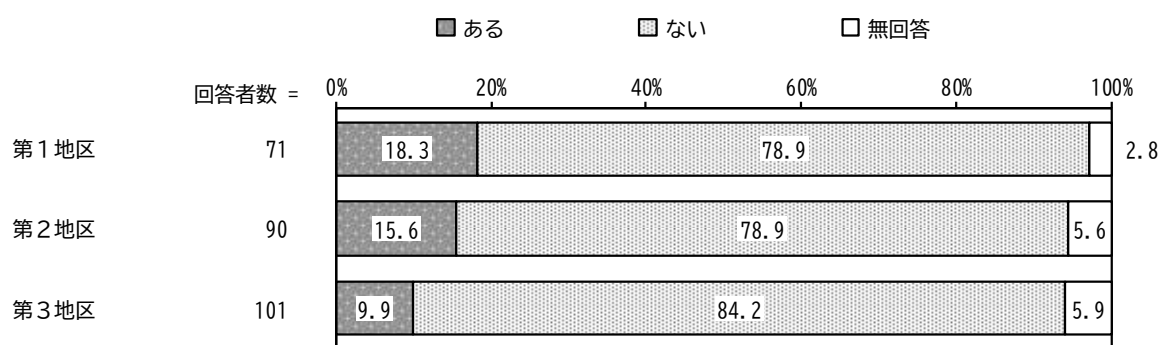
【地区別】

地区別にみると、沢井で「ない」の割合が低くなっています。



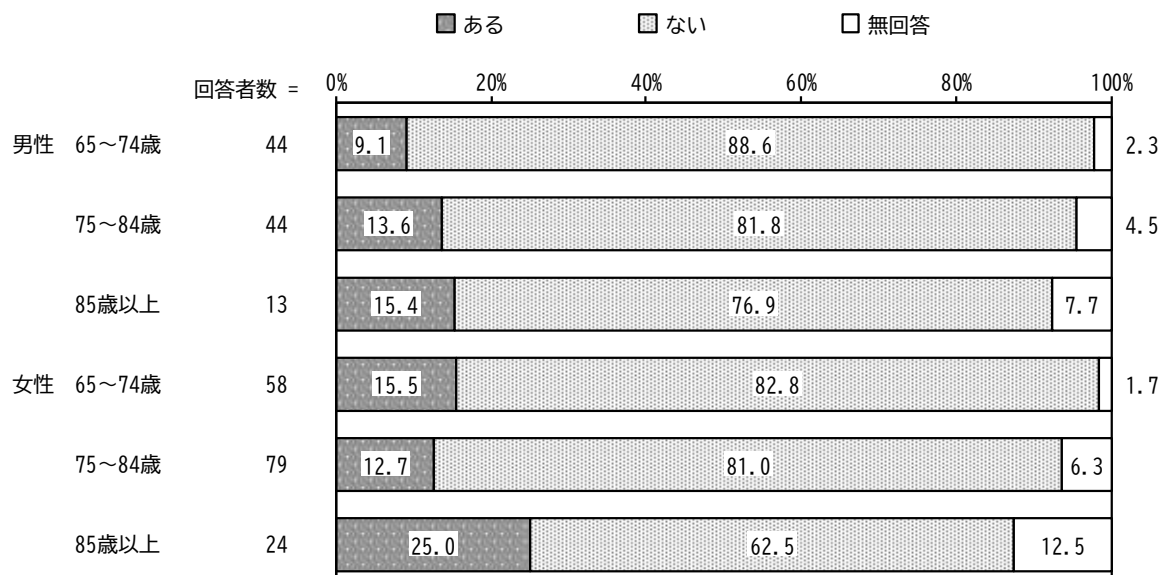
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



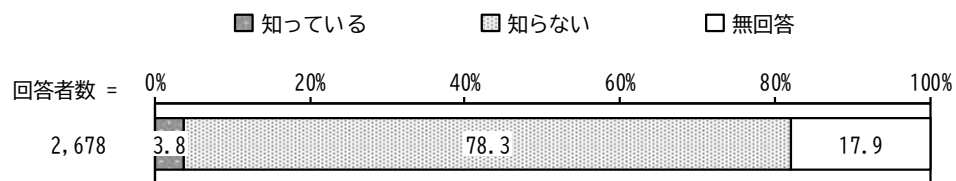
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「ある」の割合が高く、女性では年齢が下がるほど「ない」の割合が高くなっています。



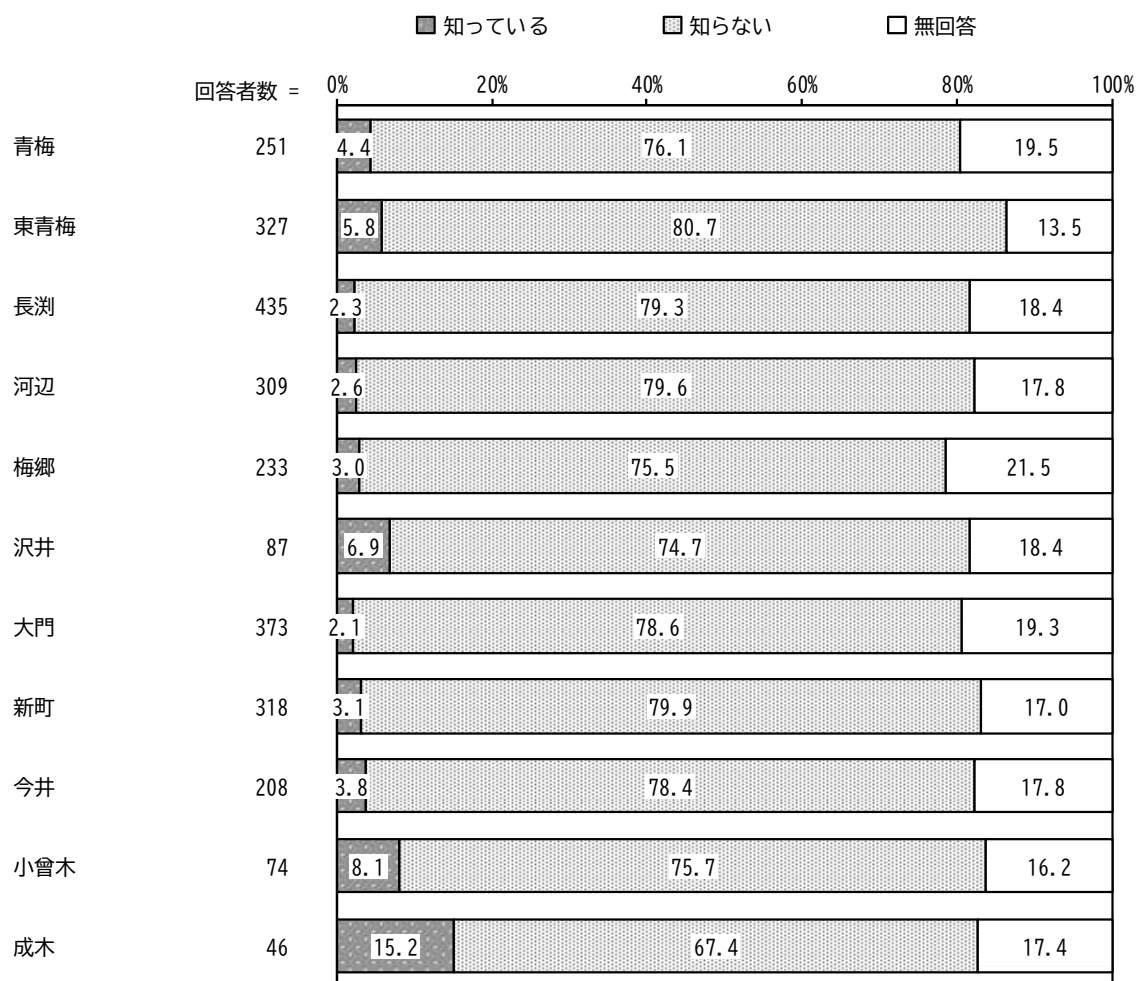
(2) 市民センター等において地域福祉コーディネーターによる相談会「ふらっと相談室しゃべルーム」が定期的に行われていることを知っていますか

「知っている」の割合が3.8%、「知らない」の割合が78.3%となっています。



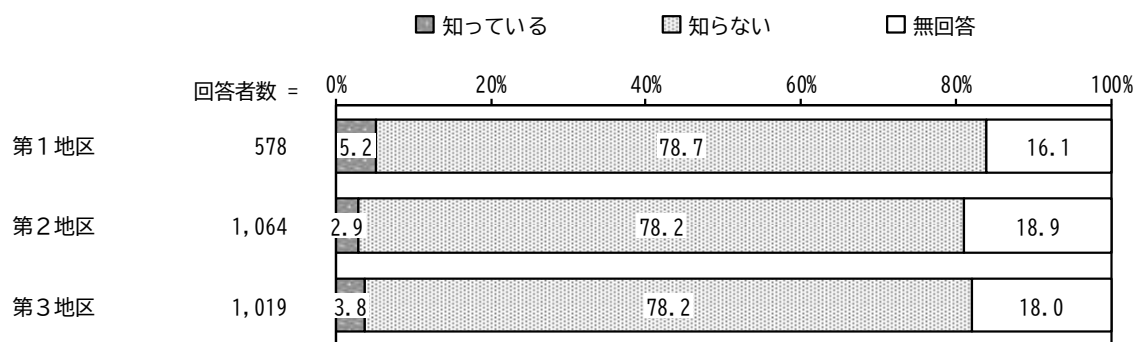
【地区別】

地区別にみると、成木で「知っている」の割合が高くなっています。



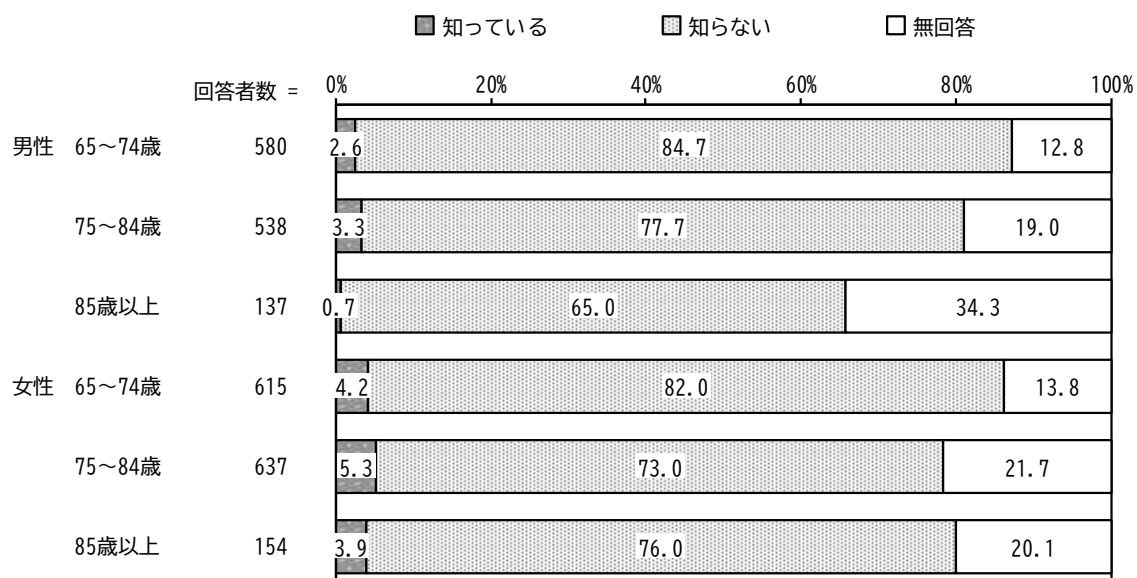
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「知らない」の割合が高くなっています。

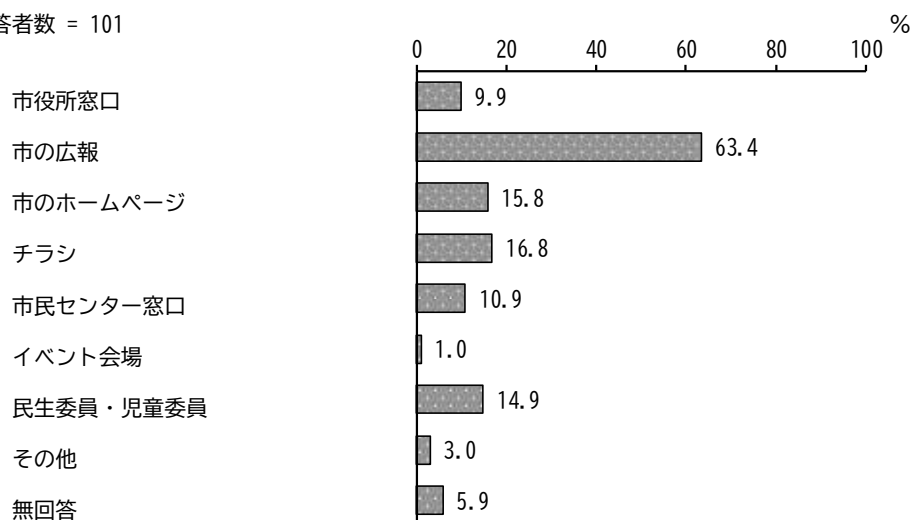


【(2) において「知っている」を選んだ方のみ】

①「ふらっと相談室しゃべルーム」を知ったきっかけは何ですか（いくつでも）

「市の広報」の割合が63.4%と最も高く、次いで「チラシ」の割合が16.8%、「市のホームページ」の割合が15.8%となっています。

回答者数 = 101



【地区別】

地区別にみると、新町で「市役所窓口」「市の広報」、青梅で「市のホームページ」、東青梅で「民生委員・児童委員」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	市役所窓口	市の広報	市のホームページ	チラシ	市民センター窓口	イベント会場	民生委員・児童委員	その他	無回答
全 体	101	9.9	63.4	15.8	16.8	10.9	1.0	14.9	3.0	5.9
青梅	11	18.2	72.7	36.4	9.1	9.1	0.0	9.1	0.0	9.1
東青梅	19	5.3	57.9	10.5	21.1	10.5	0.0	31.6	0.0	5.3
長瀬	10	10.0	50.0	20.0	20.0	10.0	0.0	10.0	0.0	10.0
河辺	8	12.5	62.5	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	25.0	12.5
梅郷	7	0.0	42.9	0.0	42.9	57.1	0.0	0.0	0.0	14.3
沢井	6	0.0	50.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
大門	8	0.0	62.5	37.5	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
新町	10	20.0	80.0	20.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	10.0
今井	8	12.5	75.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小曾木	6	33.3	83.3	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
成木	7	0.0	57.1	14.3	0.0	0.0	14.3	28.6	14.3	0.0

【圏域別】

圏域別にみると、第3地区で「市の広報」、第2地区で「チラシ」「市民センター窓口」、第1地区で「民生委員・児童委員」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	市役所窓口	市の広報	市のホームページ	チラシ	市民センター窓口	イベント会場	民生委員・児童委員	その他	無回答
全 体	101	9.9	63.4	15.8	16.8	10.9	1.0	14.9	3.0	5.9
第1地区	30	10.0	63.3	20.0	16.7	10.0	0.0	23.3	0.0	6.7
第2地区	31	6.5	51.6	6.5	25.8	16.1	0.0	12.9	6.5	9.7
第3地区	39	12.8	71.8	20.5	10.3	7.7	2.6	10.3	2.6	2.6

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「市の広報」「民生委員・児童委員」の割合が高く、「市のホームページ」「チラシ」の割合が低く、女性では「市の広報」「市民センター窓口」の割合が高く、「チラシ」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	市役所窓口	市の広報	市のホームページ	チラシ	市民センター窓口	イベント会場	民生委員・児童委員	その他	無回答
全 体	101	9.9	63.4	15.8	16.8	10.9	1.0	14.9	3.0	5.9
男性 65～74歳	15	6.7	53.3	26.7	13.3	6.7	0.0	20.0	0.0	13.3
75～84歳	18	11.1	55.6	22.2	5.6	22.2	0.0	22.2	0.0	5.6
85歳以上	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
女性 65～74歳	26	7.7	57.7	15.4	30.8	7.7	3.8	7.7	7.7	7.7
75～84歳	34	14.7	70.6	5.9	17.6	8.8	0.0	14.7	2.9	0.0
85歳以上	6	0.0	83.3	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7

(3) ご意見がありましたらお書きください(自由記入)

【認知不足・周知に関する意見】

- 初めて存在を知りました。
- 知らないことが多すぎる印象。使わなければ知らないのかもしれない。
- なんで知らないの聞かないのかな？
- 高齢者世帯にチラシ配布など情報があると嬉しいです。
- 地域福祉コーディネーターの連絡先等の PR (広報) 及び役割の周知が必要だと思います
- (問 16) と同様相談窓口を知らず、利用方法も理解出来ない人が多いと思われる市職員が納得していても市民が利用する気持ちに成らなければ税金の無駄使いと思われる。

【役割・制度への疑問や不安】

- ケアマネージとは、違いますか
- 福祉コーディネーターはどんな事を相談出来るのですか
- コーディネーターは口が固く、秘密が守れてるのでしょうか？

【利用意向・交流の場への期待】

- 「ふらっと相談室しゃべルーム」に行ってみたいと思いました。
- 知らなかったがとても良い事ですね。相談できるのは、良いですね。
- 誰かに聞いて行けると良いと思います。きっかけがないです。
- みんなが楽しめる会を増やしてほしい。
- 相談がなくても、ふらっと寄って、しゃべれるような場に拡大していただけると、交流の場にもなって一石二鳥？週1日くらいの間隔で

【アクセス・運営への意見】

- 市民センターまでが遠いので行きづらいコンビニやスーパー、コープみたいな所に居てくれたら買物のついでに相談しやすい。
- 相談室を開催しても来訪者がほぼいません。(沢井 CC) これではいけないので、地域の方をさそって毎月行っています。メンバーが固定しています。初期認知症の方のお世話をしてもらっています。主旨、機能していないと思います。有効な相談室となるよう再検討して欲しい。他市の状況を調べてみようと考えていて、参考にして改善点を構築して欲しい。

【現在の生活状況・将来への意識】

- 自分がまだ健康でいるので、介護や福祉について必要でないとの認識のためか理解が少ない。
- 家族4人で住んでいますので、時々言い合いもありますが主人は80才ですが元気で、毎日の散歩で話しをしたり犬もいるので今は幸せに生活しております
- いつか、お世話になることがあると思います。今は夫婦どうにか楽しくやっているため、この件に目が行きません。今現在が安泰ということですね(笑)
- 相談会等は必要で、好んでいる方には良い方法かもしれないが、私は個人的に利用するつもりはありません。
- 知らないことが多く、勉強不足です。まだ先。まだ先と思ってましたが、自分の体の変化は徐々に始まっています。周りに迷惑をかけないことが大事。知らなかったではなく、勉強します。

- これから、いろいろと知りたいと思います。努力します。

【悩み・不安・困りごと】

- 相談したいことが山程あるのですが、自分自身の体のこと、家族のこと、経済的に大変なこと、働かなければ生活できないので自分から行動できないと体が頭の動きとついていけない言葉が足らずコミュニケーションがすごく苦手他人から、うつ病ではないのかといわれたこと解決にならない。
- 実際アルバイトの様な仕事を辞めたらどう生活し、どの様にどこへ自分を繋げていけばいいのか…と不安。全てにおいて、常にアンテナを張り、自ら申し出たりアクションを起こさない限り社会から離れて行くんだなあと感じた。年になってそれが出来るのか？今年亡った母については私が他市役所へ行き様々な事をした。しかし、今の私の年代は子は頼れず近隣には居ない。どうなるんだろう…？
- 生活保護を受けているが、全然お金が足りなくて困る。
- 市の広報等は目が悪く見えないのであまり見ません。金もなく病院に行けません
- 庭の木の剪定が難しくなっている。2～3本の木なので業者に頼む程ではない

【民生委員について】

- 民生委員による高齢者家族への見守り、声かけ等が全くなかった。理由を知りたい。
- 民生委員は自治会単位で選出されることが多い、ボランティア活動への意識の高いところはよいが、順番でない人は対応できない場合がある。民生委員に対して、活動週責書を多くする必要がある。

【その他】

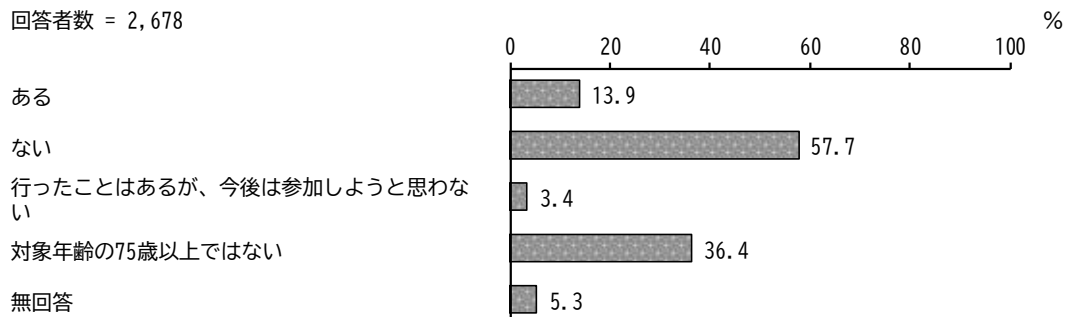
- もっと品のある、豊かなイメージがふくらむような名称にしてほしい。

問 18 敬老事業について

(1) 市では9月に75歳以上の在宅の高齢者を招いて敬老会（式典・歌謡ショー）を実施しています。この敬老会に参加したことはありますか（あてはまるものすべてに○）

「ある」の割合が13.9%、「ない」の割合が57.7%、「行ったことはあるが、今後は参加しようと思わない」の割合が3.4%となっています。

回答者数 = 2,678



【地区別】

地区別にみると、小曾木で「ある」、成木で「ない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	ある	ない	行ったことはある が、今後は参加し ようと思わない	対象年齢の 75歳以 上ではない	無回答
全 体	2,678	13.9	57.7	3.4	36.4	5.3
青梅	251	12.4	58.2	3.6	37.1	4.4
東青梅	327	13.1	60.6	2.4	36.7	3.4
長淵	435	12.0	59.3	3.4	35.9	5.5
河辺	309	13.6	59.5	3.9	35.9	5.8
梅郷	233	13.7	56.7	1.7	36.1	6.9
沢井	87	13.8	59.8	2.3	31.0	6.9
大門	373	16.9	54.4	4.3	36.5	5.1
新町	318	17.9	50.9	3.8	37.4	5.7
今井	208	10.6	60.6	3.4	38.0	5.3
小曾木	74	18.9	58.1	4.1	37.8	4.1
成木	46	8.7	65.2	4.3	30.4	6.5

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ある	ない	行ったことはある が、今後は参加し ようと思わない	対象年齢の 75歳以 上ではない	無回答
全 体	2,678	13.9	57.7	3.4	36.4	5.3
第1地区	578	12.8	59.5	2.9	36.9	3.8
第2地区	1,064	13.0	58.8	3.1	35.5	6.0
第3地区	1,019	15.7	55.3	3.9	36.9	5.3

【性・年齢別】

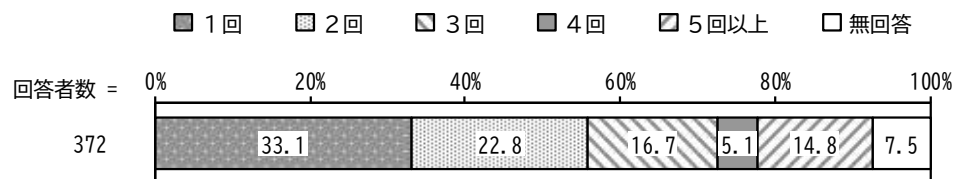
性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「ある」「行ったことはあるが、今後は参加しようと思わない」の割合が高くなっています。また、男性 75～84 歳で「ない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ある	ない	行ったことはある が、今後は参加し ようと思わない	対象年齢の 75歳以 上ではない	無回答
全 体	2,678	13.9	57.7	3.4	36.4	5.3
男性 65～74歳	580	0.9	45.9	0.2	76.9	5.2
75～84歳	538	18.4	76.0	3.5	0.7	4.8
85歳以上	137	37.2	50.4	10.2	0.0	9.5
女性 65～74歳	615	0.7	43.6	0.0	82.9	3.6
75～84歳	637	23.9	69.5	5.0	1.1	5.8
85歳以上	154	39.6	51.3	15.6	0.0	7.8

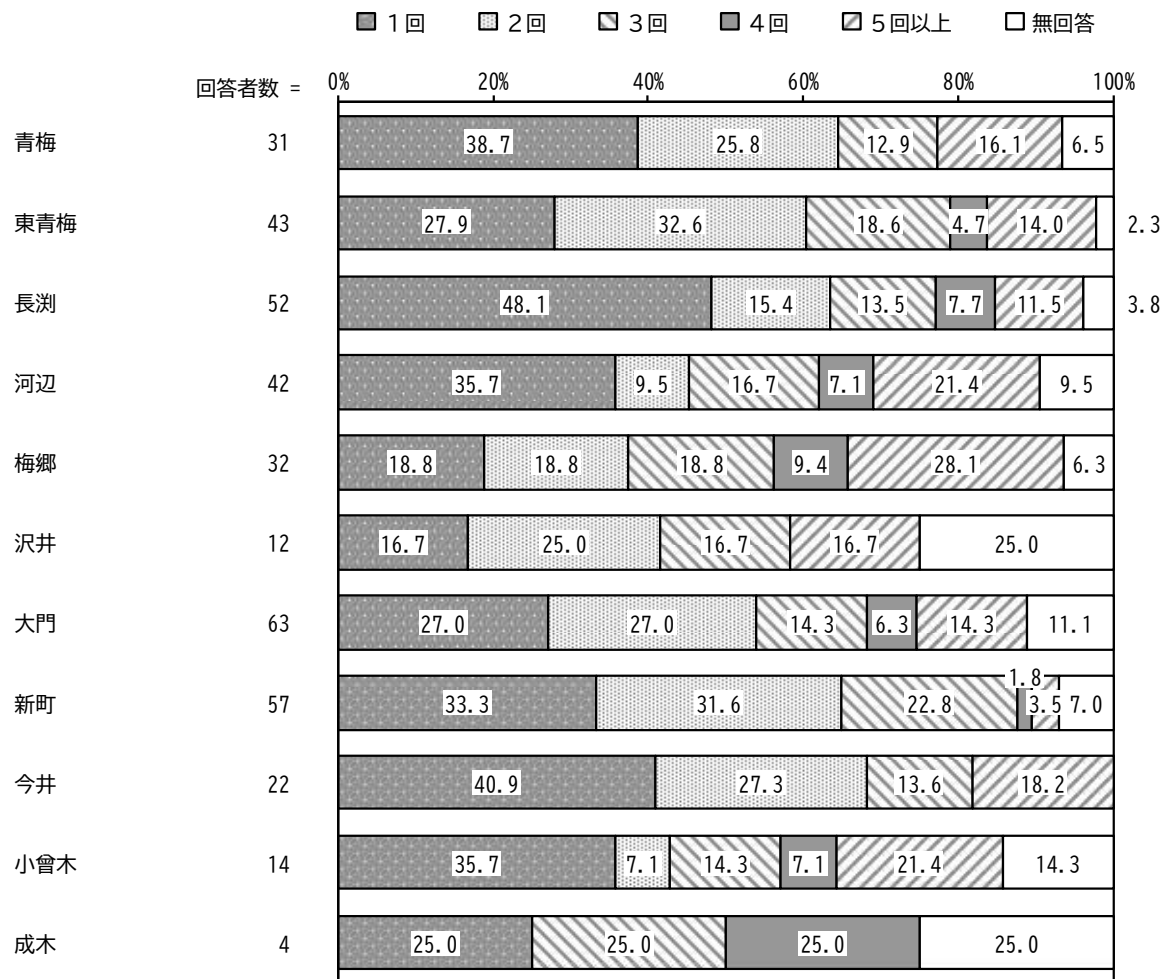
参加した回数

「1回」の割合が 33.1%と最も高く、次いで「2回」の割合が 22.8%、「3回」の割合が 16.7%となっています。



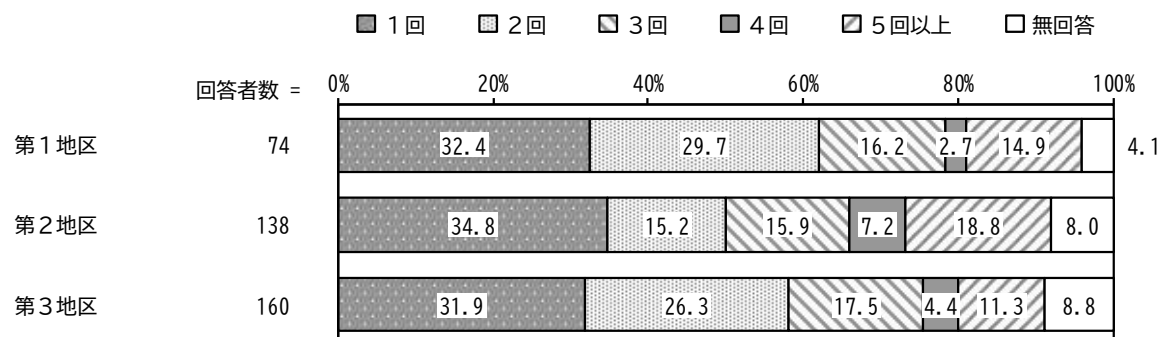
【地区別】

地区別にみると、長渚で「1回」、梅郷で「5回以上」の割合が高く、河辺、小曾木で「2回」の割合が低くなっています。



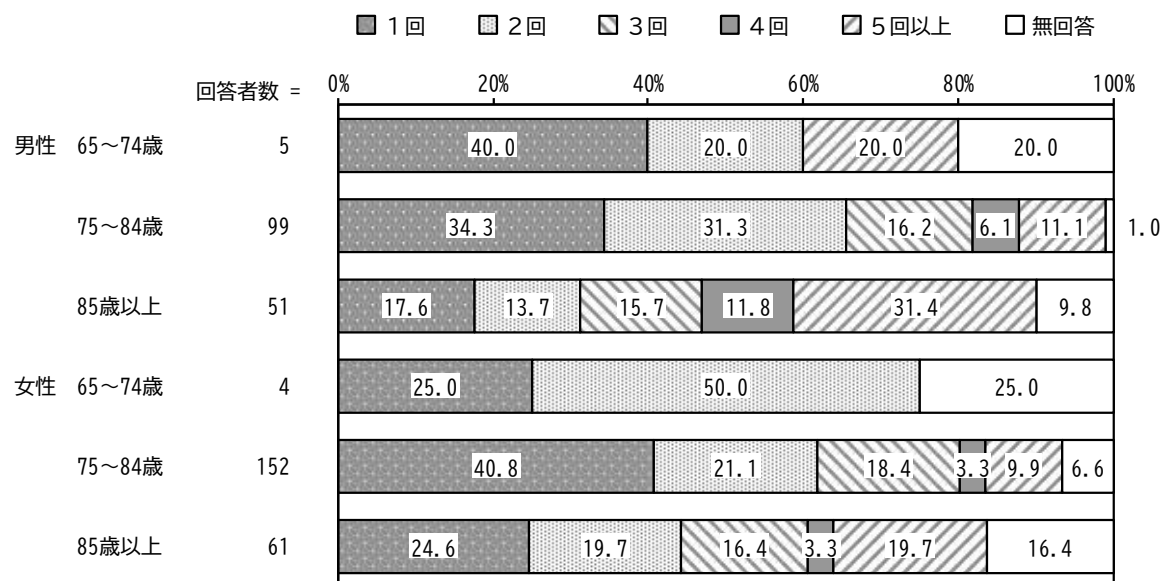
【圏域別】

圏域別にみると、第1地区で「2回」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「4回」の割合が高く、「1回」の割合が低く、女性では「5回以上」の割合が高く、「2回」の割合が低くなっています。

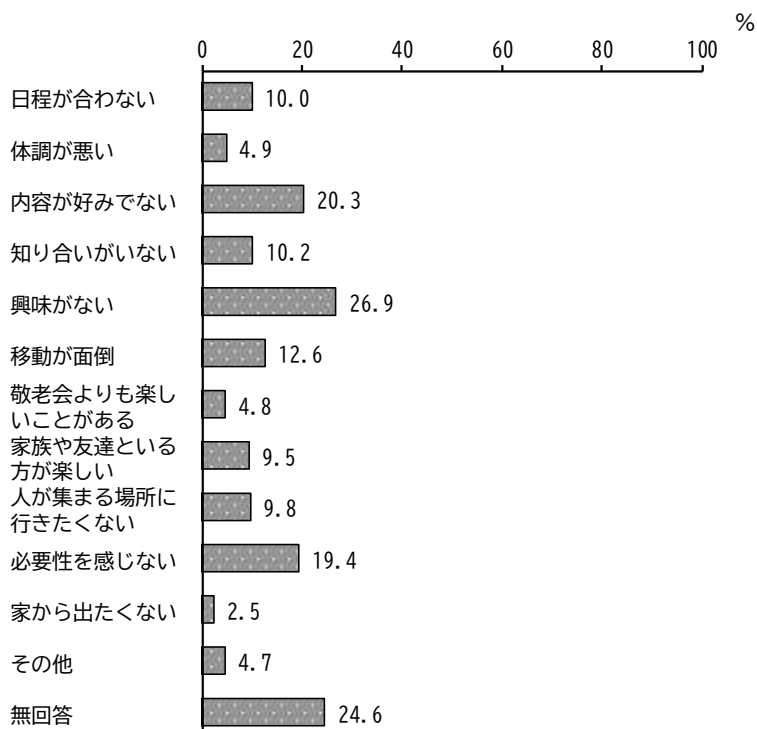


【(1) において「ない」「行ったことはあるが、今後は参加しようと思わない」の方のみ】

①参加しなかったおよび行ったことはあるが、今後は参加しようと思わない理由はなんですか？（いくつでも）

「興味がない」の割合が26.9%と最も高く、次いで「内容が好みでない」の割合が20.3%、「必要性を感じない」の割合が19.4%となっています。

回答者数 = 1,624



【地区別】

地区別にみると、成木で「日程が合わない」「知り合いがいない」、青梅、成木で「内容が好みでない」、今井で「興味がない」、沢井で「移動が面倒」、小曾木で「家族や友達という方が楽しい」、青梅、梅郷で「必要性を感じない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	日程が 合わない	体調が 悪い	内容が 好みで ない	知り合 いがい ない	興味 がない	移動が 面倒	敬老会 よりも 楽し いこと がある	家族や 友達と いう 方が 楽し い	人が集 まる場 所に 行き たく ない	必要 性を 感じ ない	家から 出たく ない	その他	無 回答
全 体	1,624	10.0	4.9	20.3	10.2	26.9	12.6	4.8	9.5	9.8	19.4	2.5	4.7	24.6
青梅	155	10.3	6.5	26.5	8.4	29.0	12.3	2.6	7.7	13.5	27.1	3.2	5.8	16.1
東青梅	205	10.7	4.4	21.5	9.8	26.8	10.2	4.9	5.9	9.8	21.0	2.9	4.9	27.8
長瀬	272	8.1	4.0	22.8	10.3	27.2	13.6	7.7	9.9	8.5	20.6	2.2	4.0	25.4
河辺	192	9.9	5.2	18.2	10.4	22.9	6.3	4.7	10.9	5.7	17.7	3.6	4.2	31.3
梅郷	135	11.1	3.7	23.0	8.1	29.6	9.6	3.0	11.9	9.6	25.2	3.0	0.7	21.5
沢井	54	14.8	7.4	18.5	5.6	29.6	18.5	5.6	5.6	9.3	20.4	3.7	3.7	27.8
大門	218	10.1	3.7	18.8	8.7	24.3	17.0	3.7	8.7	11.9	16.1	0.9	6.0	26.1
新町	173	12.1	8.7	16.2	12.1	24.9	14.5	4.6	8.7	11.0	12.7	1.7	5.2	25.4
今井	133	5.3	4.5	17.3	15.0	33.8	15.8	4.5	12.0	11.3	15.8	3.0	5.3	19.5
小曾木	46	8.7	2.2	10.9	8.7	28.3	10.9	6.5	17.4	4.3	21.7	4.3	8.7	21.7
成木	31	19.4	3.2	29.0	16.1	19.4	16.1	6.5	12.9	12.9	19.4	0.0	6.5	16.1

【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	日程が合わない	体調が悪い	内容が好みでない	知り合いがいない	興味が ない	移動が面倒	敬老会よりも 楽しいことが ある	家族や友達と いる方が楽しい	人が集まる場 所に行きたく ない	必要性を感じ ない	家から出たく ない	その他	無回答
全 体	1,624	10.0	4.9	20.3	10.2	26.9	12.6	4.8	9.5	9.8	19.4	2.5	4.7	24.6
第1地区	360	10.6	5.3	23.6	9.2	27.8	11.1	3.9	6.7	11.4	23.6	3.1	5.3	22.8
第2地区	653	9.8	4.6	21.1	9.5	26.6	11.0	5.7	10.3	8.0	20.7	2.9	3.4	26.5
第3地区	601	10.0	5.2	17.6	11.5	26.6	15.5	4.5	10.3	11.0	15.6	1.8	5.8	23.6

【性・年齢別】

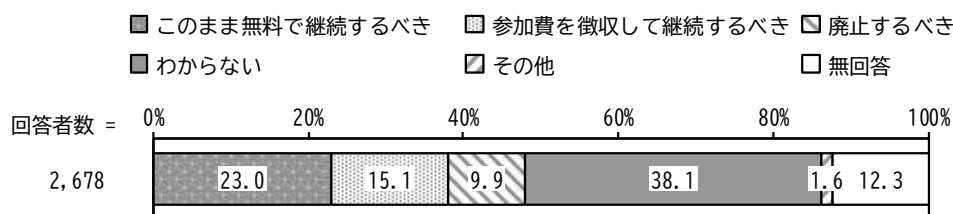
性・年齢別にみると、女性では年齢が上がるほど「日程が合わない」「体調が悪い」「知り合いがいない」「移動が面倒」の割合が高くなっています。また、男性 74～84 歳で「興味が低い」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	日程が合わない	体調が悪い	内容が好みでない	知り合いがいない	興味が ない	移動が面倒	敬老会よりも 楽しいことが ある	家族や友達と いる方が楽しい	人が集まる場 所に行きたく ない	必要性を感じ ない	家から出たく ない	その他	無回答
全 体	1,624	10.0	4.9	20.3	10.2	26.9	12.6	4.8	9.5	9.8	19.4	2.5	4.7	24.6
男性 65～74歳	266	3.0	2.6	5.6	7.1	20.7	4.1	3.0	6.8	7.1	18.0	1.9	9.0	42.9
75～84歳	423	14.9	5.7	26.0	13.2	38.8	15.4	8.0	8.3	12.5	25.5	3.1	2.4	8.5
85歳以上	83	8.4	9.6	19.3	8.4	27.7	21.7	1.2	2.4	6.0	20.5	3.6	4.8	13.3
女性 65～74歳	268	7.1	1.1	9.0	6.0	13.4	4.5	1.5	7.5	5.2	10.4	0.7	6.0	59.3
75～84歳	471	11.3	5.1	30.8	11.0	29.7	16.6	5.7	13.8	11.9	20.4	2.3	3.8	13.0
85歳以上	103	11.7	13.6	18.4	13.6	15.5	20.4	3.9	12.6	11.7	16.5	6.8	3.9	15.5

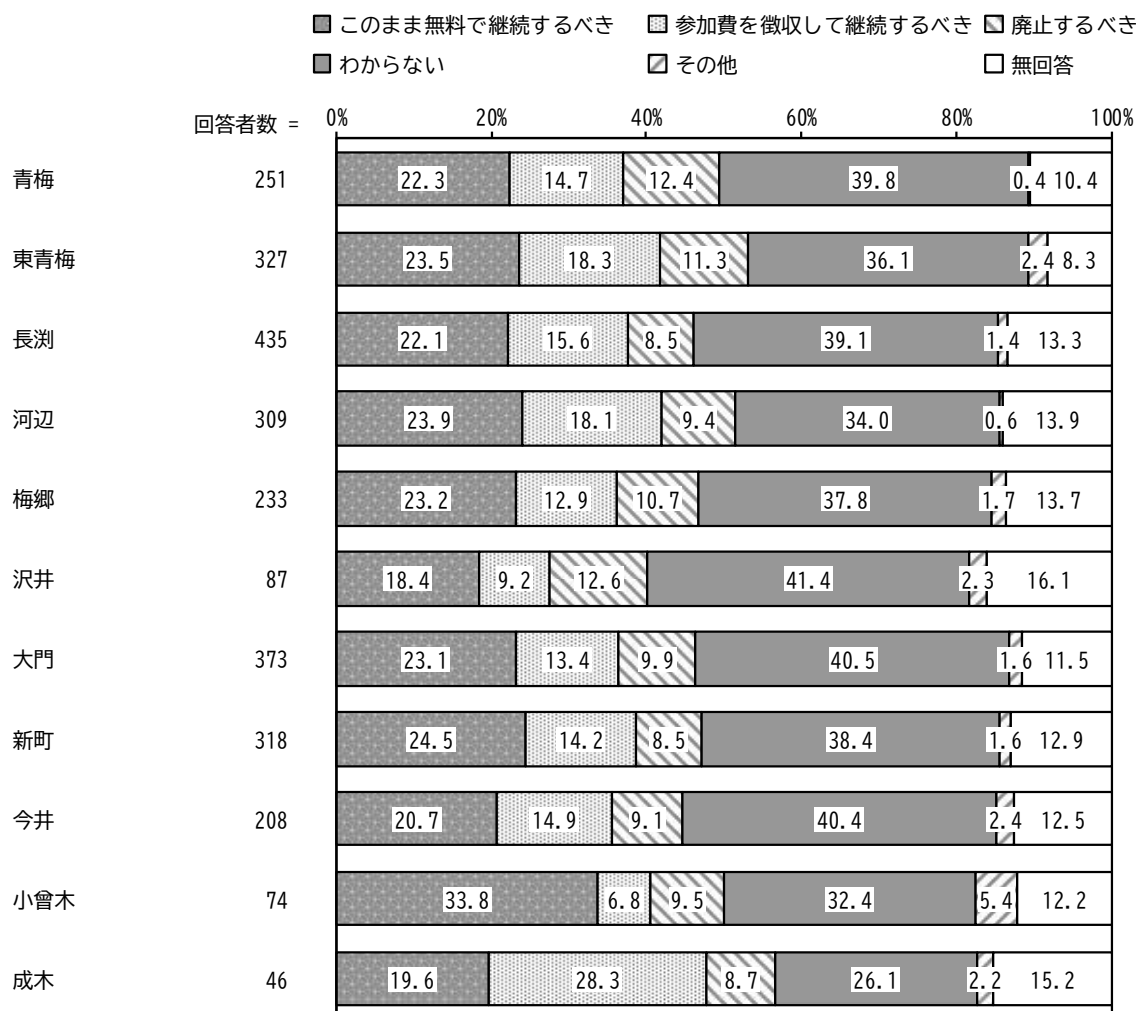
(2) 敬老会については、例年、75歳以上の方の約1割である約2,000人の参加があり、約800万円の経費がかかっています。今後の敬老会のあり方についてどう思いますか

「このまま無料で継続するべき」の割合が23.0%、「参加費を徴収して継続するべき」の割合が15.1%、「廃止するべき」の割合が9.9%となっています。



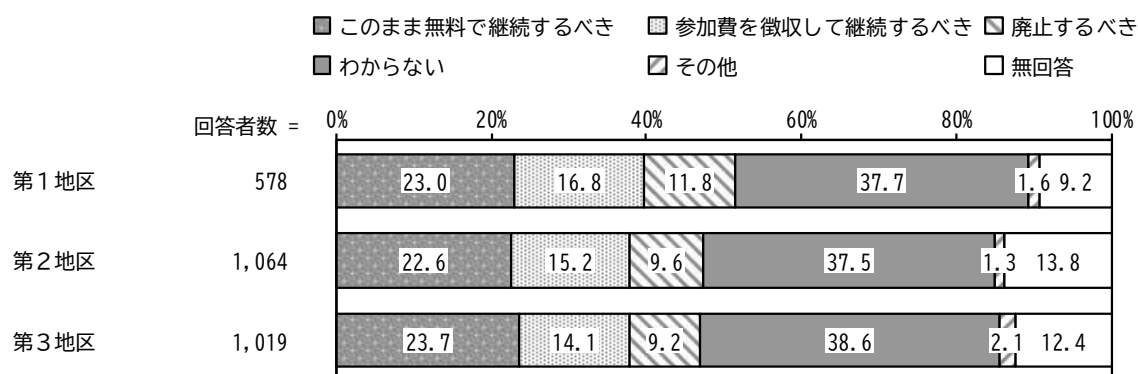
【地区別】

地区別にみると、小曾木で「このまま無料で継続するべき」、成木で「参加費を徴収して継続するべき」の割合が高くなっています。



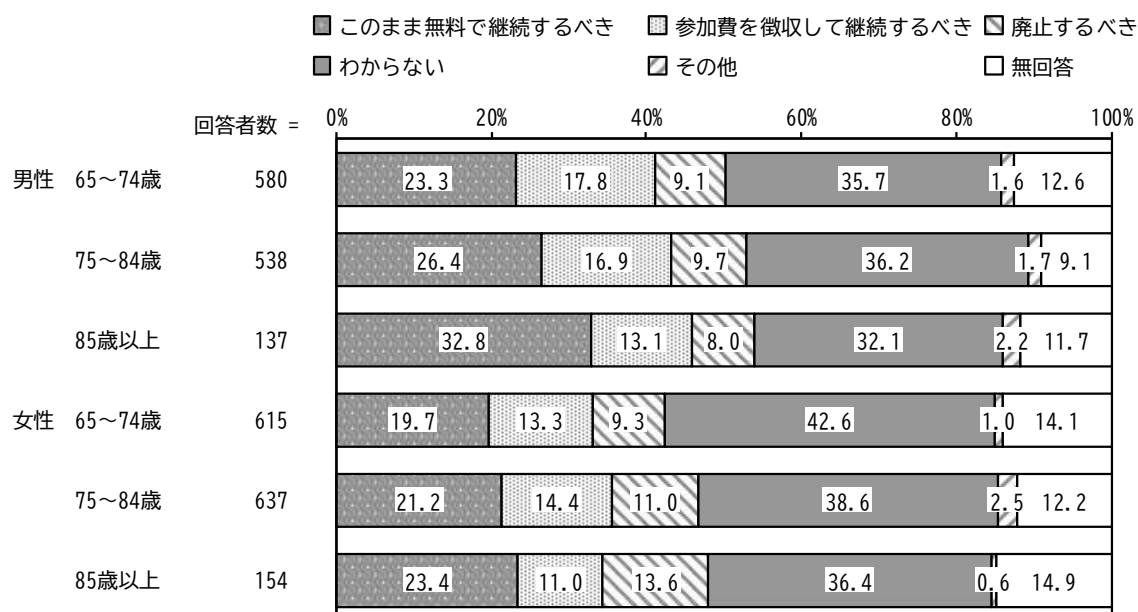
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

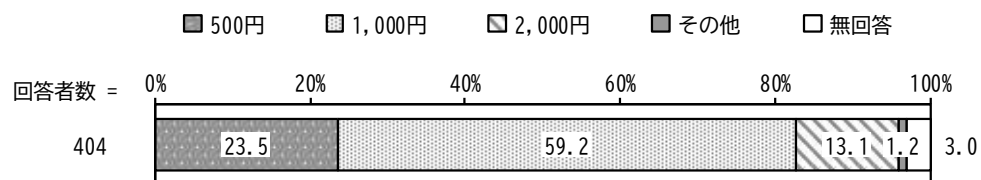
性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「このまま無料で継続するべき」の割合が高く、「参加費を徴収して継続するべき」の割合が低く、女性では「廃止するべき」の割合が高くなっています。



【(2) において「参加費を徴収して継続するべき」の方のみ】

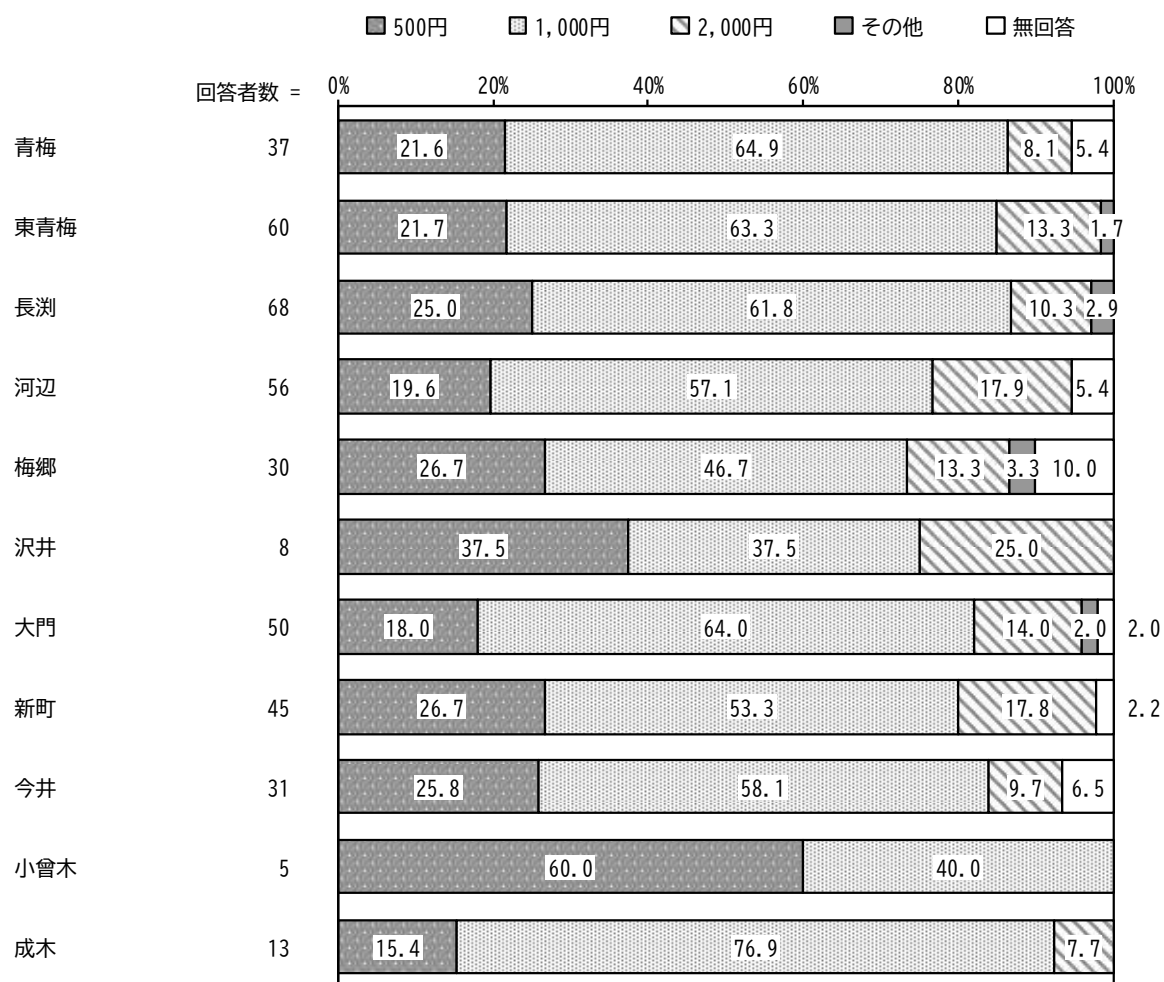
①参加費はいくらが妥当だと思いますか。

「500 円」の割合が 23.5%、「1,000 円」の割合が 59.2%、「2,000 円」の割合が 13.1%となっています。



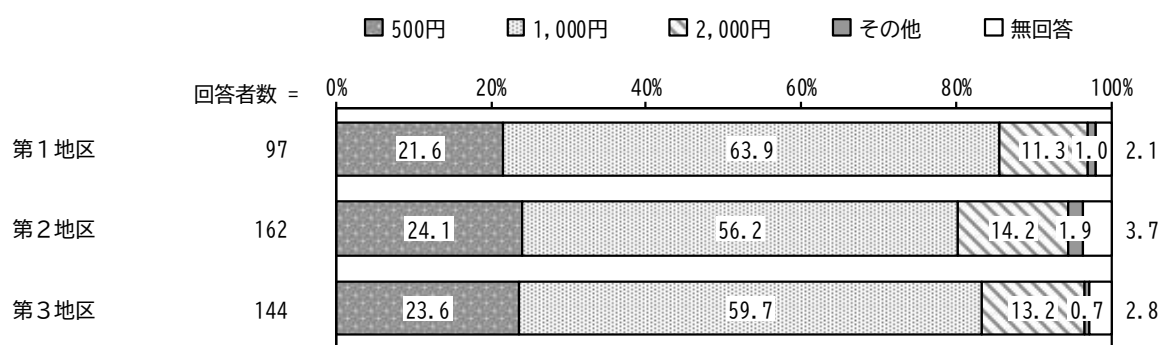
【地区別】

地区別にみると、成木で「1,000 円」の割合が高くなっています。



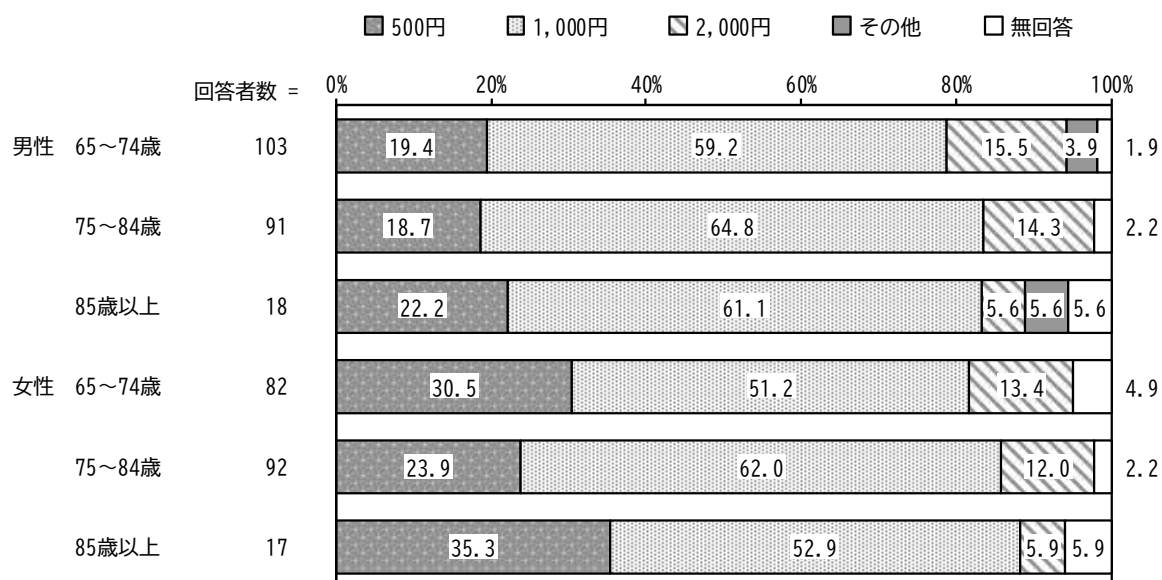
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「2,000円」の割合が高くなっています。



(3) ご意見がありましたらお書きください(自由記入)

【代替案の提案(記念品、祝い金、クーポン等への変更)】

- 一部の人しか参加しないイベントに多額の経費を使うなら、対象者全員へ平等にクーポン券やギフトカード、お小遣いなどを配布してほしい。
- 敬老会よりも、インフレで困窮する高齢者に対する食料配布などの資金に予算を回すべきである。

【参加費の徴収・有料化に関する意見】

- 健康で医療費を必要としない方への労いとして、引き続き参加費は無料が良い。
- なんでも無料にするのではなく、500円から1000円程度の参加費を徴収するか、募金箱を設置すべきである。
- 有料にすると少額でも参加できない人が出てしまうため、高齢者からお金を取るべきではない。

【継続への賛成・期待】

- 高齢者の集まる機会づくりのため、楽しみにしている方の期待に応えて今後も継続してほしい。

【公平性・不公平感に関する指摘】

- 健康で出歩ける一部の人しか参加できず、身体の弱い人や病気の人には不公平感があるため、全員に行き届く事業に見直してほしい。
- 限られた予算を恣性で使うのではなく、優先順位を精査して真に必要なところへ回すべきである。

【交通手段・会場・設備への要望】

- 足の弱い高齢者が参加しやすいように、送迎バスや駐車場の確保をお願いしたい。
- 体育館での開催は音響設備が悪く、長時間のパイプ椅子は苦痛であるため改善を望む。

【内容や企画の見直し・別形式の提案】

- 式典や歌謡ショーは古い考えであり、落語や話題のテーマの講演会、体を動かせるゲーム、地域ごとの食事会などに内容を見直してほしい。
- 呼ぶ芸能人は、市が事前のアンケート等で希望をとって決定してほしい。

【意義やあり方・時代とのズレへの言及】

- 時代が変わり高齢者の楽しみも多様化しているため、敬老会のあり方自体が今の生活環境とズレている。
- 参加率が低いのであれば経費の無駄遣いであり、真の敬老を考えて他の福祉事業(タクシー補助など)に予算を回すべきである。

【予算・経費・運営の工夫】

- 経費削減や予算確保のため、企業から寄付を募る、入札方式を見直す、入場券を直接取りに行かせてハガキ代を節約する等の工夫をしてほしい。

【開催時期・対象年齢への意見】

- 長寿者が多い現在、対象年齢が 75 歳では設定が低いのではないか。
- 透析等の通院がある人のために日曜日開催にするなど、気候の良い 10 月中下旬の実施を検討してほしい。

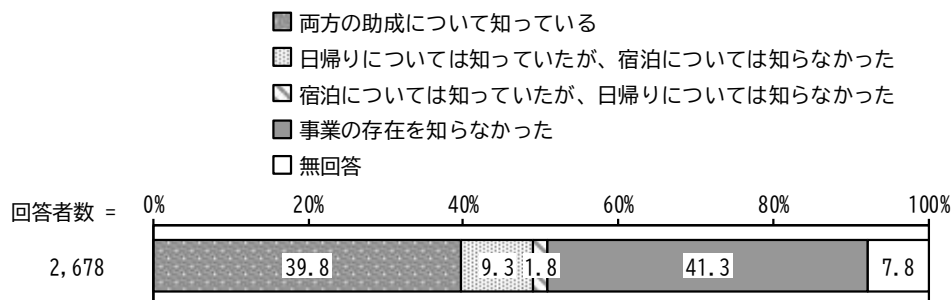
【個人の参加状況・感想（不参加の理由等）】

- 初めて参加して楽しかったが、体調不良や高齢を理由に参加を辞退するケースも多い。
- 仲よしグループができていたり義理で参加している人もいるため、自由な入会方式にするのが良い。

問 19 高齢者温泉保養施設利用助成事業について

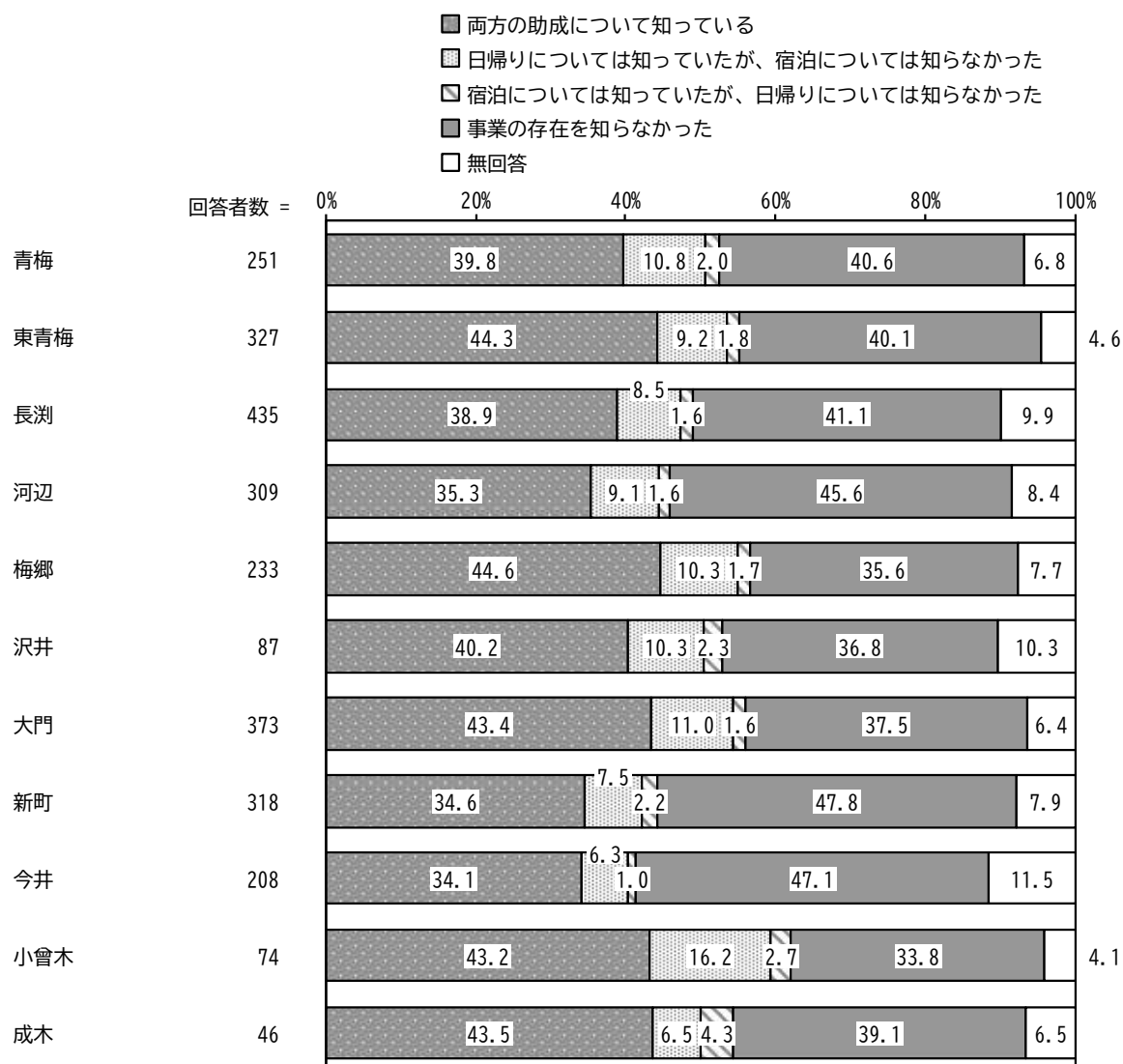
(1) 65 歳以上の市民の方が市の指定する温泉保養施設を日帰りで利用する場合には 1 日あたり 300 円、宿泊する際には 1 泊あたり 3,000 円助成しています。この事業を知っていますか

「事業の存在を知らなかった」の割合が 41.3%と最も高く、次いで「両方の助成について知っている」の割合が 39.8%となっています。



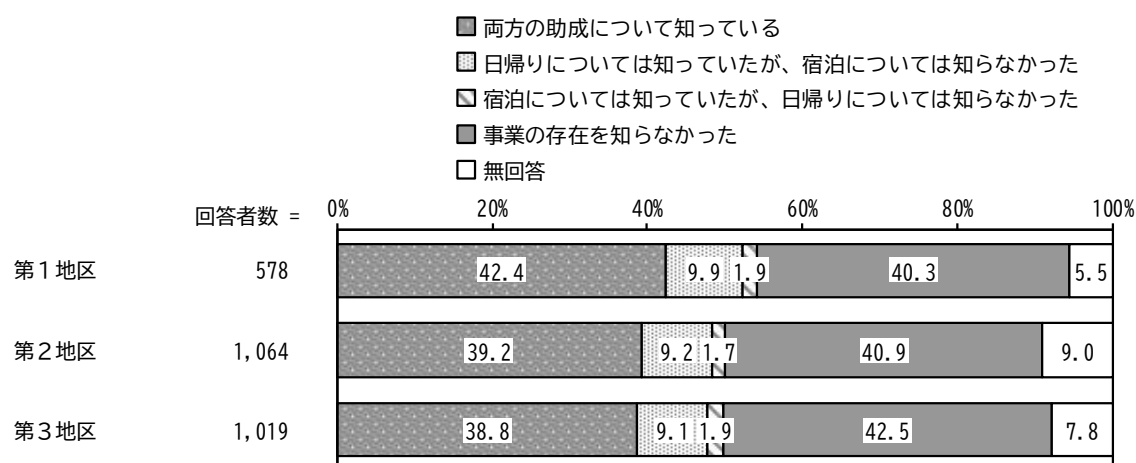
【地区別】

地区別にみると、小曾木で「日帰りについては知っていたが、宿泊については知らなかった」、新町、今井で「事業の存在を知らなかった」の割合が高くなっています。



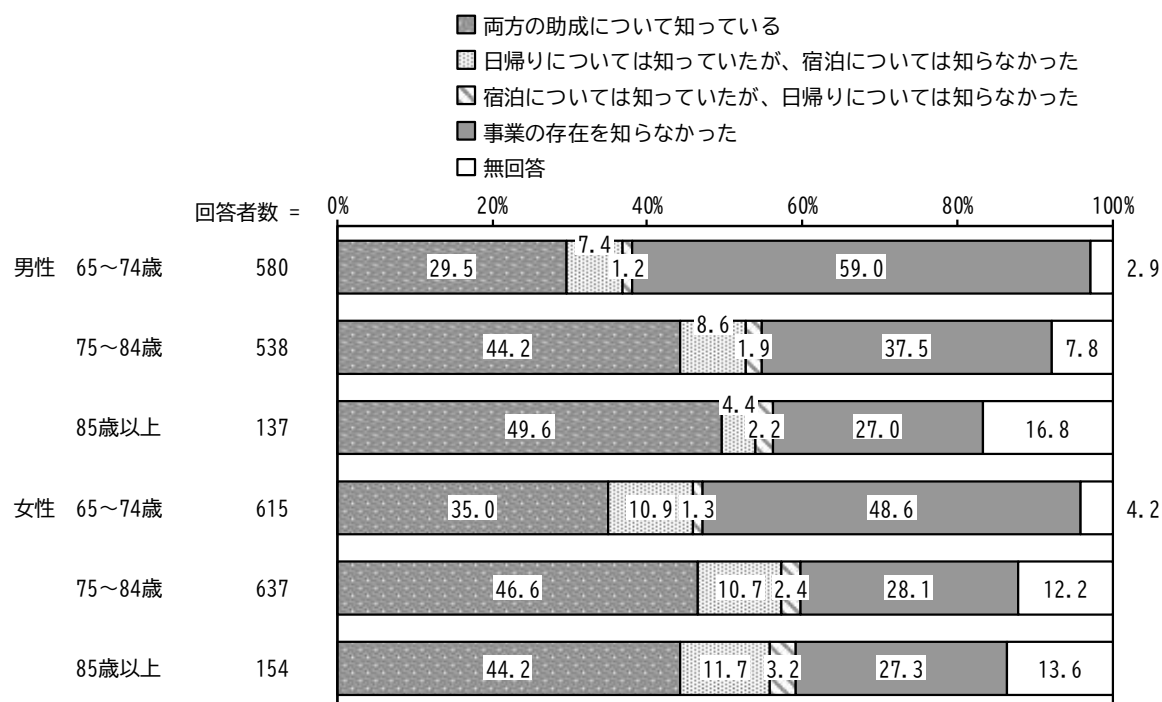
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



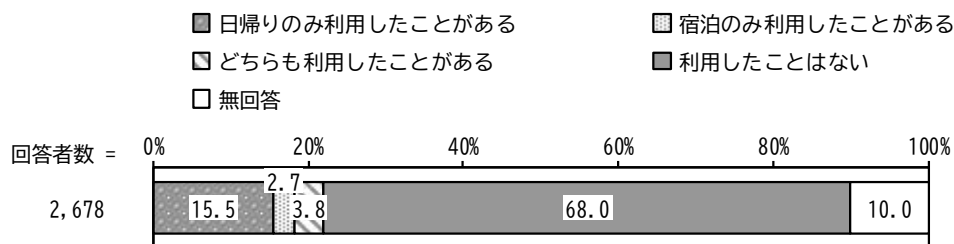
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「両方の助成について知っている」の割合が高く、「事業の存在を知らなかった」の割合が低く、女性では年齢が下がるほど「事業の存在を知らなかった」の割合が高くなっています。



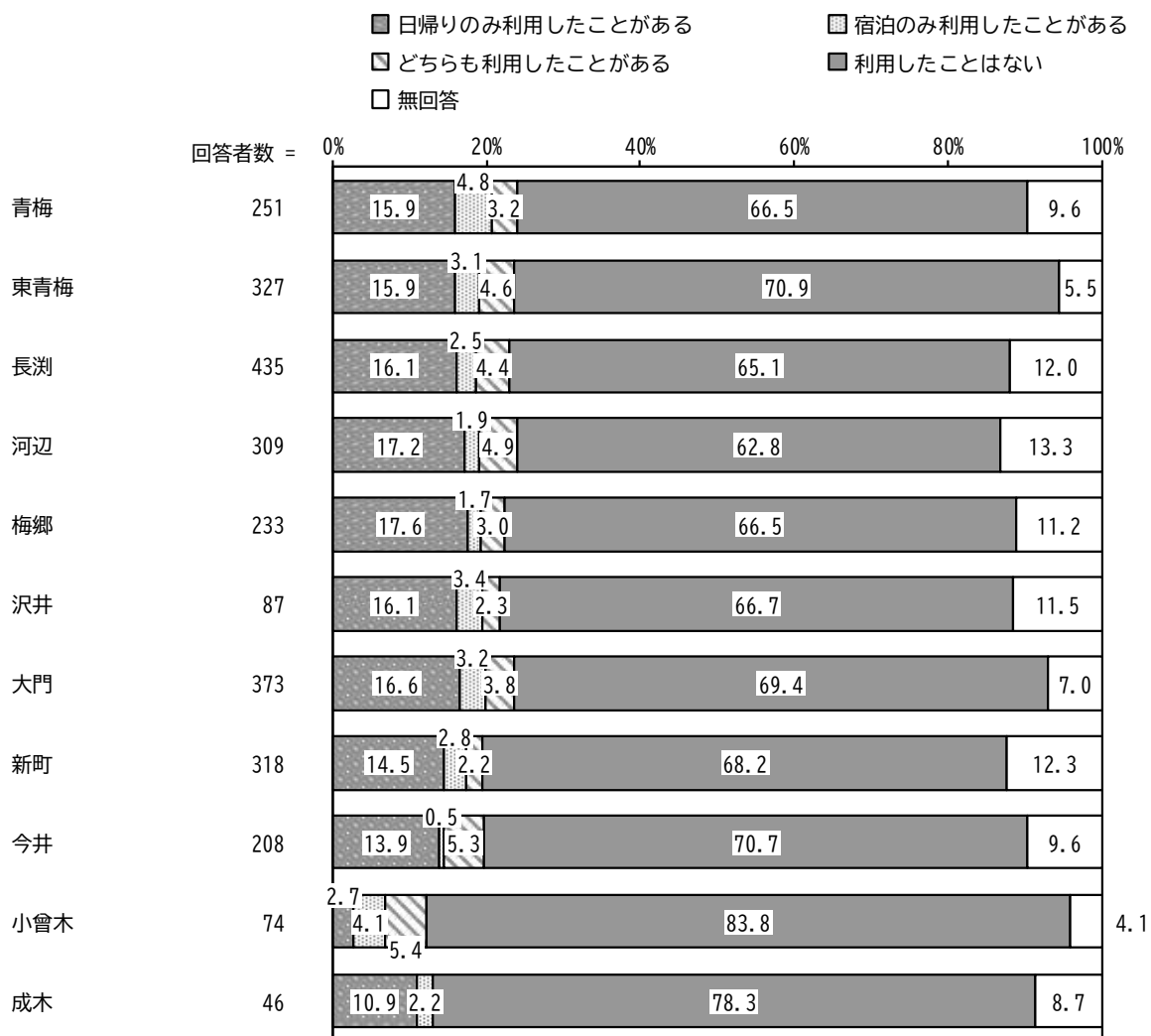
(2) この助成を利用したことはありますか

「利用したことはない」の割合が68.0%と最も高く、次いで「日帰りのみ利用したことがある」の割合が15.5%となっています。



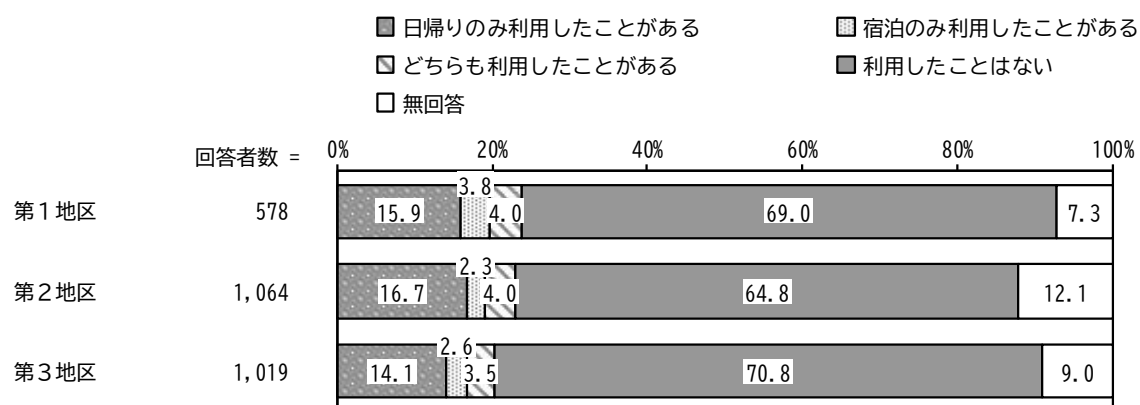
【地区別】

地区別にみると、小曾木で「利用したことはない」の割合が高く、「日帰りのみ利用したことがある」の割合が低くなっています。



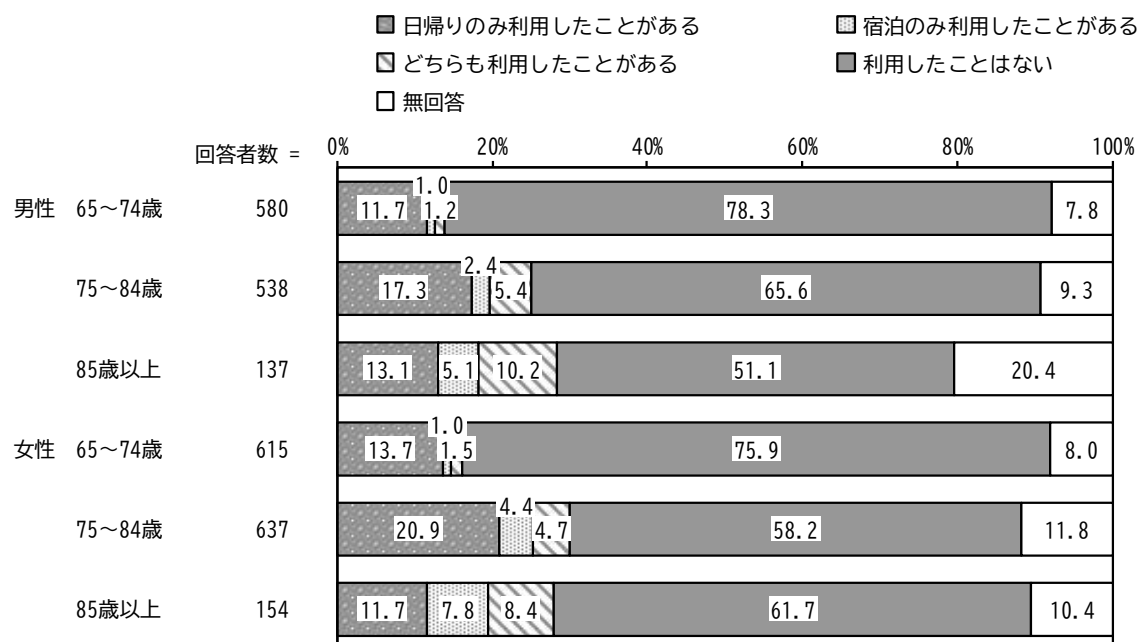
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



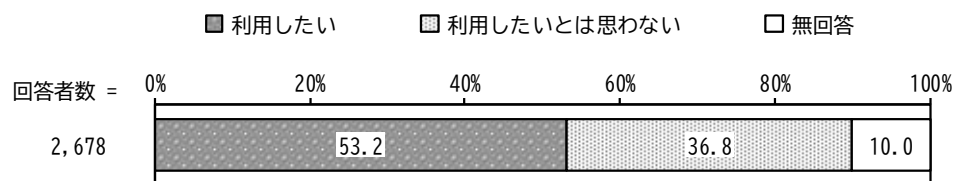
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性 75～84 歳で「日帰りのみ利用したことがある」、女性 85 歳以上で「宿泊のみ利用したことがある」「どちらも利用したことがある」、男性 65～74 歳、女性 65～74 歳で「利用したことはない」の割合が高くなっています。



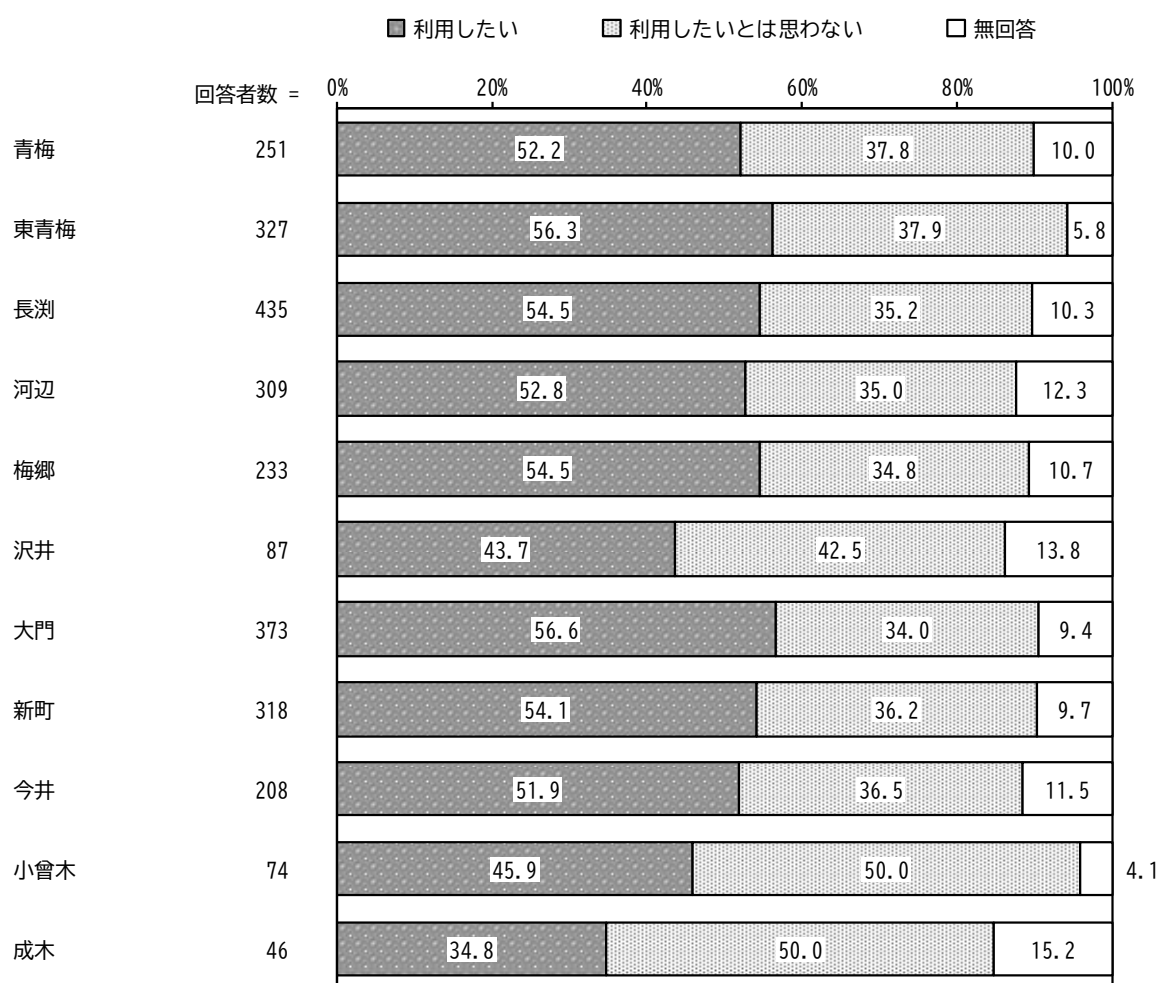
(3) 今後、温泉保養施設の日帰り助成を利用したいと思いますか

「利用したい」の割合が 53.2%、「利用したいとは思わない」の割合が 36.8%となっています。



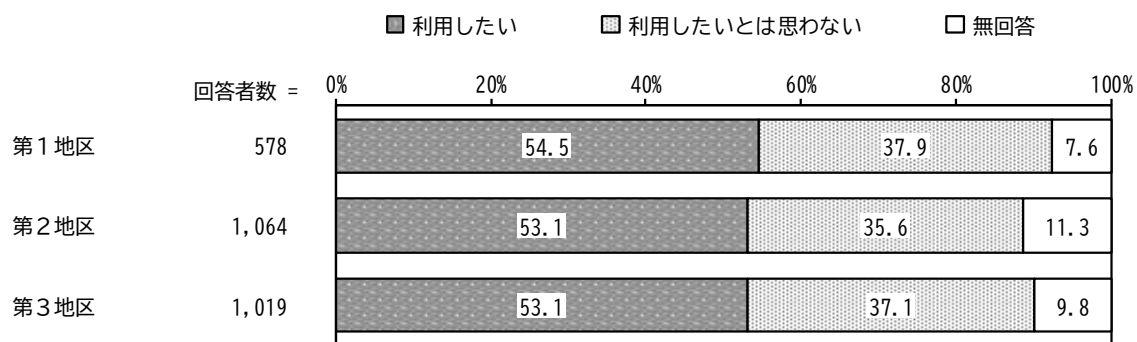
【地区別】

地区別にみると、小曾木、成木で「利用したいとは思わない」の割合が高くなっています。



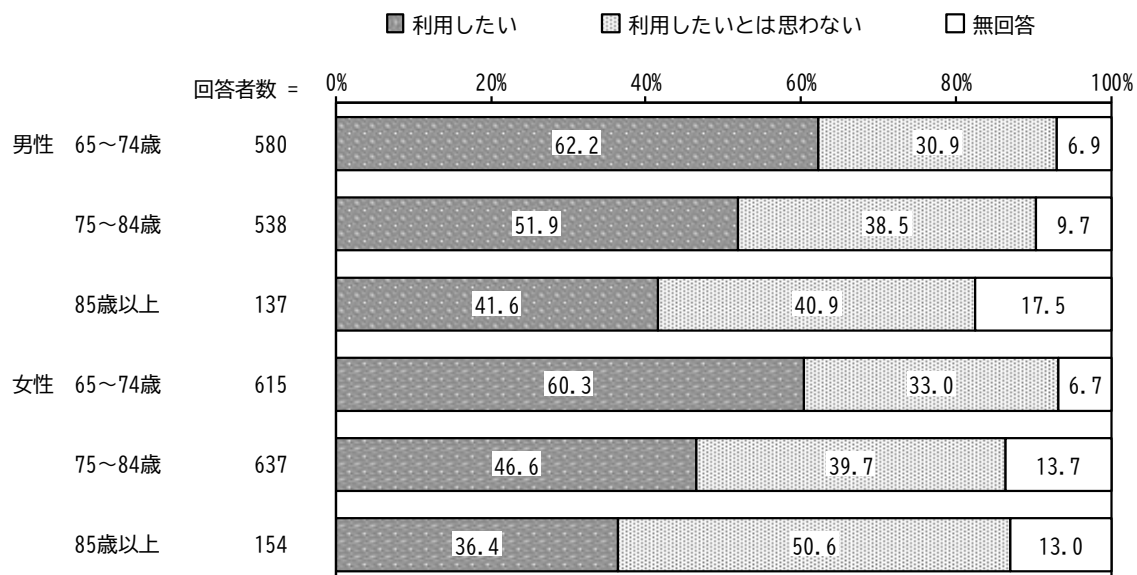
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「利用したいとは思わない」の割合が高くなっています。また、女性 85 歳以上で「利用したい」の割合が低くなっています。



【(3) の設問で「利用したいとは思わない」の方のみ】

①利用したいと思わない理由を教えてください

【体調・身体的理由】

- 高齢や体調不良、足腰の痛みなどで外出や入浴が困難です。
- 手術痕がある、ストーマやカニューレを使用している、感染症リスクがある等の健康上の理由から、自宅以外の風呂に入れません。
- 心臓への負担やアレルギー症状、目の不自由さなどがあり、利用は難しいです。

【交通手段・移動の困難さ】

- 免許返納などで交通手段がなく、遠方へ行くのは大変なので、送迎バス等を出してほしいです。

【他者との入浴・温泉や公衆浴場への抵抗感】

- 知らない人と温泉に入ることや、人混み、共同浴場自体が苦手です。
- 体を見られたくない、人間関係（グループや悪口）になじめずリラックスできないなどの理由で抵抗があります。
- 不衛生に感じたり、感染症への懸念があったりします。

【手続きの手間・助成内容への不満】

- 申請手続きが面倒なので、マイナンバーカードの提示等でその場で割引してほしいです。
- 助成金額が少なすぎるため、わざわざ申請してまで利用する気になりません。

【施設の場所・制度の認知不足】

- 温泉助成の制度や保養施設の場所を知らないため、市の広報等でもっと情報を発信してほしいです。

【同行者の不在・対人関係】

- 家族や一緒に行く人がおらず、一人で交通費をかけて行っても楽しくありません。

【宿泊や別の旅行の希望】

- 日帰りは疲れるため長期宿泊を希望するほか、温泉ではなく行き先を自由に選べるプライベートな旅行や都心の施設見学などに行きたいです。

【自宅での入浴・外出への抵抗感】

- 出歩くことが面倒になっており、周囲に気を使う外の温泉よりも自宅のお風呂で十分にリラックスできます。

【多忙・仕事・家族の介護】

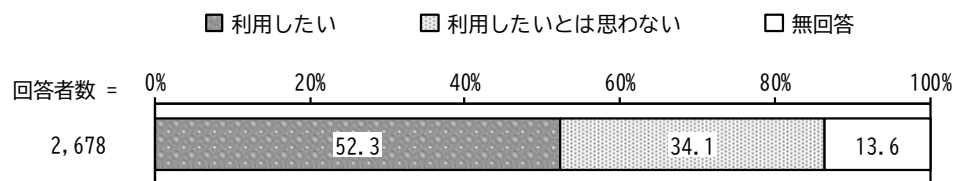
- 仕事（自営業）や趣味、家族の介護などで忙しく、出かける余裕や時間がありません。

【制度に対する意見・提案】

- 一部の人しか恩恵を受けられない事業は税金の無駄であり、高齢者を甘やかさずに現役世代や若者のためにお金を使うべきです。
- 高齢者が増加し経費もかかるため、応分の参加費を徴収するなどの見直しや、費用対効果が合わなければ廃止も検討すべきです。
- 過去に利用した際、施設の対応が悪かったため、それ以来利用したいと思いません。

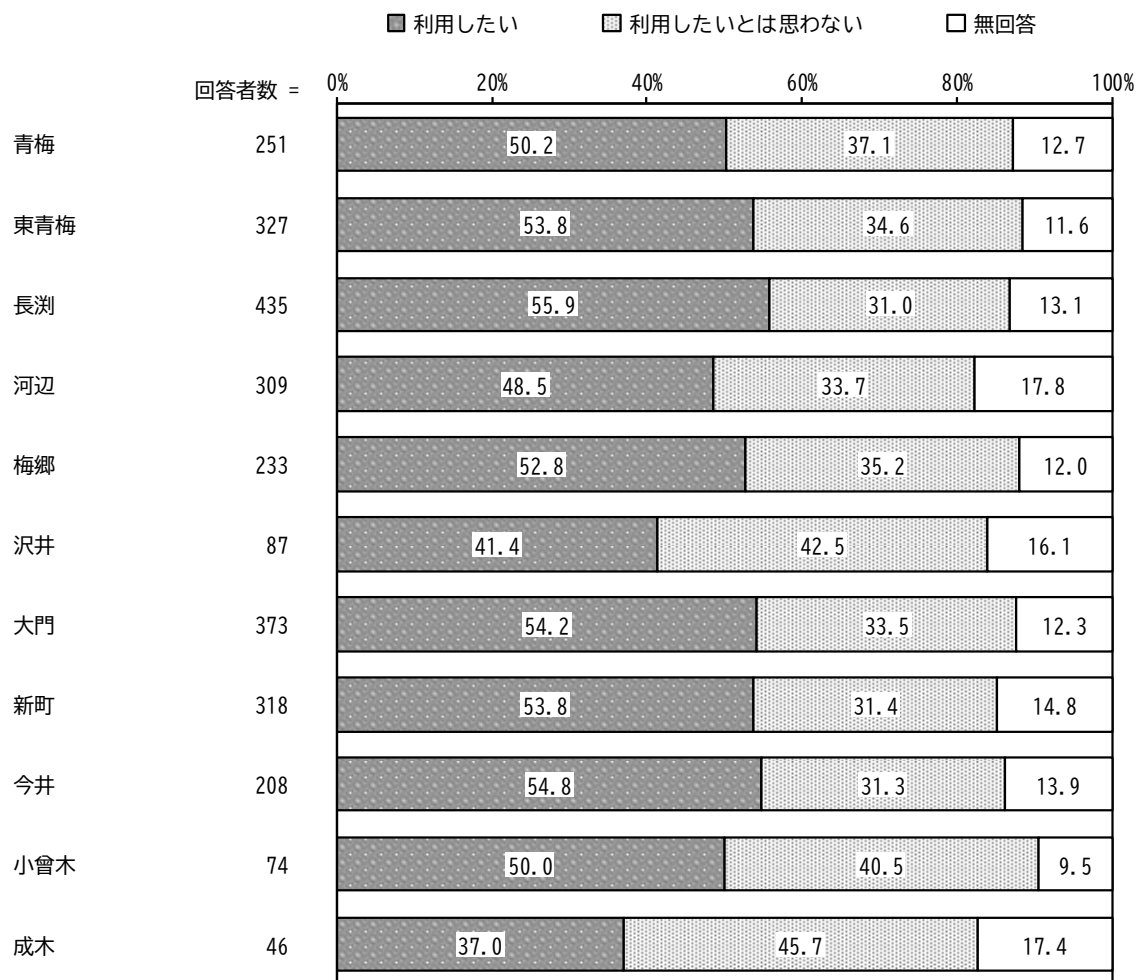
(4) 今後、温泉保養施設の宿泊助成を利用したいと思いますか。

「利用したい」の割合が52.3%、「利用したいとは思わない」の割合が34.1%となっています。



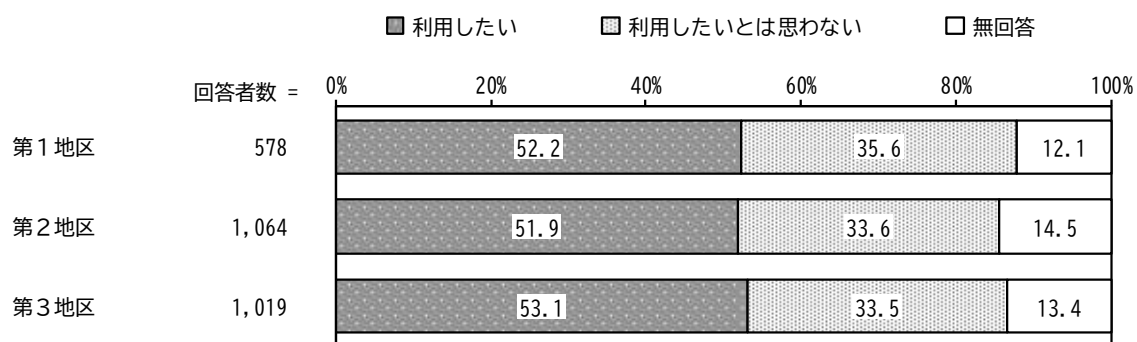
【地区別】

地区別にみると、成木で「利用したいとは思わない」の割合が高くなっています。



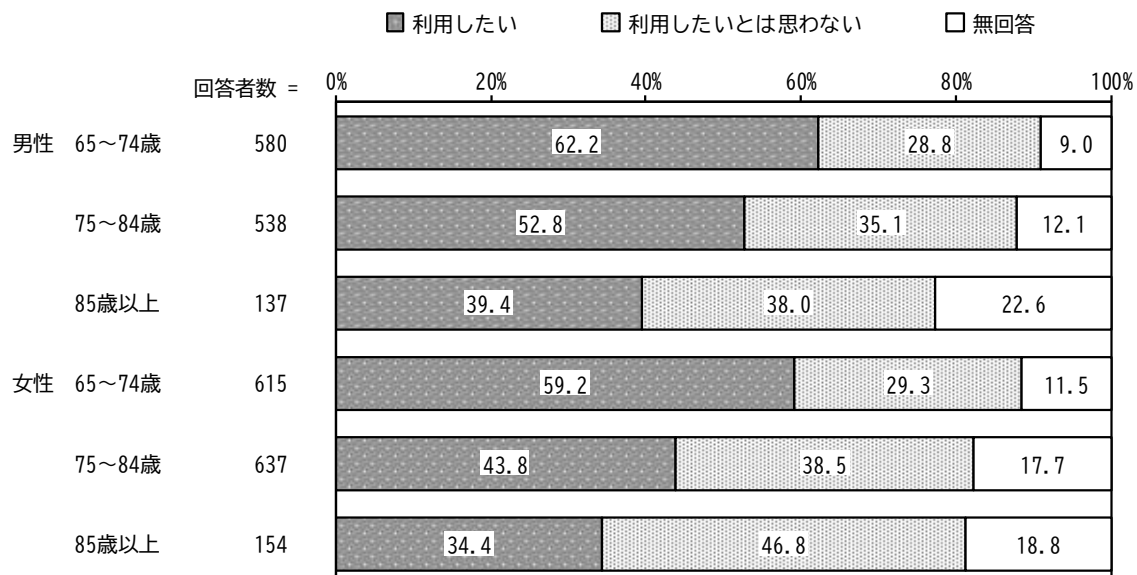
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「利用したいとは思わない」の割合が高くなっています。また、女性 85 歳以上で「利用したい」の割合が低くなっています。



【(4) の設問で「利用したいとは思わない」の方のみ】

①利用したいと思わない理由を教えてください

【体調・身体的理由】

- 病気や足腰の痛み、車イスの使用、入院中など、身体的な理由で外出や宿泊が困難です。
- アレルギー症状の懸念や、宿泊時に医療用具等が必要になるため利用に不安があります。

【交通手段・移動の困難さ】

- 車の運転をやめたことなどで交通手段がないため、送迎や駅からのタクシー代等の助成を希望します。

【他者との入浴・衛生面への懸念】

- 他人に体を見せたくない、大勢で入浴したくないなど、知らない人のお風呂に抵抗があります。
- 施設の衛生面への不信感や、感染症リスクへの懸念から利用を敬遠しています。

【施設・場所・助成内容への不満】

- 利用できる宿泊施設が少なく、近県（山梨・静岡など）など希望する場所や良質な施設がありません。
- 過去の利用時に不衛生さやサービスの悪さを経験したため、安心して休める施設を検討してほしいです。
- 3,000 円の助成額では自己負担額が高くなるため、利用を見送っています。

【手続きの面倒さ】

- 事前の申請や身分証提出が手間なため、マイナンバーカード提示などでその場で割引される仕組みにしてほしいです。

【同行者の不在・対人関係】

- 一緒に行く人がいない、あるいは知らない人との交流が苦手なため、気心知れた家族や友人とだけ行きたいです。

【自宅への満足・別の旅行への希望】

- 自宅のお風呂で十分に満足しており、外泊は気を遣い疲れるため出歩くのが億劫です。
- 決められた温泉保養施設ではなく、ホテル利用や都心の見学など、自由に目的地を選べる旅行に行きたいです。

【制度の認知不足】

- 宿泊保養施設の存在や場所、利用方法について全く知りませんでした。

【多忙・家族の介護・費用面】

- 家族の介護やペットの世話、日々の忙しさから出かける時間がありません。
- 物価高で生活が苦しくお金がないため、助成制度よりも現金給付などの支援を望みます。

【制度のあり方への意見・提案】

- 一部の人だけが利用できる制度は税金の無駄であり、市の将来の財政負担を避けるためにも見直すべきです。
- 利用者は生活に余裕がある人が多いため、非課税世帯や本当に困っている人へ招待券を配るなどの支援に回してほしいです。
- 全世代が共に住み続けられるような施策を望む声がある一方、この助成自体は良い取り組みだと評価し存続を希望する意見もあります。

問 20 自由記入欄

今後の青梅市の高齢者施策についてのご意見等があれば、ご自由にご記入ください。

【交通手段・移動・買い物支援（バス・タクシー等）】

- 買い物や通院等のため、巡回バス、乗り合いタクシー、移動スーパーなど身近な交通・アクセス手段の整備を強く希望します。
- バスやタクシーなど公共交通機関の無料化や割引、助成金の拡充をお願いします。

【生活支援・日常の困りごと・身辺整理】

- ゴミ捨て、重い荷物の移動、雪かき、買い物など、日常のちょっとした困りごとを支援するサービスが必要です。
- 身寄りのない高齢者向けに、緊急対応、財産管理、身元保証、死後事務処理等を公的機関が支援・相談できる仕組みを望みます。
- 紙おむつ等、介護用品の負担が大きいため金銭補助をお願いします。

【介護・医療・福祉制度への意見や要望】

- 介護保険料の負担軽減と、要支援者が要介護にならないための受け皿の充実を希望します。
- 介護認定の迅速化や重複する聞き取りの改善、高齢者向けの提出書類の簡素化をお願いします。
- 総合医療センターの待ち時間解消や機能拡張、終末医療の充実、尊厳死の選択制度などを望みます。

【情報提供・IT 支援・窓口対応】

- 市の福祉サービスを知らないため、広報での周知やアンケート結果の公開を希望します。
- スマホや PC が苦手な高齢者向けに IT 操作を無料で相談できる窓口の設置や、対面での丁寧な説明などアナログな対応も大切にしてください。

【健康づくり・社会参加・交流の場】

- 安否確認も兼ねて、気軽に集まれるカフェや参加しやすい行事、高齢者が活躍できる就労や活動の場を増やしてほしいです。
- 温泉保養施設の利用助成継続や、誰でも利用できる入浴施設、足湯などの整備を希望します。

【インフラ整備・住環境・防災】

- 駅のエレベーター設置やホームのベンチ・屋根の整備など、公共交通機関の利便性向上を進めてほしいです。
- 歩道と車道の段差解消、夜間の照明整備、聞き取りやすい防災無線の改善など、安全な住環境の確保をお願いします。
- 熊対策としての庭木伐採支援、空き家対策、防犯カメラ設置の補助など、地域の防犯・防災対策を強化してください。

【アンケートに関する意見・現在の状況・将来への不安】

- 現在は元気でも将来に不安があるため、相談窓口の存在は心強いです。
- 「高齢者」という括りに抵抗があり、現役就労者も多いため、個々の状況に応じた質問設計にし

てほしいです。

- 調査項目が多く、介護中や体調不良の人には回答自体が負担となるためアンケートの分量を見直してほしいです。

Ⅲ 生活機能評価等に関する分析

1 機能別リスク該当者割合の分析

(1) 運動器の機能低下

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

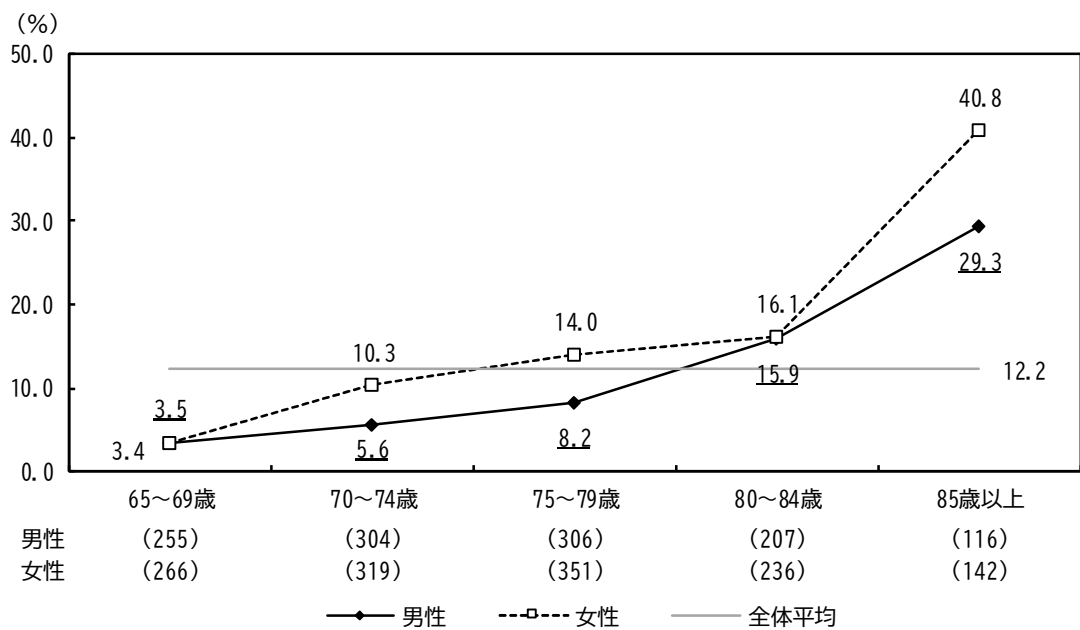
問番号	設問	該当する選択肢
問2(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
問2(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない
問2(3)	15分位続けて歩いていますか	3. できない
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある
問2(5)	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく運動器の評価結果をみると、全体平均で12.2%が運動器の機能低下該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、65～69歳以外の年代で男性に比べ該当者割合が高く、85歳以上で40.8%と80～84歳に比べ24.7ポイント上昇しています。一方、男性では、85歳以上で29.3%と80～84歳に比べ13.4ポイント上昇しています。

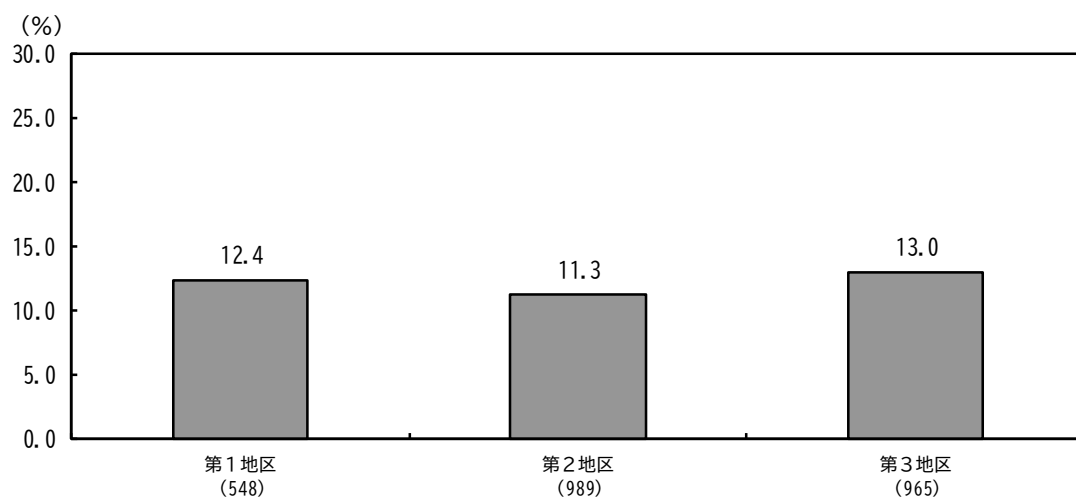
【性別・年齢階級別】



圏域別にみると、第1地区、第3地区で該当者割合が全体平均の12.2%を超えています。

また、最も高い圏域は第3地区で13.0%、最も低い圏域は第2地区で11.3%となっており、1.7ポイントの差となっています。

【圏域別】



(2) 閉じこもり傾向

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもりのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

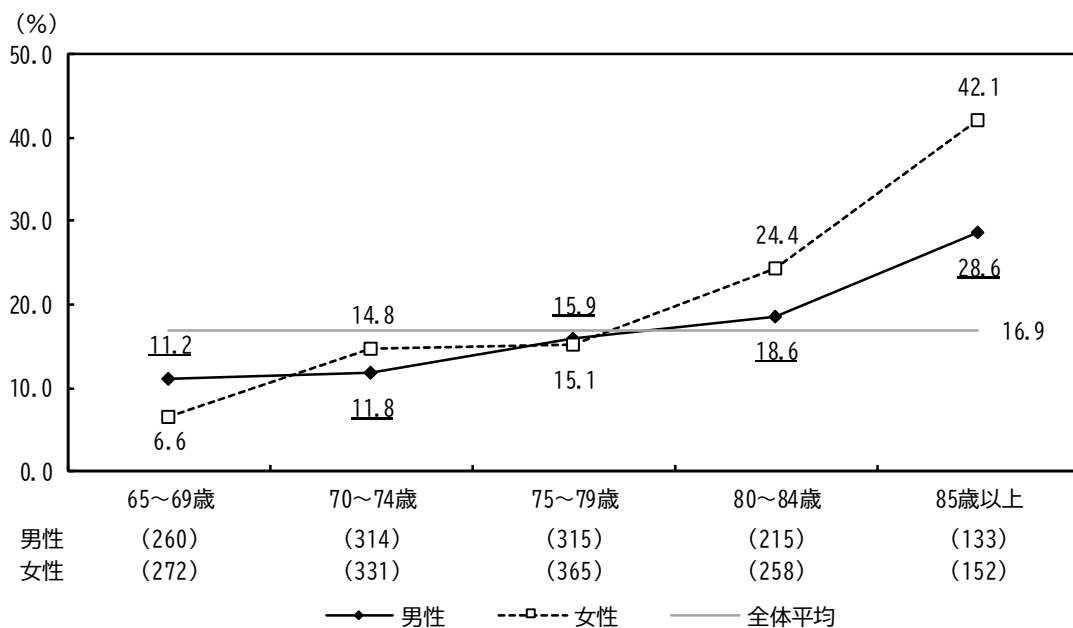
問番号	設問	該当する選択肢
問2 (6)	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく閉じこもりの評価結果をみると、全体平均で16.9%が閉じこもりのリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、70～74歳、80～84歳、85歳以上で男性に比べ該当者割合が高く、85歳以上で42.1%と80～84歳に比べ17.7ポイント上昇しています。一方、男性では、85歳以上で28.6%と80～84歳に比べ10.0ポイント上昇しています。

【性別・年齢階級別】

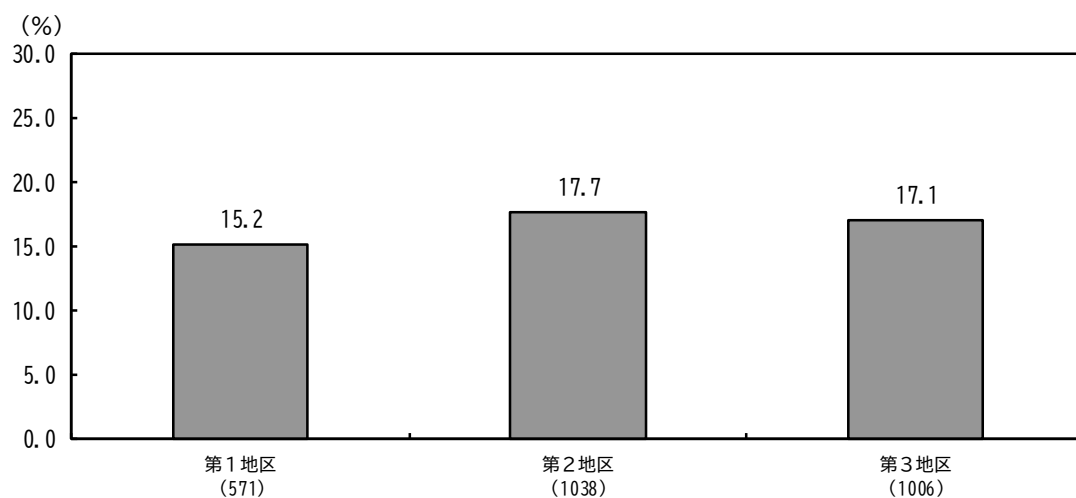


() 内は有効回答数

圏域別にみると、第2地区、第3地区で該当者割合が全体平均の16.9%を超えています。

また、最も高い圏域は第2地区で17.7%、最も低い圏域は第1地区で15.2%となっており、2.5ポイントの差となっています。

【圏域別】



(3) 転倒リスク

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を転倒のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

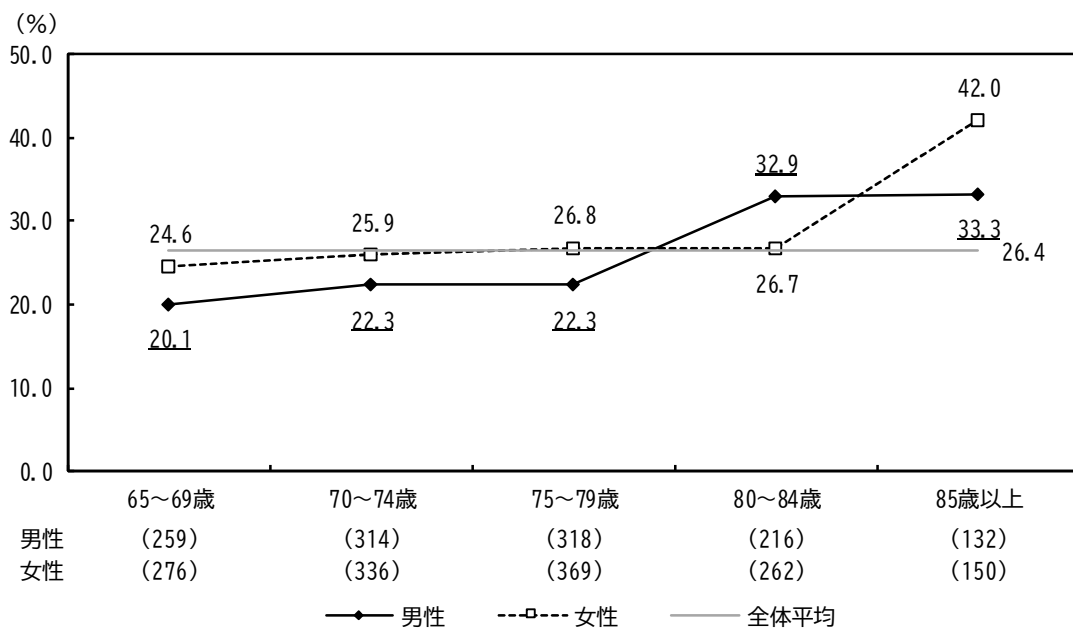
問番号	設問	該当する選択肢
問2 (4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく転倒の評価結果をみると、全体平均で26.4%が転倒リスクの該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、80～84歳以外の年代で男性に比べ該当者割合が高く、85歳以上で42.0%と80～84歳に比べ15.3ポイント上昇しています。一方、男性では、80～84歳で32.9%と75～79歳に比べ10.6ポイント上昇しています。

【性別・年齢階級別】

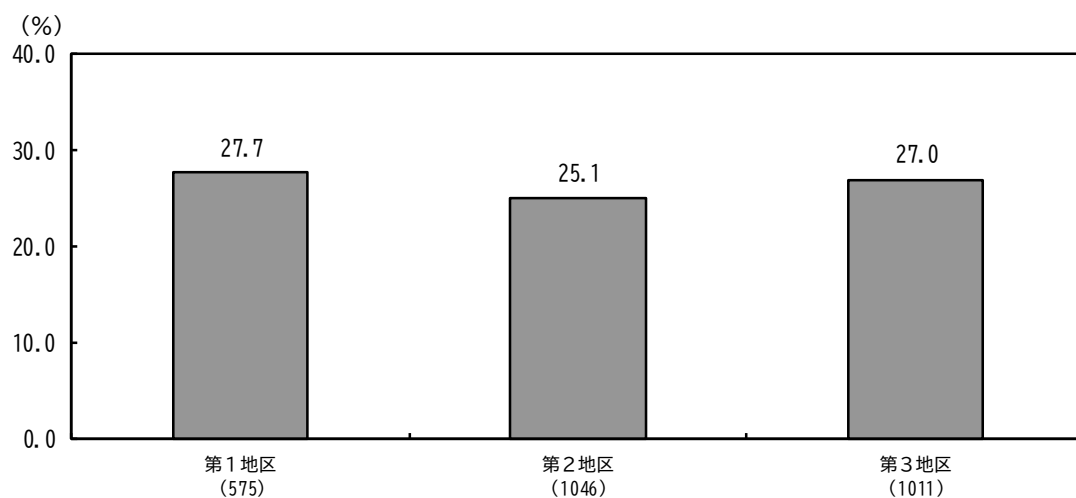


() 内は有効回答数

圏域別にみると、第1地区、第3地区で該当者割合が全体平均の26.4%を超えています。

また、最も高い圏域は第1地区で27.7%、最も低い圏域は第2地区で25.1%となっており、2.6ポイントの差となっています。

【圏域別】



(4) 低栄養の傾向

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のすべてに該当する人を栄養のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

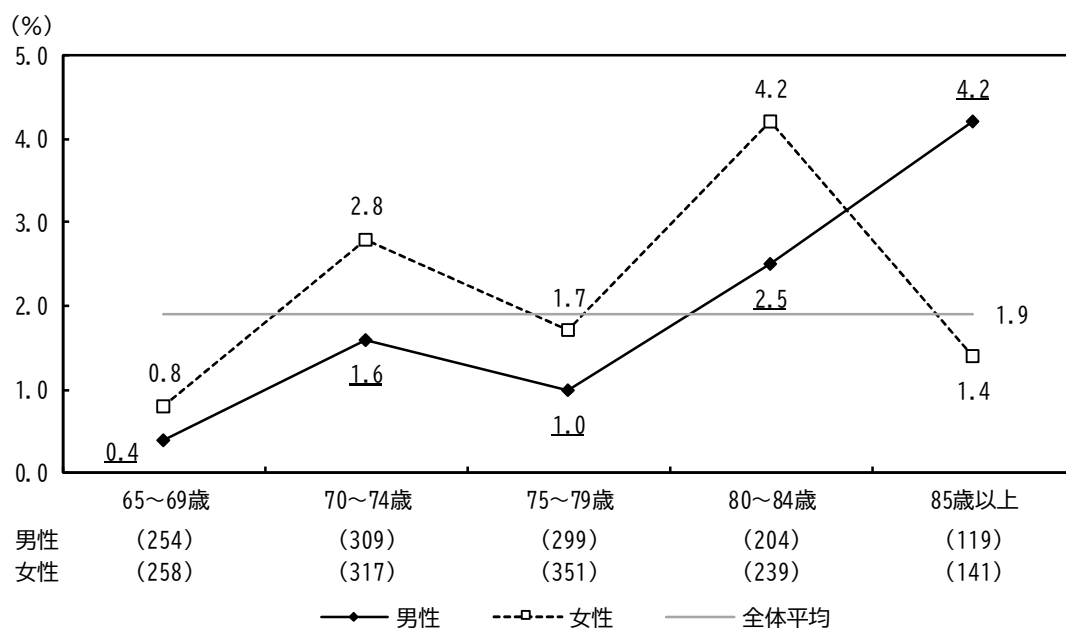
問番号	設問	該当する選択肢
問3 (1)	身長・体重	BMI 18.5未満
問3 (7)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく栄養の評価結果をみると、全体平均で1.9%が低栄養リスクの該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、85歳以上以外の年代で男性に比べ該当者割合が高く、80～84歳で4.2%と75～79歳に比べ2.5ポイント上昇しています。一方、男性では、85歳以上で4.2%と80～84歳に比べ1.7ポイント上昇しています。

【性別・年齢階級別】

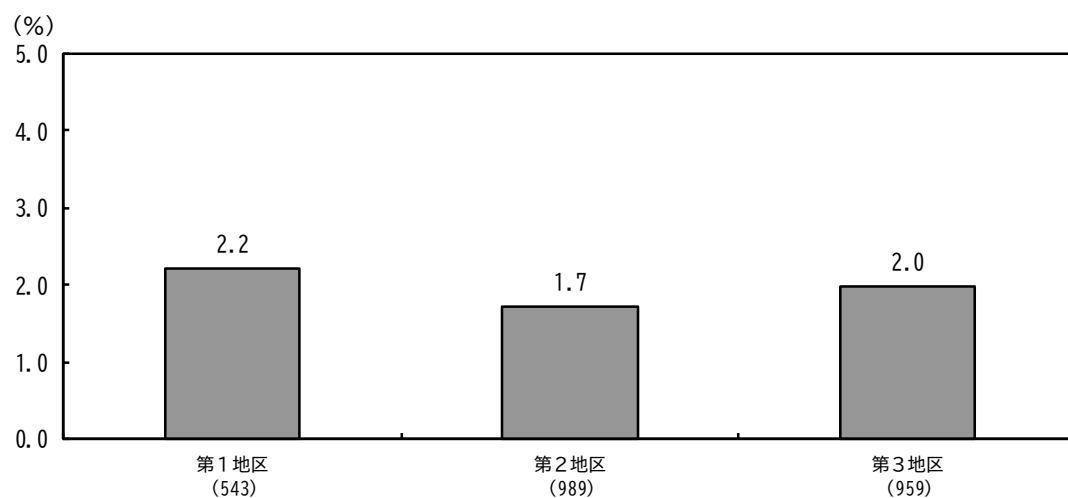


() 内は有効回答数

圏域別にみると、第1地区、第3地区で該当者割合が全体平均の1.9%を超えています。

また、最も高い圏域は第1地区で2.2%、最も低い圏域は第2地区で1.7%となっており、0.5ポイントの差となっています。

【圏域別】



(5) 口腔機能の低下

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、3項目のうち2項目以上に該当する人を口腔のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

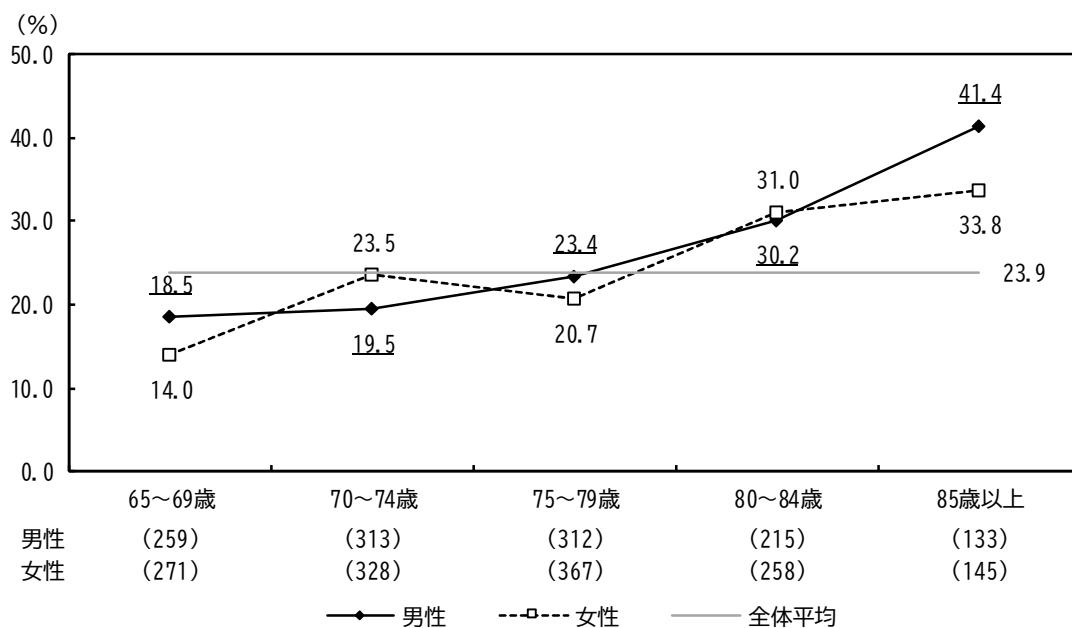
問番号	設問	該当する選択肢
問3 (2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい
問3 (3)	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい
問3 (4)	口の渇きが気になりますか	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく口腔の評価結果をみると、全体平均で23.9%が口腔機能低下のリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、80～84歳で31.0%と75～79歳に比べ10.3ポイント上昇しています。一方、男性では、65～69歳、75～79歳、85歳以上で女性に比べ該当者割合が高く、85歳以上で41.4%と80～84歳に比べ11.2ポイント上昇しています。

【性別・年齢階級別】

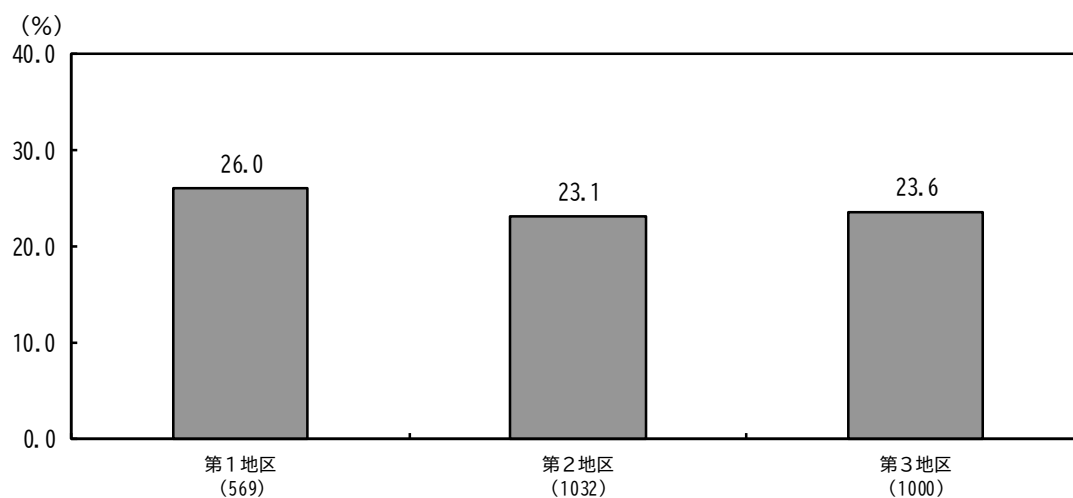


() 内は有効回答数

圏域別にみると、第1地区で該当者割合が全体平均の23.9%を超えています。

また、最も高い圏域は第1地区で26.0%、最も低い圏域は第2地区で23.1%となっており、2.9ポイントの差となっています。

【圏域別】



(6) 認知機能

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、以下の項目に該当する人を認知のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

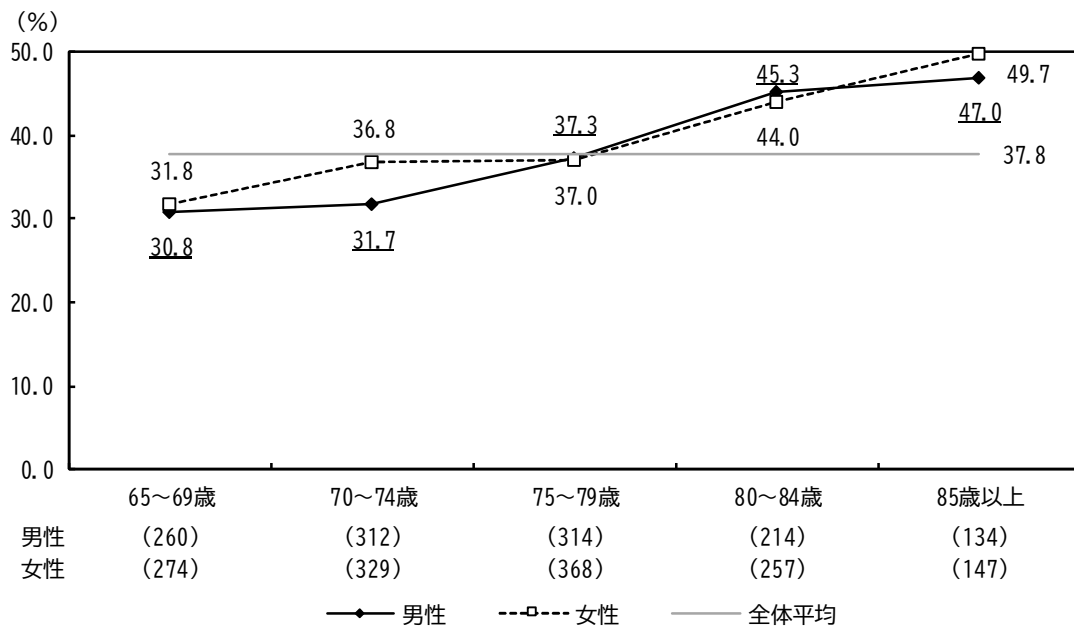
問番号	設問	該当する選択肢
問4 (1)	物忘れが多いと感じますか	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく認知の評価結果をみると、全体平均で 37.8%が該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、65～69 歳、70～74 歳、85 歳以上で男性に比べ該当者割合が高く、80～84 歳で 44.0%と 75～79 歳に比べ 7.0 ポイント上昇しています。一方、男性では、80～84 歳で 45.3%と 75～79 歳に比べ 8.0 ポイント上昇しています。

【性別・年齢階級別】

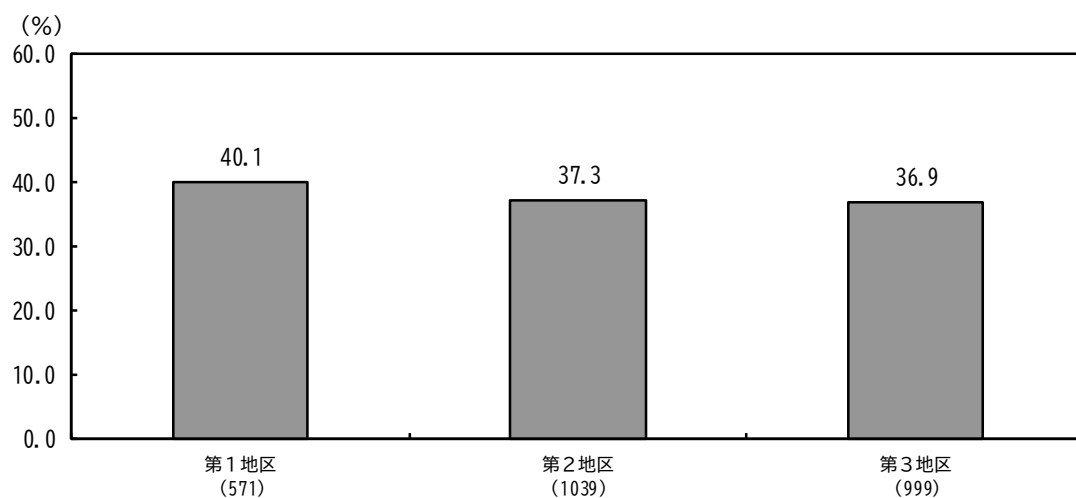


() 内は有効回答数

圏域別にみると、第1地区で該当者割合が全体平均の37.8%を超えています。

また、最も高い圏域は第1地区で40.1%、最も低い圏域は第3地区で36.9%となっており、3.2ポイントの差となっています。

【圏域別】



(7) うつ傾向

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人をうつのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

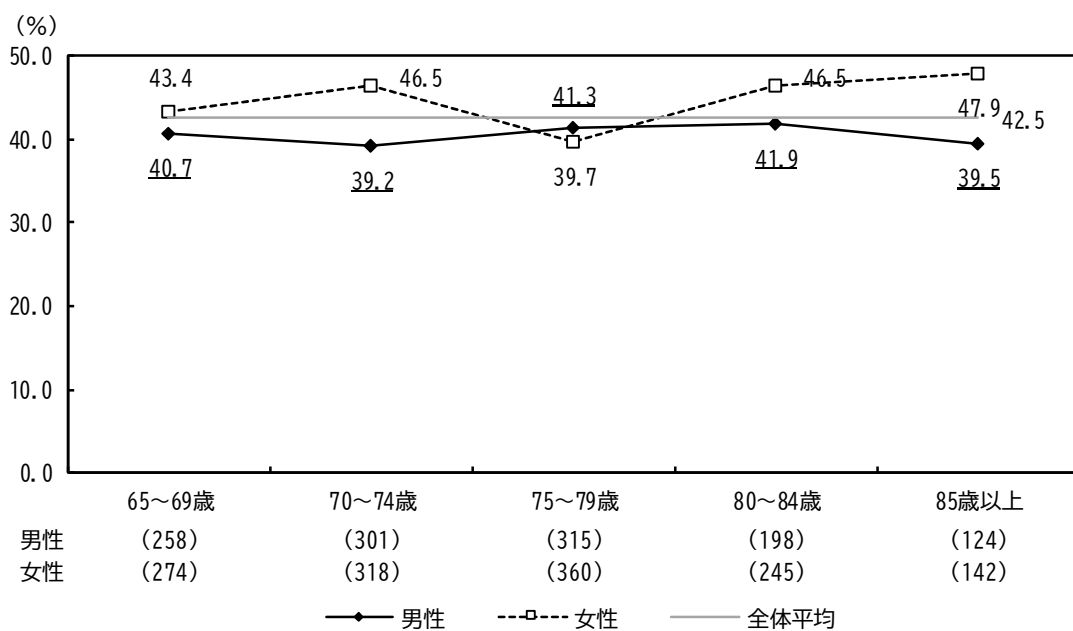
問番号	設問	該当する選択肢
問8 (3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい
問8 (4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づきうつの評価結果をみると、全体平均で42.5%が該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、75～79歳以外の年代で男性に比べ該当者割合が高く、80～84歳で46.5%と75～79歳に比べ6.8ポイント上昇しています。一方、男性では、75～79歳で41.3%と70～74歳に比べ2.1ポイント上昇しています。

【性別・年齢階級別】

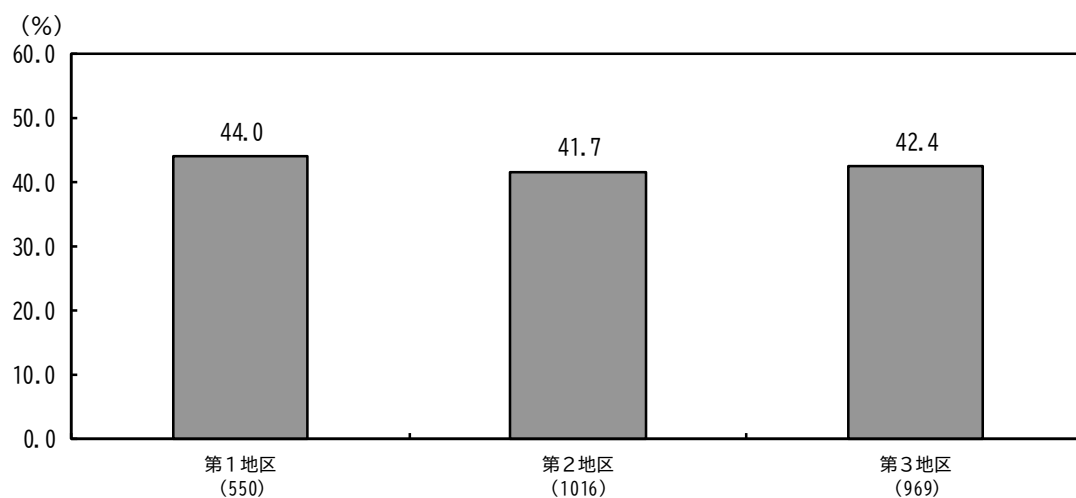


() 内は有効回答数

圏域別にみると、第1地区で該当者割合が全体平均の42.5%を超えています。

また、最も高い圏域は第1地区で44.0%、最も低い圏域は第2地区で41.7%となっており、2.3ポイントの差となっています。

【圏域別】



(8) IADL (手段的自立度)

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標※には、高齢者の手段的自立度 (IADL) に関する設問が5問あり、「手段的自立度 (IADL)」として尺度化されています。

評価は、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しています。

また、4点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を示しています。

※東京都健康長寿医療センター研究所 (旧・東京都老人総合研究所) が 1987 年に開発した、高齢者が日常生活をどれくらい自立して送れているかを評価するための指標

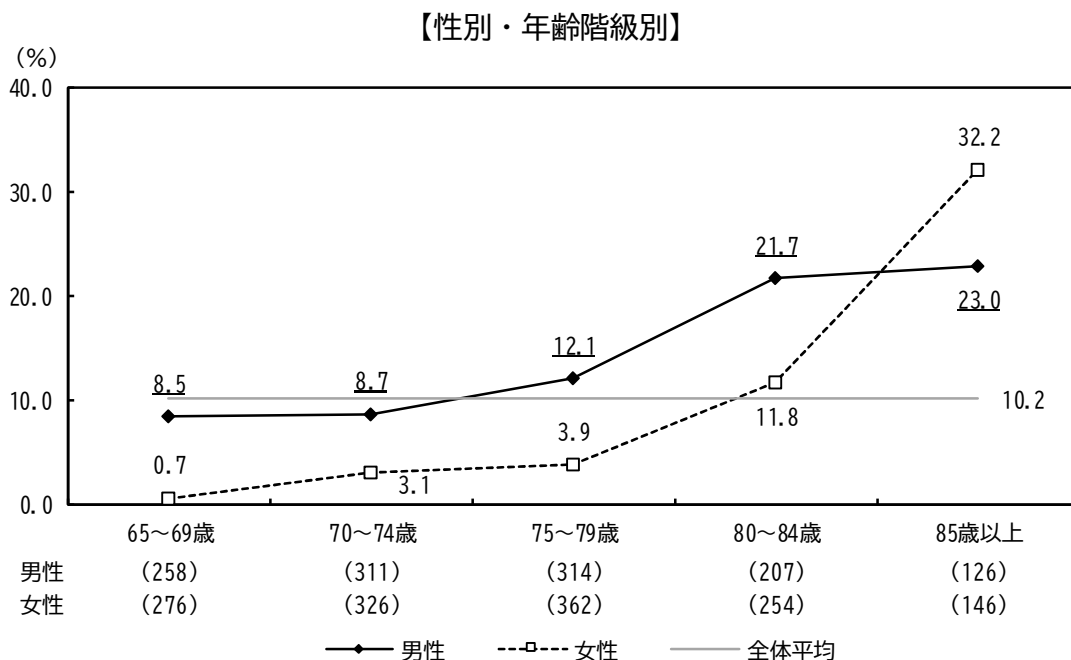
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問4 (4)	バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4 (5)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4 (6)	自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4 (7)	自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4 (8)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点

【リスク該当状況】

全体平均では 10.2% が手段的自立度の低下者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、85歳以上で 32.2% と 80～84歳に比べ 20.4ポイント上昇しています。一方、男性では、以外の年代で女性に比べ該当者割合が高く、80～84歳で 21.7% と 75～79歳に比べ 9.6ポイント上昇しています。

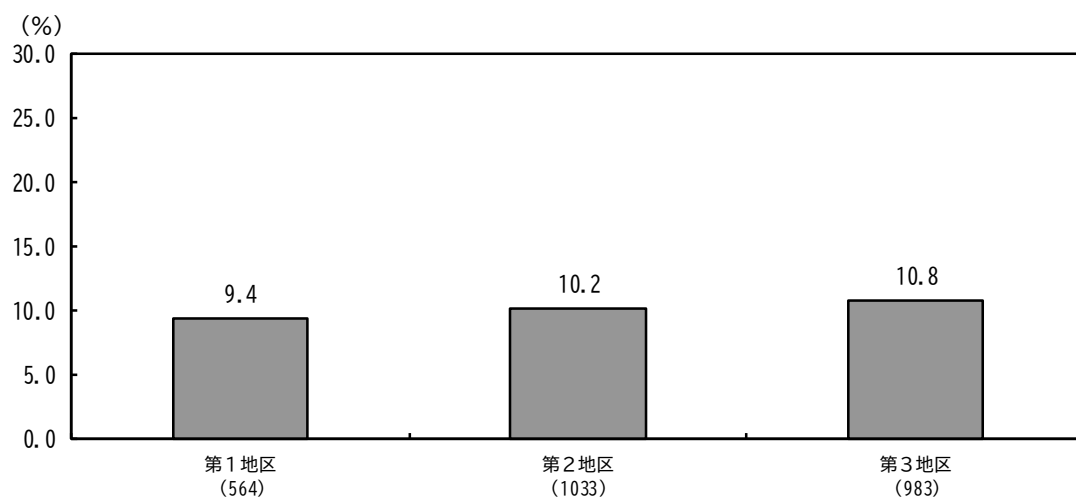


() 内は有効回答数

圏域別にみると、第3地区で該当者割合が全体平均の10.2%を超えています。

また、最も高い圏域は第3地区で10.8%、最も低い圏域は第1地区で9.4%となっており、1.4ポイントの差となっています。

【圏域別】



(9) 知的能動性

老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問あり、「知的能動性」として尺度化されています。

評価は、各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

また、3点以下を知的能動性の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

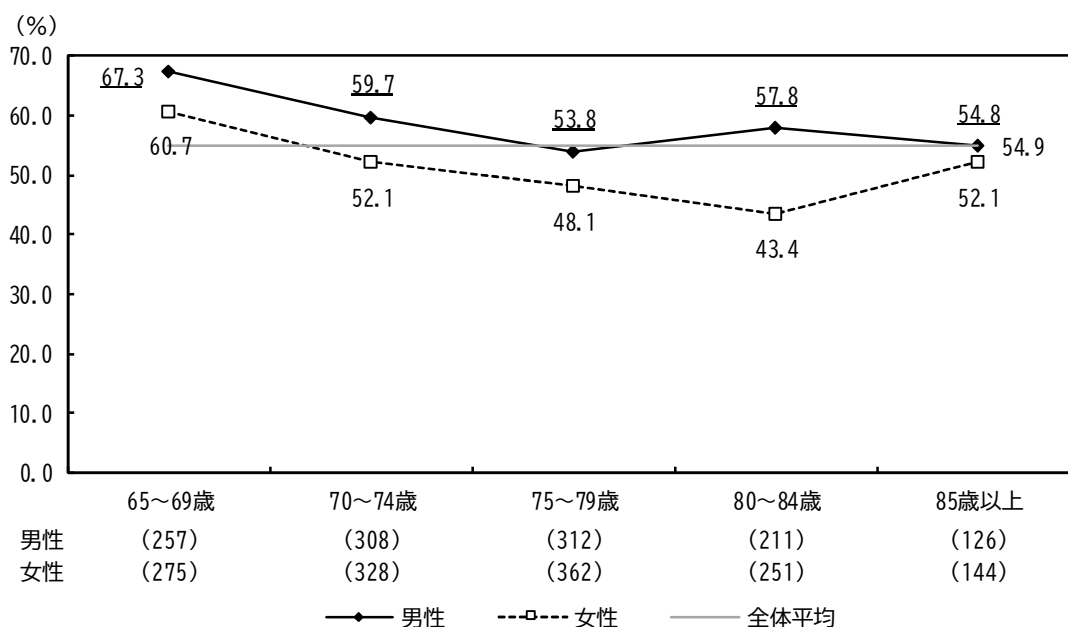
問番号	設問	該当する選択肢
問4 (9)	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	1. はい：1点
問4 (10)	新聞を読んでいますか	1. はい：1点
問4 (11)	本や雑誌を読んでいますか	1. はい：1点
問4 (12)	健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい：1点

【リスク該当状況】

知的能動性の低下者は、全体平均では54.9%となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、85歳以上で52.1%と80～84歳に比べ8.7ポイント上昇しています。一方、男性では、すべての年代で女性に比べ該当者割合が高く、80～84歳で57.8%と75～79歳に比べ4.0ポイント上昇しています。

【性別・年齢階級別】

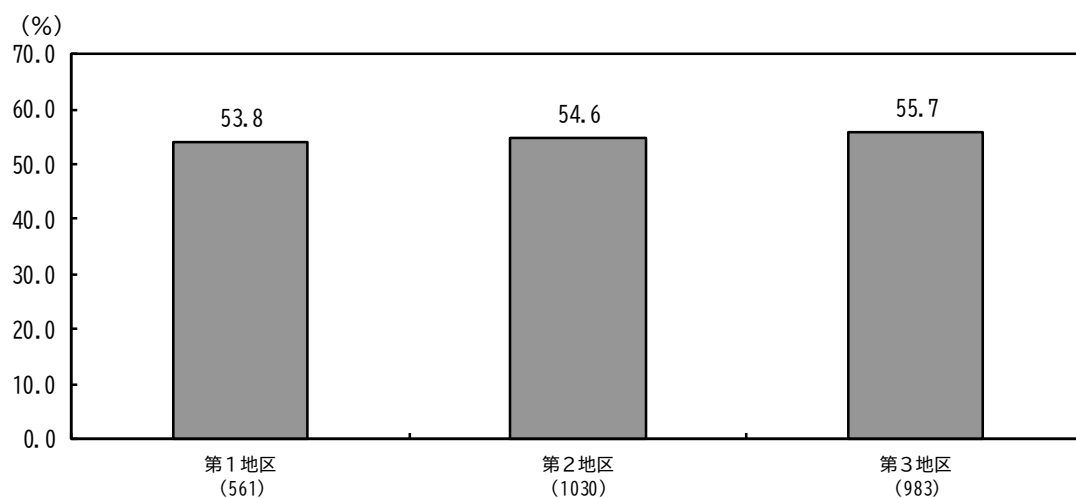


() 内は有効回答数

圏域別にみると、第3地区で該当者割合が全体平均の54.9%を超えています。

また、最も高い圏域は第3地区で55.7%、最も低い圏域は第1地区で53.8%となっており、1.9ポイントの差となっています。

【圏域別】



(10) 社会的役割

老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が4問あり、「社会的役割」として尺度化されています。

評価は、知的能動性と同様に4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

また、3点以下を社会的役割の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

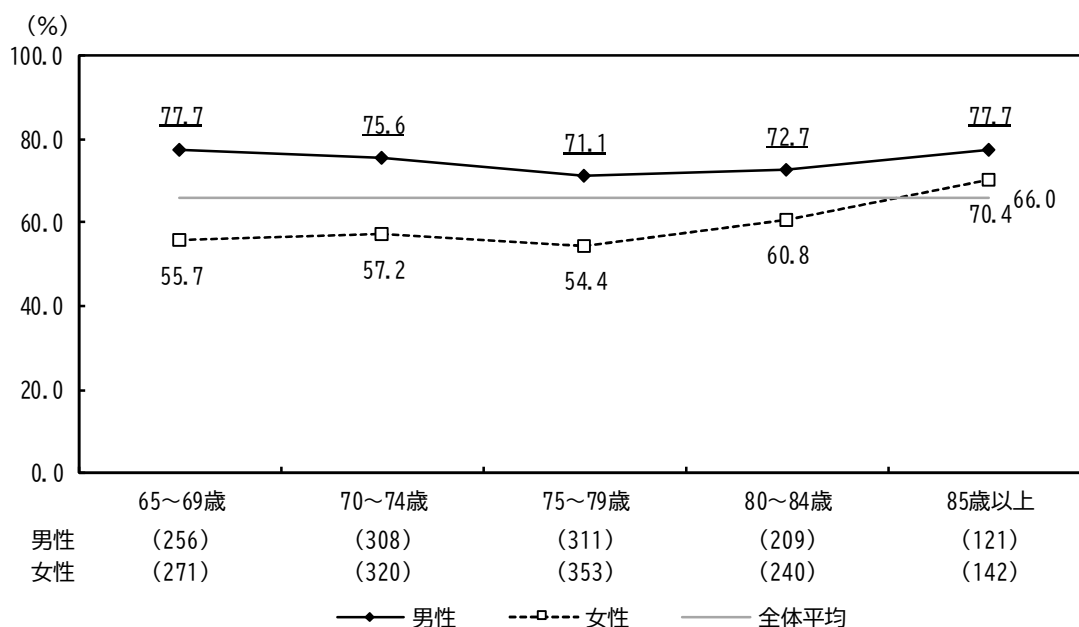
問番号	設問	該当する選択肢
問4 (13)	友人の家を訪ねていますか	1. はい：1点
問4 (14)	家族や友人の相談にのっていますか	1. はい：1点
問4 (15)	病人を見舞うことができますか	1. はい：1点
問4 (16)	若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい：1点

【リスク該当状況】

社会的役割の低下者は、全体平均では66.0%となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、85歳以上で70.4%と80～84歳に比べ9.6ポイント上昇しています。一方、男性では、すべての年代で女性に比べ該当者割合が高く、85歳以上で77.7%と80～84歳に比べ5.0ポイント上昇しています。

【性別・年齢階級別】

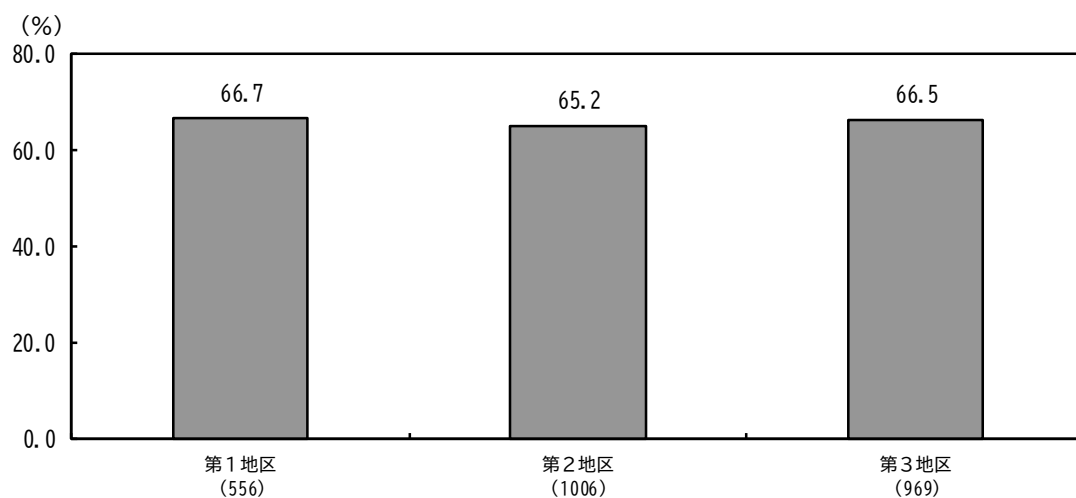


() 内は有効回答数

圏域別にみると、第1地区、第3地区で該当者割合が全体平均の66.0%を超えています。

また、最も高い圏域は第1地区で66.7%、最も低い圏域は第2地区で65.2%となっており、1.5ポイントの差となっています。

【圏域別】



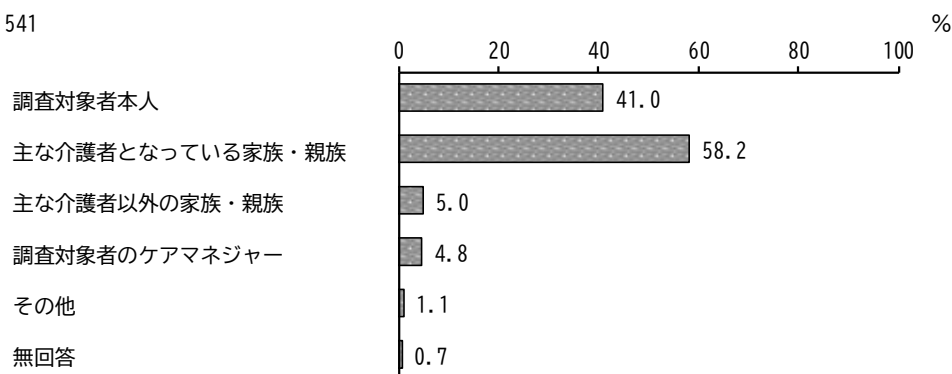
IV 「在宅介護実態調査」調査結果

単純集計結果

【A票の回答をされる方はどなたですか】（複数選択可）

「主な介護者となっている家族・親族」の割合が58.2%と最も高く、次いで「調査対象者本人」の割合が41.0%となっている。

回答者数 = 541

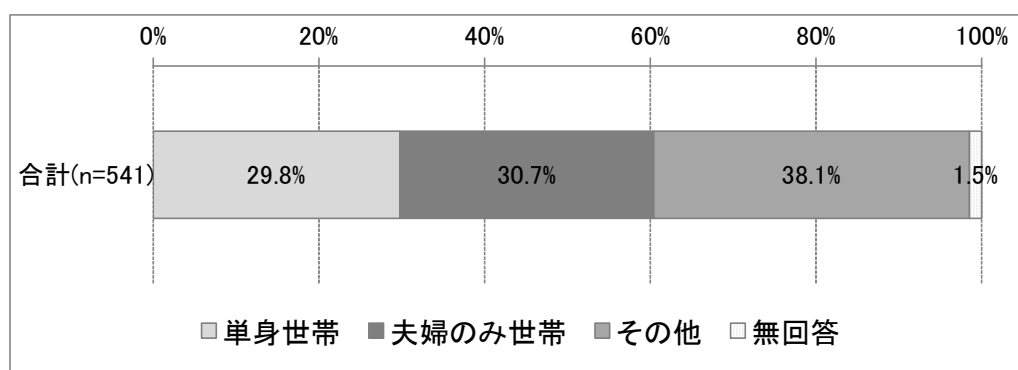


基本調査項目（A票）

(1) 世帯類型

「その他」の割合が最も高く38.1%となっている。次いで、「夫婦のみ世帯（30.7%）」、「単身世帯（29.8%）」となっている。

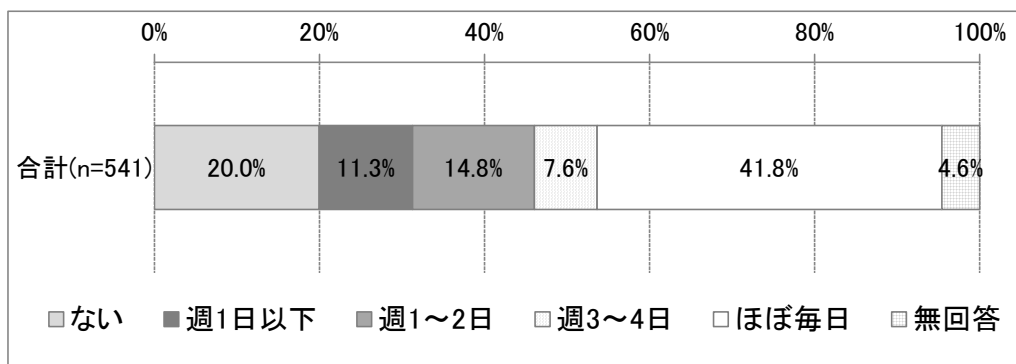
図表 1-1 世帯類型（単数回答）



(2) 家族等による介護の頻度

「ほぼ毎日」の割合が最も高く 41.8%となっている。次いで、「ない (20.0%)」、「週 1～2 日 (14.8%)」となっている。

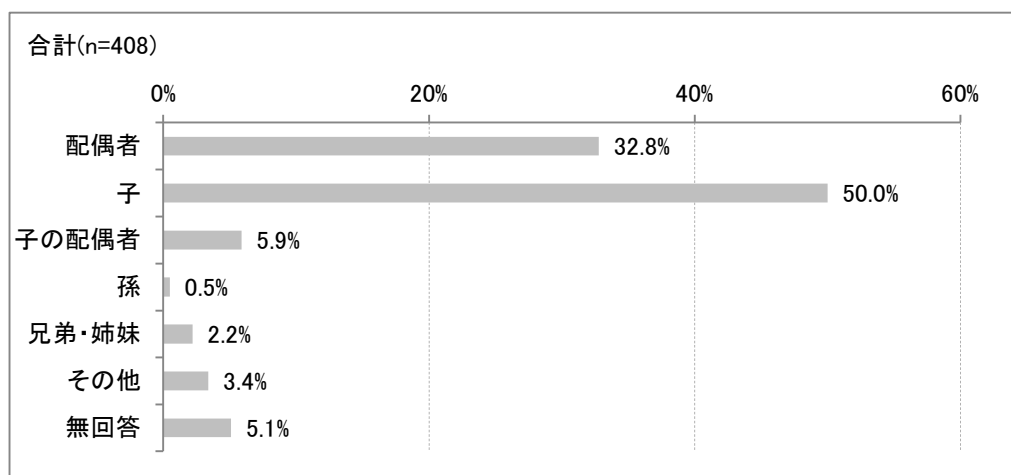
図表 1-2 家族等による介護の頻度 (単数回答)



(3) 主な介護者の本人との関係

「子」の割合が最も高く 50.0%となっている。次いで、「配偶者 (32.8%)」、「子の配偶者 (5.9%)」となっている。

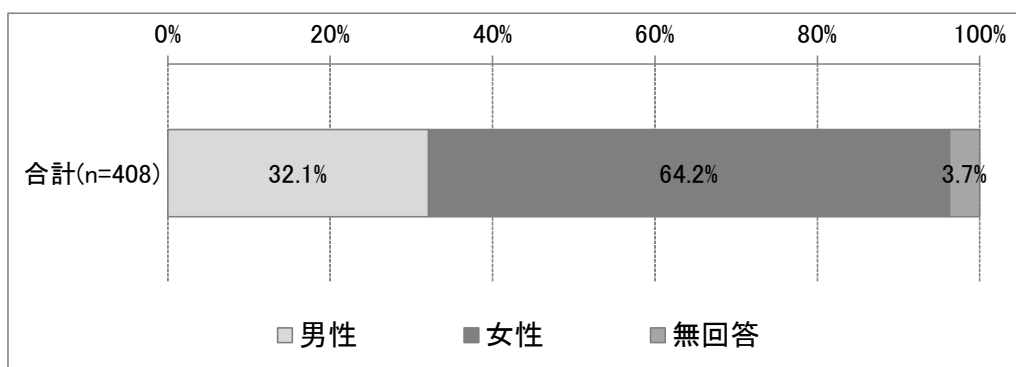
図表 1-3 ★主な介護者の本人との関係 (単数回答)



(4) 主な介護者の性別

「女性」の割合が最も高く 64.2%となっている。次いで、「男性（32.1%）」となっている。

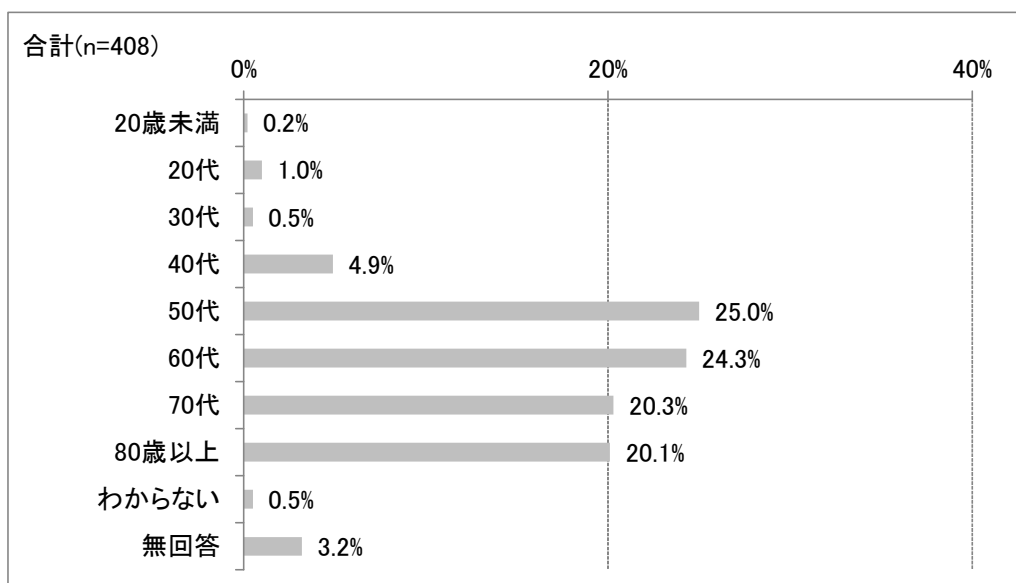
図表 1-4 ★主な介護者の性別（単数回答）



(5) 主な介護者の年齢

「50代」の割合が最も高く 25.0%となっている。次いで、「60代（24.3%）」、「70代（20.3%）」となっている。

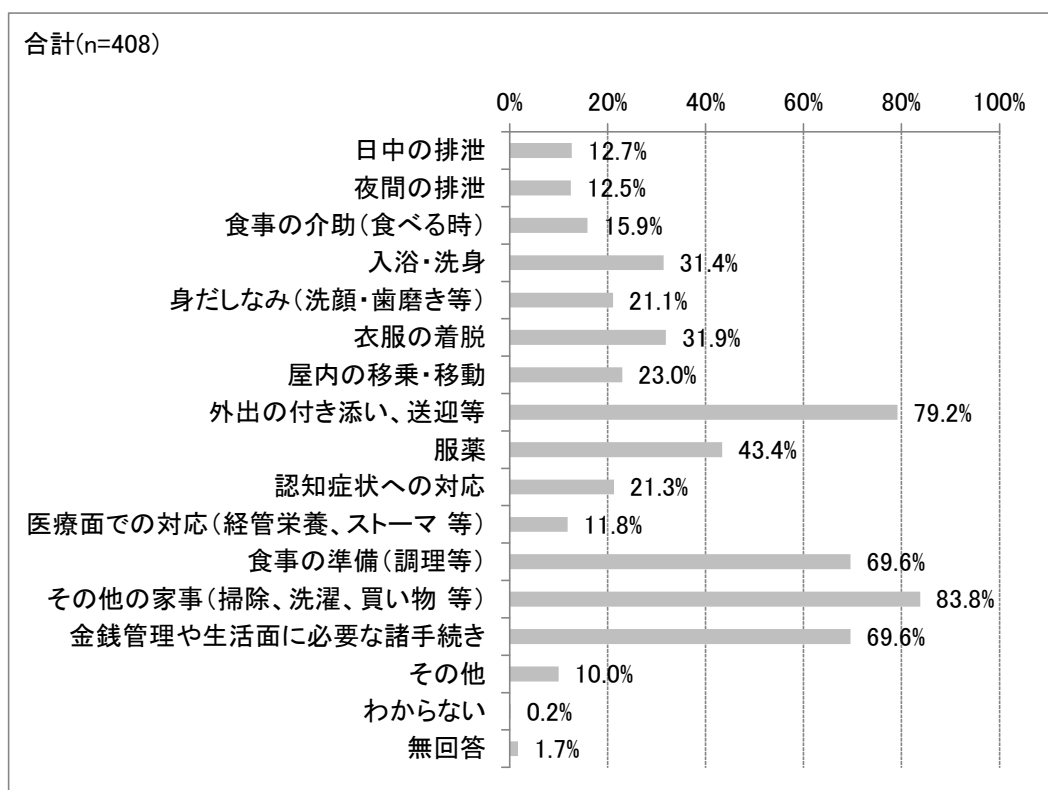
図表 1-5 主な介護者の年齢（単数回答）



(6) 主な介護者が行っている介護

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」の割合が最も高く 83.8%となっている。次いで、「外出の付き添い、送迎等（79.2%）」、「食事の準備（調理等）（69.6%）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き（69.6%）」となっている。

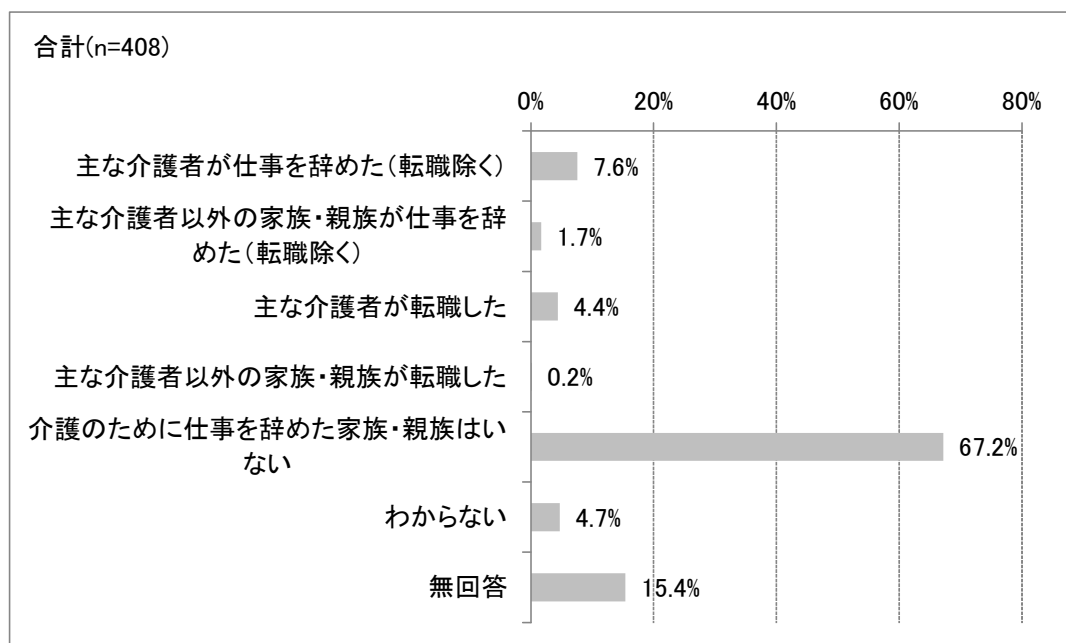
図表 1-6 ★主な介護者が行っている介護（複数回答）



(7) 介護のための離職の有無

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が最も高く 67.2%となっている。次いで、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）（7.6%）」、「わからない（4.7%）」となっている。

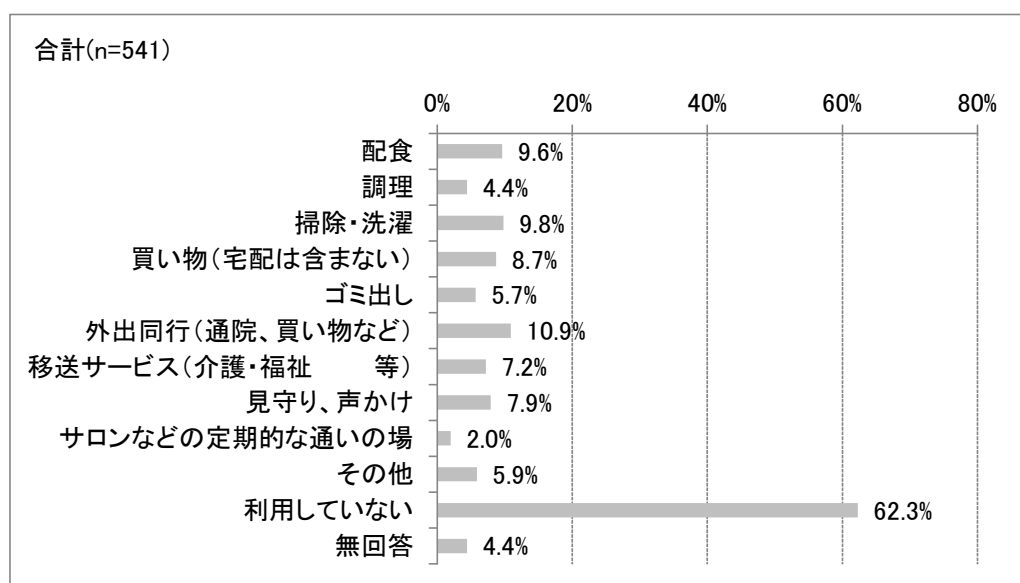
図表 1-7 介護のための離職の有無（複数回答）



(8) 保険外の支援・サービスの利用状況

「利用していない」の割合が最も高く 62.3%となっている。次いで、「外出同行（通院、買い物など）（10.9%）」、「掃除・洗濯（9.8%）」となっている。

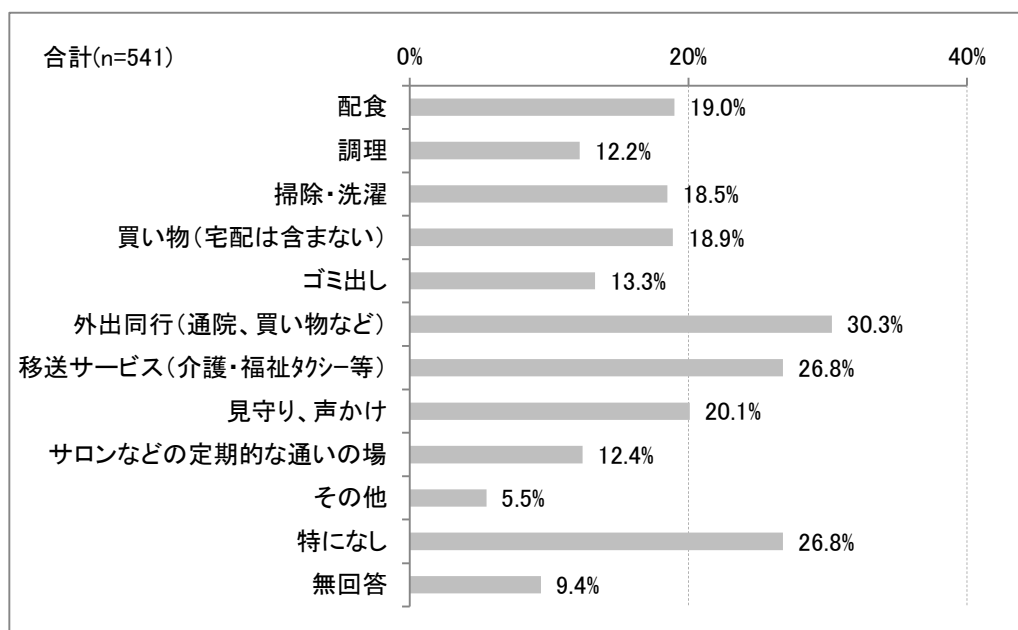
図表 1-8 ★保険外の支援・サービスの利用状況（複数回答）



(9) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス

「外出同行（通院、買い物など）」の割合が最も高く 30.3%となっている。次いで、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）（26.8%）」、「特になし（26.8%）」、「見守り、声かけ（20.1%）」となっている。

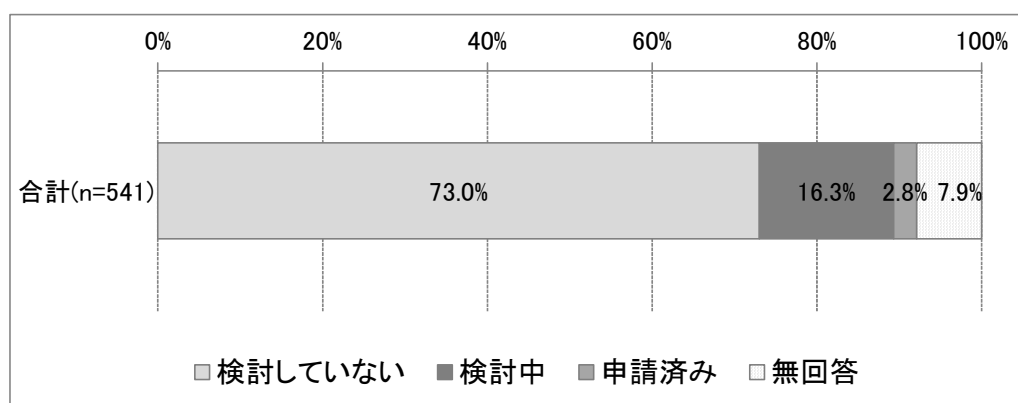
図表 1-9 ★在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス（複数回答）



(10) 施設等検討の状況

「検討していない」の割合が最も高く 73.0%となっている。次いで、「検討中（16.3%）」、「申請済み（2.8%）」となっている。

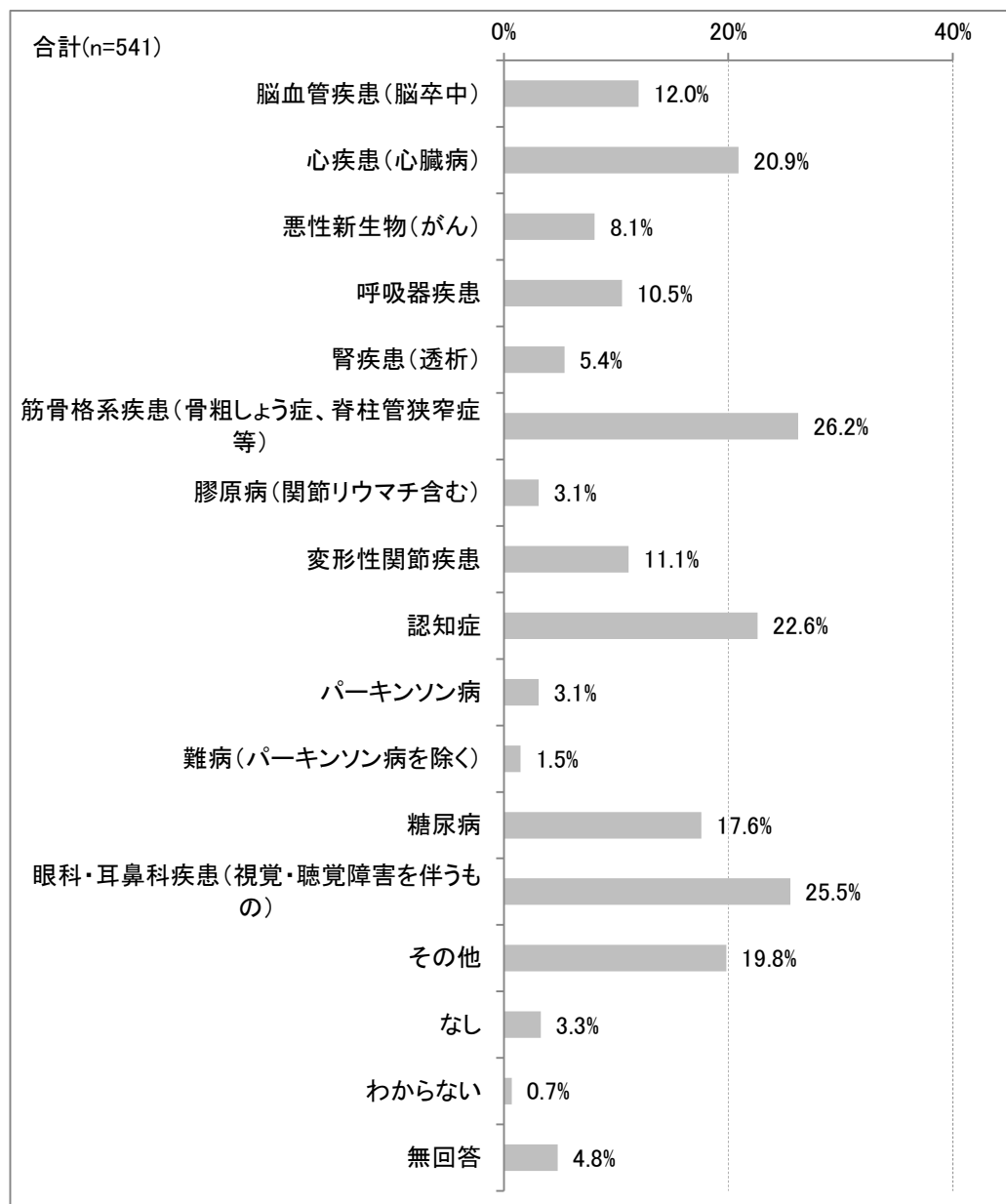
図表 1-10 施設等検討の状況（単数回答）



(11) 本人が抱えている傷病

「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の割合が最も高く 26.2%となっている。次いで、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）（25.5%）」、「認知症（22.6%）」となっている。

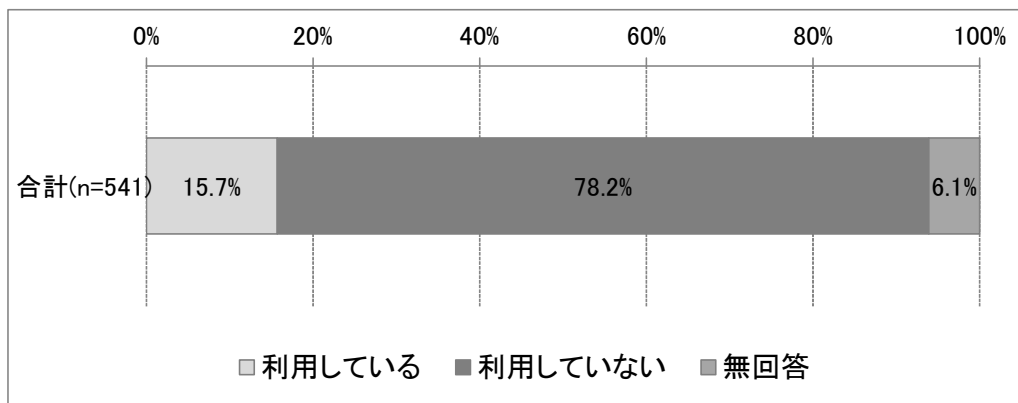
図表 1-11 ★本人が抱えている傷病（複数回答）



(12) 訪問診療の利用の有無

「利用していない」の割合が最も高く 78.2%となっている。次いで、「利用している（15.7%）」となっている。

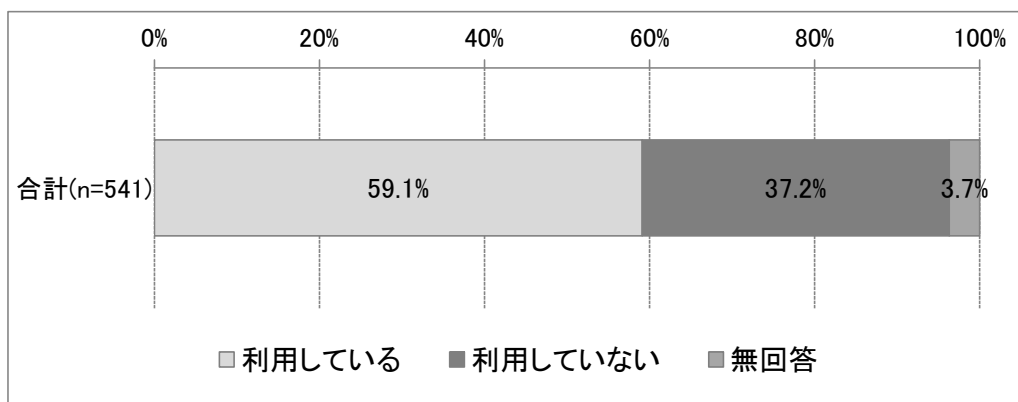
図表 1-12 ★訪問診療の利用の有無（単数回答）



(13) 介護保険サービスの利用の有無

「利用している」の割合が最も高く 59.1%となっている。次いで、「利用していない（37.2%）」となっている。

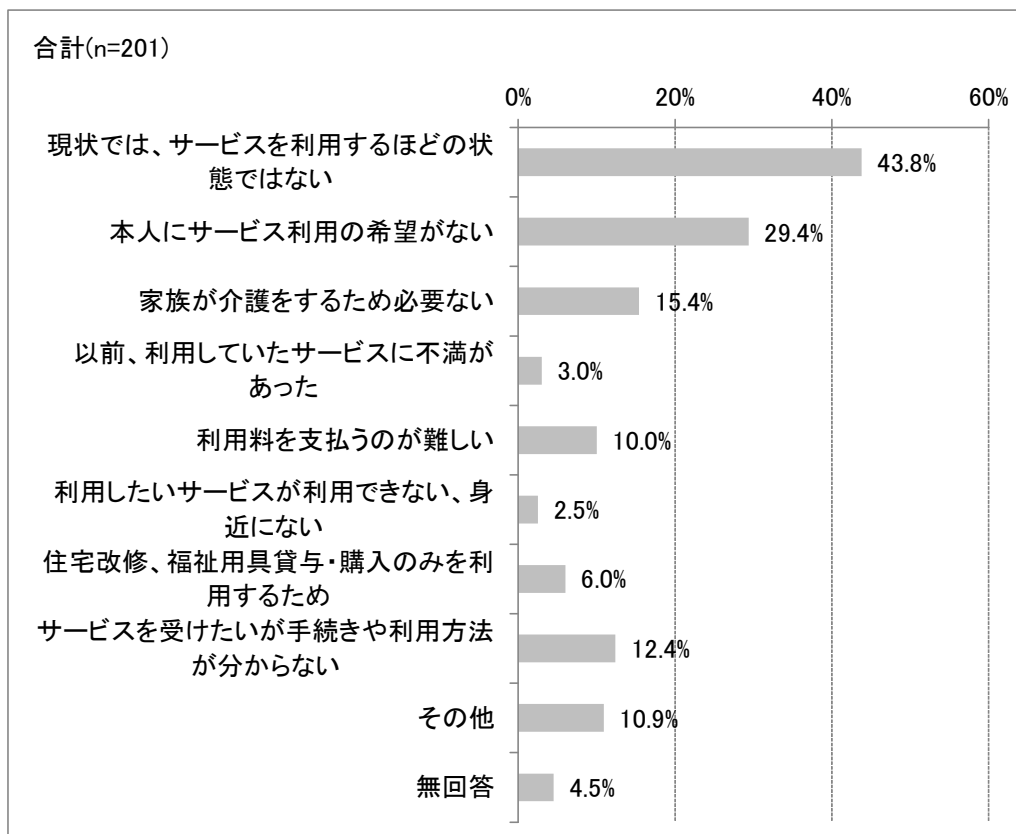
図表 1-13 ★介護保険サービスの利用の有無（単数回答）



(14) 介護保険サービス未利用の理由

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が最も高く 43.8%となっている。次いで、「本人にサービス利用の希望がない (29.4%)」、「家族が介護をするため必要ない (15.4%)」となっている。

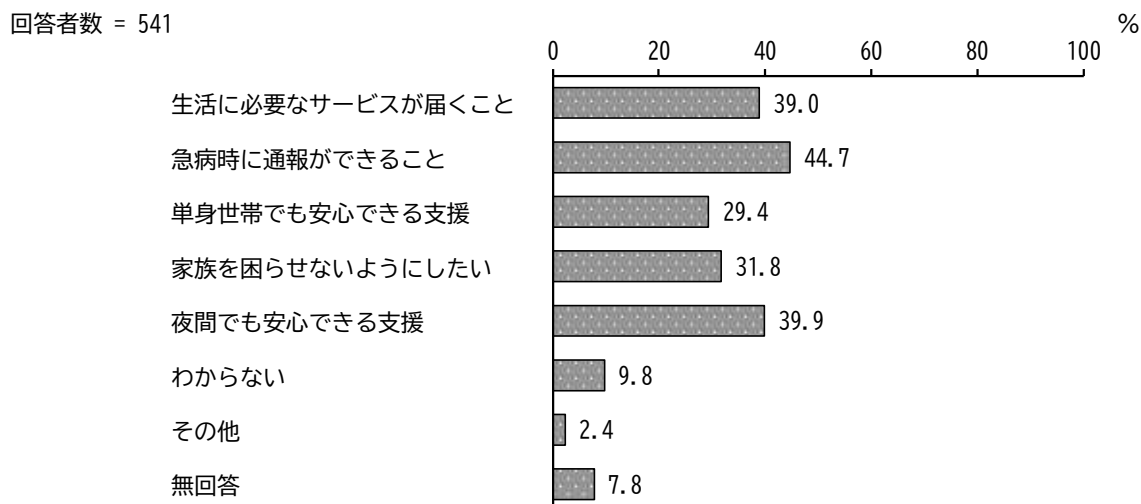
図表 1-14 ★介護保険サービスの未利用の理由（複数回答）



(15) 介護サービス以外での支援について、大切にしてほしいと考えていること

「急病時に通報ができること」の割合が44.7%と最も高く、次いで「夜間でも安心できる支援」の割合が39.9%、「生活に必要なサービスが届くこと」の割合が39.0%となっている。

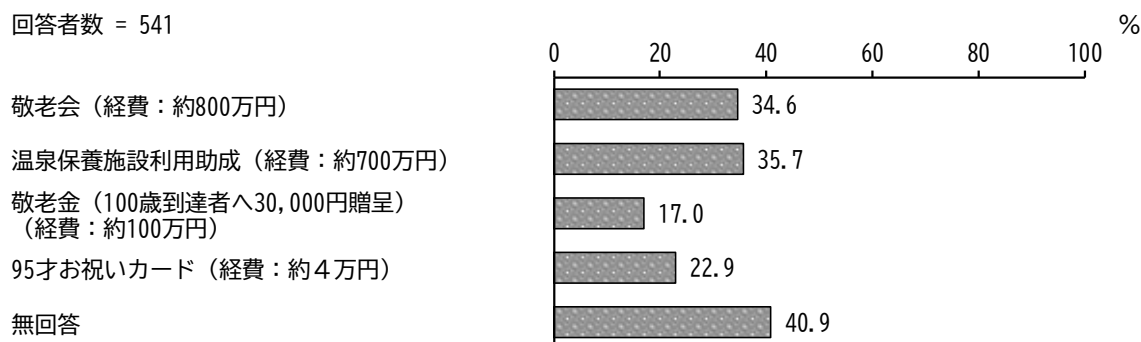
図表 1-15 介護サービス以外での支援について、大切にしてほしいと考えていること（複数回答）



(16) 高齢者施策について見直すべき事業

「温泉保養施設利用助成（経費：約700万円）」の割合が35.7%と最も高く、次いで「敬老会（経費：約800万円）」の割合が34.6%、「95才お祝いカード（経費：約4万円）」の割合が22.9%となっている。

図表 1-16 高齢者施策について見直すべき事業（複数回答）



(17) 在宅生活を続けていくうえでであるとよい支援

【移動支援】

- タクシーの無料送迎
- バスの無料パス
- 運転免許証の返納を考えているので、返納後の交通（移動）手段がタクシー以外の物があればと思っています。（バスがない）
- 入浴の介助、病院への送迎。

【介護者支援】

- 家族が仕事できないので介護者に手当をつくってほしい。
- 普段介護している者が時には息抜きで安心して外出できる支援があるといい。
- ケアマネジャーの対応。現在、月に1度の訪問のみで、18時以降の連絡が出来ない。土日は休日のようで連絡がとれない。献身的なケアをお願いしたい（勤務体系がサラリーマン的）。

【訪問介護・緊急時支援】

- 夜間の病気が一番困る。青梅市もファストドクターのような、24時間対応の訪問医療を考えてほしい（救急外来へもつれていけない）。
- 現在、訪問介護はうけていないので、緊急時に家族等がかけつけるよりも早く、見に来てくれる人があると助かります。補聴器をとるとほぼ何も聞こえないので火事等のサイレンにも気づかない可能性が高いのが心配。
- 介護者不在時の緊急援助、支援。
- 転倒や急な時の対応が70歳以上の夫婦では対応しきれない時に、救急車以外で対応して下さる支援があると助かる。

【生活支援サービス】

- 庭木の手入れをして欲しい。
- 夕食の準備と入浴見守り。
- 買い物のつきそいサービス（もうあるのかな・・・）。
- 日常の事が出来ないなのでその手助け、自宅での風呂の介助、支払いが出来る料金、そんな支援がほしいです。兄がいますが高齢だし、男なので限界があります。
- 青梅駅前に食品スーパーがないのが不便。
- 重い家具や家電製品の移動。
- 食事の料理があまりできないので料理を作ってくれるサービスがほしいです。今は単身世帯のみですが、作れなくて困っている家庭が多いです。特に男性にはきびしいです。

【見守り・安心サポート】

- ひとり暮らしなので、介護用見守りカメラがあると安心できます。
- 見守りサービスを必要な時にいつでも受けられるようにしてほしい。
- 定期的な見守り。

【情報・コミュニケーション支援】

- 我が家では支援を受けることを早期に知ることができたので（既に他界の家族の時）、現時点では充分ではあるものの、この介護支援サービスをまだまだ知らずにいる方が多いと感じています。また、自宅介護者同士の横のつながり、コミュニケーションがとれたら、共有してさらにうまくできるのではと感じています。
- 家族が知らない介護サービスの案内。
- お話相手がほしい、一人はさみしい。
- 困っている事を気軽に相談、お願い出来る機関（人、施設等）がほしい。

【家事支援】

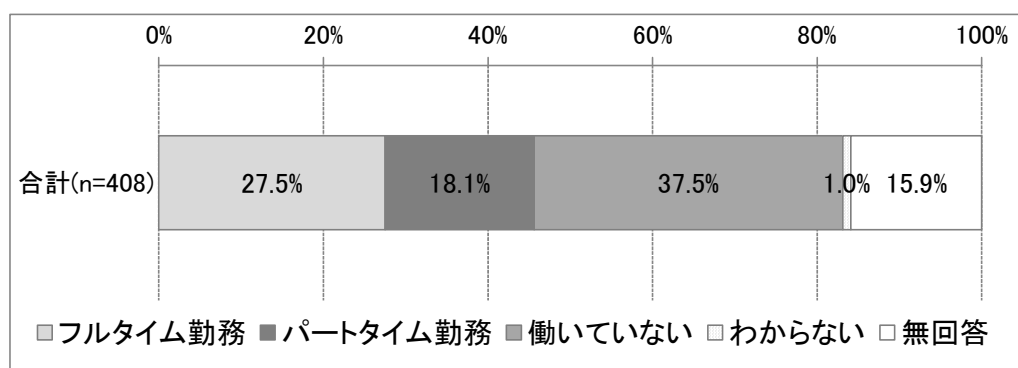
- 家に来て掃除などをしていただけると在宅生活が続けていけると思います。ヘルパーさんの確保がしやすくなるといいと思います。
- 家族がそばにいても、家事などの手助けや助成があるといいと思います。
- ゴミ出しを定期的に支援していただけるサービス。

主な介護者様用の調査項目（B票）

(1) 主な介護者の勤務形態

「働いていない」の割合が最も高く 37.5%となっている。次いで、「フルタイム勤務（27.5%）」、「パートタイム勤務（18.1%）」となっている。

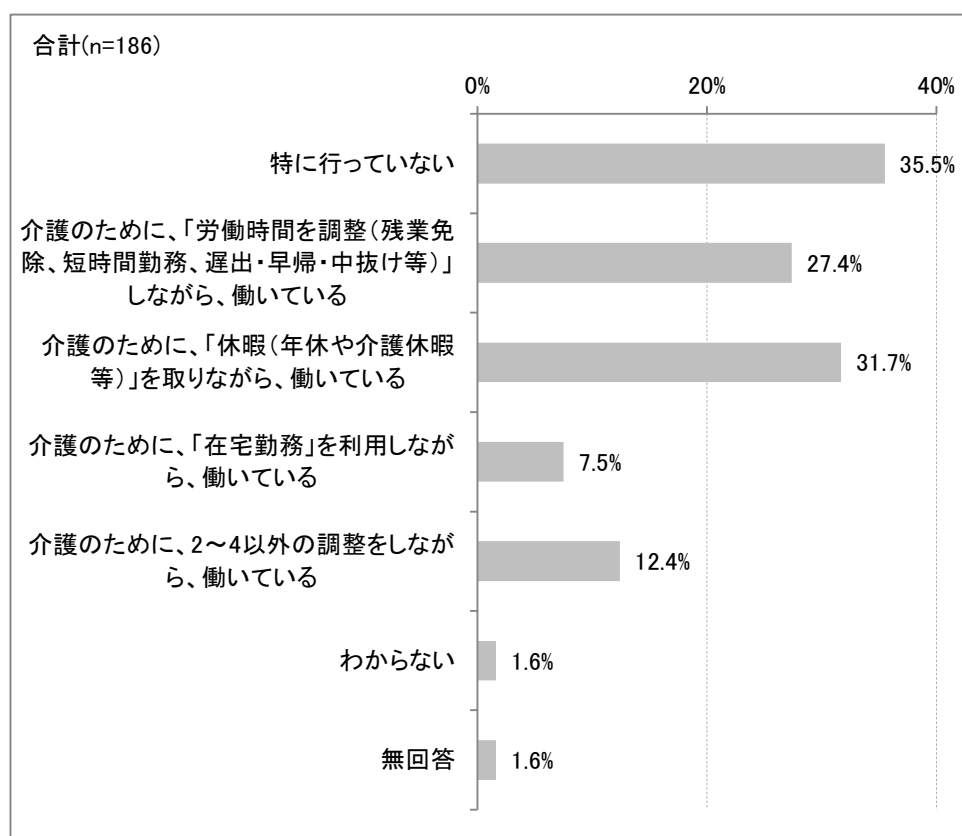
図表 2-1 主な介護者の勤務形態（単数回答）



(2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況

「特に行っていない」の割合が最も高く 35.5%となっている。次いで、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている（31.7%）」、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている（27.4%）」となっている。

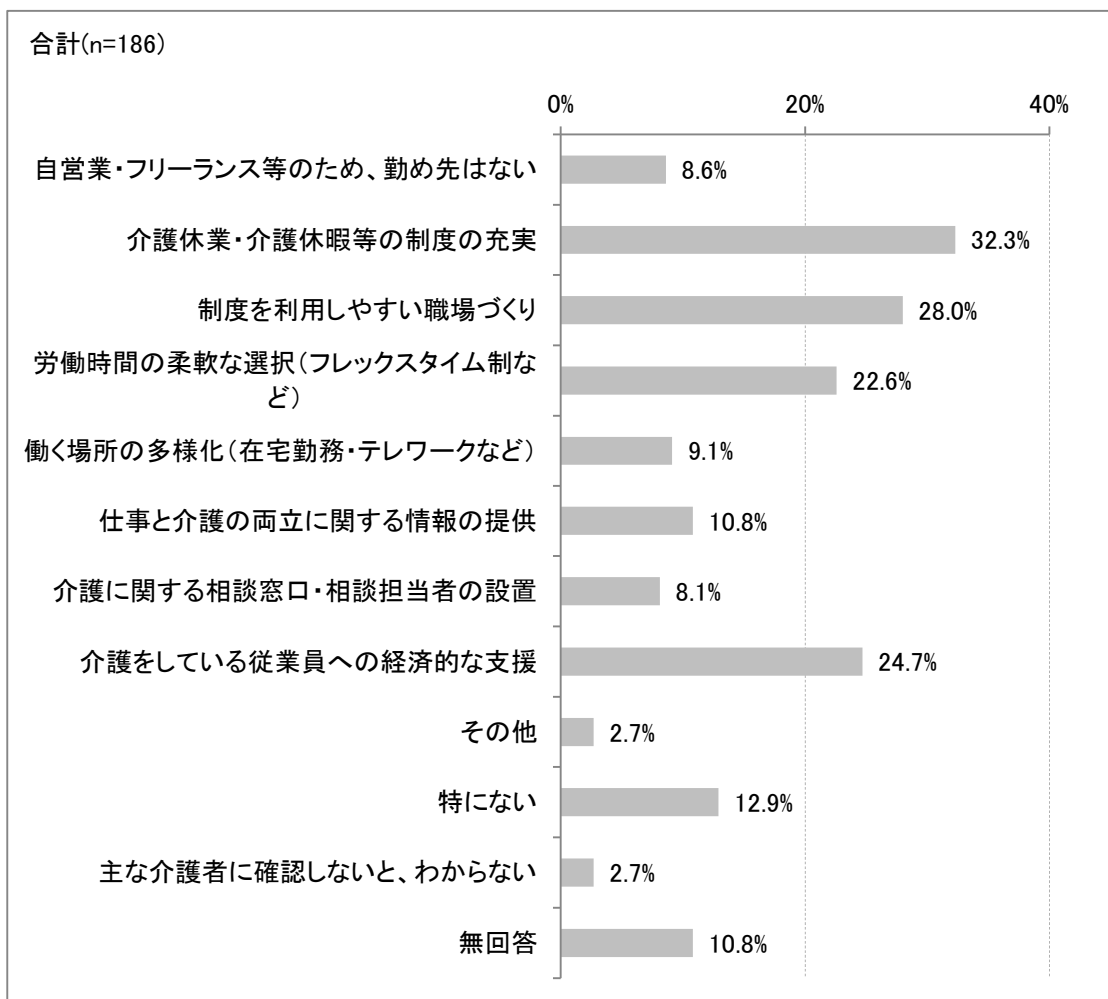
図表 2-2 主な介護者の働き方の調整状況（複数回答）



(3) 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援

「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が最も高く 32.3%となっている。次いで、「制度を利用しやすい職場づくり (28.0%)」、「介護をしている従業員への経済的な支援 (24.7%)」となっている。

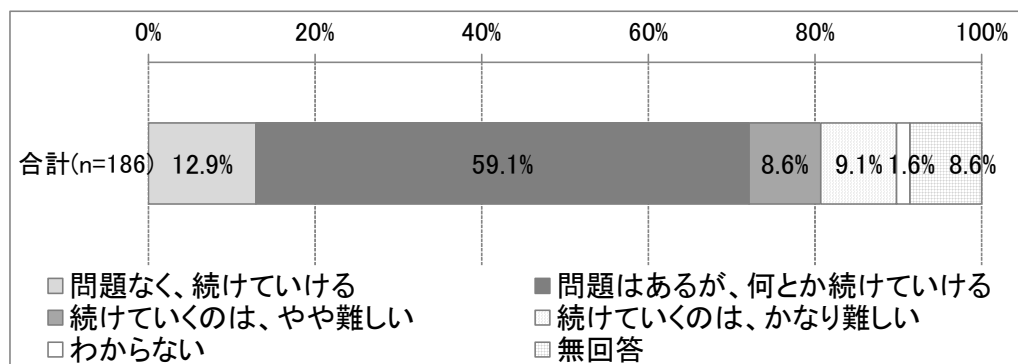
図表 2-3 ★就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援（複数回答）



(4) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が最も高く 59.1%となっている。次いで、「問題なく、続けていける (12.9%)」、「続けていくのは、かなり難しい (9.1%)」となっている。

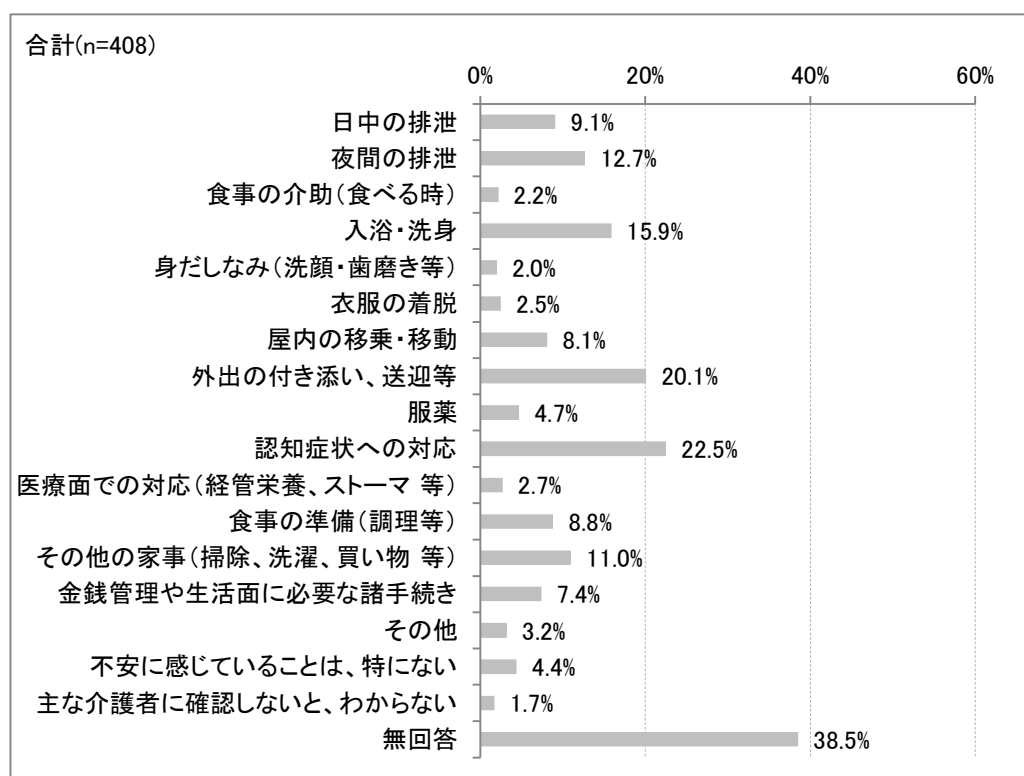
図表 2-4 主な介護者の就労継続の可否に係る意識（単数回答）



(5) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護

「認知症状への対応」の割合が最も高く 22.5%となっている。次いで、「外出の付き添い、送迎等 (20.1%)」、「入浴・洗身 (15.9%)」となっている。

図表 2-5 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護（複数回答）

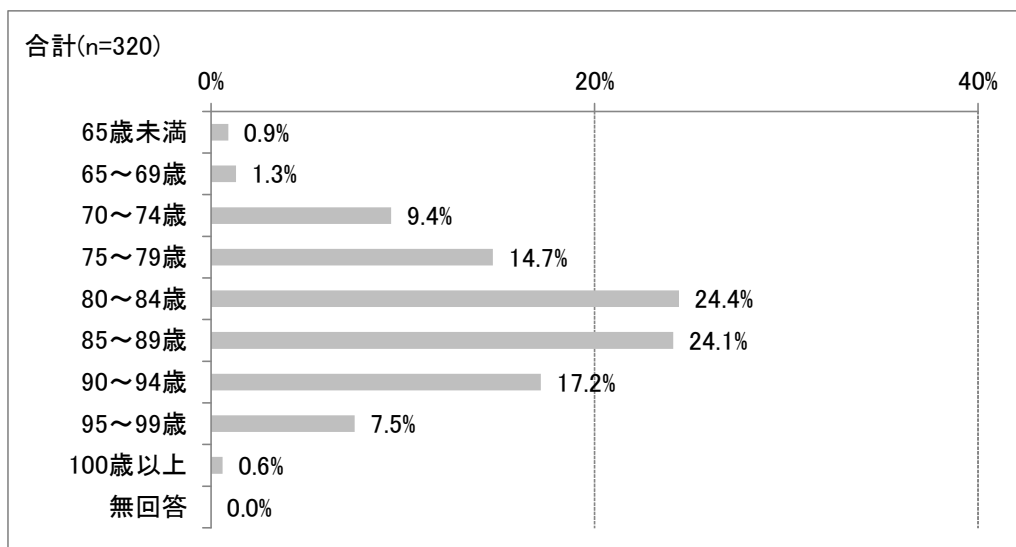


要介護認定データ

(1) 年齢

「80～84 歳」の割合が最も高く 24.4%となっている。次いで、「85～89 歳（24.1%）」、「90～94 歳（17.2%）」となっている。

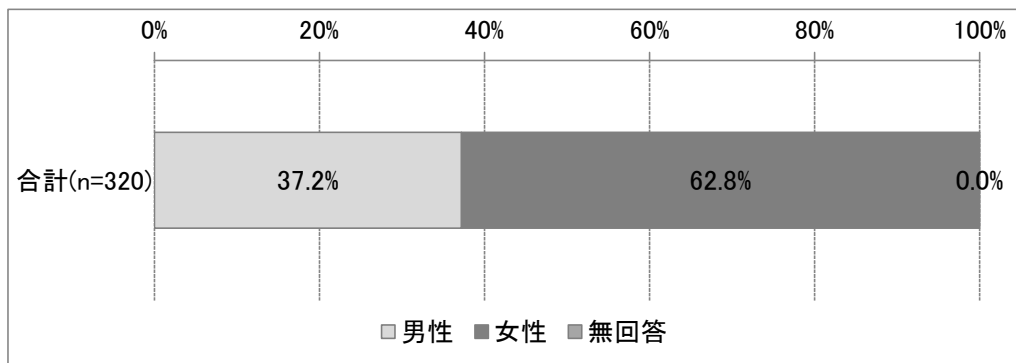
図表 3-1 年齢



(2) 性別

「女性」の割合が最も高く 62.8%となっている。次いで、「男性（37.2%）」となっている。

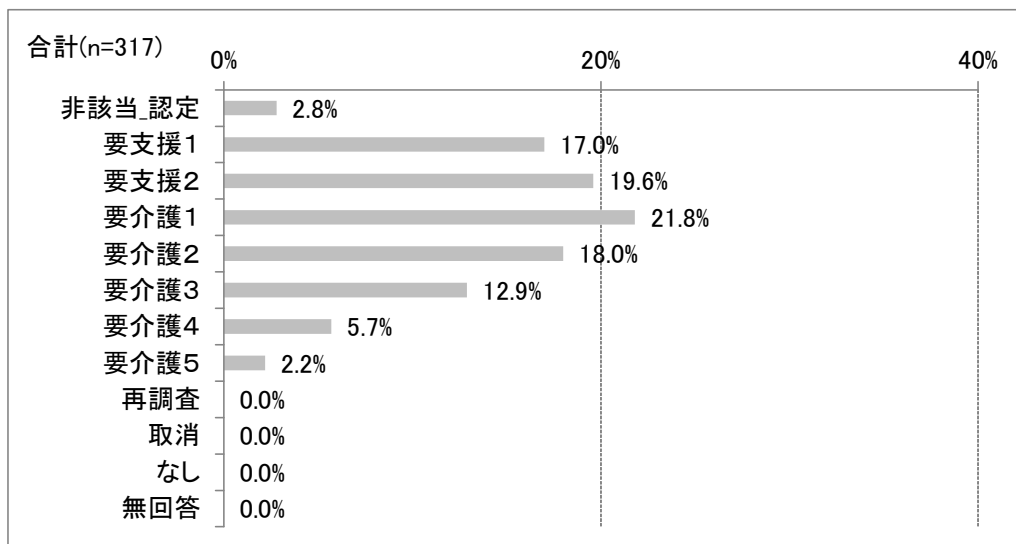
図表 3-2 性別



(3) 二次判定結果（要介護度）

「要介護1」の割合が最も高く21.8%となっている。次いで、「要支援2（19.6%）」、「要介護2（18.0%）」となっている。

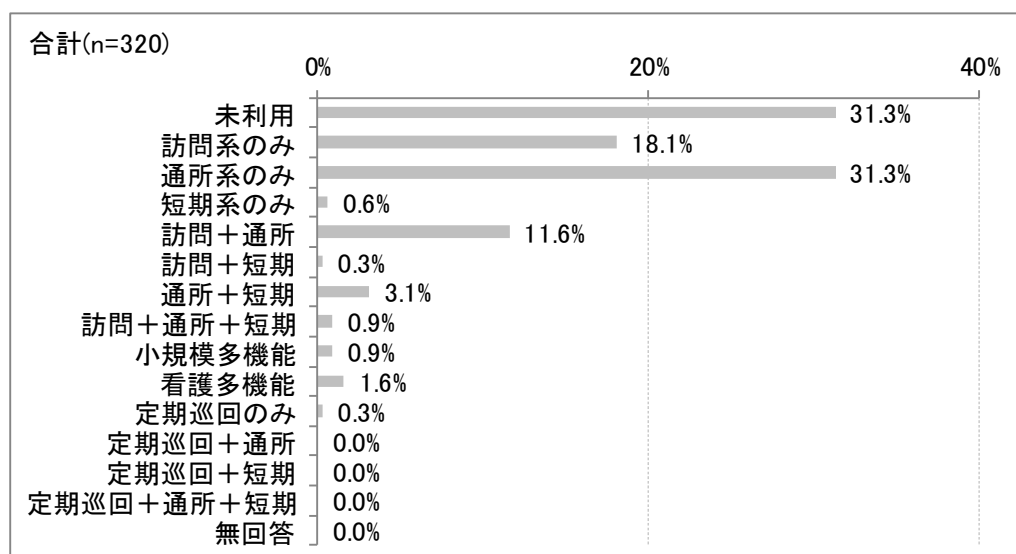
図表 3-3 二次判定結果



(4) サービス利用の組み合わせ

「未利用」、「通所系のみ」の割合が高く、それぞれ31.3%となっている。次いで、「訪問系のみ（18.1%）」、「訪問+通所（11.6%）」となっている。

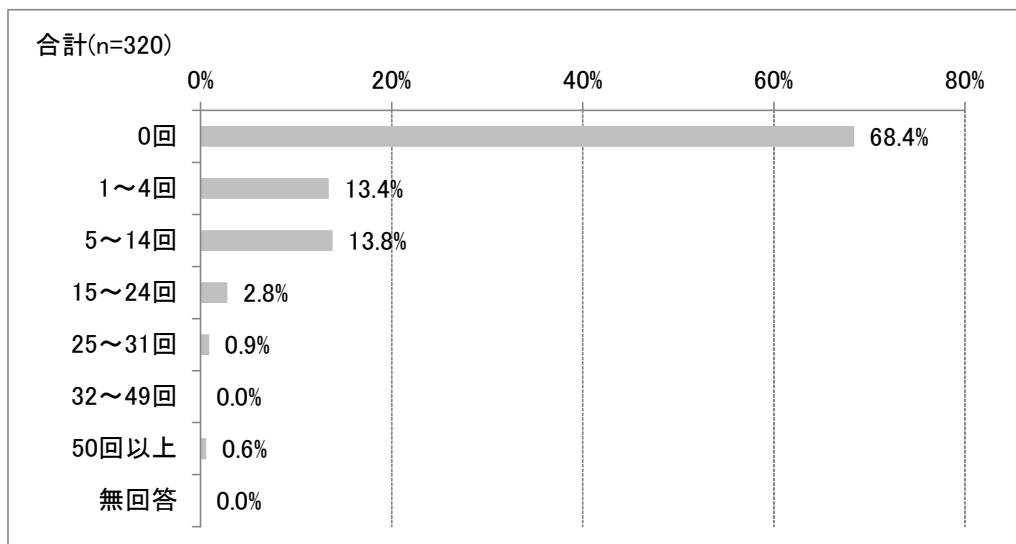
図表 3-4 サービス利用の組み合わせ



(5) 訪問系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く 68.4%となっている。次いで、「5～14回（13.8%）」、「1～4回（13.4%）」となっている。

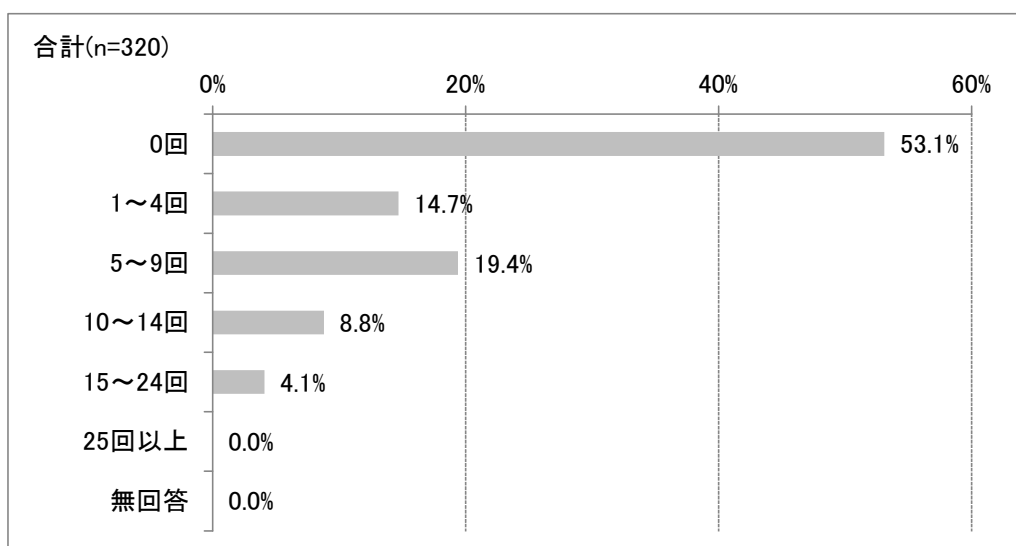
図表 3-5 サービスの利用回数（訪問系）



(6) 通所系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く 53.1%となっている。次いで、「5～9回（19.4%）」、「1～4回（14.7%）」となっている。

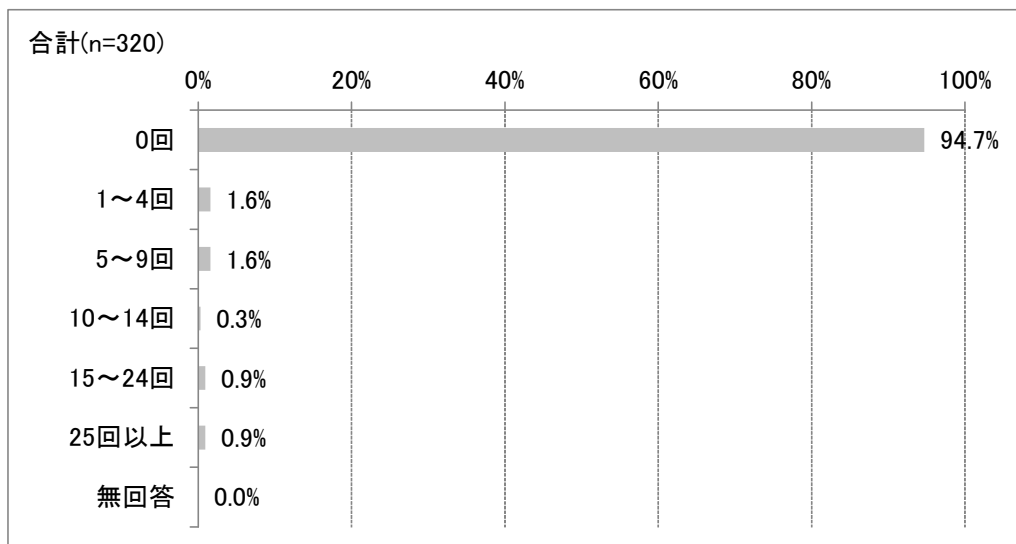
図表 3-6 サービスの利用回数（通所系）



(7) 短期系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く 94.7%となっている。次いで、「1～4回（1.6%）」、「5～9回（1.6%）」、「15～24回（0.9%）」、「25回以上（0.9%）」となっている。

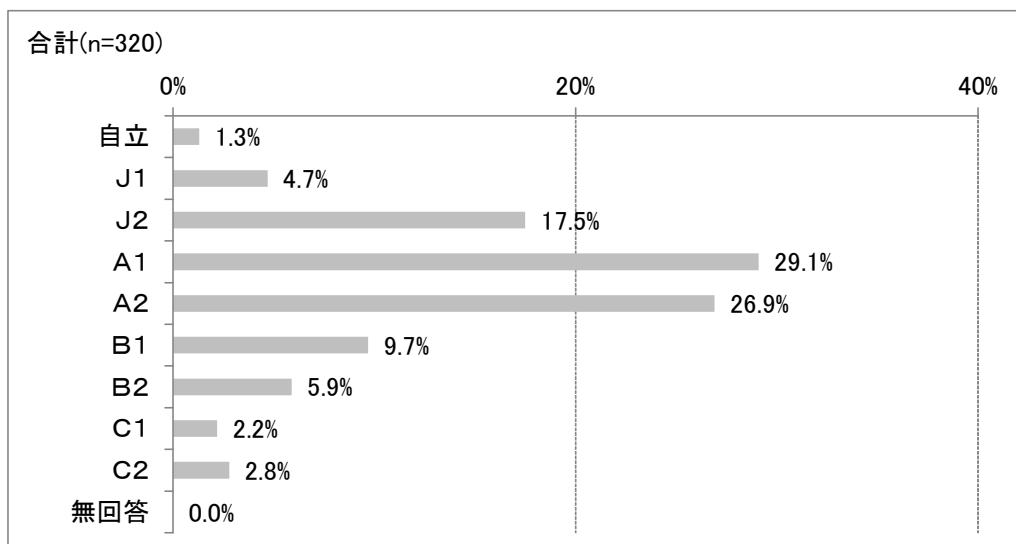
図表 3-7 サービスの利用回数（短期系）



(8) 障害高齢者の日常生活自立度

「A1」の割合が最も高く 29.1%となっている。次いで、「A2（26.9%）」、「J2（17.5%）」となっている。

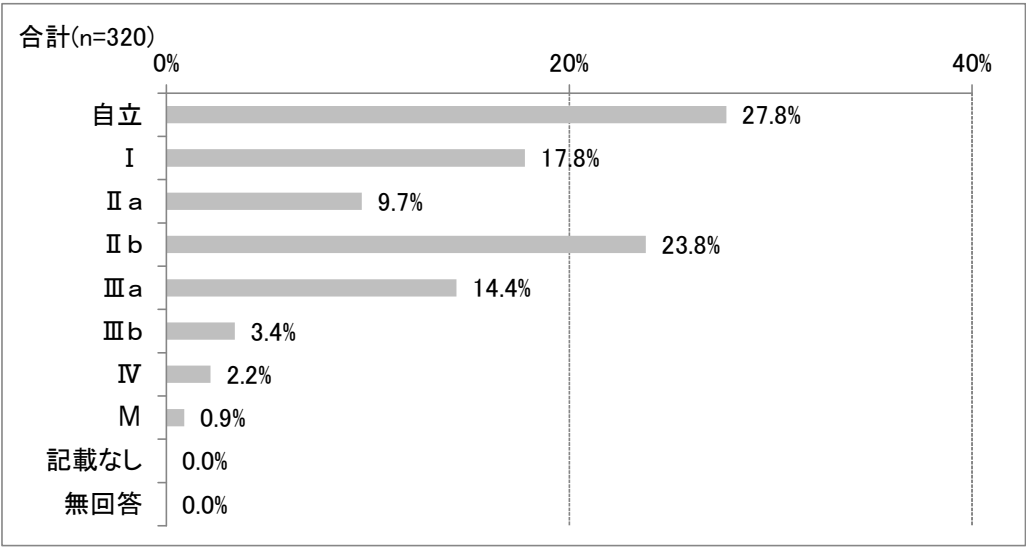
図表 3-8 障害高齢者の日常生活自立度



(9) 認知症高齢者の日常生活自立度

「自立」の割合が最も高く 27.8%となっている。次いで、「Ⅱ b（23.8%)」、「Ⅰ（17.8%)」となっている。

図表 3-9 認知症高齢者の日常生活自立度



クロス集計結果

在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

1.2 集計結果と着目すべきポイント

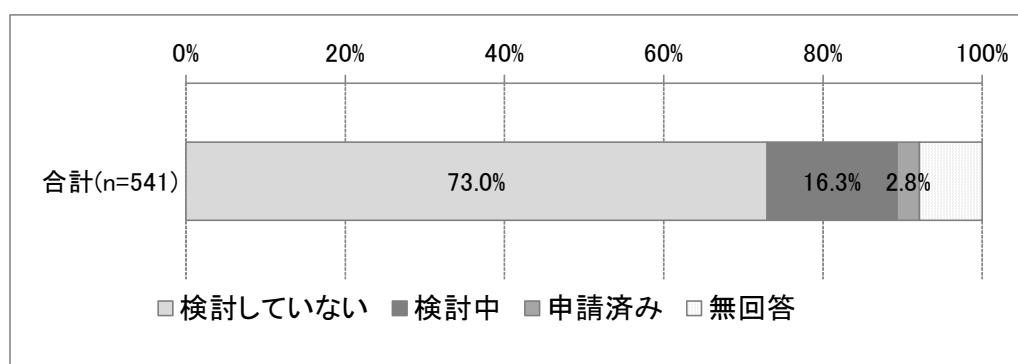
(1) 基礎集計

- 施設等の検討状況に係る、基礎的な集計を行っています（図表 1-1～図表 1-3）。
- 要介護度の重度化に伴う、施設等検討状況の変化や世帯類型ごとの施設等検討状況についてその状況を把握します。

【施設等検討の状況】

「検討していない」の割合が最も高く 73.0%となっている。次いで、「検討中（16.3%）」、「申請済み（2.8%）」となっている。

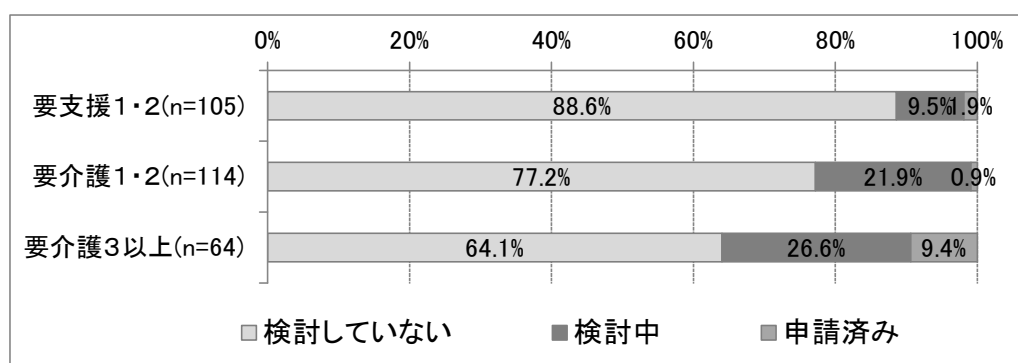
図表 1-1 施設等検討の状況



【要介護度別・施設等検討の状況】

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が 88.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 9.5%、「申請済み」が 1.9%となっている。「要介護1・2」では「検討していない」が 77.2%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 21.9%、「申請済み」が 0.9%となっている。「要介護3以上」では「検討していない」が 64.1%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 26.6%、「申請済み」が 9.4%となっている。

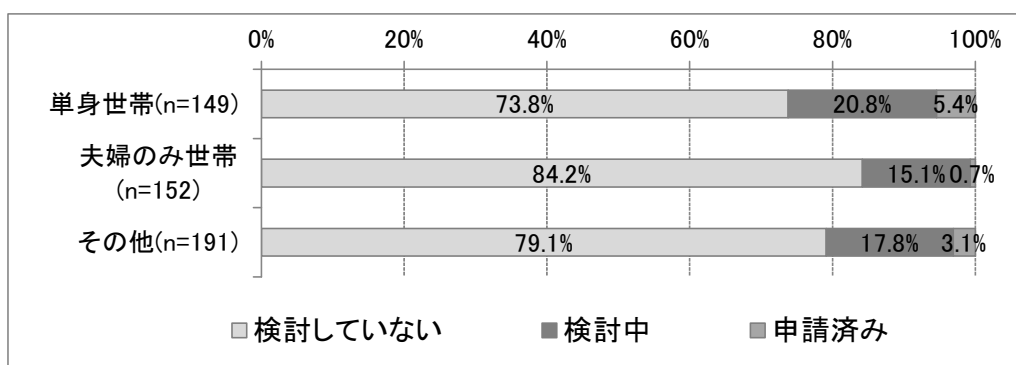
図表 1-2 要介護度別・施設等検討の状況<***>



【世帯類型別・施設等検討の状況】

施設等の検討状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「検討していない」が73.8%と最も割合が高く、次いで「検討中」が20.8%、「申請済み」が5.4%となっている。「夫婦のみ世帯」では「検討していない」が84.2%と最も割合が高く、次いで「検討中」が15.1%、「申請済み」が0.7%となっている。「その他」では「検討していない」が79.1%と最も割合が高く、次いで「検討中」が17.8%、「申請済み」が3.1%となっている。

図表 1-3 世帯類型別・施設等検討の状況<+>



(2) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化

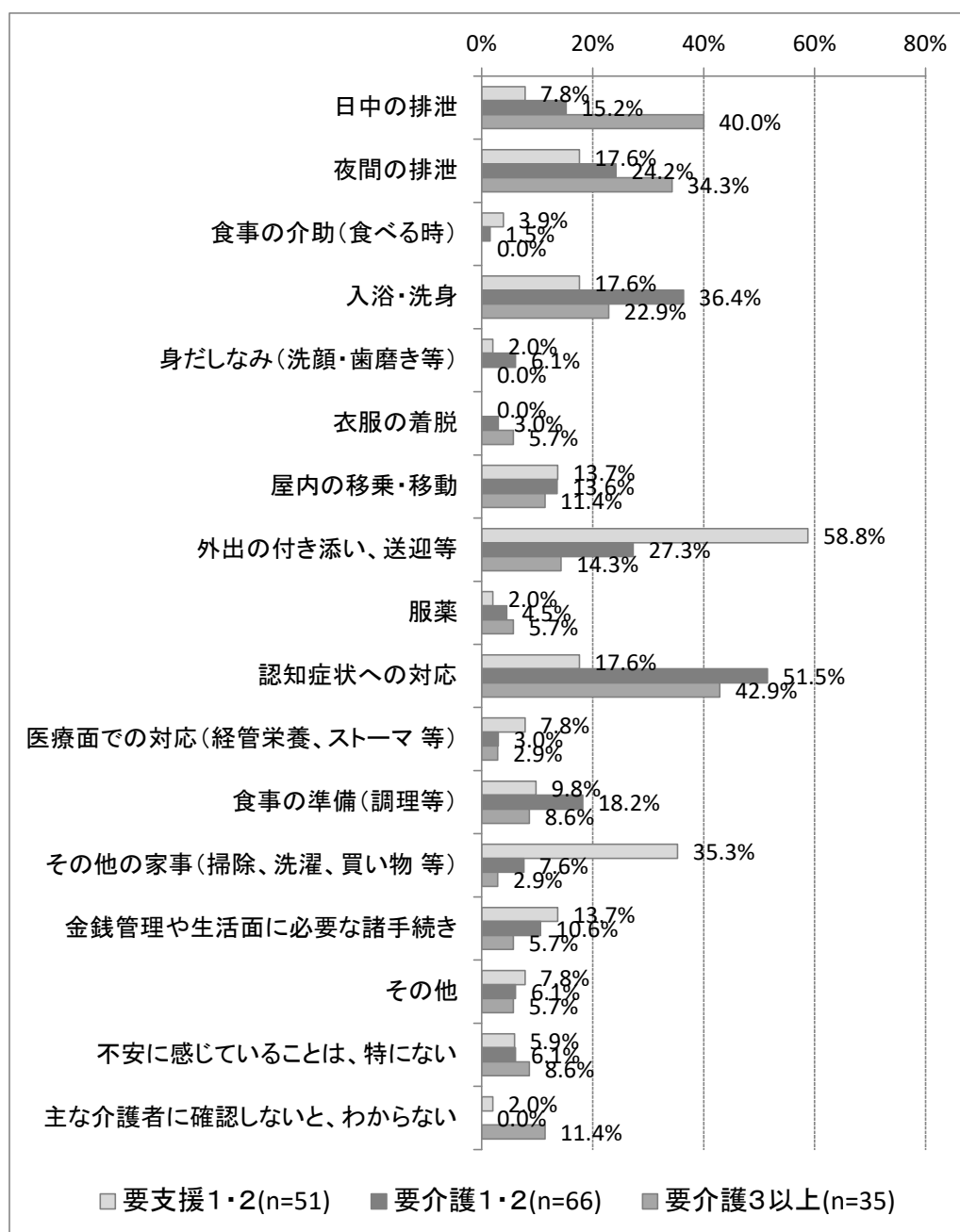
【着目すべきポイント】

- 要介護度と認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化について、集計分析をしています（図表 1-4、図表 1-5）。
- ここでの「主な介護者が不安に感じる介護」とは、「現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等」のことです。なお、ここで選択される介護は、現状で行っている介護であるか否かは問われていません。
- ここから、要介護度・認知症自立度別の、主な介護者が不安に感じる介護等を把握します。
- また、主な介護者の不安が相対的に大きな介護や、重度化に伴い主な介護者の不安が大きくなる介護等に注目することで、在宅限界点に大きな影響を与えられ「主な介護者が不安に感じる介護」を推測します。

【要介護度別・介護者が不安に感じる介護】

介護者が不安に感じる介護を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「外出の付き添い、送迎等」が58.8%と最も割合が高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が35.3%、「夜間の排泄」、「入浴・洗身」、「認知症状への対応」が17.6%となっている。「要介護1・2」では「認知症状への対応」が51.5%と最も割合が高く、次いで「入浴・洗身」が36.4%、「外出の付き添い、送迎等」が27.3%となっている。「要介護3以上」では「認知症状への対応」が42.9%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」が40.0%、「夜間の排泄」が34.3%となっている。

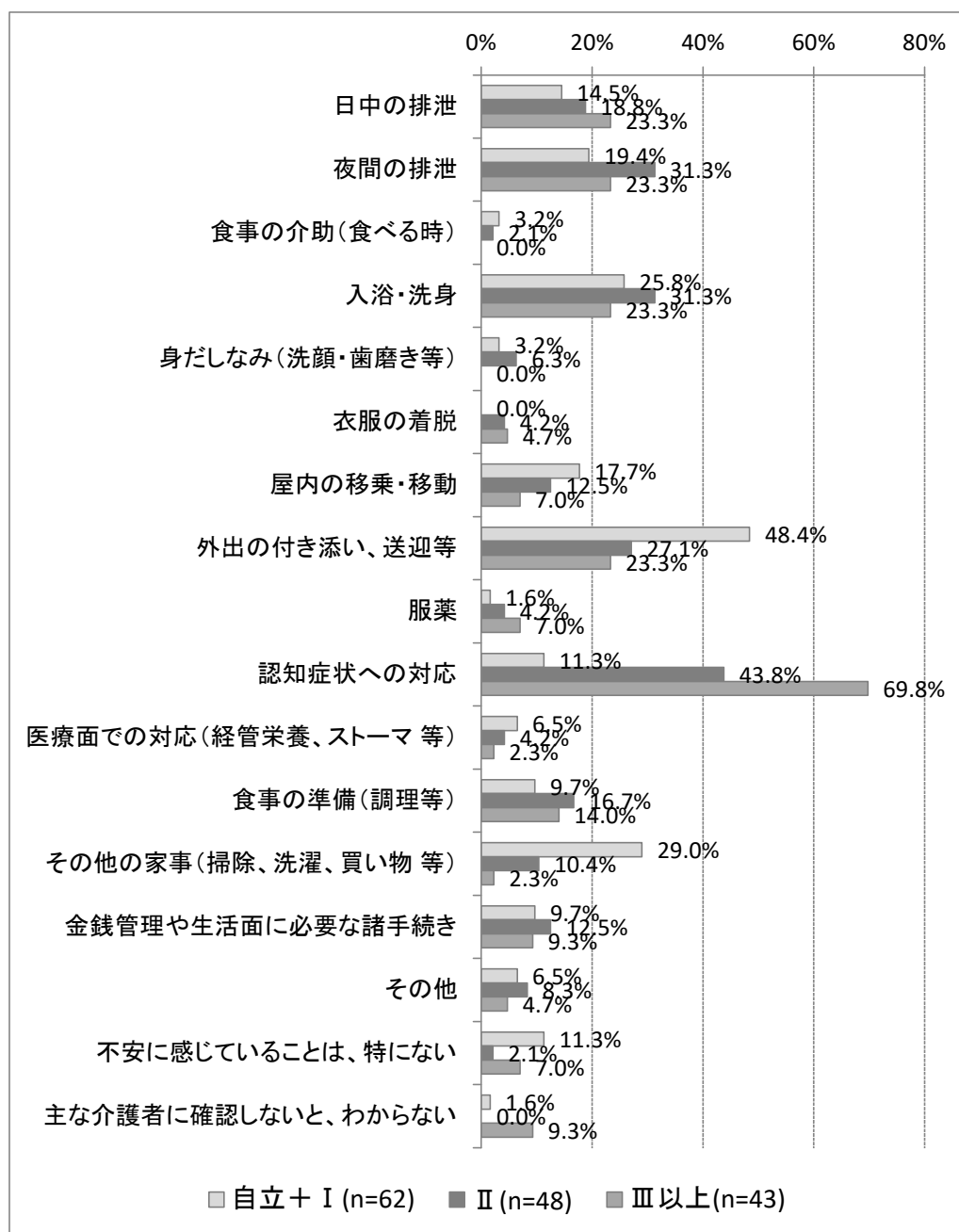
図表 1-4 要介護度別・介護者が不安に感じる介護



【認知症自立度別・介護者が不安に感じる介護】

介護者が不安に感じる介護を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「外出の付き添い、送迎等」が48.4%と最も割合が高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が29.0%、「入浴・洗身」が25.8%となっている。「Ⅱ」では「認知症状への対応」が43.8%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「入浴・洗身」が31.3%、「外出の付き添い、送迎等」が27.1%となっている。「Ⅲ以上」では「認知症状への対応」が69.8%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「入浴・洗身」、「食事の準備（調理等）」が23.3%、「食事の準備（調理等）」が14.0%となっている。

図表 1-5 認知症自立度別・介護者が不安に感じる介護



(3) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化

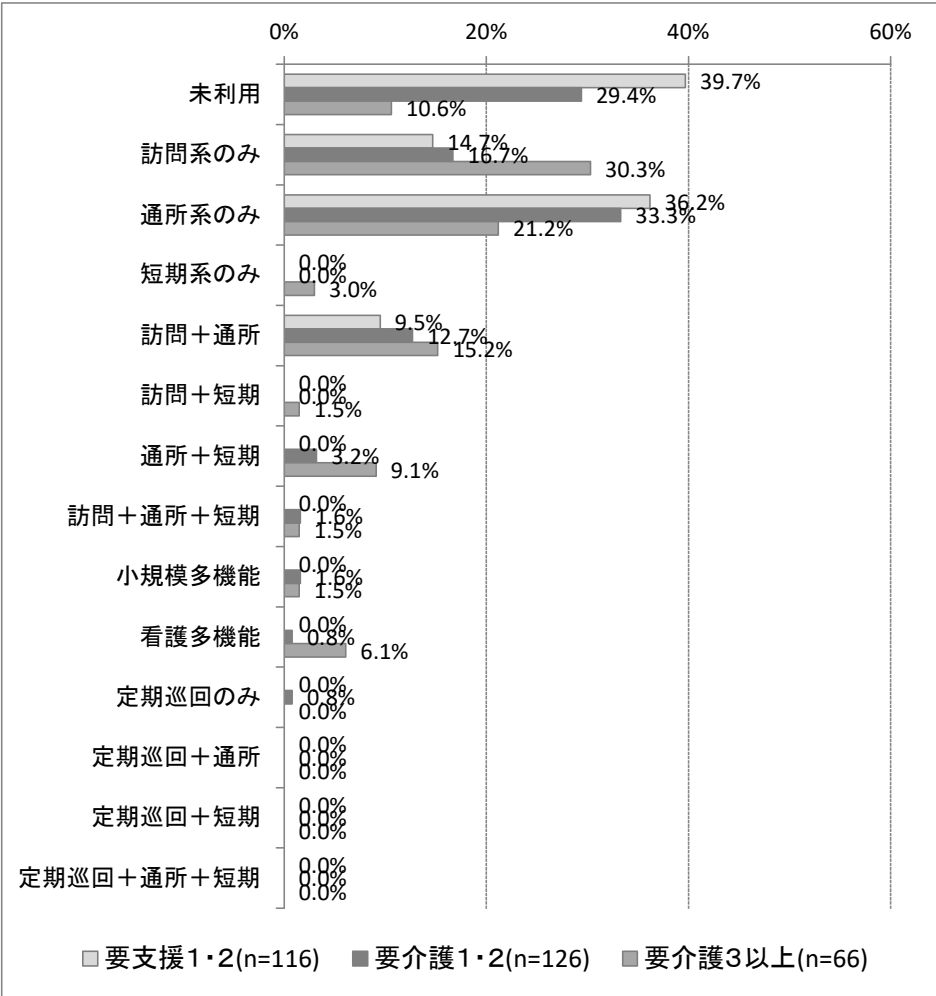
【着目すべきポイント】

- ここでは、要介護度・認知症自立度別の「サービス利用の組み合わせ」について、集計分析をしています（図表 1-6、図表 1-7）。
- 特に、重度化に伴い、どのようなサービス利用の組み合わせが増加しているかに着目することで、現在在宅で生活をする中重度の要介護者が、どのような組み合わせのサービス利用を増加させることで在宅生活を維持しているかを把握します。
- さらに、例えば今後の中重度の要介護者の増加に伴い、どのような「サービス利用の組み合わせ」のニーズが大きくなると考えられるかを推測します。

【要介護度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「未利用」が39.7%と最も割合が高く、次いで「通所系のみ」が36.2%、「訪問系のみ」が14.7%となっている。「要介護1・2」では「通所系のみ」が33.3%と最も割合が高く、次いで「未利用」が29.4%、「訪問系のみ」が16.7%となっている。「要介護3以上」では「訪問系のみ」が30.3%と最も割合が高く、次いで「通所系のみ」が21.2%、「訪問+通所」が15.2%となっている。

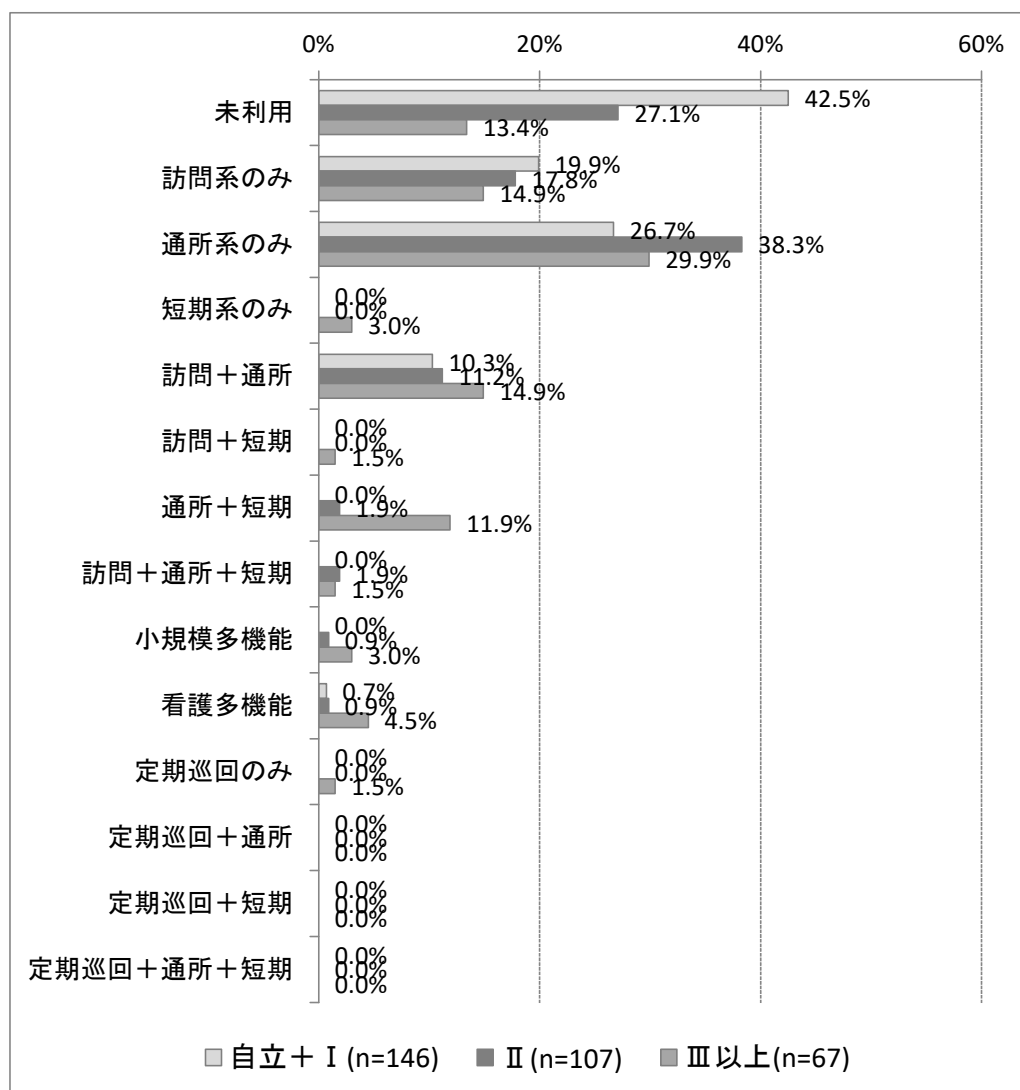
図表 1-6 要介護度別・サービス利用の組み合わせ<***>



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「未利用」が42.5%と最も割合が高く、次いで「通所系のみ」が26.7%、「訪問系のみ」が19.9%となっている。「Ⅱ」では「通所系のみ」が38.3%と最も割合が高く、次いで「未利用」が27.1%、「訪問系のみ」が17.8%となっている。「Ⅲ以上」では「通所系のみ」が29.9%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」、「訪問+通所」が14.9%、「未利用」が13.4%となっている。

図表 1-7 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ<***>



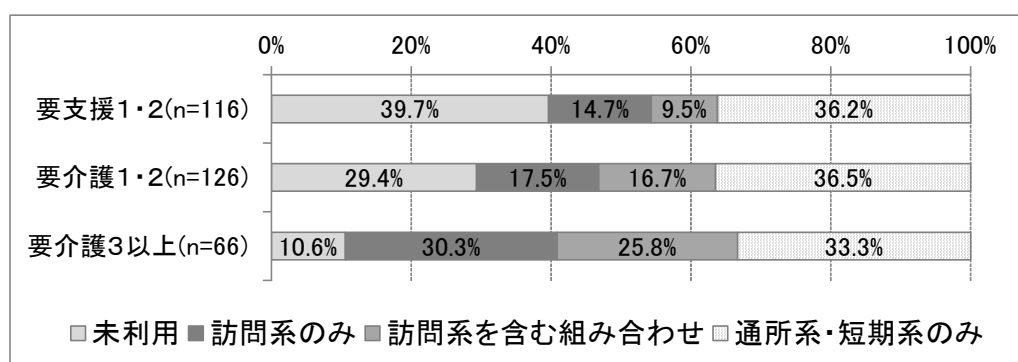
【着目すべきポイント】

- ここでは、要介護度・認知症自立度別の「サービス利用の組み合わせ」について、組み合わせのパターンを簡略化した集計分析をしています（図表 1-8、図表 1-9）。
- 具体的には、サービス利用の組み合わせを、「訪問系のみ」のサービス利用と、レスパイト機能をもつ「通所系」および「短期系」のみのサービス利用、さらにその2つを組み合わせた「訪問系を含むサービス利用」の3種類（未利用除く）に分類したものです。
- 組み合わせのパターンが細分化された集計分析（図表 1-6、図表 1-7）と比較して、上記のような視点から、重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化の傾向等を分かりやすく示すことを目的としたものです。
- 前掲の集計分析（図表 1-6、図表 1-7）と同様に、重度化に伴い、どのようなサービス利用の組み合わせが増加しているかに着目することで、現在在宅で生活をする中重度の要介護者が、どのような組み合わせのサービス利用を増加させることで在宅生活を維持しているかを把握することができます。
- また、中重度の要介護者の増加に伴い、どのような「サービス利用の組み合わせ」のニーズが大きくなると考えられるかを推測することも可能になります。

【要介護度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「未利用」が39.7%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が36.2%、「訪問系のみ」が14.7%となっている。「要介護1・2」では「通所系・短期系のみ」が36.5%と最も割合が高く、次いで「未利用」が29.4%、「訪問系のみ」が17.5%となっている。「要介護3以上」では「通所系・短期系のみ」が33.3%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が30.3%、「訪問系を含む組み合わせ」が25.8%となっている。

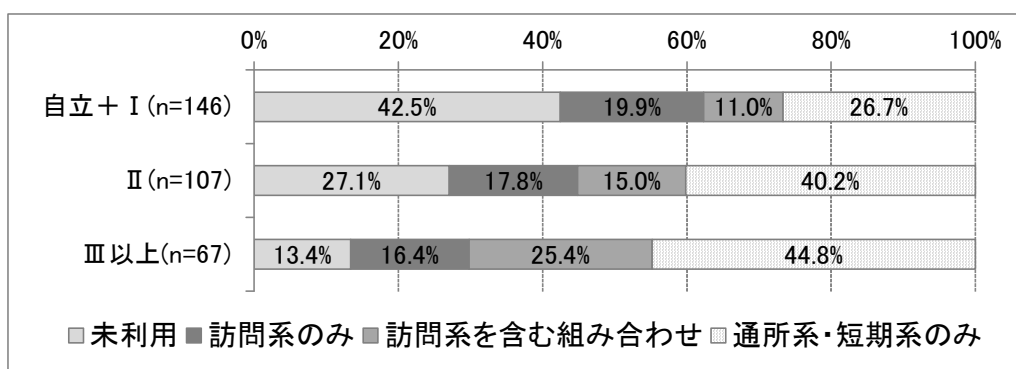
図表 1-8 要介護度別・サービス利用の組み合わせ<***>



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「未利用」が42.5%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が26.7%、「訪問系のみ」が19.9%となっている。「Ⅱ」では「通所系・短期系のみ」が40.2%と最も割合が高く、次いで「未利用」が27.1%、「訪問系のみ」が17.8%となっている。「Ⅲ以上」では「通所系・短期系のみ」が44.8%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が25.4%、「訪問系のみ」が16.4%となっている。

図表 1-9 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ<***>



(4) 「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係

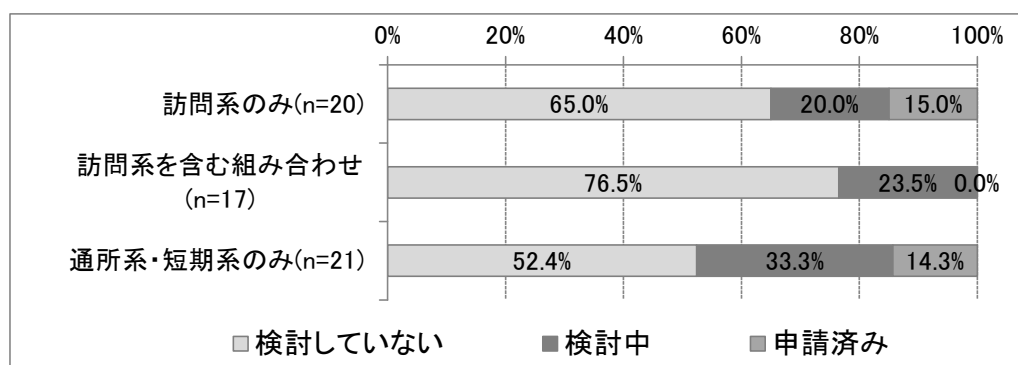
【着目すべきポイント】

- ここでは、「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係について、集計分析をしています。それぞれ、要介護3以上と要介護4以上、認知症自立度Ⅲ以上に分けて集計分析を行っています。
- 図表 1-10～図表 1-12 は、「サービス利用の組み合わせ」別に「施設等検討の状況」の割合を集計分析したもので、特に「サービス利用の組み合わせ」ごとの「施設等検討の状況」を比較します。
- また、図表 1-13～図表 1-15 は、表側と表頭を逆にして集計したもので、「施設等検討の状況」別の「サービス利用の組み合わせ」をみることができます。これにより、例えば施設等への入所・入居を「検討していない」ケースのような「適切な在宅生活の継続を実現している」と考えられる要介護者について、実際に「どのような組み合わせのサービスを利用しているか」を把握することができます。

【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）】

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「検討していない」が65.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が20.0%、「申請済み」が15.0%となっている。「訪問系を含む組み合わせ」では「検討していない」が76.5%と最も割合が高く、次いで「検討中」が23.5%、「申請済み」が0.0%となっている。「通所系・短期系のみ」では「検討していない」が52.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が33.3%、「申請済み」が14.3%となっている。

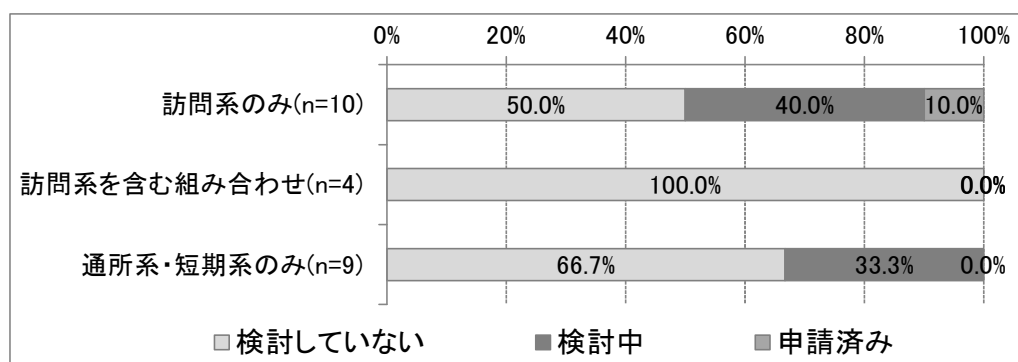
図表 1-10 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護4以上）】

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「検討していない」が50.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が40.0%、「申請済み」が10.0%となっている。「訪問系を含む組み合わせ」では「検討していない」が100.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」、「申請済み」が0.0%となっている。「通所系・短期系のみ」では「検討していない」が66.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が33.3%、「申請済み」が0.0%となっている。

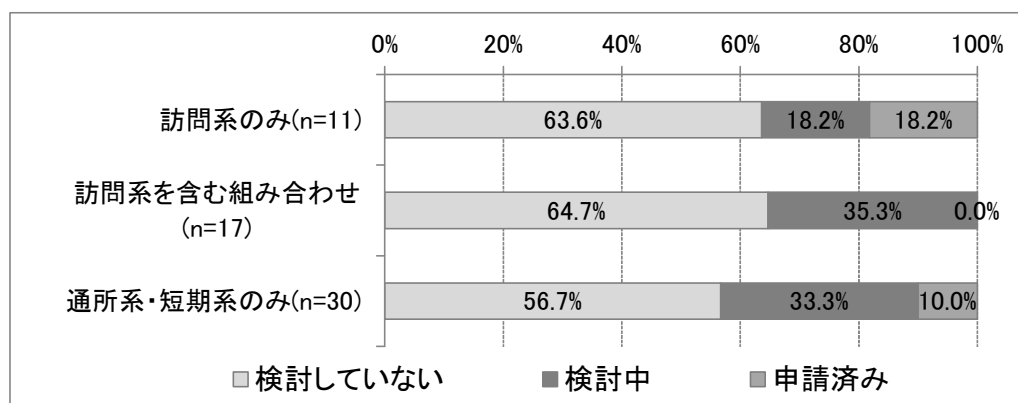
図表 1-11 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護4以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）】

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「検討していない」が63.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」、「申請済み」が18.2%となっている。「訪問系を含む組み合わせ」では「検討していない」が64.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が35.3%、「申請済み」が0.0%となっている。「通所系・短期系のみ」では「検討していない」が56.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が33.3%、「申請済み」が10.0%となっている。

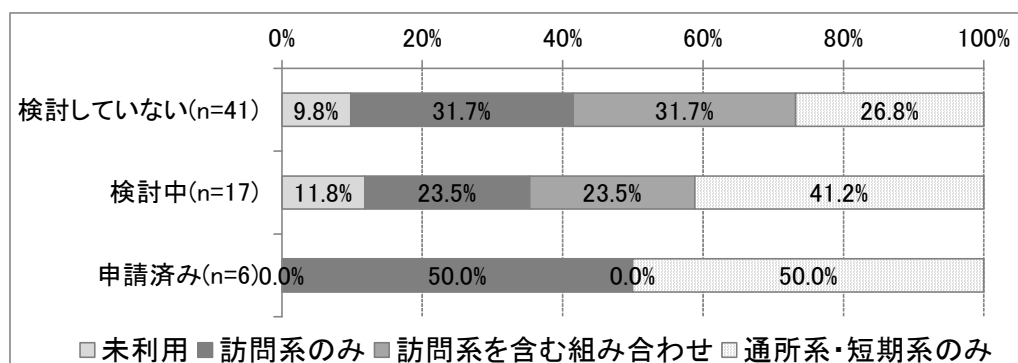
図表 1-12 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）】

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」が31.7%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が26.8%、「未利用」が9.8%となっている。「検討中」では「通所系・短期系のみ」が41.2%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」が23.5%、「未利用」が11.8%となっている。「申請済み」では「訪問系のみ」、「通所系・短期系のみ」が50.0%と最も割合が高く、次いで「未利用」、「訪問系を含む組み合わせ」が0.0%となっている。

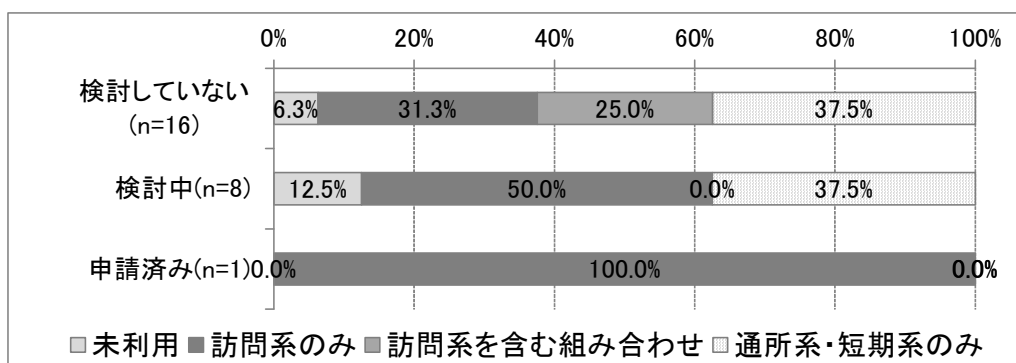
図表 1-13 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護4以上）】

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では「通所系・短期系のみ」が37.5%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」が31.3%、「訪問系を含む組み合わせ」が25.0%となっている。「検討中」では「訪問系のみ」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が37.5%、「未利用」が12.5%となっている。「申請済み」では「訪問系のみ」が100.0%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」、「訪問系を含む組み合わせ」、「通所系・短期系のみ」が0.0%となっている。

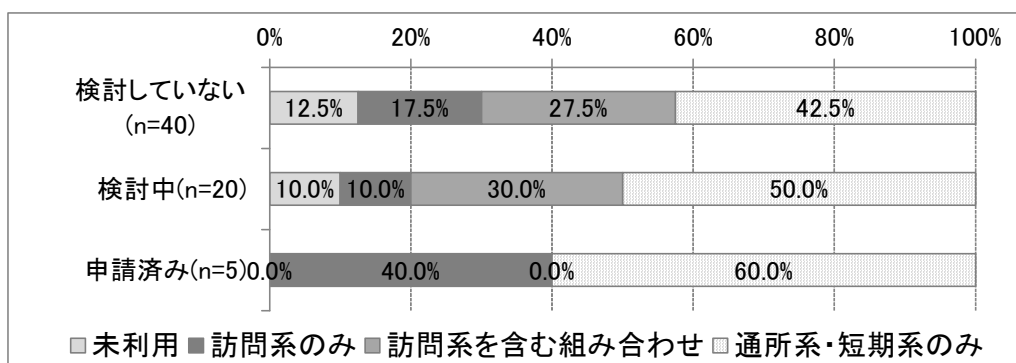
図表 1-14 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護4以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）】

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では「通所系・短期系のみ」が42.5%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が27.5%、「訪問系のみ」が17.5%となっている。「検討中」では「通所系・短期系のみ」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が30.0%、「未利用」、「訪問系のみ」が10.0%となっている。「申請済み」では「通所系・短期系のみ」が60.0%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」が40.0%、「未利用」、「訪問系を含む組み合わせ」が0.0%となっている。

図表 1-15 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）



(5) 「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係

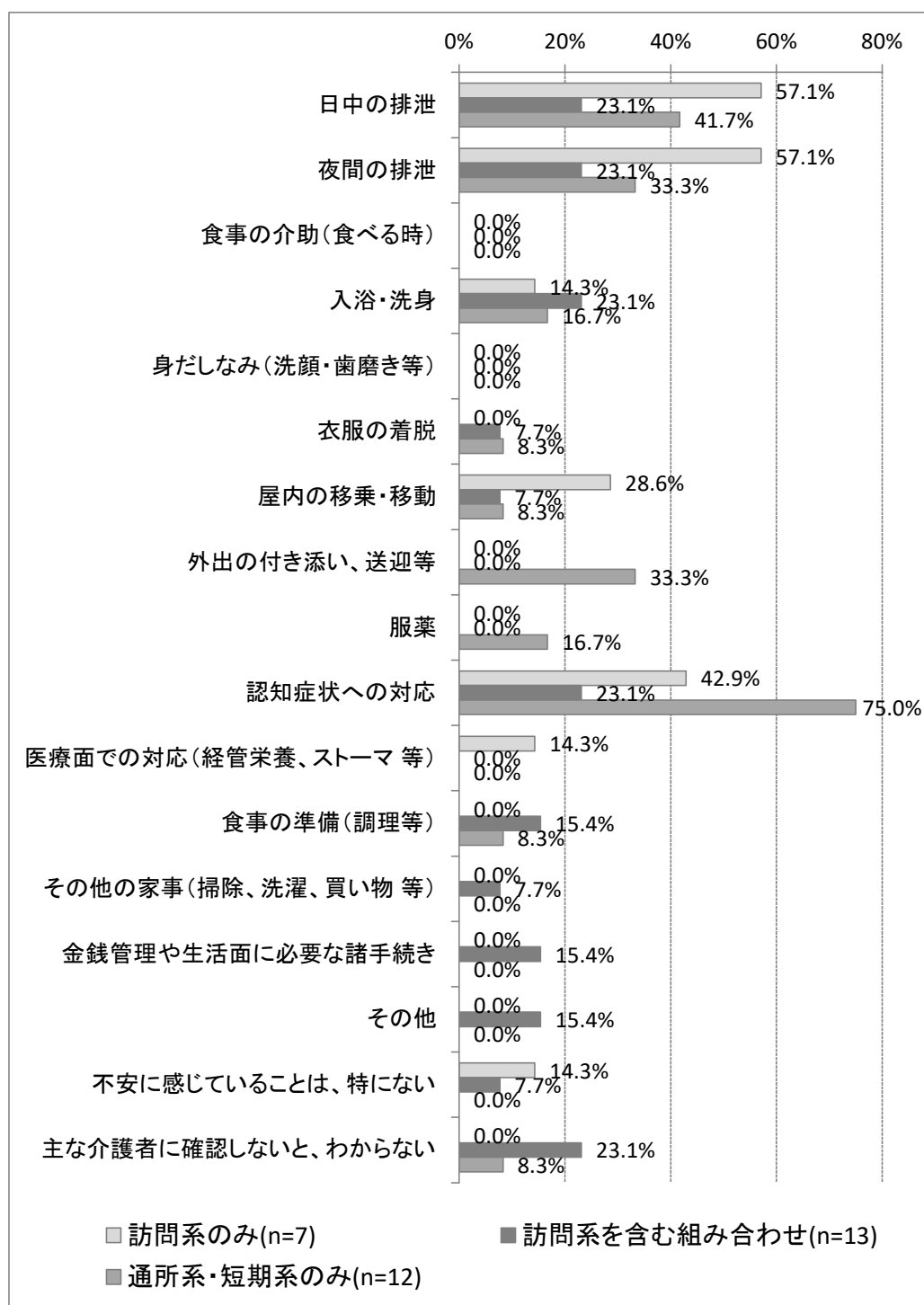
【着目すべきポイント】

- ここでは、「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係について、集計分析をしています（図表 1-16、図表 1-17）。それぞれ、要介護3以上と認知症自立度Ⅲ以上に分けて集計分析を行っています。

【サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（要介護3以上）】

介護者が不安に感じる介護をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」が 57.1%と最も割合が高く、次いで「認知症状への対応」が 42.9%、「屋内の移乗・移動」が 28.6%となっている。「訪問系を含む組み合わせ」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「入浴・洗身」、「認知症状への対応」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が 23.1%と最も割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「その他」が 15.4%、「衣服の着脱」、「屋内の移乗・移動」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」、「不安に感じていることは、特にない」が 7.7%となっている。「通所系・短期系のみ」では「認知症状への対応」が 75.0%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」が 41.7%、「夜間の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」が 33.3%となっている。

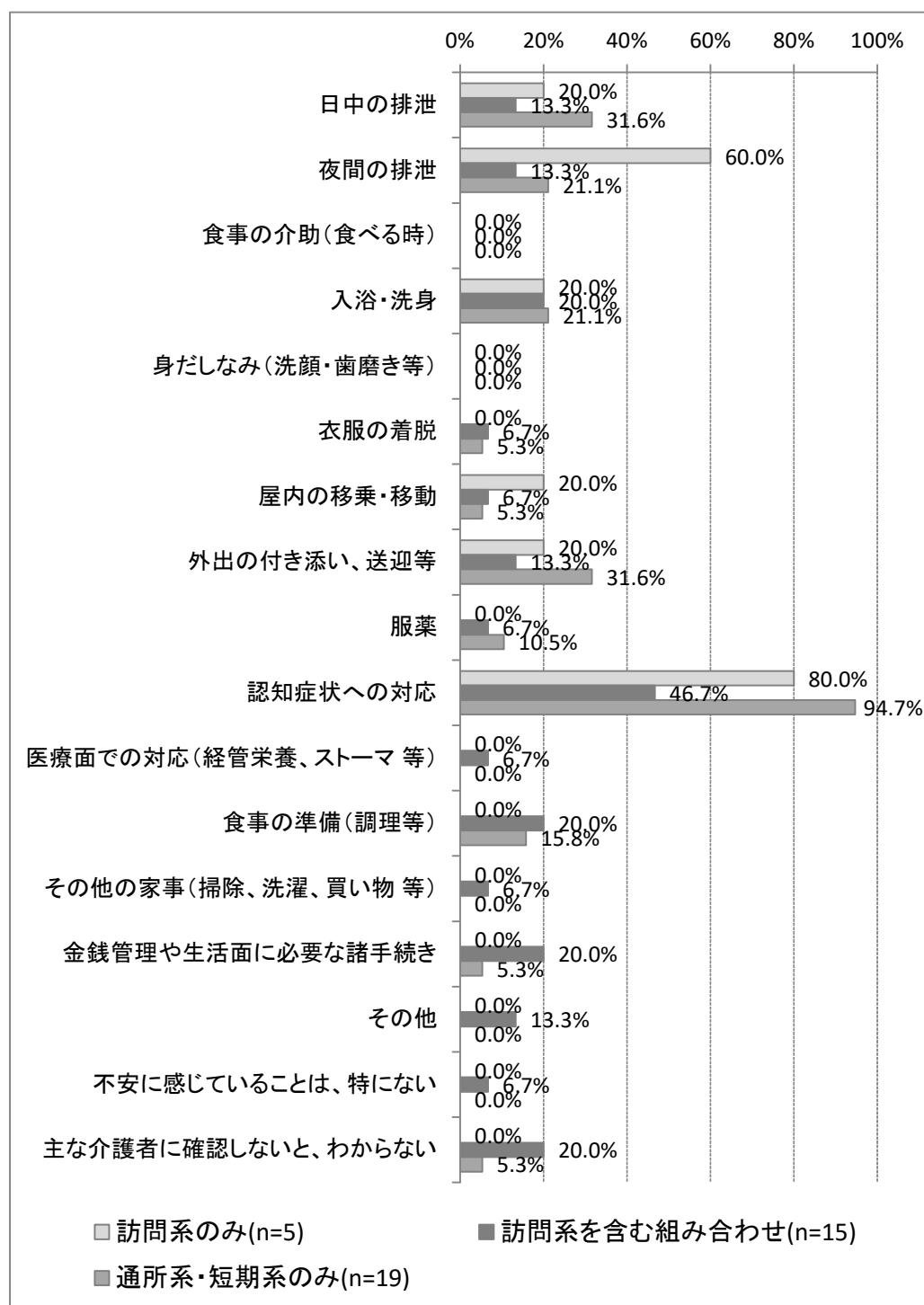
図表 1-16 サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（要介護3以上）



【サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（認知症Ⅲ以上）】

介護者が不安を感じる介護をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「認知症状への対応」が80.0%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が60.0%、「日中の排泄」、「入浴・洗身」、「屋内の移乗・移動」、「外出の付き添い、送迎等」が20.0%となっている。「訪問系を含む組み合わせ」では「認知症状への対応」が46.7%と最も割合が高く、次いで「入浴・洗身」、「食事の準備（調理等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が20.0%、「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」、「その他」が13.3%となっている。「通所系・短期系のみ」では「認知症状への対応」が94.7%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」、「入浴・洗身」が21.1%となっている。

図表 1-17 サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（認知症Ⅲ以上）



(6) 「サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」の関係

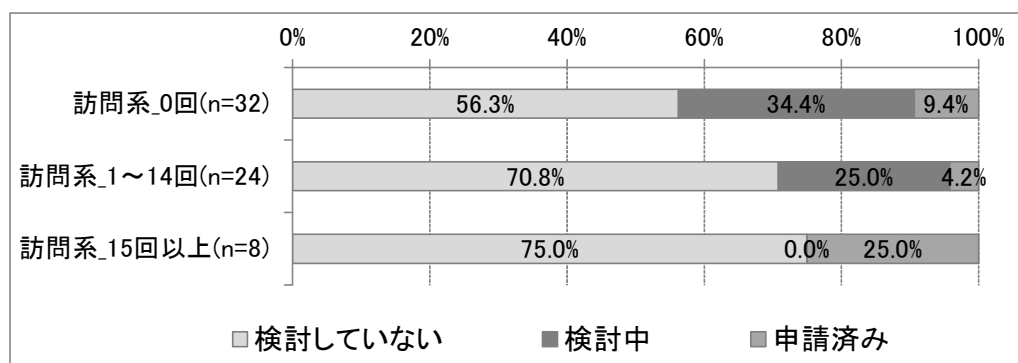
【着目すべきポイント】

- (4)では、「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係を分析しましたが、ここでは「サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」について、集計分析を行っています。それぞれ、要介護3以上と認知症自立度Ⅲ以上に分けて集計分析を行っています。
- 図表 1-18 と図表 1-19 が訪問系、図表 1-20 と図表 1-21 通所系、図表 1-22 と図表 1-23 が短期系について集計分析した結果です。

【サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、要介護3以上）】

施設等の検討状況を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0回」では「検討していない」が56.3%と最も割合が高く、次いで「検討中」が34.4%、「申請済み」が9.4%となっている。「訪問系_1～14回」では「検討していない」が70.8%と最も割合が高く、次いで「検討中」が25.0%、「申請済み」が4.2%となっている。「訪問系_15回以上」では「検討していない」が75.0%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が25.0%、「検討中」が0.0%となっている。

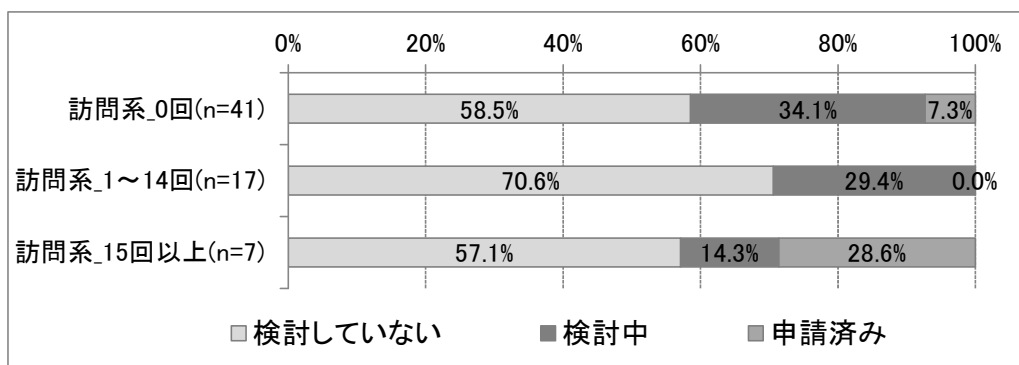
図表 1-18 サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、要介護3以上）



【サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、認知症Ⅲ以上）】

施設等の検討状況を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0回」では「検討していない」が58.5%と最も割合が高く、次いで「検討中」が34.1%、「申請済み」が7.3%となっている。「訪問系_1～14回」では「検討していない」が70.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が29.4%、「申請済み」が0.0%となっている。「訪問系_15回以上」では「検討していない」が57.1%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が28.6%、「検討中」が14.3%となっている。

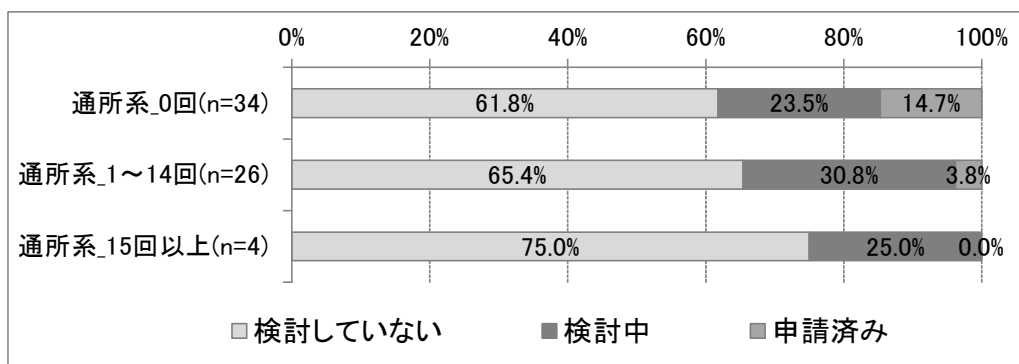
図表 1-19 サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、認知症Ⅲ以上）



【サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、要介護3以上）】

施設等の検討状況を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0回」では「検討していない」が61.8%と最も割合が高く、次いで「検討中」が23.5%、「申請済み」が14.7%となっている。「通所系_1～14回」では「検討していない」が65.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が30.8%、「申請済み」が3.8%となっている。「通所系_15回以上」では「検討していない」が75.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が25.0%、「申請済み」が0.0%となっている。

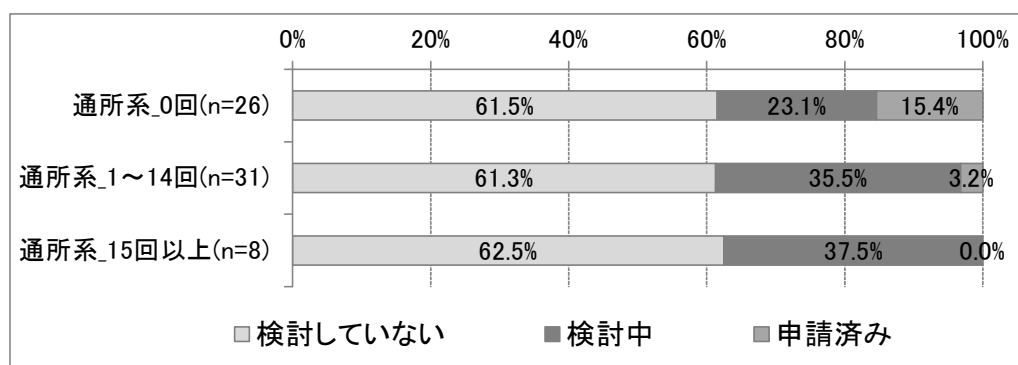
図表 1-20 サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、要介護3以上）



【サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、認知症Ⅲ以上）】

施設等の検討状況を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0回」では「検討していない」が61.5%と最も割合が高く、次いで「検討中」が23.1%、「申請済み」が15.4%となっている。「通所系_1～14回」では「検討していない」が61.3%と最も割合が高く、次いで「検討中」が35.5%、「申請済み」が3.2%となっている。「通所系_15回以上」では「検討していない」が62.5%と最も割合が高く、次いで「検討中」が37.5%、「申請済み」が0.0%となっている。

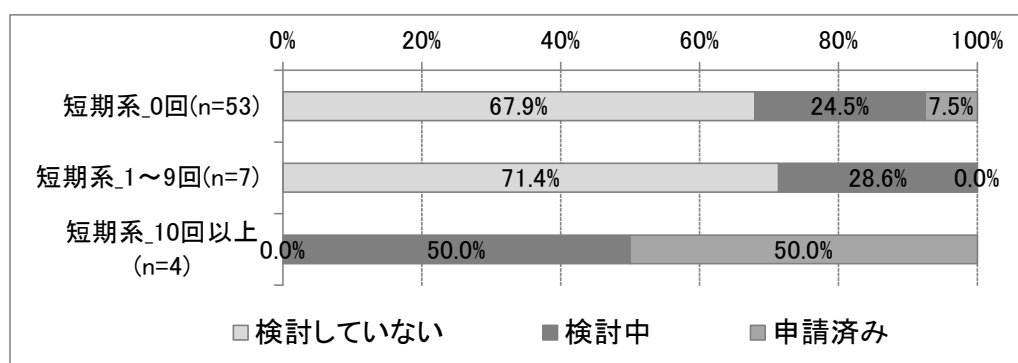
図表 1-21 サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、認知症Ⅲ以上）



【サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、要介護3以上）】

施設等の検討状況を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0回」では「検討していない」が67.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が24.5%、「申請済み」が7.5%となっている。「短期系_1～9回」では「検討していない」が71.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が28.6%、「申請済み」が0.0%となっている。「短期系_10回以上」では「検討中」、「申請済み」が50.0%と最も割合が高く、次いで「検討していない」が0.0%となっている。

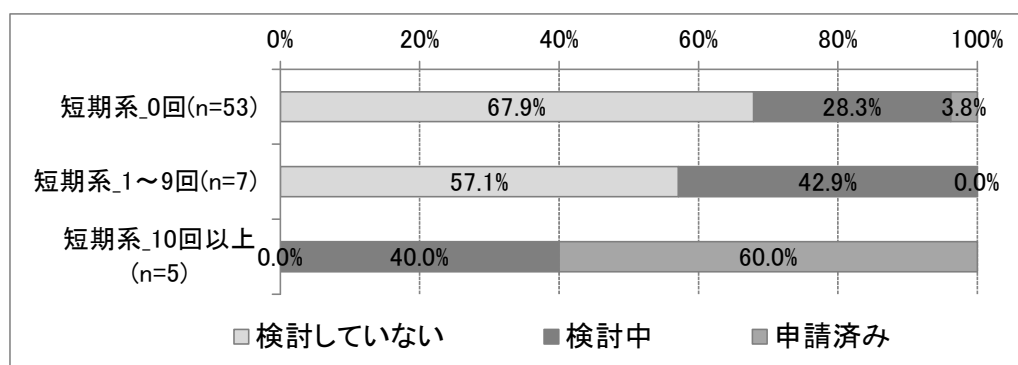
図表 1-22 サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、要介護3以上）<*>



【サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、認知症Ⅲ以上）】

施設等の検討状況を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0回」では「検討していない」が67.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が28.3%、「申請済み」が3.8%となっている。「短期系_1～9回」では「検討していない」が57.1%と最も割合が高く、次いで「検討中」が42.9%、「申請済み」が0.0%となっている。「短期系_10回以上」では「申請済み」が60.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が40.0%、「検討していない」が0.0%となっている。

図表 1-23 サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、認知症Ⅲ以上） <***>



(7) 「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係

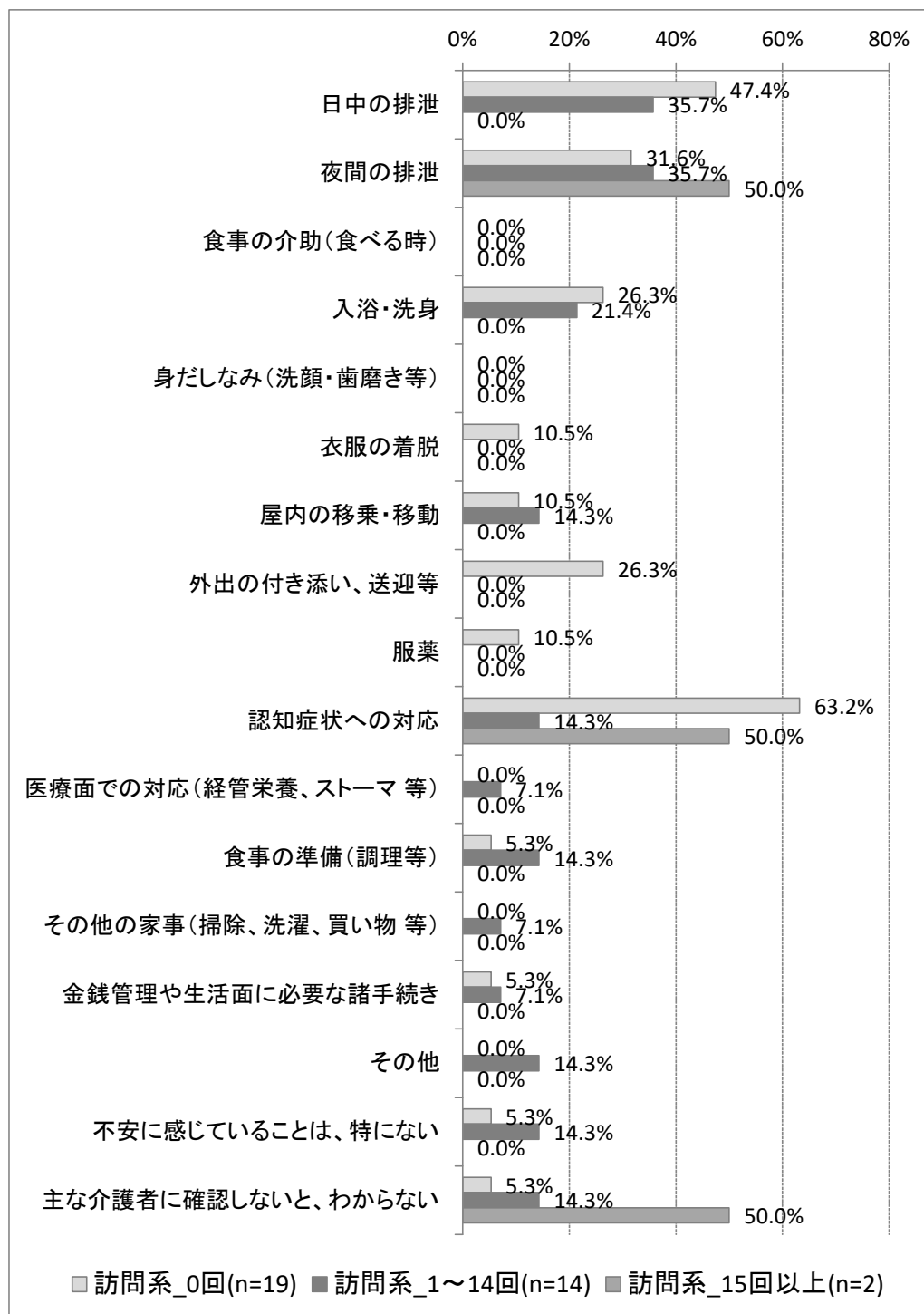
【着目すべきポイント】

- (5)では、「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係を分析しましたが、ここでは「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安に感じる介護」について、集計分析を行っています。
- 図表 1-24 と図表 1-25 が訪問系、図表 1-26 と図表 1-27 が通所系、図表 1-28 と図表 1-29 が短期系について集計分析した結果です。それぞれ、要介護3以上と認知症自立度Ⅲ以上に分けて集計分析を行っています。

【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）】

介護者が不安に感じる介護を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0回」では「認知症状への対応」が63.2%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」が47.4%、「夜間の排泄」が31.6%となっている。「訪問系_1～14回」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」が35.7%と最も割合が高く、次いで「入浴・洗身」が21.4%、「屋内の移乗・移動」、「認知症状への対応」、「食事の準備（調理等）」、「その他」、「不安に感じていることは、特にない」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が14.3%となっている。「訪問系_15回以上」では「夜間の排泄」、「認知症状への対応」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が50.0%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」、「食事の介助（食べる時）」、「入浴・洗身」、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「衣服の着脱」、「屋内の移乗・移動」、「外出の付き添い、送迎等」、「服薬」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）」、「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「その他」、「不安に感じていることは、特にない」が0.0%となっている。

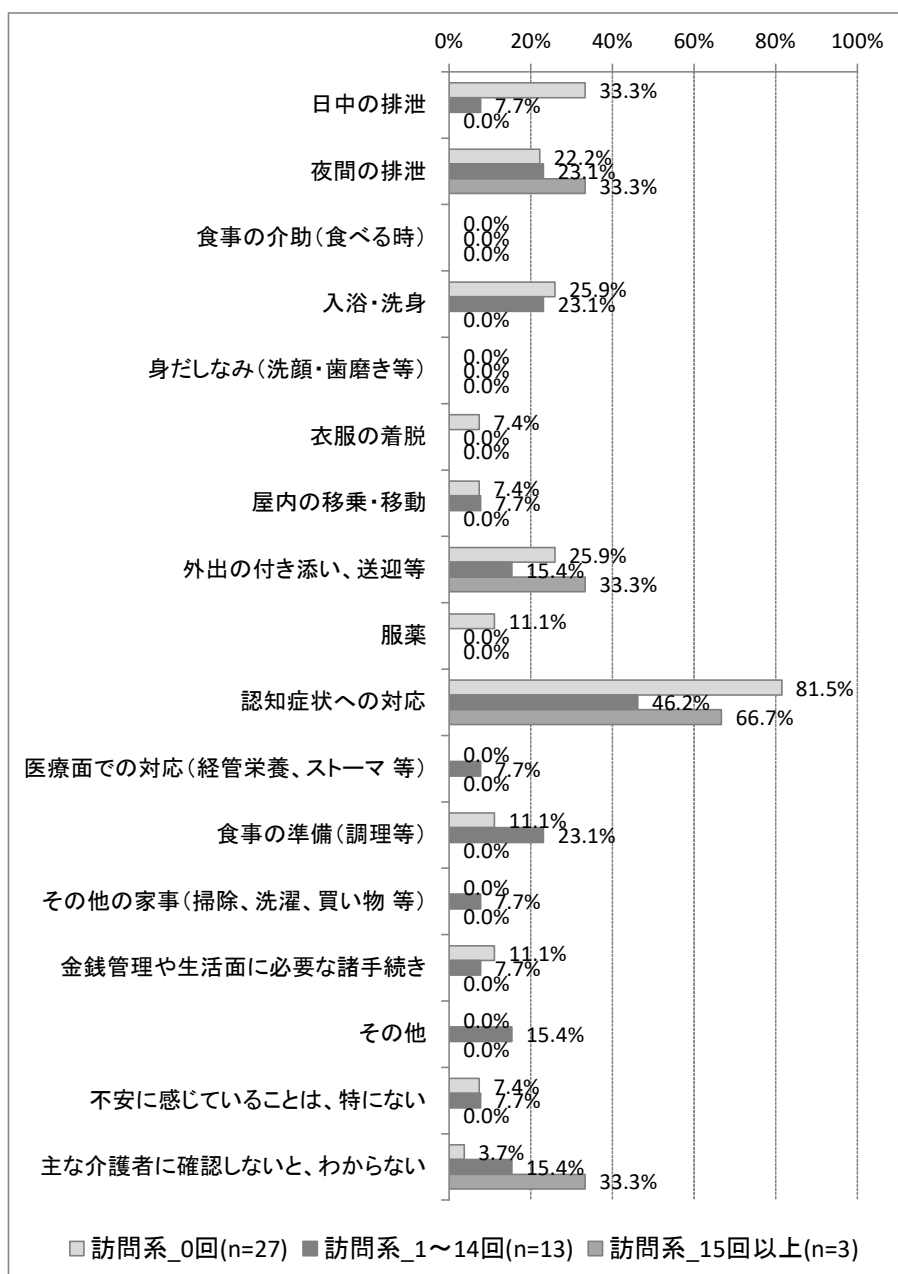
図表 1-24 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、認知症Ⅲ以上）】

介護者が不安を感じる介護を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0回」では「認知症状への対応」が81.5%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」が33.3%、「入浴・洗身」、「外出の付き添い、送迎等」が25.9%となっている。「訪問系_1～14回」では「認知症状への対応」が46.2%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「入浴・洗身」、「食事の準備（調理等）」が23.1%、「外出の付き添い、送迎等」、「その他」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が15.4%となっている。「訪問系_15回以上」では「認知症状への対応」が66.7%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が33.3%、「日中の排泄」、「食事の介助（食べる時）」、「入浴・洗身」、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「衣服の着脱」、「屋内の移乗・移動」、「服薬」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）」、「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「その他」、「不安に感じていることは、特にない」が0.0%となっている。

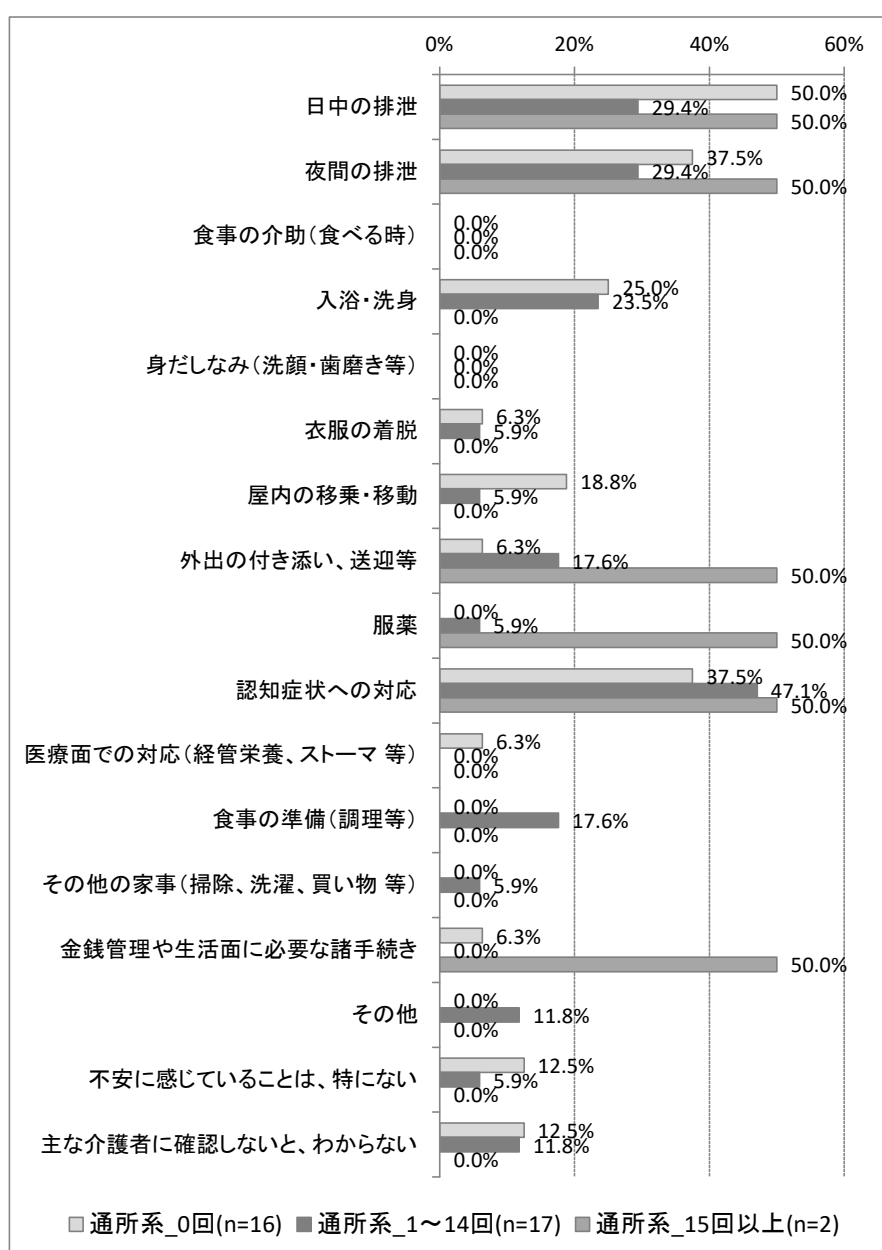
図表 1-25 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、認知症Ⅲ以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、要介護3以上）】

介護者が不安を感じる介護を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0回」では「日中の排泄」が50.0%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が37.5%、「入浴・洗身」が25.0%となっている。「通所系_1～14回」では「認知症状への対応」が47.1%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」が29.4%、「入浴・洗身」が23.5%となっている。「通所系_15回以上」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」、「服薬」、「認知症状への対応」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が50.0%と最も割合が高く、次いで「食事の介助（食べる時）」、「入浴・洗身」、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「衣服の着脱」、「屋内の移乗・移動」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）」、「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」、「その他」、「不安に感じていることは、特にない」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が0.0%となっている。

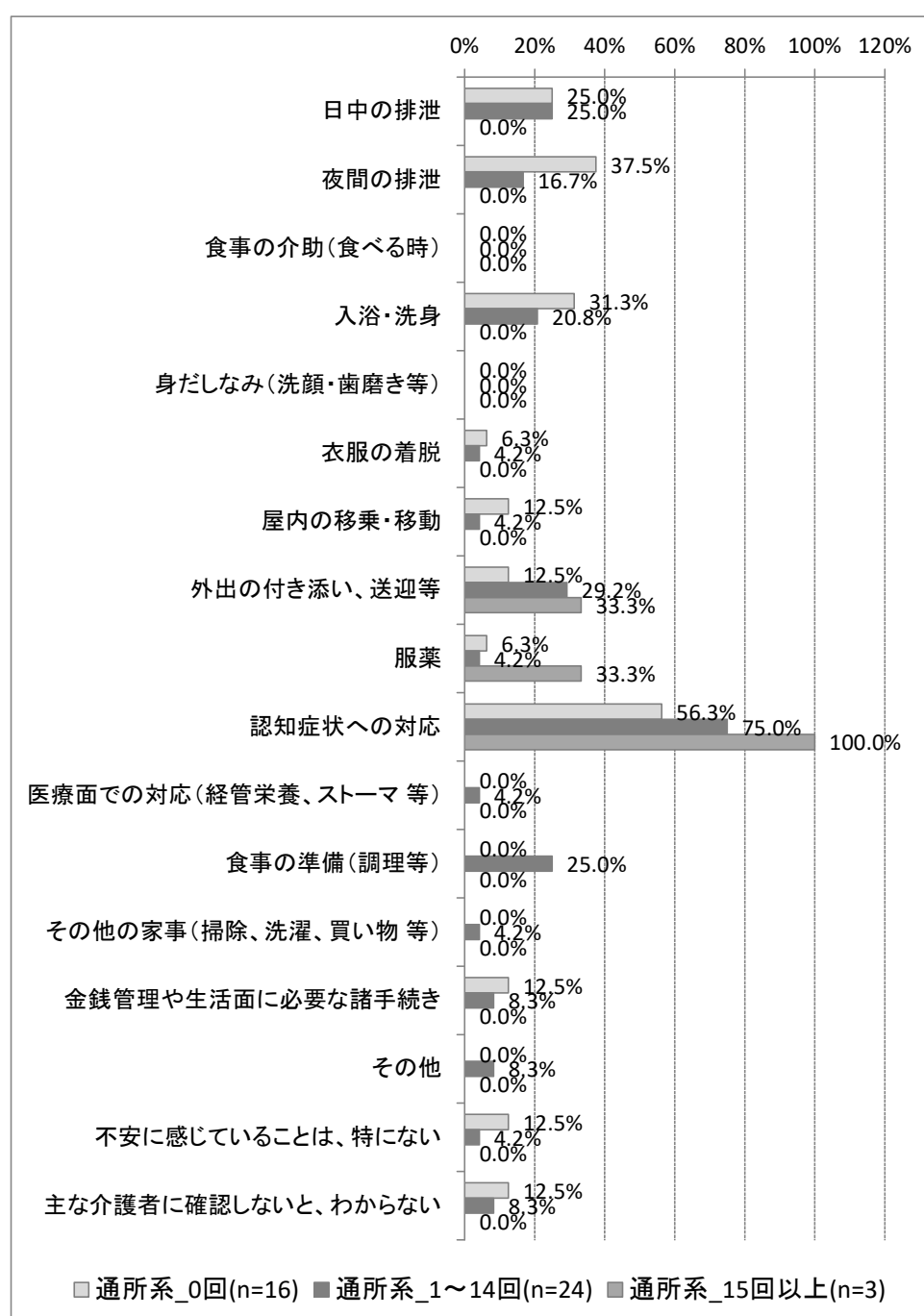
図表 1-26 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、要介護3以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、認知症Ⅲ以上）】

介護者が不安を感じる介護を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0回」では「認知症状への対応」が56.3%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が37.5%、「入浴・洗身」が31.3%となっている。「通所系_1～14回」では「認知症状への対応」が75.0%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が29.2%、「日中の排泄」、「食事の準備（調理等）」が25.0%となっている。「通所系_15回以上」では「認知症状への対応」が100.0%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」、「服薬」が33.3%、「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「食事の介助（食べる時）」、「入浴・洗身」、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「衣服の着脱」、「屋内の移乗・移動」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」、「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「その他」、「不安に感じていることは、特にない」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が0.0%となっている。

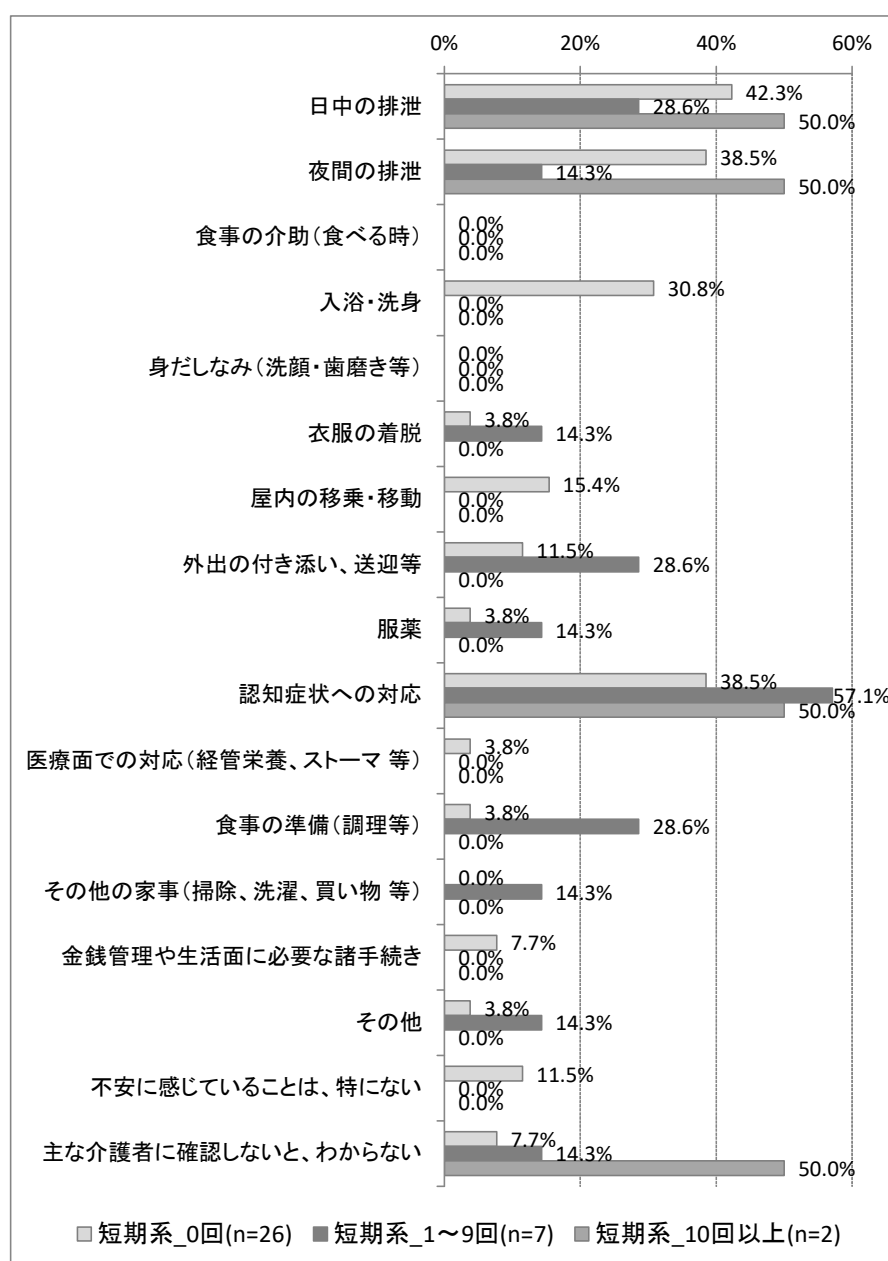
図表 1-27 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、認知症Ⅲ以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、要介護3以上）】

介護者が不安を感じる介護を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0回」では「日中の排泄」が42.3%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が38.5%、「入浴・洗身」が30.8%となっている。「短期系_1～9回」では「認知症状への対応」が57.1%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」、「食事の準備（調理等）」が28.6%、「夜間の排泄」、「衣服の着脱」、「服薬」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」、「その他」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が14.3%となっている。「短期系_10回以上」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「認知症状への対応」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が50.0%と最も割合が高く、次いで「食事の介助（食べる時）」、「入浴・洗身」、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「衣服の着脱」、「屋内の移乗・移動」、「外出の付き添い、送迎等」、「服薬」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）」、「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「その他」、「不安に感じていることは、特にない」が0.0%となっている。

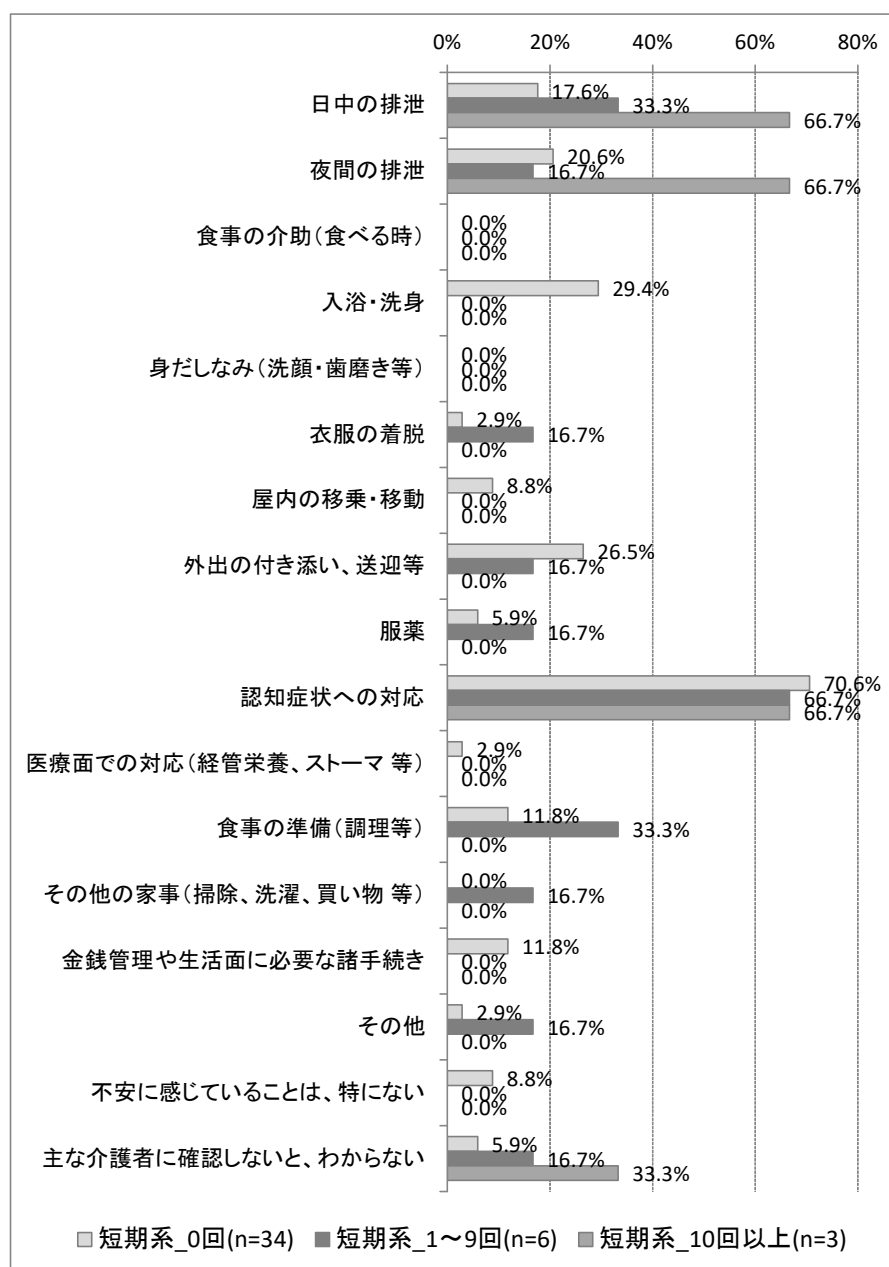
図表 1-28 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、要介護3以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、認知症Ⅲ以上）】

介護者が不安を感じる介護を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0回」では「認知症状への対応」が70.6%と最も割合が高く、次いで「入浴・洗身」が29.4%、「外出の付き添い、送迎等」が26.5%となっている。「短期系_1～9回」では「認知症状への対応」が66.7%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」、「食事の準備（調理等）」が33.3%、「夜間の排泄」、「衣服の着脱」、「外出の付き添い、送迎等」、「服薬」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」、「その他」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が16.7%となっている。「短期系_10回以上」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が66.7%と最も割合が高く、次いで「主な介護者に確認しないと、わからない」が33.3%、「食事の介助（食べる時）」、「入浴・洗身」、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「衣服の着脱」、「屋内の移乗・移動」、「外出の付き添い、送迎等」、「服薬」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）」、「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「その他」、「不安に感じていることは、特にない」が0.0%となっている。

図表 1-29 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、認知症Ⅲ以上）



1.3 考察

○要介護度等の重度化と世帯類型による施設検討への影響

- 全体としては施設等を「検討していない」割合が高いものの、要介護度や認知症自立度が重度化するにつれて、「検討中」や「申請済み」の割合が増加し、在宅生活の限界に近づく傾向が見られます。
- 世帯類型別では、「夫婦のみ世帯」に比べ「単身世帯」において施設等を検討・申請する割合が高く、家族等との同居の有無が施設入所の契機になりやすいことが推測されます。

○重度化に伴う介護不安の質の変化

- 要介護度・認知症自立度が軽度なうちは「外出の付き添い」や「家事」への不安が主ですが、重度化に伴い「認知症状への対応」や日中・夜間の「排泄」への不安が顕著に増大、これらが在宅限界点に大きな影響を与える要因と考えられます。

○サービス利用と在宅限界のサイン

- 在宅生活を継続できている（施設を検討していない）層は、「通所系・短期系のみ」や「訪問系」をうまく組み合わせて利用している傾向があります。
- 一方で、ショートステイなどの「短期系」サービスの利用回数が多い層では、施設への「申請済み」割合が急増しており、短期系の多用が在宅介護の限界や施設入所直前のサインとなっている可能性が示唆されます。
- 訪問系サービスのみを利用している層では、認知症対応や排泄に関する強い不安が残っているケースが多く、夜間や日中の対応に課題があると考えられます。

仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

2.1 集計・分析の狙い

- ここでは、介護者の就労継続見込みの向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、「主な介護者の就労状況」と「主な介護者の就労継続見込み」の2つの視点からの集計を行っています。
- 具体的には、「就労している介護者（フルタイム勤務、パートタイム勤務）」と「就労していない介護者」の違いに着目し、就労している介護者の属性や介護状況の特徴別に、必要な支援を集計・分析しています。
- さらに、「どのようなサービス利用」や「働き方の調整・職場の支援」を受けている場合に、「就労を継続することができる」という見込みを持つことができるのかを分析するために、主な介護者の「就労継続見込み」と、「主な介護者が行っている介護」や「介護保険サービスの利用の有無」、「介護のための働き方の調整」などとのクロス集計を行っています。
- 上記の視点からの分析では、要介護度や認知症高齢者の日常生活自立度といった要介護者の状態別の分析も加え、要介護者の自立度が重くなっても、在宅生活や就労を継続できる支援のあり方を検討しています。

2.2 集計結果と着目すべきポイント

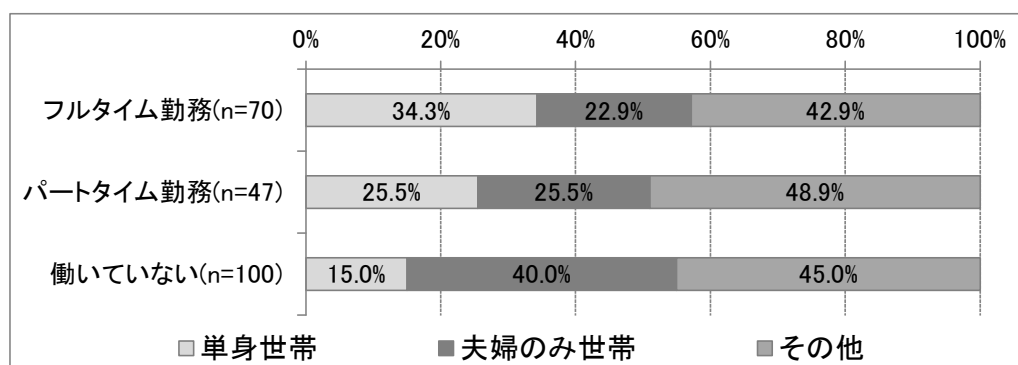
(1) 基本集計

- 主な介護者の就労状況（フルタイム勤務・パートタイム勤務・働いていない）別に、世帯や介護者の特徴などの基礎的な集計を行っています。
- 主な介護者の属性や、要介護者の要介護度・認知症自立度について、就労状況別にその状況を確認してください。

【就労状況別・世帯類型】

世帯類型を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「その他」が42.9%と最も割合が高く、次いで「単身世帯」が34.3%、「夫婦のみ世帯」が22.9%となっている。「パートタイム勤務」では「その他」が48.9%と最も割合が高く、次いで「単身世帯」、「夫婦のみ世帯」が25.5%となっている。「働いていない」では「その他」が45.0%と最も割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が40.0%、「単身世帯」が15.0%となっている。

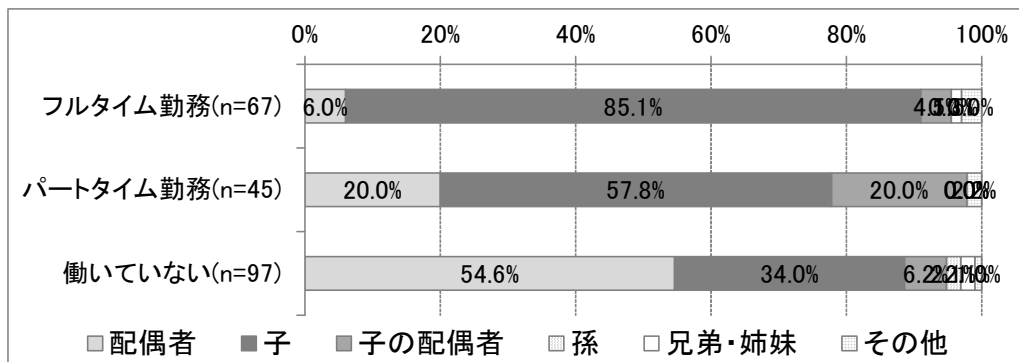
図表 2-1 就労状況別・世帯類型<*>



【就労状況別・★主な介護者の本人との関係】

主な介護者を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「子」が85.1%ともっとも割合が高く、次いで「配偶者」が6.0%、「子の配偶者」が4.5%となっている。「パートタイム勤務」では「子」が57.8%ともっとも割合が高く、次いで「配偶者」、「子の配偶者」が20.0%、「その他」が2.2%となっている。「働いていない」では「配偶者」が54.6%ともっとも割合が高く、次いで「子」が34.0%、「子の配偶者」が6.2%となっている。

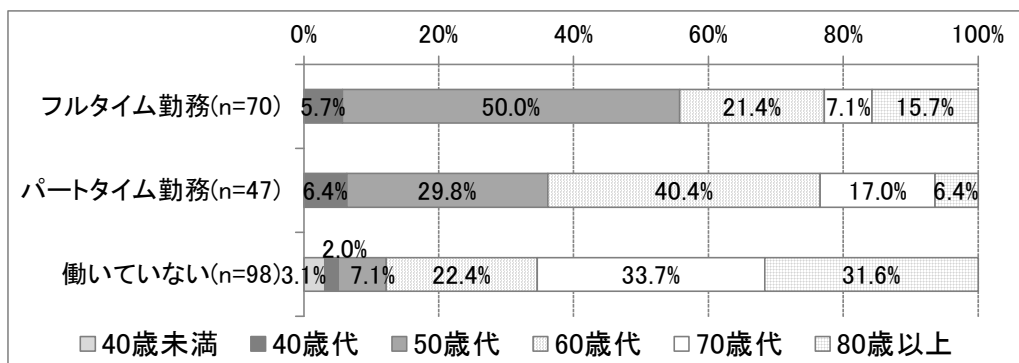
図表 2-2 就労状況別・★主な介護者の本人との関係<***>



【就労状況別・主な介護者の年齢】

介護者の年齢を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「50 歳代」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「60 歳代」が21.4%、「80 歳以上」が15.7%となっている。「パートタイム勤務」では「60 歳代」が40.4%ともっとも割合が高く、次いで「50 歳代」が29.8%、「70 歳代」が17.0%となっている。「働いていない」では「70 歳代」が33.7%ともっとも割合が高く、次いで「80 歳以上」が31.6%、「60 歳代」が22.4%となっている。

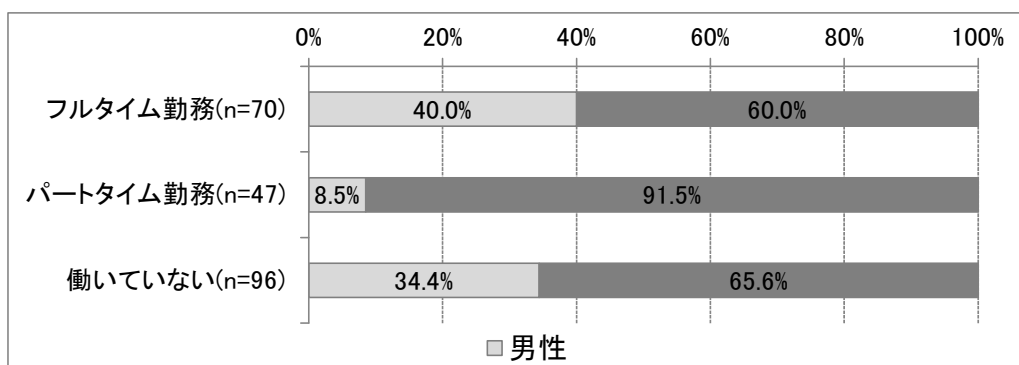
図表 2-3 就労状況別・主な介護者の年齢<***>



【就労状況別・主な介護者の性別】

介護者の性別を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「女性」が60.0%と最も割合が高く、次いで「男性」が40.0%となっている。「パートタイム勤務」では「女性」が91.5%と最も割合が高く、次いで「男性」が8.5%となっている。「働いていない」では「女性」が65.6%と最も割合が高く、次いで「男性」が34.4%となっている。

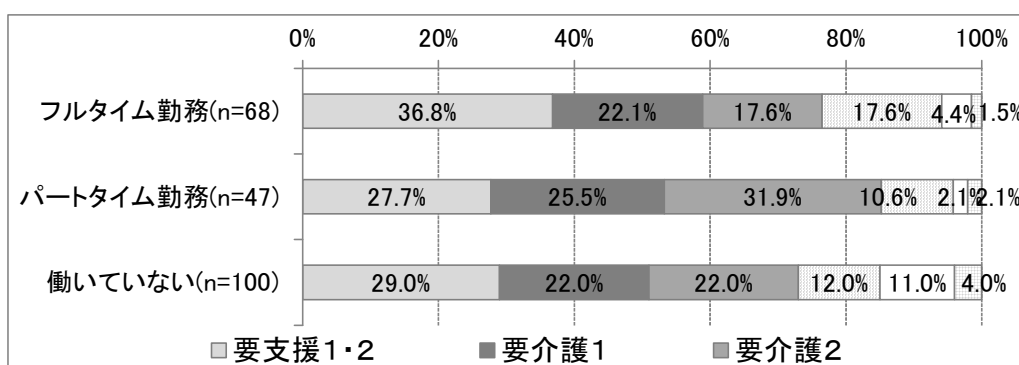
図表 2-4 就労状況別・主な介護者の性別<***>



【就労状況別・要介護度】

二次判定結果を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「要支援1・2」が36.8%と最も割合が高く、次いで「要介護1」が22.1%、「要介護2」が17.6%となっている。「パートタイム勤務」では「要介護2」が31.9%と最も割合が高く、次いで「要支援1・2」が27.7%、「要介護1」が25.5%となっている。「働いていない」では「要支援1・2」が29.0%と最も割合が高く、次いで「要介護1」が22.0%、「要介護2」が22.0%となっている。

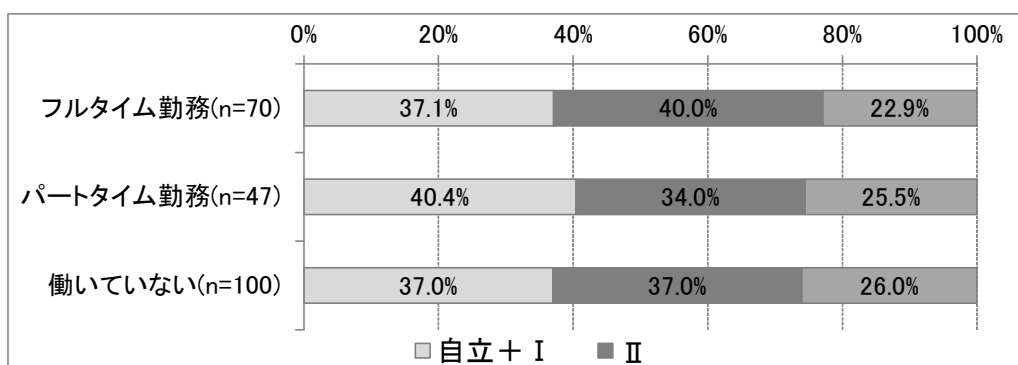
図表 2-5 就労状況別・要介護度



【就労状況別・認知症自立度】

認知症高齢者自立度を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「Ⅱ」が40.0%ともっとも割合が高く、次いで「自立+Ⅰ」が37.1%、「Ⅲ以上」が22.9%となっている。「パートタイム勤務」では「自立+Ⅰ」が40.4%ともっとも割合が高く、次いで「Ⅱ」が34.0%、「Ⅲ以上」が25.5%となっている。「働いていない」では「自立+Ⅰ」、「Ⅱ」が37.0%ともっとも割合が高く、次いで「Ⅲ以上」が26.0%となっている。

図表 2-6 就労状況別・認知症自立度



(2) 就労状況別の、主な介護者が行っている介護と就労継続見込み

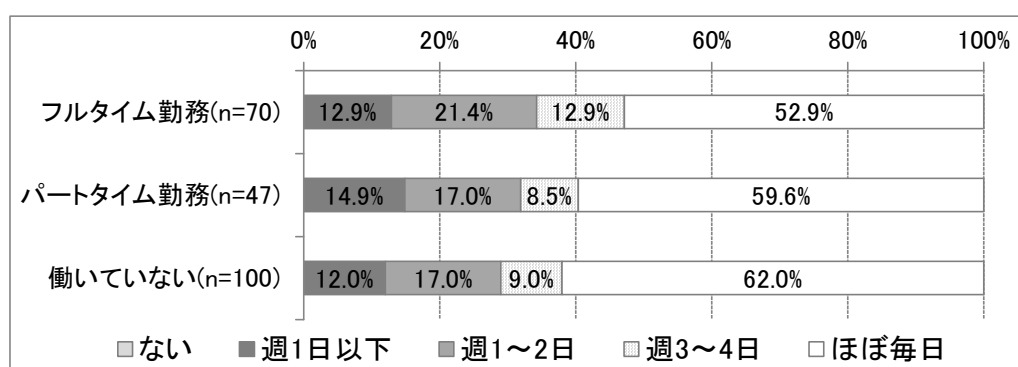
【着目すべきポイント】

- ここでは、「主な介護者が行っている介護」と「今後の就労継続見込み」について、主な介護者の就労状況別に集計分析をしています（図表 2-8、図表 2-9）。
- 「主な介護者が行っている介護」について、例えば、「働いていない」人と比較して、「フルタイム勤務」や「パートタイム勤務」で少ない介護は、働いている介護者が、他の介護者や介護サービスの支援を必要としているものと考えられます。
- 「今後の就労継続見込み」については、「就労状況」との関係に加え、「要介護度」や「認知症自立度」別についても、集計分析を行っています。これにより、要介護者の重度化に伴って就労継続見込みを困難と考える人が増加するかどうかを把握することができます。
- なお、就労継続見込みの分析においては、「問題なく、続けていける」の割合と、「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」をあわせた「続けていける」と考えている人の割合の2つの指標に着目しています（図表 2-10、図表 2-11）。

【就労状況別・家族等による介護の頻度】

ご家族等の介護の頻度を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「ほぼ毎日」が 52.9% ともっとも割合が高く、次いで「週 1～2 日」が 21.4%、「週 1 日以下」、「週 3～4 日」が 12.9% となっている。「パートタイム勤務」では「ほぼ毎日」が 59.6% ともっとも割合が高く、次いで「週 1～2 日」が 17.0%、「週 1 日以下」が 14.9% となっている。「働いていない」では「ほぼ毎日」が 62.0% ともっとも割合が高く、次いで「週 1～2 日」が 17.0%、「週 1 日以下」が 12.0% となっている。

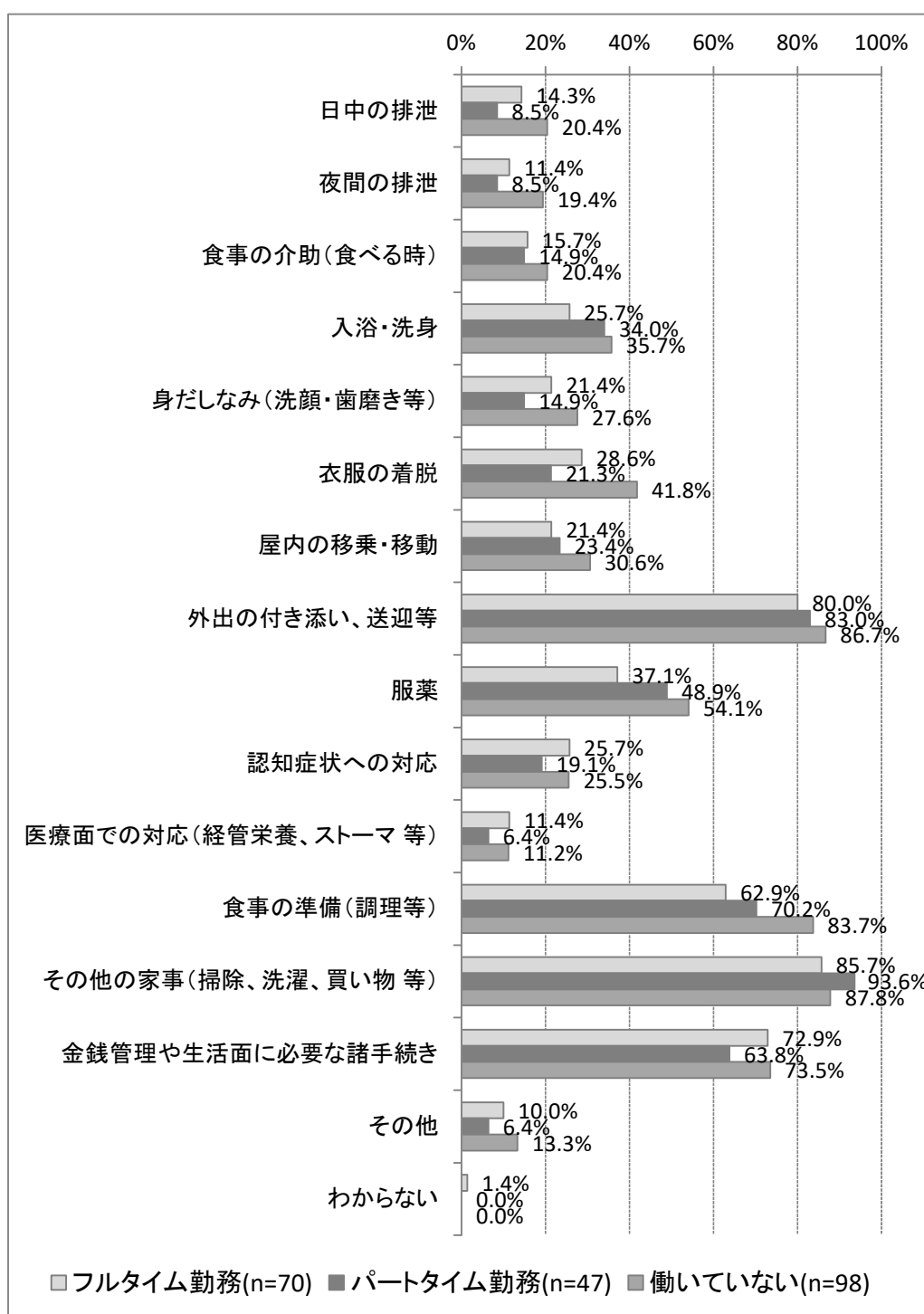
図表 2-7 就労状況別・家族等による介護の頻度<***>



【就労状況別・★主な介護者が行っている介護】

介護者が行っている介護を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 85.7%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 80.0%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 72.9%となっている。「パートタイム勤務」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 93.6%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 83.0%、「食事の準備（調理等）」が 70.2%となっている。「働いていない」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 87.8%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 86.7%、「食事の準備（調理等）」が 83.7%となっている。

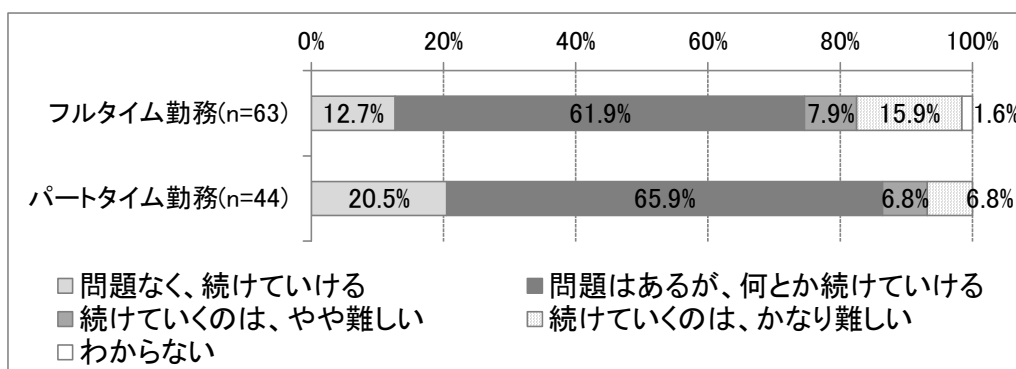
図表 2-8 就労状況別・★主な介護者が行っている介護



【就労状況別・就労継続見込み】

介護者の就労継続の可否に係る意識を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「問題はあるが、何とか続けていける」が61.9%ともっとも割合が高く、次いで「続けていくのは、かなり難しい」が15.9%、「問題なく、続けていける」が12.7%となっている。「パートタイム勤務」では「問題なく、続けていける」が65.9%ともっとも割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が20.5%、「続けていくのは、やや難しい」、「続けていくのは、かなり難しい」が6.8%となっている。

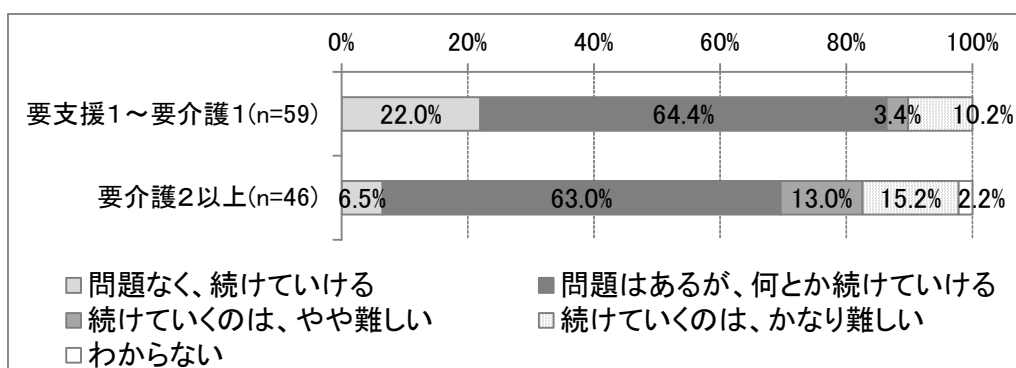
図表 2-9 就労状況別・就労継続見込み



【要介護度別・就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）】

介護者の就労継続の可否に係る意識を二次判定結果別にみると、「要支援1～要介護1」では「問題はあるが、何とか続けていける」が64.4%ともっとも割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が22.0%、「続けていくのは、かなり難しい」が10.2%となっている。「要介護2以上」では「問題はあるが、何とか続けていける」が63.0%ともっとも割合が高く、次いで「続けていくのは、かなり難しい」が15.2%、「続けていくのは、やや難しい」が13.0%となっている。

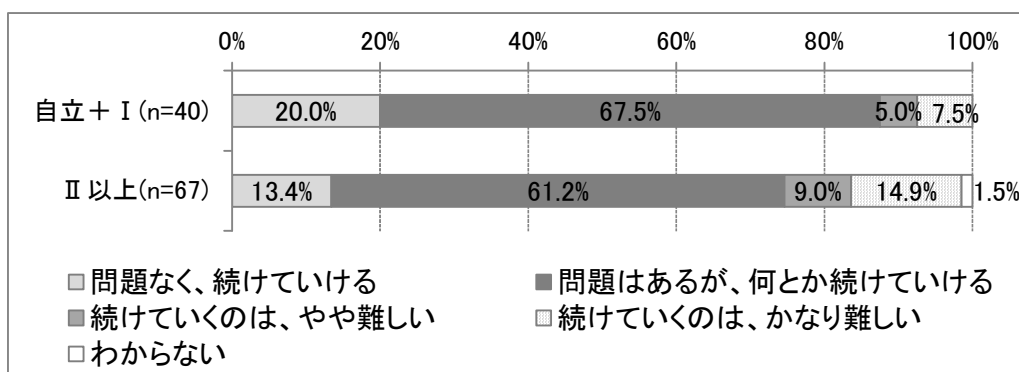
図表 2-10 要介護度別・就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）<+>



【認知症自立度別・就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）】

介護者の就労継続の可否に係る意識を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「問題はあるが、何とか続けていける」が67.5%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が20.0%、「続けていくのは、かなり難しい」が7.5%となっている。「Ⅱ以上」では「問題はあるが、何とか続けていける」が61.2%と最も割合が高く、次いで「続けていくのは、かなり難しい」が14.9%、「問題なく、続けていける」が13.4%となっている。

図表 2-11 認知症自立度別・就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



(3) 「介護保険サービスの利用状況」・「主な介護者が不安に感じる介護」と「就労継続見込み」の関係

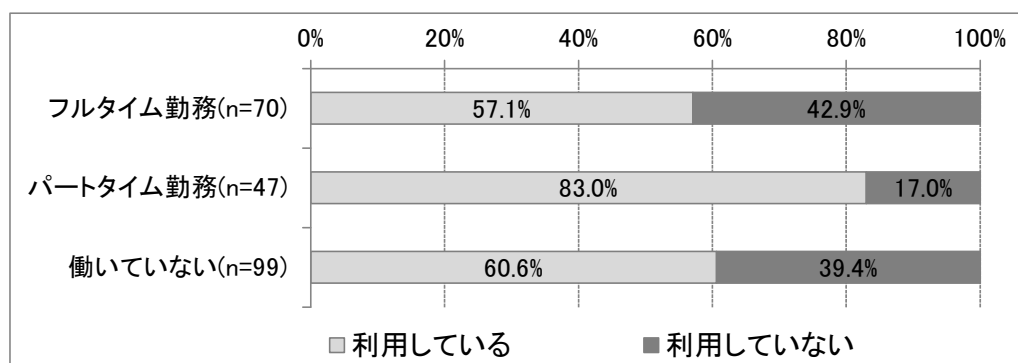
【着目すべきポイント】

- ここでは、「介護保険サービスの利用状況」と「主な介護者が不安に感じる介護」について、主な介護者の就労状況別及び就労継続見込み別に集計分析をしています（図表 2-12～図表 2-15）。
- 「介護保険サービスの利用状況」と「就労継続見込み」の関係についての集計分析から、サービス利用による就労継続見込みへの影響を把握することができます。さらに、サービスを利用していない人の「サービス未利用の理由」について、就労継続が困難と考える人が、そうでない人と比較して特徴がみられる理由に着目することで、必要なサービス利用がなされているかどうかを推測することができます。
- 例えば、就労継続が困難と考える人において、サービスを「利用していない」割合が高く、かつサービスを利用していない理由として、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が低い割合にとどまっている場合には、サービス利用の必要性が低くないにも関わらず、サービスの利用がなされていないこととなります（図表 2-13、図表 2-14）。
- 「主な介護者が不安に感じる介護」については、就労継続見込みの困難化に伴い、どのような介護等で不安が増加しているかに着目することで、在宅生活を継続しながらの就労継続について、介護者がある可否を判断するポイントとなる可能性がある介護等を把握することができます。

【就労状況別・★介護保険サービス利用の有無】

介護保険サービスの利用の有無を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「利用している」が 57.1%と最も割合が高く、次いで「利用していない」が 42.9%となっている。「パートタイム勤務」では「利用している」が 83.0%と最も割合が高く、次いで「利用していない」が 17.0%となっている。「働いていない」では「利用している」が 60.6%と最も割合が高く、次いで「利用していない」が 39.4%となっている。

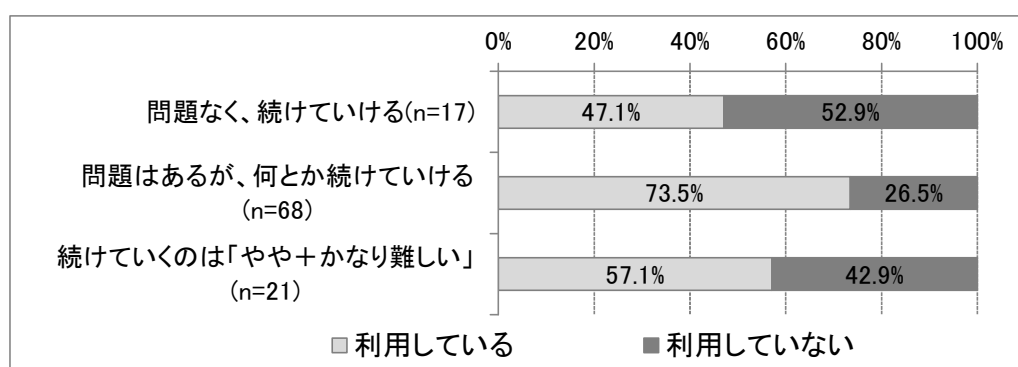
図表 2-12 就労状況別・★介護保険サービス利用の有無<**>



【就労継続見込み別・★介護保険サービス利用の有無（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

介護保険サービスの利用の有無を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「利用していない」が52.9%と最も割合が高く、次いで「利用している」が47.1%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「利用している」が73.5%と最も割合が高く、次いで「利用していない」が26.5%となっている。「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「利用している」が57.1%と最も割合が高く、次いで「利用していない」が42.9%となっている。

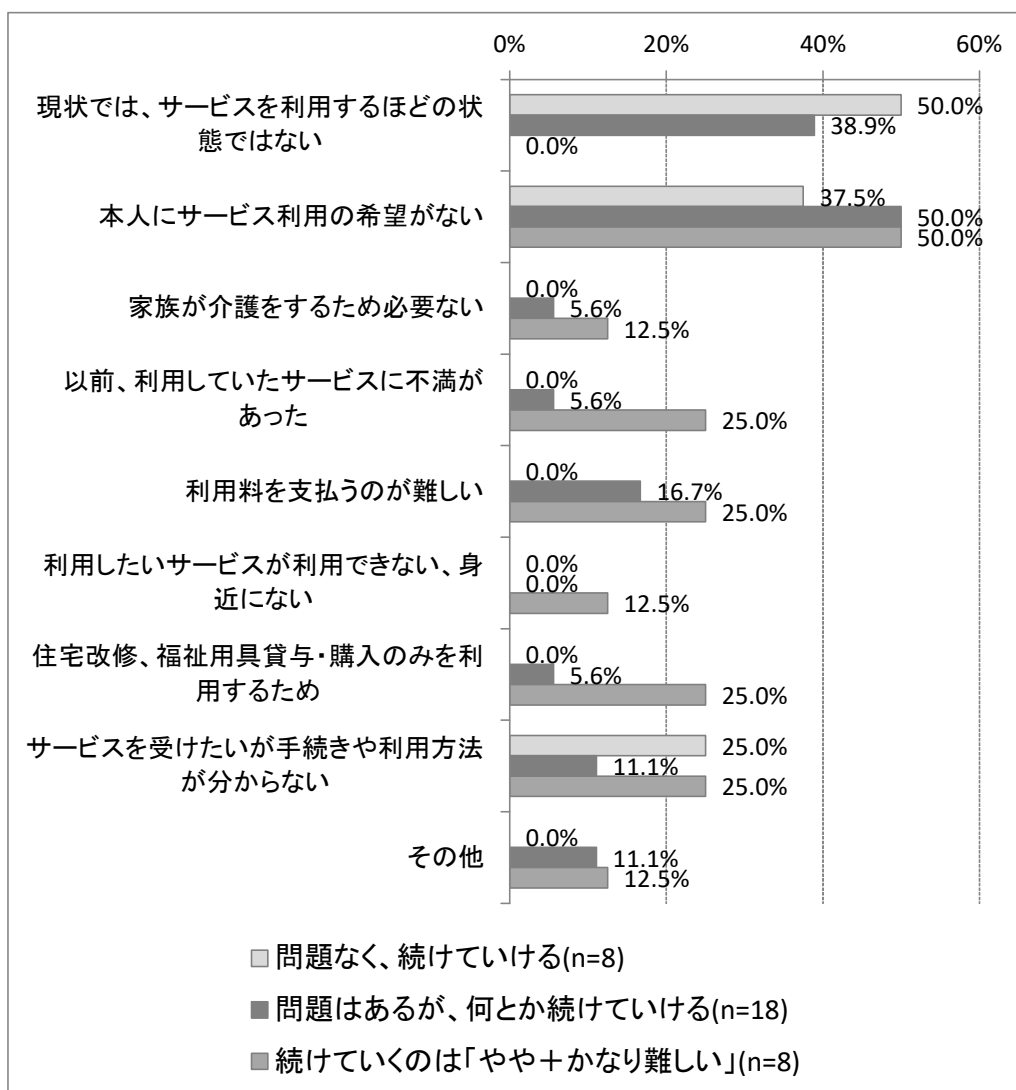
図表 2-13 就労継続見込み別・★介護保険サービス利用の有無（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）<+>



【就労継続見込み別・★サービス未利用の理由（フルタイム勤務＋パート勤務）】

未利用の理由を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が50.0%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が37.5%、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が25.0%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「本人にサービス利用の希望がない」が50.0%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が38.9%、「利用料を支払うのが難しい」が16.7%となっている。「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「本人にサービス利用の希望がない」が50.0%と最も割合が高く、次いで「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用料を支払うのが難しい」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が25.0%、「家族が介護をするため必要ない」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「その他」が12.5%となっている。

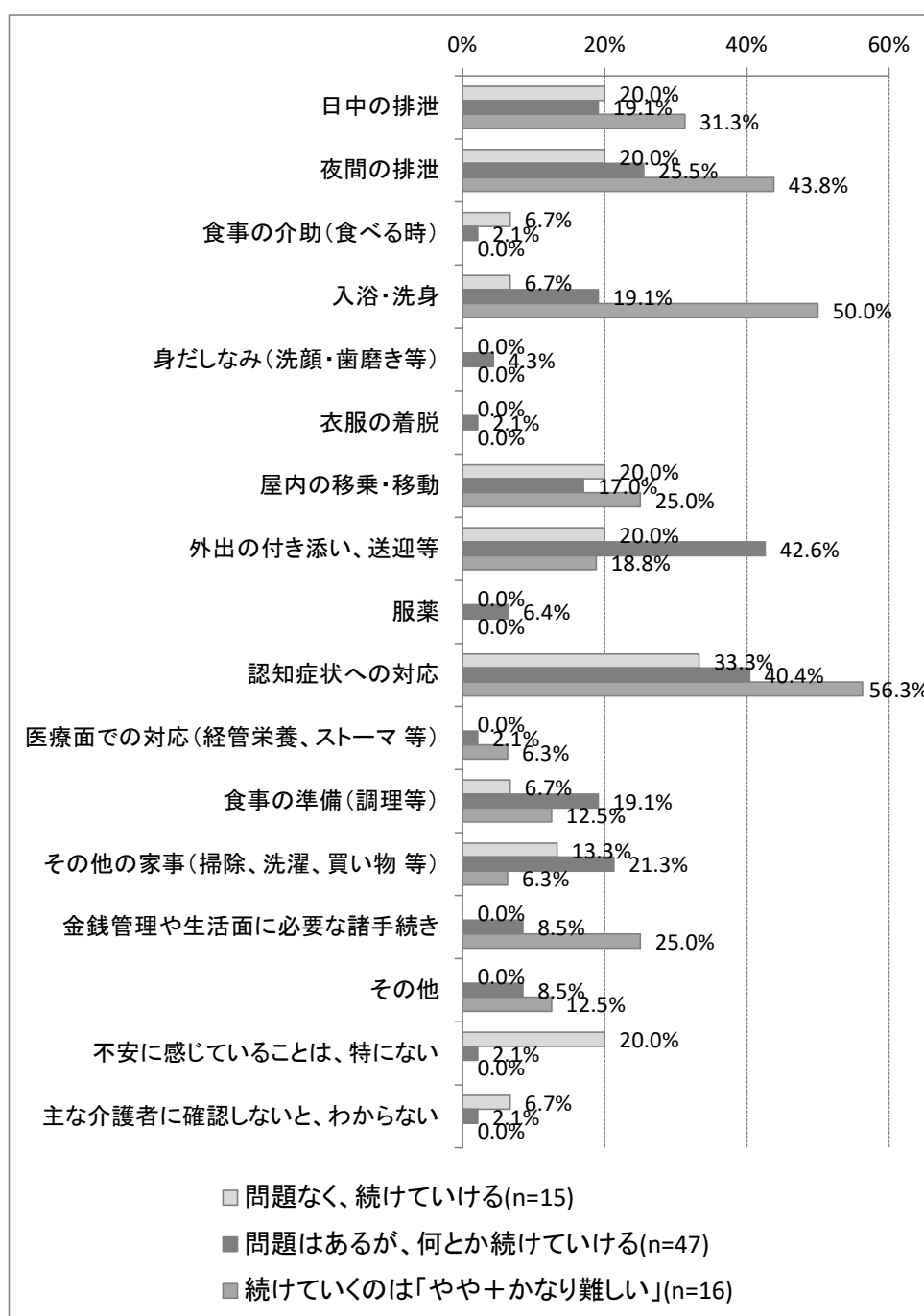
図表 2-14 就労継続見込み別・★サービス未利用の理由（フルタイム勤務＋パート勤務）



【就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務+パートタイム勤務）】

介護者が不安に感じる介護を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「認知症状への対応」が33.3%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「屋内の移乗・移動」、「外出の付き添い、送迎等」、「不安に感じていることは、特にない」が20.0%、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が13.3%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「外出の付き添い、送迎等」が42.6%と最も割合が高く、次いで「認知症状への対応」が40.4%、「夜間の排泄」が25.5%となっている。「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「認知症状への対応」が56.3%と最も割合が高く、次いで「入浴・洗身」が50.0%、「夜間の排泄」が43.8%となっている。

図表 2-15 就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



(4) 「サービス利用の組み合わせ」と「就労継続見込み」の関係

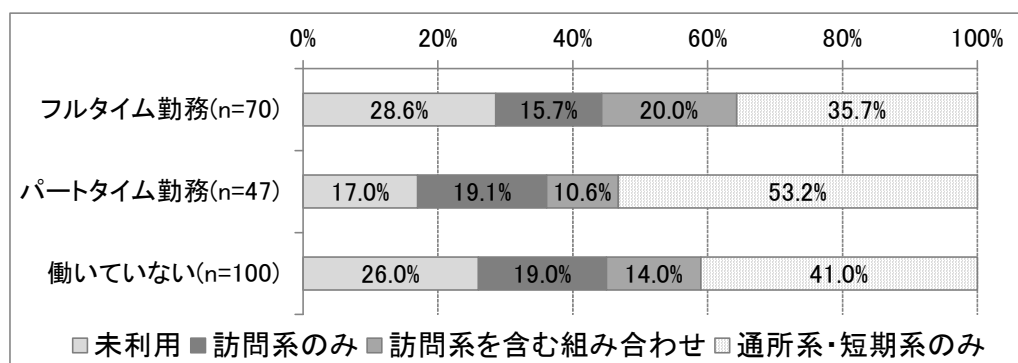
【着目すべきポイント】

- ここでは、「サービス利用の組み合わせ」について、組み合わせのパターンを簡略化し、主な介護者の就労状況別及び就労継続見込み別に集計分析をしています。さらに、訪問系サービスについては、要介護2以上、認知症自立度Ⅱ以上に分けて集計分析を行っています（図表 2-16～図表 2-18）。
- ここから、主な介護者の就労状況によって、「サービス利用の組み合わせ」に差がみられるかどうかを把握することができます。
- また、「訪問系サービスの利用の有無」と「就労継続見込み」の関係を集計分析することで、訪問系サービスの利用が、就労継続見込みの「問題なく、続けていける」「問題はあるが、何とか続けていける」の割合に影響を与えているかどうかを推測することが可能です。

【就労状況別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」が 35.7%と最も割合が高く、次いで「未利用」が 28.6%、「訪問系を含む組み合わせ」が 20.0%となっている。「パートタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」が 53.2%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が 19.1%、「未利用」が 17.0%となっている。「働いていない」では「通所系・短期系のみ」が 41.0%と最も割合が高く、次いで「未利用」が 26.0%、「訪問系のみ」が 19.0%となっている。

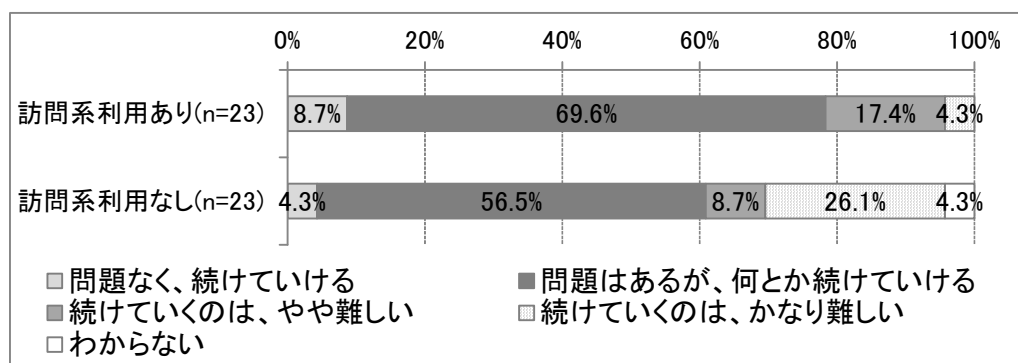
図表 2-16 就労状況別・サービス利用の組み合わせ



【サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み（要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務）】

介護者の就労継続の可否に係る意識を訪問系の利用の有無別にみると、「訪問系利用あり」では「問題はあるが、何とか続けていける」が69.6%と最も割合が高く、次いで「続けていくのは、やや難しい」が17.4%、「問題なく、続けていける」が8.7%となっている。「訪問系利用なし」では「問題はあるが、何とか続けていける」が56.5%と最も割合が高く、次いで「続けていくのは、かなり難しい」が26.1%、「続けていくのは、やや難しい」が8.7%となっている。

図表 2-17 サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み（要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務）

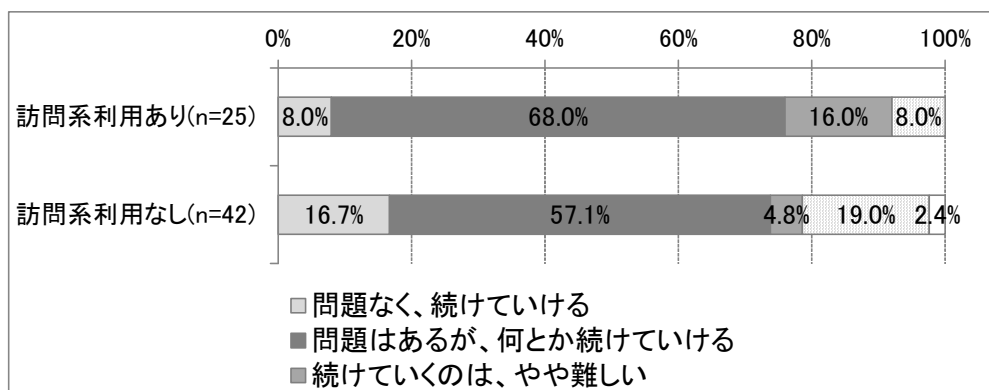


【サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み（認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

介護者の就労継続の可否に係る意識を訪問系の利用の有無別にみると、「訪問系利用あり」では「問題はあるが、何とか続けていける」が68.0%と最も割合が高く、次いで「続けていくのは、やや難しい」が16.0%、「問題なく、続けていける」、「続けていくのは、かなり難しい」が8.0%となっている。

「訪問系利用なし」では「問題はあるが、何とか続けていける」が57.1%と最も割合が高く、次いで「続けていくのは、かなり難しい」が19.0%、「問題なく、続けていける」が16.7%となっている。

図表 2-18 サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み（認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



(5) 就労状況別の、保険外の支援・サービスの利用状況と、施設等検討の状況

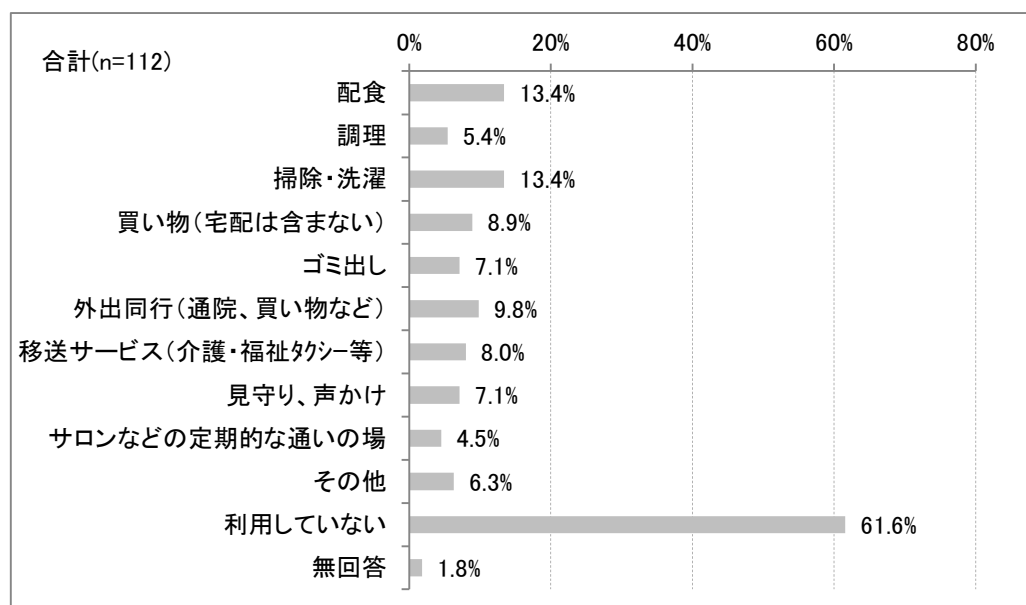
【着目すべきポイント】

- ここでは、「保険外の支援・サービスの利用状況」、「訪問診療の利用の有無」、「施設等検討の状況」について、主な介護者の就労状況別及び就労継続見込み別に集計分析をしています（図表 2-19～図表 2-22）。
- 「利用している保険外の支援・サービス」と、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」の差をみることにより、働いている介護者が必要と感じているが、実際には利用されていない生活支援サービスを把握することができます。
- また、「訪問診療の利用の有無」と就労状況との関係を集計分析することで、訪問診療の利用が就労状況により異なるかどうかを把握することができます。
- 「施設等検討の状況」については、働いていない介護者に比べて、働いている介護者では、施設入所を必要と感じているかどうか分析することを目的としています。
- さらに、要介護2以上の中重度者については、就労継続見込みについて「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」と考える人のうち、どの程度の人が施設を検討しているかに着目しています。これにより、在宅での仕事と介護の両立が困難となった場合の対応として、施設対応の必要性和、在宅サービスや働き方の調整による対応の必要性のそれぞれについて、把握することができます。

【★利用している保険外の支援・サービス（フルタイム勤務）】

「利用していない」の割合が最も高く 61.6%となっている。次いで、「配食（13.4%）」、「掃除・洗濯（13.4%）」、「外出同行（通院、買い物など）（9.8%）」となっている。

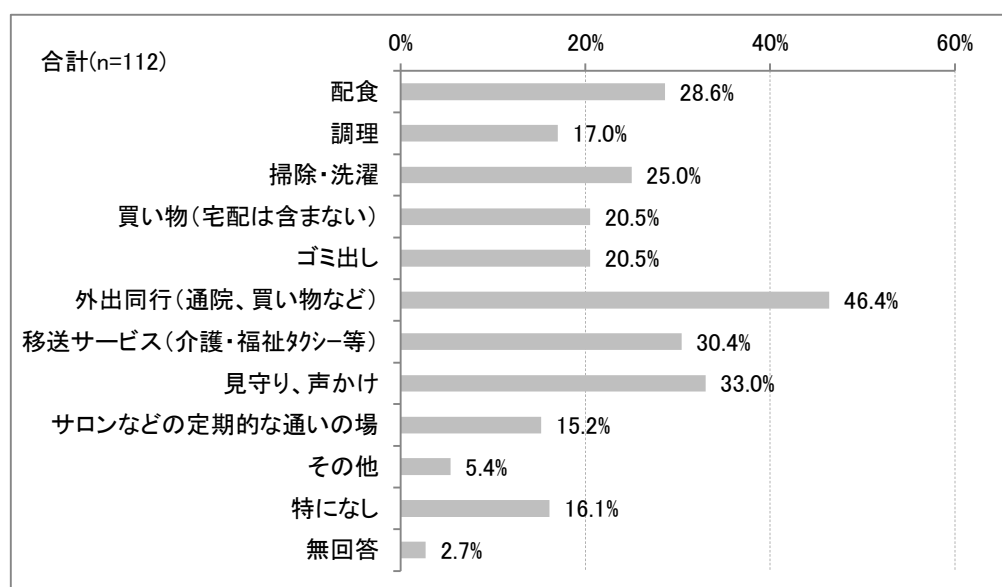
図表 2-19_1 ★利用している保険外の支援・サービス（フルタイム勤務）



【★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（フルタイム勤務）】

「外出同行（通院、買い物など）」の割合が最も高く 46.4%となっている。次いで、「見守り、声かけ（33.0%）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）（30.4%）」となっている。

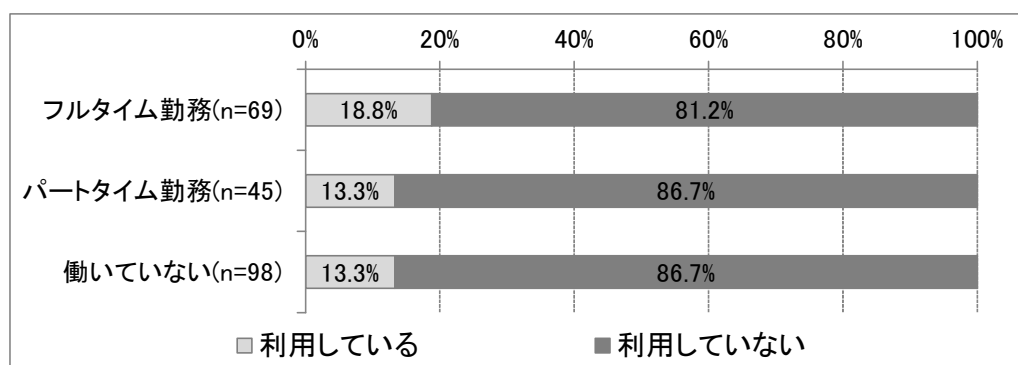
図表 2-19_2 ★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（フルタイム勤務）



【就労状況別・★訪問診療の利用の有無】

訪問診療の利用の有無を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「利用していない」が81.2%と最も割合が高く、次いで「利用している」が18.8%となっている。「パートタイム勤務」では「利用していない」が86.7%と最も割合が高く、次いで「利用している」が13.3%となっている。「働いていない」では「利用していない」が86.7%と最も割合が高く、次いで「利用している」が13.3%となっている。

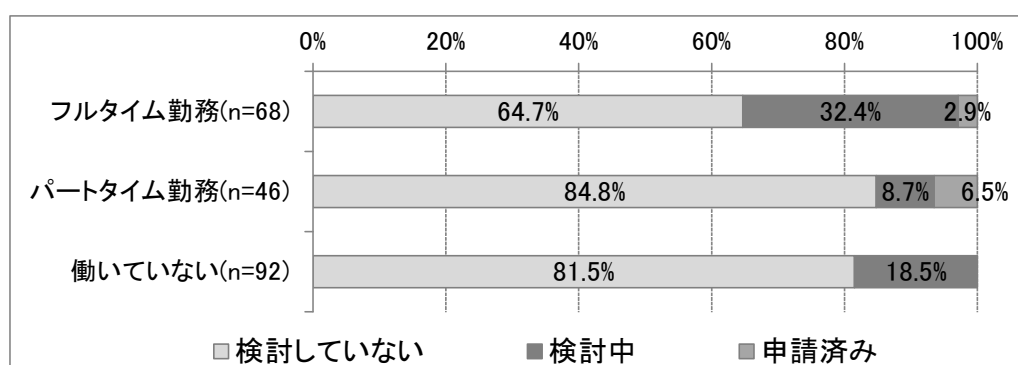
図表 2-20 就労状況別・★訪問診療の利用の有無



【就労状況別・施設等検討の状況】

施設等の検討状況を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「検討していない」が64.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が32.4%、「申請済み」が2.9%となっている。「パートタイム勤務」では「検討していない」が84.8%と最も割合が高く、次いで「検討中」が8.7%、「申請済み」が6.5%となっている。「働いていない」では「検討していない」が81.5%と最も割合が高く、次いで「検討中」が18.5%、「申請済み」が0.0%となっている。

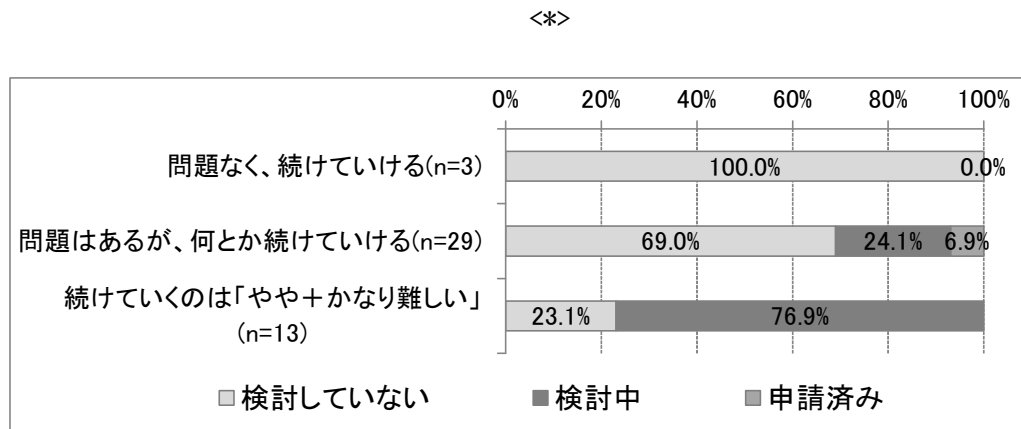
図表 2-21 就労状況別・施設等検討の状況<*>



【就労継続見込み別・施設等検討の状況（要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務）】

施設等の検討状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「検討していない」が100.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」、「申請済み」が0.0%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「検討していない」が69.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が24.1%、「申請済み」が6.9%となっている。「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「検討中」が76.9%と最も割合が高く、次いで「検討していない」が23.1%、「申請済み」が0.0%となっている。

図表 2-22 就労継続見込み別・施設等検討の状況（要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務）



(6) 就労状況別の、介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援

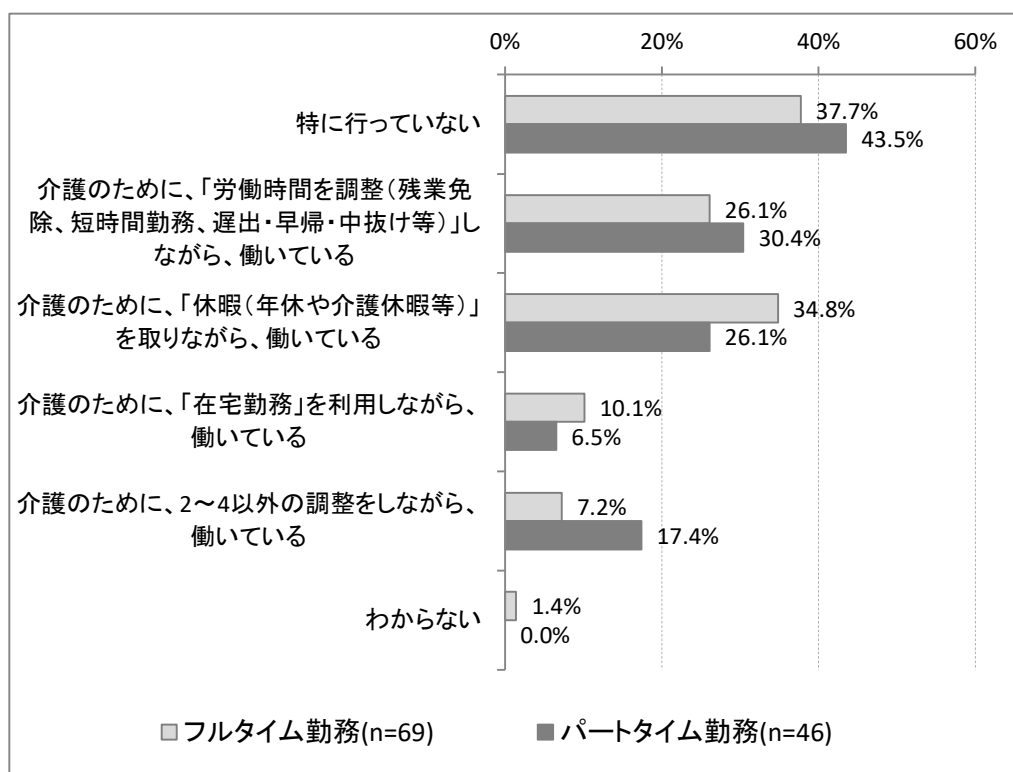
【着目すべきポイント】

- ここでは、「介護のための働き方の調整」と、「効果的な勤め先からの支援」について、主な介護者の就労状況別及び就労継続見込み別に集計分析をしています（図表 2-23～図表 2-26）。
- 就労継続見込みによって、介護のために働き方を調整している割合や、効果的と考える勤め先の支援内容がどのように変化するかに着目して集計分析をしています。
- ただし、「問題なく、続けていける」とする人において、働き方の調整を「特に行っていない」割合、もしくは効果的な勤め先の支援として「特にない」が高いケースは、職場が恒常的な長時間労働や、休暇取得が困難といった状況ではなく、介護のために特段働き方の調整や勤め先からの支援を行わなくても、両立可能な職場であることが考えられます。

【就労状況別・介護のための働き方の調整】

介護者の働き方の調整の状況を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「特に行っていない」が37.7%と最も割合が高く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が34.8%、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が26.1%となっている。「パートタイム勤務」では「特に行っていない」が43.5%と最も割合が高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が30.4%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が26.1%となっている。

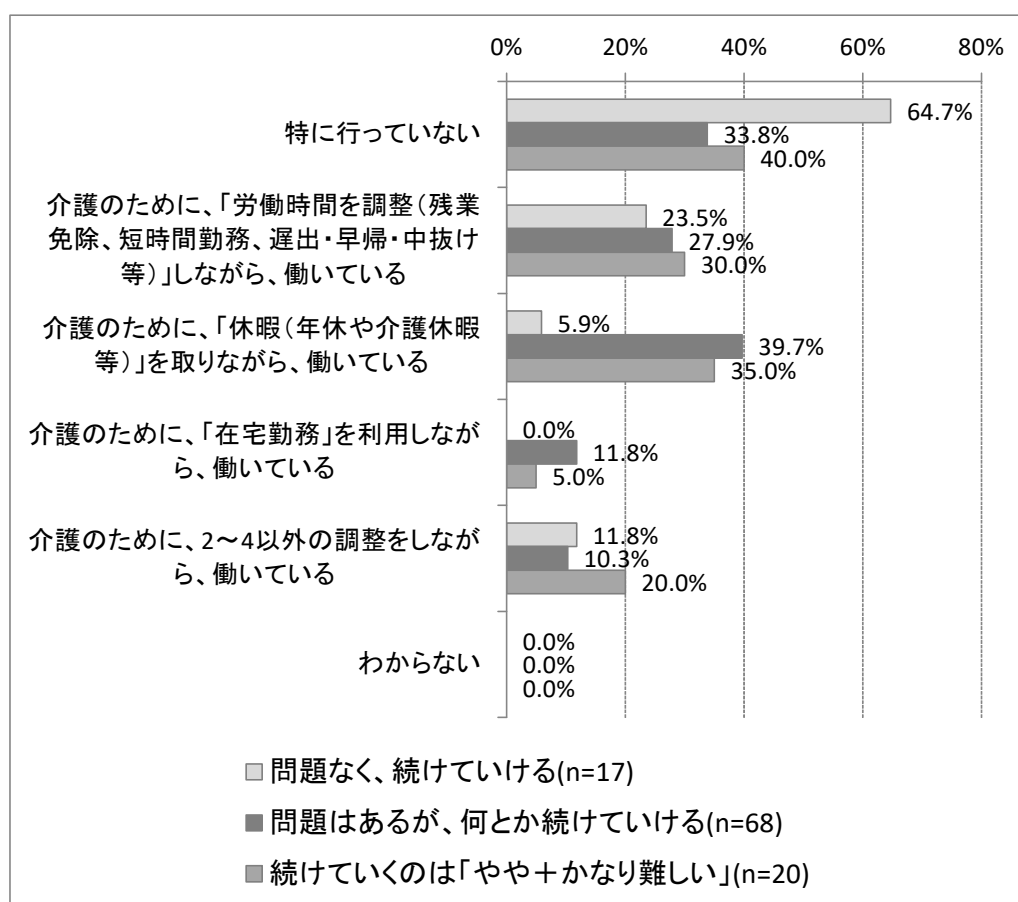
図表 2-23 就労状況別・介護のための働き方の調整



【就労継続見込み別・介護のための働き方の調整（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

介護者の働き方の調整の状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「特に行っていない」が64.7%と最も割合が高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が23.5%、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が11.8%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が39.7%と最も割合が高く、次いで「特に行っていない」が33.8%、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が27.9%となっている。「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「特に行っていない」が40.0%と最も割合が高く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が35.0%、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が30.0%となっている。

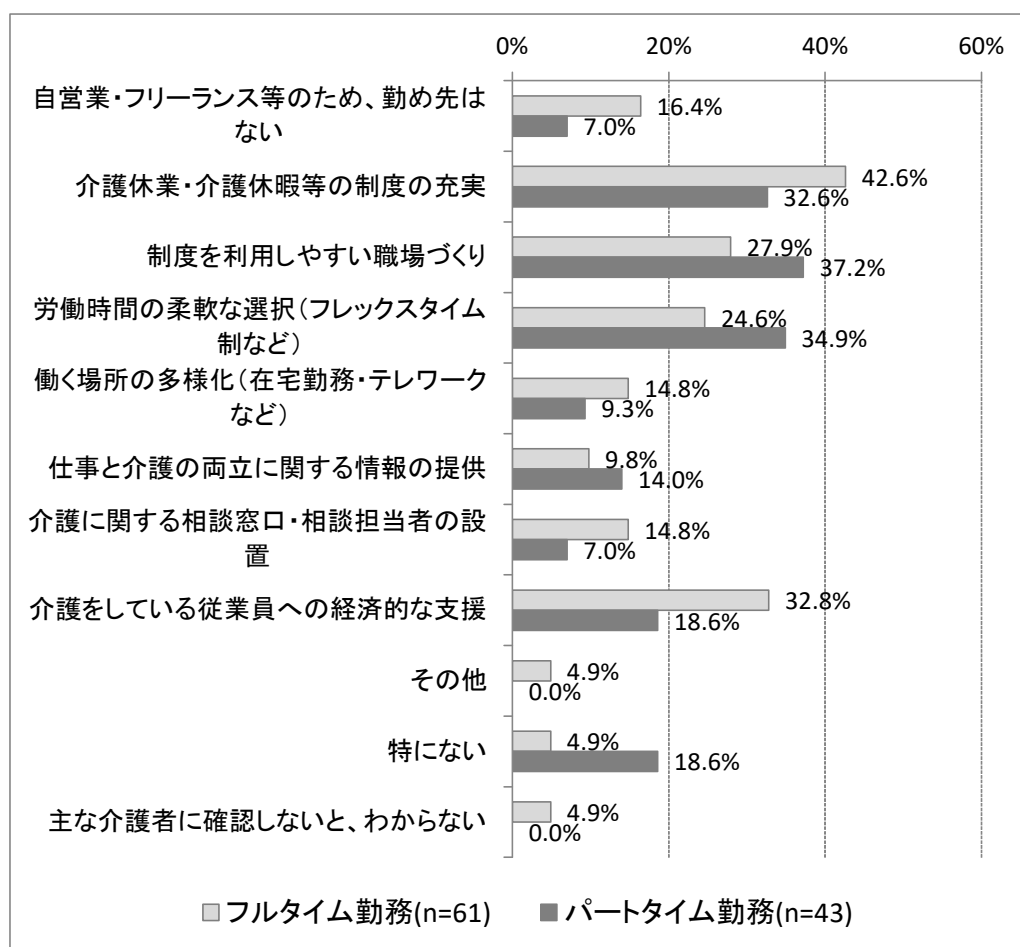
図表 2-24 就労継続見込み別・介護のための働き方の調整（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



【就労状況別・★効果的な勤め先からの支援】

効果的な勤め先からの支援を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が42.6%と最も割合が高く、次いで「介護をしている従業員への経済的な支援」が32.8%、「制度を利用しやすい職場づくり」が27.9%となっている。「パートタイム勤務」では「制度を利用しやすい職場づくり」が37.2%と最も割合が高く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が34.9%、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が32.6%となっている。

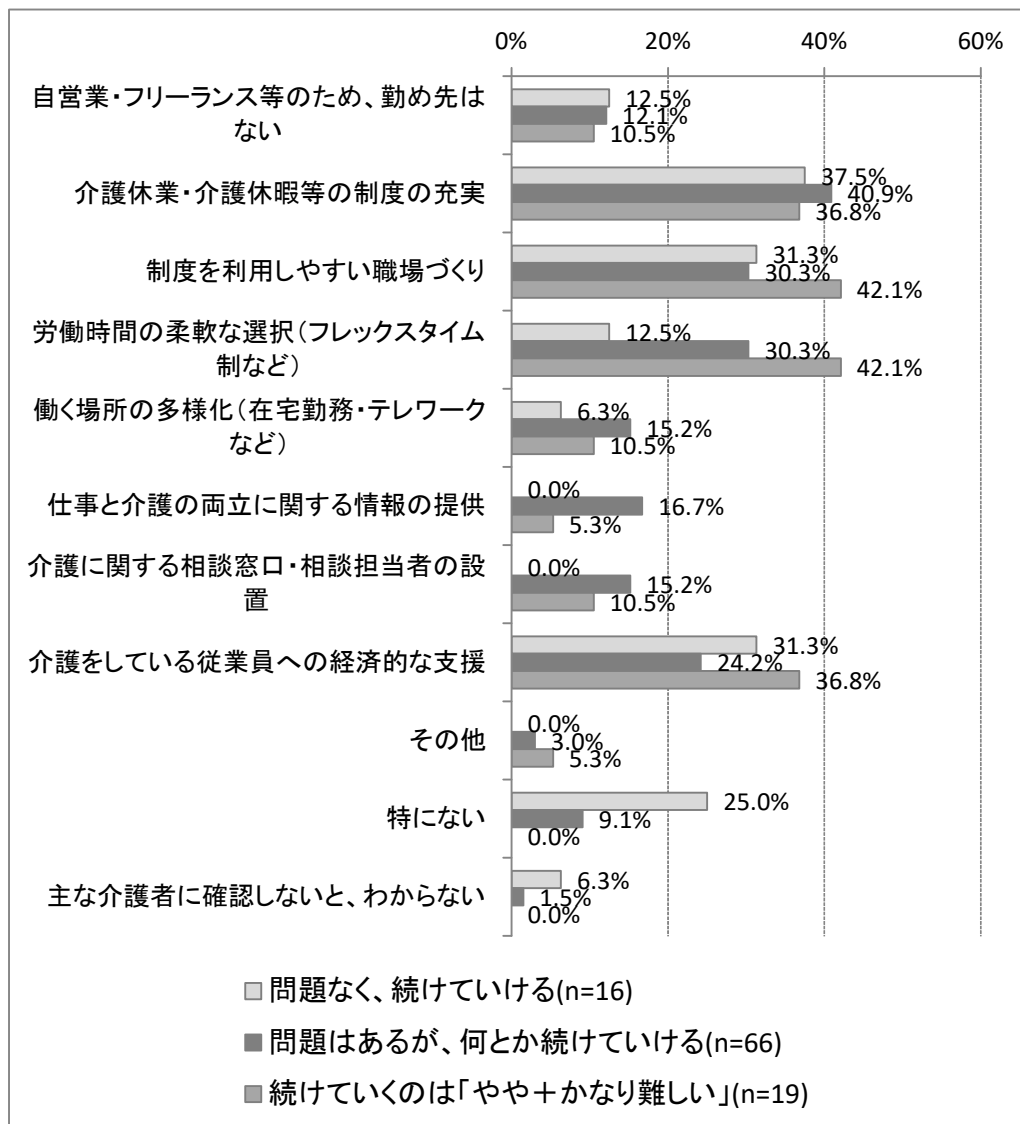
図表 2-25 就労状況別・★効果的な勤め先からの支援



【就労継続見込み別・★効果的な勤め先からの支援（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

効果的な勤め先からの支援を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が37.5%と最も割合が高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」、「介護をしている従業員への経済的な支援」が31.3%、「特にない」が25.0%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が40.9%と最も割合が高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が30.3%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が24.2%となっている。「続けていくのは「やや＋かなり難しい」」では「制度を利用しやすい職場づくり」、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が42.1%と最も割合が高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「介護をしている従業員への経済的な支援」が36.8%、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」、「働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）」、「介護に関する相談窓口・相談担当者の設置」が10.5%となっている。

図表 2-26 就労継続見込み別・★効果的な勤め先からの支援（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）



2.3 考察

○就労状況と介護負担の実態

- フルタイム勤務の介護者は50歳代が中心で、比較的要介護度が低いケースが多いものの、過半数が「ほぼ毎日」介護に関わっており、「家事」や「外出の付き添い」といった日常的なサポートが大きな負担となっています。

○就労継続を阻む要因

- 要介護度や認知症自立度が重度化するほど、就労を「続けていくのは難しい」と感じる割合が増加しています。
- 就労継続が難しいと感じている層は、特に「認知症状への対応」「入浴・洗身」「夜間の排泄」に対して強い不安を抱えており、これらの課題への対応が就労継続の鍵となります。

○サービス利用の課題とニーズのギャップ

- 就労を「何とか続けていける」層は介護保険サービスを積極的に利用していますが、就労が「難しい」と感じる層の中にはサービスを利用していない人が一定数存在します。その理由として「本人に利用の希望がない」が挙げられており、家族だけでは解決が難しい課題が浮き彫りになっています。
- 保険外サービスについて、フルタイム勤務者は配食や掃除などを一部利用していますが、実際には「外出同行（通院等）」や「見守り」「移送サービス」へのニーズが非常に高く、必要な支援が十分に届いていない状況がうかがえます。

○職場での働き方の調整の限界

- 働きながら介護を「何とか続けていける」層は、休暇の取得や労働時間の調整（短時間勤務や遅出・早帰りなど）を積極的に活用して両立を図っています。
- しかし、就労継続が「難しい」と感じている層の中には、働き方の調整を「特に行っていない」割合も高く、職場の理解不足や制度の使いにくさ、あるいは制度を利用してもなお介護負担をカバーしきれないといった限界が生じている可能性が考えられます。

保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

3.1 集計・分析の狙い

- ここでは、在宅限界点の向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、特に「保険外の支援・サービス」に焦点を当てた集計を行っています。ここで把握された現状やニーズは、生活支援体制整備事業の推進のために活用していくことなどが考えられます。
- 具体的には、「現在利用している保険外の支援・サービス」と「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）」について、要介護度別や世帯類型別のクロス集計を行い、現在の利用状況の把握と今後さらに充実が必要となる支援・サービスについての分析を行います。
- なお、調査の中では、総合事業に基づく支援・サービスは介護保険サービスに含めるとともに、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」については、介護保険サービスか保険外の支援・サービスであるかは区別していません。

3.2 集計結果と着目すべきポイント

(1) 基礎集計

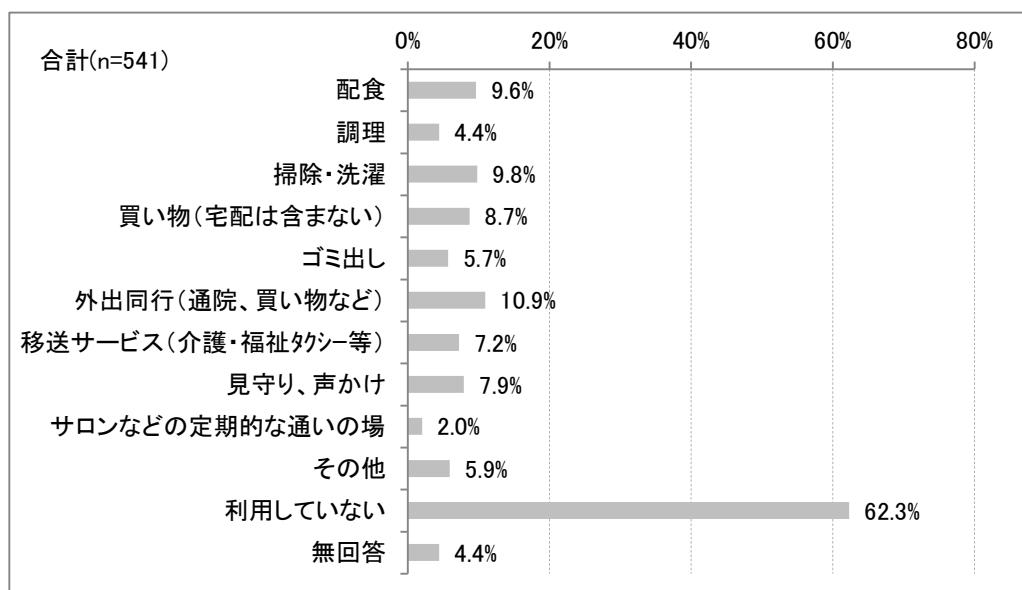
【着目すべきポイント】

- 「保険外の支援・サービスの利用状況」と、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」について、集計分析をしています（図表 3-1、図表 3-2）。
- 例えば、「保険外の支援・サービスの利用状況」については、現状の把握のみでなく、保険外の支援・サービスの利用促進の取組に係るアウトプットとして、その「利用割合」を設定することで、経年的にその成果をモニタリングしていくことも可能になると考えられます。
- さらに、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」からは、在宅限界点の向上という地域目標の達成に向けて、その地域において特に重要となる支援・サービスの種類を把握することができます。

【★保険外の支援・サービスの利用状況】

「利用していない」の割合が最も高く 62.3%となっている。次いで、「外出同行（通院、買い物など）（10.9%）」、「掃除・洗濯（9.8%）」となっている。

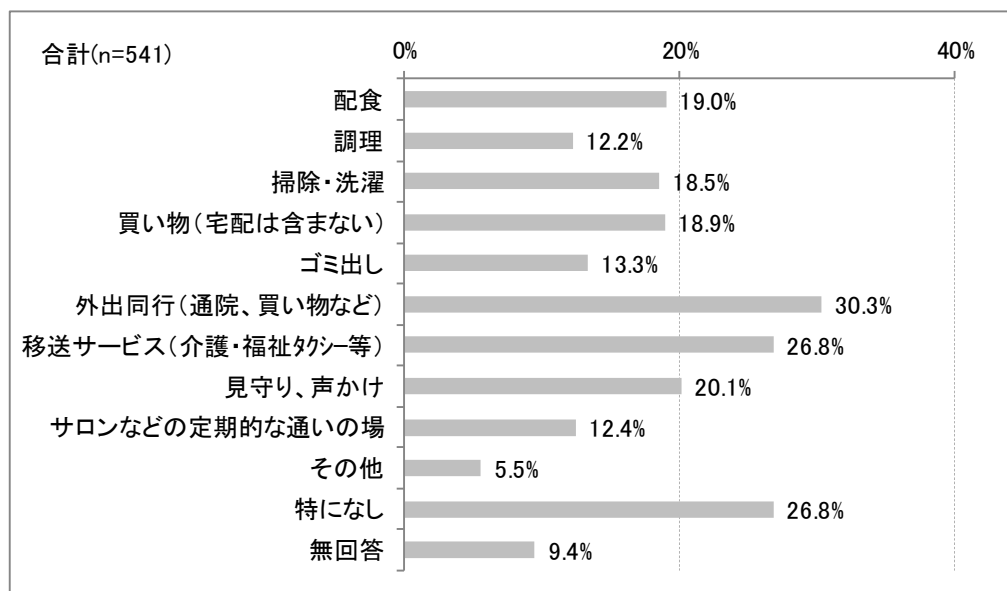
図表 3-1 ★保険外の支援・サービスの利用状況



【★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

「外出同行（通院、買い物など）」の割合が最も高く 30.3%となっている。次いで、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）（26.8%）」、「特になし（26.8%）」、「見守り、声かけ（20.1%）」となっている。

図表 3-2 ★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



(2) 世帯類型別の、保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス

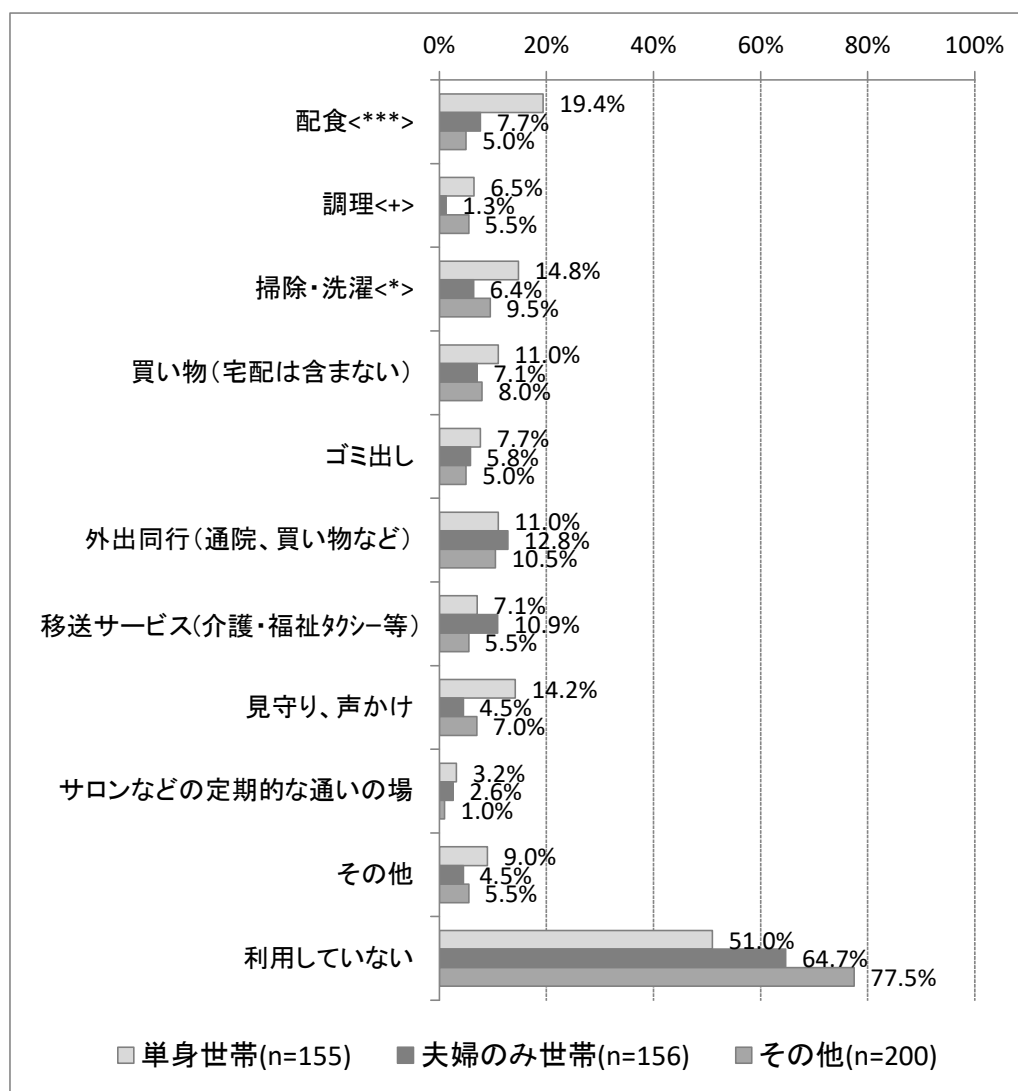
【着目すべきポイント】

- 世帯類型別に「保険外の支援・サービスの利用状況」と、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」について、集計分析をしています（図表 3-3、図表 3-4）。

【世帯類型別・★保険外の支援・サービスの利用状況】

保険外の支援・サービスの利用状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「利用していない」が51.0%と最も割合が高く、次いで「配食」が19.4%、「掃除・洗濯」が14.8%となっている。「夫婦のみ世帯」では「利用していない」が64.7%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が12.8%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が10.9%となっている。「その他」では「利用していない」が77.5%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が10.5%、「掃除・洗濯」が9.5%となっている。

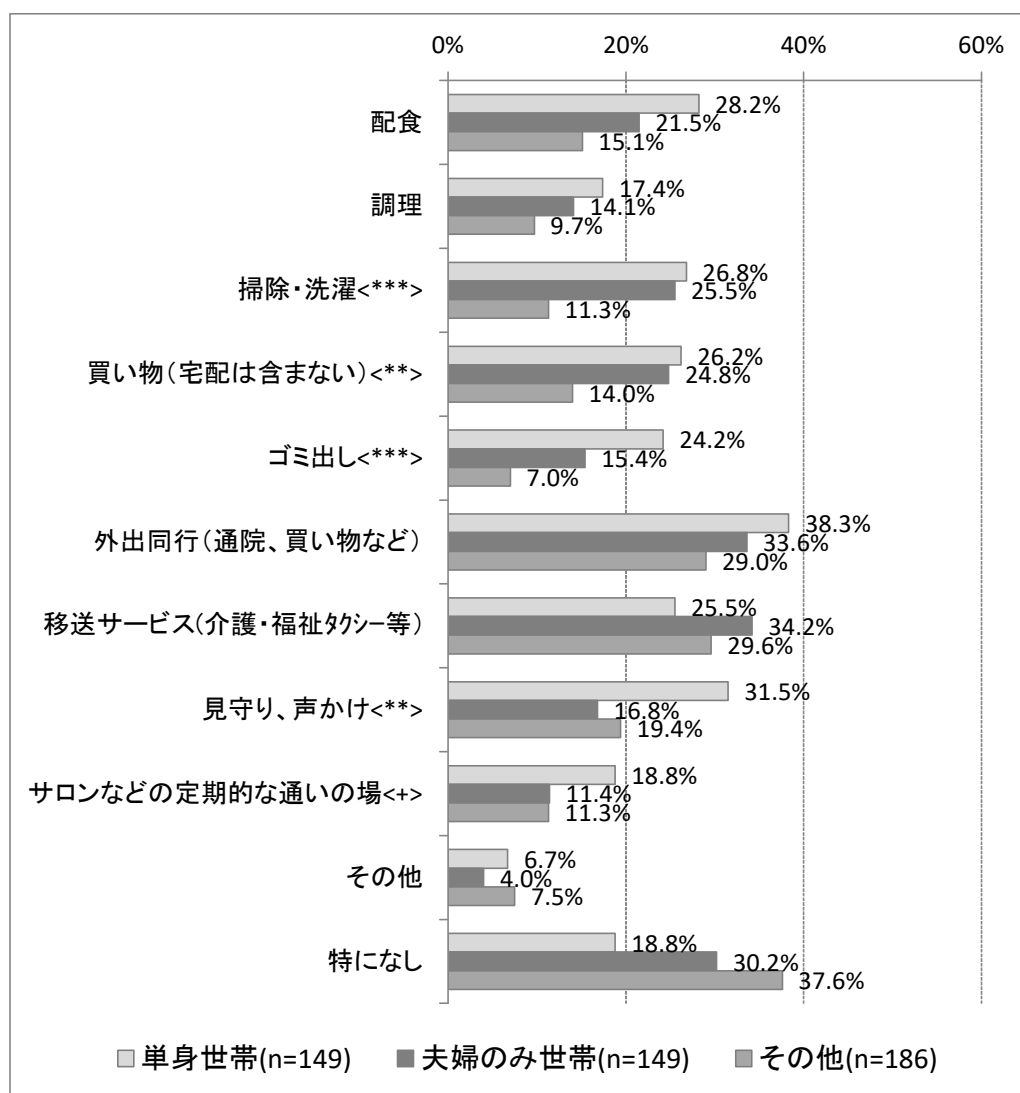
図表 3-3 世帯類型別・★保険外の支援・サービスの利用状況



【世帯類型別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

保険外の支援・サービスの必要性を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「外出同行（通院、買い物など）」が38.3%ともっとも割合が高く、次いで「見守り、声かけ」が31.5%、「配食」が28.2%となっている。「夫婦のみ世帯」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が34.2%ともっとも割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が33.6%、「特になし」が30.2%となっている。「その他」では「特になし」が37.6%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が29.6%、「外出同行（通院、買い物など）」が29.0%となっている。

図表 3-4 世帯類型別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



(3) 「世帯類型」×「要介護度」×「保険外の支援・サービスの利用状況」

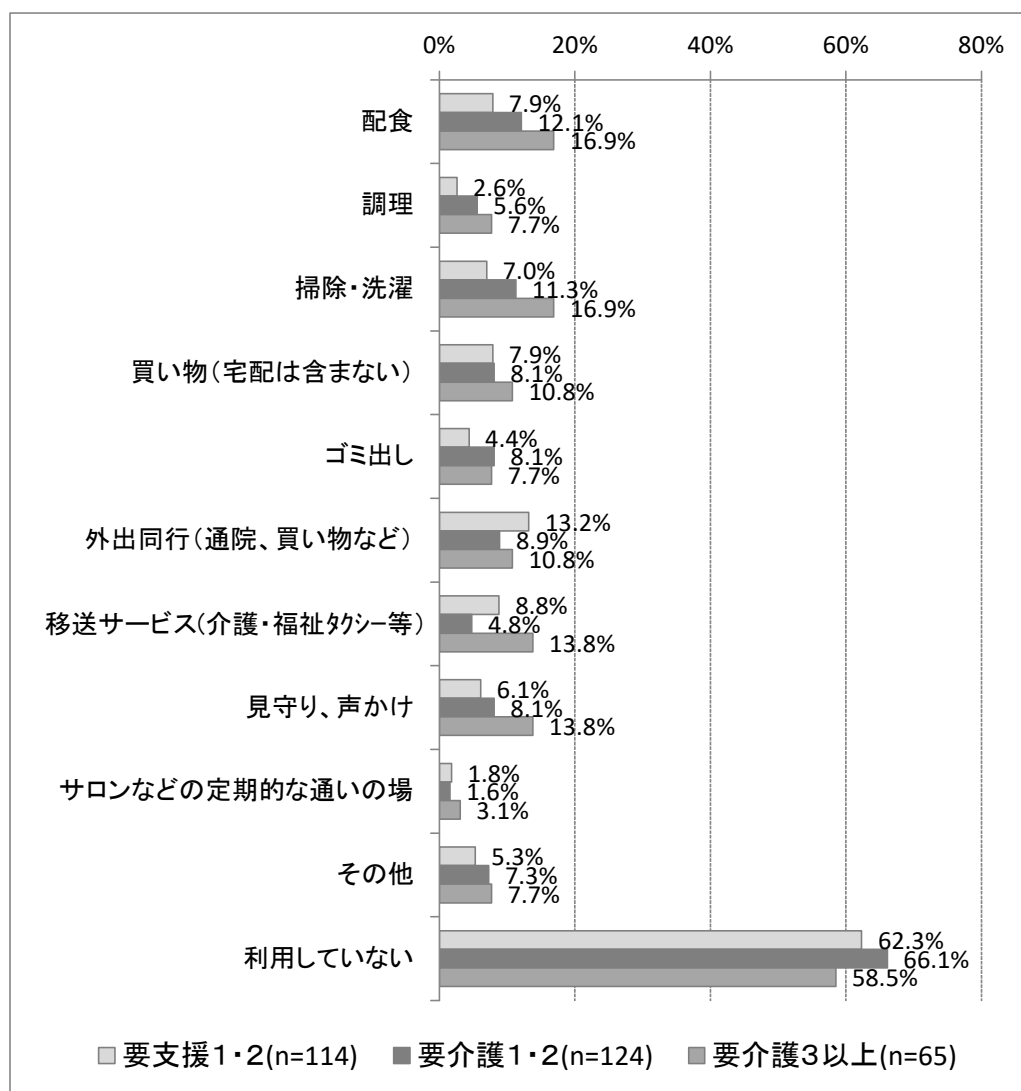
【着目すべきポイント】

- 世帯類型別・要介護度別に「保険外の支援・サービスの利用状況」について、集計分析をしています（図表 3-5～図表 3-8）。
- 利用割合の低い世帯類型であっても、要介護度の重度化に伴い利用割合が増加している支援・サービスがあることも考えられます。
- 介護保険サービスと同様、重度化に伴い、どのような支援・サービスの利用割合が増加しているかに着目することで、現在在宅で生活をする中重度の要介護者が、どのような支援・サービス利用を増加させることで在宅生活を維持しているかを把握することができます。

【要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況】

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「利用していない」が62.3%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が13.2%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が8.8%となっている。「要介護1・2」では「利用していない」が66.1%と最も割合が高く、次いで「配食」が12.1%、「掃除・洗濯」が11.3%となっている。「要介護3以上」では「利用していない」が58.5%と最も割合が高く、次いで「配食」、「掃除・洗濯」が16.9%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「見守り、声かけ」が13.8%となっている。

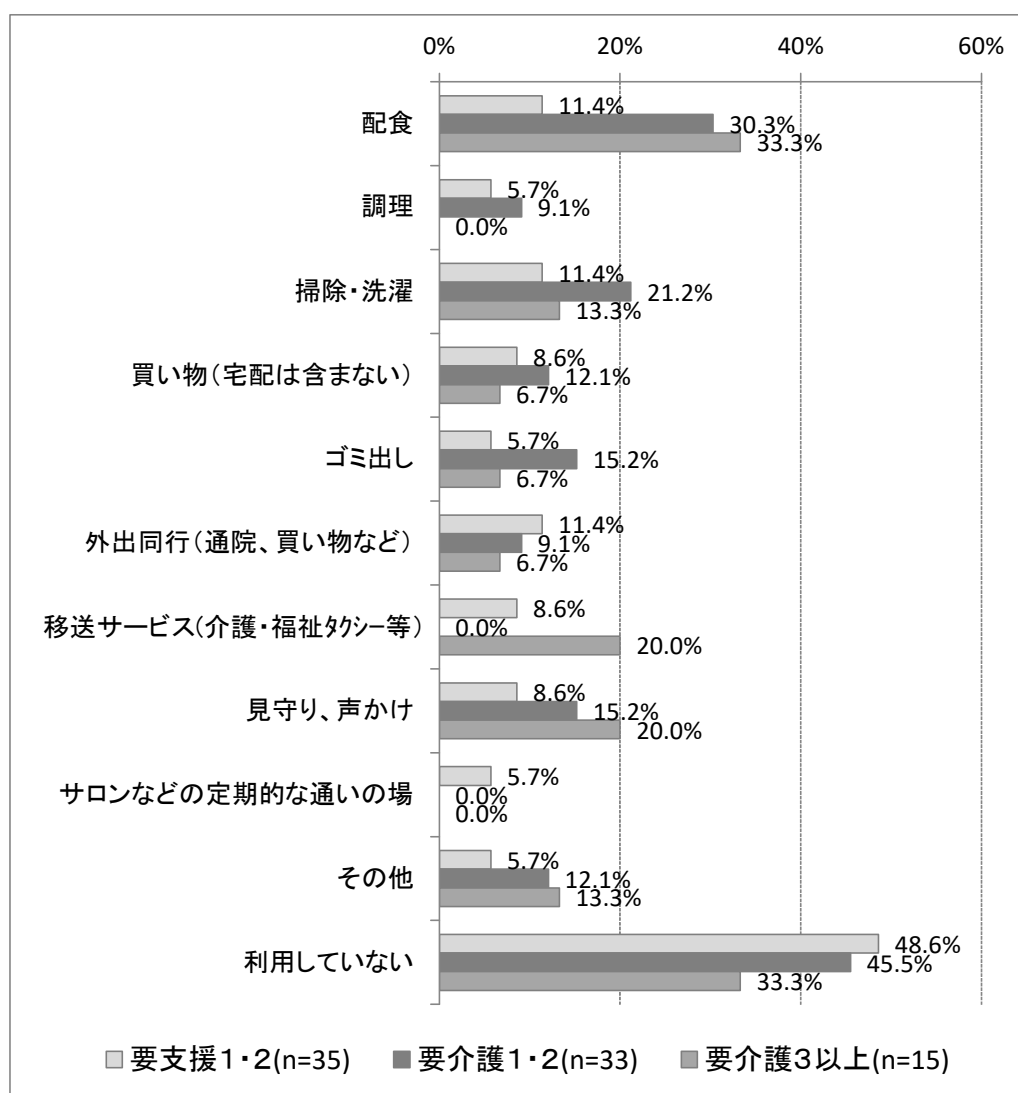
図表 3-5 要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況



【要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況（単身世帯）】

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「利用していない」が48.6%ともっとも割合が高く、次いで「配食」、「掃除・洗濯」、「外出同行（通院、買い物など）」が11.4%、「買い物（宅配は含まない）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「見守り、声かけ」が8.6%となっている。「要介護1・2」では「利用していない」が45.5%ともっとも割合が高く、次いで「配食」が30.3%、「掃除・洗濯」が21.2%となっている。「要介護3以上」では「配食」、「利用していない」が33.3%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「見守り、声かけ」が20.0%、「掃除・洗濯」、「その他」が13.3%となっている。

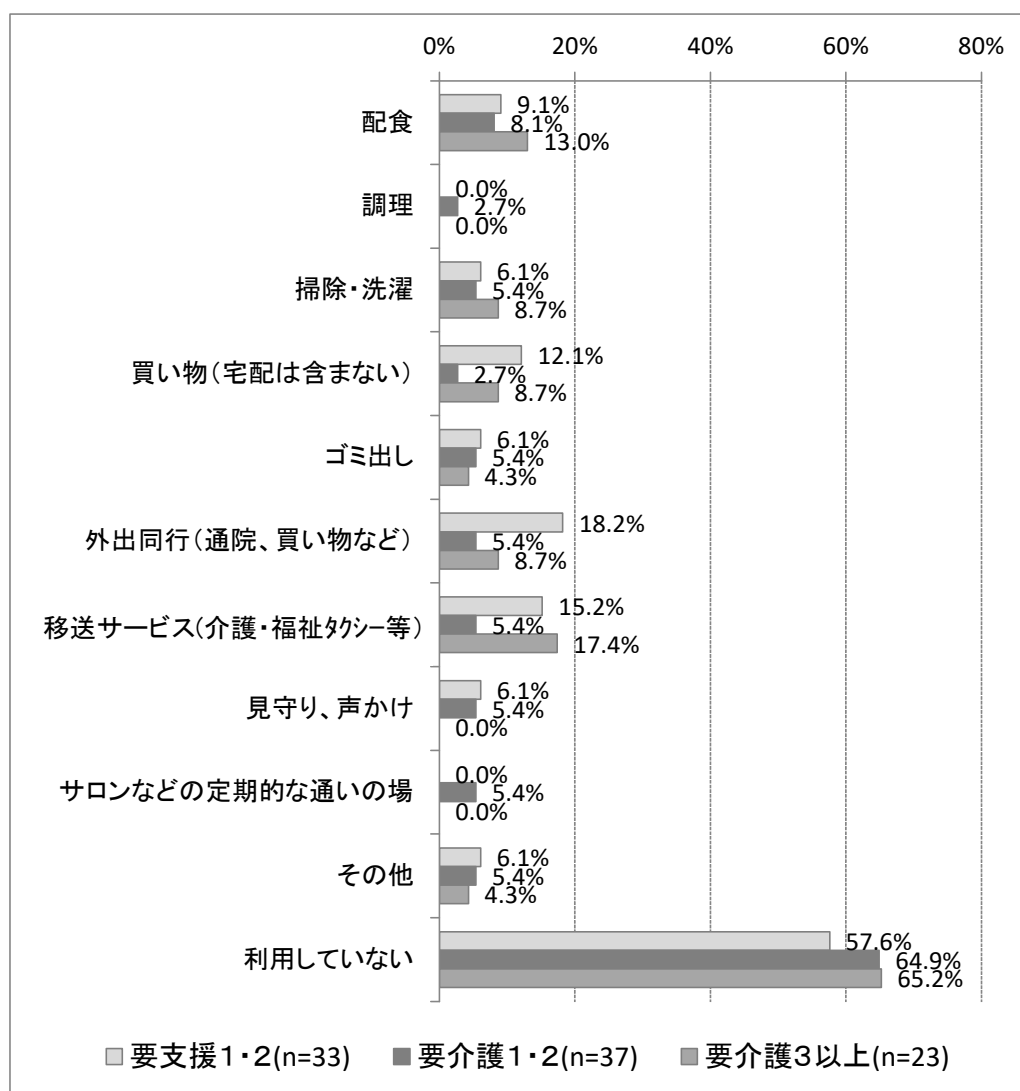
図表 3-6 要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況（単身世帯）



【要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況（夫婦のみ世帯）】

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「利用していない」が57.6%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が18.2%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が15.2%となっている。「要介護1・2」では「利用していない」が64.9%と最も割合が高く、次いで「配食」が8.1%、「掃除・洗濯」、「ゴミ出し」、「外出同行（通院、買い物など）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「見守り、声かけ」、「サロンなどの定期的な通いの場」、「その他」が5.4%となっている。「要介護3以上」では「利用していない」が65.2%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が17.4%、「配食」が13.0%となっている。

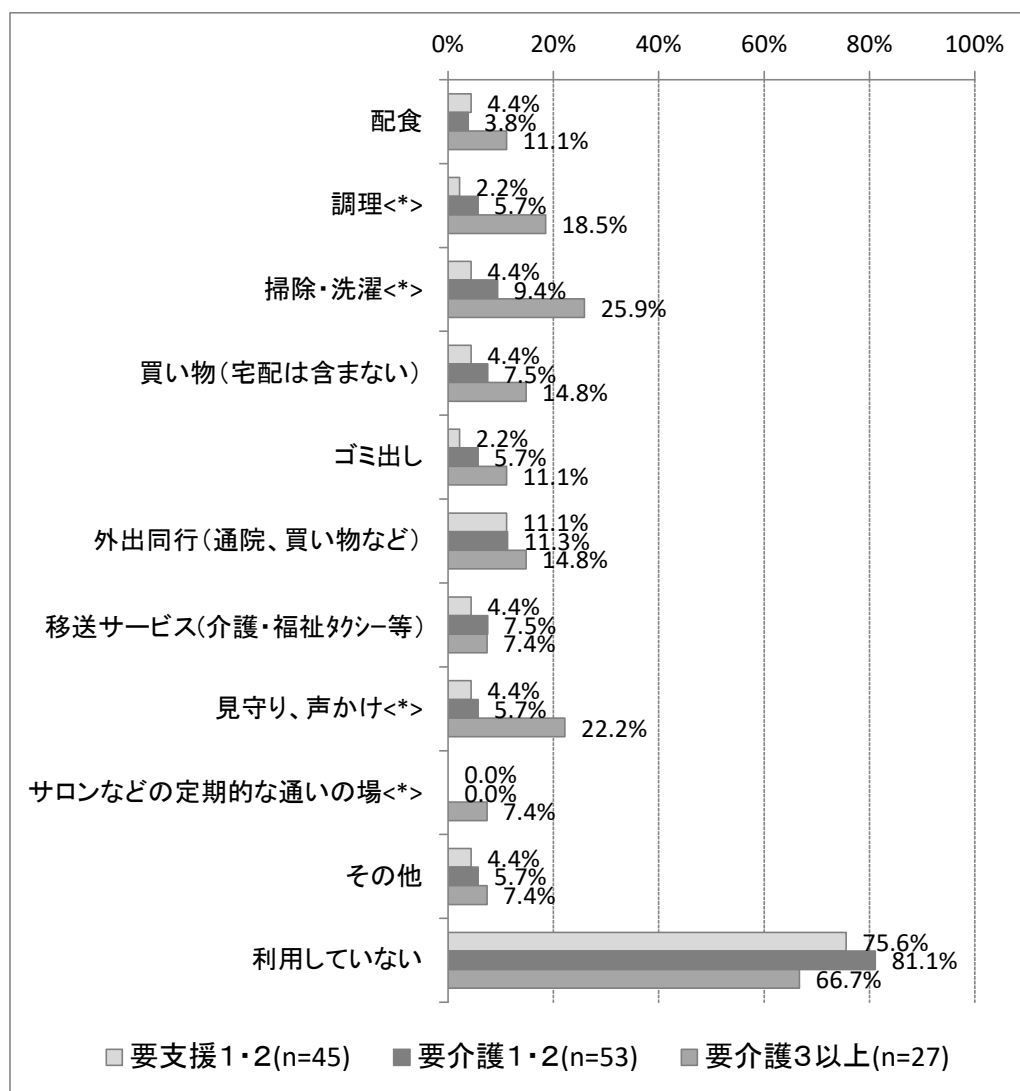
図表 3-7 要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況（夫婦のみ世帯）



【要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況（その他世帯）】

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「利用していない」が75.6%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が11.1%、「配食」、「掃除・洗濯」、「買い物（宅配は含まない）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「見守り、声かけ」、「その他」が4.4%となっている。「要介護1・2」では「利用していない」が81.1%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が11.3%、「掃除・洗濯」が9.4%となっている。「要介護3以上」では「利用していない」が66.7%と最も割合が高く、次いで「掃除・洗濯」が25.9%、「見守り、声かけ」が22.2%となっている。

図表 3-8 要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況（その他世帯）



(4) 「世帯類型」×「要介護度」×「必要と感じる支援・サービス」

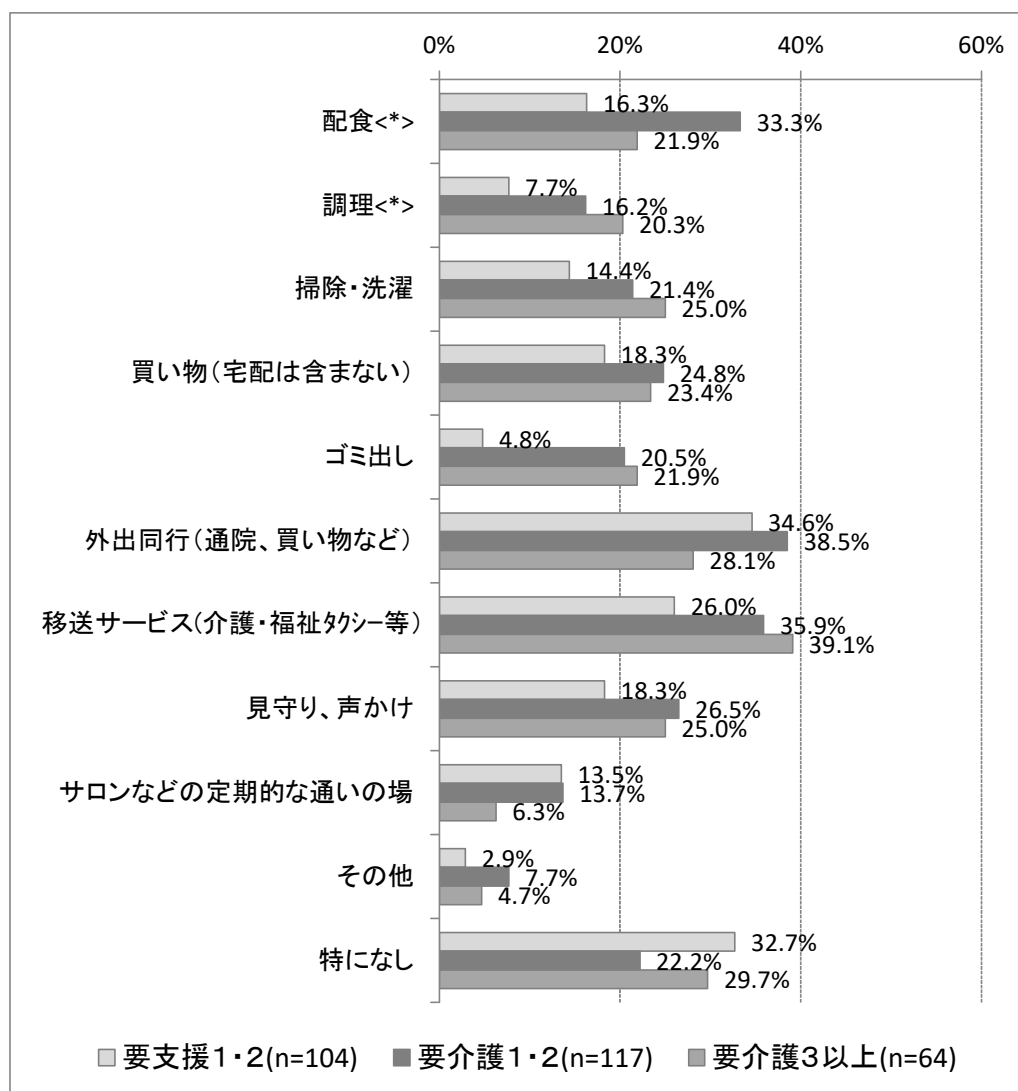
【着目すべきポイント】

- 世帯類型別・要介護度別に「必要と感じる支援・サービス」について、集計分析をしています（図表 3-9～図表 3-12）。

【要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「外出同行（通院、買い物など）」が 34.6%と最も割合が高く、次いで「特になし」が 32.7%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 26.0%となっている。「要介護1・2」では「外出同行（通院、買い物など）」が 38.5%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 35.9%、「配食」が 33.3%となっている。「要介護3以上」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 39.1%と最も割合が高く、次いで「特になし」が 29.7%、「外出同行（通院、買い物など）」が 28.1%となっている。

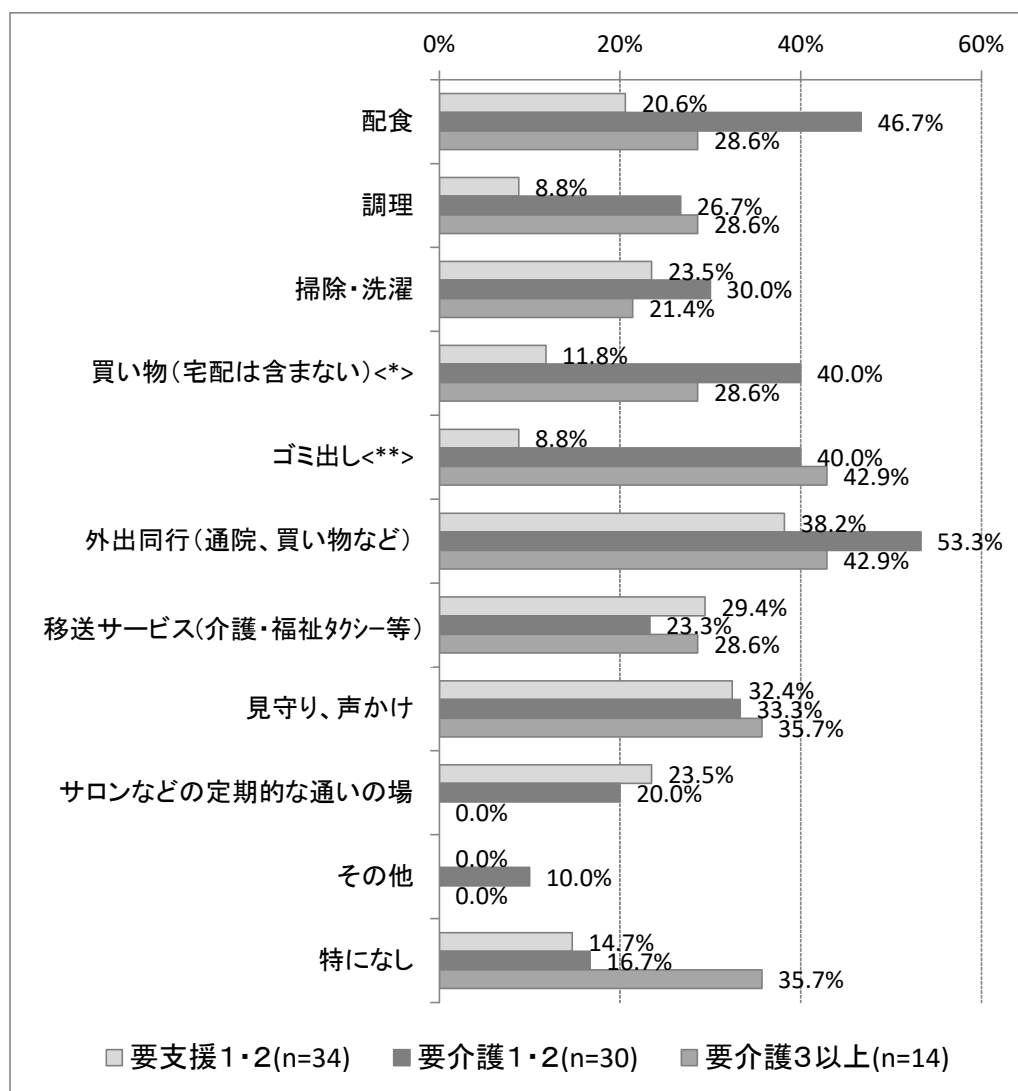
図表 3-9 要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



【要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）】

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「外出同行（通院、買い物など）」が38.2%と最も割合が高く、次いで「見守り、声かけ」が32.4%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が29.4%となっている。「要介護1・2」では「外出同行（通院、買い物など）」が53.3%と最も割合が高く、次いで「配食」が46.7%、「買い物（宅配は含まない）」、「ゴミ出し」が40.0%となっている。「要介護3以上」では「ゴミ出し」、「外出同行（通院、買い物など）」が42.9%と最も割合が高く、次いで「見守り、声かけ」、「特になし」が35.7%、「配食」、「調理」、「買い物（宅配は含まない）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が28.6%となっている。

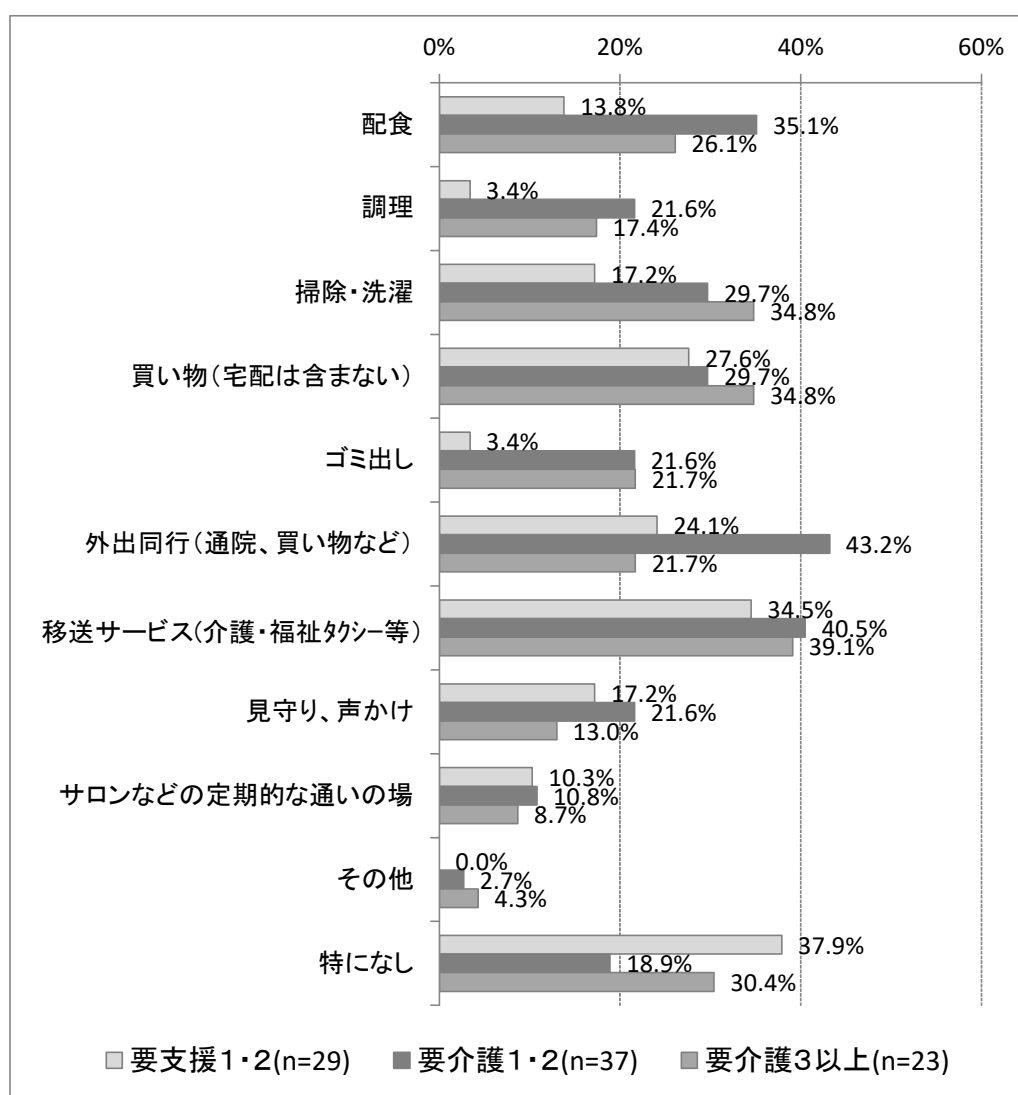
図表 3-10 要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）



【要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）】

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「特になし」が37.9%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が34.5%、「買い物（宅配は含まない）」が27.6%となっている。「要介護1・2」では「外出同行（通院、買い物など）」が43.2%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が40.5%、「配食」が35.1%となっている。「要介護3以上」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が39.1%ともっとも割合が高く、次いで「掃除・洗濯」、「買い物（宅配は含まない）」が34.8%、「特になし」が30.4%となっている。

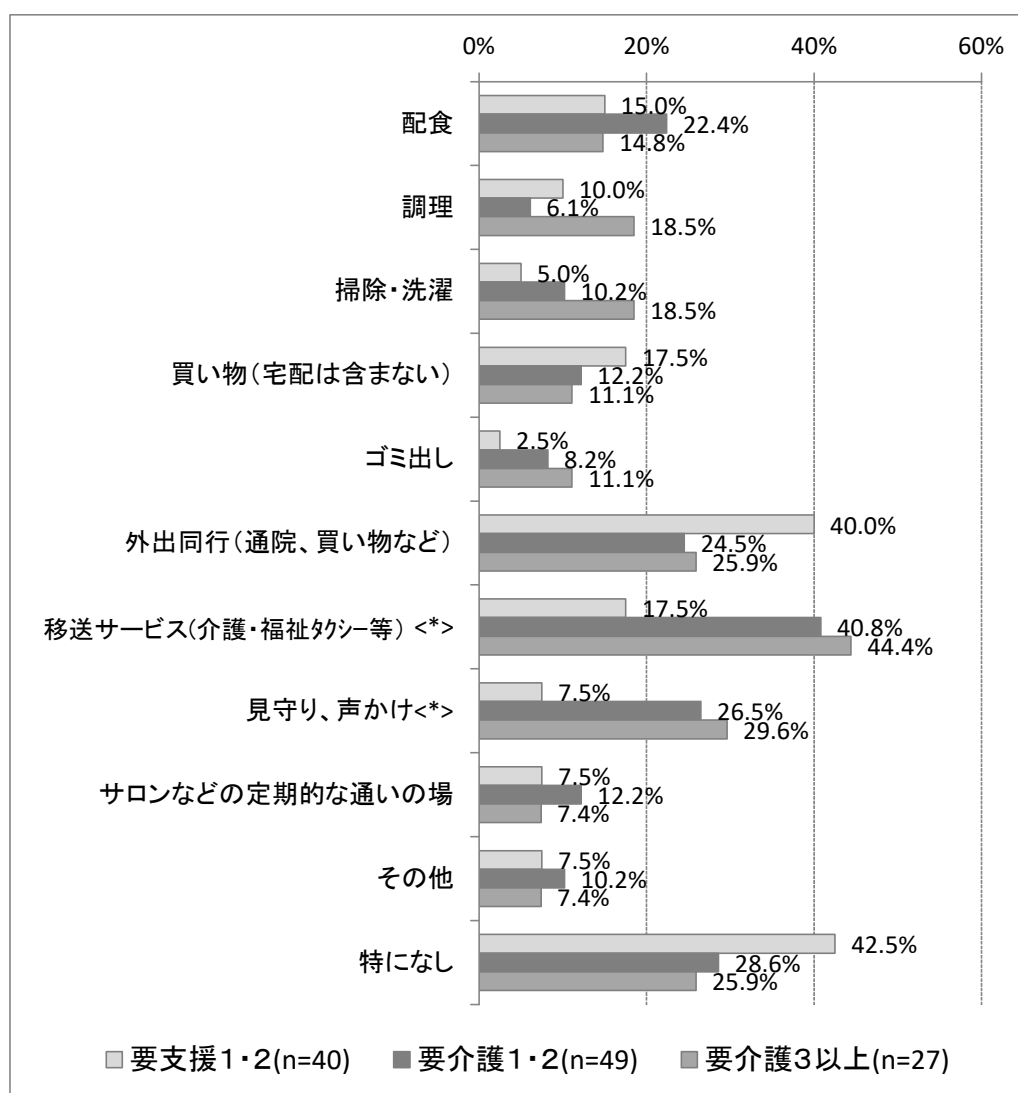
図表 3-11 要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）



【要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）】

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「特になし」が42.5%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が40.0%、「買い物（宅配は含まない）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が17.5%となっている。「要介護1・2」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が40.8%と最も割合が高く、次いで「特になし」が28.6%、「見守り、声かけ」が26.5%となっている。「要介護3以上」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が44.4%と最も割合が高く、次いで「見守り、声かけ」が29.6%、「外出同行（通院、買い物など）」、「特になし」が25.9%となっている。

図表 3-12 要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）



3.3 考察

○移動支援への強い潜在ニーズ

- 全体として現在約6割が保険外サービスを「利用していない」ものの、今後の在宅生活継続に必要と感じるサービスとしては、「外出同行（通院・買い物など）」や「移送サービス（介護タクシー等）」が上位を占めており、通院や買い物を担保するための移動支援策の充実が急務であることがうかがえます。

○単身世帯の生活全般に対する高い依存度

- 単身世帯は他の世帯に比べて保険外サービスの利用割合が高く、「配食」や「掃除・洗濯」といった日常的な生活支援が頼りになっています。ニーズとしても「見守り・声かけ」「ゴミ出し」など多岐にわたり、孤立を防ぎ生活基盤を維持するための網羅的なサポートが不可欠です。

○夫婦のみ・家族同居世帯におけるピンポイントな支援の必要性

- 家族と同居している世帯では全体的に「利用していない」「特になし」の割合が高いものの、家族だけでは対応が困難になりやすい「外出同行」や「移送サービス」に対するニーズが際立っています。

○「外出同行」から「移送サービス」への移行

- 要支援から要介護2の段階では、歩行や公共交通機関の利用をサポートする「外出同行」のニーズが高い一方で、要介護3以上の重度になると、より専門的・物理的な介助を伴う「移送サービス（介護タクシー等）」へとニーズが変化しています。

○重度化による家族同居世帯への影響

- 単身世帯で早期から高まっていた「配食」や「ゴミ出し」のニーズに加えて、要介護3以上になると「その他世帯（家族同居）」においても「掃除・洗濯」の利用や「見守り・声かけ」へのニーズが増加します。これは、要介護者の重度化に伴い、同居家族だけでは介護と家事の両立（あるいは仕事との両立）が限界に達し、外部サポートへの依存度が高まっていることが推察されます。

将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

4.1 集計・分析の狙い

- ここでは、在宅限界点の向上のための、将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討につなげるため、特に世帯類型別の「サービス利用の特徴」や「施設等検討の状況」に焦点を当てた集計を行っています。
- 具体的には、世帯類型別の「家族等による介護の頻度」、「サービス利用の組み合わせ」、「施設等検討の状況」などの分析を行います。

4.2 集計結果と着目すべきポイント

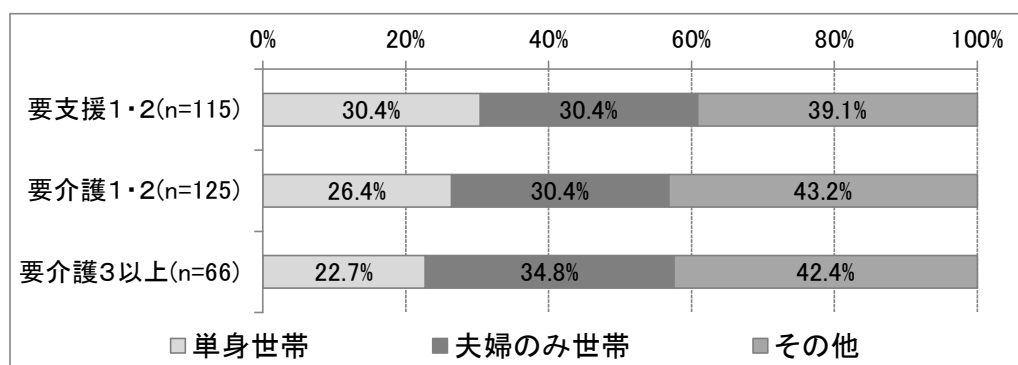
(1) 基礎集計

- 「要介護度別の世帯タイプの割合」および「世帯類型別の要介護度の割合」を集計しています（図表 4-1、図表 4-2）。

【要介護度別・世帯類型】

世帯類型を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「その他」が39.1%と最も割合が高く、次いで「単身世帯」、「夫婦のみ世帯」が30.4%となっている。「要介護1・2」では「その他」が43.2%と最も割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が30.4%、「単身世帯」が26.4%となっている。「要介護3以上」では「その他」が42.4%と最も割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が34.8%、「単身世帯」が22.7%となっている。

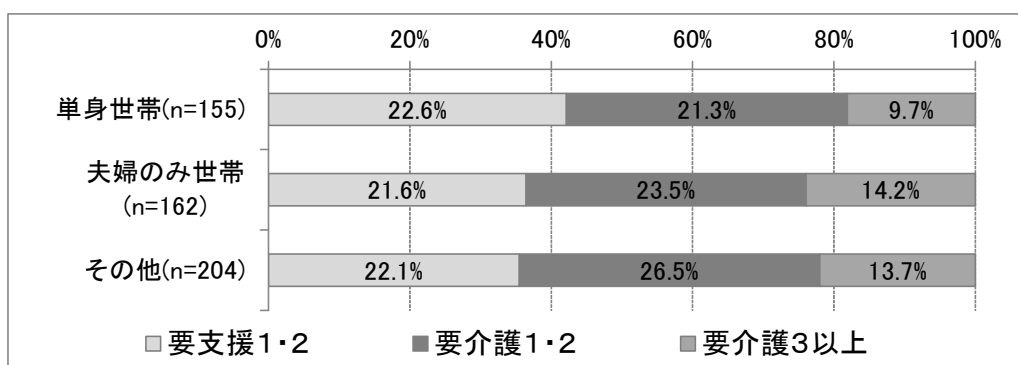
図表 4-1 要介護度別・世帯類型



【世帯類型別・要介護度】

二次判定結果を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「要支援１・２」が22.6%ともっとも割合が高く、次いで「要介護１・２」が21.3%、「要介護３以上」が9.7%となっている。「夫婦のみ世帯」では「要介護１・２」が23.5%ともっとも割合が高く、次いで「要支援１・２」が21.6%、「要介護３以上」が14.2%となっている。「その他」では「要介護１・２」が26.5%ともっとも割合が高く、次いで「要支援１・２」が22.1%、「要介護３以上」が13.7%となっている。

図表 4-2 世帯類型別・要介護度<***>



(2) 「要介護度別・世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」

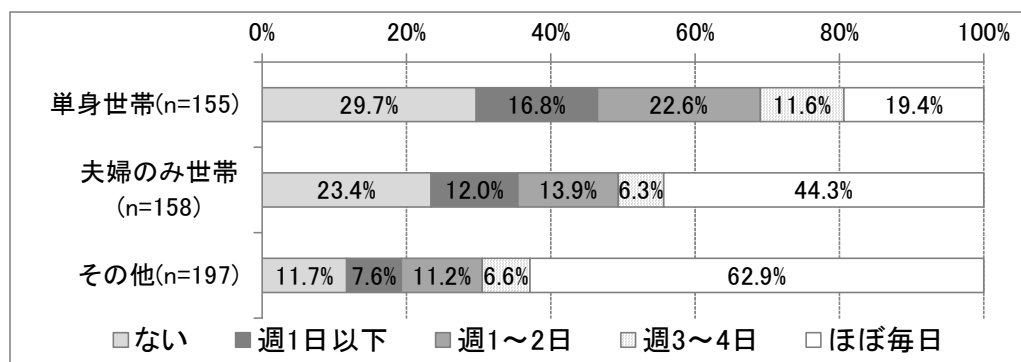
【着目すべきポイント】

- 図表 4-3 では、「世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」の割合を集計しています。また、図表 4-4～図表 4-6 では、世帯類型別に「要介護度別」の「家族等による介護の頻度」を集計しています。
- 「単身世帯」については、同居の家族等はいなくても、近居の家族等による介護が行われているケースも多いと考えられます。中重度の単身世帯のうち、家族等の介護がない中で在宅生活を送っているケースがどの程度あるかなど、現状について確認します。

【世帯類型別・家族等による介護の頻度】

ご家族等の介護の頻度を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「ない」が 29.7%と最も割合が高く、次いで「週1～2日」が 22.6%、「ほぼ毎日」が 19.4%となっている。「夫婦のみ世帯」では「ほぼ毎日」が 44.3%と最も割合が高く、次いで「ない」が 23.4%、「週1～2日」が 13.9%となっている。「その他」では「ほぼ毎日」が 62.9%と最も割合が高く、次いで「ない」が 11.7%、「週1～2日」が 11.2%となっている。

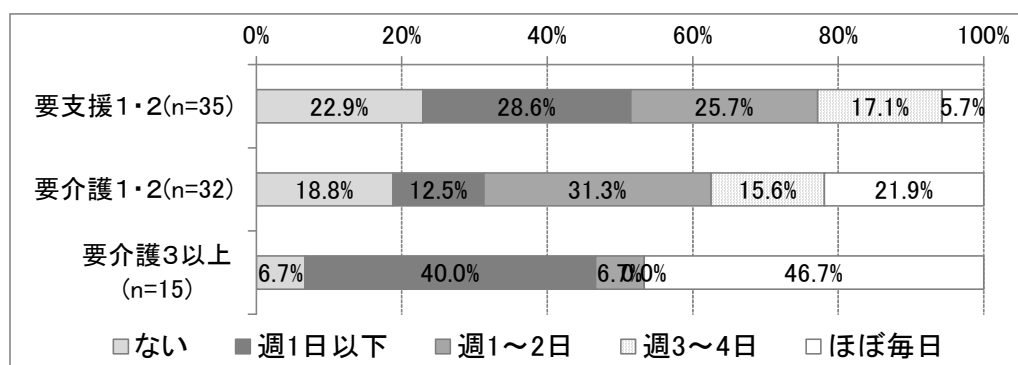
図表 4-3 世帯類型別・家族等による介護の頻度<***>



【要介護度別・家族等による介護の頻度（単身世帯）】

ご家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「週1日以下」が28.6%と最も割合が高く、次いで「週1～2日」が25.7%、「ない」が22.9%となっている。「要介護1・2」では「週1～2日」が31.3%と最も割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が21.9%、「ない」が18.8%となっている。「要介護3以上」では「ほぼ毎日」が46.7%と最も割合が高く、次いで「週1日以下」が40.0%、「ない」、~~「週1～2日」~~が6.7%となっている。

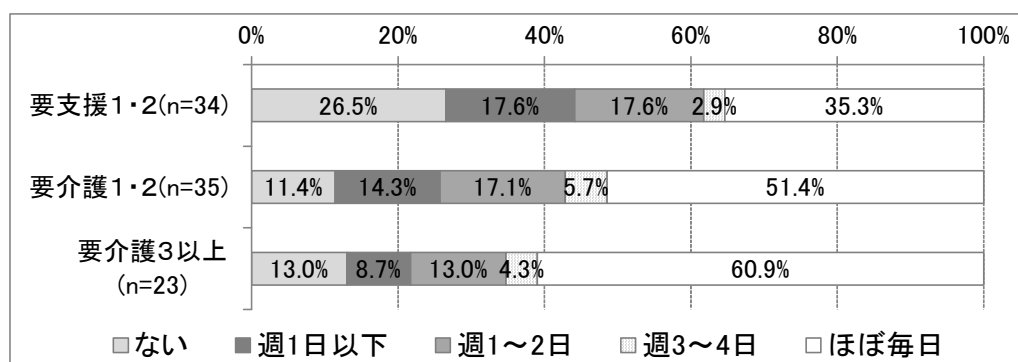
図表 4-4 要介護度別・家族等による介護の頻度（単身世帯） <***>



【要介護度別・家族等による介護の頻度（夫婦のみ世帯）】

ご家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「ほぼ毎日」が35.3%と最も割合が高く、次いで「ない」が26.5%、「週1日以下」、「週1～2日」が17.6%となっている。「要介護1・2」では「ほぼ毎日」が51.4%と最も割合が高く、次いで「週1～2日」が17.1%、「週1日以下」が14.3%となっている。「要介護3以上」では「ほぼ毎日」が60.9%と最も割合が高く、次いで「ない」が13.0%、「週1～2日」が13.0%、「週1日以下」が8.7%となっている。

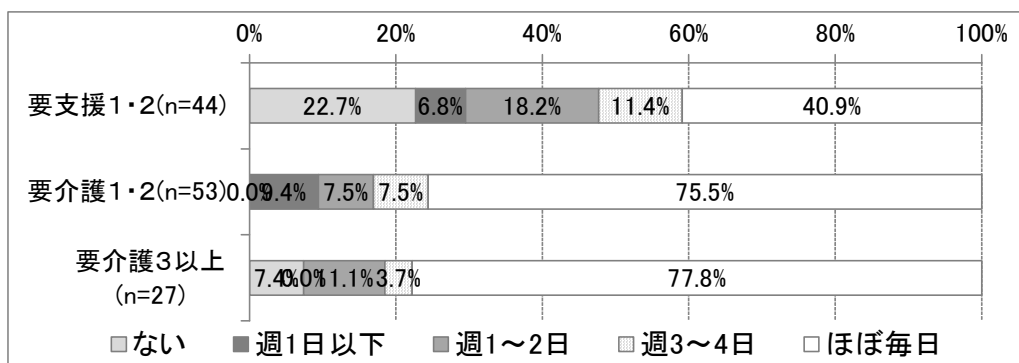
図表 4-5 要介護度別・家族等による介護の頻度（夫婦のみ世帯）



【要介護度別・家族等による介護の頻度（その他世帯）】

ご家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「ほぼ毎日」が40.9%とも割合が高く、次いで「ない」が22.7%、「週１～２日」が18.2%となっている。「要介護１・２」では「ほぼ毎日」が75.5%とも割合が高く、次いで「週１日以下」が9.4%、「週１～２日」、「週３～４日」が7.5%となっている。「要介護３以上」では「ほぼ毎日」が77.8%とも割合が高く、次いで「週１～２日」が11.1%、「ない」が7.4%となっている。

図表 4-6 要介護度別・家族等による介護の頻度（その他世帯）<***>



(3) 「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」

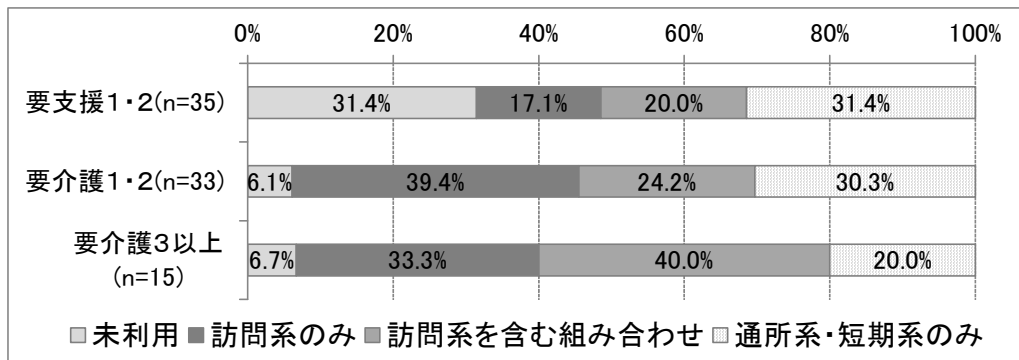
【着目すべきポイント】

- 要介護度別・認知症自立度別の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」について、集計分析をしています（図表 4-7～図表 4-12）。
- サービス利用の組み合わせは、「訪問系のみ」のサービス利用と、レスパイト機能をもつ「通所系」および「短期系」のみのサービス利用、さらにその2つを組み合わせた「訪問系を含むサービス利用」の3種類（未利用除く）に簡略化したものを使用しています。
- 重度化に伴い、どのようなサービス利用の組み合わせが増加しているかに着目することで、現在在宅で生活をする中重度の要介護者が、どのような組み合わせのサービス利用を増加させることで在宅生活を維持しているかを、世帯類型別に把握することができます。
- また、世帯類型別の要介護者の増加に伴い、どのような「サービス利用の組み合わせ」のニーズが大きくなると考えられるかを推測することも可能になります。
- 例えば、特に今後「要介護度が中重度の単身世帯」が増加すると見込まれる場合は、単身世帯の要介護者が要介護度の重度化に伴いどのようなサービス利用の組み合わせを増加させているかに着目し、推測することなどが考えられます。

【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「未利用」、「通所系・短期系のみ」が31.4%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が20.0%、「訪問系のみ」が17.1%となっている。「要介護１・２」では「訪問系のみ」が39.4%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が30.3%、「訪問系を含む組み合わせ」が24.2%となっている。「要介護３以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が40.0%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が33.3%、「通所系・短期系のみ」が20.0%となっている。

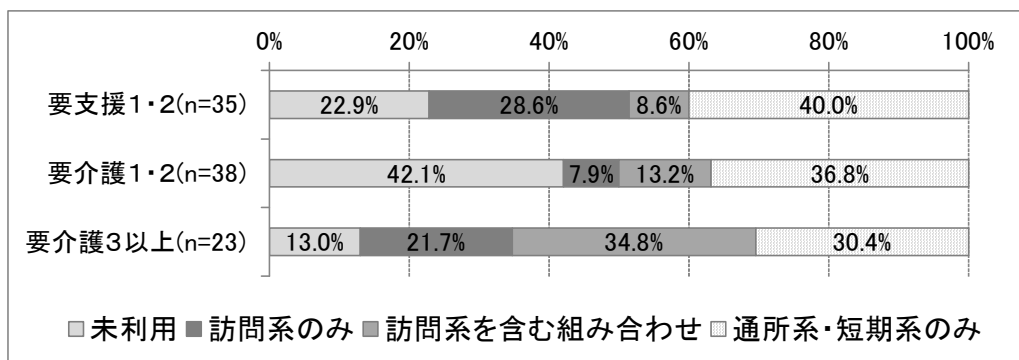
図表 4-7 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）<*>



【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「通所系・短期系のみ」が40.0%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が28.6%、「未利用」が22.9%となっている。「要介護１・２」では「未利用」が42.1%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が36.8%、「訪問系を含む組み合わせ」が13.2%となっている。「要介護３以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が34.8%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が30.4%、「訪問系のみ」が21.7%となっている。

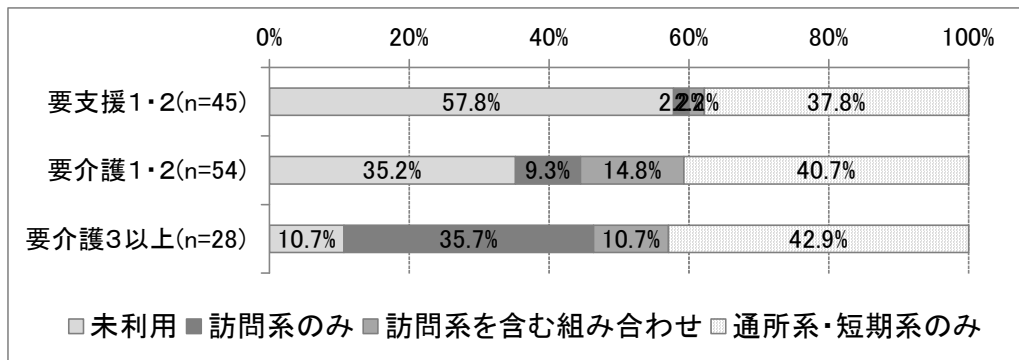
図表 4-8 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）<*>



【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「未利用」が57.8%ともっとも割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が37.8%、「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」が2.2%となっている。「要介護1・2」では「通所系・短期系のみ」が40.7%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が35.2%、「訪問系を含む組み合わせ」が14.8%となっている。「要介護3以上」では「通所系・短期系のみ」が42.9%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」が35.7%、「未利用」、
「訪問系を含む組み合わせ」が10.7%となっている。

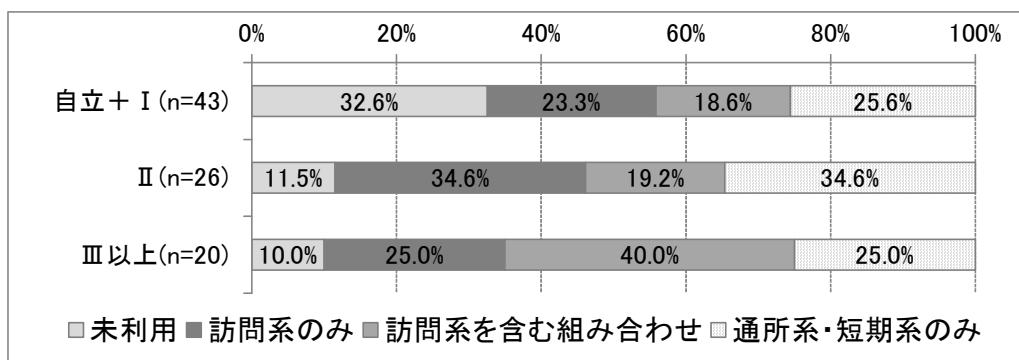
図表 4-9 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）<***>



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「未利用」が32.6%ともっとも割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が25.6%、「訪問系のみ」が23.3%となっている。「Ⅱ」では「訪問系のみ」、「通所系・短期系のみ」が34.6%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が19.2%、「未利用」が11.5%となっている。「Ⅲ以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が40.0%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」、「通所系・短期系のみ」が25.0%、「未利用」が10.0%となっている。

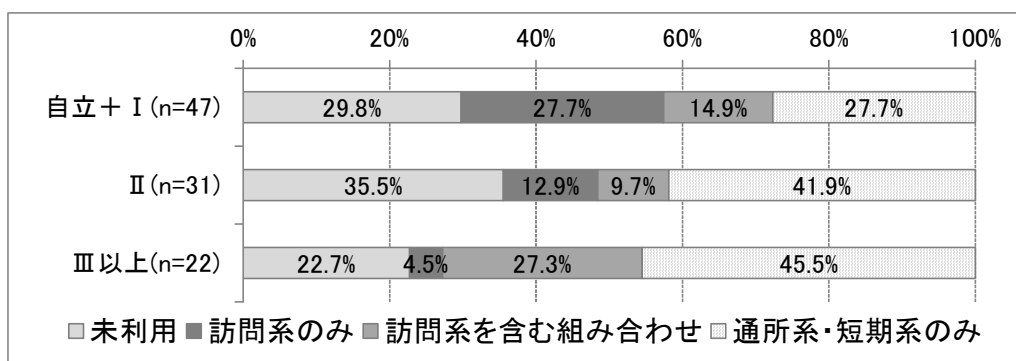
図表 4-10 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「未利用」が29.8%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」、「通所系・短期系のみ」が27.7%、「訪問系を含む組み合わせ」が14.9%となっている。「Ⅱ」では「通所系・短期系のみ」が41.9%と最も割合が高く、次いで「未利用」が35.5%、「訪問系のみ」が12.9%となっている。「Ⅲ以上」では「通所系・短期系のみ」が45.5%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が27.3%、「未利用」が22.7%となっている。

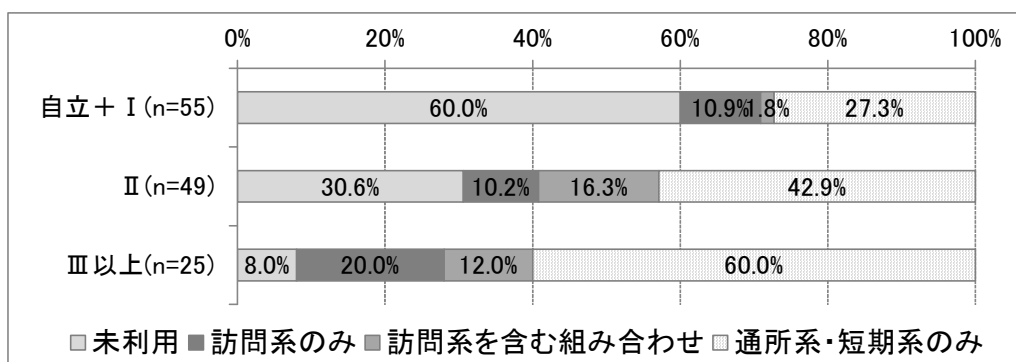
図表 4-11 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「未利用」が60.0%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が27.3%、「訪問系のみ」が10.9%となっている。「Ⅱ」では「通所系・短期系のみ」が42.9%と最も割合が高く、次いで「未利用」が30.6%、「訪問系を含む組み合わせ」が16.3%となっている。「Ⅲ以上」では「通所系・短期系のみ」が60.0%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が20.0%、「訪問系を含む組み合わせ」が12.0%となっている。

図表 4-12 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）<***>



(4) 「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」

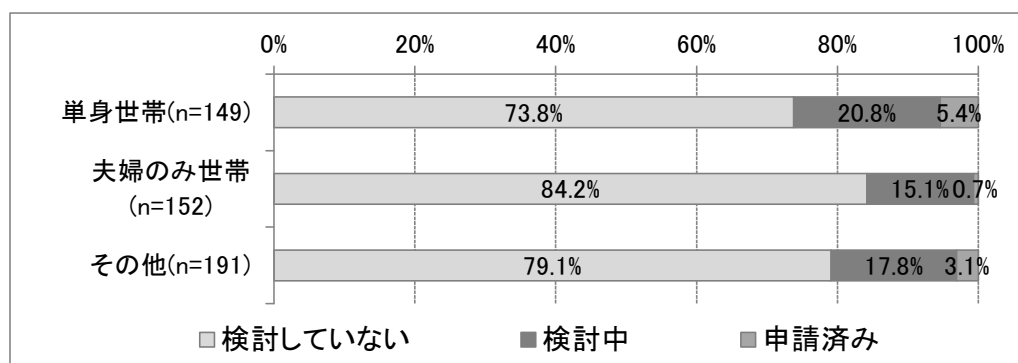
【着目すべきポイント】

- ここでは、「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」について、集計分析をしています（図表 4-13～図表 4-19）。
- 「施設等検討の状況」について「入所・入居は検討していない」の割合を高めることは、在宅介護実態調査で想定する「アウトカム」の1つです。
- ここでは「世帯類型」ごとの特徴を集計分析することで、地域目標を達成するためのサービス整備方針の検討につなげることなどを想定しています。

【世帯類型別・施設等検討の状況（全要介護度）】

施設等の検討状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「検討していない」が73.8%と最も割合が高く、次いで「検討中」が20.8%、「申請済み」が5.4%となっている。「夫婦のみ世帯」では「検討していない」が84.2%と最も割合が高く、次いで「検討中」が15.1%、「申請済み」が0.7%となっている。「その他」では「検討していない」が79.1%と最も割合が高く、次いで「検討中」が17.8%、「申請済み」が3.1%となっている。

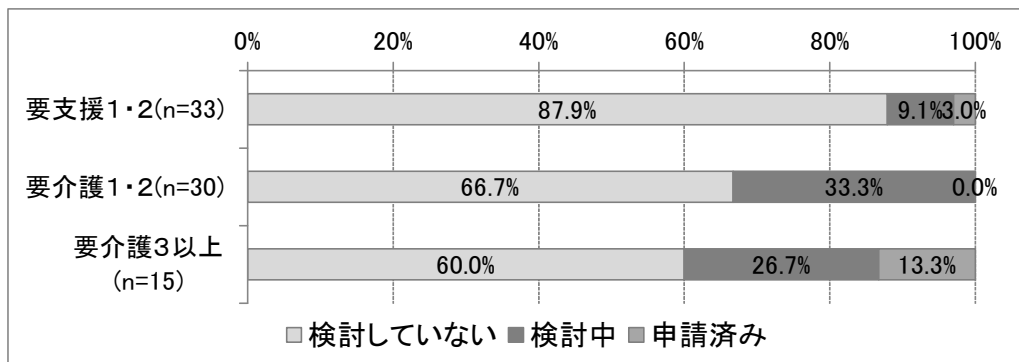
図表 4-13 世帯類型別・施設等検討の状況（全要介護度）<+>



【要介護度別・施設等検討の状況（単身世帯）】

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「検討していない」が 87.9% ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 9.1%、「申請済み」が 3.0% となっている。「要介護１・２」では「検討していない」が 66.7% ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 33.3%、「申請済み」が 0.0% となっている。「要介護３以上」では「検討していない」が 60.0% ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 26.7%、「申請済み」が 13.3% となっている。

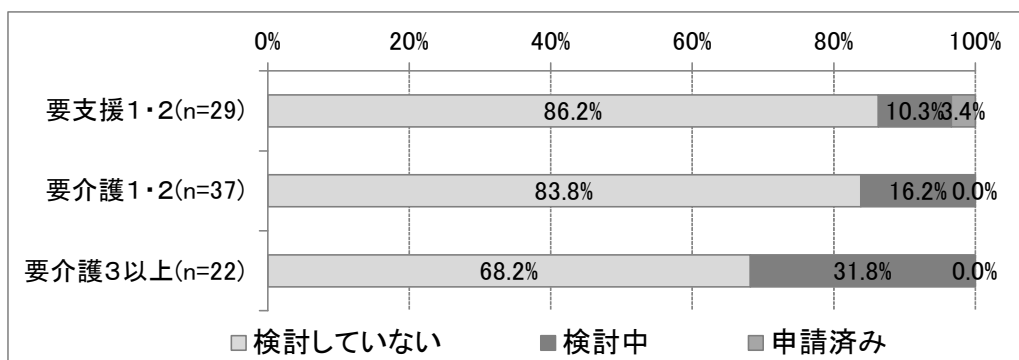
図表 4-14 要介護度別・施設等検討の状況（単身世帯） <*>



【要介護度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）】

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援１・２」では「検討していない」が 86.2% ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 10.3%、「申請済み」が 3.4% となっている。「要介護１・２」では「検討していない」が 83.8% ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 16.2%、「申請済み」が 0.0% となっている。「要介護３以上」では「検討していない」が 68.2% ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が 31.8%、「申請済み」が 0.0% となっている。

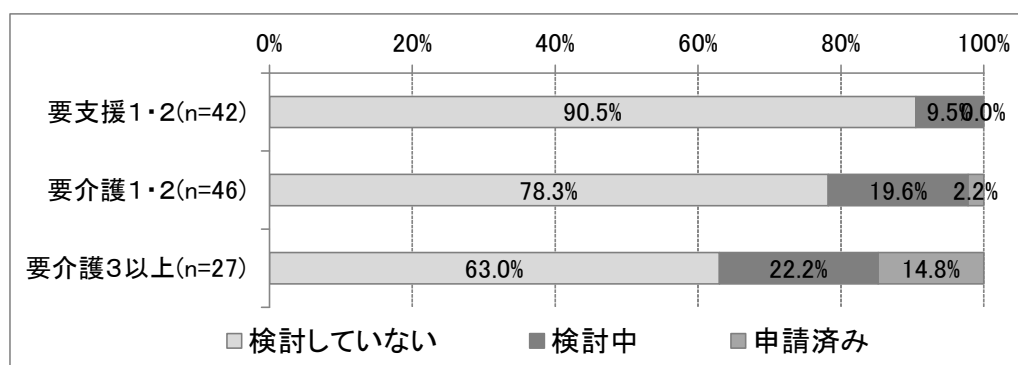
図表 4-15 要介護度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯） <+>



【要介護度別・施設等検討の状況（その他世帯）】

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が90.5%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が9.5%、「申請済み」が0.0%となっている。「要介護1・2」では「検討していない」が78.3%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が19.6%、「申請済み」が2.2%となっている。「要介護3以上」では「検討していない」が63.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が22.2%、「申請済み」が14.8%となっている。

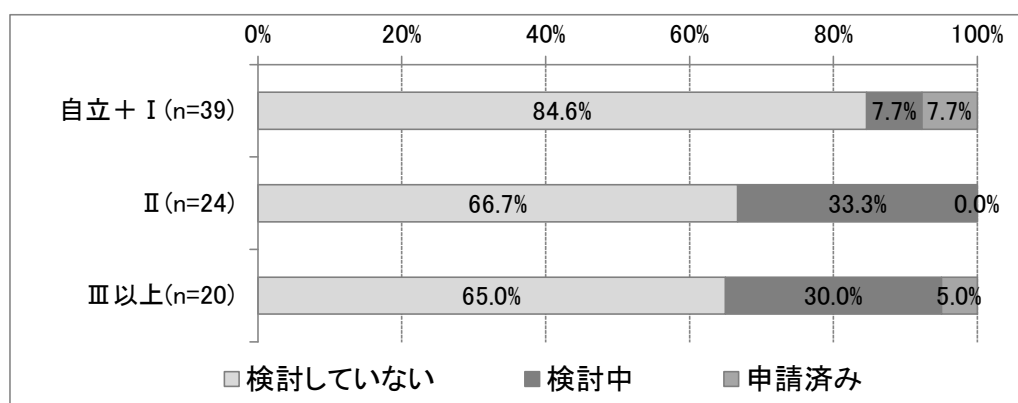
図表 4-16 要介護度別・施設等検討の状況（その他世帯） <***>



【認知症自立度別・施設等検討の状況（単身世帯）】

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「検討していない」が84.6%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」、「申請済み」が7.7%となっている。「Ⅱ」では「検討していない」が66.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が33.3%、「申請済み」が0.0%となっている。「Ⅲ以上」では「検討していない」が65.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が30.0%、「申請済み」が5.0%となっている。

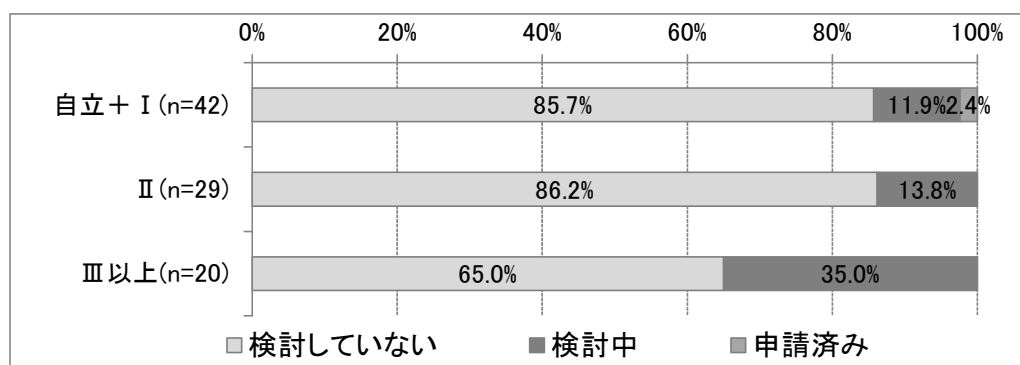
図表 4-17 認知症自立度別・施設等検討の状況（単身世帯） <+>



【認知症自立度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）】

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「検討していない」が85.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が11.9%、「申請済み」が2.4%となっている。「Ⅱ」では「検討していない」が86.2%と最も割合が高く、次いで「検討中」が13.8%、「申請済み」が0.0%となっている。「Ⅲ以上」では「検討していない」が65.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が35.0%、「申請済み」が0.0%となっている。

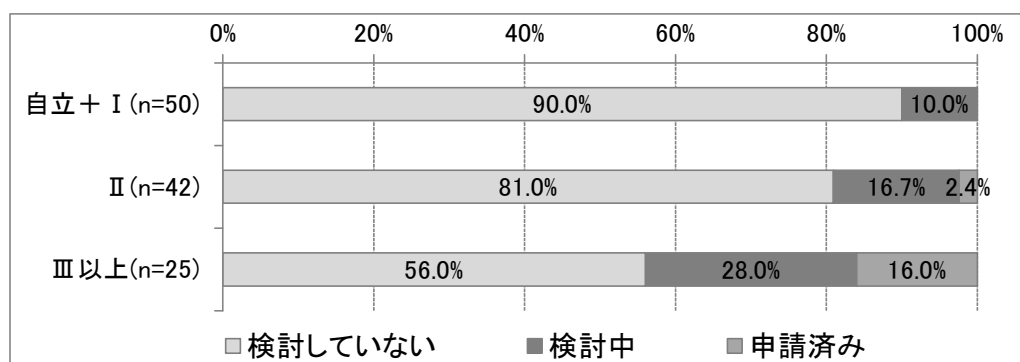
図表 4-18 認知症自立度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）<+>



【認知症自立度別・施設等検討の状況（その他の世帯）】

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「検討していない」が90.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が10.0%、「申請済み」が0.0%となっている。「Ⅱ」では「検討していない」が81.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が16.7%、「申請済み」が2.4%となっている。「Ⅲ以上」では「検討していない」が56.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が28.0%、「申請済み」が16.0%となっている。

図表 4-19 認知症自立度別・施設等検討の状況（その他の世帯）<***>



4.3 考察

○世帯類型による家族介護の負担の違い

- 単身世帯では軽度のうちは家族依存が低いものの、要介護3以上の重度化に伴い近居の家族等による「ほぼ毎日」の介護が5割近くに急増するのに対し、同居家族（夫婦のみ・その他世帯）では軽度の段階からすでに「ほぼ毎日」の割合が高く、要介護3以上では6～7割に達するなど、世帯類型によって違いが見られます。

○世帯類型によるサービス利用傾向の違い

- 要介護度・認知症自立度の重度化に伴い、単身世帯では日常的な生活支援や身体介護を直接外部に頼るべく「訪問系」サービスの利用割合が顕著に増加するのに対し、同居家族（夫婦のみ・その他世帯）では家族の恒常的な介護負担を軽減する目的から「通所系・短期系」サービスが利用されるなど、世帯環境によって在宅生活を維持するための手段が異なります。

○その他世帯（家族同居）における限界点の顕在化

- その他世帯では、要介護3以上や認知症Ⅲ以上になると、施設への「申請済み」割合が急増していることから、複数人の家族がいても、重度化や認知症の進行によって在宅介護の限界（限界点）を迎え、施設入所へ踏み切るケースが多いことが示唆されます。

○単身世帯における施設移行

- 単身世帯も同様に、要介護3以上になると「申請済み」が13.3%となり、単身での生活維持が困難になり施設へ移行する傾向が見られます。

○夫婦のみ世帯における傾向

- 夫婦のみ世帯は、要介護3以上や認知症Ⅲ以上へと重度化しても、「検討中」の割合は増えるものの「申請済み」の割合が0%にとどまっています。配偶者への責任感や経済的理由などから、限界を超えても施設へ移行できず、在宅で抱え込んでいる（老老介護の孤立化）リスクが高いことが推測されます。

医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

5.1 集計・分析の狙い

- ここでは、医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの検討につなげるための集計を行います。
- 具体的には、世帯類型別・要介護度別の「主な介護者が行っている介護」や「訪問診療の利用の有無」、「訪問診療の利用の有無別のサービス利用の組み合わせ」などの分析を行います。

5.2 集計結果と着目すべきポイント

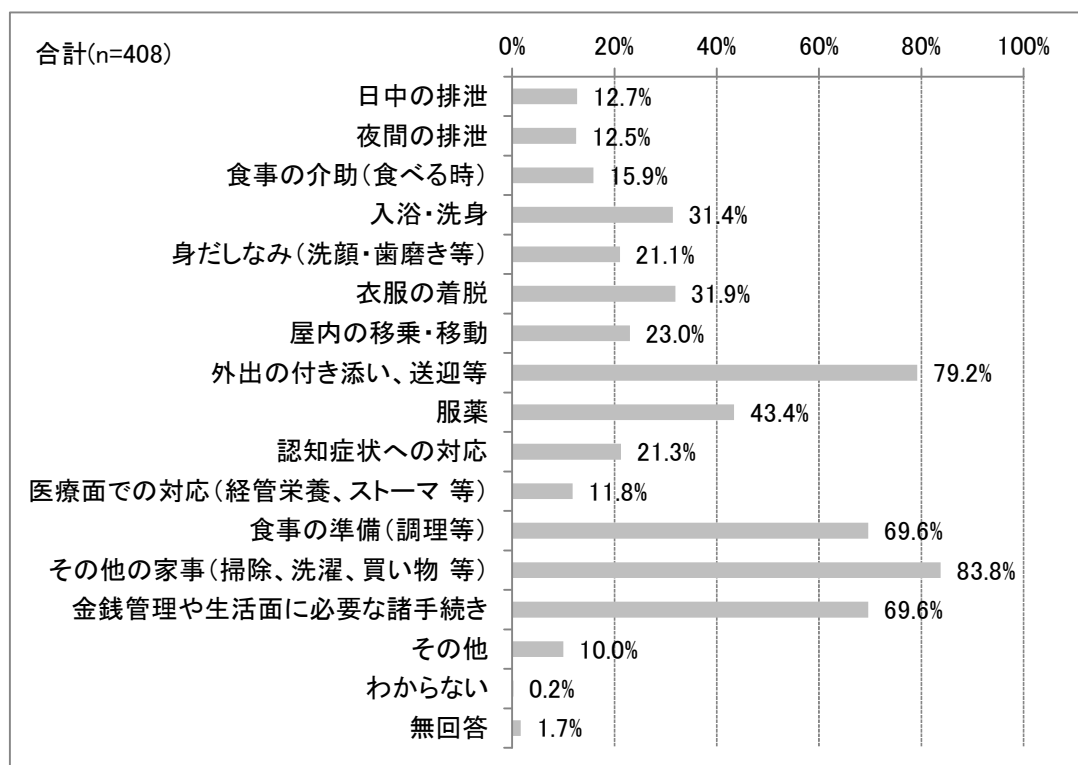
(1) 基礎集計

- 「主な介護者が行っている介護」について、要介護度別・世帯類型別の集計を行っています（図表 5-1～図表 5-3）。
- ここでは、特に「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」に着目し、家族等の主な介護者が「医療面での対応」を行っている割合を把握します。

【★主な介護者が行っている介護】

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」の割合が最も高く 83.8%となっている。次いで、「外出の付き添い、送迎等（79.2%）」、「食事の準備（調理等）（69.6%）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き（69.6%）」となっている。

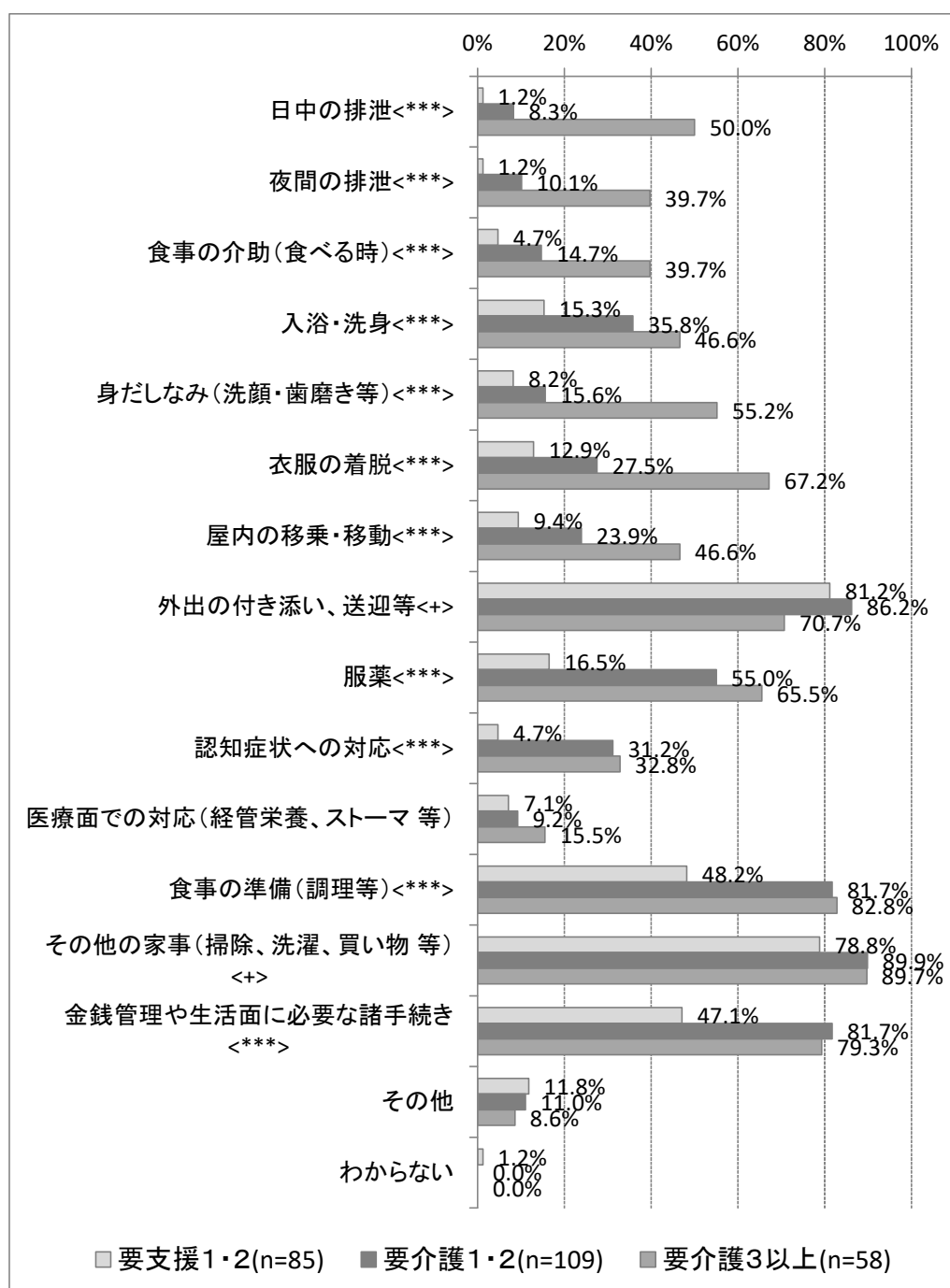
図表 5-1 ★主な介護者が行っている介護



【要介護度別・★主な介護者が行っている介護】

介護者が行っている介護を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「外出の付き添い、送迎等」が81.2%と最も割合が高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が78.8%、「食事の準備（調理等）」が48.2%となっている。「要介護1・2」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が89.9%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が86.2%、「食事の準備（調理等）」が81.7%となっている。「要介護3以上」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が89.7%と最も割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」が82.8%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が79.3%となっている。

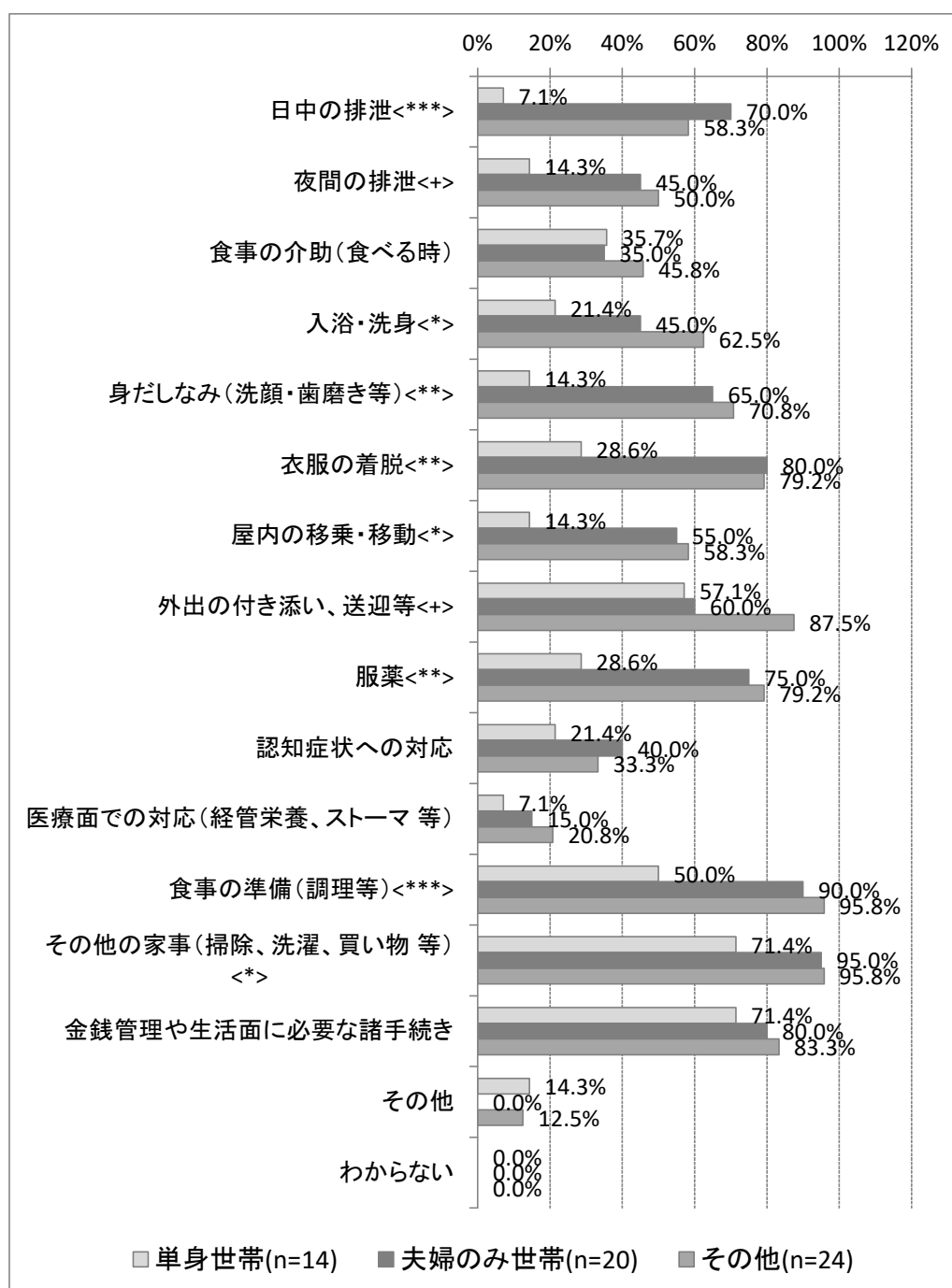
図表 5-2 要介護度別・★主な介護者が行っている介護



【世帯類型別・★主な介護者が行っている介護（要介護3以上）】

介護者が行っている介護を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が71.4%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が57.1%、「食事の準備（調理等）」が50.0%となっている。「夫婦のみ世帯」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が95.0%と最も割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」が90.0%、「衣服の着脱」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が80.0%となっている。「その他」では「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が95.8%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が87.5%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が83.3%となっている。

図表 5-3 世帯類型別・★主な介護者が行っている介護（要介護3以上）



(2) 訪問診療の利用割合

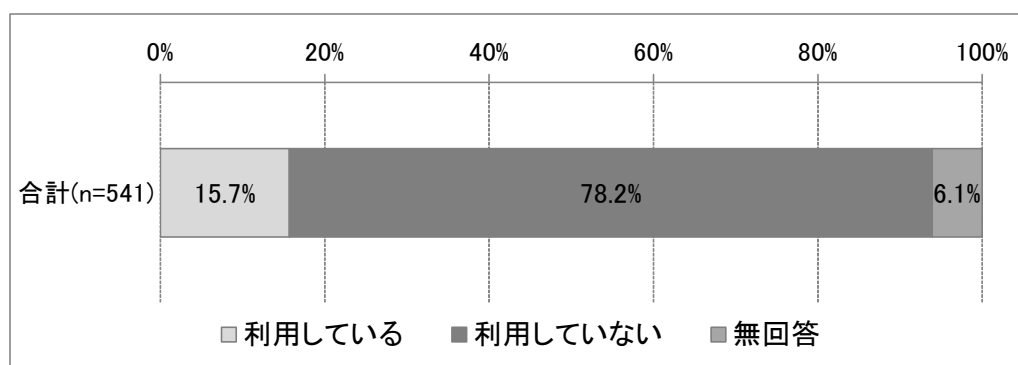
【着目すべきポイント】

- 「訪問診療の利用の有無」について、世帯類型別・要介護度別の集計を行っています（図表 5-4～図表 5-6）。
- 特に、「要介護度別の訪問診療の利用割合」を「将来の要介護度別の在宅療養者数」に乗じることで、「将来の在宅における訪問診療の利用者数」の粗推計を行うことも可能です。

【★訪問診療の利用の有無】

「利用していない」の割合が最も高く 78.2%となっている。次いで、「利用している（15.7%）」となっている。

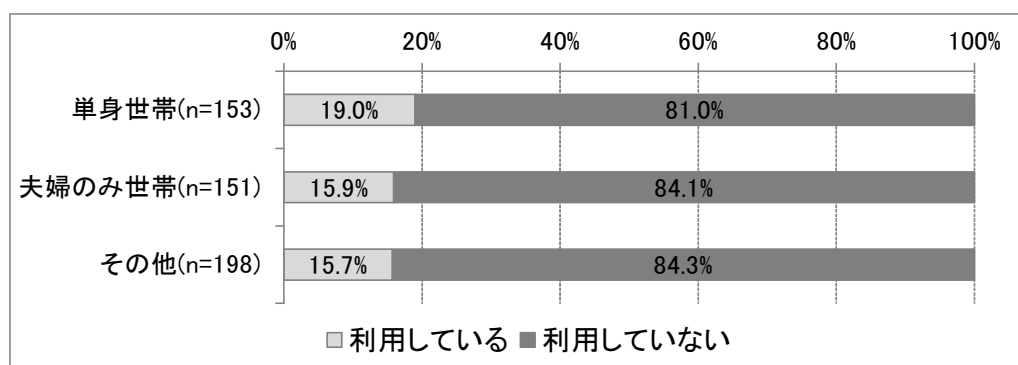
図表 5-4 ★訪問診療の利用の有無



【世帯類型別・★訪問診療の利用割合】

訪問診療の利用の有無を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「利用していない」が 81.0%ともっとも割合が高く、次いで「利用している」が 19.0%となっている。「夫婦のみ世帯」では「利用していない」が 84.1%ともっとも割合が高く、次いで「利用している」が 15.9%となっている。「その他」では「利用していない」が 84.3%ともっとも割合が高く、次いで「利用している」が 15.7%となっている。

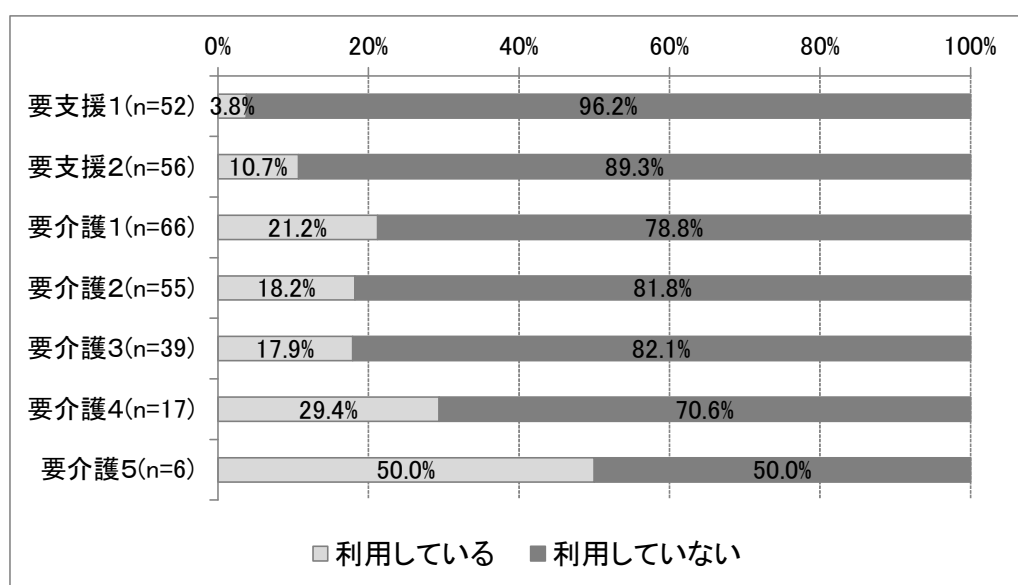
図表 5-5 世帯類型別・★訪問診療の利用割合



【要介護度別・★訪問診療の利用割合】

訪問診療の利用の有無を二次判定結果別にみると、「要支援1」では「利用していない」が96.2%と最も割合が高く、次いで「利用している」が3.8%となっている。「要支援2」では「利用していない」が89.3%と最も割合が高く、次いで「利用している」が10.7%となっている。「要介護1」では「利用していない」が78.8%と最も割合が高く、次いで「利用している」が21.2%となっている。「要介護2」では「利用していない」が81.8%と最も割合が高く、次いで「利用している」が18.2%となっている。「要介護3」では「利用していない」が82.1%と最も割合が高く、次いで「利用している」が17.9%となっている。「要介護4」では「利用していない」が70.6%と最も割合が高く、次いで「利用している」が29.4%となっている。「要介護5」では「利用している」、「利用していない」が50.0%と最も割合が高くなっている。

図表 5-6 要介護度別・★訪問診療の利用割合<*>



(3) 訪問診療の利用の有無別のサービス利用の組み合わせ

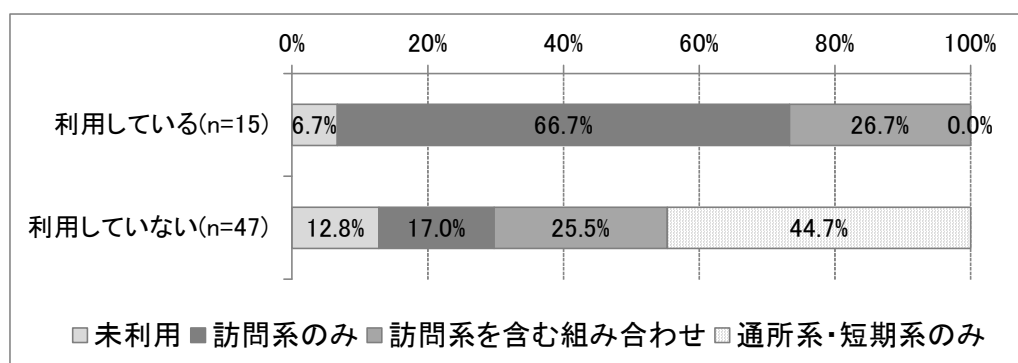
【着目すべきポイント】

- 訪問診療の利用の有無別に、要介護3以上の「サービス利用の組み合わせ」を集計しています（図表5-7）。
- 特に、今後在宅で療養生活を送る医療ニーズの高い中重度の要介護者の増加が見込まれる地域では、今後どのようなサービスに対する利用ニーズが高まるかを予測することにもつながります。

【★訪問診療の利用の有無別・サービス利用の組み合わせ（要介護3以上）】

サービス利用の組み合わせを訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「訪問系のみ」が66.7%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が26.7%、「未利用」が6.7%となっている。「利用していない」では「通所系・短期系のみ」が44.7%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が25.5%、「訪問系のみ」が17.0%となっている。

図表 5-7 ★訪問診療の利用の有無別・サービス利用の組み合わせ（要介護3以上）<***>



(4) 訪問診療の利用の有無別の訪問系・通所系・短期系サービスの利用の有無

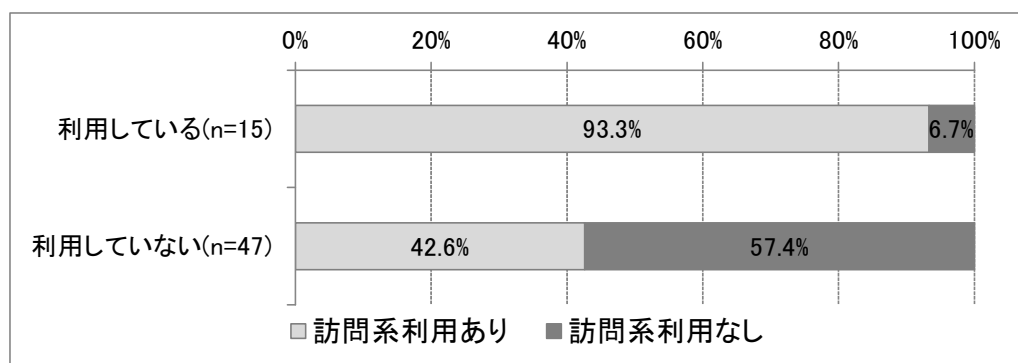
【着目すべきポイント】

- 訪問診療の利用の有無別に、要介護3以上について、訪問系・通所系・短期系のそれぞれのサービス利用の有無を集計しています（図表 5-8～図表 5-10）。
- 地域によっては、例えば「医療ニーズの高い要介護者」の受け入れが可能なショートステイが十分に整っていない場合に、訪問診療の利用の有無で短期系の利用割合が大きく異なることも想定されます。

【★訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（訪問系、要介護3以上）】

訪問系の利用の有無を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「訪問系利用あり」が93.3%と最も割合が高く、次いで「訪問系利用なし」が6.7%となっている。「利用していない」では「訪問系利用なし」が57.4%と最も割合が高く、次いで「訪問系利用あり」が42.6%となっている。

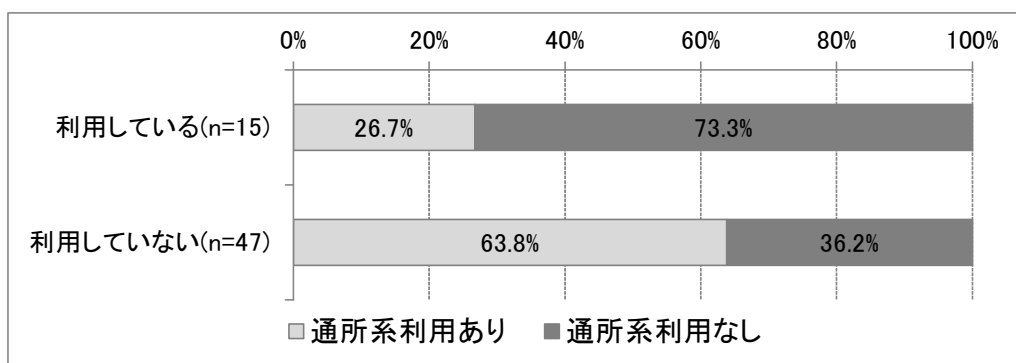
図表 5-8 ★訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（訪問系、要介護3以上）<***>



【★訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（通所系、要介護3以上）】

通所系の利用の有無（定期巡回を除く）を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「通所系利用なし」が73.3%と最も割合が高く、次いで「通所系利用あり」が26.7%となっている。「利用していない」では「通所系利用あり」が63.8%と最も割合が高く、次いで「通所系利用なし」が36.2%となっている。

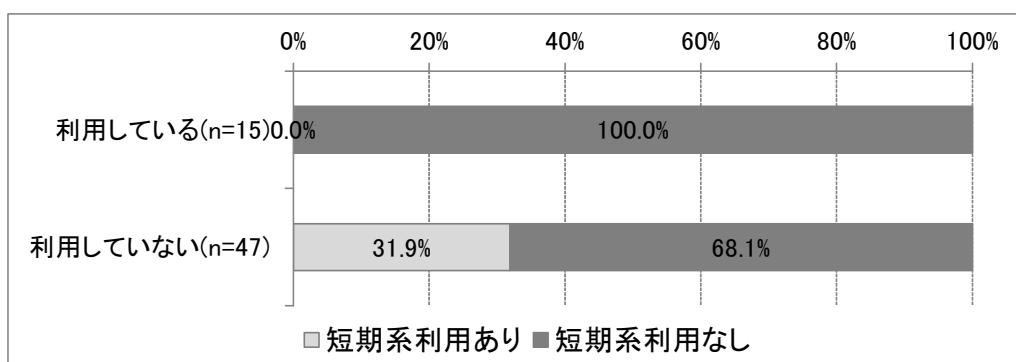
図表 5-9 ★訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（通所系、要介護3以上）<*>



【★訪問診療の利用の有無別・サービス利用の有無（短期系、要介護3以上）】

短期系の利用の有無（定期巡回を除く）を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「短期系利用なし」が100.0%と最も割合が高く、次いで「短期系利用あり」が0.0%となっている。「利用していない」では「短期系利用なし」が68.1%と最も割合が高く、次いで「短期系利用あり」が31.9%となっている。

図表 5-10 ★訪問診療の利用の有無別・サービス利用の有無（短期系、要介護3以上）<*>



5.3 考察

○重度化に伴う医療ニーズ（訪問診療の利用）の顕著な高まり

- 訪問診療の全体の利用率は1割半ばですが、要介護度の上昇に比例して利用率が大きく増加する傾向にあります。また、世帯類型による大きな差は見られず、身体的・認知的な重度化が直接的に医療ニーズに直結していることがわかります。

○医療ニーズが高い層における「訪問系サービス」への極端な依存

- 要介護3以上で「訪問診療を利用している（＝医療ニーズが高い）」層は、「訪問系サービス」の利用率が93.3%に達し、そのうち「訪問系のみ」で構成している割合が66.7%を占めていることから、医療ニーズを抱える療養者の在宅生活は、外部からの訪問支援により支えられていることがうかがえます。

○通所・短期系サービスの利用の壁と家族レスパイトの危機

- 要介護3以上において、訪問診療を「利用していない」層はデイサービスなどの「通所系・短期系」を中心とした利用で家族の介護負担を軽減していますが、訪問診療を「利用している」層では通所系の利用が大幅に下がり、ショートステイなどの短期系の利用はありません。

○家庭における医療面の対応について

- 経管栄養やストーマ、喀痰吸引などの「医療面での対応」については、要介護3以上の世帯では、夫婦のみ世帯で15.0%、その他世帯で20.8%行われていることから、家族の負担軽減の方法を確保することが求められます。

サービス未利用の理由など

6.1 集計・分析の狙い

- ここでは、各地域において支援・サービスの提供体制の構築を含む各種の取組を検討する際に、参考になると考えられるいくつかの集計結果を整理しています。
- 主要なデータは、テーマ1～テーマ5において整理をしていますが、ここで整理する集計結果も必要に応じてご活用ください。

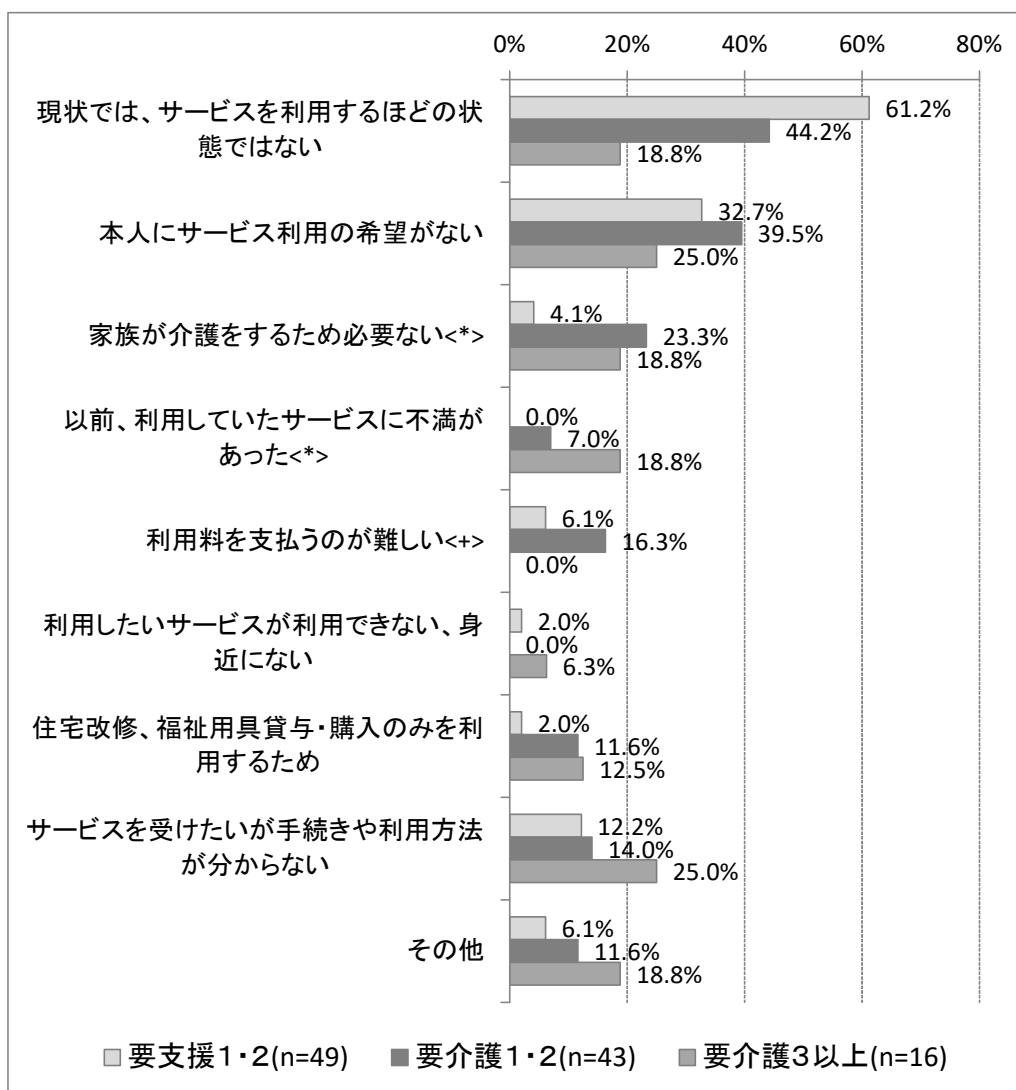
6.2 集計結果（参考）

(1) 要介護度別・世帯類型別のサービス未利用の理由

【要介護度別の★サービス未利用の理由】

未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が61.2%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が32.7%、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が12.2%となっている。「要介護1・2」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が44.2%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が39.5%、「家族が介護をするため必要ない」が23.3%となっている。「要介護3以上」では「本人にサービス利用の希望がない」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が25.0%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「家族が介護をするため必要ない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「その他」が18.8%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が12.5%となっている。

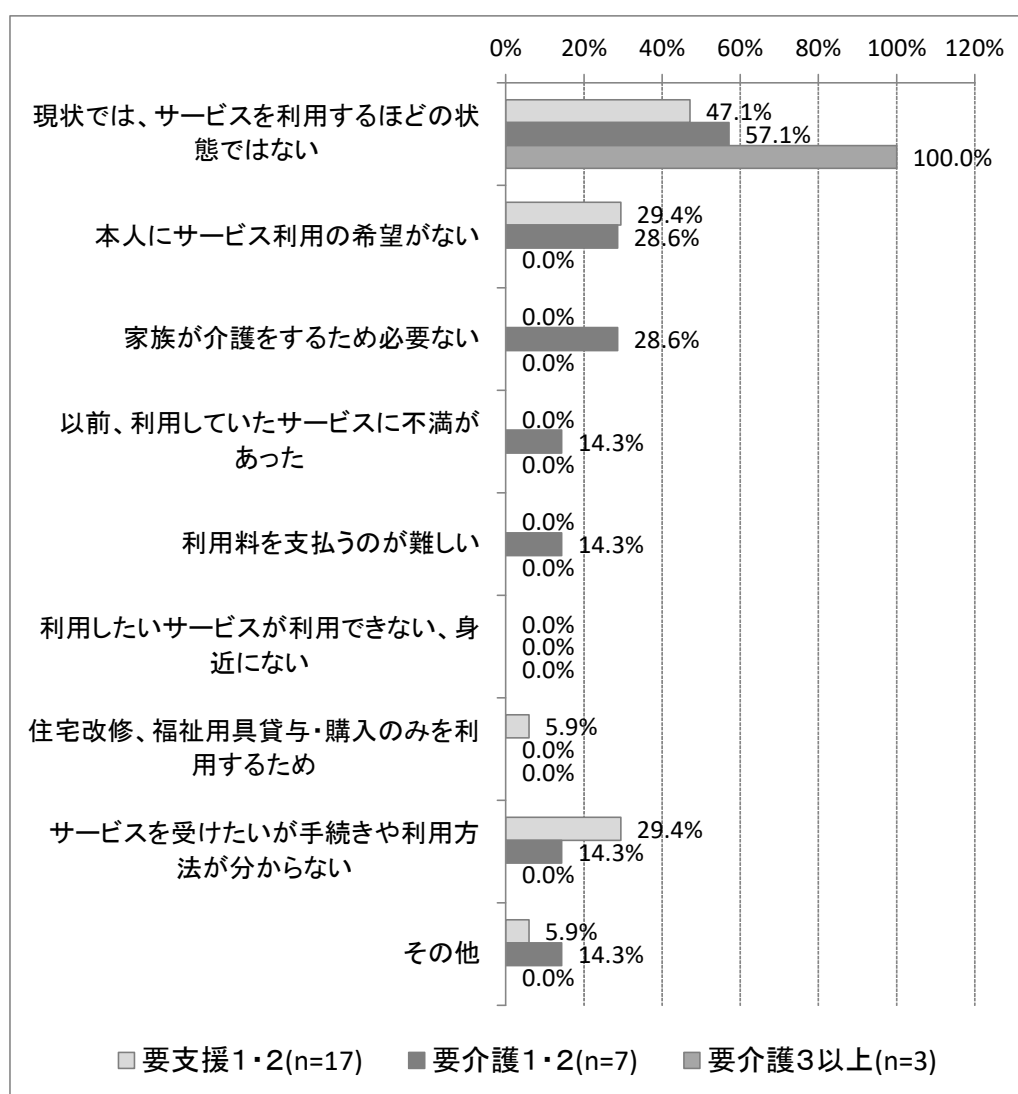
図表 6-1 要介護度別の★サービス未利用の理由



【要介護度別の★サービス未利用の理由（単身世帯）】

未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が47.1%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が29.4%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「その他」が5.9%となっている。「要介護1・2」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が57.1%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」が28.6%、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用料を支払うのが難しい」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」、「その他」が14.3%となっている。「要介護3以上」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が100.0%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用料を支払うのが難しい」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」、「その他」が0.0%となっている。

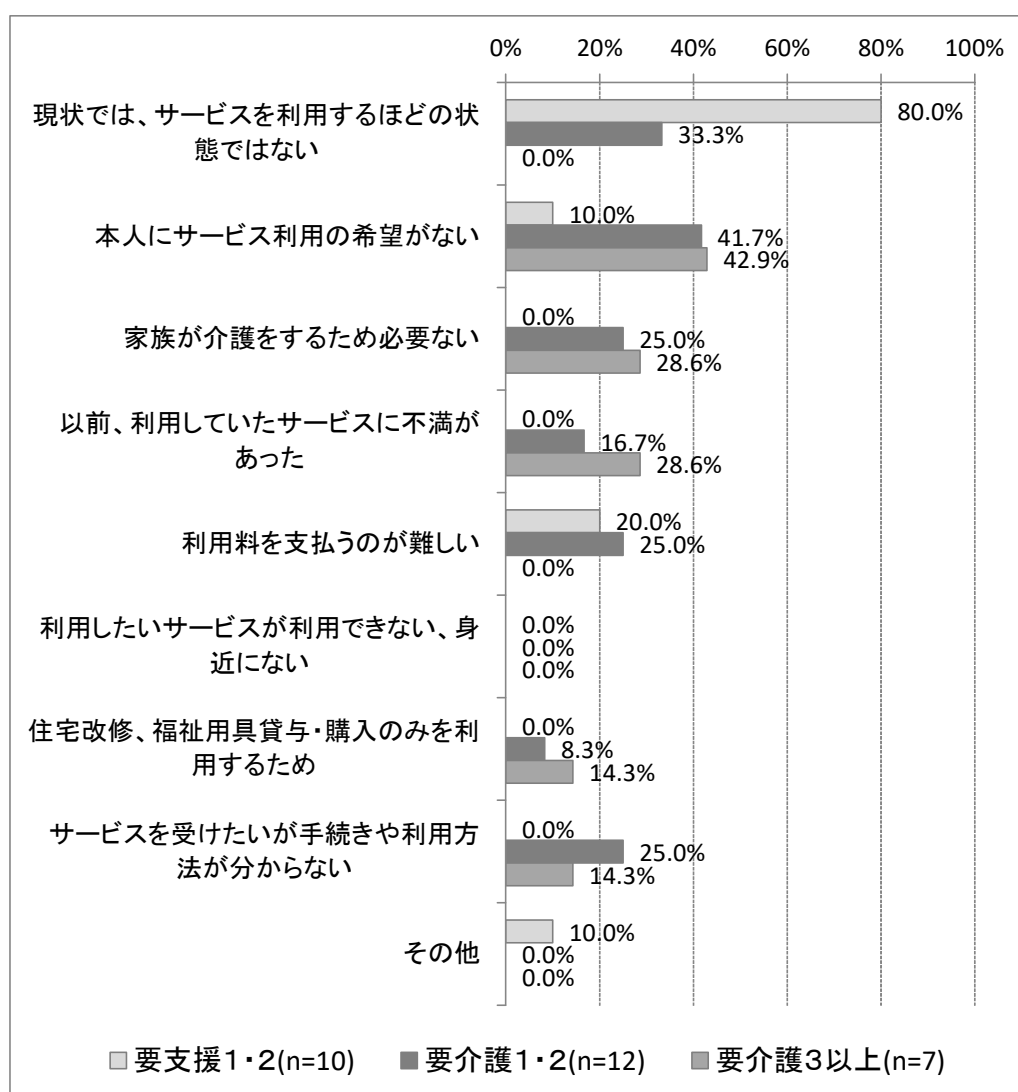
図表 6-2 要介護度別の★サービス未利用の理由（単身世帯）



【要介護度別の★サービス未利用の理由（夫婦のみ世帯）】

未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が80.0%と最も割合が高く、次いで「利用料を支払うのが難しい」が20.0%、「本人にサービス利用の希望がない」、「その他」が10.0%となっている。「要介護1・2」では「本人にサービス利用の希望がない」が41.7%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が33.3%、「家族が介護をするため必要ない」、「利用料を支払うのが難しい」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が25.0%となっている。「要介護3以上」では「本人にサービス利用の希望がない」が42.9%と最も割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が14.3%となっている。

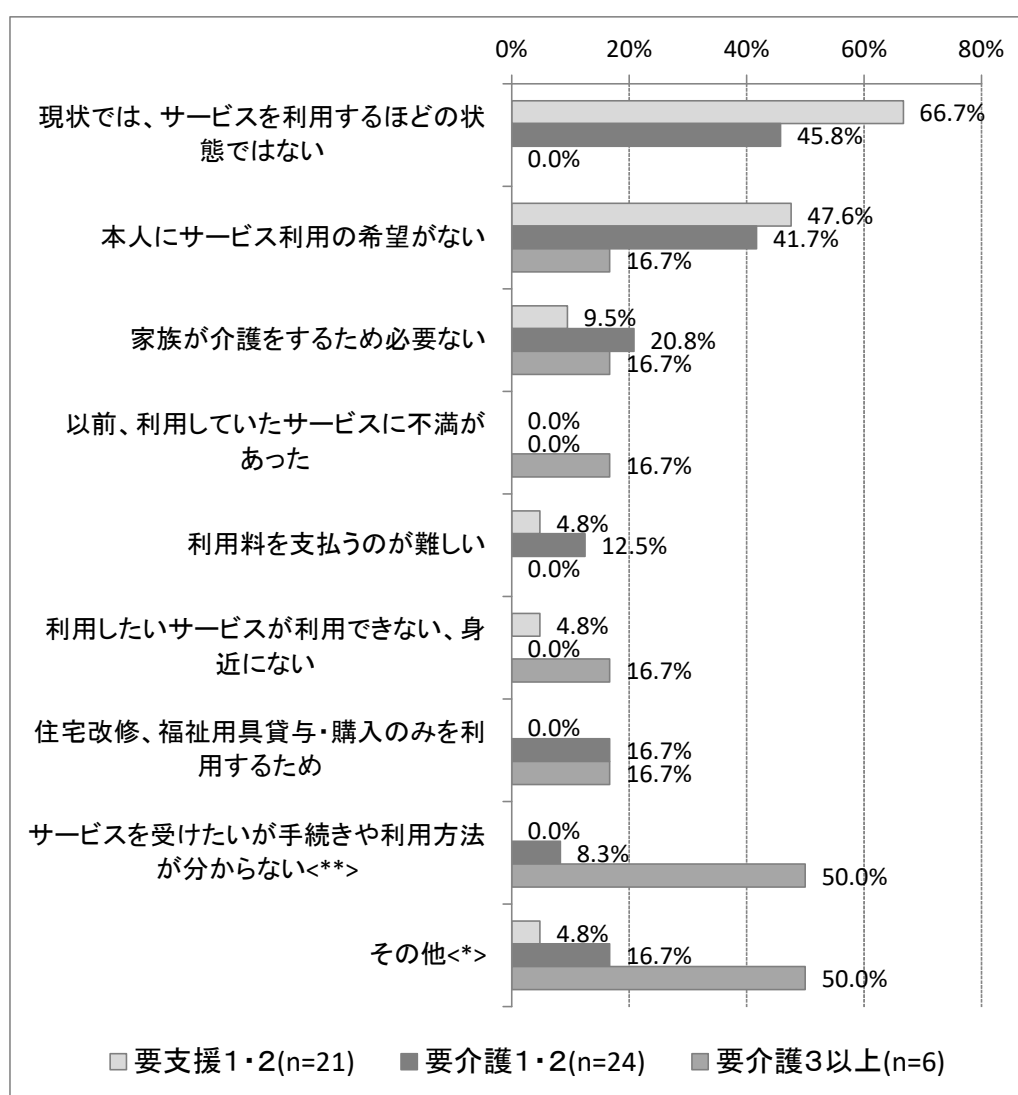
図表 6-3 要介護度別の★サービス未利用の理由（夫婦のみ世帯）



【要介護度別の★サービス未利用の理由（その他世帯）】

未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が66.7%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が47.6%、「家族が介護をするため必要ない」が9.5%となっている。「要介護1・2」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が45.8%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が41.7%、「家族が介護をするため必要ない」が20.8%となっている。「要介護3以上」では「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」、「その他」が50.0%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が16.7%、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「利用料を支払うのが難しい」が0.0%となっている。

図表 6-4 要介護度別の★サービス未利用の理由（その他世帯）

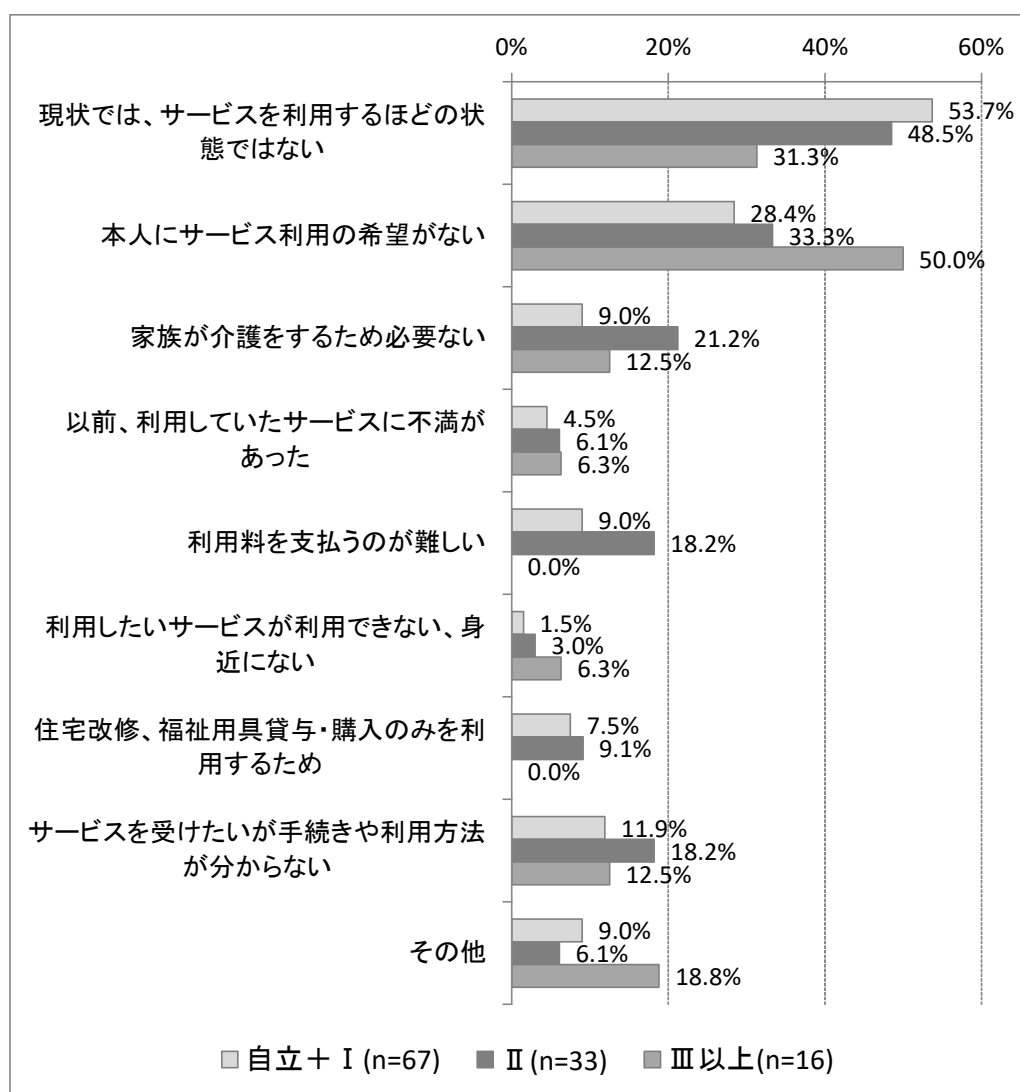


(2) 認知症自立度別・世帯類型別のサービス未利用の理由

【認知症自立度別の★サービス未利用の理由】

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 53.7%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 28.4%、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が 11.9%となっている。「Ⅱ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 48.5%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 33.3%、「家族が介護をするため必要ない」が 21.2%となっている。「Ⅲ以上」では「本人にサービス利用の希望がない」が 50.0%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 31.3%、「その他」が 18.8%となっている。

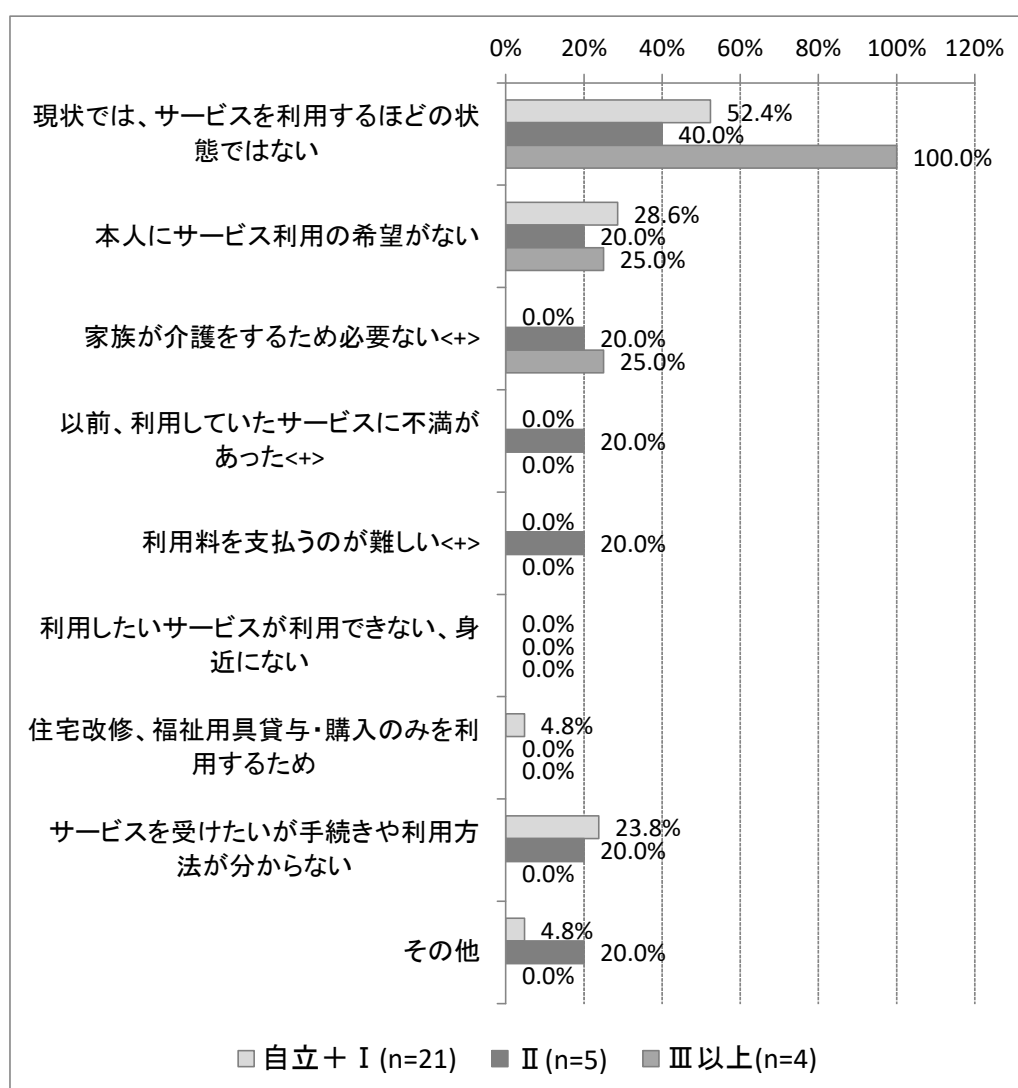
図表 6-5 認知症自立度別の★サービス未利用の理由



【認知症自立度別の★サービス未利用の理由（単身世帯）】

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が52.4%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が28.6%、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が23.8%となっている。「Ⅱ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が40.0%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用料を支払うのが難しい」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」、「その他」が20.0%、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が0.0%となっている。「Ⅲ以上」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が100.0%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」が25.0%、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用料を支払うのが難しい」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」、「その他」が0.0%となっている。

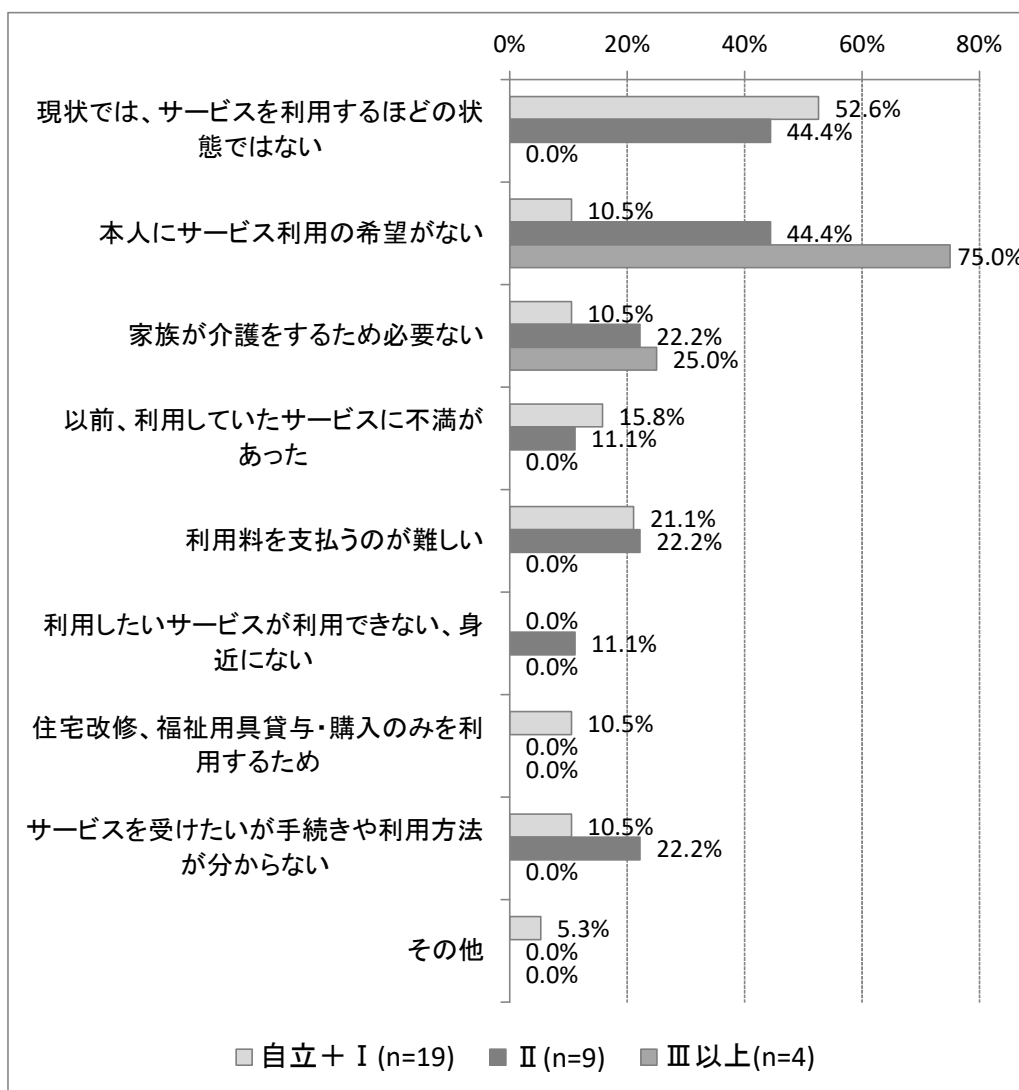
図表 6-6 認知症自立度別の★サービス未利用の理由（単身世帯）



【認知症自立度別の★サービス未利用の理由（夫婦のみ世帯）】

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が52.6%ともっとも割合が高く、次いで「利用料を支払うのが難しい」が21.1%、「以前、利用していたサービスに不満があった」が15.8%となっている。「Ⅱ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」が44.4%ともっとも割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」、「利用料を支払うのが難しい」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が22.2%、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」が11.1%となっている。「Ⅲ以上」では「本人にサービス利用の希望がない」が75.0%ともっとも割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が25.0%、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用料を支払うのが難しい」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」、「その他」が0.0%となっている。

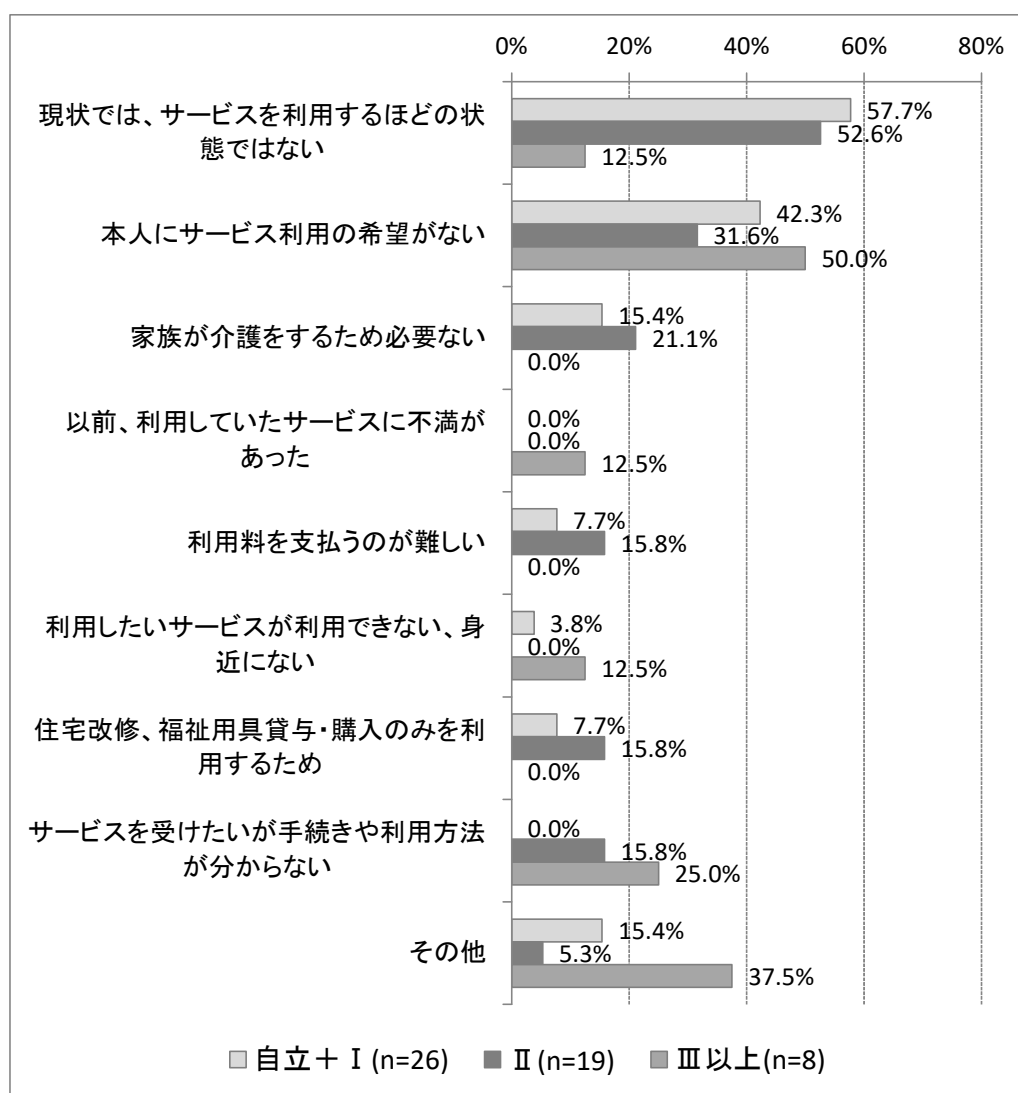
図表 6-7 認知症自立度別の★サービス未利用の理由（夫婦のみ世帯）



【認知症自立度別の★サービス未利用の理由（その他世帯）】

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が57.7%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が42.3%、「家族が介護をするため必要ない」、「その他」が15.4%となっている。「Ⅱ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が52.6%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が31.6%、「家族が介護をするため必要ない」が21.1%となっている。「Ⅲ以上」では「本人にサービス利用の希望がない」が50.0%と最も割合が高く、次いで「その他」が37.5%、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が25.0%となっている。

図表 6-8 認知症自立度別の★サービス未利用の理由（その他世帯）

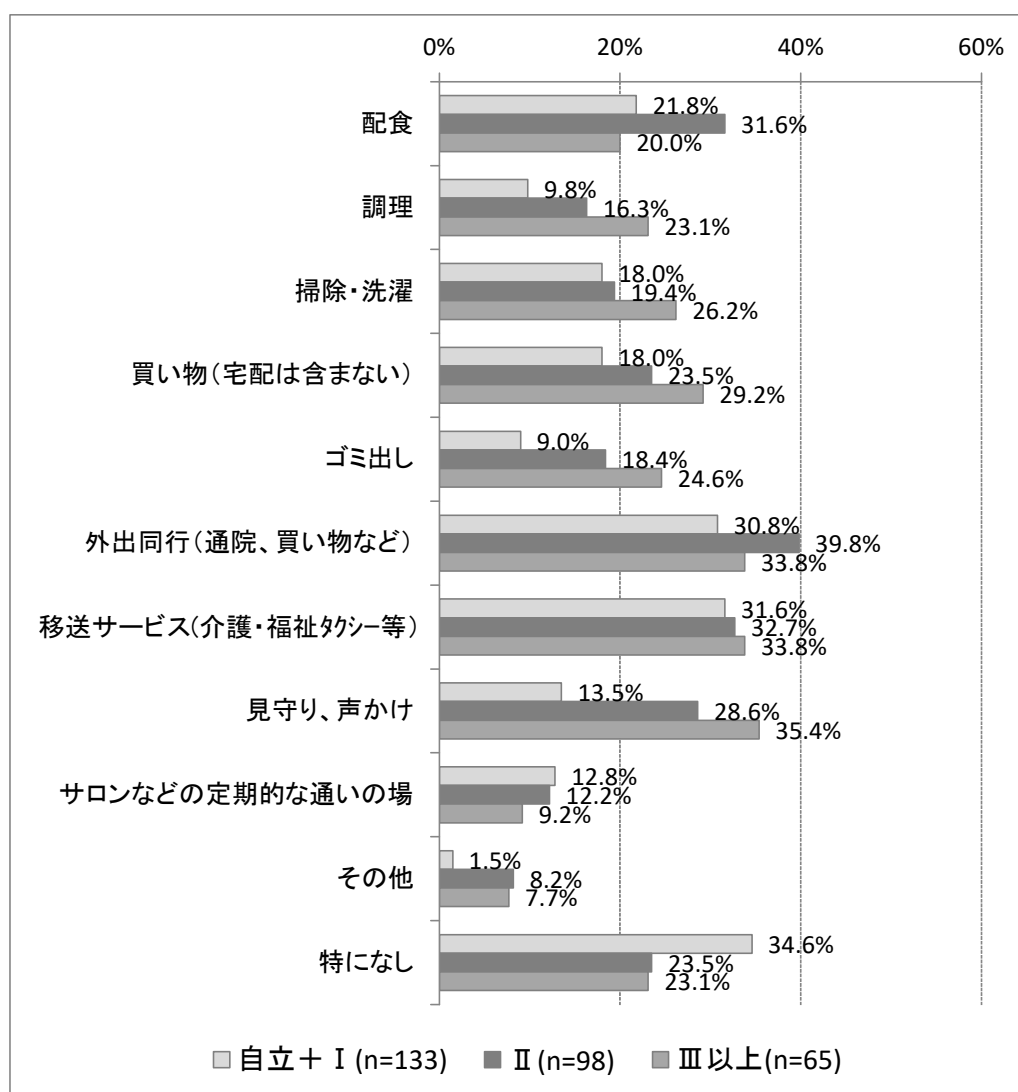


(3) 認知症自立度別の今後の在宅生活に必要なと感じる支援・サービス

【認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス】

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「特になし」が34.6%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が31.6%、「外出同行（通院、買い物など）」が30.8%となっている。「Ⅱ」では「外出同行（通院、買い物など）」が39.8%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が32.7%、「配食」が31.6%となっている。「Ⅲ以上」では「見守り、声かけ」が35.4%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が33.8%、「買い物（宅配は含まない）」が29.2%となっている。

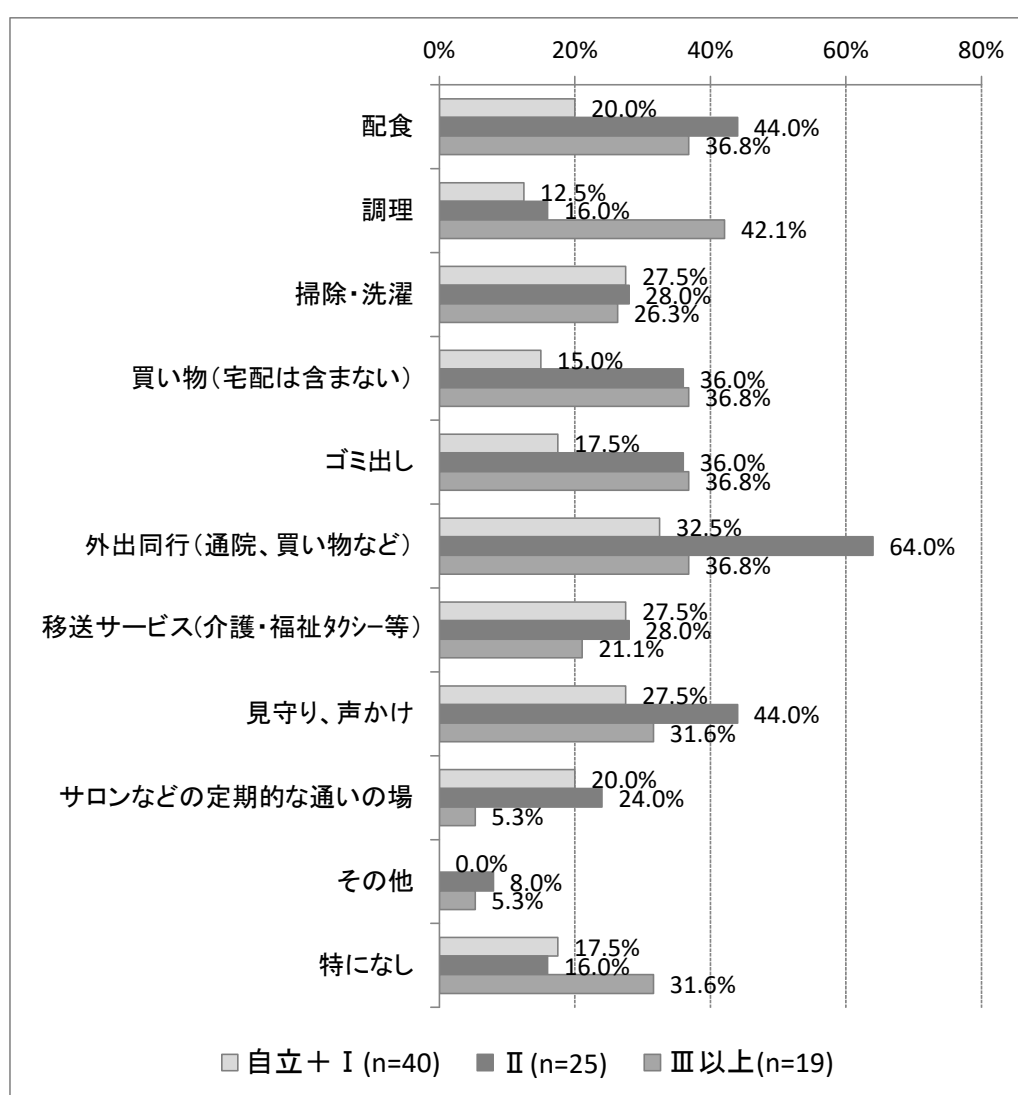
図表 6-9 認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス



【認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）】

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「外出同行（通院、買い物など）」が32.5%と最も割合が高く、次いで「掃除・洗濯」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「見守り、声かけ」が27.5%、「配食」、「サロンなどの定期的な通いの場」が20.0%となっている。「Ⅱ」では「外出同行（通院、買い物など）」が64.0%と最も割合が高く、次いで「配食」、「見守り、声かけ」が44.0%、「買い物（宅配は含まない）」、「ゴミ出し」が36.0%となっている。「Ⅲ以上」では「調理」が42.1%と最も割合が高く、次いで「配食」、「買い物（宅配は含まない）」、「ゴミ出し」、「外出同行（通院、買い物など）」が36.8%、「見守り、声かけ」、「特になし」が31.6%となっている。

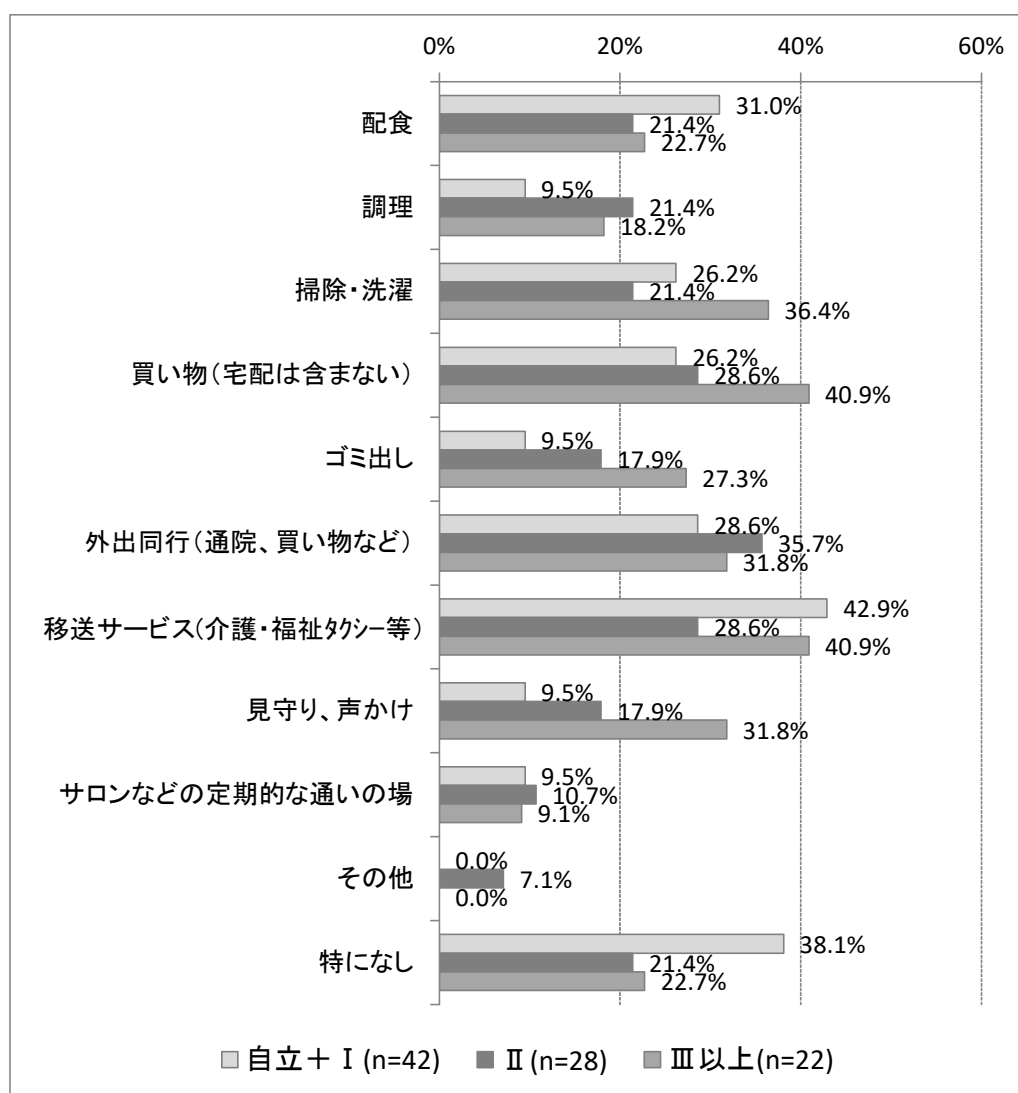
図表 6-10 認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）



【認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）】

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が42.9%と最も割合が高く、次いで「特になし」が38.1%、「配食」が31.0%となっている。「Ⅱ」では「外出同行（通院、買い物など）」が35.7%と最も割合が高く、次いで「買い物（宅配は含まない）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が28.6%、「配食」、「調理」、「掃除・洗濯」、「特になし」が21.4%となっている。「Ⅲ以上」では「買い物（宅配は含まない）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が40.9%と最も割合が高く、次いで「掃除・洗濯」が36.4%、「外出同行（通院、買い物など）」、「見守り、声かけ」が31.8%となっている。

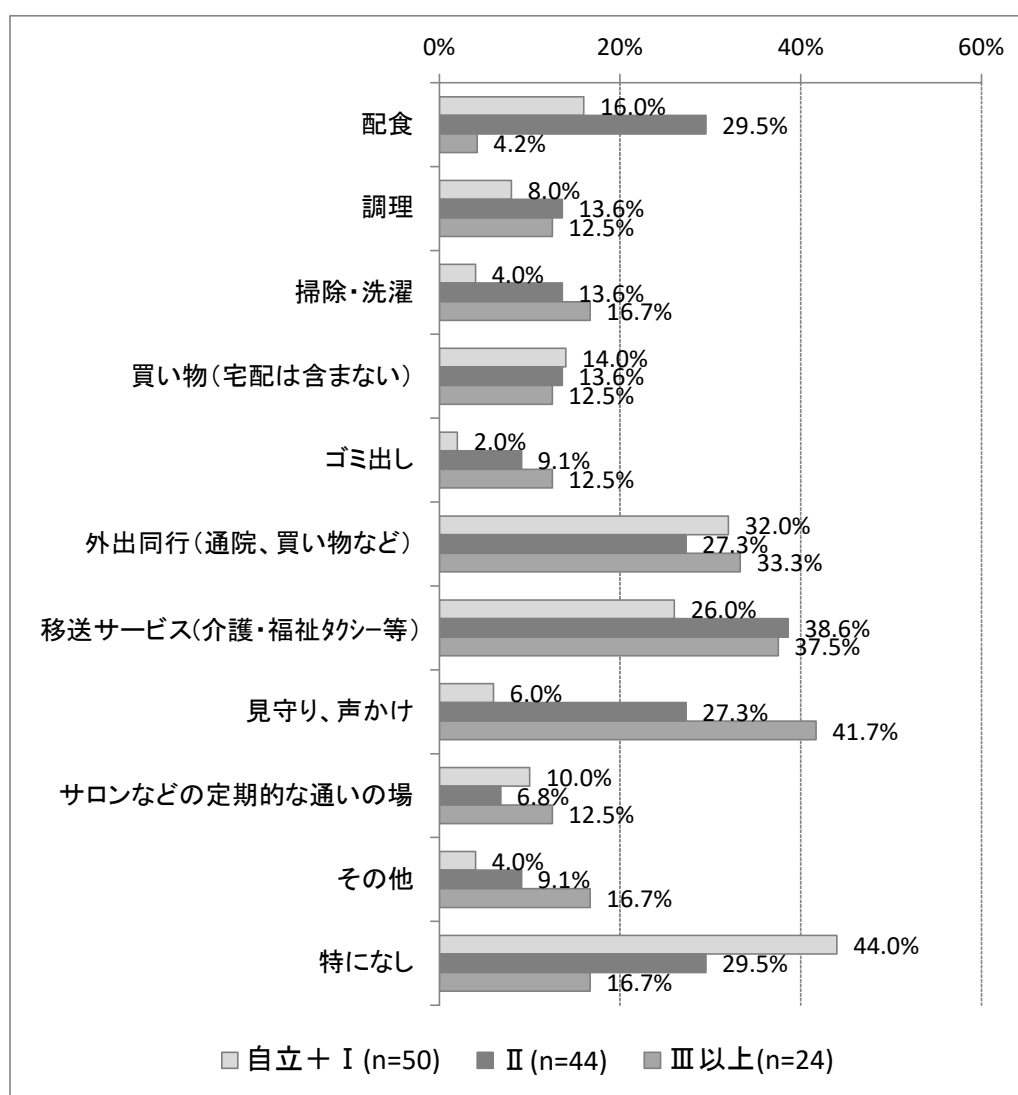
図表 6-11 認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）



【認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）】

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「特になし」が44.0%ともっとも割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が32.0%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が26.0%となっている。「Ⅱ」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が38.6%ともっとも割合が高く、次いで「配食」、「特になし」が29.5%、「外出同行（通院、買い物など）」、「見守り、声かけ」が27.3%となっている。「Ⅲ以上」では「見守り、声かけ」が41.7%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が37.5%、「外出同行（通院、買い物など）」が33.3%となっている。

図表 6-12 認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）

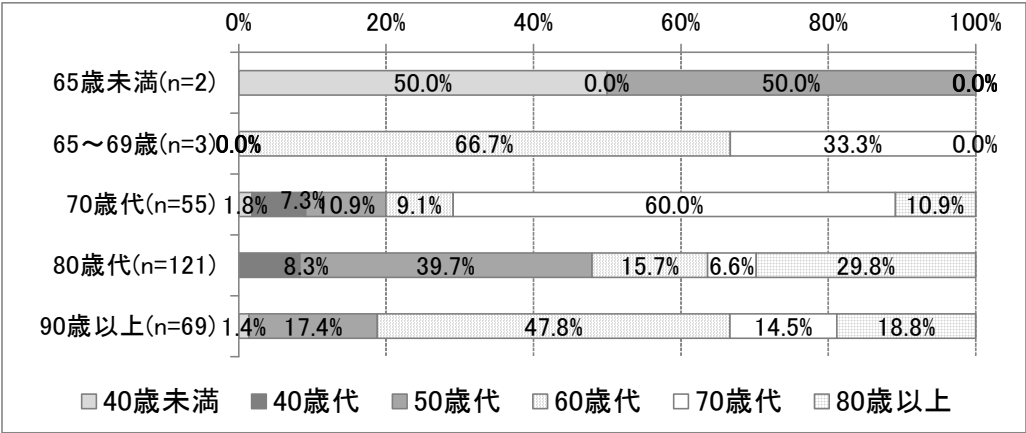


(4) 本人の年齢別・主な介護者の年齢

【本人の年齢別・主な介護者の年齢】

介護者の年齢を本人年齢別にみると、「65 歳未満」では「40 歳未満」、「50 歳代」が 50.0%と最も割合が高く、次いで「40 歳代」、「60 歳代」、「70 歳代」、「80 歳以上」が 0.0%となっている。「65～69 歳」では「60 歳代」が 66.7%と最も割合が高く、次いで「70 歳代」が 33.3%、「40 歳未満」、「40 歳代」、「50 歳代」、「80 歳以上」が 0.0%となっている。「70 歳代」では「70 歳代」が 60.0%と最も割合が高く、次いで「50 歳代」、「80 歳以上」が 10.9%、「60 歳代」が 9.1%となっている。「80 歳代」では「50 歳代」が 39.7%と最も割合が高く、次いで「80 歳以上」が 29.8%、「60 歳代」が 15.7%となっている。「90 歳以上」では「60 歳代」が 47.8%と最も割合が高く、次いで「80 歳以上」が 18.8%、「50 歳代」が 17.4%となっている。

図表 6-13 本人の年齢別・主な介護者の年齢<***>

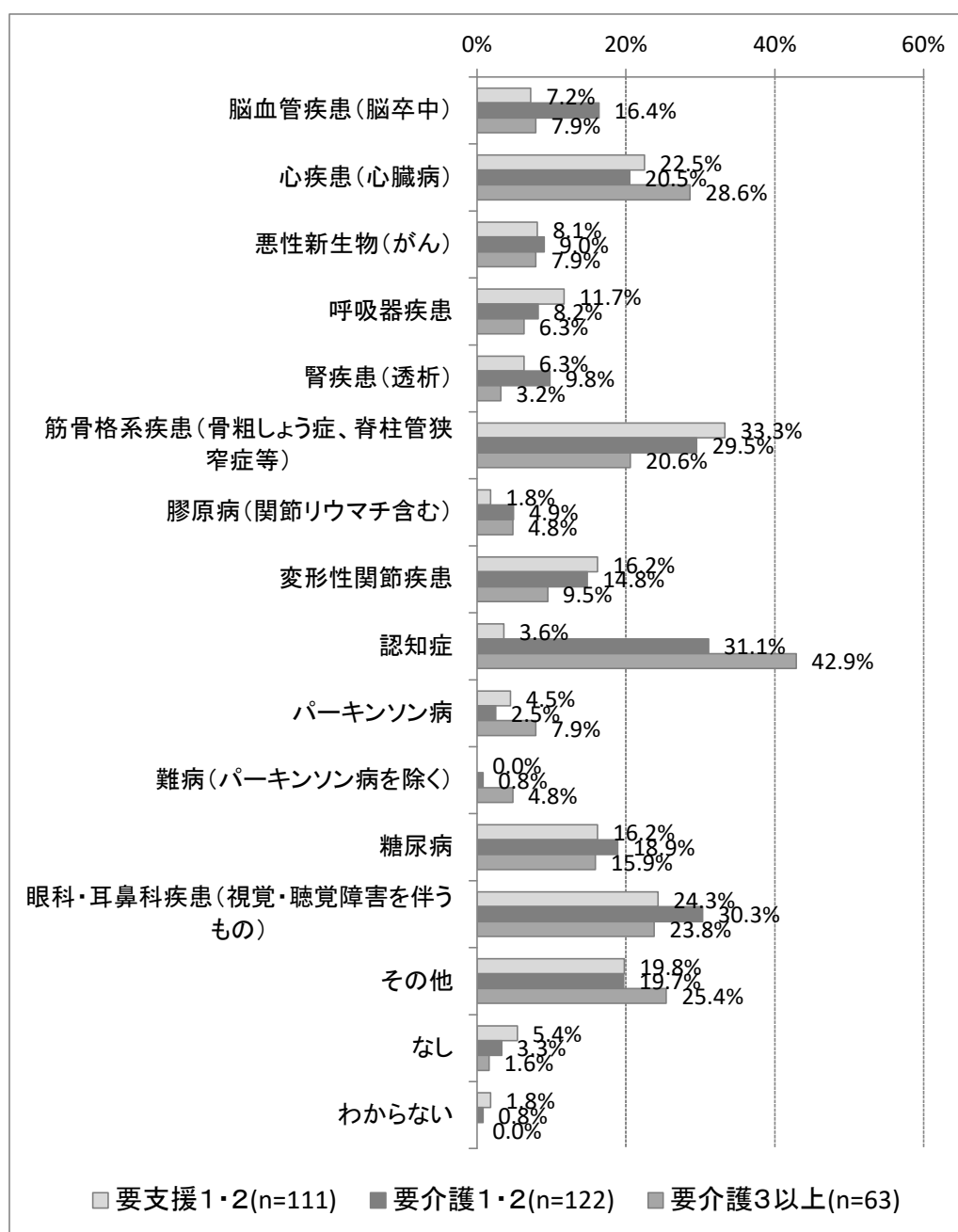


(5) 要介護度別の抱えている傷病

【要介護度別・★抱えている傷病】

抱えている傷病を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が33.3%と最も割合が高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が24.3%、「心疾患（心臓病）」が22.5%となっている。「要介護1・2」では「認知症」が31.1%と最も割合が高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が30.3%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が29.5%となっている。「要介護3以上」では「認知症」が42.9%と最も割合が高く、次いで「心疾患（心臓病）」が28.6%、「その他」が25.4%となっている。

図表 6-14 要介護度別・★抱えている傷病

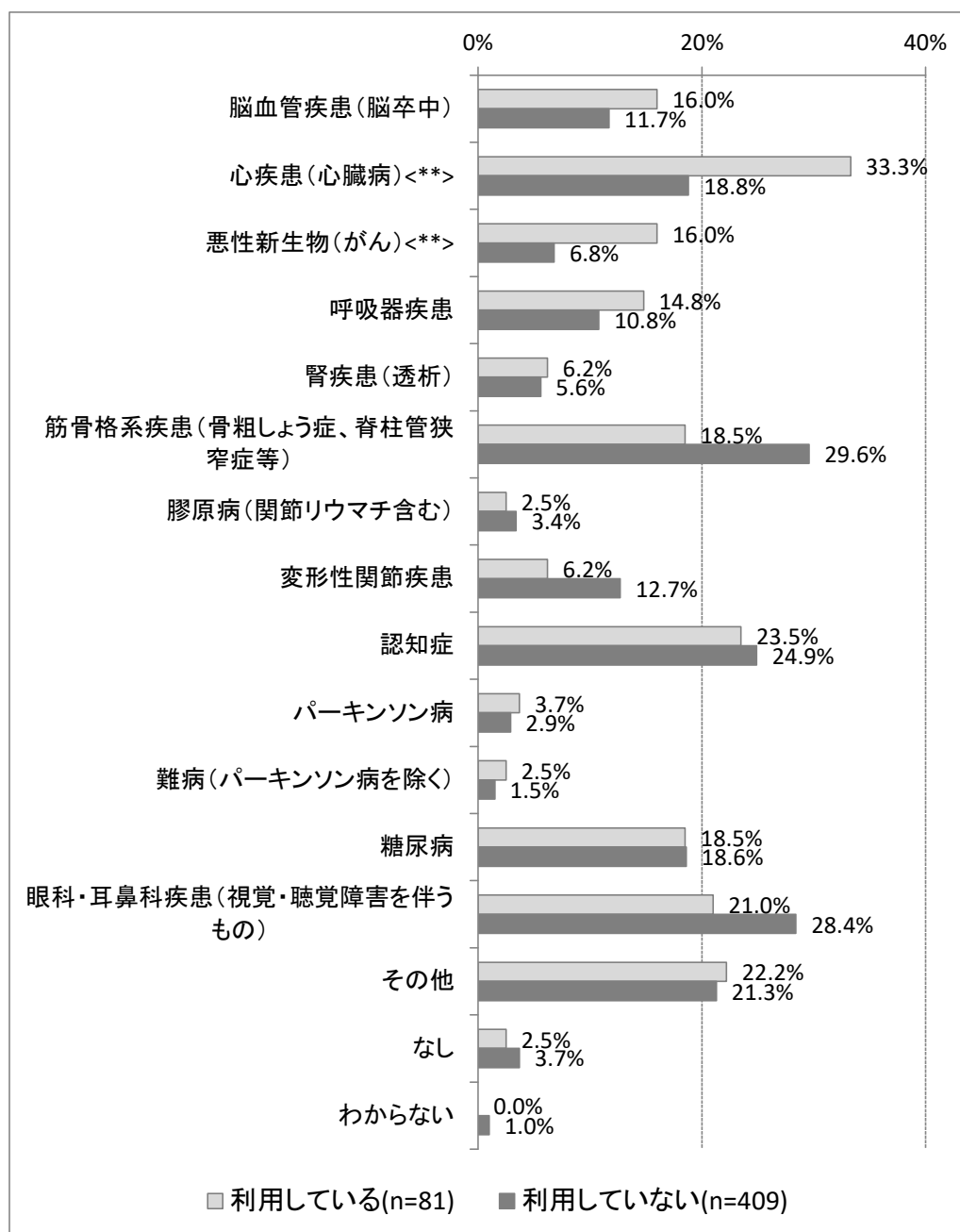


(6) 訪問診療の利用の有無別の抱えている傷病

【★訪問診療の利用の有無別・★抱えている傷病】

抱えている傷病を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「心疾患（心臓病）」が33.3%と最も割合が高く、次いで「認知症」が23.5%、「その他」が22.2%となっている。「利用していない」では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が29.6%と最も割合が高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が28.4%、「認知症」が24.9%となっている。

図表 6-15 ★訪問診療の利用の有無別・★抱えている傷病



V 「事業所調査」 調査結果

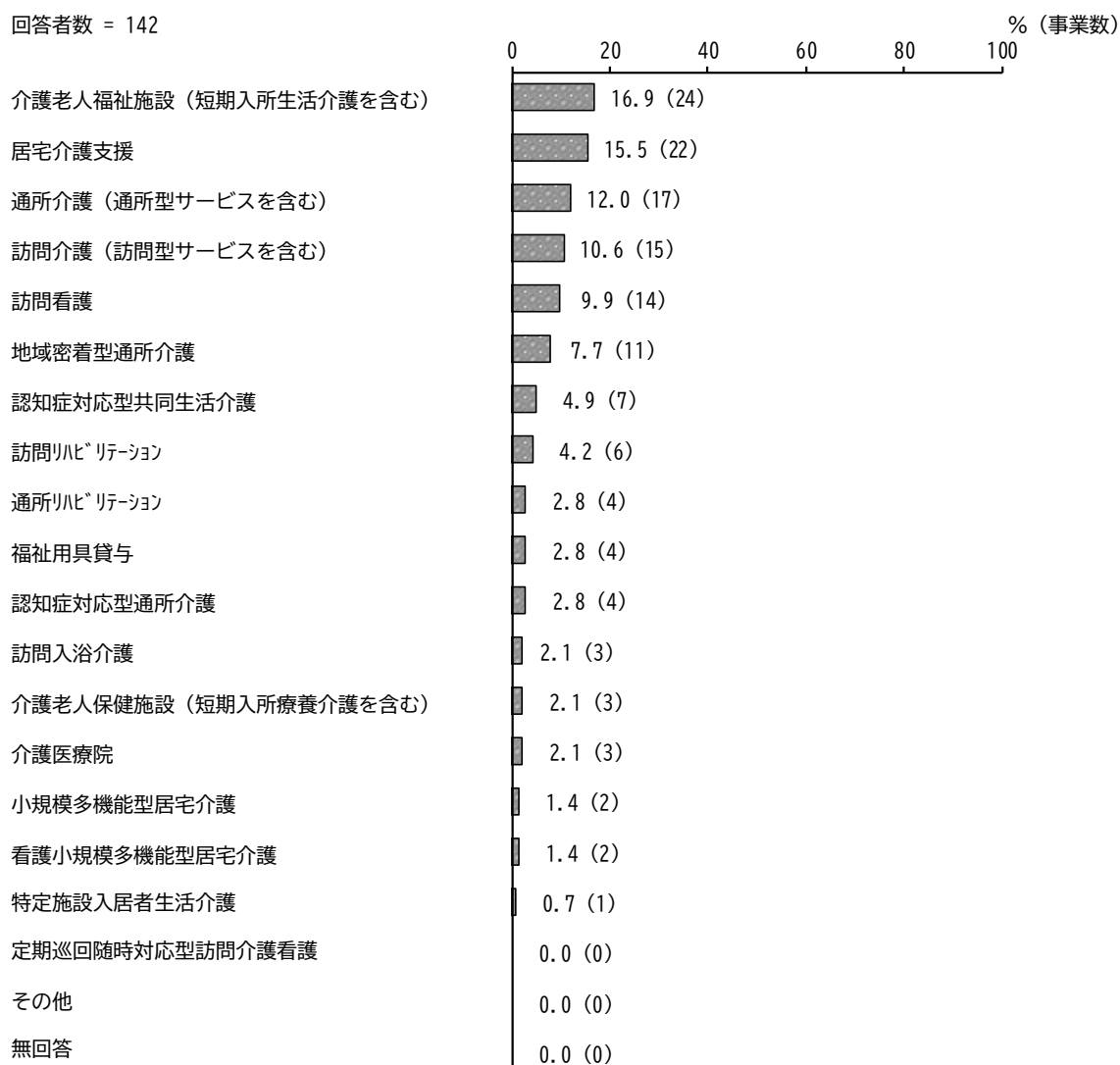
1 基本調査

問1 貴事業所の概要についてお答えください。

実施事業（介護予防を含む）

「介護老人福祉施設（短期入所生活介護を含む）」の割合が16.9%と最も高く、次いで「居宅介護支援」の割合が15.5%、「通所介護（通所型サービスを含む）」の割合が12.0%となっています。

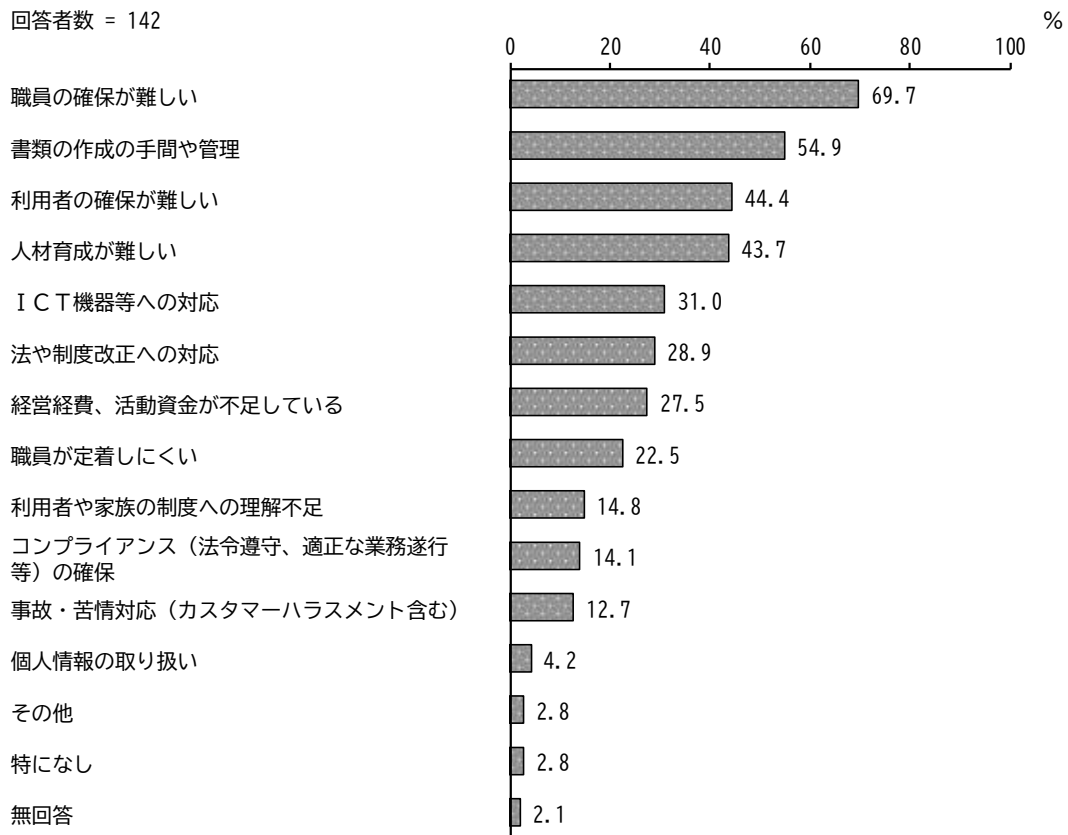
回答者数 = 142



問2 現在、貴事業所の円滑な事業運営を進めていくうえで、支障となっていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

「職員の確保が難しい」の割合が69.7%と最も高く、次いで「書類の作成の手間や管理」の割合が54.9%、「利用者の確保が難しい」の割合が44.4%となっています。

回答者数 = 142



【サービス種別】

サービス種別にみると、全体と比べ、施設系サービスで「職員の確保が難しい」「人材育成が難しい」「経営経費、活動資金が不足している」、通所系サービスで「コンプライアンス（法令遵守、適正な業務遂行等）の確保」「利用者の確保が難しい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	職員の確保が 難しい	書類の作成の 手間や管理	利用者の確保が 難しい	人材育成が 難しい	ＩＣＴ機器等 への対応	法や制度改正 への対応	経営経費、活 動資金が不足 している
全 体	142	69.7	54.9	44.4	43.7	31.0	28.9	27.5
居宅介護支援	22	54.5	59.1	0.0	27.3	40.9	27.3	4.5
訪問系サービス	38	78.9	47.4	50.0	42.1	21.1	28.9	15.8
通所系サービス	36	61.1	58.3	58.3	41.7	30.6	30.6	36.1
施設系サービス	38	81.6	52.6	50.0	55.3	39.5	26.3	42.1
多機能型居宅サービス	4	50.0	75.0	50.0	50.0	0.0	0.0	25.0
福祉用具貸与	4	50.0	75.0	50.0	50.0	25.0	75.0	50.0

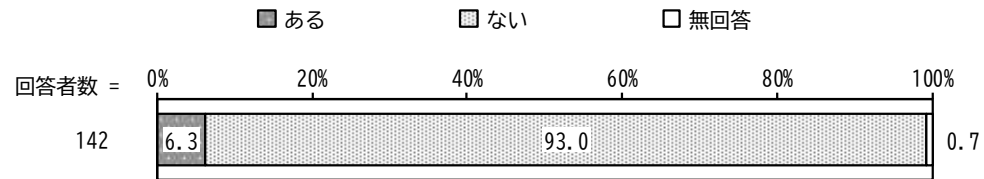
区分	職員が定着し にくい	利用者や家族の 制約への理解不足	コンプライアンス (法令遵守、適正な 業務遂行等)の確保	事故・苦情対応(カ スタマーハラスメ ント含む)	個人情報取り扱 い	その他	特になし	無回答
全 体	22.5	14.8	14.1	12.7	4.2	2.8	2.8	2.1
居宅介護支援	13.6	22.7	9.1	13.6	4.5	4.5	9.1	0.0
訪問系サービス	26.3	15.8	2.6	7.9	2.6	0.0	2.6	2.6
通所系サービス	22.2	11.1	27.8	13.9	5.6	5.6	0.0	2.8
施設系サービス	26.3	10.5	15.8	18.4	5.3	2.6	2.6	2.6
多機能型居宅サービス	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
福祉用具貸与	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

<各サービス内訳>

項目	内訳
居宅介護支援	・居宅介護支援
訪問系サービス	・訪問介護（訪問型サービスを含む） ・訪問入浴介護 ・訪問看護 ・訪問リハビリテーション ・定期巡回随時対応型訪問介護看護
通所系サービス	・通所介護（通所型サービスを含む） ・通所リハビリテーション ・認知症対応型通所介護 ・地域密着型通所介護
施設系サービス	・特定施設入居者生活介護 ・介護老人福祉施設（短期入所生活介護を含む） ・介護老人保健施設（短期入所療養介護を含む） ・介護医療院 ・認知症対応型共同生活介護
多機能型居宅サービス	・小規模多機能型居宅介護 ・看護小規模多機能型居宅介護
福祉用具貸与	・福祉用具貸与

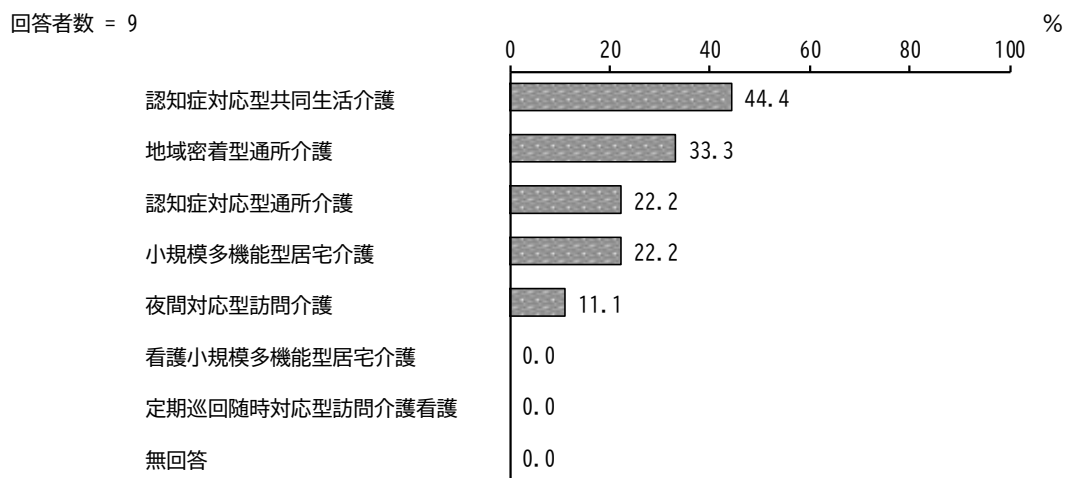
問 3-1 第 10 期（令和 9 ～ 11 年度）中に市内で貴事業者で参入を検討している、あるいは参入を検討したい地域密着型サービスはありますか。（あてはまるものに○）

「ある」の割合が 6.3%、「ない」の割合が 93.0%となっています。



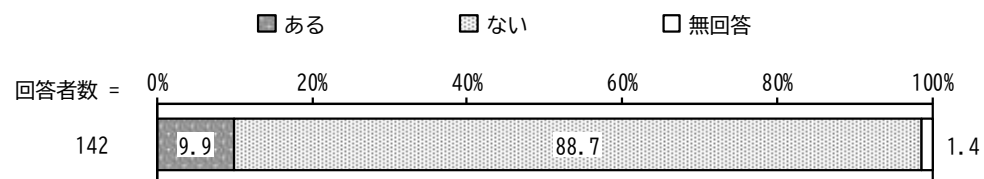
問 3-2 「ある」の場合、該当するサービスは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「認知症対応型共同生活介護」が 44.4%、「地域密着型通所介護」が 33.3%、「認知症対応型通所介護」、「小規模多機能型居宅介護」が 22.2%、「夜間対応型訪問介護」が 11.1%となっています。



問 4-1 第 10 期（令和 9 ～ 11 年度）中に市内で貴事業者で参入を検討している、あるいは参入を検討したい地域密着型以外のサービスはありますか。（あてはまるものに○）

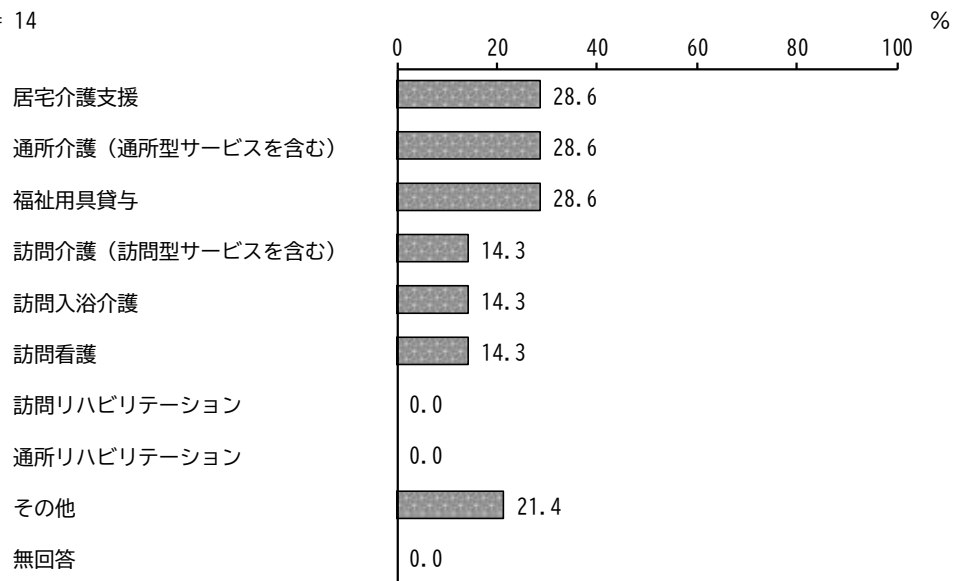
「ある」の割合が 9.9%、「ない」の割合が 88.7%となっています。



問 4-2 「ある」の場合、該当するサービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「居宅介護支援」、「通所介護（通所型サービスを含む）」、「福祉用具貸与」の割合が 28.6%と最も高くなっています。

回答者数 = 14



<その他の内訳>

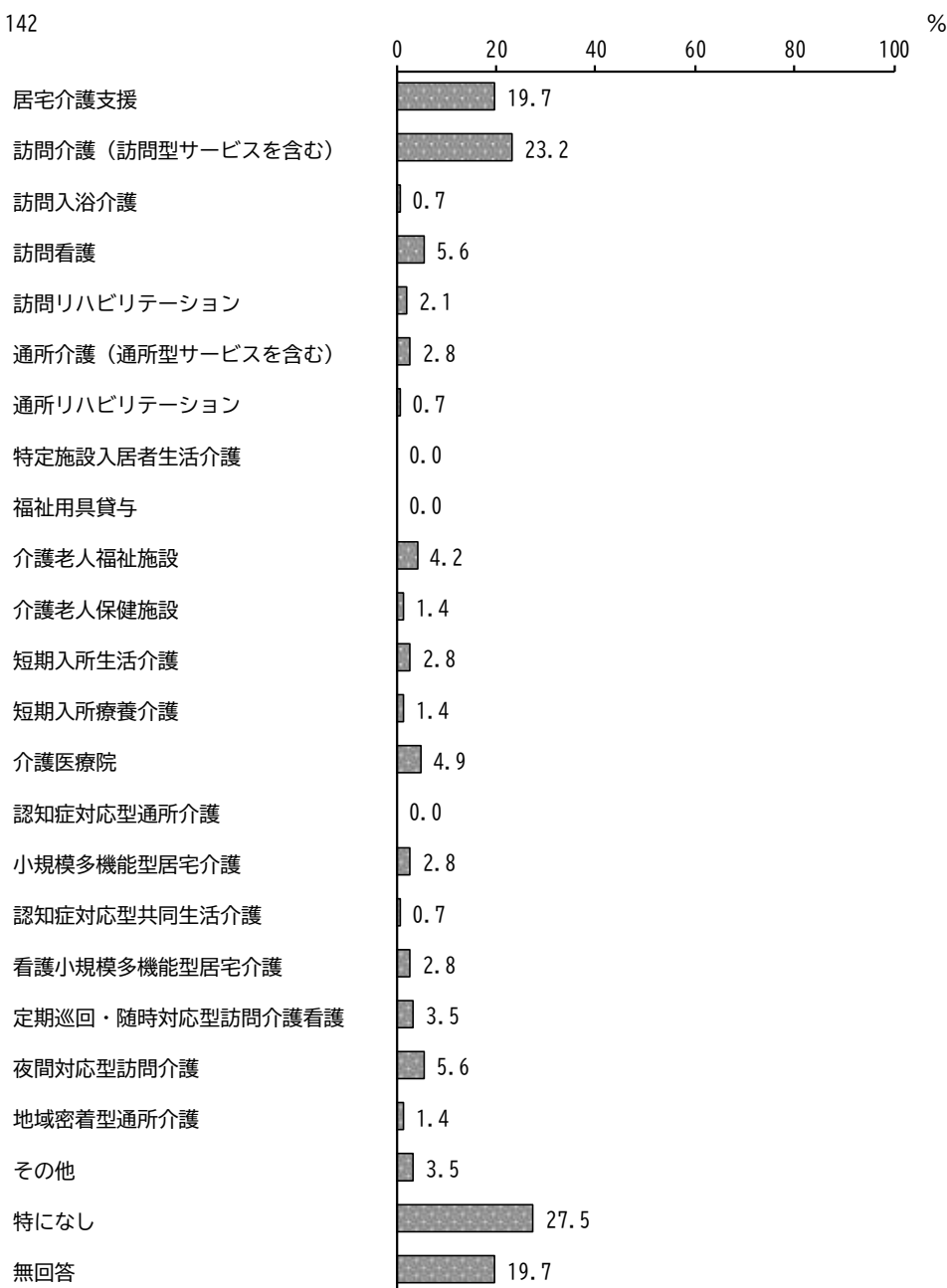
- ・ 認知症対応型共同生活介護
- ・ 身元保証サービス
- ・ 移送・移動支援サービス

問5 実際に提供しているサービスが、必要と考えるサービス量に対し不足していると感じるものはありますか。

(最もあてはまるものを三つまで選択し、その理由を御記入ください。)

「訪問介護（訪問型サービスを含む）」の割合が23.2%と最も高く、次いで「居宅介護支援」の割合が19.7%となっています。その他の意見の具体的な回答はありませんでした。

回答者数 = 142



サービス提供量が不足している理由から、主に以下の5つの傾向が見られます。

1. 慢性的な人材不足（特にケアマネジャーとヘルパー）

- ケアマネジャーの退職や離職が多く、高齢化も進んでいます。業務量の増大によるストレスや負担の大きさから新規依頼を受けられない状況が多発しており、利用者や家族がケアマネジャーを見つけられない「ケアマネ難民」の発生も懸念されています。
- ヘルパーの不足や高齢化により、新規相談を断らざるを得ないケースや、急な休みへの対応ができないケースが発生しています。
- 看護師やセラピストの人員確保も困難な状況があり、サービス提供が滞る原因となっています。

2. 特定の時間帯・地域における対応困難

- 夜間、土日、朝や夕方といった特定の時間帯にニーズが集中しやすく、対応できる事業所が限られています。特に独居の方の夜間対応（トイレ介助や見守り等）や、デイサービスの朝の送り出しヘルパーが不足しているという指摘が多数あります。
- 御岳、成木方面など、特定の地域において資源が少ないという声があります。

3. 医療的ケアや重度化ニーズへの受け皿不足

- インスリン注射、経管栄養、喀痰吸引などが必要な方に対する、一時的なレスパイト（休息）目的のショートステイ（医療型ショートステイ）などの受け入れ先が少ないとされています。また、介護医療院が存在しないという指摘もあります。
- 末期がんなどで自宅での看取りを希望する場合の、在宅ホスピスや対応できる事業所が不足しています。また、退院後の訪問リハビリのニーズが増えているにもかかわらず、事業所が少なく定員がいっぱいであるため、サービスに繋がらないケースが増えています。

4. 構造的・制度的な課題と事業所の負担

- 仕事量に対して介護報酬が少ないという意見があり、処遇改善加算だけでなく基本単位の引き上げが求められています。
- 訪問型サービスは単価が安く、処遇改善加算がつかないなど事業所の負担が大きいという声があります。また、書類の多さや主治医との情報提供のやり取りなどが非常に複雑であり、事業所の運営負担となっています。

5. 特定のサービス形態の不足と周知不足

- 入浴特化型の短時間デイサービスなど、利用者の細かなニーズに合った選択肢が少ない状況があります。
- 小規模多機能型居宅介護や定期巡回・随時対応型訪問介護など、在宅生活の継続を支えるサービス自体が少ない、あるいは利用者や家族への周知が十分にされていないという課題も見受けられます。

【サービス種別】

サービス種別にみると、全体と比べ、サービス提供量が不足している割合が居宅介護支援で「居宅介護支援」「訪問介護（訪問型サービスを含む）」、施設系サービスで「介護医療院」の割合が高くなっています。

単位：％

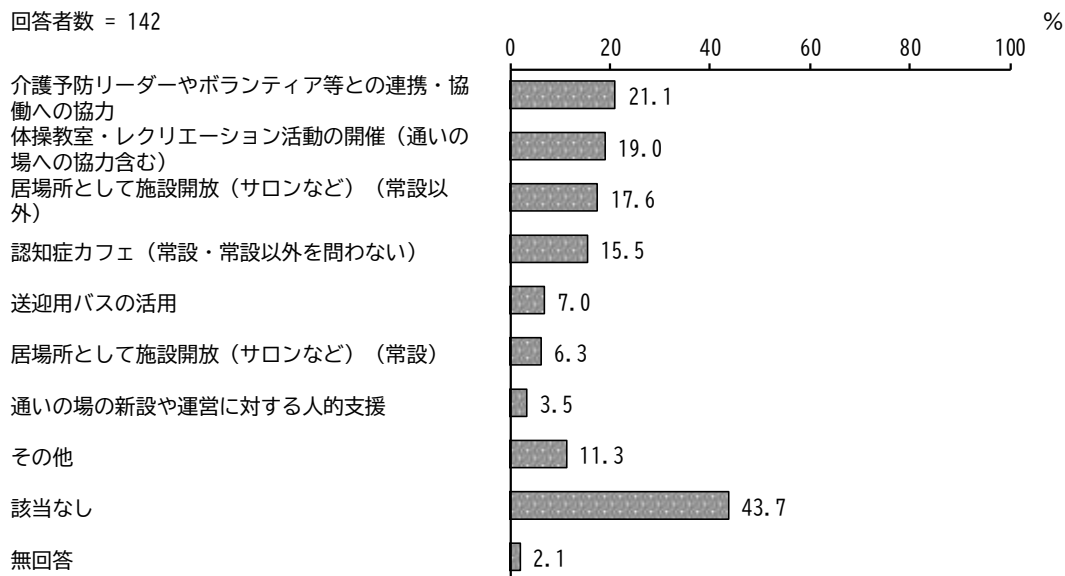
区分	回答者数 (件)	居宅介護支援	訪問介護 (訪問型サ ービスを含む)	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリ テーション	通所介護 (通所型サ ービスを含む)	通所リハビリ テーション	特定施設入 居者生活 介護	福祉用具貸 与	介護老人福 祉施設	介護老人保 健施設	短期入所生 活介護
全 体	142	19.7	23.2	0.7	5.6	2.1	2.8	0.7	0.0	0.0	4.2	1.4	2.8
居宅介護支援	22	36.4	50.0	0.0	4.5	9.1	9.1	4.5	0.0	0.0	4.5	4.5	4.5
訪問系サービス	38	18.4	28.9	2.6	5.3	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	2.6
通所系サービス	36	16.7	22.2	0.0	5.6	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
施設系サービス	38	7.9	7.9	0.0	7.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.9	0.0	5.3
多機能型居宅サービス	4	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
福祉用具貸与	4	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0

区分	短期入所療養介護	介護医療院	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	認知症対応型共同生活介護	看護小規模多機能型居宅介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	地域密着型通所介護	その他	特になし	無回答
全 体	1.4	4.9	0.0	2.8	0.7	2.8	3.5	5.6	1.4	3.5	27.5	19.7
居宅介護支援	0.0	9.1	0.0	4.5	0.0	0.0	4.5	18.2	0.0	9.1	9.1	4.5
訪問系サービス	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	7.9	7.9	0.0	2.6	26.3	23.7
通所系サービス	0.0	2.8	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	38.9	16.7
施設系サービス	5.3	10.5	0.0	5.3	0.0	5.3	2.6	2.6	0.0	0.0	26.3	31.6
多機能型居宅サービス	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
福祉用具貸与	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

※各サービスの内訳は 428 ページをご確認ください。

問6 貴事業所で地域貢献の観点から次の内容において、実施可能またはすでに実施しているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「介護予防リーダーやボランティア等との連携・協働への協力」の割合が21.1%と最も高く、次いで「体操教室・レクリエーション活動の開催（通いの場への協力含む）」の割合が19.0%、「居場所として施設開放（サロンなど）（常設以外）」の割合が17.6%となっています。

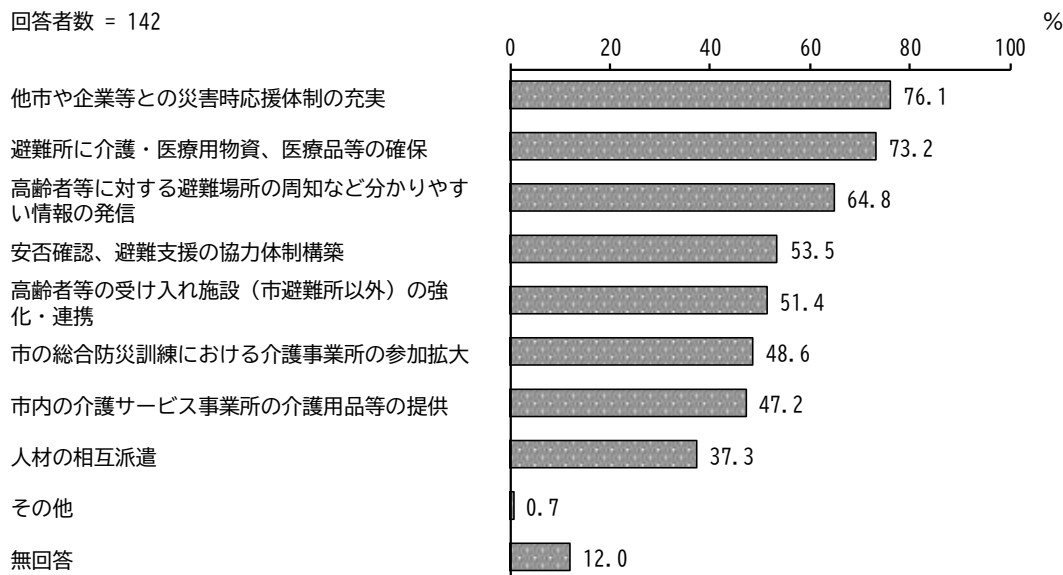


問7 以下の災害対策について、①市が取り組むべきもの、また、②貴事業所において御協力いただける取組（すでに実施しているものも含みます）があれば教えてください。（あてはまるものに○、②は実施している、協力できる、難しいのどれかに○）

①市が取り組むべきもの

「他市や企業等との災害時応援体制の充実」の割合が76.1%と最も高く、次いで「避難所に介護・医療用物資、医療品等の確保」の割合が73.2%、「高齢者等に対する避難場所の周知など分かりやすい情報の発信」の割合が64.8%となっています。

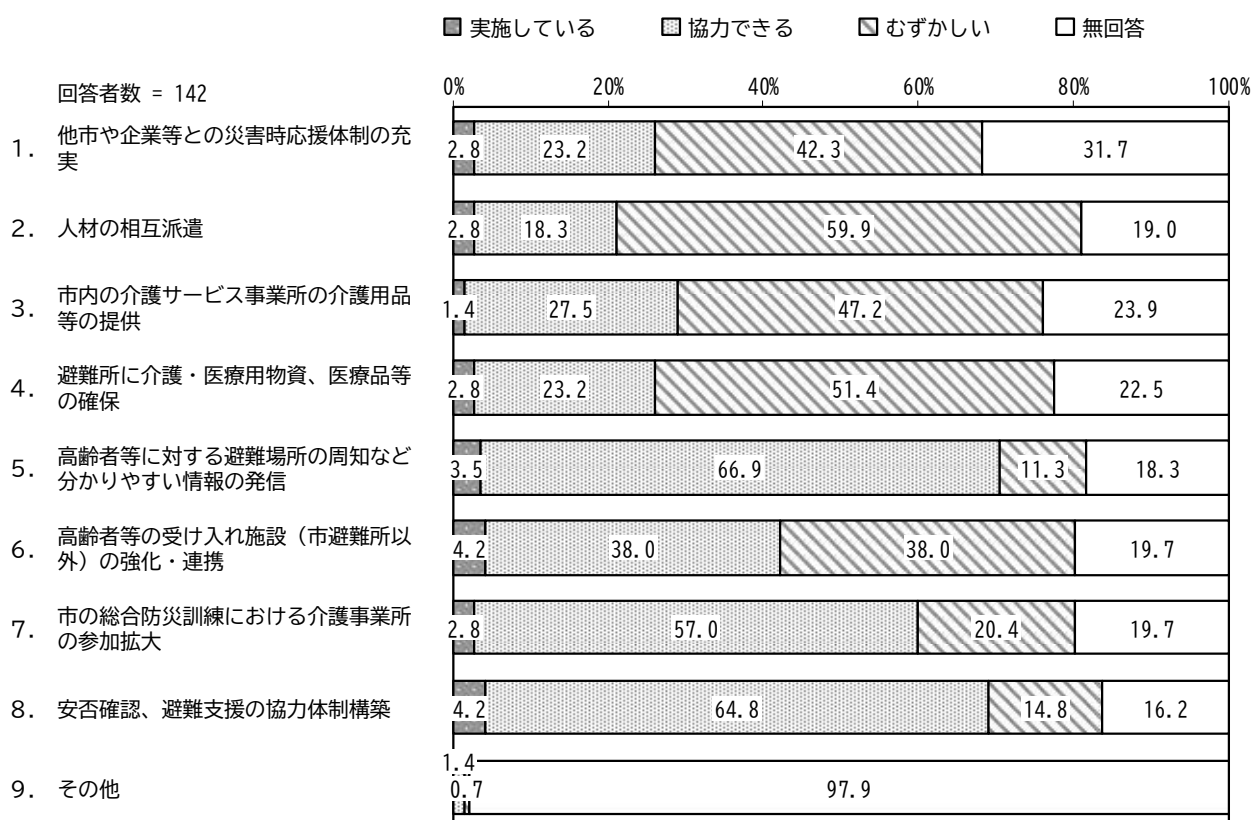
回答者数 = 142



②事業所が実施している、協力できる取組

『6. 高齢者等の受け入れ施設（市避難所以外）の強化・連携』『8. 安否確認、避難支援の協力体制構築』で「実施している」が、『5. 高齢者等に対する避難場所の周知など分かりやすい情報の発信』で「協力できる」が、『2. 人材の相互派遣』で「むずかしい」が高くなっています。

回答者数 = 142



問8 貴事業所で利用者への虐待事案を職員が目撃した場合、通報までの対応について簡潔に御記入ください。

職員が虐待を目撃してから行政（市や地域包括支援センター）へ通報に至るまでの経路は、主に以下の5つの類型に分類できます。

類型1：上長経由で即時通報

現場の職員が目撃後、速やかに内部の責任者に報告し、責任者から行政へ通報します。

職員が目撃 ⇒ 所属長・管理者・施設長などへ報告 ⇒ 市または地域包括支援センターへ通報

類型2：委員会等で事実確認後に通報

通報の前に、事業所内で検討会議や虐待防止委員会を開き、虐待に当たるかどうかの事実確認を行ってから通報する経路です。

職員が目撃 ⇒ 管理者へ報告 ⇒ 虐待防止委員会などで事実確認・検討 ⇒ 市または地域包括支援センターへ通報

類型3：担当ケアマネ経由・相談

管理者への報告と前後して、利用者の担当ケアマネジャーに報告・相談を行い、連携して通報などの対応を進める経路です。

職員が目撃 ⇒ 管理者・サ責へ報告 ⇒ 担当ケアマネジャーへ報告・相談（情報共有） ⇒ 市や地域包括へ通報

類型4：法人本部・上位組織経由

事業所の管理者や施設長だけでなく、さらに上位の法人本部や理事長、社長へ報告を上げてから、行政へ通報を行う経路です。組織規模が大きい法人などで見られます。

職員が目撃 ⇒ 管理者・施設長へ報告 ⇒ 法人本部・理事長・社長などへ報告 ⇒ 市や都へ通報

類型5：発見者直接通報

内部の役職者を通さず、目撃した職員（または担当者）が直接、行政や地域包括支援センターに通報する経路です。通報後に施設側に伝達するケースも含まれます。

職員が目撃 ⇒ 発見者（職員）が直接市や包括へ通報

問9 貴事業所で利用者への虐待発生防止のため取り組んでいることを教えてください。

各事業所が利用者への虐待発生を防止するために実施している取り組み、主に以下の6つの項目に分類・整理できます。

1. 研修の定期的な実施と多様化

- 研修の実施頻度は、年1～2回の定期開催としている事業所が主流です。
- 新入職員向け研修に虐待防止を盛り込むほか、アンガーマネジメントやカスタマーハラスメント研修、ロールプレイを用いた実践的な研修など、内容も多岐にわたります。
- eラーニングやオンラインを活用して全職員が知識を高められるよう工夫している事業所も見られます。

2. 虐待防止委員会の定期開催と日常的な情報共有

- 「虐待防止委員会（または倫理・身体拘束委員会等）」を定期的に開催し、事案の検討やマニュアルの見直しを行っています。開催頻度は毎月から半年に1度まで様々です。
- 委員会だけでなく、朝礼、日々の振り返り会議、月ごとのスタッフミーティング等で事例の共有や架空事例でのシミュレーションを行い、日常的な意識付けを図っています。

3. 「虐待の芽」チェックリストを活用した自己点検

- 「虐待の芽チェックリスト（アンケート）」を年1～2回や3ヶ月ごとなど定期的に実施し、職員に自らの行動を見直し・自己点検させています。
- 単に実施するだけでなく、集計結果の改善・悪化項目を検証したり、結果を基に個別面談を実施してフィードバックを行うことで再発防止や指導に繋がっています。

4. 職員との面談およびメンタルヘルス支援

- 所属長や施設長による定期的な個別面談を実施し、業務の振り返りや悩み・課題の把握に努めています。
- 職員の精神的な安定を図るべく、ストレスチェックの実施や、衛生委員会等を通じたストレス緩和技法の周知、メンタルヘルスに関する相談体制の構築といった支援が行われています。

5. 指針・マニュアルの整備と相談体制の構築

- 高齢者虐待防止に関する指針やマニュアルを整備し、全職員への配布や定期的な見直しを行っています。
- 施設内に相談窓口を設置したり、職員からの意見を吸い上げるアンケートを実施したりするなど、不適切な事案に気付いた際に報告・相談しやすい風土作りを重視する事業所も見られます。

6. 現場での工夫（複数の目）と外部・家族との連携

- 施設長や管理者が定期的に現場を巡視（巡回）したり、毎日困りごとがないか声掛けをしたりして、直接状況を確認しています。
- 業務の固定化を防ぐための定期的な配属転換や、送迎ルートのローテーションを行い、「複数の目」によるチェック体制を作っています。
- さらに、利用者家族に対して通報義務を周知したり、利用者懇談会で意見を汲み取ったりするほか、自治会との連携、介護サービス相談員の受け入れなど、外部連携を通じた未然防止策が実施されています。

2 在宅生活改善調査

※問 10 から問 12 については、居宅介護支援事業所・（看護）小規模多機能型居宅介護事業所の方にお伺いします。

問 10 自宅等（サービス付き高齢者向け住宅および住宅型有料老人ホームを含む）で生活されている利用者のうち、以下に該当する方の人数をそれぞれ御記入ください。

該当利用者合計

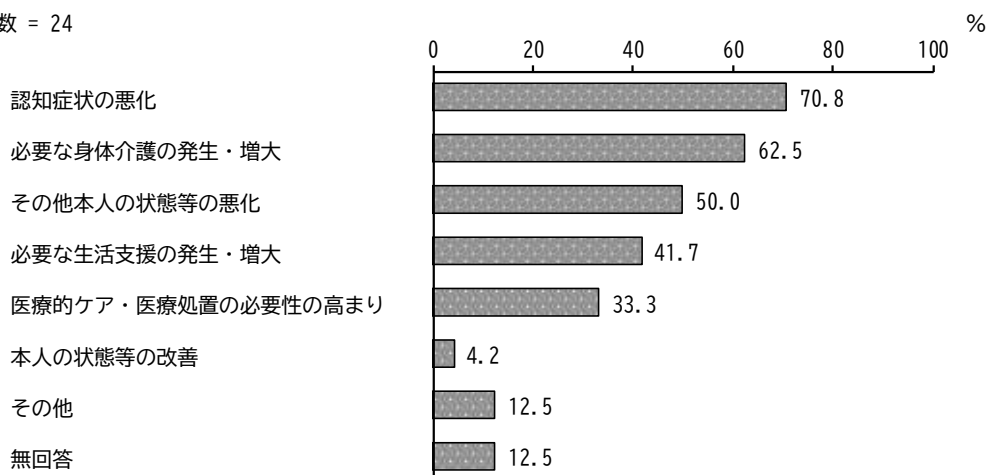
	生活上の問題はない	生活の維持が難しい	計
自宅に居住	2,071人	147人	2,218人
サービス付き高齢者向け住宅・ 住宅型有料老人ホームに居住	33人	0人	33人
合計	2,104人	147人	2,251人

問 11 上記設問で「生活の維持が難しい」に該当した方について、在宅生活の維持が難しくなっている理由は以下のどれに当てはまりますか（あてはまるものすべてに○）。

①本人の状態に関すること

「認知症状の悪化」の割合が 70.8%と最も高く、次いで「必要な身体介護の発生・増大」の割合が 62.5%、「その他本人の状態等の悪化」の割合が 50.0%となっています。

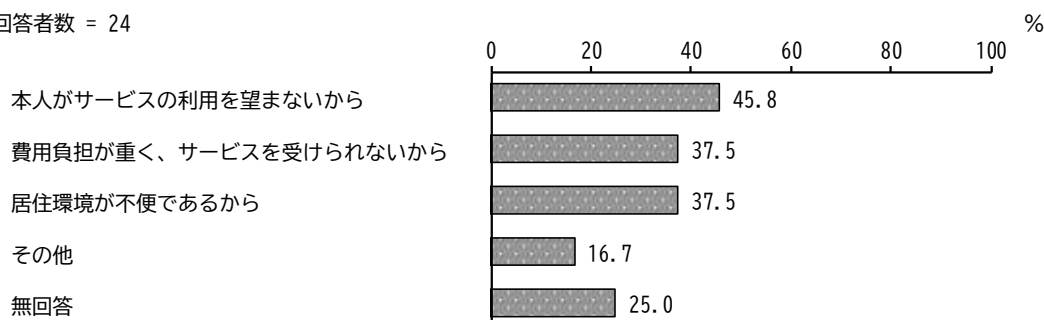
回答者数 = 24



②本人等の意向に関すること

「本人がサービスの利用を望まないから」の割合が 45.8%、「費用負担が重く、サービスを受けられないから」、「居住環境が不便であるから」の割合が 37.5%となっています。

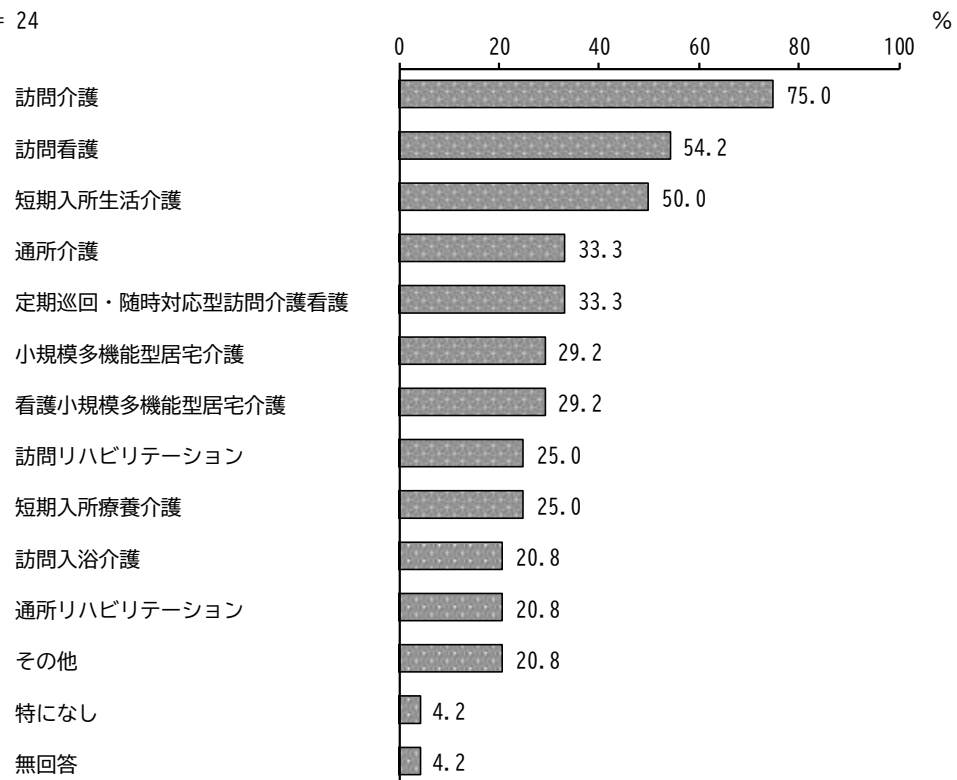
回答者数 = 24



問 12 これまでにお伺いした内容を踏まえ、生活改善に必要なと思われるサービスは、以下のどれにあてはまりますか（あてはまるものすべてに○）。

「訪問介護」の割合が 75.0%と最も高く、次いで「訪問看護」の割合が 54.2%、「短期入所生活介護」の割合が 50.0%となっています。

回答者数 = 24



3 居所変更実態調査

※問 13 から問 16 については、入所・入居施設（グループホーム、有料老人ホーム等を含む）の方にお伺いします。

問 13 過去 1 年間（令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日）の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所（市内・市外それぞれ）別の人数（すでに入所・入居している方で一時的な入院等で貴施設等に戻った場合を除く）を御記入ください。

入所・入居する前の居場所別合計人数

過去 1 年間の新規入所・入居者において、入所・入居する前の居場所として「病院・診療所」が 548 人と最も多く、次いで、「自宅（親族等の家を含む）」からの入居が 395 人、「介護老人保健施設」からの入居が 203 人となっています。

入所・入居する前の居所	人数（市内）	人数（市外）	計
自宅（兄弟・子ども・親戚等の家含む）	258人	137人	395人
住宅型有料老人ホーム	13人	18人	31人
サービス付き高齢者向け住宅 （特定施設除く）	3人	9人	12人
グループホーム	6人	4人	10人
特定施設	6人	4人	10人
地域密着型特定施設	3人	0人	3人
介護老人保健施設	81人	122人	203人
介護医療院	1人	1人	2人
特別養護老人ホーム	5人	9人	14人
地域密着型特別養護老人ホーム	0人	0人	0人
病院・診療所（一時的な入院を除く）	297人	251人	548人
その他（ ）	23人	31人	54人
入居・入所する前の居場所を把握していない	0人	0人	0人
合計	696人	586人	1282人

問 14 令和6年4月1日～令和7年3月31日に貴施設等を退去した方の退去先（市内・市外それぞれ）別の人数（一時的な入院等から貴施設等に戻った方、貴施設等との契約が継続していて現在一時的に入院中の方を除く）を御記入ください。また、死亡には、貴施設等で亡くなった方に加え、病院等への搬送後に死亡された方も含みます

退去先別合計人数

令和6年度の退去者のうち、「死亡」の662人で、全体の約半数を占めています。「死亡」を除くと「病院・診療所」が251人と最も多く、次いで「自宅（親族の家含む）」が127人、「特別養護老人ホーム」が101人となっています。

地域別の内訳では、市内への退去が755人、市外への退去が459人となっており、市内での移動が中心となっています。

その他の施設への移動については、「住宅型有料老人ホーム」が26人、「介護老人保健施設」が12人、「介護医療院」が8人など、比較的少なくなっています

入所・入居する前の居所	人数（市内）	人数（市外）	計
自宅（兄弟・子ども・親戚等の家含む）	105人	22人	127人
住宅型有料老人ホーム	17人	9人	26人
軽費老人ホーム（特定施設除く）	0人	1人	1人
サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	8人	1人	9人
グループホーム	3人	1人	4人
特定施設	0人	0人	0人
地域密着型特定施設	0人	0人	0人
介護老人保健施設	6人	6人	12人
介護医療院	3人	5人	8人
特別養護老人ホーム	71人	30人	101人
地域密着型特別養護老人ホーム	0人	0人	0人
病院・診療所（一時的な入院を除く）	165人	86人	251人
その他	6人	7人	13人
行き先を把握していない	0人	0人	0人
死亡	371人	291人	662人
合計	755人	459人	1214人

問 15 退所・退居された方について、要支援・要介護度は次のどれにあてはまりますか
(人数で回答)。

要支援・要介護別合計人数

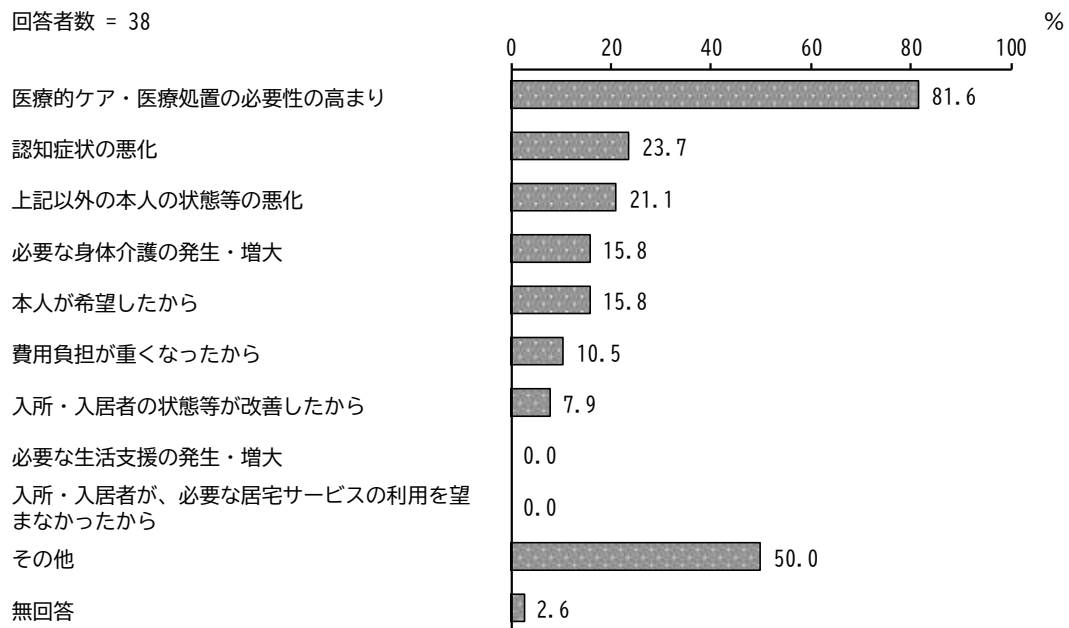
退所・退居された 1,214 人のうち、要介護度別では要介護 5 の方が 469 人と最も多く、次いで要介護認定を申請中の方が 407 人、要介護 4 の方が 228 人と続いています。

一方で、自立から要介護 1 までの方は 0 人であり、退居者の多くが重度の要介護状態または、認定手続き中の方が中心となっています。

要支援・要介護度	計
自立	0人
要支援 1	0人
要支援 2	0人
要介護 1	0人
要介護 2	44人
要介護 3	66人
要介護 4	228人
要介護 5	469人
申請中	407人
不明	0人
合計	1214人

問 16 貴施設の入居・入所者が退去理由として最も多いものを3つまで選択してください。

「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」の割合が 81.6%と最も高く、次いで「認知症状の悪化」の割合が 23.7%、「上記以外の本人の状態等の悪化」の割合が 21.1%となっています。



<その他の内訳>

- ・ 死亡（17 件） ・ 在宅復帰を希望したから（3 件）
- ・ 特養入所（2 件）

4 介護人材実態調査

問 17 貴事業所の職員（正規・非正規全て）について、職種ごとに、青梅市民の人数、市外からの勤務者の人数を御記入ください。

職種別合計人数

全職員 3,779 人のうち、青梅市在住者が 2,299 人で全体の約 61%を占めています。

職種別では、介護職員が 2,362 人で全体の約 63%を占める最多の職種です。

すべての職種において青梅市在住者の人数が最も多くなっています。

	青梅市	西多摩	左記以外 の都内	他県	計
介護職員	1535人	225人	89人	513人	2362人
看護職員	456人	81人	38人	204人	779人
ケアマネジャー	98人	33人	10人	56人	197人
その他の職員（調理員等）	210人	97人	17人	117人	441人
合計	2299人	436人	154人	890人	3779人

問 18 貴事業所における全職員の内訳について、以下の表に数字で御記入ください。

全職員内訳合計人数

令和 7 年 10 月 1 日時点のデータでは、全体数 3,403 人のうち女性が 2,296 人と約 67%を占めています。年齢層別では 60 代（924 人）が最多で、次いで 50 代（835 人）、70 代以上（652 人）となっており、50 代以上が全体の約 7 割を占めています。

【令和 7 年 10 月 1 日現在】			30代	40代	50代	60代	70代 以上	計
介護福祉士（居宅介護支援の場合は、主任介護支援専門員）	男	正規	44人	127人	175人	116人	31人	493人
		非正規	6人	9人	9人	11人	10人	45人
	女	正規	61人	94人	163人	177人	82人	577人
		非正規	6人	55人	93人	107人	111人	372人
実務者研修相当（居宅介護支援の場合は、介護支援専門員）	男	正規	8人	13人	11人	11人	5人	48人
		非正規	1人	1人	4人	1人	1人	8人
	女	正規	19人	8人	16人	33人	12人	88人
		非正規	6人	9人	14人	18人	12人	59人
初任者研修相当	男	正規	18人	5人	7人	9人	5人	44人
		非正規	9人	0人	2人	3人	6人	20人
	女	正規	18人	6人	9人	13人	11人	57人
		非正規	5人	8人	23人	37人	45人	118人
EPA等外国人	男	正規	23人	8人	1人	0人	0人	32人
		非正規	1人	3人	0人	0人	0人	4人
	女	正規	79人	31人	2人	0人	0人	112人
		非正規	9人	3人	0人	1人	0人	13人
その他（上記の資格が無い、事務員等）	男	正規	34人	59人	84人	86人	23人	286人
		非正規	17人	11人	11人	17人	71人	127人
	女	正規	38人	64人	133人	154人	73人	462人
		非正規	39人	37人	78人	130人	154人	438人
合計	男	正規	127人	212人	278人	222人	64人	903人
		非正規	34人	24人	26人	32人	88人	204人
	女	正規	215人	203人	323人	377人	178人	1296人
		非正規	65人	112人	208人	293人	322人	1000人
	全体		441人	551人	835人	924人	652人	3403人

問 19 貴事業所における勤続年数別職員数について、以下の表に数字で御記入ください。

勤続年数別職員合計人数

全体で「3年以下」が1,280人、「10年以上」が1,304人と、勤続年数の両端に職員が集中しています。

	3年以下	4～5年	6～9年	10年以上	計
介護職員	791人	295人	447人	798人	2331人
介護職員以外	489人	216人	256人	506人	1467人
合計	1280人	511人	703人	1304人	3798人

問 20 前問の3年以下の職員について、現在の事業所に勤務する直前の職場についてお伺いします。介護職員および介護職員以外に区分して人数を御記入ください。

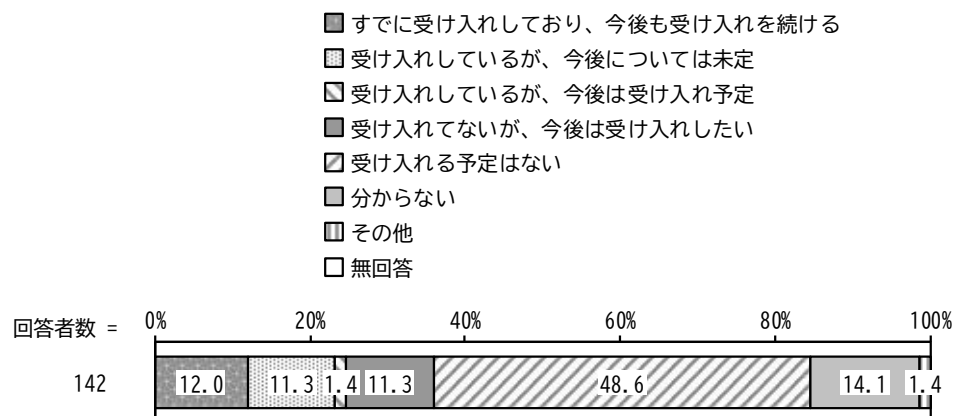
直前の職場職員数合計人数

勤続3年以下の職員1,299人のうち、「介護職場からの転職」が664人と全体の過半数を占めています。職種別に見ると、介護職員は「介護職場からの転職」が506人と突出して多く、約63%を占めています。一方で、介護職員以外は「介護以外の職場からの転職」が265人と最も多く、約54%に達しています。

	3年以下		計
	介護職員	介護職員以外	
現在の職場が初めての勤務先	157人	44人	201人
介護職場からの転職	506人	158人	664人
介護以外の職場からの転職	141人	265人	406人
不明	1人	27人	28人
合計	805人	494人	1299人

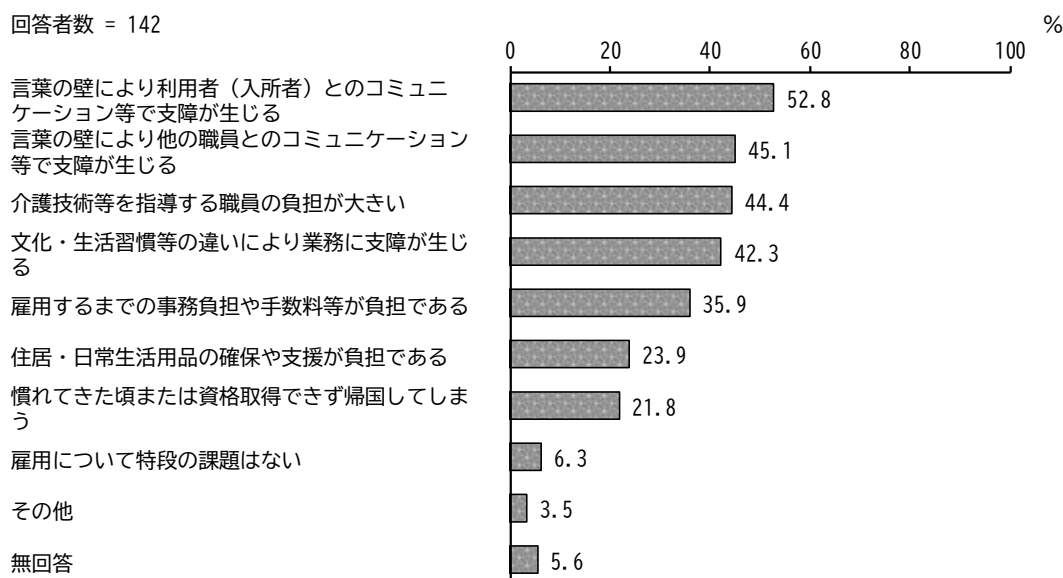
問 21 介護人材不足解消のため、外国人技能実習生、留学生（EPAなど）の制度が拡充されていますが、貴事業所の意向をお答え下さい。

「受け入れる予定はない」の割合が48.6%と最も高く、次いで「すでに受け入れしており、今後も受け入れを続ける」の割合が12.0%、「受け入れしているが、今後については未定」、「受け入れてないが、今後は受け入れたい」の割合が11.3%となっています。



問 22 貴事業所で外国人人材を活用するにあたっての課題について該当するものをすべて選択してください。（あてはまるものすべてに○）

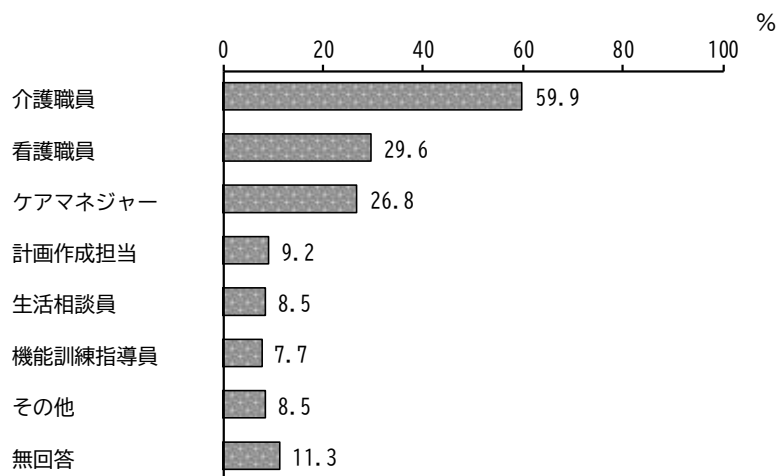
「言葉の壁により利用者（入所者）とのコミュニケーション等で支障が生じる」の割合が52.8%と最も高く、次いで「言葉の壁により他の職員とのコミュニケーション等で支障が生じる」の割合が45.1%、「介護技術等を指導する職員の負担が大きい」の割合が44.4%となっています。



問 23-1 現在のサービス提供状況からみて、不足している職種は何ですか。
 (あてはまるものに○を入れて、複数の場合は優先的に必要な順位を入れてください)

「介護職員」の割合が 59.9%と最も高く、次いで「看護職員」の割合が 29.6%、「ケアマネジャー」の割合が 26.8%となっています。

回答者数 = 142



【サービス種別】

サービス種別にみると、全体と比べ、通所系サービスで「生活相談員」「機能訓練指導員」、施設系サービスで「介護職員」「看護職員」、居宅介護支援で「ケアマネジャー」の割合が高くなっています。

単位：%

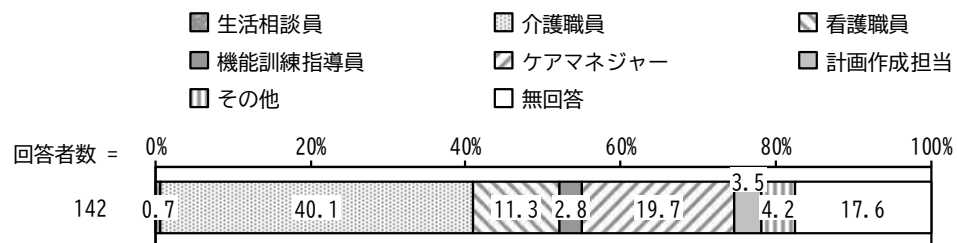
区分	回答者数 (件)	介護職員	看護職員	ケアマネジャー	計画作成担当	生活相談員	機能訓練指導員	その他	無回答
全 体	142	59.9	29.6	26.8	9.2	8.5	7.7	8.5	11.3
居宅介護支援	22	13.6	0.0	72.7	0.0	0.0	0.0	9.1	22.7
訪問系サービス	38	50.0	36.8	18.4	10.5	0.0	5.3	7.9	7.9
通所系サービス	36	77.8	27.8	13.9	16.7	25.0	19.4	2.8	13.9
施設系サービス	38	81.6	42.1	18.4	2.6	7.9	5.3	13.2	5.3
多機能型居宅サービス	4	50.0	50.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
福祉用具貸与	4	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0

※各サービスの内訳は 428 ページをご確認ください。

問 23-2 現在のサービス提供状況からみて、不足している職種は何ですか。
 (あてはまるものに○を入れて、複数の場合は優先的に必要な順位を入れてください)

1 位に挙げられた職種

「介護職員」の割合が 40.1%と最も高く、次いで「ケアマネジャー」の割合が 19.7%、「看護職員」の割合が 11.3%となっています。

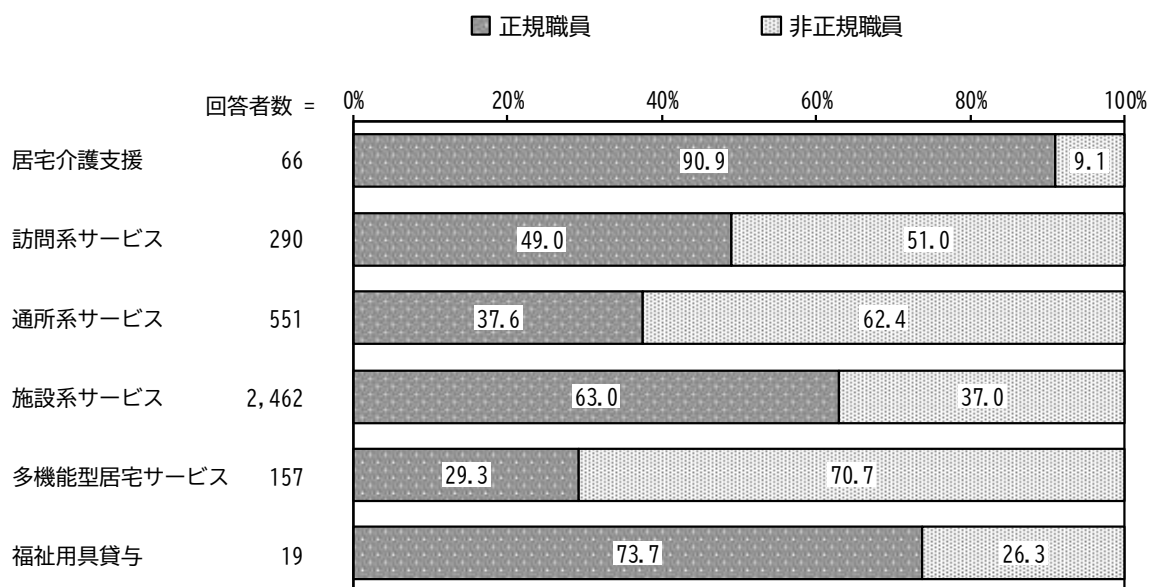


問 24 過去1年間の、職員の採用者数、離職者数等についてお伺いします。
(数字で御記入ください。)

【職員総数（令和6年4月1日時点）】

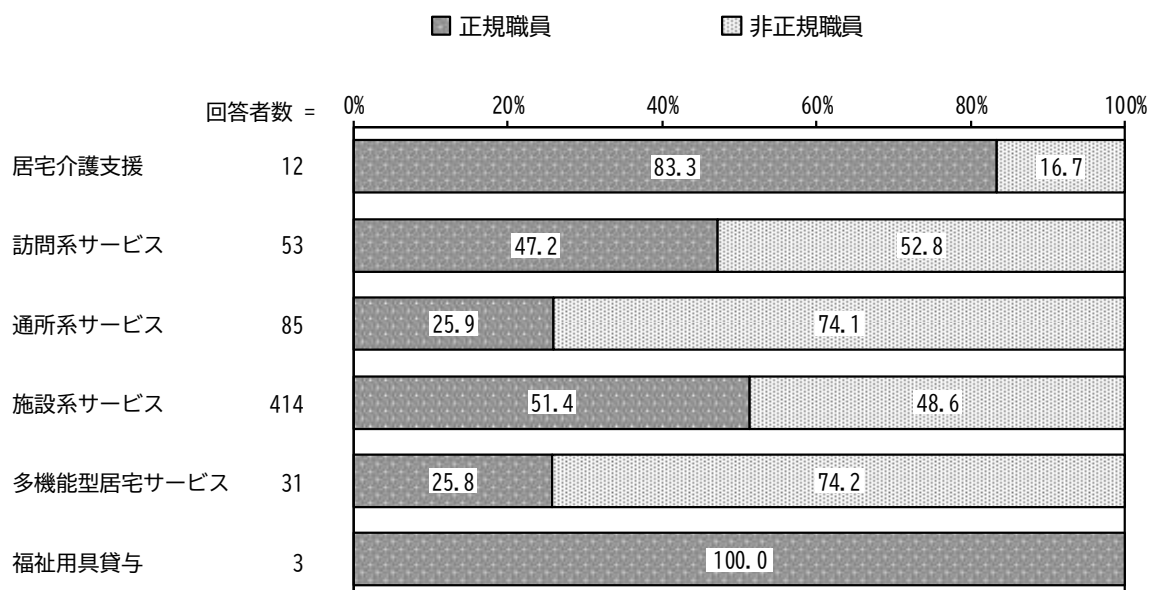
令和6年4月1日時点の職員構成は、サービス種別により正規・非正規の割合が大きく異なります。

「居宅介護支援」は正規職員が90.9%と突出して高く、次いで「福祉用具貸与」が73.7%、「施設系サービス」が63.0%となっています。対して「多機能型居宅サービス」は非正規が70.7%で最も高く、「通所系サービス」も非正規が62.4%となっています。



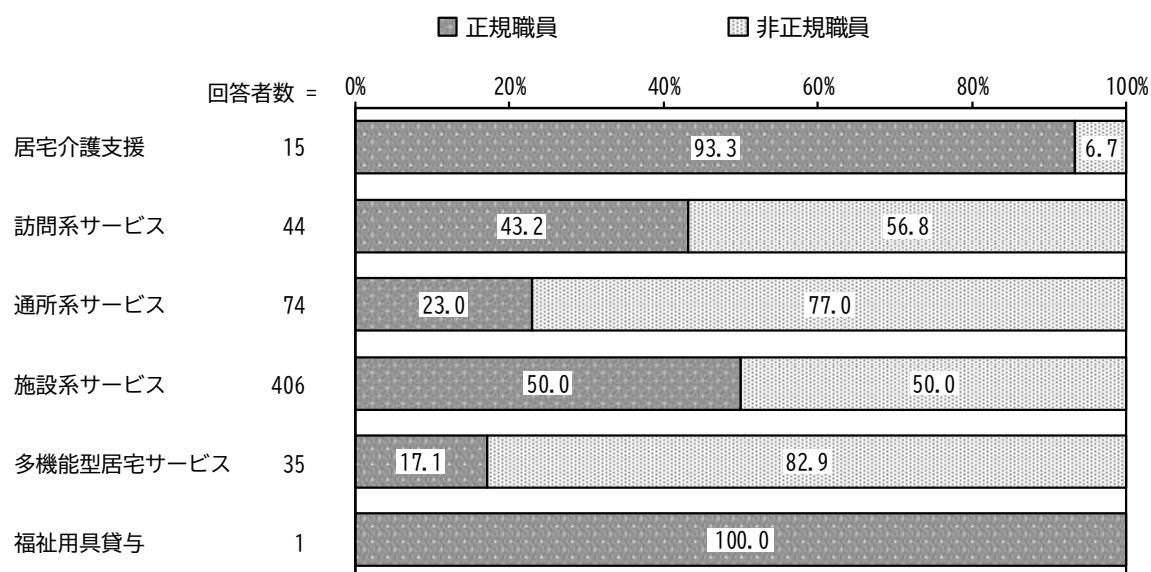
【採用者数（令和6年4月2日から令和7年3月31日）】

令和6年4月2日から令和7年3月31日までの採用者傾向は、「福祉用具貸与」が正規職員100%、「居宅介護支援」が83.3%と、これらは正規職員の採用割合が突出しています。「施設系サービス」は正規・非正規がほぼ半数ずつです。対して、「通所系サービス」と「多機能型居宅サービス」は非正規職員が約74%となっています。



【離職者数（令和6年4月2日から令和7年3月31日）】

令和6年4月2日から令和7年3月31日までの離職者傾向は、「居宅介護支援」は正規職員が93.3%を占め、一方で「多機能型居宅サービス」は非正規職員が82.9%、「通所系サービス」も非正規職員が77.0%と高い割合となっています。



問 25 前問の採用者数の職員について、介護歴の有無、正規・非正規別および年代別人数を御記入ください。

介護歴の有無、正規・非正規別および年代別合計人数

採用者計 609 人のうち、約 63%（381 人）が介護歴あり、約 37%（228 人）が介護歴なしとなっています。

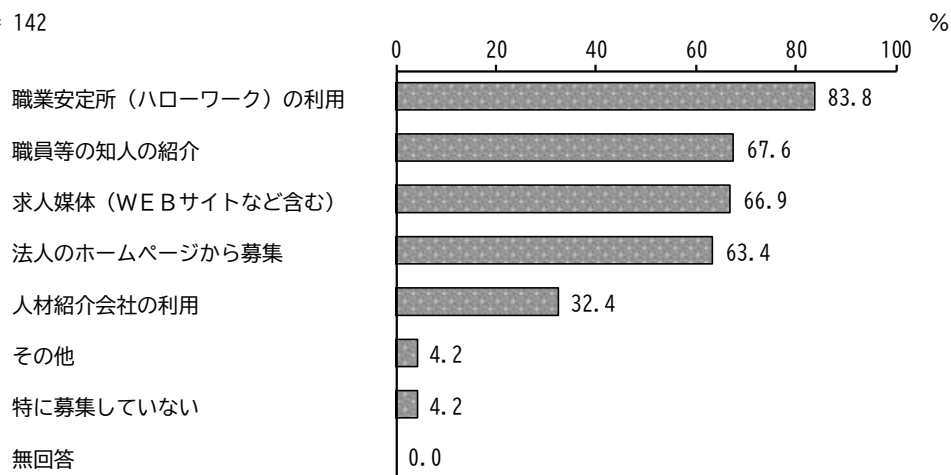
正規・非正規ともに「30 代未満」のみ介護歴なしが上回りますが、30 代以降は介護歴ありの割合が急増します。非正規職員は 40 代・50 代で介護歴ありが多い一方、60 代・70 代以上では介護歴なしの層も一定数存在します。

		30代未満	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
正規	介護歴あり	21人	37人	59人	58人	16人	1人	192人
	介護歴なし	42人	25人	18人	19人	4人	0人	108人
非正規	介護歴あり	15人	17人	54人	47人	32人	24人	189人
	介護歴なし	26人	14人	20人	24人	27人	9人	120人
合計		104人	93人	151人	148人	79人	34人	609人

問 26 職員を募集する際、どのような方法で募集していますか。
(あてはまるものすべてに○)

「職業安定所（ハローワーク）の利用」の割合が 83.8%と最も高く、次いで「職員等の知人の紹介」の割合が 67.6%、「求人媒体（WEB サイトなど含む）」の割合が 66.9%となっています。

回答者数 = 142



【サービス種別】

サービス種別にみると、全体と比べ、施設系サービスで「求人媒体（WEB サイトなど含む）」「法人のホームページから募集」「職員等の知人の紹介」の割合が高くなっています。

単位：%

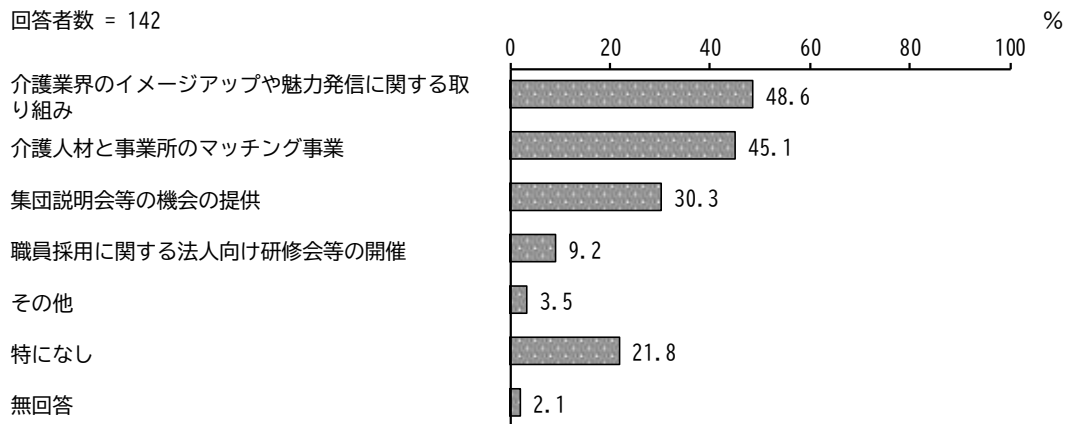
区分	回答者数 (件)	職業安定所（ハローワーク）の利用	職員等の知人の紹介	求人媒体（WEB サイトなど含む）	法人のホームページから募集	人材紹介会社の利用	その他	特に募集していない	無回答
全 体	142	83.8	67.6	66.9	63.4	32.4	4.2	4.2	0.0
居宅介護支援	22	68.2	59.1	45.5	40.9	13.6	4.5	22.7	0.0
訪問系サービス	38	71.1	63.2	68.4	63.2	42.1	10.5	0.0	0.0
通所系サービス	36	86.1	58.3	63.9	69.4	36.1	2.8	2.8	0.0
施設系サービス	38	100.0	86.8	78.9	73.7	34.2	0.0	0.0	0.0
多機能型居宅サービス	4	100.0	100.0	50.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0
福祉用具貸与	4	100.0	25.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※各サービスの内訳は 428 ページをご確認ください。

問 27 職員の採用に関連することで市に期待することは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「介護業界のイメージアップや魅力発信に関する取り組み」の割合が 48.6%と最も高く、次いで「介護人材と事業所のマッチング事業」の割合が 45.1%、「集団説明会等の機会の提供」の割合が 30.3%となっています。

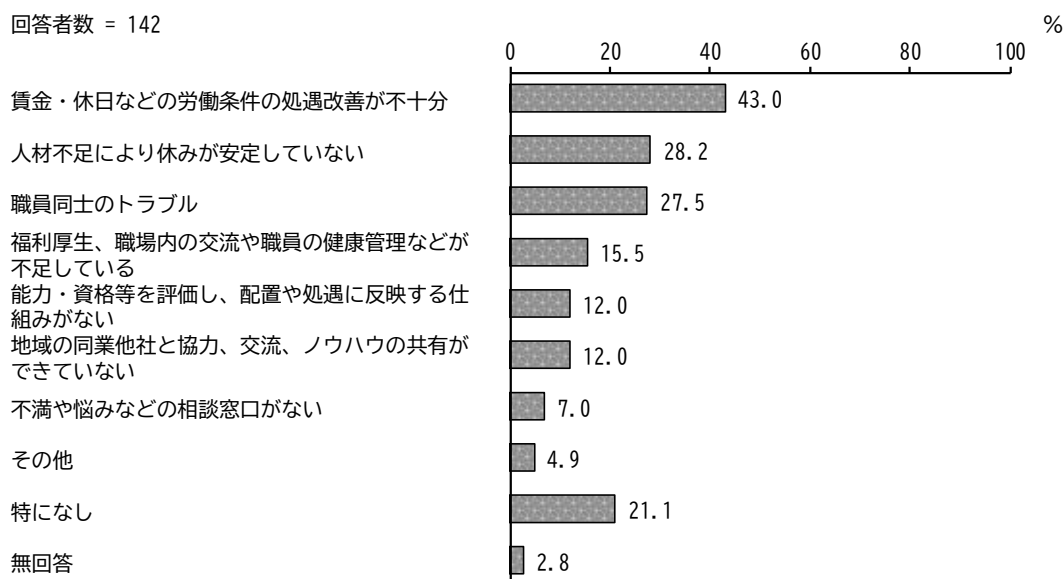
回答者数 = 142



問 28 職員の定着、離職防止で課題となっていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

「賃金・休日などの労働条件の処遇改善が不十分」の割合が 43.0%と最も高く、次いで「人材不足により休みが安定していない」の割合が 28.2%、「職員同士のトラブル」の割合が 27.5%となっています。

回答者数 = 142



【サービス種別】

サービス種別にみると、全体と比べ、通所系サービスで「人材不足により休みが安定していない」、施設系サービスで「職員同士のトラブル」、居宅介護支援で「能力・資格等を評価し、配置や処遇に反映する仕組みがない」の割合が高くなっています。

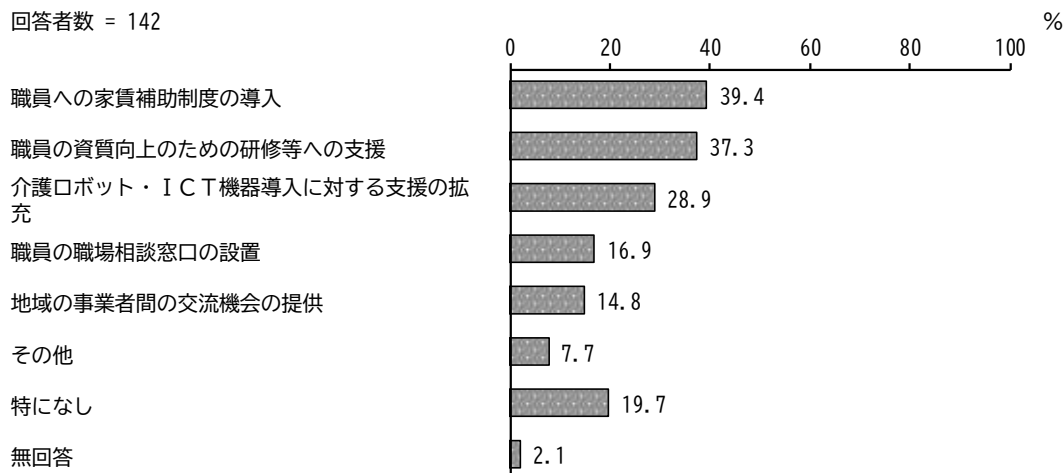
単位：%

区分	回答者数(件)	賃金・休日などの労働条件の処遇改善が不十分	人材不足により休みが安定していない	職員同士のトラブル	福利厚生、職場内の交流や職員の健康管理などが不足している	能力・資格等を評価し、配置や処遇に反映する仕組みがない	地域の同業他社と協力、交流、ノウハウの共有ができていない	不満や悩みなどの相談窓口がない	その他	特になし	無回答
全 体	142	43.0	28.2	27.5	15.5	12.0	12.0	7.0	4.9	21.1	2.8
居宅介護支援	22	31.8	9.1	13.6	0.0	22.7	4.5	13.6	13.6	31.8	4.5
訪問系サービス	38	50.0	34.2	10.5	21.1	13.2	10.5	2.6	2.6	21.1	5.3
通所系サービス	36	47.2	38.9	36.1	11.1	5.6	13.9	5.6	5.6	19.4	2.8
施設系サービス	38	42.1	28.9	39.5	21.1	13.2	18.4	10.5	2.6	13.2	0.0
多機能型居宅サービス	4	25.0	0.0	75.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
福祉用具貸与	4	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0

※各サービスの内訳は 428 ページをご確認ください。

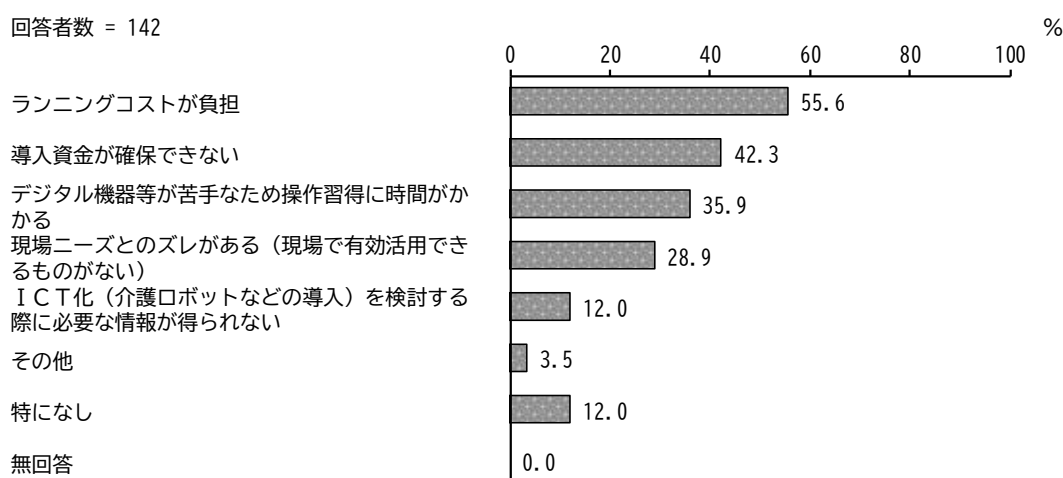
問 29 職員の定着、離職防止で市に期待することは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「職員への家賃補助制度の導入」の割合が 39.4%と最も高く、次いで「職員の資質向上のための研修等への支援」の割合が 37.3%、「介護ロボット・ＩＣＴ機器導入に対する支援の拡充」の割合が 28.9%となっています。



問 30 ＩＣＴ化の推進に関して課題となっていることはありますか
（あてはまるものすべてに○）

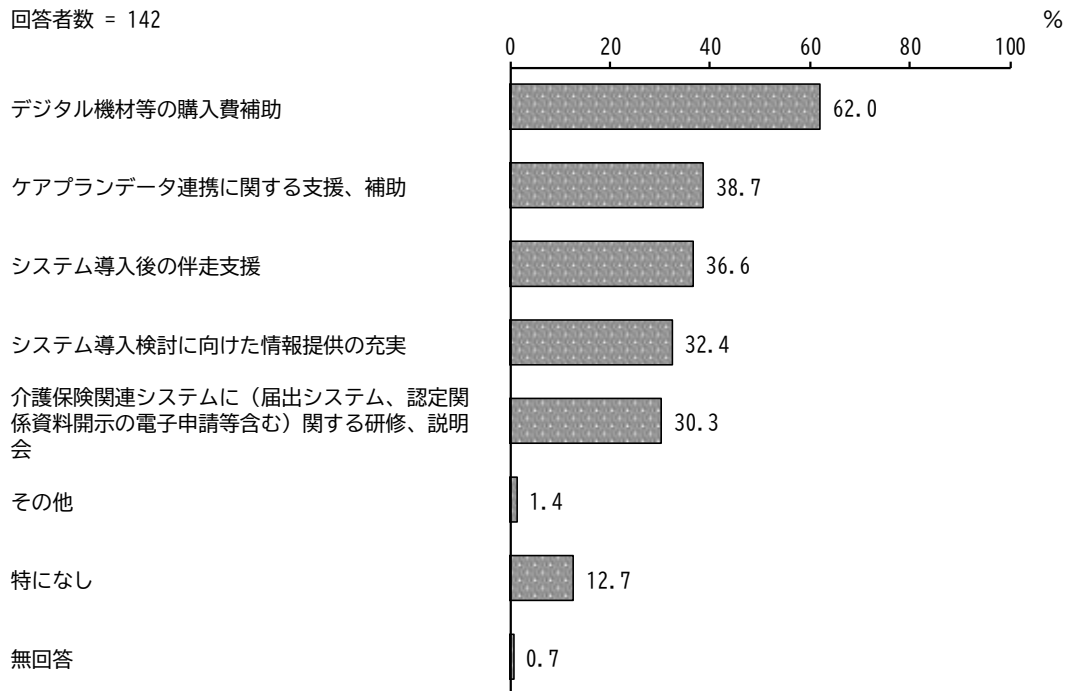
「ランニングコストが負担」の割合が 55.6%と最も高く、次いで「導入資金が確保できない」の割合が 42.3%、「デジタル機器等が苦手なため操作習得に時間がかかる」の割合が 35.9%となっています。



問 31 介護サービス事業所のＩＣＴ化推進で市に期待することは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「デジタル機材等の購入費補助」の割合が 62.0%と最も高く、次いで「ケアプランデータ連携に関する支援、補助」の割合が 38.7%、「システム導入後の伴走支援」の割合が 36.6%となっています。

回答者数 = 142



問 32 その他、介護保険制度全般について何かあれば具体的に御記入ください。

1. 介護報酬・物価高騰・処遇改善に関する要望

- 物価、ガソリン代、材料費の高騰および最低賃金引き上げに対し、利用料金等の基本単価への価格転嫁が伴っていないため、事業継続や受け入れ対応を可能にする大幅なベースの引き上げが必要である。
- 居宅サービス事業者が事業を継続できるよう、自治体独自の横出し上乗せサービス等による報酬単価の維持が求められる。
- 小規模特養における経過措置終了により介護報酬が激減し経営難に陥っているため、支援策としてショートステイ床から特養ベッドへの転換を認める対応が必要である。
- 複雑でデータ作成等に時間がかかり超過勤務が発生する加算の仕組みについて、基本報酬への組み込みや取得要件の緩和が求められる。
- 他業種のパート等の時給が高騰している影響で、非常勤職員割合が高いデイサービス等の介護業界へ人材が流れてこない状況への対策が必要である。
- 介護職員以外の職員に対する賃金アップの措置が必要である。
- 処遇改善の実績報告など、事業所側が算出し提出しなければならない書類の多さに対する負担軽減が求められる。

2. 人材不足・業務負担軽減・事務効率化に関する要望

- ケアマネジャーの募集を行っても該当者がおらず、既存職員のケアプラン件数が上限に達しているため、新規利用者の受け入れをお断りせざるを得ない深刻な状況が発生している。
- 青梅市において3包括を持つ法人のケアマネが実施している認定調査について、雇用促進の観点から一般の居宅介護支援事業所へ振り分けることの検討が求められる。
- 事故報告書や要介護認定申請などの書式を、市町村間で統一することが必要である。
- 介護保険証や負担割合証の紛失を防ぐため、本人の了解を得た上で担当ケアマネジャー等へ直接送付できるシステムの構築が求められる。

3. 医療・重度化・看取りへの対応と多職種連携

- 利用者の重度化、重度認知症、医療的ケア、看取りニーズの増加に対応するため、専門性の確保や、看護師の常駐配置などを評価する現場の実情に合った人員配置・報酬設定への改善が必要である。
- 医療機関から介護施設への医療情報提供料が少なく、平時のリスク管理が後手に回っているため、詳細な医療情報を把握できる環境整備が必要である。
- 包括支援センター、ケアマネジャー、サービス提供者間の円滑な情報共有や連絡を目的とした、メッセージアプリ（LINE や Slack 等）の導入が必要である。
- 審査会に出席する医師や指示元に対し、制度上不可能な要望を出さないよう、介護保険制度の正確な理解が必要不可欠である。

4. 行政への働きかけ・新たな制度の創設に関する要望

- 今後報酬改定が行われる際は、近隣市町村の事例に倣い、改定前に自治体による事前研修を実施することが求められる。
- 介護保険制度内で活動する事業所が介護職のみではない実態を市が把握し、経験不足を理由にせず、市の職員自らが現場に足を運んで調査や勉強を行うべきである。
- 青梅市の介護現場の状況を把握するためのアンケートについて、現場に詳しい専門家の相談や監修を受けた、より実態に即した調査を実施する必要がある。
- 地域密着型サービスのさらなる充実が求められる。
- 生活保護対象者ではない生活困窮者に向けた救済的な制度の確立が必要である。
- 一人暮らしや家族のいない人のための身元保証制度の創設が必要である。

青梅市

第 10 期事業計画策定基礎調査結果報告書

発行年月：令和 8 年 3 月

発 行：青梅市 健康福祉部

高齢者支援課・介護保険課

〒198-8701 東京都青梅市東青梅 1 丁目 11 番地の 1

電 話：0428-22-1111